

2003(平成15)年度

講義内容

経営学部

 駒澤大學

講 義 内 容

目 次

経営学科フレックス A・第1部経営学科

I 全学共通科目

1	宗教教育科目	11
2	教養教育科目	25
3	外国語科目	85
4	保健体育科目	215

II	専門教育科目	261
----	--------	-----

III	他学部履修科目	379
-----	---------	-----

IV	「日本語」・「日本事情」科目	429
----	----------------	-----

経営学科フレックス B・第2部経営学科

I 全学共通科目

1	宗教教育科目	447
2	教養教育科目	457
3	外国語科目	485
4	保健体育科目	517

II	専門教育科目	531
----	--------	-----

III	他学部履修科目	595
-----	---------	-----

経営学科フレックス A・第1部経営学科	全学共通科目	宗教教育
		教養教育
		外国語
		保健体育
	科目	専門教育
経営学科フレックス B・第2部経営学科	全学共通科目	宗教教育
		教養教育
		外国語
		保健体育
	科目	専門教育
	履修科目	他学部
		「日本語」
		「日本事情」

(お知らせ)

配当学科欄の「経営A」の表記について、

14年度以降入学生は経営学科フレックスA

13年度以前入学生は第1部経営学科

とそれぞれ読み替えてください。

同様に、配当学科欄の「経営B」の表記について、

14年度以降入学生は経営学科フレックスB

13年度以前入学生は第2部経営学科

とそれぞれ読み替えてください。

経営学科フレックスA

第 1 部 経営 学 科

I 全学共通科目

1 宗教教育科目

1. 宗教教育科目

仏教と人間	〈福田孝雄〉	11
仏教と人間	〈晴山俊英〉	11
仏教と人間	〈伊藤隆壽〉	12
仏教と人間	〈四津谷孝道〉	12
仏教と人間〔再クラス〕	〈熊本英人〉	13
仏教と人間〔再クラス〕	〈木村誠治〉	13
仏教と人間〔再クラス〕	〈吉津宜英〉	14
仏教と人間〔再クラス〕	〈晴山俊英〉	14
文化と宗教	〈長谷部八朗〉	15
社会と宗教	〈池上良正〉	15
自然と宗教	〈小川順敬〉	16
坐禅	〈熊本英人・木村誠治〉	17

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	福田孝雄	経営A1必	4

講義のねらい

無数に存在する世界の諸宗教の中で、仏教とは一体どういう宗教であり、その特徴、特質は何であり、いかなる可能性をもっているのか。それらを学んでいく上でまず、一般的宗教現象を一通り学び、宗教の共通の要素や性格を知っておくことも必要であるから、宗教学的基礎を学ぶことから始め、最終的に、仏教の基本的特色や特質を概観していくことにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

宗教学の基礎的な構造としての宗教現象、宗教経験、宗教儀礼などを概説し、最終的に仏教思想の基本構造、仏教々団、経典の組織などについて学んでいくことにする。

成績評価の方法

出席点及びレポートなどにより総合的に評価する。

参考書等

講義の進行に従って、その都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	晴山俊英	経営A1必	4

講義のねらい

仏教と一口に言っても、場所により宗派により様々な相違があり、場合によっては同じ仏教でも180度違う主張をする。これは人間が人間として生きることの多様性を示していることに他なるまい。仏教を信じる信じない、そして何が「正しい仏教」なのかは、最終的には個人の信念に依ろうが、一社会人としてその予備知識を養っておきたい。その意味も込めて、本講義のねらいは各国・各宗派の特徴とその背景を、大きな仏教史の中で概観して貰うことにある。

講義の内容・授業スケジュール

釈尊の生涯とその教えに始まり、インド・中国・日本における仏教の展開と主な人物、特徴を概説していく。

履修上の留意点

仏教が何らかの展開する際には、必ず人間の何らかの要請が介在していると思われる。本講義を通じて、そういった人間の要請というものを考察されたい。

成績評価の方法

期末試験にて評価する。

参考書等

授業において適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教と人間	伊藤隆壽	経営A1必	4

講義のねらい

本講座は、建学の理念に基づき、「仏教」や「禅」についての正しい知識を身につけることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

1. 仏になる教え
2. 中道
3. 八正道
4. 菩薩の道
5. 成仏への道
6. 念仏
7. 唱題
8. 禅
9. 信仰と社会

履修上の留意点

教科書は早めに購入し、前期中に各自通読すること。

成績評価の方法

評価はレポート及び試験によるが、授業への出席状況も考慮するので欠席しないこと。

教科書

松本史朗著『仏教への道』（東京書籍）1,400円

参考書等

主要参考書は、水野弘元著『仏教要語の基礎知識』（春秋社）1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教と人間	四津谷孝道	経営A1必	4

講義のねらい

受講生諸君は、今後少なくとも4年間の大学生活において、様々な機会に仏教というものに接することとなるであろう。そのような機会のひとつであるこの授業において、「仏教と自分との接点を探る」という営みの端緒を見出してもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

この授業においては、仏教が現代社会の諸問題に対して如何に関わっているかをできるだけわかりやすく説明してゆきたい。まず、仏教というものを「文明の発展」という脈絡の中で理解し、更に他の宗教、特にキリスト教やイスラム教等との比較の中でその宗教としての特色を浮き彫りにする。そして、現代社会の諸問題、特に「死」を巡る様々な問題に仏教をはじめとする諸宗教がどのように対処しているかについて検討を加えてゆきたい。その他、「環境問題と仏教」、「仏教にみられる女性差別」等のテーマも扱ってみたい。

履修上の留意点

各時間の最後に、小作文を書いてもらう。

成績評価の方法

学年末の試験。

教科書

特になし。必要な資料等は、授業において随時配付する。

参考書等

授業において随時指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間 〔再クラス〕	くまもと えい にん 熊本英人	全学科2・3・4年	4

講義のねらい	日本における宗教とは何か、仏教を中心に考察する。
講義の内容・授業スケジュール	仏教史を概観したうえで、日本の仏教および宗教の現在を考える。 仏教に限らず、宗教は、社会の変容と相互関係をもって展開してきた。ブツダの伝記や仏教史上の事件、人物などのなかから、現代につながる話題を取り上げて解説していく。宗教に対する無関心、無自覚の持つ問題を理解してもらいたい。
成績評価の方法	年度末の筆記試験。適宜レポートを課す。
教科書	適宜プリントで配布する。
参考書等	講義の中で随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間 〔再クラス〕	きむら せい じ 木村誠治	全学科2・3・4年	4

講義のねらい	仏教の教えから、生命観や自己存在の意義を確認し、自己自身の生き方を探ることを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	釈尊の生涯とその教えを明らかにして行く。出家に至るまでの課題が一人釈尊に限られるものではなく、生死の課題は人間の実存として関わっていることを学ぶ。成道後に展開された縁起の教えから、心と存在の在りようを学ぶ。
履修上の留意点	静粛を第一とし、雑談は禁止する。教科書は特に用意しないので、講義内容の記録が定期試験の鍵となる。
成績評価の方法	定期試験と出席率による。
教科書	なし。
参考書等	授業において紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間 〔再クラス〕	よし づ よし ひで 吉 津 宜 英	全学科2・3・4年	4

講義のねらい

先ず最初にこの科目名は「仏教と人間」となっていますが、私は「宗教と人間」という位に広く考えてゆきたいと思います。仏教を含めた宗教に対して皆さんはどのようなイメージを抱き、どのような意見を持っているでしょうか。すでに特定の宗教を信じている人もいるかもしれませんが、これまで関心の無かった人もあり、また宗教批判者もあるかもしれません。私は宗教に対して肯定的な人にも否定的な方にも先ず宗教や仏教への正しい知識を持ってもらいたいと思います。宗教は政治、経済、科学技術、教育、芸術などと並んで人間の文化の一翼を担っています。太古からいろいろな様々な宗教が存在しています。ある宗教は一神を信仰しますが、他には多くの神を信仰したり、仏教のように仏を主張するものもあります。なぜ人間は宗教を求めるのでしょうか。この講義では先ず様々な宗教の多様性の確認から始めます。そして、宗教は社会の中でどのような機能を果しているのかを考えます。また、宗教をめぐる様々な問題点を取り上げます。宗教は人々の幸福を成就する目的を持っているのに、民族紛争などと絡んで宗教戦争が起こり、多くの不幸な人々が出てしまう問題もあります。宗教は個人個人が何かを信じていれば他に迷惑をかけないですむと思うのですが、宗教集団が成立すると、公共の福祉に反する社会的問題を引き起こします。講義全体としては、仏教を含めた宗教の功罪両面を考えてゆくことをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

前期には宗教の様々な形態について概説します。そして、世界の諸宗教の中で仏教の特色を明らかにします。後期は仏教を含めた宗教と人間社会の様々な問題を取り上げます。新新宗教と呼ばれる存在にも注目します。また、政教分離などの宗教と政治の問題、民族紛争絡みの宗教戦争の問題、人権と宗教の関連性、脳死の是非、遺伝子工学など生命倫理の問題と宗教との関わり等のテーマを順次取り上げます。毎回、必ずあるタイトルを明示して、講義を行います。

履修上の留意点

この科目専用のノートを用意して下さい。講義を筆記すると同時に自分の意見や疑問を書き留め、年間を通して受講と思索の軌跡が残るようにしてもらいたいと希望します。質問は大歓迎です。講義中でも挙手して質問して下さい。ただ、私語は厳禁です。厳しく注意します。

成績評価の方法

毎回出席を取り、年間で2～3回の課題提出を御願いし、最後に期末試験を行い、その結果を総合して成績評価を行います。

教科書

特に使用しないが、出来るだけ参考資料としてのプリントを配布します。

参考書等

授業の中で随時参考図書などを紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間 〔再クラス〕	はれ やま しゆん えい 晴 山 俊 英	全学科2・3・4年	4

講義のねらい

仏教と一口に言っても、場所により宗派により様々な相違があり、場合によっては同じ仏教でも180度違う主張をする。これは人間が人間として生きることの多様性を示していることに他なるまい。仏教を信じる信じない、そして何が「正しい仏教」なのかは、最終的には個人の信念に依ろうが、一社会人としてその予備知識を養っておきたい。その意味も込めて、本講義のねらいは各国・各宗派の特徴とその背景を、大きな仏教史の中で概観して貰うことにある。

講義の内容・授業スケジュール

釈尊の生涯とその教えに始まり、インド・中国・日本における仏教の展開と主な人物、特徴を概説していく。

履修上の留意点

仏教が何らかの展開する際には、必ず人間の何らかの要請が介在していると思われる。本講義を通じて、そういった人間の要請というものを考察されたい。

成績評価の方法

期末試験に出席の状況（不定期に出欠をとります）を加味して評価する。

参考書等

授業において適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
文化と宗教	ほせべ ばち ろう 長谷部 八 郎	全学科選	4

講義のねらい

本講義は、我が国の近代以降、各時代状況の中で、宗教が社会とどのようにかわり、近・現代の精神文化の形成に影響を及ぼしたかを、仏教を中心にみていく。具体的には、寺院の中でもいわゆる教会・結社組織に焦点を据え、それらが、仏教と民衆をつなぐ接点として果たしてきた役割を探ってみる。仏教諸宗派の中でも教会・結社活動の盛んであった曹洞宗や日蓮宗を主軸に講述する。
また、そうした教会・結社と新宗教・新新宗教を比較検討し、両者に対する民衆のニーズとそれに対する対応の仕方の類似点および相違点を明らかにしていきたい。

成績評価の方法

未定である。授業時に1、2回小論文を課し、評価の一部に加える予定である。

教科書

使用しない。

参考書等

授業の中で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会と宗教	いけ がみ よし まさ 池 上 良 正	全学科選	4

講義のねらい

宗教学・宗教社会学などの理論的成果をふまえて、「近代社会と宗教」というテーマを中心に講義する。近代という特異な時代が成立する過程において宗教はどのような関わりをもったのか、様々な問題を抱えた近現代社会のなかで宗教はどのような形態で存続し、またどのような意義や役割を担っているのか、といった問題を考える手がかりを探ってみたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、宗教が近代社会の形成に果たした役割についての考察からスタートして、世俗化論、私事化論などの検討する。後期は、現代世界における宗教の動態的理解、近代日本の社会変動と民衆宗教の展開、といった問題を考える。近年の精神世界ブームや新宗教の動向などにも触れる予定。

成績評価の方法

年度末に筆記試験。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業中に適宜紹介する

科目名	担当者名	配当学科	単 位
自然と宗教	小川 順敬 <small>おがわ としゆき</small>	全学科選	4

講義のねらい

人間は古来から、自然のいとなみの背後に説明のつかない大きな力を感じ、自然の事物や、自然現象を崇拜の対象としてきたと言われます。それでは、人間は自然の背後にどのような“説明のつかない力”をみたのでしょうか。あるいは、自然を人間とのつながりでどのようにとらえ、考えてきたのでしょうか。
この講義では、宗教と自然との関わりという角度から、これらの問題を考えてゆくことにしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

まず最初に、宗教現象を考えていくための宗教学、宗教人類学のいくつかの基本的な概念を概説、紹介します。その後、山と宗教、海と宗教、森と宗教、また仏教と自然、キリスト教と自然などのテーマを立て、具体的事例をあげながら人間と自然との宗教的な関わりの諸相を紹介していくことにしたいと考えています。また、環境問題に対する仏教やキリスト教、新宗教、あるいは伝統宗教からの発言や取り組みを紹介し、その考え方や今日的評価・議論を概観、紹介する予定です。

成績評価の方法

評価はレポートと年度末の筆記試験により行います。夏期休暇前にレポート課題を出します。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教科書

原則として教科書は用いません。

参考書等

講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
坐禅 (前期)(後期)	くまもと えいじん きむら せいじ 熊本 英人・木村 誠治	全学科選	2

講義のねらい

駒澤大学では建学の理念に基づき宗教教育科目が設けられ、その中に「坐禅」の授業があります。本授業は、仏教学部だけではなく広く一般学生に門戸を開き「坐禅」の世界を知ってもらうことを、その目的としています。他大学では経験できない、駒澤ならではの授業が「坐禅」といえるでしょう。坐禅に触れることによって、本学の良さを味わい、学生生活の貴重な体験としてもらいたいと思ひ、この授業を進めるものです。

今、私たちの回りでは、さまざまな宗教が声高に叫んでいます。反面、多くの人は何を抛り所にしてよいか不安感が募っています。基本的な人生観を学生時代にこそ考え培いたいものです。

坐禅は、決して特殊な精神状態を作るものではありません。姿勢を整え、静けさの中で自己を見つめるのです。初めはぎこちないかもしれませんが、何回か経験するうちに静けさに落ちつきを感じることでしよう。

この授業では、初心者にも無理なく坐禅に親しめることに指導のポイントを置き、経験を積む中で、坐禅の静寂な時間に落ちつきと安らぎが感ぜられるよう実習を進めたいと思っています。併せて、坐禅の世界をより深く体得できるように、禅の歴史とその思想にも触れる時間を設けます。禅が作り出したさまざまな文化にも触れるよう進めます。

講義の内容・授業スケジュール

半期単位ですので、全体で13回ほどの開講数が予定されます。その流れを以下のように進めます。

1～3 「坐禅の作法指導」(坐禅堂に即して基本的知識と、坐るに至るまでの作法と修得)

4～13 「坐禅実習」(一回の坐禅実習の時間は、初心者にも無理のない程度です。)

(道元禅師の書かれた坐禅の指導書ともいえる『正法眼蔵-坐禅儀』を通して坐禅の本来の姿を学びます。)

履修上の留意点

実習をその主なる内容としますので出席を重視します。また、まじめに授業を受けられることを要望します。

成績評価の方法

出席数、出席態度、レポートを総合して成績評価とします。

教科書

適宜、プリントにて配布します。

参考書等

『坐禅-講本-』(更生社) 2,226円

2. 教養教育科目

授業時間表の区分「B」の科目を履修する場合は、
フレックスBの頁を参照してください。(→P. 457)

2. 教養教育科目

(1) 人文分野

文学〔日本文学「近代」〕	〈渡邊重人〉	25
文学〔日本文学「近代」〕	〈小林治〉	25
歴史学〔日本近代史〕	〈立川章次〉	26
芸術学(1)〔日本美術〕	〈北野良枝〉	26
芸術学(2)〔西洋美術〕	〈矢野陽子〉	26
芸術学(3)〔音楽〕	〈赤羽由規子〉	27
哲学〔西洋思想の源流〕	〈中村友太郎〉	27
哲学〔西洋思想の源流〕	〈河谷淳〉	28
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	〈鈴木聡〉	28
論理学〔知の技法〕	〈箭野浩司〉	29
論理学〔知の技法〕	〈伊古田理〉	29
科学史〔近代科学の成立と展開〕	〈小宮山隆〉	30
倫理学(1)〔人間観〕	〈古田知章〉	30
倫理学(2)〔応用倫理学〕	〈黒崎剛〉	31
倫理学(3)〔価値観〕	〈滝沢正之〉	31
倫理学(4)〔応用倫理学〕	〈箭野浩司〉	32
倫理学(5)〔制度とモラル〕	〈滝口清栄〉	32
倫理学(6)〔東洋倫理〕	〈末木恭彦〉	33
宗教学(1)〔比較宗教文化〕	〈池上良正〉	33
宗教学(2)〔聖と俗〕	〈田中かの子〉	34
宗教学(3)〔思想と儀礼〕	〈小川順敬〉	35
宗教学(4)〔組織と運動〕	〈洗建〉	35
人文地理学(1)〔風土と文化〕	〈竹林和彦〉	36
人文地理学(2)〔風土と文化〕	〈高橋健太郎〉	36
人文地理学(3)〔空間と行動〕	〈山口太郎〉	37
人文地理学(4)〔空間と行動〕	〈伊藤修一〉	38
教育の思想	〈伊藤茂樹〉	38
教育の思想	〈坂本信昭〉	39
教育と社会	〈伊藤茂樹〉	39
教育と社会	〈坂本信昭〉	40
発達と学習の心理学	〈大浜幾久子〉	40
発達と学習の心理学	〈川田三夫〉	41
発達と学習の心理学	〈山本政人〉	42
カリキュラムと学習	〈大浜幾久子〉	42
カリキュラムと学習	〈川田三夫〉	43
カリキュラムと学習	〈山本政人〉	44

(2) 社会分野

社会学〔現代文化を考える〕	〈金澤朋広〉	45
統計学〔社会現象の統計的決定〕	〈新行内康慈〉	45
文化人類学〔文化と人間〕	〈佐藤憲昭〉	46
文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕	〈鈴木一馨〉	47
法学・憲法〔法と社会生活〕	〈鷓徳啓登〉	47
法学・憲法〔法と権利〕	〈沼田雅之〉	48
法学・憲法〔法と権利〕	—夏季集中— 〈西修〉	49
政治学〔社会生活とデモクラシー〕	〈大山礼子〉	50
社会科学論〔社会認識の思想〕	〈大石雄爾〉	51
教育学〔デス・エデュケーション〕	〈柳堀素雅子〉	52
教育心理〔大学生の心理—教育臨床心理学の立場から—〕	〈野中弘敏〉	53

(3) 自然分野

生物学〔生物と環境〕〈中村敏枝〉	54
地球科学〔自然景観の成り立ち〕〈市川清士〉	55
自然環境論〔生命と環境〕〈持丸真里〉	55
自然環境論〔環境と保全〕〈古藤田一雄〉	56
自然環境論〔環境と保全〕－夏季集中－〈山縣毅〉	57
自然誌〔現代の自然像〕〈清水善和・篠原正雄・持丸真里・山縣毅〉	58
数学(1)〔微積分学入門〕〈小沢誠〉	59
数学(2)〔線型代数学入門〕〈小沢誠〉	59
数学(3)〔現代数学入門〕〈福田賢一〉	60
情報数学〔情報と論理〕〈上原隆平〉	60
物理学〔光と物質〕〈篠原正雄〉	61
化学〔衣食住の化学〕〈持丸真里〉	62
宇宙科学〔星と銀河〕〈篠原正雄〉	62
人類学(1)(2)〔人類の進化〕〈遠藤萬里〉	63
心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕〈山岸直基〉	63
心理学〔人間関係を考える〕〈高橋良博〉	64
心理学〔心を科学する〕－夏季集中－〈堀内正彦〉	64

(4) 総合分野

総合Ⅰ	〈 休 講 〉		
総合Ⅱ	〔自然観察入門－富浦をめぐる人と自然〕	〈清水 善和 他〉	65
総合Ⅲ(1)	〔人権と社会問題〕	〈ピアス, D. M.〉	66
総合Ⅲ(2)	〔欧米の教育と日本の教育〕	〈岡崎 寿一郎〉	67
総合Ⅲ(3)	〔スペイン語圏文化の諸相〕	〈上野 勝 広〉	67
総合Ⅳ(1)	〔現代アメリカ事情〕	〈林 明 人〉	68
総合Ⅳ(3)	〔ポスト・モダンの世界〕	〈丸 小 哲 雄〉	68
総合Ⅴ(1)	〔イギリス文化探訪〕	〈川 股 陽太郎〉	69
総合Ⅵ(1)	〔民族とは何か〕	〈大野 祐 二〉	70
総合Ⅵ(2)	〔イスラム〕	〈吉 田 京 子〉	70
総合Ⅵ(3)	〔フェミニズム・ジェンダー〕	〈早 川 紀 代〉	71
総合Ⅶ(1)	〔トラブルと法的解決〕	〈北野かほる 他〉	72
総合Ⅶ(2)	〔都市論〕	〈早川 純貴 他〉	73
総合Ⅷ	〈 休 講 〉		

科目名	担当者名	配当学科	単位
文 学 〔日本文学「近代」〕	わた なべ しげ と 渡 邊 重 人	経営A選 14以降入学生/経営B選	4

講義のねらい 近代小説の表現形式やサブジャンルの形成を検討することを通じて、わたしたちの《読む》行為におけるさまざまなバイアスについて考察し、履修者のリテラシーを高めることを目的とする。

- 講義の内容・授業スケジュール**
- 1 小説のジャンル認定—わたしたちは何を小説と呼ぶのか—
 - 2 小説と物語—読者は小説を読むのか？物語を読むのか？—
 - 3 三人称小説と一人称小説—錯綜する作者／語り手／読者—
 - 4 小説とジェンダー—《読む》行為と性差—
 - 5 小説のサブジャンル—商品としての小説—
 - 6 表象文化における小説の位置付け—他の文化装置との比較—

履修上の留意点 出席については履修者も自己管理すること。

成績評価の方法 レポート・小レポート・出席状況・授業に対する積極性等を総合して評価する。詳細については第1回の授業時において説明する。

教科書 プリントを使用する。

参考書等 授業時に適宜紹介する。

その他 講義中心であるが、希望者がいる場合、履修者による研究発表や討論の実施に時間を割いてもよいと考えている。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文 学 〔日本文学「近代」〕	こ ばやし おさむ 小 林 治	経営A選 14以降入学生/経営B選	4

講義のねらい 優れた文学作品の条件とは何だろうか。一例としてリアリティを挙げて、現実を写してありのままらしく見えるものほど実はリアルではなく、技巧によってそれらしく仮装された規範にすぎないことも多い。このような文学特有の陥穽を見通す視点から、文学について再考することを試みたい。

講義の内容・授業スケジュール 対象に予定している作家は、日本の第一次戦後派の野間宏、第二次戦後派の安部公房、島尾敏雄、また異端の作家として深沢七郎、ルポルタージュ文学の先駆者としての上野英信である。さらに時間が許せば、村上春樹などの現代の作家も取り上げたい。主に教科書と配布プリントを使用する。

履修上の留意点 具体的に上記の作家の作品を読んでいく中で、文学作品という現象を通じて見えてくるものは何か、あるいは文学が表現し得るものは何かを考えていくので、講義を受ける前にあらかじめ対象作品だけは読んでおいていただきたい。作品名の詳細は講義を進めていく中で、時々指示するが、とりあえず下記の作品と教科書で指定する作品は必読である。

- 安部公房 『砂の女』、『他人の顔』
- 島尾敏雄 『出孤島記』、『死の棘』
- 深沢七郎 『檀山節考』
- 上野英信 『追われゆく坑夫たち』

成績評価の方法 定期試験の結果、レポートの内容を総合し、さらには出席状況を加味して評価する。

教科書 野間宏『暗い絵、顔の中の赤い月』（講談社文芸文庫）980円
安部公房『R 62号の発明、鉛の卵』（新潮文庫）400円

参考書等 授業時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史学 〔日本近代史〕	立川章次 <small>たちかわ しょうじ</small>	経営A選 14以降入学生/経営B選	4

講義のねらい

日本史の流れを概観し、幕末から維新期にかけての過程を考察する。幕末のわが国は、国内的には商品経済の流通により、封建制が内部矛盾を露呈し、崩壊への兆が、その一方、対外的には欧米列強の外圧に遭遇し、国家存亡の危機に直面したのである。幕末から明治初期にかけての人々は、この恐るべき外圧を契機として、みごと新国家の創造に成功し、近代日本の今日への基礎を築いたのである。このことに留意して新しく維新史を学びたい。

成績評価の方法

定期試験と出席日数により総合的に評価する。

参考書等

尾佐竹猛著『幕末遣外使節物語』（講談社学術文庫）860円

科目名	担当者名	配当学科	単位
芸術学 (1) 〔日本美術〕	北野良枝 <small>きたの よしえ</small>	経営A選	4

講義のねらい

室町時代から江戸時代に至る日本絵画の流れを、中国およびヨーロッパとの関係に留意しつつ概説する。

講義の内容・授業スケジュール

第1回目の授業でガイダンスを行い、以後前期は室町から桃山まで、後期は江戸時代を扱う予定である。

成績評価の方法

学年末に筆記試験を実施し、その得点によって評価する。

その他

毎回スライドを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
芸術学 (2) 〔西洋美術〕	矢野陽子 <small>やの ようこ</small>	経営A選	4

講義のねらい

この授業では15世紀から18世紀までのヨーロッパ諸地域の美術を対象とし、まずその主要な流れを理解することを目的とする。そして表現内容と様式、芸術家とパトロン、美術理論などを踏まえて、美術作品がどのように制作され享受されたか、美術が社会の中で占めていた位置、さらに各国の美術の特質、地域間での影響関係について考察する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は15・16世紀、すなわち初期ルネサンスからマニエリスム美術を、後期は17・18世紀、すなわちバロック・ロココ美術を扱う予定である。

履修上の留意点

教科書を毎回持参すること。スライドで作品を見ながら時代順に講義を進めるので、授業にはなるべく遅刻欠席をせず続けて出席するようにしてほしい。

成績評価の方法

夏休みの課題としてのレポートと学年末の試験とを合わせて評価する。

教科書

高階秀爾監修『カラー版 西洋美術史』（美術出版社）1,900円

参考書等

授業中に適宜紹介する。

その他

授業では毎回スライドを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
芸術学 〔音楽〕 (3)	赤羽由規子 <small>あかほりゆきこ</small>	経営A選	4

講義のねらい

前期 民族音楽学——日本人の伝統的な音感覚について考えていく。焼き芋屋さんの売り声や子ども遊びの歌から芸術音楽にまで共通する日本のメロディーについて考察し、それらと外国の歌との共通性、異質性について具体的に音を聴きながら学び、音楽とは何かを考えていきたい。

後期 20世紀と音楽——20世紀における音楽に関する様々な新しい動きを追って行き、「ポスト・モダン」といわれる今日の音楽の在り方について考えて行く。音や映像を用いて、わかりやすく進めて行くつもりである。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

夏期レポートと学年末試験で採点する。

教科書

印牧由規子著『現代からの音楽史』（公論社）2,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学 〔西洋思想の源流〕	中村友太郎 <small>なかむらともたろう</small>	経営A選 14以降入学生/経営B選	4

講義のねらい

「哲学（フィロソフィア）」とはそもそも何か、またどのようなものとして形成されてきたかを、まず古代ギリシア人のもとの起源から、それを継承したキリスト教世界の人々のもとの展開を学びつつ、現代における哲学思索へと視野を育てることを主眼としたい。

講義の内容・授業スケジュール

なるべく多岐にわたり過ぎないために人間観の変遷に焦点を絞ることと、現代思想との関連・対比を忘れないことに留意したい。

履修上の留意点

講義の展開に関連したリアクションやレポート課題に重きをおくので、能動的な参加の姿勢が要求される。

成績評価の方法

従って、レポートや試験と共に、日頃の授業への積極的な参加態度を含めて、総合的に成績評価する。

教科書

開講時に指示するが、適宜にプリントを配布し活用する。

その他

小グループ方式等による討議や話し合いの場も大切にしたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学 〔西洋思想の源流〕	かわ 河谷 くに あつし 淳	経営A選	4

講義のねらい

この授業ではギリシア哲学（古代哲学）とキリスト教哲学（中世哲学）とを主に扱う。これらふたつの哲学思想は西洋思想の二大源流に対応するものであり、それぞれは知と信という対立のもとに理解することができよう。しかしながら、ふたつの源流は不連続と同時に連続性という側面も併せ持ち、複雑に分岐・合流を繰り返しながら近現代の思想へと流れ込んでいる。そうだとすれば現代の私たちが古代・中世哲学について考えるということは現代哲学の一形態であると言ってもよいであろう。

講義の内容・授業スケジュール

講義では次のような内容を取り扱う。
 (1) ギリシア哲学（ソクラテス以前・ソクラテス・プラトン・アリストテレス）
 (2) キリスト教哲学（教父哲学・スコラ哲学）
 (3) 近代哲学（デカルト、ロック、カント）

履修上の留意点

授業を受け身的に聴くというよりは一緒に問題を考えていくという積極的な姿勢が望ましい。

成績評価の方法

中間・期末試験（それぞれ40点満点）と夏休みレポートと出席状況の総合点で評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔科学方法論と現代論理学〕	すず 鈴木 ことる 鈴 木 聡	経営A選 14以降入学生/経営B選	4

講義のねらい

論理学の初歩の講義を、できるだけ丁寧にわかりやすく行う。我々は、日常生活において様々な文を用いて様々なタイプの推論を行う。多種多様な姿を持つ文にも、実は或る一定の構造が存在する。その構造を見極めることが論理学の課題である。また多種多様に見える推論にも、実は或る一定のタイプが存在する。この推論のタイプについての研究が論理学の主要課題である。論理学の習得は、正しい推論結果を導出するために、すべての学問において重要なことである。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容は次のものを予定している。

1. 文論理
 - (a) 文論理の意味論
 - (b) 文論理の統語論
2. 第一階量化論理
 - (a) 第一階量化論理の意味論
 - (b) 第一階量化論理の統語論
3. メタ論理
 - (a) 健全性定理の意義
 - (b) 完全性定理の意義

履修上の留意点

毎回の出席が要求される。

成績評価の方法

成績は、中間試験・期末試験・小テスト・出席点で評価する。

教科書

配布プリント

その他

本講義は、講義→小テスト（チュートリアル）→前回の講義の復習→小テストの解説→……という形式で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔知の技法〕	箭野浩司	全学科選	4

講義のねらい

日本の教育制度はディベートやディスカッションの技術を教えない。しかし社会人として、あるいは国際社会の一員として生きてゆくためには、考えを言語化してコミュニケーションをとることは必要不可欠なスキルである。

この授業は、各国の言論文化の違いに留意しながら、特に話すことに重点を置いて思考表現とコミュニケーションのスキルを向上させることをめざす。参加者は、表現する前に、恥ずかしい、言うことがない、意見がない、何も思いつかないといった状況に直面することになるが、それを乗り越えることも目的の一つとする。

講義の内容・授業スケジュール

思考表現の技術について解説し、トレーニングを行う。ディベート、ディスカッション、プレゼンテーション、司会術、小論文、クリティカル・シンキング、情報分析等。

履修上の留意点

単位よりも能力が欲しいことを参加条件とする。ほぼ毎回、何かしゃべってもらうことになる。

成績評価の方法

中間試験と期末試験、やる気、スキルの修得度等で評価する。

教科書

開講時に指定する。

参考書等

その都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔知の技法〕	伊古田 理	全学科選	4

講義のねらい

本講義は、文科系の文章技術について解説し、かつトレーニングを試みる。すなわち、あるテーマについて、文献を集め、読み、考え、そのうえで自分の考えを文章としてまとめるといった一連のプロセスについての実際のノウハウの習得を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

まず、最初に文献・資料集めのしかたについて、簡単に解説する。次にあるテーマについて異なる立場からの考察を読みこなすトレーニングを行う。そのうえでこうした読解をもとにして自分の考え、立場を文章としてまとめあげるトレーニングを行う。

履修上の留意点

以下の「成績評価の方法」でも触れてあるが、この授業は基本的に講義スタイルですすめてゆくが、それと平行して、数回のレポート課題を出す。そして、この提出したレポートを材料に授業を進めるケースも少なくない。したがって、レポート課題がこなせないという意識をもつ諸君には受講をすすめたくない。

成績評価の方法

随時課するレポート課題（問題演習＋文章要約、等々：年間10本以上はありうることを承知しておいてほしい。翌週提出厳守）のほかに、最終的に本講義で扱ったテーマに対する諸君の考えをまとめた原稿用紙20枚程度のレポート（12月最終週講義時提出）によって判定。定期試験はいっさい実施しない。

教科書

本年度は、テーマとして「道徳の理由（なぜ道徳なんでものに従って行動しなければならないのか）」をとりあげる。

教科書：大庭他著『なぜ悪いことをしてはいけないのか』（ナカニシヤ出版）

副読本：野矢茂樹『論理トレーニング』（産業図書）

参考書等

そのつど指示する。

その他

上記教科書のテーマに対する関心を予めそなえていることは、必ずしも前提しない。しかし無関心でいつづけることはできない。自分で興味をみつけてゆくつもりで授業に臨んでほしい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
科学史 〔近代科学の成立と展開〕	こみやま たかし 小宮山 隆	経営A選	4

講義のねらい

近代科学の成立およびその展開に深いかかわりをもつ「技術」のいくつかを軸に、科学と技術および社会との関連を視野に入れ、歴史を概観する。科学と技術はしばしば車の両輪にたとえられるが、新しく登場した技術が科学の進展を促すばかりでなく、阻害するケースもあり、そうした個々の事例をふまえて今日の科学技術文明を考える手がかりとしたい。
後期には、IT、バイオ、ナノテクノロジー等、現代技術の動向についても紹介する。

履修上の留意点

自然科学的な知識は特に前提としないが、それだけに講義に対する積極的な取り組みが受講の要件となる。

成績評価の方法

出席状況、レポートおよび定期試験の結果を合算して評価する。
なお、試験については、「覚える」ことを強いる必要はないと思われるので、原則として、教科書・ノート等の参照を可とする。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

講義の際に随時、指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (1) 〔人間観〕	ふる た とも あき 古田 知章	経営A選 14以降入学生/経営B選	4

講義のねらい

われわれは、社会の中で、一人の人間として、さまざまなものを「よい」あるいは「悪い」と判断しながら生活している。逆に言うと、この判断なしにわれわれは生きていくことができない。では、このような倫理的生活を送っているわれわれ人間とは何者であろうか。日常、われわれは「人間」という言葉を自明なものとして扱っている。しかし「人間とは何か」と問われたとき、さまざまな問題が浮かび上がり、簡単には解答に到達できない。西洋の思想的領域では、この問いに対して、その時代の社会的状況や思想的背景との関連のもとで、さまざまな解答が示されてきた。現代に生きるわれわれが、自らが人間であることの意味を問い直すとき、これらの諸説を一度、検討することは有意義であると考えられる。

講義の内容・授業スケジュール

西洋倫理学の代表的学説を、古代ギリシアから現代への流れに沿って時代ごとに紹介し、「人間」、あるいは、この「人間」という名称を与えられる「私」や「自己」という概念が、どのように、「行為」や「善」などのその他の倫理学の主題とともに論じられてきたのかを考察する。

成績評価の方法

二回の定期試験(中間試験、年度末試験)と平常点(出席状況、夏期レポート等)で評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』(公論社)

参考書等

講義の際にその都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (2) 〔応用倫理学〕	くろさき つよし 黒崎 剛	全学科選 14以降入学生/経営B選	4

講義のねらい

「倫理」というのは、人間が世界の中で、世界に対して振る舞う上にさいして基準とする「規範」—「価値」や「義務」、「習慣」といった—の正当性を問うものである。だから「倫理学」というのは、自分が行動するに際して自覚的・無自覚的に行っている規範が半端なものではないか、みずから検証するという課題を持っている。ところで、科学技術、そして最近の生命科学の驚異的な発展によって、私たちがこれまでまったく自明のものとなみなしていた多くの「価値」「規範」がその地位を失おうとしている。そこで、この授業では、生命科学と医療の分野でここ二、三十年の間に起った変動にともなって提起されてきた問題を取り上げる。すなわち「生命倫理」をテーマとする。

講義の内容・授業スケジュール

「生命倫理」の諸問題のうち、以下のテーマを取り上げる予定

1. 生命の倫理——講義の課題概説
2. 「インフォームド・コンセント」：自己決定の思想
3. 人工妊娠中絶
4. 安楽死と尊厳死
5. 脳死と臓器移植
6. 「生殖革命」——人工生殖の現状と問題点
7. 遺伝子操作論

履修上の留意点

課題はすべて現在進行形のものばかりなので、受講生にも起りつつある問題に絶えず嗅覚を働かせる態度を望む。

成績評価の方法

受講態度、出席、試験（レポート）、を総合評価。

教科書

教科書はプリントを使用。参考書は教場で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (3) 〔価値観〕	たきざわ まさゆき 滝沢 正之	全学科選 14以降入学生/経営B選	4

講義のねらい

現代倫理学の主要な潮流を概説する。
我々は日常、道徳的な善悪について語る。たとえば、親は子供に「それは悪いことだからしてはいけません」と言うだろう。しかし、少し反省してみると、善い悪いというものはそれほど白明ではない。
そもそも、何が善いことで何が悪いことなのだろうか。人は殺してはいけない、とよく言うが、死刑はあるし、戦争もある。
また、何かについて「善い」とか「悪い」とか述べたときに、我々は何をやっているのだろうか。少し前までは、性別や人種で差別することが当然のように行われていた。善悪は時代や場所によって変わってしまう、ただの決まりごとなのだろうか。
このように、道徳的な善悪の本性とは、実のところ、よくわからないものなのだ。そこで、善悪についての哲学的考察、すなわち倫理学が登場することになる。

講義の内容・授業スケジュール

現代倫理学の主要なトピックを体系的に紹介する。具体的には、まず、契約論、カント主義、功利主義など、規範倫理の学説を解説する。その後、道徳の本性についてのメタ倫理的な考察に移行する。

成績評価の方法

基本的に中間試験および期末試験により評価する。

教科書

久保・河谷編『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

講義中に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (4) 〔応用倫理学〕	矢野 浩 司 <small>の ひろ し</small>	全学科選	4
		14以降入学生/経営B選	

講義のねらい

倫理学は、哲学の主要な一部門であり、人間がいかに生き、何をなすべきかを探求する学問である。言い換えれば、問題の多い世界の中で生き方を模索する哲学である。われわれが自己の生き方を決めるためには、知識を習得するとともに、自分の力で考えねばならない。応用倫理学の「応用」という言葉は、理論の応用という意味ではなく、具体的な問題に参入して、意思決定のシミュレーションを行うことを意味する。この授業は、テクノロジー、医療、宗教、メディア、教育、環境破壊、テロ、人口圧、多様な価値観の共存など、さまざまな問題と向き合っ、どうすべきかを考え、自分の意見を持ち、判断を下すこと、言い換えれば、生きてゆくための知を構築することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

問題の多くはビデオで提示する。身近な問題から始めて、別の場所で起きている問題や未来に起きる問題にまで射程を広げてゆく。

成績評価の方法

中間試験と期末試験、レポート等で評価する。

教科書

開講時に指定する。

参考書等

『原典による哲学の歴史』（公論社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (5) 〔制度とモラル〕	滝口 清 栄 <small>たき ぐち きよ えい</small>	全学科選	4
		14以降入学生/経営B選	

講義のねらい

人間は古くから共同体を作り、さまざまな社会的・政治的制度を生みだしてきた。そこには時代によりあるいは地域により違いが見られるが、そこにはまた人間のよりよいあり方とよりよい社会的・政治的制度のあり方をめぐり、絶えることのない思想的な営みがあった。どのような時代にあっても人間はこの営みをやめることはなかった。私たちの社会は今どのような方向に進んでいくのか。いろいろと考えざるをえなくなっている。歴史的視野をもち以上の思想的営みをふりかえっておくことが、今日の問題を考えていく上でも大切な土台となるであろう。本講義では、西洋倫理想史のなかで古代、近代、現代からいくつかの思想をピックアップし、まず人間観の特徴をつかみ、そして人間のよりよき生活を可能にするよりよき制度をめぐり、その思案のあとを検討する。制度はもちろんそれを担うことのできる人間を必要とする。そこにはモラルの問題が関わる。時代的な違いを背景において以上の問題を検討していく。

講義の内容・授業スケジュール

こまかなスケジュールについては開講時にスケジュール表を配布する。

履修上の留意点

講義は平明を心がける。ときどき質問用紙を配るので、不明な点について質問を出してほしい。

成績評価の方法

中間テスト（10月上旬を予定）と学年末テストにより成績を評価する。

教科書

久保陽一・河谷淳編『原典による哲学の歴史』（公論社）3,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (6) 〔東洋倫理〕	すえ 末 木 恭 彦	全学科選 14以降入学生/経営B選	4

講義のねらい

漢文古典はすべて「倫理」学と言っても過言ではない。それらを産み出した人々の主要な関心は、人と人の中で如何に生きるかにあった。従って、漢文古典を考えれば、自ずと倫理学となる。又、漢文古典が示す人の生き方は、東アジアの人々に等しく人生の指針であった。先人の積みあげた歴史の上に我々はいる。漢文古典の世界を知るとは、決して他人事ではなく、我々の心の奥底を知ることである。これを知ることは、我々の未来の生き方を開くことにもなる。この様な重要な意味を担う我々先人達の人生の思想を問い直し、そこから未来の手掛りを掴む—ここにこの講義の目標はある。

講義の内容・授業スケジュール

今年度は、東洋古典の智慧がどれだけ現代の問題を考えるのに役立つか検討を試みたい。環境倫理—環境問題にいかに対処してゆくかという問題を取り挙げ、この問題に東洋の智慧がどのように光を投げかけるかを見てみたい。教科書は、この様な問題意識に基づいて開かれたシンポジウムの報告論文集である。講義は、教科書に収められた論文の中から講師が重要と考える論文を選び、順次読み進めながら考察を深めてゆく。

履修上の留意点

ノートは確実にとること。

成績評価の方法

基本は年二回以上の試験あるいはレポートにより判断する。それに、出席状況・受講への積極性（質問の有無—質問は原則書面で提出して貰う）などを加味して最終的な成績をつける。

教科書

『東洋的環境思想の現代的意義』（農山漁村文化協会）

参考書等

講義中に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗教学 (1) 〔比較宗教文化〕	いけ 池 上 良 正	全学科選 14以降入学生/経営B選	4

講義のねらい

宗教学という学問は、そもそもの出発点から比較宗教学という性格をもっていた。そこでは「ひとつの宗教しか知らない者は、いかなる宗教をも知らない」（マックス・ミュラー）という信念が前提になっていた。「国際化」が進む今日の世界において、異なる社会に育った人々の生活の基盤を形づくってきた宗教文化の相互理解は、ますます重要な課題となっている。本講義では、宗教学の基本的な視点を紹介しながら、いくつかの具体的な研究成果を学ぶことにする。

講義の内容・授業スケジュール

大きなテーマとして、次の三つを考えている。①近代宗教学の成立とその意義。②宗教の比較類型論の試み。③民俗・民衆宗教研究の展開。

成績評価の方法

年度末に筆記試験。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
宗 教 学 (2) 〔聖と俗〕	たなか のこ 田 中 かの子	全学科選 14以降入学生/経営B選	4

講義のねらい

ありのままの世界には「聖」も「俗」もなく、あるがままに続けられてゆくその営みがみられるばかりである。そこにあえて「聖と俗」という対立概念をみるのは、人間に固有の宗教的価値観がはたらいっているからにはかならない。「聖」と「俗」にいかなる内容を盛るかは、神の啓示や仏の理法、あるいは大自然の威力など、信仰対象の特質によって多様化する。それはあたかも諸宗教間の相違を生むものであるかのようにみえる。しかし「聖と俗」の観念が生活のなかで活かされる時、それは、無力にして至らぬ自己を「不浄から清浄」「苦しみから救い」「罪から改竄」へのプロセスに向かわせるという、どの宗教にとっても重要な、ひいては日々新たに生まれかわろうと欲する人間に共通の問題となる。本講では、現代に生きる諸宗教の信奉者たちと「聖なるもの」との関わりを実際の見聞にもとづいて解説し、各宗教の特殊性よりは普遍性について講じてゆく。それにより、本来は聖俗不分の如実なる世界に立ち返り、日常の大切さ、いのちの尊さに思い到ることをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、Ⅰ. 宗教学の基本的立場、Ⅱ. 原始時代の宗教、Ⅲ. 一宗教の諸相、多宗教の比較、Ⅳ. 諸宗教の構成要素一覧、Ⅴ. 聖なる母性の比較美術、Ⅵ. 仏陀とキリスト、後期は、Ⅶ. ゴアスター教、ユダヤ教、キリスト教、イスラーム、シーク教、ヒンドゥー教、ジャイナ教、仏教、儒教、道教、神道の歴史・思想・文化について解説する。

履修上の留意点

講義を聴き、板書を写すにとどまらず、その過程で考えたことをノートに取り、独創性や文章力を養うのに役立てよう。

成績評価の方法

各自の創意工夫と知識の応用力を問う論述式の学年末試験、レポート、出席状況。

教 科 書

プリントを配布する。

参 考 書 等

「いのち」を尊ぶ書物ならどれでも。

そ の 他

講義担当者の現地調査によるスライドと録音テープを活用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 (3) 〔思想と儀礼〕	お <small>がわ</small> 川 <small>とし</small> 順 <small>ゆき</small> 敬	全学科選 14以降入学生/経営B選	4

講義のねらい

人間の“宗教行動”を理解することはなかなか困難な作業です。目に見えぬものに語りかけたり、その声に耳をそばだてたり、時としてその声を代弁したりすることを一体どのように分かれれば良いと言うのでしょうか。祈りやお告げといった“宗教行動”は、信仰を持たぬものにとっては全く理解不可能な事なののでしょうか。宗教学は、そういった行動を信仰者の立場からではなく、“人間の行動”として、その背後の考え方を探ることによって理解しようと努めてきました。

この講義では、宗教学の立場から儀礼（宗教行動）とその思想について考えていこうと思います。一見、不可解な行動に見えても、その背後の思想を知ることによって、宗教行動の意味をいささかでも理解する端緒が開かれるはずです。

講義の内容・授業スケジュール

まず最初に、宗教学の基本的な考え方や方法論、いくつかの基本概念などを具体事例にそって概説、紹介します。この際、儀礼に関する議論や理論を、宗教学や宗教人類学、あるいはもう少し広く社会科学や人文学の中から紹介する予定です。ついで、様々な儀礼の諸相を具体例をあげて紹介し、その事例の検討を通して、思想や世界観、神話との関係について考えてゆくことにしたいと考えています。

成績評価の方法

評価はレポートと年度末の筆記試験により行います。夏期休暇前にレポート課題を出します。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教科書

未定。授業開始後、紹介します。

参考書等

講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 (4) 〔組織と運動〕	あ <small>らい</small> 洗 <small>けん</small> 建	全学科選 14以降入学生/経営B選	4

講義のねらい

宗教学は、宗教現象の実証的研究を通じて宗教の客観的理解を目指す学問である。宗教現象は、文化、社会、個人の人格などの各次元にわたって展開するが、この講義では宗教の社会的展開を中心に考察する。宗教は個人の内面において、単なる知識としてではなく、情意的にも真実として把握された世界認識である。しかし、それはまったく個人的な信念にとどまるものではなく、多くの人々に共有された文化として存在する。そして宗教を共有する人々は、集団を作り、共に礼拝その他の宗教的実践をするのが一般的である。そこに社会現象としての宗教の問題が生じる。社会現象としての宗教には、どのような集団が形成されるのかという、集団内部の組織の問題と、宗教集団の活動が、外部の一般社会とどのような関係を生じるのかという宗教運動の問題とがある。これらの問題を事実にして考察し、宗教現象の理解を目指したい。

講義の内容・授業スケジュール

わが国の宗教伝統を形成する神道、仏教、儒教など、なかでもその基層をなしている神道的なるものが、わが国の社会や文化の形成に、いかにかかわっているのかを考察したい。

履修上の留意点

受講者の人数にもよるが、事実を覚えることより、問題を理解し共に考えることを目指したいと思っているので、とにかく出席して受講して貰いたい。原則として出席をとる。

成績評価の方法

定期試験と、出席点を総合評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

随時、紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学 (1) 〔風土と文化〕	たけばし かず ひこ 竹 林 和 彦	経営A選	4

講義のねらい

人文地理学の基本的概念や思考対象について、具体的な事例を取り上げながら検討してゆく。特に本講義のサブテーマである「風土と文化」について、文化地理学的アプローチを紹介しながら検討していく。講義でアジアを主に取り上げていくが、適宜ヨーロッパ・アメリカ等の地域と比較検討する。講義は、スライドやOHP等を使用し、事例として取り上げる地域を具体的にイメージできるように進める。

講義の内容・授業スケジュール

1. ガイダンス
2. 人文地理学の学問的性格
3. 人文地理学の基本概念
4. 人文地理学の思考対象とその方法
5. 人文地理学と地誌学
6. 地理学にとって文化とは何か？
7. 地域とは（地域の概念）
8. 文化地域
9. 文化生態～主に人間と自然環境のかかわり～
10. 文化景観
11. 文化伝播
12. 東南アジアの風土と文化
13. 東アジアの風土と文化
14. 市場の風景
15. 都市での居住（都市の文化）
16. 都市と農村
17. まとめ

履修上の留意点

授業には必ず地図帳（中学・高校で使用したものでもよい）を持参すること。

成績評価の方法

定期試験 80%、平常点 20%

教科書

特に指定しない。必要に応じて講義中に指示する。

参考書等

特になし。必要に応じて講義中にプリントにて配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学 (2) 〔風土と文化〕	たか はし けんたろう 高 橋 健太郎	経営A選	4

講義のねらい

文化や風土などを地域社会と関連づけて理解するという、人文地理学の基本概念について理解を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

全体的には、自分の生活、または異文化について考える際に、空間的側面からの視点がいかに重要であるかということについて検討する。具体的には、講義内容として以下の項目を予定している。①人文地理学の位置づけ、②文化領域、③文化伝播、④文化生態、⑤文化景観、⑥認知地図、⑦風土、⑧生活様式、⑨居住、⑩風水、⑪言語、⑫民族、⑬宗教・巡礼、⑭観光、⑮ジェンダー、⑯中国。

履修上の留意点

講義内容についての理解の程度を把握するため、また一部を講義の資料として使用するため、頻繁に、教場にてレポートを作成し、提出してもらう。

成績評価の方法

評価は、定期試験の結果にレポートの提出状況を加味して採点する。

教科書

使用しない。授業時にプリントを配布する。

参考書等

高校で使用した地図帳を持参のこと。その他、参考書については、適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学(3) 〔空間と行動〕	やまぐち たろう 山口太郎	経営A選	4

講義のねらい

空間（本講義では主に都市空間を取り上げる）における実践のなかで、人文地理学的知を通じて、人文地理学的事象を見出し、あるいは感じ、理解することを目的とする。空間に生きる人々や、その空間に関係する他者（特に観察者）の行動や振舞い方を理解し、考えることに主軸をおく。

具体的には1年間かけて、以下の3点について習得してほしい。

- 1) 都市（事例として主に東京を対象とする）を観察し、記録するメソッド
- 2) 人文地理学の研究手法のうち、特に知覚、行動に関する研究手法
- 3) 空間を理解する方法のひとつとしての景観観察法と、空間における実践としてのまちづくりの事例（国内各地の事例を紹介する）

講義の内容・授業スケジュール

- I インTRODクシヨン
- II 都市を観察し、記録するメソッド
 1. 先達により観察され、記録された東京
例) 小田内通敏、今和次郎、石井實、川本三郎、陣内秀信、路上観察学会、泉麻人、三浦展
 2. 人文地理学における研究手法
時間地理学、認知地図、近代歴史地理学的史料分析、テキスト分析、居住環境評価、フィールドワーク
- III 景観論の系譜と観察方法
 1. 景観行政の系譜
 2. 景観の考え方
 3. 景観観察方法
- IV まちづくり実践の事例紹介
 1. 歴史的町並みの事例
 2. 市街地再開発の事例
 3. 現在のまちづくりの潮流

履修上の留意点

出席はとらないが、理解度や要望等を把握するため、不定期に小レポートを課することがある。

成績評価の方法

前期、後期に行う試験によって評価する。

教科書

特に使用しない。

参考書等

講義中に随時紹介していくが、さしあたり以下の文献を挙げておく。
エドワード、レルフ著（高野・神谷・岩瀬訳）『都市景観の20世紀』（筑摩書房）
田島則行・久野紀光・納村信之編『都市／建築フィールドワークメソッド』（INAX 出版）

その他

地理的知識を取り扱う学問は、現在狭義の地理学のみではない。そのため本講義では隣接分野の研究成果も多く取り上げる。広く都市論に興味を持って欲しい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学 (4) 〔空間と行動〕	伊藤 修一 いとう しゅういち	経営A選	4

講義のねらい 日常生活の身近な事象の中にも、規則性や一般性が認められることが少なくない。このような事象を地理学ではどのように捉えているのだろうか？講義では、それらを人文地理学の研究成果を踏まえて紹介する。地理学の基本的な理論や考え方についての解説を通して、空間的な見方や考え方の理解を深めることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール 特に都市の人文社会的事象に関して、都市と人間活動の相互作用に注目して概説する。前期には、都市空間とその変容についてみていく。具体的には、(1) 都市の分布と立地、(2) 都市システムと都市機能の変化、(3) 都市構造の変化、(4) 都市の生活環境と行動、後期には、おもにその変容のメカニズムをみる。具体的には、(1) 人口変動と分布・人口移動、(2) グローバル化、(3) 産業立地・モビリティ、(4) 都市空間における知覚・認知、といったテーマを予定している。

履修上の留意点 講義では簡単な数式を用いることがある。

成績評価の方法 出席状況と試験の結果から評価する。

教科書 特に指定しない。

参考書等 文献などについては適宜講義のなかで紹介する。
なお、高校で使用したものなどでかまわないが、地図帳を準備することが望ましい。

その他 原則として、授業は講義形式で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育の思想 (前期)	伊藤 茂樹 いとう しげき	経営A 2選 12以降入学生/経営B 2選	2

講義のねらい 私たちが今日知っている学校教育という営みは、近代という時代の到来とともに出現した制度であり、また近代社会を成り立たせる不可欠の制度でもある。この「公教育」のバックボーンとなった思想、歴史的経緯、その特色や社会的帰納について概観し、今日の教育やそれが直面する諸問題について考えるための手がかりを探索する。

講義の内容・授業スケジュール とりあげるテーマ群として以下のようなことがらを予定している。
・近代社会と教育
・学校という場

履修上の留意点 自分が通ってきた学校やそこで受けてきた教育について、批判的に再考する姿勢を求める。

成績評価の方法 学期末試験により評価する。

教科書 教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

その他 この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。
この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育の思想 (前期)	坂本信昭 <small>さかもと のぶあき</small>	経営A2選	2
		12以降入学生/経営B2選	

講義のねらい

民主主義的教育思想はルソー、ペスタロッチ、フレーベル、エレン・ケイ、デューイなど多くの思想家によって生み出され、継承されて今日に至り、教育思想と実践の面で多様な展開を示した。

20世紀の教育思想を生み出し、継承することに貢献した思想家たちの教育思想・教育目的を概観することを手初めに、次のようなテーマを取り上げて進める。

- ・教育の理想と目的
- ・わが国の教育目的
- ・現代・社会の変化と教育目的
- ・その他

履修上の留意点

授業の出欠は厳密にとる。

成績評価の方法

課題レポート、自主レポート、試験、出席等により総合的に評価する。

教科書

西村絢子他著『現代教育を考える』（昭和堂）2,600円

参考書等

デューイ著『学校と社会』（岩波文庫）410円

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育と社会 (後期)	伊藤茂樹 <small>いとう しげき</small>	経営A2選	2
		12以降入学生/経営B2選	

講義のねらい

学校教育という営みは社会のあり方や他の諸領域に広く影響されると同時に、社会に影響を及ぼす関係にある。また一方で、学校という場もひとつの社会を形成している。こうした観点から、現代社会における学校教育が直面している諸問題や、これからの時代に学校教育が向かおうとしている方向性について、多面的に考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

とりあげるテーマ群として以下のようなことがらを予定している。

- ・現代の教育問題
- ・教育改革の現在

履修上の留意点

ふだんから教育に関するニュースに気をつけ、自分なりに考えることを心がける。

成績評価の方法

学期末試験により評価する。

教科書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育と社会 (後期)	さかのぼりのぶあき 坂本信昭	経営A 2選	2
		12以降入学生/経営B 2選	

講義のねらい

人間の社会に余暇をもつ少数の人々が生まれたときに学校は生まれた。いわば余暇とともに学校は生まれたのである。もし余暇がすべての人々のものとなるとき、それは、社会そのものが全体として学習と教育の場所、つまり学校になるときであるかも知れない。

講義で取り上げるテーマとしては、次のようなものを考えている。

- ・学校教育のあゆみ
- ・学校の社会的機能
- ・学校教育の現実と課題
- ・その他

履修上の留意点

授業の出欠は厳密にとる。

成績評価の方法

課題レポート、自主レポート、試験、出席等により総合的に評価する。

教科書

西村絢子他著『現代教育を考える』（昭和堂）2,600円

参考書等

デューイ著『学校と社会』（岩波文庫）410円

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
発達と学習の心理学 (前期)	おおはま 大 浜 幾久子	経営A 2選	2
		12以降入学生/経営B 2選	

講義のねらい

子どもが大人になる過程を20世紀の心理学は、どのようにとりあげ、また解明しようとしてきたのだろうか。他の諸学問分野が心理学の成立に果たしてきた役割にも言及しつつ、次のような基本的な問題をめぐる諸研究を学んでいく。その際、基礎的な心理学実験の実習も試みたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 発達と学習は、どのように定義され、また両者の関係はどのように説明されるのか。
- 2) 知能の発達と情意の発達は、どのような関係にあるのか。
- 3) 障害をも含む発達および学習における個人差を、どのようにとりあげ得るのか。

成績評価の方法

レポート提出を中心とした評価の予定である。

教科書

参考資料等については、必要に応じて準備、指示していく。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育心理学（教育方法論を含む）」あるいは「青年心理学（教育方法論を含む）」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
発達と学習の心理学 (前期)	かわ だ みつ お 夫	経営A 2選	2
		12以降入学生/経営B 2選	

講義のねらい

- 1) 子供の成長・発達の概要を理解する。
- 2) 学習心理学の基本的な事項を理解する。
- 3) 発達に影響を与える広義の環境の問題について考える。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1) ガイダンス、発達や学習をめぐる現状と問題点
- 2) 発達や学習の理論、乳児期・幼児期の発達の特徴と留意点
- 3) 児童期の発達の特徴と留意点
- 4) 青年期の発達の特徴と留意点
- 5) 青年後期・成人期の発達の特徴と留意点
- 6) 人格の発達と問題点
- 7) 社会性の発達と問題点
- 8) 情緒や性意識の発達と問題点
- 9) 交友・対人関係の発達と問題点
- 10) 若者文化や社会風俗の歴史的変遷と現状の問題点
- 11) 青少年の非行等の問題行動
- 12) 人格障害、情緒障害、神経症的な問題行動等
- 13) 学校生活をめぐる諸問題
- 14) 試験

履修上の留意点

- 1) 教科書は指定せずレジメ、資料等を配布し講義を行う。
- 2) 板書を少なくして、学生自身がノートを取るようにさせている。
- 3) 日頃から努力して言葉や文章力を高めてほしいと思っている。

成績評価の方法

- 1) 学期末に定期試験を行う。
- 2) それ以外にも不定期に小試験（論述、レポート）を行うことがある。
- 3) 授業の際に口頭試問や提出物もあり、評価の際に考慮される。
- 4) 以上の合計得点で所定の基準に従い評価される。

教科書

ない。

参考書等

参考文献は授業中に適宜紹介する。

その他

- 1) 授業の方法は講義が中心だが、毎回何らかの形でいろいろ質問される。
- 2) 現実を見聞しながら色々なことを考えてほしいと思っている。
この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。
この科目は、平成11年度までに「教育心理学（教育方法論を含む）」あるいは「青年心理学（教育方法論を含む）」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
発達と学習の心理学 (前期)	やまもとまさひと 山本政人	経営A 2選	2
		12以降入学生/経営B 2選	

講義のねらい

児童・生徒の発達と学習のメカニズム、およびそれらへの援助、指導のあり方について、教育心理学の見地から概説する。

講義の内容・授業スケジュール

- ①発達とは何か
- ②発達の要因
- ③発達理論
- ④人格発達
- ⑤認知発達
- ⑥学習理論
- ⑦学習の要因
- ⑧発達と学習
- ⑨発達と教育
- ⑩発達・学習と臨床

履修上の留意点

不定期に小レポートを課すことがある。

成績評価の方法

学期末試験の成績に小レポートの成績を加味して行う。

その他

講義形式で行う。教科書は指定しない。参考書は授業で紹介する。授業で資料を配布することがある。

この科目は、平成11年度までに「教育心理学（教育方法論を含む）」あるいは「青年心理学（教育方法論を含む）」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
カリキュラムと学習 (後期)	おおはまきくこ 大浜幾久子	経営A 2選	2
		12以降入学生/経営B 2選	

講義のねらい

はじめに、学生自身が学んできた小学校、中学校、高等学校における教育課程がどのように編成されていたのかを、当該の学習指導要領により考える。次に、新しい教育課程を学び、その背景にある基本的考え方について考察していく。とくに教科・科目等の具体的内容の削減や再編については、子どもの発達と学習の観点からの考察を深めたい。さらに、諸外国における学習課程の歴史や編成原理について、異文化間教育学的な観点から検討を試みる。その際、潜在的カリキュラムにも注目することとする。

成績評価の方法

レポート提出を中心とした評価の予定である。

参考書等

『(小学校・中学校・高等学校) 学習指導要領』文部科学省
その他の参考資料については、必要に応じて準備、指示していく。

その他

前期に、「発達と学習の心理学」を履修することを原則とします。
この科目は、平成11年度以前入学者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
カリキュラムと学習 (後期)	かわだみつお夫 川田三夫	経営A2選	2
		12以降入学生/経営B2選	

講義のねらい

- 1) 教授-学習過程に関わる基本的な事項を学習する。
- 2) 教育目標、教育課程を中心に学習活動の効果的な展開について考える。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1) ガイダンス、発達と学習（教育）をめぐる現状と問題点
- 2) 発達と学習
- 3) 学習理論の基本と応用
- 4) 教育学・教育心理学の基本と応用
- 5) 教育理論や方法の歴史の変遷、現状と課題
- 6) 教育目標
- 7) 教育課程（学校教育の基本について）
- 8) 教授-学習過程（学習指導、学級集団、生徒指導）
- 9) 教育評価の歴史の変遷、現状と課題
- 10) 学習指導要領（改訂の歴史、『学校教育法』、『学校教育法施行規則』等）
- 11) 総合的学習、職業教育、生涯学習、障害児教育
- 12) 学校、教師、生徒の諸問題（授業時間、教科書、教科書検定、等）
- 13) その他（教員養成、教員採用の問題、教育制度・教育行政等の問題、等）
- 14) 試験

履修上の留意点

- 1) 教科書は指定せずレジメ、資料等を配布し講義を行う。
- 2) 板書を少なくして、学生自身がノートを取るようになっている。
- 3) 日頃から努力して言葉や文章力を高めてほしいと思っている。

成績評価の方法

- 1) 学期末に定期試験を行う。
- 2) それ以外にも不定期に小試験（論述、レポート）を行うことがある。
- 3) 授業の際に口頭試問や提出物もあり、評価の際に考慮される。
- 4) 以上の合計得点で所定の基準に従い評価される。

教科書

ない。

参考書等

参考文献は授業中に適宜紹介する。

その他

- 1) 授業の方法は講義が中心だが、毎回何らかの形でいろいろ質問される。
- 2) 現実を見聞しながら色々なことを考えてほしいと思っている。
前期に、「発達と学習の心理学」を履修することを原則とします。この科目は、平成11年度以前入学者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
カリキュラムと学習 (後期)	やまもとまさと 山本政人	経営A 2選	2
		12以降入学生/経営B 2選	

講義のねらい

児童・生徒の学習のメカニズムを踏まえ、学習指導とカリキュラムのあり方、学習の評価、学習の障害とその指導、教育相談等について概説する。

講義の内容・
授業スケジュール

- ①学習のメカニズム
- ②学習と動機づけ
- ③学習方法
- ④学習の評価
- ⑤学習の障害と指導
- ⑥不応の心理と教育
- ⑦教育相談
- ⑧学級集団
- ⑨カリキュラムと学習
- ⑩教師の役割

履修上の留意点

不定期に小レポートを課すことがある。

成績評価の方法

学期末試験の成績に小レポートの成績を加味して行う。

そ の 他

講義形式を中心とするが、可能ならば討論を行いたい。教科書は指定しない。参考書は授業で紹介する。授業で資料を配布することがある。前期に「発達と学習の心理学」を履修することを原則とします。この科目は、平成11年度以前入学者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学 〔現代文化を考える〕	かな 金 ざわ 澤 とも 朋 ひろ 広	経営A選 14以降入学生/経営B選	4

講義のねらい

現代社会と文化についていくつかの事例を扱いながら、社会学における基本的な考え方に対する理解を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

「現代文化」を取り巻く状況を医療・福祉・組織・情報の分野での題材を、「社会学」というフィルターを通して考えていく。社会学の基本的な考え方を学びながら、これまでとは違ったものの見方を身につけられるようにしていく。

成績評価の方法

講義の中で扱った内容について学年末に行う試験によって評価する。

教科書

開講時に指定。

参考書等

講義時に指定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
統計学 〔社会現象の統計的決定〕	しんぎょうち 新行内 こう 康 し 慈	経営A選 14以降入学生/経営B選	4

講義のねらい

統計学は、観測値からその源泉の特徴や傾向を明らかにして結論を導き出す道具で、経営・経済をはじめとする社会現象の解析、意志決定など幅広い分野で活用されています。本講義は統計学の入門として、基本的な考え方と諸手法を現実の問題を引用しながら平易に解説することをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

①記述統計②標本空間と確率③確率変数と確率分布④母集団と標本⑤推定⑥検定⑦相関⑧回帰

履修上の留意点

統計学は積み重ねが要求される分野です。継続して出席していくことが大切です。

成績評価の方法

出席・課題・試験を総合して評価します。

教科書

必要に応じてプリントを配布します。

参考書等

必要に応じて適時紹介します。

その他

配布資料に基づき、例題を交えて講義し、さらに理解を深めて実際に活用できるようにするため、適時課題演習を実施します。また、期末試験も実施します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化人類学 〔文化と人間〕	さとうのりあき 佐藤憲昭	経営A選	4
		14以降入学生/経営B選	

講義のねらい

文化人類学は、日本を含む世界のさまざまな民族の文化や社会について比較研究する学問である。そしてその営為を通して「人間とは何か」という問題に答えようとするものである。国際化時代が到来している現在、異文化を理解することは必須の事柄といえよう。異文化の理解はまた自文化の理解を深めることでもある。こうした問題意識から、この講座では、内外の事例をできるだけ多く取り上げて、分析・比較・考察を行い、文化を通して人間理解の可能性を探ってみたい。

講義の内容・授業スケジュール

かつて、狼に育てられた二人の少女がインドで発見されたことがあった。狼に育てられた子供たちと、人間に育てられた子供たちとを比較してみると、文化を所有している人間の特質が浮き彫りにされてくる。わかりやすい事例を取り上げて、文化と人間とのとの関係をさまざまな角度から考える。

つぎに、文化人類学の学問的特徴、対象、方法、歴史などについて具体的に解説し、さらに、家族、婚姻、親族、呪術-宗教的な観念や行動などの問題を取り上げて、「人間とは何か」という問題に接近してみたい。

履修上の留意点

抜き打ち的に出席をとるので、欠席をした場合（または欠席をする場合）には、欠席届（形式は任意）を提出することが望ましい。

成績評価の方法

学年末の筆記試験で評価する。合格の基準は、講義内容を踏まえて、みずからの言葉でどのように論じているかという点にある。不合格の場合には、レポート点（4年生のみ該当）と出席点を加算して最終評価を行う。

4年生のみ提出のレポートは、次の通り。【課題】文化人類学に関する書物を読み、その感想文を作成する。【枚数】400字詰原稿用紙で5枚。【提出先と時期】授業時に随時受けつける。ただし授業時以外は受理しない。【その他】表紙（科目名・担当教員名・題目・学部・学科・学年・番号・氏名を記載）をつけること。4年生は必ず提出のこと。

教科書

村武精一・佐々木宏幹編『文化人類学』有斐閣Sシリーズ（有斐閣）

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化人類学 〔諸民族とコスモロジー〕	すずき いっけい 鈴 木 一 馨	経営A選 14以降入学生/経営B選	4

講義のねらい

文化人類学は、人類を人類としている「文化」というものを、いろいろな方向から検討し、さまざまな文化の姿と、その本質を明らかにし、「人類とはなにか」を問う学問である。
この講義では、コスモロジーというものをどのように理解したらよいかを具体的な事例によって学び、同時に文化人類学のもの考え方を習得していく。それは自分を取巻く文化の形や、自分の所属する文化（集団）を理解することであり、国際化する現代社会の中で、これから出会うであろう異文化と上手に付き合う術を学ぶことでもある。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1部、「文化人類学」の基礎的知識
I. 「文化」と「文化人類学」/II. 「民族」とはなにか
第2部、民族とコスモロジー
I. 「コスモロジー」とはなにか/II. さまざまなコスモロジー
第3部、「風水」のコスモロジーとひとびと
I. 風水をつくる要素/II. 風水と人間社会

履修上の留意点

この講義では学生諸君の積極性を重視する。授業中の質問に答えたり、授業後の不明な点の質問、レポート提出（任意）など、積極的な姿勢を見せてほしい。また、出席には特に厳しくし、出席カードの代筆や代出は厳禁とする。

成績評価の方法

出欠状況・期末試験・小テスト・受講態度など、評価につながるものは全て考慮する。

参考書等

祖父江孝男『文化人類学入門（増補改訂版）』（中公新書 560）
佐々木宏幹『神と仏と日本人』（吉川弘文館）
国立歴史民俗博物館編『異界談義』（角川書店）

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と社会生活〕	けい とく ひろ とう 鷄 徳 啓 登	経営A選 14以降入学生/経営B選	4

講義のねらい

よく「社会あるところ法あり」といわれる。その社会にある法とは何かを研究するのが法学であり、根本的理念、法の目的などを研究する。また、憲法は国家の基本法として他の法令の根幹をなすものであり非常に重要な法である。そして、憲法制定後50年経過した現代に至って国内的、国内的に、社会情勢の変化に伴う新しい問題が生じてきている。本講義は、これら諸問題を法的に把握し、結論を出し得るようになることをねらいとする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 法学の講義は次の内容を中心として行う。
(1) 社会生活と法 (2) 法の意義・効力 (3) 法規範と他の社会規範との差異
(4) 法の分類と解釈の方法 (5) 市民法の概論 (6) 刑事法の概論
(7) 法と裁判
憲法の講義は、次の内容を中心として行う。
(1) 憲法の意義 (2) 憲法の種類 (3) 明治憲法の原則と特質
(4) 現憲法の原則 基本的人権の主体 (5) 基本的人権の分類
(6) 各種基本的人権の内容 (7) 国会の仕組みとその作用 行政機関の仕組みとその作用
(8) 裁判所の仕組みとその作用 (9) 地方自治

成績評価の方法

出席状況と試験による。

教科書

小林弘人・松村格編著『法学・憲法』（八千代出版）3,500円

参考書等

『小六法』または『ポケット型小六法』（出版社・定価各種）及び参考書は教場にて説明致します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と権利〕	ぬま た まさ ゆき 沼 田 雅 之	経営A選	4
		14以降入学生/経営B選	

講義のねらい

この講義のねらいは、今の社会を「法」という道具を通して見る訓練をおこなうことにあります。ですから、本講義以前に私がみなさんに求める能力は、今の時代の「風」を敏感に感じることができる能力です。それには「想像力」が大切です。それまでに培ってきた「教養」をフルに活用してもらいたいと思います。前期は、「民法法」を中心にして今の社会を見ていきます。「自動販売機で缶ジュースを買う」という行為も法的に見れば「契約」です。そして民法法とは、契約関係を中心とする「人」と「人」の関係を扱う法分野です。みなさんが想像しやすいように、この私的関係の問題から講義をはじめます。後期は、「刑法法」を中心に、新たな法の課題などについても取り上げる予定です。

法は、「黒」か「白」かの区別をつける作業であるという側面は否定しがたいですが、社会の高度な発展にともなって、「黒」と「白」の隙間をどのように考えるかがとても大切な作業になっています。ですから、決して単純な学問ではないことは、覚悟しておいてください。

そうはいつても、決して難解なばかりの学問ではありませんから、気楽な気持ちで受講していただきたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

基本的には講義形式ですめるつもりです。ただし、担当教員としてはインタラクティブな講義を目指しているので、場合によっては発言を求めることがありますが、その際には間違いを気にせず遠慮なく発言してもらいたいと考えています。

講義のスケジュールは下記の通りです。

(前期)

1. ガイダンス
2. 法の考える「自由」について
3. 「約束」と「契約」の違い
4. 「規制」について考える
5. 「自己決定」や「自己責任」の話
6. 自由な取引とその規制
7. 社会保障制度について考える (社会権)
8. 消費者の保護と新たな流れ
9. 診療と情報の開示・プライバシー

(後期)

1. 表現の自由と規制
2. 人身の自由と「罪」と「罰」
3. 映画「12人の怒れる男」と陪審制
4. 日本の紛争処理システムと司法制度改革の行方
5. 国際社会と法
6. インターネット社会と知的財産権の保護
7. 人間の生・死と法
8. 平等社会の実現

前期・後期を通して、習熟度によって適宜調整しながらすすめます。また、一つ一つをゆっくりと解説するつもりです。

履修上の留意点

留意点は特にありませんが、感想・要望、また法学を履修する上での疑問点など、みなさんの意見には率直に耳を傾けますので、講義中、講義終了後を問わず、積極的に意見を言ってもらいたいと考えています。

成績評価の方法

基本的に後期試験(筆記)のみで評価します。出席はとりません。なお、向学心のある学生、または後期試験だけでは不安な学生向けに、任意提出のレポート課題を出す場合もあります。この場合、そのレポートの得点は後期試験に加点いたします。

教科書

教科書は特に指定せず、レジュメを配布いたします。ただし、最新版の六法は用意してください(何でもいい)。

参考書等

講義中に適宜指示いたします。

その他

レジュメは何度も配布いたしませんので、入手できなかった方は、友人等で融通しあってください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と権利〕(夏季集中)	にし 西	全学科選 14以降入学生/経営B選	4

講義のねらい

何年か前に発表された日米教育比較に関する米側専門家の報告書によると、日本の大学教育は完全に失敗していると診断しています。「授業は貧弱で、大学生はいたって不勉強」というのがその結論です。日本の大学改革が叫ばれているいま、このような診断が誤りであることを証明する必要があると思います。

私は、次のような授業方針でのぞみますので、了解されたい。

- ① 私の教師になってからのモットーは「授業は休まず、遅く始めず、早く終わらず」というものです。したがって、受講者諸君は講義には必ず出席し、かつ授業時間に遅れないように。
 - ② あらかじめ講義計画（シラバス）を立て、その計画にそって授業を進めます。この講義計画は別に配布しますが、キーポイントと参考文献が示してあるので、理想的には予習・復習するのが望ましい。
 - ③ 授業中の私語・遅刻は、他人の迷惑になるので、絶対に慎んでほしい。
 - ④ 成績は平常点を重視。私が独自に作成した出席カードを利用し（質問欄あり）、双方向性を大切にした授業内容にします。
 - ⑤ 授業内容は、コピーの配布、ビデオ、スライド、OHPなどの活用をはかり、できるかぎり理解を容易にするよう工夫をこらします。
- 要するに、講義内容を生き活きたものにし、受講者から知的関心を引き出し、知的満足感をもって終了するというのが、最大のねらいです。

講義の内容・
授業スケジュール

本講義は「法学・憲法」という二つの標題になっていますが、「法と人権」を主たるテーマにしたいと思っています。日本国憲法のみならず、世界を視野において幅広い視点から考察をこころみます。日本国憲法における人権については、判例を中心に検討したいと考えています。取り扱うおもなテーマは、つぎのとおり。

- ① 「法と人権」を学ぶにあたって
- ② 人権の生成と発展（国際的視野にたつて）
- ③ 国民主権の意味
- ④ 平和と人権
- ⑤ 日本国憲法第3章における人権の意味と限界（法の下での平等、参政権、精神的自由、経済的自由、社会権など）
- ⑥ 西洋における人権観とアジアにおける人権観
- ⑦ 社会主義諸国における人権
- ⑧ イスラム諸国における人権
- ⑨ 「共生の権利」を求めて

成績評価の方法

成績評価の目安は、おおむね以下のとおり。
前期試験 30%、後期試験 40%、出席・レポート 30%

その他

開講時に指示。

授業日程

前半		1	2	3	4	5	6	後半		1	2	3	4	5	6
8月1日	金	○	○	○	○	○		8月20日	水						
8月4日	月	○	○	○	○	○		8月21日	木						
8月5日	火	○	○	○	○	○		8月22日	金						
8月6日	水	○	○	○	○	○		8月25日	月						
8月7日	木	○	○	○	○	○		8月26日	火						
8月8日	金	○	○	○	○	○		8月27日	水	△	△	△	△	△	

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単位
政治学 〔社会生活とデモクラシー〕	おおやま 大山礼子	経営A選	4
		14以降入学生/経営B選	

講義のねらい

この講義の目的は、一人一人が良き有権者として、選挙での投票をはじめとするさまざまな機会に政治と適切に関わっていくための基礎づくりにある。政治学の基本的な知識を身につけることによって、マスメディアの政治報道を鵜呑みにせず、自分自身で考える力を養っていただきたい。

講義の内容・授業スケジュール

基本的には教科書の順序にしたがって講義を進めるが、そのときどきの時事的な問題も扱う。わかりやすい教科書なので、必ず事前の一読し、予習しておくこと。また、一方的に講義を聴くだけでなく、毎回、感想や簡単なレポートなどの提出を求めるので、積極的な参加を期待する。

履修上の留意点

新聞の政治面に目をとおす習慣をつけること。

成績評価の方法

定期試験を中心に、レポートや小テストの結果を加味して評価する。

教科書

真淵勝、久米郁男、北山俊哉『はじめて出会う政治学』（有斐閣アルマ）（新版が刊行される予定なので、そちらを入手すること）

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会科学論 〔社会認識の思想〕	おお しい ゆう じ 爾 大 石 雄 爾	経営A選	4
		14以降入学生/経営B選	

講義のねらい

私たちをとりまく社会はめまぐるしく変化しています。日本はいまだに「複合不況」とよばれる深刻な経済スランプから抜け出していません。近年、危機に見まわれたアジア諸国の人々も、貧困にあえいでいるばかりか、好調に推移してきたアメリカ経済も大きくゆらいでいます。また、世界中の国々が協力して地球環境破壊を防止しようと前向きな姿勢を示しているときに、他方では、中東などの地域には戦闘の火だねが残っているのです。こうした問題を私たちはどのように扱えばよいのでしょうか。

人々は、人種や信条のちがいを問わず、より豊かに、より自由に、より安全に生活できることを願っています。社会科学は、社会の仕組みと法則性を明らかにすることを通して、こうした人類の願いに応える道を探ることを課題としています。

社会科学は、17世紀におけるイギリス資本主義経済の発展とともに芽生え、19世紀、機械制大工業の確立とともに体系的なものへと発展してきました。社会の変化とともに、社会を支配する法則の認識も発展してきたのです。

この講義では、資本主義の経済とそこにおける法や国家の仕組みに焦点をあてて、社会的諸関係を把握する方法について考えてゆきます。とくに、社会科学の前進にとって重要な意味をもった社会学者・思想家の社会観および思想をとり上げ、現代的な意味について考えます。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 思考する楽しみ
2. 社会科学とは何か
3. 社会の歴史的発展と社会思想
4. 社会科学の生誕：ホブスとロック
5. 資本主義経済の把握：スミスとリスト
6. 資本主義の経済と国家：マルクスとウェーバー
7. 現代資本主義の捉え方：レーニン・ケインズ・ガルブレイス
8. 資本主義と民族
9. 現代社会の思想的諸潮流

なお、現代社会の時事的な諸問題についても随時とり上げ、解説してみるつもりです。

履修上の留意点

この講義は、年間の講義をとおして聞くことで社会科学の意味とおもしろさが理解できるように組み立てられています。また、講義を聴きながらノートをとるという作業を1年間続けることによって、皆さんの理解力、書写能力も飛躍的に高まります。講義には毎回出席することが前提です。

成績評価の方法

授業中に小レポートを作成してもらうことがあります。成績は、この小レポートと後期に行なわれる定期試験の点数の合計点で評価します。再試験は実施しない。

教科書

特に指定しない。

参考書等

高嶋善哉『社会科学入門』（岩波新書）
平野喜一郎『社会科学の生誕』（大月書店）
城塚登編著『社会思想史の構図』（八千代出版）
大石雄爾『商品の価値と価格』（創風社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育学 〔デス・エデュケーション〕	やなぎ ぼり すがこ 柳 堀 素雅子	経営A選	4

講義のねらい

第二次世界大戦後、医学、医療はめざましい勢いで発達し、50年前には人類が考えもしなかったような問題が数多く出てきた。人工呼吸器の登場によって、呼吸停止しても心臓が動いている状態を作り出すことができるようになったし、脳が死んでも肉体は生きている「脳死」という状態も生み出された。このような複雑な状況を生み出してしまった現代に生きている我々は、医療の問題を単に医療関係者の問題としてだけでなく、患者ひとりひとりの重要な問題として受けとめざるをえない状況へと追い込まれている。人の死の迎え方をめぐって、医療者と患者や患者の家族の意見が対立したり、人それぞれの死生観によって死のあり方をめぐっての考え方が異なってくる。そのときに何を自らの思考の手引きにするのかは各人の努力によって、自分の考え方をはっきりさせていくしか方法がないことに気がつくはずである。現代に生きる我々にとっての新しい「生と死」の考え方を探り出すことを目的として講義を進めていく予定である。

講義の内容・授業スケジュール

1. 現代の先端医療が、過去の死生観や思想によって解決できない問題を生み出したのはなぜか？
2. 新しい生命観は生み出されているのか
3. 科学技術時代の生と死とは？
4. 我々はどこへ行くのか？

履修上の留意点

講義中に私語をしたい人は、履修をしないいただきたい。

成績評価の方法

総合的に評価する。
何回もレポートを提出してもらうので、レポートを提出したくない人は履修しない方がよいでしょう。

教科書

なし。

参考書等

講義の中でその都度お知らせします。

その他

講義の他にビデオ、OHPを大量に使用します。時間があれば、グループディスカッションや全体の討論も行ないます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育心理 〔大学生の心理-教育臨床心理学の立場から〕	の野中弘敏 <small>の なか ひろ とし</small>	経営A選	4

講義のねらい

「心の健康」なる言葉を耳にすることがありますが、人がいろいろな意味でできる限り「豊かに」生きていこうとするのはなかなか大変なことです。そして様々ないきさつから、人が「心のつまずき」を経験することも少なからずあるようですし、それぞれ生い立ちや出会った人々、とりまく環境も様々な人間の「心を理解する」といっても、それについてただ一つの公式があるというわけでもなさそうです。

「心理学」と一口に言っても、人間の心の作用や行動などに関して、焦点を当てる領域や研究方法はさまざまにわたっています。この講義では、主に臨床心理学の立場から、「心のつまずき」に対する広い意味での「心理臨床的援助」の実際と、そのような援助の手がかりとなる基本的な考え方を紹介したいと思います。また、心理臨床的援助の実際のありようを通じて、人のこころや他者との関係の構造・成り立ち・はたらきについて、これまでの理論でどのような仮説が与えられてきたか、などをお話できればと思います。

講義の中で紹介する理論や話題を、自分の体験や身の回りで触れる出来事などについて考えてみるきっかけに生かしてもらえたら幸いです。

講義の内容・
授業スケジュール

おおむね以下のトピックを取りあげる予定です。

- ・「心理的異常」の考え方をめぐって
- ・人間の心理-社会的発達
- ・人格の構造と機能
- ・心理臨床的アセスメント（心理検査など）
- ・心理療法の基本的考え方
- ・さまざまな心理臨床現場での実際

成績評価の方法

夏休み（前）のレポートと年度末の試験（持込不可）とを併せて考慮します。

参考書等

一読をお勧めしたい文献などは、その都度の講義の中で紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
生物学 〔生物と環境〕	なかむらとしえ 中村敏枝	経営A選 14以降入学生/経営B選	4

講義のねらい

米国同時多発テロ事件が起きた2001年9月、国内では狂牛病問題が浮上した。狂牛病は牛の致死性の感染症であるが、病原体がプリオンというたんぱく質であること、ヒトおよび他の生物に種の壁を超えて感染することが生物学的には興味深い。英国でこれが蔓延したのは罹病した牛の屍体を飼料（肉骨粉）として用いたことによるという。つまり、経済性・効率性の追及の結果である資源の有効利用が、草食動物である牛に肉食、しかもとも食いをさせたため生じた、人災なのである。人間の生産活動は、生物と環境にいま何をもたらしているのだろうか。

講義の内容・授業スケジュール

1. はじめに
2. 生物の生活
 - a. 地球の歴史・生命の起源
 - b. 生命の誕生
 - c. 生命の維持——いのちを支える物質とエネルギー
 - d. 植物の物質生産
 - e. 遷移——溶岩上に森林が成立するまで
 - f. 遷移——植物群落の世代交代
 - g. 個体群の内部構造——順位制となわばり
 - h. 生殖行動——こどもを確実に残すための作戦
 - i. 生態系——めぐる生命の輪
3. 人間の活動と地球環境
 - ・化学物質の功罪
 - a. 化学物質がつくる豊かな生活
 - b. ゴミ焼却とダイオキシン
 - c. ダイオキシン汚染
 - d. 内分泌攪乱化学物質（環境ホルモン）
 - ・バイオテクノロジー
 - e. 遺伝子組み換え生物
 - f. クローンと動物工場
 - ・地球温暖化とエネルギー問題
 - g. 地球温暖化のメカニズム
 - h. 生態系におよぼす影響
 - i. 新エネルギー革命
 - j. 原子力利用の諸問題

履修上の留意点

義務教育までの数学、理科をはじめ各教科の知識を本講義の前提とする。意見発表の場を設けたいので、積極的に取り組む学生の参加を期待します。

成績評価の方法

期末試験と平常点で総合評価します。

教科書

赤堀他著『生物学 - 地球に生きるいのちを考える』（宣協社）

参考書等

その都度紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地球科学 〔自然景観の成り立ち〕	いちかわ きよし 市川 清 士	経営A選 14以降入学生/経営B選	4

講義のねらい

地球が誕生して46億年といわれています。この間、地球はたえず表情を変化させつづけてきました。では、私たちの生活している周辺の自然景観、たとえば山や川、平野や海洋などはいつどのようにしてできたのでしょうか？

本講義では、この問いに答えるために地形、気候、水文などの地球表面の現象を対象として、その成り立ちについて探っていきます。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、大陸の成り立ちや造山運動（プレートテクトニクス）、氷河期（気候変動）などの大きなスケールの変動について探っていきます。

後期では、前期の内容をふまえて、南関東を中心とした「身近な自然景観」の成り立ちについてより具体的に探っていきたいと思います。

また、毎回の講義のはじめには、新聞に掲載されている自然環境に関する記事について解説・議論を行い、身近な環境の変化について考えていきます。

履修上の留意点

高校で使用した地図帳を用意すること（できれば最新のものが望ましい）。また毎週、新聞を読んでから授業に参加することを望みます。

成績評価の方法

授業への参加・レポート・学年末の試験を総合して評価を行います。

教科書

使用しません。

参考書等

その都度紹介します。

その他

一般的な講義を主とし、スライド・OHP・ビデオによる説明を入れて皆さんが興味を持てるような講義を行おうと考えています。

また、駅沢公園など近くに行き実際に野外観察もする予定です。

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然環境論 〔生命と環境〕	もちまる まり 持丸 真里	経営A選 14以降入学生/経営B選	4

講義のねらい

生物を中心とした自然環境の仕組みを理解した上で、現代の人間活動が生態系へもたらしている諸問題について考えることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は基礎知識として、生物の基本構造と多様性、物質及びエネルギー代謝、生態系の成り立ちなどについて解説する。

後期は、生化学・生態学的な視点を要求される現代の諸問題について各論的に取り上げてゆく。

①生態系の化学物質汚染：有機塩素系化合物の生物濃縮

内分泌攪乱物質

オゾン層破壊

②生物の多様性の危機：熱帯林の破壊

近代農業・林業の問題点（自然科学の観点から）

これらの事例を通して、生態系の保全のためにどのような姿勢が要求されるか考察する。

履修上の留意点

授業中の私語・飲食・携帯電話の使用は禁止。

成績評価の方法

出席点と筆記試験による。

教科書

なし

参考書等

大石正道『入門ビジュアルエコロジー 生態系と地球環境のしくみ』（日本実業出版社）1,500円
その他、講義の中で随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然環境論 〔環境と保全〕	ことうた かずお 古藤田 一 雄	経営A選 14以降入学生/経営B選	4

講義のねらい

地球は“水の惑星”と呼ばれるように、地球表面の約70%は水で占められている。地球の水は、地球上の大気・陸地・海洋の三圏を絶え間なく循環し、自然環境を形成する重要な要素の一つになっている。本講義は、まず地球上の水循環(水文循環)に関する基礎知識を理解し、つぎに大気・地上・地下を巡る水の動態の把握とその環境場との相互関係についての理解を深める。最後に、人間生活とかわりの深い水環境・水資源・水質の保全について考究する。

講義の内容・
授業スケジュール

以下の内容に沿って、講義を進める。

1. 水と人間の関わり合い
水と古代文明
2. 地球上の水循環
水循環の思想の変遷
陸水の循環
日本の水土循環
3. 水利用と土地・水循環
わが国の水利用
循環汚染
水と生活

履修上の留意点

やむを得ず欠席した場合には、欠席届を担当教員に直接提出すること。

成績評価の方法

前期の試験はレポート提出(課題は夏休み前に掲示する)。
期末試験は定期試験(筆記)で行う。
出席率は10%を総合評価の際、加味する。

教科書

特に教科書は指定しない。

参考書等

参考書は講義中に随時紹介する。

その他

高校で使用した地図帳を持参すると講義の理解の手助けになると思われる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然環境論 〔環境と保全〕(夏季集中)	やまがた 山 縣 毅	経営A選 14以降入学生/経営B選	4

講義のねらい

18世紀後半から始まった産業革命以降、産業文明の発展により、地球規模の環境変化が自然の復元能力を超えて急激に進んでいます。その変化は、人類の生存自体にも深刻な影響を及ぼすようになってきています。本講義では、地球科学的立場から、地球環境の諸問題を解説し、人間活動が自然環境に与える影響、環境保全の意義について考えてもらうことを目標としています。実生活で体験したり、各種報道により伝えられる地球環境に関する諸事象を正しく理解するための教養を、受講者に身につけてもらえるように、講義を進めていきます。

講義の内容・授業スケジュール

1. 地球表層の環境変遷とその要因
2. 人間活動による環境変化
(地球温暖化、大気酸性化、オゾン層の破壊)
3. 資源・エネルギーと環境
4. 地質変動による環境変化と自然災害
(地震、火山活動、崖崩れ)
5. 地球環境に対する海の影響
6. 環境保全

成績評価の方法

レポートと出席状況で評価いたします。

教科書

特に定めません。

参考書等

講義の中で紹介します。

その他

OHP、スライド等を使用します。

授業日程

前半							後半						
	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
8月1日	金	○	○	○	○	○	8月20日	水					
8月4日	月	○	○	○	○	○	8月21日	木					
8月5日	火	○	○	○	○	○	8月22日	金					
8月6日	水	○	○	○	○	○	8月25日	月					
8月7日	木	○	○	○	○	○	8月26日	火					
8月8日	金	○	○	○	○	○	8月27日	水	△	△	△	△	△

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然誌 〔現代の自然像〕	清水 善和・篠原 正雄 持丸 真里・山縣 毅	経営A選	4

講義のねらい

我々は何者か、なぜ、今ここにいるのか？大宇宙の中で人類存在の意味を問う本質的には哲学的なこの問いに対して、20世紀の自然科学が見いだした一応の答えは、我々を取り巻く自然環境が100億年を越える宇宙の進化と、46億年の地球及び生命の進化の果てに出来上がったかけがえのないものであることを語っている。一方で、今世紀の科学技術の発展は、このかけがえのない自然環境を脅かすに至っている。もはや科学の未来は科学者だけの問題ではありえない。社会を構成する一人一人が考えねばならないことである。本講義では自然科学教室の専門を異にする4人の教員がそれぞれの専門分野の知識を持ち寄り、自然の階層構造と進化を軸に現代科学諸分野を総合して得られる自然像を語る。それは自然界全体を総合的、統一的にとらえるナチュラル・ヒストリー（博物学、自然誌）の伝統を現代的に蘇らせる試みでもある。地球の未来に向けいかなる道を目指すべきかを考える足掛かりとしてほしい。

講義の内容・授業スケジュール

自然科学教室の専任教員4人により、1人6回程度の輪講形式で行われる。宇宙の始まりから地球と生命の進化を経て人類の時代に至る自然の歴史をたどり、私達にとっての自然環境がどのようにして今日の姿をとるようになったかを学ぶ。また、21世紀の重要課題となる地球環境問題の本質とその解決の方向についても考察する。

- 第1講 宇宙の進化と地球の起源 篠原正雄
 - (1) 宇宙の起源（自然の階層構造、膨張する宇宙、ビッグバンと元素の起源）
 - (2) 星の進化と物質の進化（星の一生、星間物質の進化、銀河の渦と星生成領域）
 - (3) 太陽系と地球の起源（太陽系起源仮説、牡牛座T型星、宇宙の有機化合物）
 - (4) 太陽と地球の進化（地球の核の形成、大気と海の起源、太陽の進化と地球環境）
 - (5) 宇宙の中の地球（太陽放射の変動、地球軌道の変化、隕石、銀河系）
- 第2講 生命の起源と進化 清水善和
 - (1) 生命の起源（生物体を作る物質、遺伝暗号とタンパク質合成、生命起源仮説）
 - (2) 生物の進化と進化論（生物進化40億年の歴史、進化のメカニズム、現代進化論）
 - (3) 人類の進化（霊長類の系統、ヒトの発展段階、ホミニゼーション）
 - (4) 生物の多様性（分類体系、生物多様性、植生帯、動植物の分布）
- 第3講 地球環境形成の歴史 山縣毅
 - (1) 地球環境の変遷（プレートテクトニクスからプレュームテクトニクス）
 - (2) 地震のメカニズム
 - (3) 火山活動のメカニズム
 - (4) プリュームの活動による気候変化
- 第4講 産業の発達と環境の変化 持丸真里
 - (1) 化石燃料の消費と大気の変化（地球温暖化、大気汚染）
 - (2) 環境問題の歴史（公害から環境基本法制定まで）
 - (3) 石油化学工業の発達と生態系への影響
 - (4) 未来へ向けて－石油代替エネルギーの開発とその評価

履修上の留意点

本科目は1年間の継続的な講義を通じて総合的な自然像を養うことを目的としているので、毎回出席するのが困難な卒業年次生や運動部員等は履修を控えてほしい。一般の通年科目と異なり、4回の評価（テストやレポート等）を受けねばならないことの自覚をもって履修してほしい。

成績評価の方法

各担当者毎に小テストやレポート等の方法で評価し、最終的に4人の採点を合算して成績評価とする。

教科書

特になし。

参考書等

各担当者がそれぞれ講義の中で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
数学 (1) 〔微積分学入門〕	小沢 誠	経営A選	4

講義のねらい

数学の基礎分野の一つである微積分学の入門的事項を学ぶ。将来必要になった時に困らないよう、例題を丁寧に解説し、練習問題を解けるようにする。また、単に問題が解けるだけでなく、その過程において、論理的思想を身に付けることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期に、一変数関数・一変数関数の微分・一変数関数の積分を、後期に、二変数関数・二変数関数の微分・二変数関数の積分を扱う。

履修上の留意点

毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

成績評価の方法

試験の結果で評価する。出席も考慮する。

教科書

石村園子『やさしく学べる微積分』(共立出版) 2,000円

参考書等

石村園子『やさしく学べる基礎数学 線形代数・微積分』(共立出版) 2,000円

その他

毎回の授業を三分割し、定義・定理の紹介、例題の解説の後、練習問題を解いていただく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
数学 (2) 〔線型代数学入門〕	小沢 誠	経営A選	4

講義のねらい

数学の基礎分野の一つである線型代数学の入門的事項を学ぶ。将来必要になった時に困らないよう、例題を丁寧に解説し、練習問題を解けるようにする。また、単に問題が解けるだけでなく、その過程において、論理的思想を身に付けることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期に、行列・連立一次方程式・行列式を、後期に、空間ベクトル・線形空間・内積空間を扱う。

履修上の留意点

毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

成績評価の方法

試験の結果で評価する。出席も考慮する。

教科書

石村園子『やさしく学べる線形代数』(共立出版) 2,000円

参考書等

石村園子『やさしく学べる基礎数学 線形代数・微積分』(共立出版) 2,000円

その他

毎回の授業を三分割し、定義・定理の紹介、例題の解説の後、練習問題を解いていただく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
数学 (3) 〔現代数学入門〕	福田賢一 <small>ふく だ けん いち</small>	経営A選	4

講義のねらい	現代数学の基礎概念を、諸科学への応用例を通して学ぶ。特に社会・経済現象に応用例を求め、具体的かつ基礎的な事例から無理のない抽象化を計り、理論体系の理解、実際の応用力の養成を目指す。
講義の内容・授業スケジュール	前期： 論理の基礎と応用、情報理論、情報数理、言語理論、線型代数とその応用、後期：線型計画法、確率現象と社会現象、数値解析とその応用
履修上の留意点	高校数学の初歩的な知識があれば十分理解できる。しかし、数学は系統性の強い学問であるから、基本的な定義、性質を確実に把握する必要がある。
成績評価の方法	試験結果を中心に、レポート、小テスト、出席状況等を加味し総合的に判定する。
教科書	使用しない。プリントを配布する。
参考書等	必要となり次第指示する。
その他	プリントは数時間に一回の割合で配布する。再配布ができない事もあるので注意

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報数学 〔情報と論理〕	上原隆平 <small>うえ ばら りゅう へい</small>	経営A選 14以降入学生/経営B選	4

講義のねらい	形式言語理論、中でも特にオートマトン理論を学ぶ。オートマトンとは「状態を持った機械」をモデル化したもので、情報科学分野で正規表現、正規言語などと呼ばれるものと同等である。情報科学や言語理論における基礎的分野である。
講義の内容・授業スケジュール	まず始めに形式言語理論の初歩的な知識を学び、形式的な記述に慣れる。次にオートマトン理論に的を絞って、現実の問題がどのようにオートマトンとしてモデル化されるかを学ぶ。そしてオートマトンで表現できるものと、情報科学分野で正規表現、正規言語などと呼ばれるものが同等であることを学ぶ。本授業の中では実際のプログラミングは行わない。
履修上の留意点	予備知識は仮定しないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。
成績評価の方法	評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。特に小テストを授業の最後に適宜行ない、その結果を重視して成績をつける予定である。
参考書等	参考書は必要に応じて紹介する。また Web や電子メールを使って補助資料を配布するので、インターネットに接続されたコンピュータが使用できることが望ましい。ただしこれは必須ではない。使用できない学生には個別に対応する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
物理学 〔光と物質〕	篠原まさお のほら正雄	経営A選	4

講義のねらい

地上の天文学者は天体から来る光などの電磁波を分析して、手の届かない天体を作る物質の種類、温度、運動などを読み取ります。この天体物理学の方法は物質と光の関係の物理学的研究に伴って発展してきました。

本講では「光とはどのようなものか、光と物質の関係は？」という問いをめぐるさまざまな事柄を取り上げます。「光学」に限定せず、力学、電磁気学、熱力学、量子力学、宇宙物理等に及びます。

講義の目的は、光について学ぶことを通して、物理学的な目で世界を見ることを体験していただくことです。数式は物理学に不可欠な言葉ですが、数式により表現された物理的な意味の方が大切です。数式の使用は極力避け、用いる場合はその意味をできるだけ平易に説明するで、数学的な予備知識はいりません。

講義の内容・授業スケジュール

次のような項目について講義します。

波としての光

光線 影 鏡 屈折 曇気楼 透明人間

光波 音波・地震波・水の波 シャボン玉の色

電磁波としての光

電気と磁気 電磁波 光の速度と電磁気学 電波望遠鏡 電子レンジ

色即波長？ 虹の七色 vs 三原色 茶色い光の波長？ X線とガンマ線

光子 熱と光 星の色 人の光 原子構造と光 光波は粒子・電子は波

光と宇宙

光速不変 ブラックホール 膨張する宇宙 光の旅

履修上の留意点

十分に出席する自信のない者は、履修しないようお勧めします。

成績評価の方法

学年末に実施する簡単な期末試験を受けた人だけが成績評価の対象となります。しかし、期末試験の比重は10%程度です。数回のテストを含む平常点を中心に評価します。

教科書

藤城敏幸著『生活の中の物理』（東京教学社）1,800円

参考書等

本間三郎・山田作衛著『電気の謎をさぐる』（岩波新書）563円
その他、講義の中で適宜紹介します。

その他

理解を深めるためにほぼ毎回問題を考えてもらいます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
化学 〔衣食住の化学〕	もち丸真里	経営A選	4

講義のねらい

現代の日常生活にあふれる化学物質について広く取り上げ、その利便性と問題点を理解するための基礎知識を解説してゆく。各受講生が、化学物質・技術の適用の可否や環境問題について、正確な基礎知識に基づいた意見を持てるようになることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに、生体への化学物質の作用を理解するために必要な有機化学及び生化学の基礎について講義する。

その後、衣食住の化学として、以下のような各論の解説を行う予定である。

- ①衣の化学：合成繊維 合成洗剤（酵素化学の基礎、水質汚染問題も含む）
- ②食の化学：遺伝子組換え食品（遺伝子工学の基礎を含む）食品の安全性
- ③住の化学：ダイオキシン問題 内分泌攪乱物質 フロン類によるオゾン層破壊 など

履修上の留意点

授業中の私語・飲食・携帯電話の使用は禁止。講義は、基礎的内容から順次、発展的・先端的事項へと進むので、欠席すると理解が困難になることを留意の上、履修すること。

成績評価の方法

出席点と筆記試験による。

教科書

なし

参考書等

講義の中で随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宇宙科学 〔星と銀河〕	しのはらまさお 篠原正雄	経営A選	4

講義のねらい

現代の天文学が描く宇宙の姿を研究の手法と併せて紹介します。
観測装置やコンピューターの発展に伴い、宇宙の研究は急速に進展しています。星と銀河についての知識のほとんどは20世紀になって明らかにされました。前世紀の成果をふり返り、新世紀の天文学を展望しつつ講義を進めます。宇宙が昔思われたような永遠不変・不生不滅の静かな広がりではなく、むしろ荒々しいまでにダイナミックな進化していく世界であること、我々人類もまたそうした宇宙の歴史の所産であることを知っていただきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は恒星を取りあげます。

太陽： 構造 エネルギー源

恒星： 研究の手法 恒星の分類 恒星の進化 太陽系の起源

後期は銀河を取りあげます。

銀河系： 星団 星雲 恒星の運動 星生成領域

銀河： 銀河の距離 分類 銀河団 宇宙の大規模構造

宇宙： 宇宙膨張 ビッグ・バン

成績評価の方法

学年末に行う筆記試験の結果により評価します。平常点も考慮します。

教科書

高瀬文志郎『星・銀河・宇宙』（地人書館）1,800円

その他

講義を中心とするが、天体の映像などを多用する予定です

科目名	担当者名	配当学科	単位
人類学 (1)(2) 〔人類の進化〕	えん とう ばん り 遠 藤 萬 里	経営A選	4

講義のねらい

人類を理解し、その進化を知るには骨やその化石のことを聞くだけではほとんど意味をなさない。生物としてのヒトが自然界でどういう位置にあり、どのように分類され、身体の構造や機能がどうなっているかをきちんと考えることが重要である。進化史は年々書き替えられているが、このような基礎が不十分なためもある。しっかりとした基礎知識を持つように期待する。

講義の内容・授業スケジュール

ヒトが生物のなかでどのような位置にあり、動物としてどこに分類されるか、現在のようになったヒトの特異性とは何か、身体のさまざまな構造・機能にどのような特徴があるのか、文化も含めてどのように進化してきたと現在考えられているのか等について進めて行く。毎年新しい知識が加わるので注意。

履修上の留意点

できるだけ出席すること。内容の進行に応じて時々小テストを行なう。これは理解度を知るためでもある。なお、体育系運動部の学生であまり出席できない学生には、この講義の一部についてのレポートを提出してもらい採点したいので、学年度初めに申出ること。

成績評価の方法

成績は年度末試験と小テストで行なう。また上記の学生はレポートで加点する。

教科書

遠藤萬里編『人類生物学入門』（てらべいあ）

参考書等

進化については 遠藤萬里『人類学百話一話』（てらべいあ）2,000円、アンドリュース・ストリンガーイラスト・ガイド『私たちヒトの進化』（てらべいあ）2,400円 他の分野については難しすぎるか、古すぎるので紹介しない。

その他

スライドを多く使い、身近な例を引き合いに出して楽しく進めたい。質問は歓迎する。これまでの人体や人類進化の通俗的常識は通用しない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学 〔ヒューマン・ウォッチング〕	やま ぎし なお き 山 岸 直 基	経営A選 14以降入学生/経営B選	4

講義の内容・授業スケジュール

心理学は人間のするあらゆることについて科学的・実証的に研究する学問です。なぜ多くの大学生は試験の直前にしか勉強しないのでしょうか。なぜ徹夜でプレステをするのでしょいか。この講義では人間のするさまざまなことについての一般的な原理を講義するとともに、日常生活の中のさまざまな行動がその原理とどのように関係しているのか、また日常の問題を解決しようとするときその原理をどのように応用することができるかについて講義します。授業スケジュールについては第1回目の授業時にお知らせする予定です。

履修上の留意点

出席はとりませんが、単位を取得するためには毎回の授業に積極的に参加する必要があります。そうすれば講義内容を理解することができます。しかし、単に出席するだけで講義の内容を理解していない場合には単位を修得できません。履修する学生はその点に注意してください。

成績評価の方法

授業内容の理解度を把握するための数回の小テストと年度末のテストによって評価します。全体の評価に対する小テストの割合は高くなります。詳しくは第1回目の授業時にお知らせします。

教科書

授業時にいくつか紹介します。

その他

基本的には講義形式の授業を行います。第1回目の授業時に配るレスポンスカードを使って随時質問に答えてもらいます。これは授業内容をよりよく理解するためのものです。積極的に参加してください。また、適宜 OHP やビデオを使用する予定です。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学 〔人間関係を考える〕	高橋 よしひろ たか 橋 よし ひろ	経営A選	4
		14以降入学生/経営B選	

講義のねらい 心理学の基礎を学ぶ人を対象にして、その研究方法についての知識を深め、人間の心理学的理解に興味を持ってもらうことを目的に、講義を進めてゆく予定。
特に本講義では、心理学の概論的な講義の中に、人間関係にかかわるトピックスを織り込み、そのような視点を持った研究に焦点を合わせながら、講義をすすめる。
また、講義の中に、適宜、供覧実験や人格テストなどもとり上げ、心理学研究の雰囲気も伝えてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール 講義の予定としては、前期では、心理学の立場で人間をどう考え、どの様に捉えようとしているかを、中心に進める予定。後期は、前期の基礎的知識をふまえて、心理学立場からの人間関係に関わる各研究領域に焦点をあててゆく。

成績評価の方法 筆記試験・レポートなどの提出物、その他、平常点（講義への出席状況や、参加度）など総合して評価を行う。

教科書 講義の中で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学 〔心を科学する〕(夏季集中)	堀内 まさひこ ほり うち まさ ひこ	全学科選	4
		14以降入学生/経営B選	

講義のねらい 人間を理解するための1つの視点として心理学を学ぶことを本講義のねらいとする。ここでいう人間理解とは一個人の性格や人格の理解も含むが、そればかりではなく、人間が一般的にもつ特性を知ることを含む。例えば、物の見え方や判断の仕方などのような様々な場面で何気なく行っている活動全般について理解するということである。

講義の内容・授業スケジュール 心理学の概略、行動の基本様式、感覚・知覚、記憶、学習、思考、発達、社会的行動などについて講義する予定である。

履修上の留意点 この講義に限らず何かを学ぶということの根底には、普段の生活の中での「当たり前」のこととして捉えているようなことに対して、素朴な疑問とでもいうべき問題意識を抱くことが大切であると考えている。このような問題意識をもって授業に臨むことを希望する。なお、その他の細かい点については以下の通りである。
① 私語は厳禁である。
② 講義中に分からないことがあった場合には、講義をささぎって質問してもよい。また、E-mailでの質問も受け付ける。
③ 1回の講義において2回目以降に私語を中止された学生は、その講義に限り退場とする。

成績評価の方法 試験の結果を重視する。

教科書 特に指定しない。

参考書等 講義の中で紹介する。

その他 授業日程

前半							後半						
	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
8月1日	金	○	○	○	○	○	8月20日	水					
8月4日	月	○	○	○	○	○	8月21日	木					
8月5日	火	○	○	○	○	○	8月22日	金					
8月6日	水	○	○	○	○	○	8月25日	月					
8月7日	木	○	○	○	○	○	8月26日	火					
8月8日	金	○	○	○	○	○	8月27日	水					

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅱ	清水 善和・上原 隆平 漆原 和子・小沢 誠 小高 昭一・篠原 正雄 橋詰 直道・持丸 真里 柳澤 紀夫・山縣 毅	経営A選	4

講義のねらい

教場での通常の講義では、自然の現物を示せないもどかしさがある。自然を理解するためには、自然を観察し、データを取り、解析し、結果を出すという科学的な研究手法の一部を実体験することが重要だからである。また、我々の身近に接する自然は生の自然ではなく、人間の営みの内にある自然であるので、地域の自然を理解するためには、自然をめぐる歴史的・地理的な背景を知る必要もある。

本講義の前半（4～7月中旬）は、本校教室での植物、鳥類、地質・岩石、天体、身近な自然環境などの自然観察の方法を中心に講義をおこなう。また、植物観察やバードウォッチングなど一部の講義では駒沢公園を利用した実習もおこなう。

後半（7月20～24日）は、千葉県富浦町にある駒澤大学富浦セミナーハウスに合宿して（4泊5日）、具体的な調査方法やデータ処理の仕方、レポートのまとめ方等の集中講義（午前）と植物・植生、地形・地質・土壌、歴史・地理の野外実習（午後）をおこない、富浦周辺の自然をトータルに理解することを試みる。また、夜には天体望遠鏡を用いた天体観察の実習も行う。

これらの講義・実習を通して、自然の見方、自然科学的な考え方と基本的な観察の手法を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

前期講義

- 4月11日 (1) ガイダンス (清水)
- 18日 (2) 自然観察の方法、生物図鑑の使い方 (清水)
- 25日 (3) 植物観察 (駒沢大学) (清水)
- 5月2日 連休
- 9日 (4) バードウォッチングの方法 (柳澤)
- 16日 (5) バードウォッチングの実際 (駒沢公園) (柳澤)
- 23日 (6) 岩石・地質の見方1 (山縣)
- 30日 (7) 岩石・地質の見方2 (山縣)
- 6月6日 (8) 化学的な自然の見方1 (持丸)
- 13日 (9) 化学的な自然の見方2 (持丸)
- 20日 (10) 天体観測の方法1 (篠原)
- 27日 (11) 天体観測の方法2 (篠原)
- 7月4日 (12) レポートの作成法 (清水)
- 11日 (13) 富浦実習の準備 (清水)

7月20日～24日 富浦実習（4泊5日）：午前の講義と午後の野外実習、夜の天体観察など。

- 9月12日 (14) レポート提出
- 26日 (15) レポート講評・返却

履修上の留意点

前期半期の講義と7月下旬の富浦実習の両者を合わせて単位を認定するので、富浦実習に参加できない学生は履修できない。前期の講義に毎回欠かさず出席し、富浦実習に参加できる学生のみ履修すること。なお、9月卒業を予定している学生は履修できない。

富浦への旅費とセミナーハウスの宿泊費は学生の自己負担とする（予約の都合上、宿泊費16,000円は4月に徴収する）。

実習を伴う科目の性質上、履修人数の上限を30名とする。4月の初回の講義で詳しいガイダンスをおこない、履修希望者が定員を越えた場合にはその場で抽選をおこなうので、履修希望者は必ず初回の講義に出席すること。

成績評価の方法

多数の教員が分担して講義と実習をおこなうので、各分担者が適宜、レポート、小テストなどを課してこまめな評価をおこなう。とくに、富浦実習については現地での実習をふまえた課題についてレポートを課す。以上の評価と講義・実習の出席点を総合して最終的な成績判定を行う。なお、科目の性格上、追試、再試はおこなわない。

教科書

特になし。

参考書等

各教員が必要に応じて紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 Ⅲ (1) 〔人権と社会問題〕	ピアス, D. M.	全学科選	4

講義のねらい

The most advanced English course available, it should give students the best preparation for study abroad. The course is conducted so that students may experience what it is like to take a university-level course in a foreign country, and thereby have more success from studying abroad. Students will study something in English instead of studying English. Lectures, compositions, and conversation practice will concentrate on international social problems such as human rights, war, feminism, poverty, suicide, sex, racism, euthanasia, abortion, ecology, etc. Alternatively, programs in the history of economic and political thought, and in American sociology, may be used as lecture material.

Elementary level English conversation will not be taught, but there will be intensive practice every period in spoken English on, quotidian, opinion exchange, and intellectual levels. Major emphasis is placed on learning to converse intelligently, that is, to communicate thought in spoken language. Considerable time will be devoted to English composition and to listening comprehension practice.

The format of the course is not based fundamentally upon the lecture series; during most of the class time students will be actively producing, in writing and speaking.

履修上の留意点

Attendance and active participation are most important, because improvement in English speaking depends on the amount of practice. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter-grade less than what the student would otherwise have received.

成績評価の方法

Apart from the two final-semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

Your final grade depends 70% on your class performance, in every class. I will keep a record of your participation in every single class meeting. This is a course for English conversation; one can improve speaking ability, similarly to playing piano, only by constant practice. This is true no matter how advanced the student may be. Therefore, attendance is extremely important, and the examinations have minor effect on the final grade. Finally! Everyone in the class is equally able to get an "A" in the class, because the final grade does not depend on the final examination. Even if a student cannot speak English at all, he/she has as much a chance as the other students to get an "A", because his final grade depends on his effort and his improvement in comparison to his initial ability.

教 科 書

We will probably use *American Sociology*, Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English-Japanese dictionary or a battery-powered dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅲ(2) 〔欧米の教育と日本の教育〕	おが さま 岡 崎 寿一郎	全学科選	4

講義のねらい

日本の大学は、1949年の改革で、アメリカの一般教育の理念を採用し、人文・社会・自然科学・体育・外国語のコースを専門課程の前に課してきました。それが、新カリキュラムによって改変されました。しかし、アメリカの大学がいかなる変革を経て今日にいったのか。また、その現状がどのようなものであるのかは、知られていないとおもわれます。大学数は、現在、アメリカでは、約3,000校、日本は、約1,000校（短大・四年制大学）です。ヨーロッパでは、まだ、日本の戦前における数（旧大学令・47校）とほぼ同数です。進学率も10%前後です。また、大学入試制度については、例えば、「各大学単位で独自の入学試験が行われている国は、OECD加盟国の中では日本とユーゴスラヴィアの二国だけであり、また選抜試験のみで大学生を入学させているのは、日本以外はポルトガルとトルコの二国のみである」（西尾幹二『ヨーロッパ像の転換』）とあります。欧米では、大学入学資格認定制度が採用されています。（例、イギリスの「A」レベル、ドイツのアビトゥア、フランスのパカロレア、アメリカのSAT等）講義では、文化相対論（異なる文化の風俗・習慣についての批判・評価と同時に、その風土・歴史的背景を十分に考慮する）の観点から、自国の教育（制度）を絶対視する価値観の単一化を避けつつ、国際化の時代に即応したグローバルな教育観の展望について論究します。

成績評価の方法

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、講義内容に則したプリントを配布します。成績評価については、平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）による総合評価とします。

参考書等

参考書・文献については適宜言及します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅲ(3) 〔スペイン語圏文化の諸相〕	うえ の かつ ひろ 上 野 勝 広	全学科選	4

講義のねらい

英米圏に比較して、スペイン語圏は一般に我々日本人にはなじみが薄い。しかし、そこは多様性に満ちた実に豊かな文化を有する地域である。この講義では、そうした文化の諸相の一端を歴史的な視点を軸に紹介したい。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容について3分の2はスペイン、3分の1は中南米に関する話題を取り上げる。地理、観光、言語、文学、思想、美術、建築、祭り、音楽、映画等に歴史的な視点を意識しながら紹介してゆく。しばしばビデオ等の視覚的資料も提示する。

履修上の留意点

スペイン語にはあまり興味がなくても（あればなお良いが）、歴史を含めた様々な文化に関心を持つ人の受講を歓迎する。講義の理解にスペイン語の知識は必要ない。
なお講義中の私語は厳に慎むこと。場合によっては退場していただくこともある。

成績評価の方法

毎回の授業終了時に提出するミニレポート（40%）に年間2回（前期末・後期末）の試験の結果（60%）を総合して評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

日本語の参考文献やホームページは、講義内容に合わせて随時授業中に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅳ (1) 〔現代アメリカ事情〕	はやし 林 明 人	全学科選	4

講義の内容・授業スケジュール

現代のアメリカが抱えているさまざまな問題を、具体的なキーワード (abortion, affirmative action, euthanasia, Brady Bill 等) を説明しながら紹介します。なぜその問題が起こったのか、そしてそれがどのように発展し、現在どうなっているのかを見てゆきます。知っているようで知らないアメリカの諸相が見えてきます。

成績評価の方法

前・後期のレポート、出席の総合評価。

教科書

プリントを配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅳ (3) 〔ポスト・モダンの世界〕	まるこ 丸 小 哲 雄	全学科選	4

講義のねらい

本講義の狙いは、近代化の批判と自己組織の確立を目指すことにあります。「大きな物語」が終息して、ポストモダンの世界は建築、視覚芸術、映画、文学、文学理論、歴史、哲学、宗教、経済、政治などのさまざまな分野で、さまざまな意味を込めて解釈されています。ポストモダンという言葉には混乱がありますが、最大公約数的に言って、ポストモダンはそのような学際的な知の最前線として、固有なものに出会うために批判の方法によって権力の座 (特権化された場所) を移動・転倒させつつ、歴史的過渡期の思想的表現としての近現代史を思想化 (帝国主義と植民地化にたいする批判) することがあります。いわば、この講義の狙いは、自ら置かれている歴史的過渡期の時代状況とその意識を捉えて「自分探し」をすること、他者 (=文化) をどう捉え、どう身体的に受けとめて、主体性をどう確立するかということに尽きます。

講義の内容・授業スケジュール

講義に際して、関連文献リストを配布し、事前に読むテキストを指示します。また、クラス外では文庫本・新書版を読んでもらいます。講義の骨子は以下の通りです。

1. 前置き；「変わるものと変わらないもの」について
2. 現代という時代の捉え方；「今ここ」における自己言及のパラドックスについて
3. 「モダン」の語源と定義について；ポストモダンの特質について
4. ソシユールの言語観；言語の恣意性、ラングとパロールなどについて
5. テキストの遍在性とディスコースについて
6. 人間観、宇宙観、社会観の変化について
7. 西洋の理性批判について；ソクラテス、デカルト、ヘーゲルとマルクス；とりわけニーチェのルサンチマン哲学による理性批判としての『道徳の系譜』を取り扱う。
8. マックス・ヴェーバーの問題について；合理的理性批判について
9. フーコーなどを中心にしてモダン批判；外部の力と内部の力について
10. トランスモダン (横断的近代；アメリカン・イデオロギーとグローバリズムに対するナショナル意識とリージョンナル意識との対抗性について
11. レビュー；冷戦後における自己組織と反省的人間の特質について

成績評価の方法

出席、ターム・ペーパー (レポート作成) などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価。さらに、前期、後期に配布された関連文献リストからそれぞれ1冊を選び、そのテキストの読み・解釈・批評を盛り込んだレポート作成。

教科書

- ・読書リスト配布
- ・プリント配布

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合 V (1) 〔イギリス文化探訪〕	かわ また よう たろう 川 股 陽太郎	経営 A 選	4

講義のねらい

ある民族の文化、ある国の文化を理解するのはそうたやすいことではない。日本とは、日本人とはと問われたとき、あなたがたはどう説明しますか。イギリスとは、イギリス人とはということ、ごく限られた時間で、しかし出来る限り様々な視点から見たいと思う。

講義の内容・授業スケジュール

現代のイギリス人およびイギリスの文化を、現代から過去へ、過去から現代へ行きつ戻りつしながら、「イギリス」というものを文化的側面から眺めてみたい。ある民族の文化を理解しようとするとき、その民族の言語・風俗・習慣を知る必要がある。

例えば、「イギリス」というものを、地理的な面と人種的な面から眺めてみるとしよう。イングランド、スコットランド、ウェールズ、コーンウォール、シェットランド・オークニー諸島、ヘブリディーズ諸島という地理的側面から、またイングランド人、スコットランド人、ウェールズ人、コーンウォール人とか、シーズナルハンター、ピクト人、ケルト人、ローマ人、アングロサクソン人、デーン人、バイキング、ノルマン人という人種的側面から理解して見るのも一つのやり方である。

イギリス人は自分たちを「混血」(ミックスチャー)であるという。人がどの部族に属するか、どの人種に属するかを決定するのは「血」もさることながら、土地と無縁でないし、地域の文化(言語、風俗、習慣)と無縁ではない。しかしそれを決定するのはあくまでその人間の「所属意識」である。

ケルトの時代、ローマの植民地時代、キリスト教の普及、アングロ・サクソン人、デーン人、バイキングの侵入、ノルマン人のイングランド征服等、また封建社会の特異性と其の崩壊過程、大英帝国の出現、産業革命、中産階級の出現等をテーマ別にみながら、今日のイギリスおよびイギリス人が持つ多様性を理解するように努める。

また、一つの文化を理解しようとするとき、同じテーマで日本とイギリスを比較・検討することで、よりいっそう明確にその差異を認識することができる。それは、自分の所属する社会と別の社会を比較することによって、それぞれの文化がもつ性格をいっそう明確に認識することである。

「日本の常識は世界の非常識」であることが多いのも事実である。これは己と他を比較して初めて認識できるものである。いわゆる「国際化」の時代にあって、最も大切なことの一つは、己と他の違いを認識し、理解し、尊重できるように自己を訓練しておくことである。そのためには、まず自国の文化を理解し、そして他国の文化を理解することが重要である。

履修上の留意点

イギリスの文化を含め、「文化」そのものに興味がある学生を、特に「文明」と「文化」に関心のある学生を歓迎する。

成績評価の方法

レポートによる。レポート用紙(A4)10枚程度のものを、年1回提出。レポートには「参考文献名」を記入し、「引用文」には注)を付し、書名とページ数を記入すること。

教科書

教科書は使用しない。必要に応じ講義要録、参考資料等を適宜配布する。

その他

講義形式をとる。パソコン、ビデオ、書画カメラ等を用い、映像、写真、絵図、資料を提示しつつ講義を進める。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅵ (1) 〔民族とは何か〕	おののゆうじ 大野祐二	経営A選	4

講義のねらい

この講義は、文化人類学的な視点から「民族」にまつわる様々な現象を、我々の日常生活において理解することを、主たるねらいとしています。世界各地で噴出する民族問題の百科事典的な紹介ではなく、問題を理解する際に必要なアプローチなり、方法や認識について考察することを通して、我々の日常との関連について、つまり「あちら／他者」の問題としてではなく、「あちらとこちら／自己と他者」との関係のあり方から検討することを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

具体的なスケジュールについては最初の講義の際に伝えますが、前期においては文化人類学的方法論(文化の概念、異文化の記述・異文化へのまなざし、文化相対主義、他者表象など)についてが中心になります。

後期は、ビデオ教材も使いながら、日本・朝鮮半島・北米などにおける事例を検討しながら、「民族」現象について国家・ナショナリズム・植民地主義・歴史・伝統文化などとの関連から考察を進める予定です。

履修上の留意点

講義形式ですすめますが、一方的にならないため質問時間も可能な限りとりまします。大幅に遅刻する人はご遠慮ください。

成績評価の方法

前後期の定期試験(またはレポート)、および小テストで評価します。

教科書

詳細については授業中にプリントで伝える予定です。

参考書等

原尻英樹著『コリアンタウンの民族誌』(筑摩書房)
吉野耕作者『文化ナショナリズムの社会学』(名古屋大学出版会)
李孝徳著『表象空間の近代』(新曜社)

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅵ (2) 〔イスラム〕	よしのだきょうこ 吉田京子	経営A選	4

講義のねらい

現在、最も注目される思想、文化体系としてのイスラームに関する日本人の知識不足を補うための授業。国際社会の一員として最低限知っておくべき教養としての範囲のイスラームに関する知識を習得することが本講義の最大の目的である。多様な「イスラーム」認識の方法論の中から、イスラームの宗教的側面、信仰の概略、思想の根本を理解するため宗教学的アプローチを採用する。従って、国際関係論的、政治学的、社会学的、文化人類学的視座に基づくイスラーム概説とは異なる点に注意されたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期、後期を通じ、イスラームの信仰の核である、クルアーン、預言者ムハンマド、イスラーム法学、イスラーム神学、歴史的分派、スーフイズム等々のトピックごとに概論的授業を行う。

履修上の留意点

宗教学的、思想的側面からのイスラーム論なので、社会学的、歴史学的、政治学的、国際関係論的アプローチの前段階の内容となる。そのため、そのような意味でのイスラーム論を期待する学生には不相当である場合もある。

成績評価の方法

年間を通じ、出席率、提出物、後期末の試験により成績を決定する。

教科書

特になし

参考書等

授業中紹介

その他

数回のビデオ上映を予定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 VI (3) 〔フェミニズム・ジェンダー〕	はやかわのりよ 早川紀代	経営A選	4

講義のねらい

改正雇用機会均等法が施行されて3年たちましたが、依然新卒男女学生の就職率は格差があります。なぜこうした格差が生まれるのだろうか？、世間の男と女の座標軸はいったいどのようなようにつくられているのだろうか？。こうした疑問を私たちがくらししている、さまざまな場面を取りあげて、経済学や社会学、歴史学の成果を土台にして考えます。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1年間の講義を4期にわけます。
- a ジェンダーってなんだ？
フェミニズムの歴史とフェミニズムの歴史のなかから生まれたジェンダーという考え方について。
 - b 自分らしく働いて自分を高く売るってどういうこと？
雇用のなかの男女の分離、男性の会社人生、女性の会社人生？ 改正雇用機会均等法 男も女も自分らしく働く。
 - c 家族ってなんだ？
家族の人間関係と機能、近代家族と現代家族、家族のなかのいろいろな問題
どんな家族を創りたい？ シングルの選択。
 - d セクシュアリティってなに？
オスの性と男の性、性における男性支配、セクシュアリティの歴史、援助交際は自分の考えで性をうるからいいの？人間らしい性関係ってなに？

成績評価の方法

論述試験。再試験は実施しない。

教 科 書

教科書は指定しない。講義にあわせて資料を配布する。また参考書を随時紹介するので、そのうち1冊は読むこと。映画やビデオの上映はする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅶ(1) 〔トラブルと法的解決〕	北野かほる・王志安 小木曾綾・佐藤多美夫 塩入みほも・西修	経営A選	4

講義のねらい

人間の日常生活は、常に順調であるとは限らない。社会生活にはトラブルがつきまとう。トラブルには様々な形で解決を試みることが考えられるが、法的な解決は最も効力のある解決方法である。しかしその類型は一様でなく、社会生活の様々な側面において様々なトラブルの類型とその法的解決方法がある。

法的トラブルにはどのようなパターンが考えられるか。法的トラブルに遭遇したらどのように解決すればよいのか。あるいは法的トラブルを未然に防ぐにはどのようにすべきなのか。これらの点についてマクロ及びミクロの観点から分析し、法治国家の市民として知っておくべき法的知識やトラブル解決の糸口について考えていきたい。

昨年度までは民事法的領域について考察したが、今年度は、公法と呼ばれる領域に焦点を当て、我々の社会生活の各側面から考えられる法的なトラブルとその解決方法について考える。

講義は6名の教員が交替で行う。講義の具体的内容については担当教員がそれぞれの開講の際に開示する。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 「トラブルと法概論」北野かほる
- (2) 「憲法裁判からみたトラブルと法的解決」西修
- (3) 「行政事件を巡るトラブルと法的解決」塩入みほも
- (4) 「現代型犯罪と法的解決」佐藤多美夫
- (5) 「犯罪と刑罰（犯罪の実情と捜査・刑事裁判の諸原則、被害者支援など）」小木曾綾
- (6) 「国家間紛争と国際裁判の役割」王志安

履修上の留意点

各担当教員の実質講義回数が少ないため、講義には必ず出席すること。

成績評価の方法

各担当教員がそれぞれの担当枠の最後に実施する試験の成績を総合して評価する。講義に出席するほか、試験は必ず受けること。

教科書

特に指定しない。

参考書等

各担当教員が講義に際して必要の都度開示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅵ 〔都市論〕 (2)	早川純貴・浦田早苗 品田友美・中野裕二 保坂尚郎	経営A選	4

講義のねらい

いま大都市は多くの問題を抱えている。過密化と空洞化、住宅難、犯罪、失業と貧困、ホームレス、ゴミ問題、再開発、あるいは国際化と多文化主義。しかしこれらは独自のダイナミズムを持ち、拡大と変容を繰り返すと都市社会が示す多様な表象にほかならない。都市の現状を政治学や経済学、あるいは社会学の観点から概観し、都市の将来を考える。

講義の内容・授業スケジュール

講義は5名の講師により、各々4～6回ずつ行う。その順序/時期と講義内容は以下の通り。
 早川純貴『都市論』のガイダンス (1回/4月)
 品田友美「都市の変容と生活様式」(6回/4・5月) ——都市には、多くの人々が集う場として独特の生活様式が見いだせる。本講義では、日本の大都市の変容過程を、主に2つの視点から振り返る。①環境：都市のかたちは、エネルギーや資源の消費とどう関係するのか。②家族：都市はいつも新しい家族のかたちを生み出す。異質な人々にとって、都市とはどういう場であるのか。2つの視点を、生活様式というキーワードで結びながら、近未来の都市のゆくえを考えたい。
 保坂尚郎「都市と労働」(6回/6・7月) ——労働による肉体的負担は、労働時間に通勤時間、乗り物の混雑なども加わり、都市部ほどその負担が大きい。また都市では居住環境の制約から核家族が多く、両親が就労しながら子育てする場合、保育施設の整備が不可欠であるが、現実には絶対数が不足している。この講義では、裁量労働制、時差通勤、SOHOワークなどの新たな働き方と、駅周辺保育施設の整備などを組み合わせ、快適・効率的で、子育てと両立できる都市労働のあり方を考える。
 中野裕二「移民問題とフランスの苦悩」(4回/9月・10月) ——移民や外国人労働者の問題は先進諸国で等しく見られるが、その問題の起こり方は国によって様々だろう。講義ではフランスの移民問題を概観した後、住宅や教育そして地域生活への参加に焦点を当て、フランスに特徴的な点を浮き彫りにする。さらにはこれらの点を中心に日本との比較をしてみたい。
 早川純貴「『まちづくり』と住民参加」(4回/10・11月) ——いわゆる迷惑施設や道路建設をめぐる住民と行政の対立、地域による防災への取り組み、老人・障害者支援など身近にあるまちづくり、そして古い家並みや建造物の保存運動などを通じ、住みやすく愛着のある「まちのかたち」を住民参加の観点で考える。
 浦田早苗「イギリスの都市はおいしい」(4回/11・12月) ——イギリス一般市民の都市生活を、食事、娯楽、住居などの面から観察し、日英の都市文化の比較を試みる。

履修上の留意点

日本や海外の都市問題に強い関心を持つ学生の受講を歓迎する。もちろん学生諸君が「都市」に居住しているかどうかは問わない。

成績評価の方法

成績は各講師がレポートないし小テスト等により判定し、それらを早川が総合して評価する。

教養教育

3 . 外 国 語 科 目

外
国
語

3 . 外国語科目

〔 英 語 〕

英語 I A	〈丸 小 哲 雄〉	85
英語 I A	〈増 田 恵 子〉	85
英語 I A	〈前期：田中靖子・後期：矢島直子〉	86
英語 I A	〈川 股 陽太郎〉	86
英語 I A	〈水 崎 野里子〉	86
英語 I A	〈河 内 賢 隆〉	87
英語 I A	〈横 森 正 彦〉	87
英語 I A	〈川 崎 笑 佳〉	87
英語 I B	〈影 山 なおみ〉	88
英語 I B	〈大 淵 利 春〉	88
英語 I B	〈亀 田 三重子〉	89
英語 I B	〈前期：飯沼好永・後期：矢島直子〉	89
英語 I B	〈佐 藤 江里子〉	89
英語 I C (会話)	〈ノーラン, D. J.〉	90
英語 I C (会話)	〈ハバード, W. D.〉	90
英語 I C (会話)	〈ロンゴ, T.〉	91
英語 I C (会話)	〈ヘラー, P. S.〉	91
英語 I C (会話)	〈ロビン, G. F.〉	91
英語 I C (会話)	〈ラッセル, S. J.〉	92
英語 I C (会話)	〈ピアス, D. M.〉	93
英語 I C (会話)	〈ササキ, M.〉	93
英語 I C (会話)	〈レイン, R. V.〉	94
英語 II A	〈江 田 幸 子〉	95
英語 II A	〈長谷川 公 一〉	95
英語 II A	〈佐 藤 勝 勝〉	96
英語 II A	〈川 崎 笑 佳〉	96
英語 II A	〈高 柳 文 江〉	96
英語 II A	〈塚 本 利 男〉	97
英語 II A	〈西 原 克 政〉	97
英語 II A	〈手 島 敬 子〉	97
英語 II A	〈逢 見 明 久〉	98
英語 II C (会話)	〈ササキ, M.〉	99
英語 II C (会話)	〈ラッセル, S. J.〉	99
英語 II C (会話)	〈レイン, R. V.〉	100
英語 II C (会話)	〈ロビン, G. F.〉	100
英語 II C (会話)	〈ノーラン, D. J.〉	100
英語 II C (会話)	〈ハバード, W. D.〉	101
英語 II C (会話)	〈ロンゴ, T.〉	101
英語 II C (会話)	〈ヘラー, P. S.〉	102
英語 III A	〈小布施 圭佐三〉	103
英語 III A	〈佐 藤 孝 一〉	103
英語 III A	〈甲 斐 捷 子〉	104
英語 III A	〈広 川 治 治〉	104
英語 III A	〈山 口 晃 晃〉	104
英語 III A	〈伊 藤 美代子〉	105

英語ⅢA	〈太田美智子〉	105
英語ⅢA	〈吉江正雄〉	105
英語ⅢA	〈照山雄彦〉	106
英語ⅢA	〈落合和昭〉	106
英語ⅢA	〈高橋寛〉	106
英語ⅢA	〈丹治弘昌〉	107
英語ⅢA	〈伊藤幸一〉	107

〔ドイツ語〕

ドイツ語ⅠA	〈栗原万修〉	108
ドイツ語ⅠA	〈野島利彰〉	108
ドイツ語ⅠA	〈杉本正俊〉	108
ドイツ語ⅠB	〈栗原万修〉	109
ドイツ語ⅠB	〈岡本時子〉	109
ドイツ語ⅠB	〈五十嵐信子〉	109
ドイツ語ⅠC (会話)	〈松岡晋〉	110
ドイツ語ⅡA	〈飯塚公夫〉	110
ドイツ語ⅡA	〈河上和史〉	110
ドイツ語ⅡC (会話)	〈野島利彰〉	111
ドイツ語ⅢA	〈織田繁美〉	111

〔フランス語〕

フランス語ⅠA	〈井田清子〉	112
フランス語ⅠA	〈小玉齊夫〉	112
フランス語ⅠA	〈遠山博雄〉	113
フランス語ⅠB	〈浜崎設夫〉	113
フランス語ⅠB	〈長谷川光明〉	114
フランス語ⅠB	〈谷川かおる〉	114
フランス語ⅠC (会話)	〈佐藤久美子〉	114
フランス語ⅡA	〈竹田正純〉	115
フランス語ⅡC (会話)	〈桑田禮彰〉	115
フランス語ⅢA	〈前田祝一〉	115

〔中国語〕

中国語ⅠA・ⅠB	〈布施直子・胡玉華〉	117
中国語ⅠA・ⅠB	〈福地桂子・前川亨〉	118
中国語ⅠA・ⅠB	〈工藤早恵・布施直子〉	118
中国語ⅠA・ⅠB	〈釜屋修・下出宣子〉	118
中国語ⅠA・ⅠB	〈塩旗伸一郎〉	119
中国語ⅠA・ⅠB	〈佐藤普美子〉	119
中国語ⅠA・ⅠB	〈天野節・曹泰和〉	119
中国語ⅠA・ⅠB	〈小川隆・釜屋修〉	120
中国語ⅠA・ⅠB	〈佐藤普美子・塩旗伸一郎〉	120
中国語ⅠC (会話)	〈秋元翼〉	120
中国語ⅠC (会話)	〈工藤早恵〉	121
中国語ⅡA	〈松本丁俊〉	121
中国語ⅡA	〈福地桂子〉	121
中国語ⅡA	〈王聡〉	122
中国語ⅡA	〈弘兼加奈子〉	122

中国語ⅡC (会話)	〈佐藤 普美子〉	122
中国語ⅡC (会話)	〈天野 節〉	123
中国語ⅢA	〈天野 節〉	123
〔スペイン語〕		
スペイン語ⅠA	〈ルイズティノコ, C.〉	124
スペイン語ⅠA	〈中川 清〉	124
スペイン語ⅠA	〈亀山 晃一〉	124
スペイン語ⅠB	〈佐藤 麻里乃〉	124
スペイン語ⅠB	〈米田 博美〉	125
スペイン語ⅠB	〈栗林 ゆき絵〉	125
スペイン語ⅠB	〈荻野 雅司〉	126
スペイン語ⅠC (会話)	〈ルイズティノコ, C.〉	126
スペイン語ⅡA	〈荻野 恵〉	126
スペイン語ⅡA	〈真下 祐一〉	127
スペイン語ⅡC (会話)	〈真下 祐一〉	127
スペイン語ⅢA	〈真下 祐一〉	128
〔ロシア語〕		
ロシア語ⅠA	〈杉山 秀子〉	130
ロシア語ⅠB	〈廣田 英靖〉	131
ロシア語ⅠC (会話)	〈佐野 朝子〉	131
ロシア語ⅡA	〈木村 英明〉	132
ロシア語ⅡC (会話)	〈クロチコフ, Y〉	132
ロシア語ⅢA	〈クロチコフ, Y〉	132
〔英語〕		
英語ⅠA〔再クラス〕	〈西村 祐子〉	133
英語ⅠA〔再クラス〕	〈岩井 洋美〉	133
英語ⅠA〔再クラス〕	〈林 孝憲〉	133
英語ⅠA〔再クラス〕	〈太田 美智子〉	134
英語ⅠA〔再クラス〕	〈伊藤 美代子〉	134
英語ⅠA〔再クラス〕	〈高橋 寛〉	134
英語ⅠA〔再クラス〕	〈吉江 正雄〉	135
英語ⅠA〔再クラス〕	〈埴 美智子〉	135
英語ⅠA〔再クラス〕	〈塚本 利男〉	135
英語ⅠA〔再クラス〕	〈川島 弘之〉	136
英語ⅠA〔再クラス〕	〈尾上 典子〉	136
英語ⅠA〔再クラス〕	〈太田 由紀子〉	137
英語ⅠA〔再クラス〕	〈高柳 文江〉	137
英語ⅠA〔再クラス〕	〈桧山 晋〉	138
英語ⅠA〔再クラス〕	〈森田 隆光〉	138
英語ⅠA〔再クラス〕	〈岩原 康夫〉	138
英語ⅠA〔再クラス〕	〈前期：川股陽太郎・後期：八十木裕幸〉	139
英語ⅠA〔再クラス〕	〈西原 克政〉	139
英語ⅠB〔再クラス〕	〈手島 敬子〉	139
英語ⅠB〔再クラス〕	〈林 孝憲〉	140
英語ⅠB〔再クラス〕	〈木村 克彦〉	140
英語ⅠB〔再クラス〕	〈武藤 久緒〉	140

英語 I B [再クラス]	〈江田幸子〉	141
英語 I B [再クラス]	〈甲斐捷子〉	141
英語 I B [再クラス]	〈石原孝哉〉	141
英語 I B [再クラス]	〈前田脩〉	142
英語 I B [再クラス]	〈太田由紀子〉	142
英語 I B [再クラス]	〈村石恵照〉	142
英語 I B [再クラス]	〈町田成男〉	143
英語 I B [再クラス]	〈松堂啓子〉	143
英語 I B [再クラス]	〈三浦眞理〉	143
英語 I B [再クラス]	〈飯沼好永〉	144
英語 I C (会話) [再クラス]	〈ノーラン, D. J.〉	144
英語 I C (会話) [再クラス]	〈ハバード, W. D.〉	144
英語 I C (会話) [再クラス]	〈ロンゴ, T.〉	144
英語 I C (会話) [再クラス]	〈レーン, C. M.〉	144
英語 I C (会話) [再クラス]	〈ロビン, G. F.〉	144
英語 I C (会話) [再クラス]	〈ラッセル, S. J.〉	145
英語 I C (会話) [再クラス]	〈ピアス, D. M.〉	145
英語 I C (会話) [再クラス]	〈ササキ, M.〉	145
英語 I C (会話) [再クラス]	〈レイン, R. V.〉	145
英語 II A [再クラス]	〈佐藤明子〉	145
英語 II A [再クラス]	〈宇都宮秀和〉	146
英語 II A [再クラス]	〈岡崎寿一郎〉	146
英語 II A [再クラス]	〈川股陽太郎〉	146
英語 II A [再クラス]	〈岡崎寿一郎〉	147
英語 II A [再クラス]	〈井伊順彦〉	147
英語 II A [再クラス]	〈ピアス, D. M.〉	148
英語 II A [再クラス]	〈前期: 田中靖子、後期: 矢島直子〉	148
英語 II A [再クラス]	〈小笠原隆元〉	149
英語 II A [再クラス]	〈河内山有佐〉	149
英語 II A [再クラス]	〈大淵利春〉	149
英語 II A [再クラス]	〈山岸二郎〉	150
英語 II C (会話) [再クラス]	〈ササキ, M.〉	150
英語 II C (会話) [再クラス]	〈ラッセル, S. J.〉	150
英語 II C (会話) [再クラス]	〈レイン, R. V.〉	150
英語 II C (会話) [再クラス]	〈ロビン, G. F.〉	150
英語 II C (会話) [再クラス]	〈ノーラン, D. J.〉	150
英語 II C (会話) [再クラス]	〈ハバード, W. D.〉	150
英語 II C (会話) [再クラス]	〈ロンゴ, T.〉	151
英語 II C (会話) [再クラス]	〈レーン, C. M.〉	151
英語 III A	〈小布施圭佐三〉	151
英語 III A	〈佐藤孝一〉	151
英語 III A	〈甲斐捷子〉	151
英語 III A	〈広川治〉	151
英語 III A	〈山口晃〉	151
英語 III A	〈伊藤美代子〉	151
英語 III A	〈太田美智子〉	152
英語 III A	〈吉江正雄〉	152
英語 III A	〈照山雄彦〉	152
英語 III A	〈落合和昭〉	152

英語Ⅲ A	〈高橋 寛〉	152
英語Ⅲ A	〈丹治 弘昌〉	152
英語Ⅲ A	〈伊藤 幸一〉	152

〔ドイツ語〕

ドイツ語 I A [再クラス]	〈柴野 博子〉	153
ドイツ語 I A [再クラス]	〈松岡 晋〉	153
ドイツ語 I A [再クラス]	〈織田 繁美〉	153
ドイツ語 I A [再クラス]	〈百濟 勇〉	154
ドイツ語 I A [再クラス]	〈五十嵐 信子〉	154
ドイツ語 I B [再クラス]	〈柴野 博子〉	155
ドイツ語 I B [再クラス]	〈野島 利彰〉	155
ドイツ語 I B [再クラス]	〈松岡 晋〉	155
ドイツ語 I B [再クラス]	〈杉本 正俊〉	156
ドイツ語 I B [再クラス]	〈百濟 勇〉	156
ドイツ語 I C [再クラス]	〈松岡 晋〉	156
ドイツ語 II A [再クラス]	〈柴野 博子〉	157
ドイツ語 II A [再クラス]	〈本橋 右京〉	157
ドイツ語 II A [再クラス]	〈杉本 正俊〉	157
ドイツ語 II C (会話) [再クラス]	〈野島 利彰〉	158
ドイツ語 III A [再クラス]	〈織田 繁美〉	158

〔フランス語〕

フランス語 I A [再クラス]	〈菅谷 暁〉	159
フランス語 I A [再クラス]	〈芦原 眷〉	159
フランス語 I A [再クラス]	〈小玉 齊夫〉	159
フランス語 I A [再クラス]	〈長谷川 光明〉	160
フランス語 I B [再クラス]	〈竹田 正純〉	160
フランス語 I B [再クラス]	〈今関 ア ン〉	161
フランス語 I B [再クラス]	〈菅谷 暁〉	161
フランス語 I B [再クラス]	〈伊藤 なお〉	161
フランス語 I B [再クラス]	〈谷川 かおる〉	162
フランス語 I C (会話) [再クラス]	〈佐藤 久美子〉	162
フランス語 II A [再クラス]	〈畑中 千晶〉	162
フランス語 II A [再クラス]	〈沼倉 広子〉	162
フランス語 II A [再クラス]	〈谷川 かおる〉	163
フランス語 II C (会話) [再クラス]	〈桑田 禮彰〉	163
フランス語 III A [再クラス]	〈竹田 正純〉	163

〔中国語〕

中国語 I A・I B [再クラス]	〈江林 英基〉	164
中国語 I A・I B [再クラス]	〈戸張 嘉勝〉	164
中国語 I A・I B [再クラス]	〈杉山 静〉	164
中国語 I A・I B [再クラス]	〈佐藤 普美子〉	165
中国語 I A・I B [再クラス]	〈天野 節〉	165
中国語 I A・I B [再クラス]	〈根岸 政子〉	165
中国語 I A・I B [再クラス]	〈櫻庭 和典〉	166
中国語 I A・I B [再クラス]	〈曹 泰和〉	166
中国語 I A・I B [再クラス]	〈李 雲〉	166

中国語ⅠA・ⅠB	[再クラス]	〈三田村 圭子〉	167
中国語ⅠA・ⅠB	[再クラス]	〈小川 隆〉	167
中国語ⅠA・ⅠB	[再クラス]	〈胡 玉華〉	167
中国語ⅠA・ⅠB	[再クラス]	〈弘 兼 加奈子〉	168
中国語ⅠA・ⅠB	[再クラス]	〈蘭 明〉	168
中国語ⅠC (会話)	[再クラス]	〈秋 元 翼〉	168
中国語ⅠC (会話)	[再クラス]	〈尹 景 春〉	168
中国語ⅡA	[再クラス]	〈平 石 淑 子〉	169
中国語ⅡA	[再クラス]	〈李 雲〉	169
中国語ⅡA	[再クラス]	〈秋 元 翼〉	169
中国語ⅡA	[再クラス]	〈大久保 明 男〉	170
中国語ⅡC (会話)	[再クラス]	〈佐 藤 普美子〉	170
中国語ⅡC (会話)	[再クラス]	〈天 野 節〉	170
中国語ⅢA	[再クラス]	〈天 野 節〉	170

[スペイン語]

スペイン語ⅠA・ⅠB	[再クラス]	〈宮 地 達 郎〉	171
スペイン語ⅠA・ⅠB	[再クラス]	〈大 岩 功〉	171
スペイン語ⅠA・ⅠB	[再クラス]	〈上 野 勝 広〉	172
スペイン語ⅠA・ⅠB	[再クラス]	〈佐 藤 紘 子〉	172
スペイン語ⅠA・ⅠB	[再クラス]	〈荻 野 恵〉	172
スペイン語ⅠA・ⅠB	[再クラス]	〈荻 野 雅 司〉	173
スペイン語ⅠA・ⅠB	[再クラス]	〈佐 藤 麻里乃〉	173
スペイン語ⅠC	[再クラス]	〈ルイズティノコ, C.〉	173
スペイン語ⅡA・ⅡB	[再クラス]	〈福 本 久美子〉	174
スペイン語ⅡA・ⅡB	[再クラス]	〈大 岩 功〉	174
スペイン語ⅡA・ⅡB	[再クラス]	〈佐 藤 紘 子〉	175
スペイン語ⅡC (会話)	[再クラス]	〈真 下 祐 一〉	175
スペイン語ⅢA	[再クラス]	〈真 下 祐 一〉	175

[ロシア語]

ロシア語ⅠA・ⅠB	[再クラス]	〈廣 田 英 靖〉	176
ロシア語ⅠA・ⅠB	[再クラス]	〈佐 野 朝 子〉	176
ロシア語ⅠA・ⅠB	[再クラス]	〈木 村 英 明〉	177
ロシア語ⅠA・ⅠB	[再クラス]	〈安 徳 ニーナ〉	177
ロシア語ⅠC (会話)	[再クラス]	〈佐 野 朝 子〉	177
ロシア語ⅡA・ⅡB	[再クラス]	〈クロチコフ, Y.〉	178
ロシア語ⅡA・ⅡB	[再クラス]	〈クロチコフ, Y.〉	178
ロシア語ⅡA・ⅡB	[再クラス]	〈安 徳 ニーナ〉	178
ロシア語ⅡC (会話)	[再クラス]	〈クロチコフ, Y.〉	179
ロシア語ⅢA	[再クラス]	〈クロチコフ, Y.〉	179

《 選 択 科 目 》

時事英語研究	〈竹村恵都子〉	180
時事英語研究	〈林明人〉	180
時事英語研究	〈河内賢隆〉	180
マルチ・メディア	〈落合和昭〉	181
マルチ・メディア	〈大庭直樹〉	182
マルチ・メディア	〈町田尚子〉	183
英会話Ⅱ	〈ジトウィッツ, P.D.〉	184
英会話Ⅱ	〈プラスキー, J.C.〉	184
英会話Ⅱ-夏季集中-	〈ピアス, D.M.〉	185
英会話Ⅲ	〈ウエルズ, J.K.〉	186
英会話Ⅲ	〈ウエイド, D.A.〉	186
英会話Ⅲ-夏季集中-	〈レーン, C.M.〉	187
英語LLⅡ	〈太田雅子〉	188
英語LLⅡ	〈西村祐子〉	188
英語LLⅡ	〈町田尚子〉	189
英語LLⅢ	〈岸本茂和〉	190
英語LLⅢ	〈久保ひさ子〉	190
英語LLⅢ	〈西村祐子〉	191
時事ドイツ語	〈野島利彰〉	192
上級ドイツ語	〈栗原万修〉	192
ドイツ語LLⅠ	〈小林ゲアリンデ〉	192
ドイツ語LLⅡ	〈小林ゲアリンデ〉	193
ドイツ語IA(選)	〈栗原万修〉	193
ドイツ語IB(選)	〈織田繁美〉	193
ドイツ語Ⅱ(選)	〈百済勇〉	194
時事フランス語	〈遠山博雄〉	195
上級フランス語	〈小玉齊夫〉	195
フランス語LLⅠ	〈ラリア・三倉, M.〉	195
フランス語LLⅡ	〈ラリア・三倉, M.〉	196
フランス語IA(選)	〈井田清子〉	196
フランス語IB(選)	〈長谷川光明〉	196
フランス語Ⅱ(選)	〈桑田禮彰〉	197
時事中国語	〈塩旗伸一郎〉	198
上級中国語	〈釜屋修〉	198
中国語LLⅠ	〈佐藤普美子〉	198
中国語LLⅡ	〈小川隆〉	199
中国語IA(選)	〈蘭明〉	199
中国語IB(選)	〈釜屋修〉	199
中国語Ⅱ(選)	〈松本丁俊〉	200
時事スペイン語	〈上野勝広〉	201
上級スペイン語	〈上野勝広〉	201
スペイン語LLⅠ	〈ナバロ, ホワンJ.〉	201
スペイン語LLⅡ	〈ナバロ, ホワンJ.〉	202
スペイン語IA(選)	〈中川清〉	202
スペイン語IB(選)	〈亀山晃一〉	202
スペイン語Ⅱ(選)	〈荻野雅司〉	203
時事ロシア語	〈木村英明〉	204

上級ロシア語〈クロチコフ, Y.〉	204
ロシア語 LL I 〈安德ニーナ〉	204
ロシア語 LL II 〈安德ニーナ〉	205
ロシア語 IA (選) 〈クロチコフ, Y.〉	205
ロシア語 IB (選) 〈木村英明〉	206
ロシア語 II (選) 〈安德ニーナ〉	206
朝鮮語 IA (選) 〈宋美玲〉	207
朝鮮語 IB (選) 〈宋美玲〉	207
朝鮮語 II (選) 〈宋美玲〉	207

英 語 I A

〈英語 I A の授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をのばします。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	丸 小 哲 雄	経営 A 1 年	2

講義のねらい

国際化とは、無意識的な自国の文化を意識化し、自国語を拡大しつつ越えてゆき、自らの問題意識を拡大し高めて、他国を捉えて理解してゆくことである。インターナショナルの前提として、ナショナルなものがなければ、それは国際化とは言わず、根無し草・デラシネにすぎない。そこで、本テキストをコミュニケーションの発信型の基礎として捉え、内向的思考の日本的発想法 (モノローグ言語) をいかに差異化し、物事の対象世界を切り取ってゆく外向的思考の欧米的発想に (ダイアログ言語) にいかに転換するかを説き明かしていくことになる。授業は、語学的な技術と同様に、双方の根本的な発想法のズレを考えるクラスとしたい。そのためには英字新聞・雑誌の購読はこの演習の前提条件となります。

講義の内容・授業スケジュール

20分間を教材を利用してリスニング・タイムとして、70分をリーディング・タイムとします。リスニング・タイムは語彙と総理解を、リーディング・タイムはテキストの読み・解釈・批評の能力を涵養してゆきます。毎授業リスニングの小テストを行ないます。レポート提出もあります。

成績評価の方法

出席、平常テスト、前期・後期のターム・ペーパー (レポート作成)、前期・後期の語学試験などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価。

教 科 書

リーディング・テキスト; *The Compact Culture* (英宝社)
リスニング・テキスト; *Short Listening* (成美堂)

参 考 書 等

随時指示し、適宜コピーも配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	増 田 恵 子	経営 A 1 年	2

講義のねらい

英語による意志伝達のうち、おもにライティングのスキルを伸ばすことを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

英作文を中心に、さまざまな練習問題をおこなっていく。

履修上の留意点

十分な予習と授業への積極的な参加姿勢が必要となる。

成績評価の方法

出席回数、発表や提出物、前・後の定期試験を総合的に判断して評価する。

教 科 書

Writing Everyday English Expressions (金星堂) 1,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	前期：田中靖子 後期：矢島直子	経営A1年	2

講義のねらい	入学時の英語力を基礎として、英語による文章表現になれることを目指します。最初のうちはセンテンスを書く練習をし、後にパラグラフが書けるようになってほしいです。
履修上の留意点	教室でどんどん黒板に書いてもらいたいので、予習をしてくること（英語の文章を書いてくること）。英和辞典、和英辞典を持参するとよいです。
成績評価の方法	普段書いてもらう文、出席状況、前期末・後期末試験の結果を総合的に評価します。
教科書	教場で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	川股陽太郎	経営A1年	2

講義のねらい	入学時の英語を基礎として英語の運用能力をやしなう。
講義の内容・授業スケジュール	ヒヤリング、スピーキング、ライティングの運用能力練習をする。
履修上の留意点	3分の2以上出席し、授業に参加すること。
成績評価の方法	平常評価。出席、発表、小テスト等を総合し評価する。
教科書	教科書は未定。プリント教材を適宜配布、VHS、DVD等も使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	水崎野里子	経営A1年	2

講義のねらい	基礎的なヒアリング、英会話、英作文の練習をする。
講義の内容・授業スケジュール	前期はヒアリングの練習を中心に授業を行う。 後期は、自由英作文、あるいは自由英会話の練習を中心とする。 また、前期、後期を通して、バイリンガルの副読本を用い、日本語から英語、あるいは英語から日本語に置換可能な思考パターンを学ぶ。
履修上の留意点	授業は平常点を重視する。学生の方々は、出席に留意して欲しい。
成績評価の方法	平常点(出席重視)と、前期後期二度のテスト、あるいはレポートによって、総合判断する。
教科書	『TOEIC テストリスニング基礎演習』（英宝社）1,600円
参考書等	最初の授業の時、教場にて指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	かわうち けんりゅう 河内賢隆	経営A1年	2

講義のねらい

ニュースの英語は実に達意で、簡潔に書かれている。しかも語法的に見て、スクールグラマーを超えた新しい表現が随所に見受けられる。内容の理解と共に、これまでの英語学習とは少し違った角度から英文を理解していきたい。勿論、耳の訓練を含めて、総合的な学習を目指す。

成績評価の方法

出席点と発表点（通年3回以上）を重視し、真面目な授業態度を評価する。平常点50点と二回の定期試験50点

教科書

『ニュースで学ぶ総合英語』（成美堂）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	よこもり まさひこ 横森正彦	経営A1年	2

講義のねらい

英語を話したり、書いたりするための基礎知識を習得することをねらいとしました。日本語と英語の違いに注目して、英語表現の特徴を掴むこと。次に、コミュニケーションを行ううえで大切な英語表現の文体的特徴を学ぶこと。

講義の内容・授業スケジュール

日英比較；主語、述語、修飾語、前置詞、肯定と否定、語法、慣用表現、文体；informale style, formal style, selection and unity of style...

履修上の留意点

文法、作文が中心になります。予習をしっかりとやって、授業に臨んでください。

成績評価の方法

欠席—4点減点、レポート—1回4点、小テスト—1回2点、前期後期テスト—合計100点、授業態度（発表まど）を総計して評価します。

教科書

英語表現法入門、武田良一、英宝社、1900円+税プリント

参考書等

授業時に紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	かわさき えみか 川崎笑佳	経営A1年	2

講義のねらい

入学時の英語能力を基盤として、意志伝達能力の向上を目指す。授業では、テキスト、又は必要に応じてその他の教材を用いて指導を行い、基本的な表現から、より効果的な表現へとステップアップすることを最終目標とする。

履修上の留意点

毎回授業中に英作文を書いて提出してもらうので、辞書持参が望ましい。

成績評価の方法

3分の2以上の出席および英作文、発表、授業態度、テストの結果をもとに総合的に評価する。

教科書

『Thoughts into Writing—パラグラフ・ライティング入門』（成美堂）1,700円

英 語 I B

〈英語 I B の授業内容と履修上の留意点〉

Reading and Listening Comprehension (Reading and Listening) : 入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と speed reading の基礎を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	かげやま 影 山 なおみ	経営A1年	2

講義のねらい

テキストの内容を深く理解することでリーディングの力をより高め、総合的英語能力を身に付ける。

講義の内容・
授業スケジュール

本テキストは映画というフィルターを通して、現代社会が抱える問題をやさしい英語で説明している。授業は学生の理解にあわせて、本テキストをゆっくり精読していく。

成績評価の方法

成績は出席、授業態度、テストの点数により総合的に評価する。

教 科 書

Every Movie Tells a Story (金星堂)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	おおふちとしはる 大 淵 利 春	経営A1年	2

講義のねらい

経営や経済に関するトピックが多く含まれる時事英語のテキストを用い、それを読み、理解し、かつ聞き取る能力をつけることを目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

毎回テキストを読み進めていきます。また、リスニング力アップのための小テストを行います。

履修上の留意点

毎回多くの学生に発表してもらうので、予習をしっかりと行って下さい。また、辞書を必ず持参して下さい。

成績評価の方法

平常点 50%、前、後期試験 50% で評価します。平常点は出席率、発表の内容などから総合的に判断します。

教 科 書

Real Stories in the News (成美堂) 1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	亀田 三重子	経営A1年	2

講義のねらい

その時々話題となっているニュースの新聞記事や、CNN、BBCの最新のニュースを用いる。その中で様々な分野の英語やその表現を学ぶ。又それを用いた英作文も行う。最終目標として、英語ニュースや新聞記事に親しめるように持ってゆきたい。特に経済、経営関係には十分な時間を掛ける予定。

成績評価の方法

出席点 20、平常点 30、期末試験点 50、と前、後期合わせて 200 点とする。

教科書

News Listening Break (2) (金星堂)
他に新聞やニュースビデオを教材として随時用いる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	前期：飯沼好永	経営A1年	2
	後期：矢島直子		

講義のねらい

入学時の英語力を基礎として、英語の文章を正確に、後には量を多く読めるようになることを目指します。

履修上の留意点

教室でどんどん当てますから、予習をしてくること。ただ分からない単語を辞書で引くだけでなく、文章を理解して授業に臨んで下さい。

成績評価の方法

ふだん当てた時の英語力、出席状況、前期末・後期末試験の結果を総合的に評価します。

教科書

教場で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	佐藤 江里子	経営A1年	2

講義のねらい

アメリカの最新情報を盛り込んだエッセイを読みながら、内容理解、語彙、構文、会話、リスニングに関するチェック問題を行い英語力を高める。

履修上の留意点

必ず予習をし、辞書を用意して授業に出席すること。

成績評価の方法

出席、発表、毎回行う小テスト、授業態度などの平常点 (50%) と、前期後期試験 (50%) による総合評価。

教科書

『What's News アメリカを読む』(南雲堂) 1,456 + 税

英語 I C (会話)

〈英語 I C の授業内容と履修上の留意点〉

英語を母語とする外国人教師が担当します。ネイティブスピーカーの英語が聞きとれて、基本的な日常表現ができることを目指した大学初級レベルの英会話の授業です。達成目標の目安は英検2級合格、TOEFL のスコア450点、TOEIC のスコア500点程度。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 I C (会話)	ノーラン, D. J.	経営A1年	2

講義の内容・
授業スケジュール

英会話を中心とし、ともに聴解力を育てるコースである。各レッスンのゴールを明確にし、学生同士、または個人で使用できる教材をもとにし、日常生活において英会話能力を高めようとする。自己紹介、情報交換、意志表示、好き嫌いを表現すること、またその他の身近な課題などが含まれている。

授業年間計画：1回の授業で教科書一章の予定。

履修上の留意点

原則的に遅刻は認めない。学生は、自分自身の教科書、英和・和英辞書、筆記具を持参すること。受講する学生は期日までに各自の写真(2×3cm、スナップ可)を提出すること。

成績評価の方法

出席(評価の30%、但し、通年五回以上欠席の学生には単位を与えない)、授業参加(30%)、期末試験(面接方式、40%)。

教 科 書

Hisatake Jimbo, Thomas Cogan Speaking Strategies (Macmillan Languagehouse) 1,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 I C (会話)	ハバード, W. D.	経営A1年	2

講義のねらい

Students are expected to acquire a basic ability to express themselves in day to day conversations.

講義の内容・
授業スケジュール

This course includes oral/listening practice, role playing, pair practice, question and answer work, opportunities to exchange opinions and share information as well as other activities to improve student conversation skills in expressing topics of various interests.

成績評価の方法

Grading: Final grades will be based on attendance, class participation, preparation, and tests.

教 科 書

Textbook: *iTALK* by Dale Fuller and Timothy Kiggell, Macmillan Language, Tokyo

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I C (会話)	ロンゴ, T.	経営A1年	2

講義のねらい	The students will work on improving their communicative and listening skills.
履修上の留意点	4 absences in one semester is poor attendance. Come to every class and your English will improve!
成績評価の方法	Regular attendance and participation is expected of each student.
教科書	Textbook is required. Prints will be given to each student. TEXT: <i>English Firsthand - Gold Edition.</i> PUB: Longman Book 1

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I C (会話)	ヘラー, P. S.	経営A1年	2

講義の内容・授業スケジュール	開講時指示する。
成績評価の方法	会話の少人数クラスの授業だけに、平常点と出席点を重視する（受け身の授業ではなく積極的な参加を望む）。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I C (会話)	ロビン, G. F.	経営A1年	2

講義のねらい	This course will focus on developing conversation skills for students using vocabulary and grammar that would normally have been acquired from previous courses in the school system. New vocabulary will be introduced as needed. Students will be encouraged to express themselves in English through pair and group activities and will be graded
成績評価の方法	According to class participation, homework assignments, and a mid-term and final test which will be given at the end of each term.
教科書	FIFTY-FIFTY: A BASIC COURSE IN COMMUNICATIVE ENGLISH (STUDENT BOOK) BOOK ONE: 2 ND EDITION

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I C (会 話)	ラッセル, S. J.	経 営 A 1 年	2

講義のねらい

English Conversation 1C is for students who really want to improve their listening and speaking ability in English.

講義の内容・
授業スケジュール

This course will present everyday functional language in various situations. Students will speak in controlled and guided activities with their classmates, which is a great way to make new friends. It should be fun! Later in the course students should be free and able to express their ideas and opinions on a range of interesting topics. Interactive learning will be a feature of the classes so good attendance will be required.

履修上の留意点

Please come to class smiling with a positive attitude to actually SPEAK English. Show that you really want to improve your English by not missing many classes. Good attendance will be important in your grade each semester. Bring your textbook, a notebook, and a dictionary to each class

成績評価の方法

Students will be assessed at the end of the course based on attendance, assignments and performance in class. There will be a short (but not too easy) test at the end of the course.

教 科 書

Journeys 1 Listening and Speaking ISBN 0-13-165036-X Published by Longman

外
国
語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I C (会話)	ピアス, D. M.	経営 A 1 年	2

講義のねらい

Please join this class together with your friends, or make new friends in class! During most of the class period you will be talking to each other in groups. You will not be learning any more English; all you have to do is to start using what you already know. By the end of the course you should be able to speak enough English to travel in foreign countries, talk with foreigners, and communicate about all the usual things in everyday life. Our textbook will guide you through everything. You will learn all the conversation patterns for everyday situations such as buying things, getting information, making reservations. The course also aims at helping you to find good employment in the future, and so we will concentrate on TOEFL, EIKEN, AND TOEIC. There will also be a lot of intensive practice in English composition, which you can practice together in groups. It's a lot of fun!

履修上の留意点

Attendance and active participation are most important, because improvement in English speaking depends on the amount of practice. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter-grade less than what the student would otherwise have received.

成績評価の方法

Apart from the two final-semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

Your final grade depends 70% on your class performance, in every class. I will keep a record of your participation in every single class meeting. This is a course for English conversation; one can improve speaking ability, similarly to playing piano, only by constant practice. This is true no matter how advanced the student may be. Therefore, attendance is extremely important, and the examinations have minor effect on the final grade. Finally! Everyone in the class is equally able to get an "A" in the class, because the final grade does not depend on the final examination. Even if a student cannot speak English at all, he/she has as much a chance as the other students to get an "A", because his final grade depends on his effort and his improvement in comparison to his initial ability.

教科書

We will probably use *American Sociology*, Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English-Japanese dictionary or a battery-powered dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I C (会話)	ササキ, M.	経営 A 1 年	2

講義のねらい

Do you like to travel? Then please join my class. We will study English conversation for a specific purpose: TRAVEL. Through watching video, you will experience how to use airport transportation, check into a hotel, and ask for directions, etc. You will be graded on assignments, interview tests and pop-quizzes.

成績評価の方法

You must attend at least 2/3 of the classes in which attendance is taken in order to pass.

教科書

Text: "Viva! San Francisco"

科 目 名	科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I C (会 話)		レイン, R. V.	経営 A 1 年	2

外
国
語

講義のねらい

This course will help the student to: 1] use conversational English language patterns and idioms with increased confidence, and 2] improve their presentation - skills.

講義の内容・
授業スケジュール

The first half of the class is devoted to textbook speaking activities[done in pairs] to provide the student with opportunities to use a variety of language patterns and verb tenses. The second half of the class is devoted to students giving presentations in both small groups and in front of the class. Students are expected to participate actively in class and practice the activities at home.

履修上の留意点

Students should be aware that attendance is important. If the student is absent for 1/3 of the scheduled classes [approximately eight times], the student will fail the class.

成績評価の方法

Students will be tested orally on the textbook activities twice a month and will be given a grade for both group and class presentations.

教 科 書

author: Steven Molinsky and Bill Bliss
title: *Side by Side, 3rd Edition, LEVEL 3*
publisher: Pearson Education
date: 2001

英 語 Ⅱ A

〈英語ⅡAの授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : I A を基礎として、より高度な英語の運用能力を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 Ⅱ A	江 田 幸 子 <small>えだ さちこ</small>	経営A2年	2

講義のねらい

このクラスでは、読む、聞く、書く、の三要素を重点的に学習します。今日のトピックを扱った簡潔な英語文を多様な分野に渡って読みます。そこで使われている基礎的な英語構文を使えるようにします。英語文は英文を書くためのお手本として読みますのでテキスト中の使用頻度の高い単語句は徹底的にマークして覚えます。そしてそれ等の構文、単語句を用いて短い英文を書く練習を行います。

準備としてはまず各章の英語文を日本語に訳したノートを各自作ります。その日本語から原文の英語が書けるようにします。その上で重要な構文や表現方法を用いて応用英作文を実践します。

成績評価の方法

一年間を通して最低5回テストを行い、平均点60点以上に欠席回数5回迄を以って合格点とします。欠席が5回以上になった人は、試験の平均点が70点以上を以って合格とします。欠席が5回以上の人は英語の実力で評価します。

教 科 書

Joyce Taniguchi, 中田清一、長阪朱美著『Writing For Oral Communication (日常会話英作文)』(成美堂)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 Ⅱ A	長 谷 川 公 一 <small>はせがわ こういち</small>	経営A2年	2

講義のねらい

作文上達の確実な方法は、短文(といっても基本的文型のもの)を暗記しておくことだと思う。超ロングセラーとして首都圏の多くの大学教師から認知されているこのテキストは、日常生活で使用する短文を覚えることによって、英作文能力と英会話能力の双方の向上を目指している。学生諸君も、この点を理解して、テキストと取組んで欲しい。

成績評価の方法

出席率プラス前後期2回のテストによって採点する。

教 科 書

『ホームステイ・イングリッシュ』(英潮社) 820円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	佐藤 勝 <small>さとう まさる</small>	経営A2年	2

講義のねらい

インターネット時代を迎えた現在の日本では英作文力は実用英語の面で非常に重要と言えます。基本英文法を踏まえた正確な英作文力の充実を図ります。

講義の内容・授業スケジュール

プリント演習の後、教科書での授業を行います。教科書の進度は2回で1章から徐々に上げて行きます。

履修上の留意点

予習をして下さい。辞書を持参下さい。年度初回の授業ガイダンスで本授業の詳細を述べます。

成績評価の方法

平常点（出席状況・授業態度等）＋レポート＋定期試験。

教科書

石黒編著『大学英文法の基礎演習』（桐原書店）1,400円

参考書等

推薦辞書『ジーニアス英和辞典』（大修館書店）、『プログレッシブ英和中辞典』（小学館）（含上記社 和英辞典）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	川崎 笑佳 <small>かわさき えみか</small>	経営A2年	2

講義のねらい

1年次のWriting能力を基礎として、更に高度な意志伝達能力を身につける。単文の英作文からステップアップし、自由作文を書けるようになることを最終目標とする。

履修上の留意点

毎回授業中に英作文を書いてもらうので、辞書持参が望ましい。

成績評価の方法

3分の2以上の出席および英作文、発表、授業態度、テストの結果をもとに総合的に評価する。

教科書

『Thoughts into Writing - パラグラフ・ライティング入門』（成美堂）1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	高柳 文江 <small>たかやなぎ ぶんえ</small>	経営A2年	2

講義のねらい

言語とは、その言語を話す人々の文化を包括した相対的な生きた知識です。そうした知識を学ぶためには、あらゆる方面からのアプローチが必要です。この英語表現法の授業においては、Situationによる英会話をもとに英作文を学んでいきます。実際の場面での慣用表現や、それを応用した自由作文の習得をめざします。

履修上の留意点

授業の性質上、予習が必ず必要です。単位を取るためには2/3以上の出席が要求されます。前期の後半より慣用表現の演習が課されます。

成績評価の方法

試験（前期試験・後期試験）：60%、日常点（出席、演習テスト等）：40%

教科書

羽鳥博愛著『作文から会話へ』（弓プレス）1,180円
前期後半より演習ノートを使用します。（開講時に指示）

参考書等

テープ、ビデオ教材使用。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	塚本利男	経営A2年	2

講義のねらい

絶えず文法、語彙などの知識の増強を図りながら、英語で考えて、英語で文章を書けるように英作文の練習を通して作文力を向上させることが、この講義の目標です。

講義の内容・授業スケジュール

1回の授業で1Unit(3~4ページ)を勉強し、第一部 英文を書くときに注意すべき重要事項、第二部 パラグラフの書き方、第三部 各種書式の書き方までを読み終えたいと思います。毎回授業の最後に授業の総仕上げとして、表現力の実践の場となるように現実に議論や論争を巻き起こし易い題名(例えば、日本は豊かな社会か、体罰は必要か、死刑制度は必要かなど)でWritingの小テスト(20~30分)を行う。

成績評価の方法

授業における発表(年間5~8回)、小テスト(毎回)、前・後期の定期試験に基づく。全評価のうち授業の発表・小テストが50%、前・後期の定期試験が50%で評価します。特に、平常授業を重視しますので、全授業数の3分の2以上授業に出席して下さい。

教科書

山村三郎・岩本一・Dean Lanaras『基礎からパラグラフ・ライティングへ』(成美堂)1,600円

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	西原克政	経営A2年	2

講義のねらい

日本の近代詩の英訳の一例を参考にしながら、翻訳という文化の移植が抱えているさまざまな言葉の問題点を考察してゆくつもりである。比較文化と比較文学の視点を導入して広い視野に立って眺めたいと考えている。

成績評価の方法

成績評価は出席点と発表点によってなされる。第1回目の授業で説明するので、必ず出席のこと。

教科書

Yamamoto Kenkichi *The Singing Heart* (Katydid Books) 2001

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	手島敬子	経営A2年	2

講義のねらい

本科目は単語から単語への置き換え、単文から単文への置き換えに陥りがちな「英作文」から一歩進み、実際に日常生活の中で活用できる「ライティング」力を習得することを目指します。

履修上の留意点

随時課題の提出が義務づけられます。教室以外でも積極的に学習に取り組まなければなりません。和英辞典を必ず持参。

成績評価の方法

中間・定期試験、課題、出席状況、授業への参加度などにに基づき総合的に行います。

教科書

開講時指示。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A	お う み あ き ひ さ 逢 見 明 久	経 営 A 2 年	2

講義のねらい

インターネットの英字新聞の記事・小説・詩・戯曲・映画など、様々な表現形式の英語に触れて、文語体と口語体の違いを確認し、音声面から口語体の表現を捉えて英語の聞き取りの力を養成することを目標にします。

履修上の留意点

平常点の比重が大きいため、欠席は成績評価に大きく影響します。遅刻した場合、発表の機会を失うことがあるので要注意。予習は必須で、少なくとも、未知の単語は調べておくように。発言は正誤に関わらず、事前に調べてきた成果を発表できている場合は、評価します。

成績評価の方法

評価の割合は、平常授業での発表や受講態度、及びレポートの合計をおおよそ60%までとし、前後期の試験の結果の合計を40%とします。

教 科 書

随時プリントを配布しますので、テキストを購入する必要はありません。

英語ⅡC（会話）

＜英語ⅡCの授業内容と履修上の留意点＞

I Cのレベルを修得またはそれに相当する力を持っていることを前提とした英会話の授業です。達成目標の目安は英検準1級合格、TOEFLのスコアー480点、TOEICのスコアー700点程度。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡC（会話）	ササキ, M.	経営A2年	2

講義のねらい

Would you like to study abroad? Then please join my class. We will study English conversation for a specific purpose: STUDYING ABROAD and HOMESTAY. You will experience what it is like to have a home stay and study at a university in America. You will be graded on assignments, interview tests and pop-quizzes.

成績評価の方法

You must attend at least 2/3 of the classes in which attendance was taken in order to pass.

教科書

Viva! San Francisco

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡC（会話）	ラッセル, S. J.	経営A2年	2

講義のねらい

English Conversation 2 C is for students who really want to improve their listening and speaking ability in English.

講義の内容・授業スケジュール

This course will present everyday functional language in various situations. Students will speak in controlled and guided activities with their classmates, which is a great way to make new friends. It should be fun! Later in the course students should be free and able to express their ideas and opinions on a range of interesting topics. Interactive learning will be a feature of the classes so good attendance will be required. We will also use a range of audio and video materials to prompt class discussion.

履修上の留意点

Please come to class *smiling* with a positive attitude to actually SPEAK English. Show that you really want to improve your English by not missing many classes. Good attendance will be important in your grade each semester. Bring your textbook, a notebook, and a dictionary to each class

成績評価の方法

Students will be assessed the end of the course based on attendance, assignments and performance in class. There will be a short (but not too easy) test at the end of the course.

教科書

Fifty-Fifty Book 1 ISBN 0-13-920000-2 Published by Longman

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡC(会話)	レイン, R. V.	経営A2年	2

講義のねらい

This course will help students to: 1) use conversational English language patterns and idioms with increased confidence, and 2) improve their presentation-giving skills.

講義の内容・授業スケジュール

The first half of the class is devoted to textbook speaking activities [done in pairs] to provide the student with opportunities to use a variety of language patterns and verb tenses. The second half of the class is devoted to students giving presentations in both small groups and in front of the class. Students are expected to participate actively in class and practice the activities at home.

履修上の留意点

Students should be aware that attendance is important. If the student is absent for 1/3 of the scheduled classes [approximately eight times], the student will fail the class.

成績評価の方法

Students will be tested orally on the textbook activities twice a month and will be given a grade for both group and class presentations.

教科書

Steven Molinsky and Bill Bliss *Side by Side, 3rd Edition, LEVEL 4* (Pearson Education) 2001

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡC(会話)	ロビン, G. F.	経営A2年	2

講義のねらい

This course will focus on developing conversation skills acquired from the first year. A text book will be used but will be heavily supplemented with additional materials, according to the students abilities. Some reading materials will be used to enhance vocabulary for the purpose of conversation as in the freshman course, pair and group activities will be the focus of the course.

成績評価の方法

There will be a midterm and final oral test. Grading will depend upon classroom participation, homework assignments and performance on the oral exams.

教科書

FIFTY FIFTY: A BASIC COURSE IN COMMUNICATIVE ENGLISH (STUDENT BOOK) BOOK 1 Second Edition. (LONGMAN)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡC(会話)	ノーラン, D. J.	経営A2年	2

講義の内容・授業スケジュール

英会話を中心とし、ともに聴解力を育てるコースでもある。各レッスンのゴールを明確にし、学生同士、または個人で使用できる教材をもとにし、日常生活において英会話能力を高めようとする。自己紹介、情報交換、意思表示、好き嫌いを表現すること、またその他の身近な課題などが含まれている。

授業年間計画：1回の授業で教科書1章の予定。

履修上の留意点

原則的に遅刻は認めない。学生は自分自身の教科書、英和・和英辞書、筆記具を持参すること。受講する学生は期日までに各自の写真(2×3 cm、スナップ町)を提出すること。

成績評価の方法

出席(評価の30%、ただし、通年五回以上欠席の学生には単位を与えない)、授業参加(30%)、期末試験(面接方式、40%)。

教科書

Nina Lawrence / Gaylene Levesque *Hear It! Say It* (Kinseido)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡC(会話)	ハバード, W. D.	経営A2年	2

講義のねらい To Develop Fluency with Conversation Strategies.
 The focus of this course is on the conversation strategies needed for conversational fluency. It will help students maximize the time they spend speaking English, and emphasizes learner awareness of the English they use and hear. This is done by introducing a set number of Conversation Strategies (HINTS) for any conversation, regardless of topic.

講義の内容・授業スケジュール

April: Openers/Closers/Let Your Friend talk/Ask to Hear It Again
 May: Shadowing/Getting Time to Think When You Begin Talking
 June: Showing Interest/Showing You're Listening/Summarizing Comments
 July: Agreeing/Disagreeing/Showing Indifference
 September: Reacting to Good News/Reacting to Bad News/Showing Surprise
 October: Starting Conversations/Letting Your Partner Raise a Topic
 November: Asking for an Explanation/Seeing If Your Partner Understands/Showing You Understand
 December: Asking for Examples/Checking What Your Partner Knows
 January: Talking with Native Speakers of English

成績評価の方法 Final grade will be based on attendance, class participation, and test scores.

教科書 Special textbook will be made available during the first class period.

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡC(会話)	ロンゴ, T.	経営A2年	2

講義のねらい The students will work on improving their communicative and listening skills.

履修上の留意点 4 absences in one semester is poor attendance.
 Come to every class and your English will improve!

成績評価の方法 Regular attendance and participation is expected of each student.

教科書 Textbook is required. Prints, will be given to each student.
 TEXT: *English Firsthand—Gold Edition*. (Longman Book 2)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡC（会話）	ヘラー, P. S.	経営A2年	2

講義の内容・
授業スケジュール

開講時指示する。

成績評価の方法

会話の少人数クラスの授業だけに、平常点と出席点を重視する（受け身の授業ではなく積極的な参加を望む）。

外国語

英 語 Ⅲ A

〈英語Ⅲ A の授業内容と履修上の留意点〉

Ⅱ A を基礎として高度な英語の運用能力を身につける。(例：時事社会科学系のテキストを使用する。)

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 Ⅲ A	おぶせ けさぞう 小布施 圭佐三	経営 A 3 年	2

講義のねらい

この授業の目的は、英文和訳や訳読ではなく、読むためのスキルとして、語彙力、内容予測力、大意把握などを養うことで、英語による内容理解力を高めることにあります。

講義の内容・授業スケジュール

《前期》

Chapter 1 (Open All Hours) ~Chapter 11 (What Is Psychology?)

《後期》

Chapter 12 (The Appeal of Shakespeare)

~Chapter 22 (Japanese Search for Identity in Names)

履修上の留意点

授業形態は演習形式で行います。

成績評価の方法

①出席点②平常点③レポート④定期試験（前・後期）などを加味して総合評価します。

教科書

土屋武久／花光理香／B. Benfield *Read UP—22 Steps to Strategic Reading* (成美堂) 1,700 円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 Ⅲ A	さとう こういち 佐藤 孝一	経営 A 3 年	2

講義のねらい

授業では、基本的に英文を正しく読めて、正しく理解できたかをチェックしていきます。授業中に英語を学習していくのは困難であると思います。予習・復習を通して段々に英語力を高めていく意欲や動機付けを自覚し、実行してもらいたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

テキストはアメリカの文化や社会など多種多様な内容を学んでいきます。異文化理解に関してアメリカの文化が学生に身近に感じられると思っています。全体で 100 章ありますので、毎時間 5 章を消化するのをノルマにします。発表者は事前に内容をテープに吹き込んできて下さい。希望者には、テキストのテープをコピーします。授業以外でも自主的にテープを用いた学習を強く望みます。リーディングの他に、リスニング能力の向上を計り TOEIC 教材を用いる予定です。毎時間 5 人に発表をしてもらいますが、事前に割り振りします。

成績評価の方法

基本的に前期・後期の試験と発表点、レポート等で総合的に評価します。出席点はありません。

教科書

1. M. ドライバー著 *It's as American as hot dogs, apple pie, and Chevrolet (Word Communication)* 1,700 円
2. TOEIC テキストに関しては未定。授業で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅢA	甲斐捷子	経営A3年	2

講義の内容・授業スケジュール

テキストは ABC 放送のアメリカ国内向けニュース番組、“World News Tonight”です。この多岐にわたる報道内容をビデオで学び、英語の運用能力を高めることを目的とします。毎回の授業は、「聞き」、「話し」、「読み」、「書く」、徹底的な総合演習です。

履修上の留意点

1 単元終るごとに小テストを必ず行います。これは A 4 判 2 頁にわたる詳細な復習のためのテストで、本試験と同じような傾向のものです。このテストで 70% 以上得点できるよう、復習に重点を置いて勉強して下さい。

成績評価の方法

一応の目安として、平常評価としての出席 10%、前期試験 30%、後期試験 30%、小テスト 30% による総合評価とします。総合点が基準に達しなかった場合、欠席が 1/3 を超えた場合、及び前後期試験のいずれかを欠試した場合は不合格となりますから、特に欠席をしないよう、十分注意して下さい。

教科書

ABC World News 5 (金星堂) 1,900 円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅢA	ひろかわあさむ 広川 治	経営A3年	2

講義のねらい

映画のシナリオをテキストに用い、会話表現等を修得することを目的とする。

履修上の留意点

遅刻、居眠等は欠席扱いとするなど、授業態度は厳しくチェックする。

成績評価の方法

平常点と前後期試験で評価。

教科書

プリント配布の予定 (必要に応じて購入を指示)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅢA	やまぐちあきら 山口 晃	経営A3年	2

講義のねらい

英語の学習を通して、今年度は環境の問題を考え、表現する方法を身に付ける。A3である事を考え、とりわけこうした問題での表現方法に重点をおきたい。

講義の内容・授業スケジュール

毎回英文のプリントを配布する。それを使って具体的な表現を徹底してマスターする。

履修上の留意点

辞書は毎回必ず持ってくる事。
遅刻は、他の学生の学習を妨げるので、遅れないように注意する事。

成績評価の方法

前期、後期それぞれにレポート提出とテスト。それに平常点を加えて評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 III A	伊藤 美代子	経営A3年	2

講義のねらい

I A、II A からさらに進んで高度な英語の運用能力をめざす。実際の経済ニュース記事を読むことにより、実社会の経済動向の理解も深めることも目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

原則として和訳は行わず、英語による内容の理解を図る。できるだけ、英語を使用するが、構文等の説明は日本語で行う。本文を理解した後、和文英訳により英語力を強化する。また、内容についての英語による質疑応答、さらにヒヤリングの訓練も行う。

履修上の留意点

予習が絶対条件である。また、半期に4回以上欠席したものには、単位を与えない。また、遅刻2回で欠席1回と数える。

成績評価の方法

各学期毎に中間テストと期末テストを行い、その結果の平均が80%、残りの20%は、小テスト、平常点と提出物により計算する。

教科書

Dave Hara, Yoko Okayama, Hayley Davies『経済ニュースを読む(国内編)』『経済ニュースを読む(国際編)』(南雲堂)1,600円(国内編)、1,500円(国際編)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 III A	太田 美智子	経営A3年	2

講義のねらい

コミュニケーションの手段として英語の運用能力を高めることを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

英字新聞を読み、英語ニュースを聞くなど、より高次の英語に触れる。併せて、我々を取り囲んでいる社会、文化等に目を向ける機会を提供したい。

履修上の留意点

必ず予習し、真摯な態度で授業に臨むこと。単位の修得ではなく、各自の実力の向上が目的であることを決して忘れないこと。そして何事にも知的好奇心を持つ。単に椅子に座しているのみで、授業参加していない場合には出席とみなさない。

成績評価の方法

平常時の授業態度、予習の有無、場合によってはレポートの内容、また試験を行った際はその素点、等々の総合評価。

教科書

Over To Our Reporter (マクミラン・ランゲージハウス)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 III A	吉江 正雄	経営A3年	2

講義のねらい

英文を正しく読み、発音し、その上で英文を正しく理解することを目標とする。しかし、そこには当然、構文の理解、文法的な正しい解釈も伴わなければならない。これらのことを総合的に学びながら、文明の黎明期、言語の発達段階等についても学ぶことになる。

講義の内容・授業スケジュール

一講時に進む範囲は大体決まってくるので、その範囲の読みと、解釈を中心に据え、後に文法・構文の説明を加える。小説家による美しい文章に触れ、美しい英文の書き方に繋げたい。

履修上の留意点

大体決まってくる一講時に進む範囲の予習をしてくることを望む。

成績評価の方法

前・後期の試験の平均点をベースに、授業参加の積極度、発表回数等を鑑みて評価を出す。ただし、授業総数の三分の一を越える欠席のある学生の評価は出ないから注意すること。

教科書

A Short History of the World (こびあん書房)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 III A	照山雄彦 <small>てる やま ゆう ひこ</small>	経営A3年	2

- 講義のねらい** 大学での英語学習の狙いの一つは、専門の英語文献講読解力を養うことである。そのために修得した英語の文法構造や語彙の知識を基に、実際の英語文献を読解できる能力を身につけるために、主として演習方式により読解力向上と会話にも応用できるようにする。
- 講義の内容・授業スケジュール** 上記をふまえ、わからない語句や表現を調べながらテキストの各章を精読し、内容を把握し、暗記していく。
- 履修上の留意点** 宿題を毎回出すので、必ずやってくること。
- 成績評価の方法** 毎時間授業を始める前にテストを行うので、その結果と授業の態度、出席状況を考慮して評価を行う。
- 教科書** 照山雄彦著『総合英語 II』(上武印刷)
- 参考書等** その都度必要に応じて紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 III A	落合和昭 <small>おち あい かず あき</small>	経営A3年	2

- 講義のねらい** このクラスは経済・貿易・商業に関する読み物を読む。
- 講義の内容・授業スケジュール** 講義は、主として、リーディングが中心であるが、それ以外にも、英語圏の日常生活で用いられる口語表現等も学ぶ。講義は、通常、四段階からなる。第一段階として、ヒヤリングを通して、英語の自然なスピードに慣れる。第二段階は、リーディングによって、正確な意味をとる。第三段階は、練習問題等をする。第四段階は、発音練習である。
- 履修上の留意点** 授業は徹底した演習形式を取り、学生の積極的な参加を前提に進める。
- 成績評価の方法** 前・後期定期試験が40%、課題・授業の発表・ミニテスト等が60% (課題は年間約数回程度提出。授業中の発表等に関しては、全員に一回の授業に最低一回は当てるつもりである)。出席率は三分の二を越えなければ、成績は「不可」とする。
- 教科書** 1) 『5分間貿易商業英語』(南雲堂) 900円
2) 『楽しい経済英語』(南雲堂) 1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 III A	高橋寛 <small>たか はし ひろし</small>	経営A3年	2

- 講義のねらい** 本講義では英会話の基礎を身につける為、リスニングと英作文の練習を中心に行っていきます。
- 成績評価の方法** 出席点と定期試験の結果を合わせて出します。
- 教科書** *Everyday Talk* (朝日出版)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅢA	丹治弘昌 <small>たんじひろまさ</small>	経営A3年	2

講義のねらい

再クラスについては教場にて詳しく説明します。

成績評価の方法

成績評価は、3分の2以上の出席とそれぞれの期末テストによって行います。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅢA	伊藤幸一 <small>いとうこういち</small>	経営A3年	2

講義のねらい

テキストの「はじめに」実践的なビジネス英語の能力を身につけることを目指します、と記されている上、使われている英語は平明なので、興味を持って貰えるだろうか。

講義の内容・授業スケジュール

毎回、着席順に当てるので予習されたい。また、復習の為に宿題レポートを3回(5月末、夏休み、大学祭後)課し、「まとめ」として最終授業時にテストの予定。

成績評価の方法

評価は、以上、予習、復習、まとめの成果による。授業の進め方も含め、詳細は最初の授業時に説明する。

教科書

Global Understanding - Success in International Business - (成美堂)

〔ドイツ語〕

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 I A	栗原万修 <small>くり はら かず のぶ</small>	経営A1年	2

講義のねらい

ドイツ語履修では、I Aは文法、I Bは講読です。このクラスではドイツ語文法を学びますが、できるだけ丁寧に、わかりやすく説明します。ただし、初習の外国語は継続的に勉強しないと習得できませんので、出席を重視します。欠席しないように。

成績評価の方法

成績評価は、テストのほか、授業中の学習意欲、さらに出欠なども考慮しながら総合的に判断します。

教科書

斎藤他『ドイツ文法プレリユード』（郁文堂）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 I A	野島利彰 <small>の しま とし あき</small>	経営A1年	2

講義のねらい

ドイツ語は言葉の組み立てがとてもしっかりした言語です。それを理解するには文法から入るのが近道です。不思議なことにドイツ語の文法を知るとはヨーロッパの他の言語を理解する上にも役に立ちます。

講義の内容・授業スケジュール

原則として1日1課進みます。授業は練習問題から始め、残った時間で次の課の説明をします。

履修上の留意点

練習問題を予習して授業に出席してください。

成績評価の方法

練習問題をやってきているか否かがまず大きな基準になります。そして夏と冬の定期試験の成績、臨時の小テストの成績を総合して評価します。

教科書

大岩信太郎著『ドイツ文法18課』郁文堂 1600円

参考書等

ドイツ語の辞書は最初は引きにくいのですが、すぐに慣れます。二年次でもドイツ語を履修する人、将来大学院まで進む人は簡単な辞書を買わず、しっかりした辞書にしてください。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 I A	杉本正俊 <small>すぎ もと まさ とし</small>	経営A1年	2

講義のねらい

初めてドイツ語を習う学生に、ドイツ語文法の概要を説明する。文法という観点からひとつの外国語へ学生諸君を案内できたら、と考えています。

講義の内容・授業スケジュール

ドイツ語で使用する文字、発音の概要から始め、初級文法のひとつおりを省略なしに全て教えるつもりです。理解しにくい点は何度も反復説明し、学生が十分理解したかどうかを常に念頭に置いて授業を進めます。

履修上の留意点

学生諸君は、予習は必ずしも必要ではないが、授業中は勉強に注意を集中し、授業内容をよく理解して下さい。復習など、必要事項は授業中に指示します。

成績評価の方法

前後期2回の大きいテストの他、随時小テストを行い、平常点も重視する。

教科書

藤代幸一・保阪靖人著『ワンポイント・ドイツ文法』（新訂版）（郁文堂）

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B	くりはら かのぶ 栗原 万修	経営A1年	2

講義のねらい

ドイツ語履修では、I Bは講読となっていますが、このクラスは初級の実用的な会話を中心に授業をすすめます。ただし、初習の外国語は継続してやらないと習得できませんので、授業への出席を条件とします。欠席しないように。

成績評価の方法

成績評価は、テストのほか、平常の授業中の学習意欲、さらに出欠なども考慮しながら総合的に判断します。

教科書

入谷他『ドイツ語コミュニケーション』（三修社）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B	おがもと ときこ 岡本 時子	経営A1年	2

講義のねらい

初心者を対象に、ドイツ語が使えるようになるための基礎的学力、知識の養成を目指し、併せてドイツ語圏の文化、社会、歴史等についても学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

前期はドイツ語の発音・文法の基礎を中心に簡単な挨拶や文が言えるようにする。後期は辞書を引きながら平易なドイツ語の文章を読むようにし、口頭では複文や重文が組み立てられるようにする。

履修上の留意点

受身に「教わる」授業ではなく、積極的に自分から「学び、考える」授業にしたい。

成績評価の方法

期末筆記試験・授業への出席・参加等を総合して評価する。

教科書

教科書については開講時に指定します。

参考書等

参考書・辞書等については第一回目の授業で説明する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B	いがらし のぶこ 五十嵐 信子	経営A1年	2

講義のねらい

やさしいドイツ文に親しむことにより、ドイツ語の基礎をよりふかく理解し、しっかり身につけます。一年間で一通りの文法をマスターし、ドイツ語の文章を辞書をひきながら読むことができるようになります。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) くり返しテープを聞き、また声に出して言うことで、ドイツ語を聞き取る力と正しい発音を身につけます。
- 2) やさしいドイツ文を聞き、読み、理解することで、ドイツ文法を理解し、これをしっかりおぼえます。
- 3) やさしいドイツ語会話ができるようになります。

履修上の留意点

身につけた文法を武器にドイツ文を理解することはそれ自体喜びです。しかしそのためにはドイツ語の知識を一つ一つ自分のものにしてゆくことが必要です。つまり予習復習とともに休まず出席することが大切です。

成績評価の方法

年2回の定期試験および時間内の小テスト、これに出席や授業への参加態度などを加味して評価します。

教科書

小塩節著『希望のドイツ語』（朝日出版社）2,136円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I C (会話)	まつ 松岡 晋	経営 A 1 年	2

講義のねらい

初級ドイツ語会話の授業です。ドイツ語の発音規則の説明・練習から始め、基本的パターンの学習を積み重ねて、一年後には自分に関する事柄をドイツ語で述べるができるようになり、日常的によくある状況にもドイツ語で対応できるようになれば、と考えております。

講義の内容・授業スケジュール

授業は下に掲げられる教科書に基づいて行われます。口頭練習のほか、カセットテープを用いたのヒアリング訓練も行う予定であります。

履修上の留意点

会話のクラスですので、毎回出席して口頭練習することが出発点となります。是非とも定期的に出席するように！

成績評価の方法

成績評価は、学期末その他に行われる口頭試験および平常点（定期的に参加して、口頭練習に積極的に参加しているかどうか等々）によって行います。

教科書

入谷幸江ほか著『ドイツ語コミュニケーション』（三修社）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 II A	いい 飯塚 公夫	経営 A 2 年	2

講義のねらい

一年次で履修したドイツ語の基礎の応用。ドイツ語文献を読むための基礎作り。

講義の内容・授業スケジュール

連休前に一年の文法の補習の予定。それ以後は読み物を読んでいく。

履修上の留意点

文法に自信のない人は辞書は持ってくる。あらかじめ当てておかないので予習しておく必要がある。勉強する気のない人は出ないほうがいい。

成績評価の方法

前・後期の試験および平常点（＝発表点）

教科書

文法の補習の際は、一年次の文法の教科書を持参すること。それ以後の読み物は、大学語学用教科書として編まれたもので、『ゴーレム伝説』（白水社・900円）という本を使います。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 II A	かわ 河上 和史	経営 A 2 年	2

講義の内容・授業スケジュール

2年生は学力にかなり差があるので、最初の授業の時に幾つかの「授業プラン」を示して、学生諸君と話し合い、一年間の勉強の予定を決めます。いずれにしても初めのうちは、一年で学んだ「文法」の復習に、相当時間を割くつもりです。諸君の積極性に期待します。

成績評価の方法

授業と試験を総合して判断する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡC(会話)	野 ^の 島 ^{じま} 利 ^{とし} 彰 ^{あき}	経営A2年	2

講義のねらい

ドイツ語の文に慣れ、音に慣れ、今度はそれを使ってドイツ語で自己表現ができるよう練習します。

講義の内容・授業スケジュール

口頭練習が授業の中心です。

履修上の留意点

CD付きの教科書を使いますので自宅でそれをよく聞いてください。

成績評価の方法

随時行うヒアリングテストと、年2回期末に行う面接試験で成績を評価します。

教科書

関口一郎著『アレス・クラール』郁文堂 2500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅢA	織 ^お 田 ^だ 繁 ^{しげ} 美 ^み	経営A3年	2

講義のねらい

このクラスで勉強しようと思う諸君はドイツ語の基礎的な素養は身につけているでしょうし、それぞれに目標も立てているかも知れません。このクラスでは、それぞれの思いを持つ諸君に直接、間接に役立つような方向に授業を進めたい。先ず前期、後期を通じ、重点的に文法を復習し、日常生活で言葉の用法を身につけることによって微妙なニュアンスが出せるような場合には、演習によって修得することを目指し、カセットテープではいろいろの状況を耳で聞く練習をし、更にマスコミで扱うような文にも慣れ親しんでもらうため、時々教材で短い文章を取り上げたいと思う。

履修上の留意点

それぞれに忙がしかったり、やりたいことがあるかも知れませんが、何とか休まずに頑張っ
て授業に出るようにして下さい。後期半ばにもなると、授業にしっかり出る者と、のんびり出
てくる者との間に歴然とした力の差が出てくるものです。

成績評価の方法

不断の授業で精一杯作業してもらうので成績評価は平常点にウエイトが置かれます。

教科書

プリントのみ。

〔フランス語〕

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 I A	井 田 清 子 <small>い た きよ こ</small>	経 営 A 1 年	2

講義のねらい

フランス語をはじめて学ぶ学生のための文法中心の授業です。文章を理解するための基本的な文法事項(動詞、名詞、冠詞、形容詞の用法など)を一年間で習得し、生きたフランス語を、無理なく学び、使えるようにするのが目標です。

講義の内容・授業スケジュール

文法と共に、実際に使われている基本的な表現に慣れるように、平易な例文を選び、フランス語が身につくようにわかりやすく構成されたテキストです。こうして獲得した文法知識を、例文の中で実際に応用しながら、各種の文章も理解できるようにしましょう。

履修上の留意点

辞書をひく手間を惜しまず、自分で面白さを味わってください。

成績評価の方法

前期・後期の試験を中心に、通常点も加味します。

教 科 書

『初級フランス文法案内』(第三書房)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 I A	小 玉 齊 夫 <small>こ た ま な り お</small>	経 営 A 1 年	2

講義のねらい

初歩のフランス語文法の授業として、基本的な文のしくみを、なるべく多くの例文を読みとおすことによって理解していきたいと思います。一年次の目標は、自分で辞書をひいて、音読を試みながら読解していくことですが、そのためには、覚えている単語、表現の数が多いほど、聞き取りの場面でも有利になるはずで、つとめて、記憶機能と、記憶を呼び起こす機能を鍛えるようにしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

必ずしも教科書の構成にこだわらずに、日常的な表現を重視して、各課の課題をこなしていきたいと思っています。一回の授業で、一課あるいはそれ以上、進んで行く予定です。

履修上の留意点

上のようなことも考慮すれば、特別な場合を除いて、授業には毎回出席し、そのつど、覚えるべきことを確認していくようにしてください。

成績評価の方法

随時行う小テスト、それに、前・後期の試験によって、成績評価をします。出席は、毎回、出ることが原則です。

教 科 書

斉藤昌三著 『ル・フランセ・ファシル』(白水社、

参 考 書 等

辞書等については、最初の授業時に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I A	とお やま ひろ お 遠 山 博 雄	経営A1年	2

講義のねらい

基礎的な文法知識をきちんと身につけること。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに詳しい説明をし、その後で、練習問題をやります。

履修上の留意点

必ず辞書を持って出席し、自分で問題に取り組む姿勢が必要です。遅刻をして説明を聞きもらさないこと。

成績評価の方法

3回の筆記試験を行ないます。動詞活用の書き取りもあります。

教科書

天羽均他著『初級フランス語文法（改訂2002年度版）』（朝日出版社）

参考書等

最初の授業で仏和辞典のガイダンスをします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I B	はま まさ せつ お 浜 崎 設 夫	経営A1年	2

講義のねらい

文法読本の教科書を使い、文法を復習しつつ初級の文章を読解できるようにする。またフランス文化に対する関心を強めてもらう。

講義の内容・授業スケジュール

発音の練習から始めて、約25回の授業で、最終段階の接続法まで進みたい。1課ごとにまず文法を説明し、文章の和訳と練習問題を宿題にする。レポートを2度出してもらう。

履修上の留意点

なるべく遅刻欠席をしないこと。必ず復習すること（予習は必要なし）。ノートを用意すること。毎回辞書を持って来ること。辞書は最初の授業で紹介する。

成績評価の方法

出席回数、宿題をやって来た回数、前後期の試験の成績、レポートの内容等に基づいて評価する。

教科書

山下『カイエ・ド・フランス』（駿河台出版）

参考書等

前もって買う必要はない。授業中に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I B	はせがわ みつあき 長谷川 光明	経営A1年	2

講義のねらい

実用的な会話文を通じてフランス語の基礎を学習します。

講義の内容・授業スケジュール

下記の教科書に従って、各文法事項を解説したのち、視聴覚教材を用いながら、その場で練習問題に取り組んでもらいます。練習問題の答案提出によって出欠をとります。試験は前期と後期二回行います。

履修上の留意点

フランス語にまず音からなじんでいくために、授業中はテープに従ってなるべく大きな声で発声することが望まれます。教科書付属のCDを習慣的に聴くことも必要です。辞書は必ず持参してください。

成績評価の方法

前期後期試験及び平常点。

教科書

モーリス・ジャケ他『カンピュス』（朝日出版社）2500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I B	たに かわ 谷川 かおる	経営A1年	2

講義のねらい

旅行で使うフランス語など、実用的な表現に親しみつつ、フランス語の基礎を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

文法事項の解説、練習問題、簡単な文章の暗記など。毎週授業の最後に、暗記のための小テストを行い、出欠をとる。

成績評価の方法

前期・後期の試験、小テストなど。

教科書

藤田裕二、『彼女は食いしん坊』（朝日出版社）2500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I C (会話)	さ とう くみこ 佐藤 久美子	経営A2年	2

講義のねらい

フランス語を初めて学ぶ学生を対象とし、挨拶の表現から始めて、日常会話を中心にコミュニケーション力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

発音練習と応答訓練に重点を置く。文法解説は必要最小限にとどめ、繰り返しによってフランス語に慣れてもらうことを目指す。

履修上の留意点

出席を重視する。会話の授業であるので、出席しなければ何の意味もないことをよく理解し、授業に臨んでもらいたい。年間授業回数の三分の一以上欠席した場合は評価の対象からはずす。ただし出席さえしていればよいというのではなく、積極的に授業に参加することが肝要。音声教材を用意するので、授業時以外にも自主的に聞き取り・発音練習をすることが上達への道である。

成績評価の方法

前・後期の試験の結果、授業への参加度などから総合的に判断する。試験の内容は、聞き取り、応答、発音を予定している。

教科書

佐藤・山崎著『耳よりフランス語会話』（DHC）定価1,600円

参考書等

文法のクラスの教科書をそばにおいて参照することを勧める。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡA	たけだまさずみ 竹田正純	経営A2年	2

講義のねらい

初年度で習得した項目を復習しつつ、読解力を養い、簡単なフランス語による自己表現もできるようにすることを旨とする。

講義の内容・授業スケジュール

テキストも、「文から文章へ、模倣から創造へ、読解から表現へ」を標榜したものを使用するので、特に読む・書くの練習に力を注ぎたい。話すことの練習を、それに少しばかり加えることができれば、今年度の目標は十分達成できたと言える。

履修上の留意点

予習復習を欠かさないこと。辞書を必ず持参すること。

成績評価の方法

授業のなかで小テストをおこなう。その結果をベースに前後期2度の試験で評価する。

教科書

高垣由美『大学生のためのフランス語－文から文章へ、模倣から創造へ、読解から表現へ』（駿河台出版社）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡC（会話）	くわたのりあき 桑田禮彰	経営A2年	2

講義のねらい

フランス語会話中級

講義の内容・授業スケジュール

まず発音の基本をしっかりと確認した上で、生きたフランス語会話の習得をめざします。文法事項についても、できるかぎり分かりやすく説明するつもりです。

履修上の留意点

最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法

ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教科書

倉方秀憲他『ヌーヴォー オブジェクティブ』（早美出版社）

参考書等

そのつど授業で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅢA	まえだのりかず 前田祝一	経営A3年	2

講義のねらい

テキストを講読しつつ、フランス文化の現実の理解を広げ、深めてゆければと思います。

講義の内容・授業スケジュール

3年目のフランス語の学習ですから、初級・中級の勉強がある程度完了していることを前提にします。

履修上の留意点

初級フランス語の単位の取れていない人、あまり自信のない人は、自分で参考書などを入手して、勉強をやり直す決意でいて下さい。

成績評価の方法

前・後期のペーパー・テストを中心に成績評価しますが、出席状況・授業中の課題も考慮します。

教科書

ベン・ジェルーン『娘に語るラシズム』（白水社）1,680円

中国語

中国語 I A・I B

中国語の入門クラス。発音と文字（簡体字）そして文法の基礎を学ぶ。授業では、まず「ピンイン」というローマ字表記を使って発音を学び、次いでその表記法によりつつ基本的な文法・文型等を学んでゆく。「ピンイン」表記を最初にしっかり覚えないと、その後の学習がほとんど不可能になる（漢字で書かれているので他の外国語より易しいというのは、誤った俗説である）。

I A-I B という週 2 コマの授業を通して 1 冊の教科書を使用する。I A-I B の組み合わせは固定されており、それを一人の教員が担当する場合と、二人の教員が共同で担当する場合とがある。いずれにしても必ずその 2 コマを 1 セットで履修しなければならない。

中国語の学習には自分の口と耳を使った教室での実地練習がきわめて重要である。休まず出席し、教員の指導のもと、積極的に練習を行ってほしい。出席は成績評価においても重要な判断材料となる。そのほか年間を通じての各種小テスト、中間・定期試験、課題提出、および授業中に見られる実際の習熟度等々に基づいて最終的な成績評価がなされる。日頃の努力の積み重ねが不可欠であり、定期試験のときだけ一夜漬けて乗り切るということは絶対に不可能である。

中国語 I C (会話)

「聴く、話す」といった会話中心に構成される。I A-I B で学ぶ基礎的な文法と語彙を、口と耳の反復練習を通じて音声的に定着させ、3 年次まで必修となる 1 カ国語集中学習の基礎を築くことを目標とする。

中国語 II A

I A-I B の学習を基礎としつつ、ピンイン付の長文を学び、中級程度の読解力・文法的理解力を養う。正確な読解は、読み書きだけでなく、話したり聞いたりするための基礎ともなるものである。

授業は、各担当者によって多彩な内容が用意される。文学的なもの、中国の社会や文化の理解に役立つもの、文法学習を主とするもの、またいろいろな文章の抜粋を読むもの、1~2 編の、まとまった作品をじっくり読み上げるもの、等々である。いずれの場合も、発音と基礎文法の復習・定着、やや複雑な中区勇程度の語彙・文法・文型の学習、そして長文の論理展開や文章構成の把握、といったことが目標となるであろう。また、それと同時に、教材を通して、表面的な知識や情報にとどまらない、内在的な中国理解の眼を養ってもらいたいと思う。

中国語 II C

音声による言語運用能力の更なるブラッシュアップを目指す。基礎会話から応用会話へという方向性は言うまでもないが、新たな文法上の知識は特に必要とせず、むしろ 1 年次に習った語彙や文法に基づいて自分の言いたいことを形にしていくための反復練習が教室での作業の主要部分となる。

中国語 III A

これまでの学習の蓄積の上に、主として中国語の読み書き能力の向上を図る。授業数は週 1 回に減るので、教材は音声よりも長文読解や作文が中心となる。時には読み方が判らぬ字があっても停まらずに読み進めて大意をつかんだり、少しまとまった思考内容や状況説明を口頭でなく文章で相手に伝えたりするシミュレーションを通じて、中国語の処理における一定のスピードを体感し、部分的に中国語を介した情報収集や商務に可能性を拓くことを目指す。

【辞書について】

1年次の授業は辞書の購入を前提とせずに進められる。最初から中国語の勉強は1年限りと決めてしまいうなら、辞書なしで済ませることはできる。しかしそういう人にとっても、1年間の学習をより実りのあるものとするために、次の辞書は役に立つことだろう。

相原茂『はじめての中国語学習事典』（2002年 朝日出版社）2800円

2年次以降も中国語学習を続ける場合、辞書の購入は必須である。近年は中国語の辞書の出版が相次いだが、特に以下の2点が薦められる。

商務印書館・小学館『中日事典〔第2版〕』（2003年小学館）語法解説や図版豊富。6300円

相原茂『講談社中日事典〔第二版〕』（2002年 講談社）全例文にピンイン付き。6500円

より手軽なサイズと価格では次の2点も推薦できる。しかし、学習の伴侶として息長くおつきあいすることを考えれば、思いきって奮発したほうが結局は「得」である。

松岡榮志『クラウン中日事典』（2001年三省堂）4000円

武信彰『プログレッシブ中国語事典』（1998年小学館）3500円

また、これらよりさらに小型のものや、中日・日中を1冊で間に合わせる類の辞書は薦められない。

なお、下の2点も、初心者向けではないが、中級から上級以降の学習や研究に十分耐え得る内容を具えた優れた辞書である。

伊地智善継『白水社中国語事典』（2002年白水社）7800円

愛知大学中日大辞典編纂処『中日大辞典〔増訂第二版〕』（1987年大修館書店）8600円

日中辞典は授業では必須としないが、次のものが手元があれば重宝するであろう。

対外経貿大学・商務印書店・小学館『日中辞典〔第2版〕』（2002年小学館）7000円

倉石武四郎・折敷瀬興『岩波日中辞典〔第2版〕』（2001年岩波書店）5000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語 I A	布施直子	経営A1年	2
中国語 I B	胡玉華		

講義のねらい

中国語の初級段階の学習を内容とする。中国語の発音のしかたを覚え、中国語の文の構造を理解することを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

二人の教員が連携して授業を進める。学年初めに発音の基本を学び、そののち日常会話で使われる単語や中国語文の組み立てを学ぶ。「読む・聞く・話す・書く」練習を通して理解を確かなものにする。

履修上の留意点

授業への出席を第一にして、まじめに練習にとりこんでくれることを望む。

成績評価の方法

テストと、出席状況によって評価する。

教科書

竹島金吾監修 尹景春・竹島毅著『新版中国語はじめの一步』（白水社）2,200円

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	福地桂子	経営A1年	2
中国語 I B	前川亨		

講義のねらい

福地 (A)、前川 (B) が同一教科書で授業を行う。発音、ピンイン表記、基本文法の習得を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

正確な発音、簡単な文章の音読・解釈と作文、基本会話の実践をめざす。

履修上の留意点

自主的な予・復習、前向きな学習姿勢、外国語への大胆なとりくみを求める。授業を阻害する行為（私語、携帯電話の受信等）は許さない。出席は初級段階ゆえ皆出席を原則とする。

成績評価の方法

年間数回の小テスト、宿題、前・後期の期末考査、平常点、出席状況等から総合的に判定する。

教科書

牧田英二・楊立明『新編・例文中心初級中国語』（同学社）2,300円

参考書等

辞書については、開講後に説明する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	工藤早恵	経営A1年	2
中国語 I B	布施直子		

講義のねらい

中国語学習の基礎となる発音をしっかりマスターした後、基本的な語彙、文法や言い回しを身につける。

履修上の留意点

初めて学ぶ言語は、特に授業での反復練習に参加することが非常に大切である。欠席せずに毎回の出席を心がけてほしい。

成績評価の方法

出席状況、平常点、小テスト、定期試験によって総合的に評価する。

教科書

相原茂 陳淑梅著『語学三十六景』（東方書店）2,400円＋税

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	釜屋修	経営A1年	2
中国語 I B	下出宣子		

講義のねらい

中国語入門科目として発音の基礎、基本文法の習得をめざす。目で読む中国語ではなく、読み、聞き、話す中国語能力のたのしさを味わっていただく。

講義の内容・授業スケジュール

二人の教師が同一テキストにより週二回セットの授業を行なう。下出が語法の基礎を主として担当し、釜屋が表現能力の向上を担当する。

履修上の留意点

出席と積極的授業参加を要請する。授業中の私語は禁止する。出席不良の場合は受講権の放棄とみなす。

成績評価の方法

出席点、授業での積極性、課題、小テスト、期末テストの成績を成績評価の基本とする。

教科書

荒川清秀『簡明中文システム 15』CD付（同学社）1,800円。（『中文システム 15』ではなく『簡明』版である。まちがえないように）

参考書等

開講後指示する。

科目名			担当者名	配当学科	単位
中国語	I	A	しお 塩 はた 旗 しんいちろう 伸一郎	経営A1年	2
中国語	I	B			

講義の内容・授業スケジュール

中国語の音声的魅力を最重視し、懇切丁寧に発音を指導する。漢字だけ睨んで当て推量する暗号解読作業に陥らぬため、年間を通じて聞き取り小テストを盛大に執り行う。

履修上の留意点

鏡を持参のこと。学習歴のある英語と異なり、中国語は毎回出席当然。

成績評価の方法

定期試験+小テスト-欠席点。前・後期とも欠席3回目から10点ずつ減点する。

教科書

沈国威・内田慶市『新・チャイニーズステーション』（好文出版）2,400円（テープ付）

科目名			担当者名	配当学科	単位
中国語	I	A	さ 佐 とう 藤 ふみこ 普美子	経営A1年	2
中国語	I	B			

講義のねらい

中国語の基礎になる文法と発音のしかたを学ぶ。

履修上の留意点

4・5月は発音のためのローマ字表記（ピンイン）を重点に学ぶ。この最初の関門をぜひ突破してほしい。

成績評価の方法

平常点（出席及び小テスト）と学期末テストを合わせて評価。

教科書

楊凱栄・張麗群『中国語への船出』（朝日出版社）2,200円

科目名			担当者名	配当学科	単位
中国語	I	A	あま の せつ 天野節 曹 泰 和	経営A1年	2
中国語	I	B			

講義のねらい

中国語に興味と関心を持ってもらうこと。

講義の内容・授業スケジュール

単語の発音と意味の確認と文法の説明及び例文の発音と意味をI Aで行い、文法の復習と会話文の発音と意味及び会話練習をI Bで行う。

履修上の留意点

予習、復習、出席を必ずして、声を出して発音練習すること。

成績評価の方法

出席、課題、授業態度、テストで総合評価する。

教科書

牧田英二『新編例文中心初級中国語』（同学社）2,300円

参考書等

授業の中で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	小川 隆 <small>おがわ たかし</small>	経営A1年	2
中国語 I B	釜屋 修 <small>かまや おさむ</small>		

講義の内容・授業スケジュール

二名の教員が共同で一冊の教科書を用いる。各課は「文法」「練習」「会話」からなっており、I Aで「文法」、I Bで「練習」「会話」を学習する。両者の内容は緊密に連動しているため、一方の学習を怠ると、もう一方の授業にもついてゆけなくなってしまうであろう。

成績評価の方法

出席最重視。授業回数の四分の一以上を欠席した場合、単位取得はその時点で不可能となる。平常点と年間数回の大小のテストを合算して総合的に成績評価を行う。授業進行の為の最低限のルールとマナーを守れない人には、受講をお断りする。

教科書

牧田英二・楊立明「新編・例文中心初級中国語」(同学社) 2,300円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	佐藤 普美子 <small>さとう ふみこ</small>	経営A1年	2
中国語 I B	塩旗 伸一郎 <small>しほはた しんいちろう</small>		

講義の内容・授業スケジュール

二人の教員が共通のテキストを使い、週2回の授業を行います。主としてA(佐藤)が文法説明、B(塩旗)が課文と口頭練習を担当します。

履修上の留意点

最初の1~2か月は発音の基礎を学びます。この時期に欠席すると追いつくのは難しいので、休まず積極的に参加して下さい。

成績評価の方法

平常点(出席、学習態度) + 小テスト(年数回) + 期末テスト(年2回)を総合的に評価します。

教科書

楊凱榮・張麗群『中国語への船出』(朝日出版社) 2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I C (会話)	秋元 翼 <small>あきもと たすく</small>	経営A1年	2

講義の内容・授業スケジュール

できるだけ字に頼らず、耳から入る音声で意味が把握できる訓練をする。書き取り練習をしながら、発声する練習もし、通じる発音を身につけ、会話力の基礎を養成する。

履修上の留意点

外国語の学習が視覚に頼りがちだった学生にとっては、最初慣れないかもしれないが、音声の世界に入ることは新鮮な体験となるであろう。間違ってもかまわない、会話を楽しもうという気持ちで受講してほしい。4分の3以上の出席を要する。

成績評価の方法

平常の学習態度、成果を重視し、各期末のテストと合わせて評価する。

教科書

壘燕・遠藤光暁著『話す中国語基礎篇』(朝日出版社) 2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I C (会話)	工藤早恵	経営A1年	2

講義のねらい

発音と声調を正確に覚えること、そして「聞く」と「話す」基礎をつくることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

中国語の音声的魅力を最重視し、発音を丁寧に指導する。初級の会話、口頭表現を一年間でマスターする。

履修上の留意点

積極的にCD等を活用し、十分練習すること。4分の3以上の出席と、授業中に声を出して練習すること。

成績評価の方法

出席率、試験、授業態度などで評価する。

教科書

竹島 他著『中国語 はじめの一步』(白水社)

参考書等

相原茂『講談社中日辞典第2版』(講談社)

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 II A	松本丁俊	経営A2年	2

講義の内容・授業スケジュール

中国の故事や民話、人民の生活、新聞記事、名作等から講読や鑑賞にふさわしい文章を選び、難易度に応じて、易しい文章から順に学習。長文学習は、単に読解力の向上にとどまらず、中国人の生活、風俗習慣、ものの見方、考え方なども垣間みることが出来る。巻末に練習があり、短文を作る様に工夫してる。

成績評価の方法

前期と後期のテストを重点とし、普段の授業状況、例えば訳をするとか、練習をするとかなど、さらに出席状況も加味する。

教科書

陳栄生・頼石傳・蔡柱国『現代中文読本』(神保出版) 1,650円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 II A	福地桂子	経営A2年	2

講義のねらい

自分で辞書を調べて、簡単な文章が読めることを目指す。
文法は中国語Iで学んだ基礎を定着させ、さらに接続詞を使った複文表現を学ぶ。
語彙を増やす。
中国語Iに引き続き、正確な発音の練習に力を入れる。

講義の内容・授業スケジュール

本文は簡単な物語。
新出単語の語釈、文法の例文、本文全て指名して発表してもらう。

履修上の留意点

新出単語をはじめ、既習の単語でも分からない単語は辞書を調べてくること。
既習の課は拼音をはずした漢字だけの文章が読めるよう復習すること。
授業の時辞書を携帯すること。
出席が4分3に満たない場合失格。

成績評価の方法

授業での発表内容(予習してあるかどうかを重視)、小テスト(発音テストも行う)、期末テスト(前期、後期各1回)を総合的に勘案して評価する。

教科書

讀井唯允『着実に学ぶ中国語 初級～中級編』(朝日出版社) 2,300円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	おう 王 とう 聡	経営A2年	2

- 講義のねらい 発音の復習・日常会話と文法事項の学習を進んでいくと同時に、日中文化の違いに対する理解を深めることも授業のねらいである。
- 講義の内容・授業スケジュール 1. 発音の復習。2. 中国人と交際する時最も頻繁にでる話を話題にし、会話の訓練を行う。
3. 文法事項を順次に学んでいく。
- 履修上の留意点 予習を済ませてあることを前提に授業をする。
- 成績評価の方法 出席率・授業態度・平常点50%、定期試験50%。
- 教科書 相原茂他『ドリル中国語テキストⅡ——日本と中国』（くろしお出版）1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	ひろ 弘 かね 兼 かなこ 加奈子	経営A2年	2

- 講義の内容・授業スケジュール めざましい発展をとげている現在の中国を「住宅の話」「結婚の話」等の十二の項目に分けて授業を行なう。
翻訳が中心となるが、発音・声調も重視していく。
- 成績評価の方法 成績は年間約四回のテストと教場での平常評価によって総合的に判断する。
- 教科書 三瀧正道・楊光俊 新訂版「現代中国 走馬看花」(朝日出版社) 2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡC(会話)	さ 佐 とう 藤 ふみこ 普美子	経営A2年	2

- 講義のねらい 自分自身を表現したい時や日常的場面で必要になる基本的文型を身につける。
- 講義の内容・授業スケジュール 原則として、2回の授業で1課を学習する。
- 履修上の留意点 「耳」と「口」をフルに活用し、基本例文は暗誦する。
- 成績評価の方法 出席、授業への参加意欲(予習の有無、声の大きさ等)、暗誦テスト、学期末テストにより総合的に評価する。
- 教科書 高橋良行他「楽しい中国語コミュニケーション」(同学社) 2,100円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡC（会話）	あまのせつ 天野節	経営A2年	2

講義の内容・
授業スケジュール

初級の学習を踏まえ、会話文で色々な表現を学習。単語、語句の発音練習、意味の確認後、新しい表現を取り出し学習し、会話文を読み解き練習する。

履修上の留意点

積極的に授業に参加して欲しい。

成績評価の方法

出席、授業態度、課題、期末テストで総合評価する。

教科書

荒川清秀『美香 in China』（同学社）1,900円

参考書等

授業の中で紹介。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅢA	あまのせつ 天野節	経営A3年	2

講義のねらい

中国語学習を通じて、中国事情の一端を学習する。

講義の内容・
授業スケジュール

新出単語・語句の発音と意味確認後、歴史風俗に関する短文の読みと意味を確かめながら、中国事情を学習していく。

履修上の留意点

予習、復習をすること。

成績評価の方法

出席、授業態度、課題、テストで総合評価する。

教科書

金丸邦三・呉悦『中国歴史文化風俗』（白水社）1,900円

参考書等

授業の中で紹介。

[スペイン語]

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I A	ルイズティノコ, C.	経営A1年	2

講義のねらい

この授業ではスペイン語の文章を読んで、基本的な文法を学び、練習をしながら、スペイン語の構造や表現になれ、会話能力を高めることを目指す。

履修上の留意点

毎回の出席や練習は重要なので積極的に参加してください。

成績評価の方法

前期と後期の成績と授業参加の状態ですべて評価します。

教科書

未定

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I A	<small>なか がわ きよし</small> 中川 清	経営A1年	2

成績評価の方法

前期・後期の各期末にテストを行うが、平常の授業の参加意欲を重視する。なお、希望者に対して課題レポートを提出させ、その成績を加点する。

教科書

中川・児玉『スペイン語への誘い』（芸林書房）2,200円＋税

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I A	<small>かめ やま こう いち</small> 亀山 晃一	経営A1年	2

講義のねらい

初級文法から始め、発音・アクセント・イントネーションを練習する。比較的簡単な例文を習得することで会話の基礎を作り、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って役立つ、コミュニケーション能力の開発と養成を行う。背景文化や歴史にも触れ、関心を育てることにより、学習を継続させる為の動機付けとしたい。

履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教科書

開講時、指示。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I B	<small>さ とう まりの</small> 佐藤 麻里乃	経営A1年	2

講義のねらい

文法の初歩を習得し、スペイン語の特徴を理解する。

履修上の留意点

初回の授業で述べる注意事項を守ること。

成績評価の方法

出席率、授業態度、小テスト、学期末試験などを総合して評価する。

教科書

江澤照美『パソ ア パソ』（同学社）

参考書等

辞書：プログレッシブスペイン語辞典（小学館）、新スペイン語辞典（研究社）など

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I B	よね だ ひろ み 米 田 博 美	経営A1年	2

講義のねらい

現代における二国間、多国間、地域間のつながりは、増々加速されています。経済における二国間自由貿易協定はその象徴とも言えます。貿易や投資の交流、文化や芸術での交流、人的交流などは、情報技術の革新もあり、急速に深まり、世界は相互依存、相互理解の必要性が高まっています。約4億の人口を有し、20カ国以上の国々で構成されるスペイン語圏諸国の自然は魅力に富み、音楽、文学、芸術などの文化は多様で豊かであり、日本にとり、ますますその重要性を増すでしょう。言葉は力です。スペイン語を学ぶことにより、自らの世界、視野を広げることを希望します。言葉をマスターする上で、何よりも意欲、心構えが最も大切であり、強い目的意識をもって、授業にのぞんで下さい。

講義の内容・授業スケジュール

年間スケジュールとして、下記テキストの1～7課までの範囲を学習します。

履修上の留意点

スペイン語は、発音しやすく聞きとりやすいと言われますが、語学の学習は、基礎の積み重ねが特に大切であり、欠席をしないように。仮に欠席をしたとしても、自らの努力で補うことも充分可能であり、折角定めた初心を安易に放棄しないことを望みます。

成績評価の方法

成績は、一般の授業態度、出席、テストなどにより総合的に判断します。

教科書

細川幸夫著『英語からスペイン語へ』（芸林書房）

参考書等

辞書は、各自自由に選択して下さい。参考までに、『和西中辞典』（小学館）、『現代スペイン語辞典』（白水社）、『新スペイン語辞典』（研究社）などを推薦しておきます。

その他

スペイン語圏の文化を紹介したビデオや短編映画を鑑賞できる機会もつくる考えです。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I B	くり ばやし え 栗 林 ゆき絵	経営A1年	2

講義のねらい

スペイン語の基本的な文法の体系を学び、簡単な新聞や小説が読めるようになることを目標にする。

講義の内容・授業スケジュール

授業は、文法事項の説明とそれを応用した練習問題、という構成で進める。また随時小テストを行い、そこまでの内容を整理する。前期は現在形、後期は過去形、未来形、現在完了を中心に学習する。

履修上の留意点

練習問題に出てくる単語の意味は調べてくること。辞書は授業中に使用するので必ず持つてくること。（辞書を持参しない者は欠席扱い。）

成績評価の方法

前後期の試験と平常点（出席・発言）、小テストを合わせて評価。試験、平常点ともに60%以上とることが単位取得の最低条件である。

教科書

西川喬『新スペイン語ゼミナール』（第三書房）2,200円

参考書等

『プログレッシブスペイン語辞典』（小学館）

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I B	おぎのまさし 荻野雅司	経営A1年	2

講義のねらい

スペイン本国のスペイン語に限らず、中南米で今日常用されているものも含めて、スペイン語の全体を概観することを狙いとします。

講義の内容・授業スケジュール

テキストに沿って初級スペイン語を学習して行きますが、言葉のみでなく、出来るだけヒスパニック圏の人々の物の考え方や文化、習慣を学ぶことで、communication がより容易に行えるようにします。さらに、このクラスはスペイン語の理解を促進するために、英語の語法との対比を常時行うことを特徴の一つとしています。

成績評価の方法

原則として年2回の正規のテストを行います。総合的な成績の評価に当たっては、良くても、悪くてもテストの結果のみによってこれを行いません。むしろ、日頃の出席状況と受講態度を同じくらいに重視して評価します。

参考書等

使用する教科書等は開講時に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I C (会話)	ルイズティノコ, C.	経営A1年	2

講義のねらい

この授業ではスペイン語の文章を読んで、練習しながら文法の構造や表現に徐々に慣れ、基本的な会話能力を身につけることを目指す。毎回の練習は重要なので積極的に参加してください。

成績評価の方法

前期と後期の成績と授業参加の状態で評価します。

教科書

未定

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 II A	おぎのめくみ 荻野恵	経営A2年	2

講義のねらい

「会話」「エッセー」「インタビュー」といった多様なスペイン語の文章に触れながら、イベリア半島を構成する2国、スペイン及びポルトガルの文化や歴史を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

前期は「会話」と「インタビュー」、後期は「エッセイ」を中心に読む。文法事項は適宜プリントを配布し、1年次に学習した基礎を復習、確認しながら、命令、接続法を中心とした中・上級レベルへと発展させる。

履修上の留意点

毎回の予復習を必ず心掛け、積極的に授業に取り組んでもらいたい。

成績評価の方法

出席状況、年4回のテスト、課題提出等を総合して評価する。

教科書

荻野・サンティアゴ『イベリア文化の輝き』（大学書林）

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡA	ま し も ゆ う い ち 真 下 祐 一	経営A2年	2

講義のねらい

日常会話の表現の習得を目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 比較級・比較級の不規則形・最上級
2. 直説法過去：規則動詞と不規則動詞Ⅰ・過去の時を特定する表現
3. 直説法過去：不規則動詞Ⅱ・過去における期間の言い方
4. 直説法不完了過去・過去の不定期間の表現
5. 未来形・JR+A について・未来を表わす語句
6. 天候と無人称表現・その他の無人称表現
7. 現在進行形・不規則現在分詞
8. 現在完了

履修上の留意点

定期試験-7月と1月-

教科書

石崎優子／フェリサ・レイ『スペイン語世界への窓』（芸林書房）

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡC（会話）	ま し も ゆ う い ち 真 下 祐 一	経営A2年	2

講義のねらい

旅先で、また日々の暮らしの中で、あなたがスペイン語に接する機会はますます増えていくでしょう。実際の場面で簡単でも適切な表現が自然と口をついて出てくるくらいスペイン語に親しんでください。

講義の内容・
授業スケジュール

すぐに答えられるドリル形式の問題に大きな声ではっきりと答える練習を通して自由な会話力の基礎を固めます。また自分の言いたいことだけを言うのではなく、相手の言うことがよく理解できるよう、聴解力を養う努力もしましょう。

履修上の留意点

予習・復習を忘れずに、大きな声でしっかり練習しましょう。初級のおさらいにも役立つテキストを選びました。

成績評価の方法

100点満点中、40点は出席、課題の提出など授業参加、残りの60点は二回の期末試験と聞き取りや発話の小テストの結果で評価します。

教科書

Sánchez Ríos, Domínguez. 『ESPAÑOL EN DIRECTO nivel 1 B』 (S.G.E.L)

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅢA	真下祐一	経営A3年	2

講義のねらい

三年目のスペイン語です。これまでに学んだスペイン語の基本を確かなものとしながら、以降各人が勉強を続けていくための土台作りに努めます。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストの目次に沿って授業を進める予定ですが、場合によっては面白そうなところから先に見ていきます。読解中心の教科書ですが、できるかぎり作文にも力を入れていきたいと思えます。

履修上の留意点

復習を随時取り入れます。これで最後というより、さあこれからといった姿勢で勉強に取り組みましょう。

成績評価の方法

100点満点中、40点は出席、課題の提出など授業参加、残り60点は二回の期末試験と小テストの結果で評価します。

教科書

田尻陽一 西川喬『中級スペイン語講座』（芸林書房）

ロ シ ア 語

よく一国を理解するにはその国の言葉を学べば、一番よくわかると人々の口に伝えられているように、現代ロシアの秘められた部分を理解するには、ロシア語を学ぶことが一番手っとり早い方法です。一口にロシア語と言ってもそれはモスクワを中心とした東スラヴ語をさします。ロシア語と兄弟の関係のように近い、よく似た言葉には、ポーランド語、ブルガリア語、ウクライナ語、チェコ語、スロヴァキア語、セルビア語、マケドニア語等、多くの言葉があります。これらの中東欧語を理解するうえでも、ロシア語は、もっとも基本的な言葉となります。またこれらのスラヴ諸国を理解するうえでもロシア語が最も中心的な位置を占めていると言っても過言ではありません。しかもロシア語人口はヨーロッパの全人口に匹敵し得る程の数にのぼっているのです、これからの国際的時代にはどうしても見すごすことのできない言葉と言えます。21世紀においては、単にロシア語を学ぶことのみならず、その背後にある文化と広大な精神風土についても学ぶことは多いに価値があることです。駒澤大学でのロシア語はこの国際化時代に向けて、実際に使えるロシア語の学習をめざします。ロシア語もどんどん変化しつつある昨今ですが、そのような流れにも常に敏感でありたいと願っています。駒澤大学での必修クラスのロシア語は1週間に2度しかありませんが、与えられた時間を最大限に有効に使うべく、次のような目標と年間スケジュールで授業はすすめられます。

外国語

なお、ここで参考までに辞典の紹介を若干しておきます。

- 『露和辞典』（研究社）東郷正延他著
- 『露和辞典』（岩波書店）和 久利他編
- 『博友社ロシア語辞典』（博友社）木村彰一他編
- 『和露辞典』（研究社）藤沼 貴著
- 『和露辞典』（講談社）佐藤 勇著

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 I A	^{すぎ} 杉 ^{やま} 山 ^{ひで} 秀 ^こ 子	経営A1年	2

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらいようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

4、5、6月でかんたんな単語や文章を復習しながら発音やイントネーションの型を学びます。やさしい語尾変化に馴れるようにし、7月頃から平易な文章を声を出して読めるようになります。9月には6、7月頃に学んだ初歩の文法のまとめをします。10月頃からより複雑な文章を声を出して読み、内容を把握するように努めます。毎回授業の始めには楽しいクイズをしてできるだけロシア語に馴れてもらうようにします。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書

杉山秀子他著『21世紀のロシア語』（大学書林）価格未定
杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』（大学書林）1,751円

参考書等

『露和辞典』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシ ア 語 I B	ひろ た ひで やす 廣 田 英 靖	経営 A 1 年	2

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

4、5、6月でかんたんな単語や文章を復習しながら発音やイントネーションの型を学びます。やさしい語尾変化に馴れるようにし、7月頃から平易な文章を声を出して読めるようにします。9月には6、7月頃に学んだ初歩の文法のまとめをします。10月頃からより複雑な文章を声を出して読み、内容を把握するように努めます。毎回授業の始めには楽しいクイズをしてできるだけロシア語に馴れてもらうようにします。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教 科 書

杉山秀子他著『21世紀のロシア語』（大学書林）価格未定
杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』（大学書林）1,751円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシ ア 語 I C（会話）	ま の あま こ 佐 野 朝 子	経営 A 1 年	2

講義のねらい

このクラスはロシア語をはじめて学ぶ学生を対象とします。文法を学び、辞書を使ってテキストを読んでいくクラスよりロシア語をより身近に感じるよう、500ぐらいの単語だけを使って、発音、イントネーション、会話を学び、同時にやさしいテキストを読んでいます。会話クラスにありがちな簡単な日常会話以外のことはいっさいわからない、という結果にならないよう努力するつもりです。

履修上の留意点

予習はまずいらないと思いますが、ロシア語の発音、イントネーションを少しでも多く耳にするよう、できるだけ授業には出席して下さい。

成績評価の方法

平常点を重視します。

教 科 書

絵や図がたくさん入っているロシアで出版された教科書を使って授業をすすめますが、手に入りにくい教科書ですので、コピーを用意します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅡA	木村英明 <small>きむら ひであき</small>	経営A2年	2

講義のねらい

1年次の文法事項の練習と、声を出してロシア語がスラスラ読めるように練習します。ロシア語のかんたんな会話と、速読による文意の把握をめざします。

講義の内容・授業スケジュール

- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- 中等文法のエッセンスを勉強をします。

成績評価の方法

出席と平常点を重視します。

教科書

1年次に使用した教科書と文法表。

その他

プリント配布。教場にて指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅡC(会話)	クロチコフ, Y.	経営A2年	2

講義のねらい

以前に学習した発音、文法、会話の復習。講師が作成した練習テキストを用い、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

成績評価の方法

平常点で評価します。授業中に、時々、簡単なテストを行います。

教科書

杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』(大学書林) 1,751円
プリント配布。
ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅢA	クロチコフ, Y.	経営A3年	2

講義のねらい

以前に学習した発音、文法、会話の復習。講師が作成した練習用テキストを用い、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

成績評価の方法

平常点で評価します。授業中に、時々、簡単なテストを行います。

教科書

プリント配布。
ビデオ、オーディオ等を使用します。

[再履修クラス] [英 語]

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A [再クラス]	<small>にし むら ゆう こ</small> 西 村 祐 子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

英語による電子メールの書き方を修得しながら「苦手な英語」から「使える英語」を習得することをめざす。基本的なタッチタイピングから指導し、インターネットをつかって英語で海外の各地の情報を得たり電子メールでといあわせたりしてみる。

講義の内容・授業スケジュール

前期：自己紹介の仕方、確認、問い合わせ、お礼の英文メールなど基本的な英語表現を学ぶ。
後期：インターネットのウェブサイトをつかって実際に問い合わせ、サイトの感想のメールなどをかいてみる。

履修上の留意点

学生への要望：電子メールアドレスは商業プロバイダーのものをもちいてさしつかえないが、大学の電子メールアドレスの取得はコンピュータ教場の使用の際にも必要なので、かならず事前におこなっておくこと。なお、携帯電話の電子メールは長文の課題提出が不可能であり、返信に困難をきたすこともあるため、原則として本授業用には使用しないこと。タッチタイピング修得用にフロッピーディスクを用いるので、はじめの授業から、かならず一枚持参のこと。

成績評価の方法

成績評価：ほとんど隔週ごとに課題が与えられ、電子メールでの課題提出があるため、電子メールでの課題提出の頻度とその内容によって成績評価がなされる。定期試験はおこなわない。なお、出欠はすべてその場での電子メール送付によって課題提出という形態での確認となるため、学生は全員電子メールアドレスを修得しておいてほしい。

教 科 書

テキスト：Subject: E-mail: writing effective messages (南雲堂)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A [再クラス]	<small>いわ い ひろ み</small> 岩 井 洋 美	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

日常表現を題材にしたテキストで、多くの練習問題に取り組む。

講義の内容・授業スケジュール

語彙や文法、会話表現の習得。

履修上の留意点

取り組み姿勢を重視するので、遅刻と欠席は評価に大きく響く。

成績評価の方法

出席と授業態度を重視。そのほか、小テストと2回の期末試験で評価。

教 科 書

Communication in the Real World (TOEICに役立つ日常英語) (成美堂) 1,900円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A [再クラス]	<small>はやし たか のり</small> 林 孝 憲	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

初歩的な会話を意識した英作文を行う。最初に会話形式の必修短文を作文し、何度か声に出して暗誦するようにする。次に応用として弱冠長めの文章を作文してゆく。前者では発話を、後者では文法を課題に学習する。

成績評価の方法

宿題は課さないが、授業中に指名して発表してもらうので必然的に集中して作業に臨むことになる。再クラスということもあり出席は重視。出席点を含む平常点を50、定期テストを50の割合で評価する。

教 科 書

『Let's Try English - 英語でトライー』(南雲堂)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	おお とう みちこ 太田美智子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

コミュニケーションの手段として英語の運用能力を高めることを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

英語の歌を素材として、様々な表現を幅広く学ぶ。広範な基本フレーズを覚えることにより、状況に合わせて応用できる基礎力を培うべく、多くの表現方法を身につける。

履修上の留意点

必ず予習し、真摯な態度で授業に臨むこと。単位の修得ではなく、各自の実力の向上が目的であることを決して忘れないこと。そして何事にも知的好奇心を持つ。単に椅子に座しているのみで、授業参加していない場合には出席とはみなさない。

成績評価の方法

平常時の授業態度、予習の有無、場合によってはレポートの内容、また試験を行った際はその素点、等々の総合評価。

教科書

Say It In Songs (マクミラン・ランゲージハウス)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	い とう みよこ 伊藤美代子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

英語による意思伝達を可能にすることがまず第一の目的。当然、ライティングだけでなく、スピーキングの訓練も行う。ライティングは、センテンスからパラグラフまで、スピーキングは日常会話からスピーチまでをめざす。その過程で当然、ヒヤリングの訓練も行い、総合的な英語力を強化する。

講義の内容・授業スケジュール

原則として、英語による内容の理解を図る。できるだけ、英語を使用し、日本語の説明は必要最小限に抑える。

履修上の留意点

予習が絶対条件である。また、半期に4回以上欠席したものには、単位を与えない。また、遅刻2回で欠席1回と数える。

成績評価の方法

各学期毎に中間テストと期末テストを行い、その結果の平均が80%、残りの20%は、小テスト、平常点、提出物により計算する。

教科書

1. *Nobukazu Aoki, Haruo Erikawa* 『コミュニケーションのための基礎英作文』(金星堂) 1,850円
2. 伊藤美代子(編著) 『さらばジャパニーズイングリッシュ』(北樹出版) 1,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	たか はし ひろし 高橋寛	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

本講義では英会話の基礎を身につける為、リスニングと英作文の練習を中心に行っていきます。

成績評価の方法

評価は出席点と定期試験の結果を総合して出します。

教科書

Everyday Talk (朝日出版社)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	よし え まさ お 吉 江 正 雄	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

英文を正しく読み、発音し、その上で英文を正しく理解することを目標とする。しかし、そこには当然、構文の理解、文法的な正しい解釈も伴われなければならない。これらのことを総合的に学びながら、文明の黎明期、言語の発達段階等についても学ぶことになる。

講義の内容・授業スケジュール

一講時に進む範囲は大体決まってくるので、その範囲の読みと、解釈を中心に据え、後に文法・構文の説明を加える。小説家による美しい文章に触れ、美しい英文の書き方に繋げたい。

履修上の留意点

大体決まってくる一講時に進む範囲の予習をしてくることを望む。

成績評価の方法

前・後期の試験の平均点をベースに、授業参加の積極度、発表回数等を鑑みて評価を出す。ただし、授業総数の三分の一を超える欠席のある学生の評価は出ないから注意すること。

教科書

A Short History of the World (こびあん書房)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	はなわ みちこ 塚 美智子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

基本動詞を中心にした慣用句を含んだスキットや練習問題を行っていく。日常基本表現から会話表現の理解と運用能力を高めていくことを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

話題性がありウィットに富んだ会話を楽しみながら基本動詞、慣用語句等を身につけ生きた表現が自然に出る様にする。

履修上の留意点

復習や予習をし、書いたり発話の練習を行う。

成績評価の方法

出席率重視 (70%)、普段の授業態度 (10%)、後期試験 (20%)

教科書

Writing Better English (金成堂) 1,600円

参考書等

参考書等を勧める場合はその都度黒板に板書して説明する。

その他

テープや声を出して練習する場が多いので積極的に授業に参加する態度を要す。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	つか もと とし お 塚 本 利 男	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

絶えず文法・語彙などの知識の増強を図りながら、英語の語順・文章構造を確実に理解し、日常生活の様々な事柄について英語で表現する事を目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

各章で①基本文法事項②練習問題③発展問題さらに学習した事柄についての確認をする④復習問題をやりながら、運用の能力の練習をします。授業の最後に、毎回総仕上げとして、日常の身近な事柄、例えば、日本の四季、大学生活、コンパなどについて意見・考えを英語で書く小テスト (20~30分) を行います。

成績評価の方法

授業における発表・小テスト・前・後期の定期試験に基づく。全評価のうち授業時での発表・小テストが、50%、前・後期の定期試験が50%で評価します。特に、平常授業を重視しますので、全授業数の3分の2以上は、必ず出席して下さい。

教科書

『語順が身につく英作文』(朝日出版) 1,800円+税

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A 〔再クラス〕	かわしまひろゆき 川島弘之	全学科2・3・4年	2

外国語

講義のねらい

受験英語を生かして、英語を楽しむことを目指す。学生が強い関心と興味を抱いているロックを中心とした音楽を教材として使う。テキストと共に学生1人1人のロック音楽等のリクエスト曲を使用する。現代の若者にとって、ロック音楽の歌詞はかつての英詩にとって代っているばかりか、現代詩の一翼をになっている。ロックの歌詞の中には「生きがい（生きる真の目的、生きる意味、価値）」や「Love」について深い考え方や感性がこめられているので味わってもらいたい。ロック音楽を通して、人間の心、私たちの心が揺さぶられ、英語音声への感性が磨かれ、人間と社会、人間と自然、人間と人間を見る眼が深まることを望む。

履修上の留意点

授業では、他の学生の発表に関心、興味、理解を抱くよう努力することを重視する。発表、レポート、前後期の定期試験に基づく。前期のテストは英語の歌を歌うことで行うこともできる。授業の欠席が3分の1を超えた場合は不合格とする。

教 科 書

- ①『ロックの心 (1)』(大修館書店)
- ②「学生のリクエスト曲」

参 考 書 等

- 『ロックで読むアメリカ』(近代文芸社)
- 『ロックの意味』(草思社)
- 『ロック・ミュージックとアメリカ』(シンコーミュージック)
- 『ロック音楽と現代社会』(マクミラン・ランゲージハウス)

そ の 他

ビデオ、DVD、のロック・コンサートで英語を楽しむ。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A 〔再クラス〕	おのえのりこ 尾上典子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

アメリカ合衆国の歴史的・文化的背景を理解させると同時に、実践的な英語運用能力の向上をはかる。

講義の内容・授業スケジュール

Benjamin Franklin, Susan B. Anthony, Sitting Bull, Andrew Carnegie, Thomas A. Edison, Henry Ford, Helen Keller, Walt Disney, Martin L. King Jr, Elvis Presley などアメリカン・ドリームを形造るのに貢献してきた偉大な人々の生涯や業績を紹介した英文を取り上げ、アメリカ合衆国の歴史的・文化的背景を理解させると同時に、読解・聴解・作文などの総合的英語運用能力の向上をはかる。
また、折にふれて英米文化に関する英語ビデオを鑑賞させて、時事英語の理解力と聞解能力の増強もはかる。

履修上の留意点

正当な理由なくして年間の出席率が3分の2に満たないものおよび授業態度の非常に悪い者は落第させる。毎回、授業のための予習・復習を充分にしておいてもらいたい。

成績評価の方法

評価は、授業態度、出席率、年2回の前・後期試験および小テストによって総合的に判断する。

教 科 書

Roy E. Charron, 宮野智靖著 『Profiles of the American Dream (アメリカン・ドリームを読む)』(金星堂) 1,800円(税別)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A [再クラス]	おお たく やまき こ 太田 由紀子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

モデルとなる優れた英文を「応用」することにより日本語を介さず自然な英文が書けるよう訓練する。

講義の内容・授業スケジュール

さまざまな分野・領域における基礎的な知識を伝える文章からテキストは構成されている。自然科学・地理・歴史・文化・言葉と文学・数学・音楽など内容は多岐にわたるが、各トピックの全体像をまず説明した上で特定箇所に焦点をあて、そこに見られる文法事項を確認する。その上でトピック全体を俯瞰し、重要な単語や言い回しなどを文脈の中で理解するとともに段落の構成方法なども学ぶ。一連の作業を終えた上で最後に応用英作文を行う。トピックに関連する内容を自由に表現してもらい積もりである。

外国語

履修上の留意点

英和・和英辞書を常に携行すること。

成績評価の方法

前期・後期テスト、授業時の応答の様子、提出してもらう自由英作文、出席状況などから総合的に評価する。

教科書

E. D. Hirsch, Jr. 著 村田薫 編註 『英語で築く知の礎』(鶴見書店) 1,600円

参考書等

江川泰一郎著 『英文法解説』(金子書房) 1,750円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A [再クラス]	たか やなぎ ふみ え 高柳 文江	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

この授業においては、世界の中で現在生じている様々な問題について書かれた簡潔な文章を基に、まずその Listening と Comprehension を行います。その後、章毎のトピック文の中の語彙、慣用句、文法を理解し、それを基に writing, speaking 両面から文章を作る事を学びます。

履修上の留意点

授業の性質上、予習が必ず必要です。又、単位取得には、2/3以上の出席が要求されます。前期後半より慣用表現の演習が課されます。

成績評価の方法

試験(前期試験、後期試験)60%、日常点(出席、演習テスト等)40%

教科書

『World Today - 文化の諸相』(鳳書房)

参考書等

テープレコーダー使用

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	ひ やま すずむ 松 山 晋	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

英語での受信・発信の基礎力習得を目指す。

履修上の留意点

授業中何度も発言を求める。欠席・遅刻回数等の問合せには一切応じないので自己管理すること。携帯を授業中に鳴らした者は退室してもらい欠席扱いとする。毎回小テストを行い、小テスト解答終了時以降の入室は欠席扱い。

成績評価の方法

小テスト、出席、授業参加、発表等の平常評価50%、前期・後期試験50%。全授業日数の3分の1以上を欠席した者は自動的に「不可」。

教科書

第一回日の授業で指示。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	もり た たか みつ 森 田 隆 光	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

英語の基礎から学生諸君にわかりやすく講義を行って行きます。聞く、書く、話すを全部行ってゆきます。クラスは非常に興味のある授業になると思います。授業は日本語と英語を併用し時にはフランス語でも行います。まずクラスに出席してみてください。

成績評価の方法

前期、後期の試験 レポート年1回（英文にて）

教科書

開講時指示

その他

欠席は3回まで（年間）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	いわ はら やす お 岩 原 康 夫	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

インターネットが地球を駆け巡り、通信衛星が日常生活にまで及び、外国旅行も自国以外の人々との接触も一般化してきた。ボーダレスな国際化という現実によって、世界語とも言える英語はコミュニケーションの手段としてますますその比重を高めつつある。このような観点にたつて、このクラスの英語学習は意思伝達の向上を狙いとする。そのために、ある一定の基本的な動詞を中心にした構文と用法をマスターし、日常的なレベルでのコミュニケーション力を高めたい。

講義の内容・授業スケジュール

クラスはテキストに沿って、表現練習問題をやり、その応用を行ってもらう。

履修上の留意点

学生諸君の予習を前提にしてクラスは進める。また辞書の積極的な使用を望む。

成績評価の方法

前期・後期の試験60パーセント、平常点40パーセントを基準として、成績評価をする。平常点はクラスにおける participation によって判断する。

教科書

『Cultivating Writing Skills（基本語彙を使った発展英作文）』（朝日出版）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	前期：川 股 陽太郎 後期：八十木 裕 幸	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

英語を話したり、書いたりするための基礎知識を習得することをねらいとしました。日本語と英語の違いに注目して、英語表現の特徴を掴むこと。次に、コミュニケーションを行ううえで大切な英語表現の文体的特徴を学ぶこと。

講義の内容・授業スケジュール

日英比較；主語、述語、修飾語、前置詞、肯定と否定、話法、慣用表現、文体；informale style, formal style, selection and unity of style...

履修上の留意点

文法、作文が中心になります。予習をしっかりとやって、授業に臨んでください。

成績評価の方法

欠席ー4点減点、レポートー1回4点、小テストー1回2点、前期後期テストー合計100点、授業態度（発表まで）を総計して評価します。

教科書

武田良一 『英語表現法入門』（英宝社）1,900円＋税
プリント

参考書等

授業時に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	にし 西 原 克 政	全学科2・3・4年	2

講義の内容・授業スケジュール

英語を話すときに役立つ表現力を中心にした作文の演習用のテキストを用いる。外国人が英語を学習する際に役立つと考えられている Basic English（850語で大体日常生活の必要な表現がすべてできるという考え方）を基本にしている。英語が書けるといことは、英語が話せるということと直結しているので、その基礎を自分のものとして、会話に応用していただいたいと考えている。

履修上の留意点

受講者には第一回目の授業で、成績評価方法も含めて説明するので、必ず出席のこと。

教科書

『英語表現トレーニング』（北星堂書店）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	て 手 島 敬 子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

本科目は発音・リズム等の音声面の指導に留意しながら、標準的な英語で書かれた文章を読む力を養うことを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは比較的平易な英語で書かれたものを使用し、短時間に効率良く、また適切に内容を読み取る練習を行っていきます。

履修上の留意点

英和辞典を必ず持参。

成績評価の方法

中間・定期試験、課題、出席状況、授業への参加度などに基づき総合的に行います。

教科書

開講時指示。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	はやし 林 孝憲	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

読解の授業では構文を正確に捕らえながら邦訳することを第一の目標とする。その上で内容の要約も念頭に置き、時事的な内容のテキストを使用する。またリスニングでは、各項目のテーマごとに単語レベルから対話・普通文レベルへと聞き取りを進めてゆく。

成績評価の方法

読解では担当する文章をあらかじめ割当て発表してもらう。リスニングは定期的に小テストを行い、読解の発表と合わせて平常点とする。出席点を含む平常点を50、定期テストを50の割合で評価する。

教科書

『エコライフと経済』（南雲堂）
『五分間ヒアリング』（南雲堂）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	きむら 木村 克彦	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

やや平易な英文を精読することにより、徐々に実際の運用面も補っていきたい。テキストには各課ごとに練習問題があるが、これらを、本文を再読せずに解ければ、最も望ましいであろう。また、適宜、「エコノミスト誌」や「フォーチュン誌」の記事も訳読してゆきたい。

成績評価の方法

基本的には、前・後期の定期試験に因るが、それ以上に授業態度を重視する。私語厳禁。

教科書

Developing Reading Skills（朝日出版社）1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	むとう 武藤 久緒	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

英語学力の基礎となるのは読解力です。標準的で平明な英語を正しく理解できるよう、必要文法事項を説明しながら精読します。

講義の内容・授業スケジュール

前期：The Cat and Cricket Game
The Rainy Afternoon
Spinnie The Spider's Solution
後期：Chipper and the Sunflower Seed Tray Perfume

履修上の留意点

毎回、受講者に順次、訳読をしてもらいます。積極的に学習にとりくむよう努めて下さい。

成績評価の方法

成績評価は前後期のテスト、授業中の発表、出席状況などを考慮して行います。

教科書

ジュリア・高矢著 *Tom Black and Friends*（英宝社）1,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	江田 幸子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

英語の基本的な構文の読み取り方を重点的にチェックしながら一ページ程度の英文を精読します。トピックの違う内容を15編読みます。今年度はハリウッド映画の内容を要約した英文を読みます。時折ビデオを観て話される英語を聞いてみます。各々に面白い映画が扱われているので、楽しく英文を読めたら、と思っています。

英語は一見平易ですが読解力をつけるのに勉強になる構文や表現方が使われていて、楽しく読みながら読解力をつけるのには適しているでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

クラスでは授業中が自宅学習のようにして英語学習を進めて行きますので必ずテキスト、辞書、ノートを持参して下さい。解らないところは授業中に辞書をひいて、皆で学習して解るようにしていきます。

成績評価の方法

再履クラスは出席を特に重視します。ほとんど毎回、辞書を使いながら小テストをして平常評価点とします。前期・後期の期末テストよりこの平常点を重視して評価点を出していきます。10回行う小テストの内、上位5回分の成績の平均点を最終評価点とします。欠席回数が多い人は平均点が当然悪くなりますので注意して下さい。出席者には最低50点を出しますが欠席者は0点になります。

教科書

John S. Lander 著『HOLLYWOOD 2 Short Scenes from the Movies (ビデオで見る映画とスターたち)』(朝日出版社) 1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	甲斐捷子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

テキストはアメリカの文化、社会事情を様々な角度から紹介するビデオ教材です。現場の映像と生の音声を通して、臨場感を楽しみながら、英語の運用能力を総合的に高めることを目的とします。毎回の授業は、「聞き」、「話し」、「読み」、「書く」、徹底的な総合演習です。

履修上の留意点

1単元終るとごとに小テストを行います。これは詳細な復習のためのテストで、本試験と同じような傾向のものです。このテストで70%以上得点できるよう、復習に重点を置いて勉強して下さい。

成績評価の方法

一応の目安として、平常評価としての出席10%、前期試験30%、後期試験30%、小テスト30%による総合評価とします。総合点が基準に達しなかった場合、欠席が1/3を超えた場合、及び前後期試験のいずれかを欠試した場合は不合格となりますから、特に欠席をしないよう、十分注意して下さい。

教科書

Beginning Video English (鶴見書店) 1,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	石原孝哉	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

このクラスでは国際共通語としての英語にスポットを当てます。具体的にはアメリカ、イギリスばかりでなく、オーストラリア、インド、ドミニカ、ナイジェリアなど世界各地で使われている英語を、短編を教材にして学びます。教科書は全て英語、練習問題も英語なので英英辞典があると便利です。

成績評価の方法

成績は中間試験、期末試験のほかレポート等から総合的に評価し、出席を重視します。レポートはe-mailで提出することも可能で、提出先は教場で指示します。

教科書

Longman The Whole Story (南雲堂フェニックス)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	まえだ おさむ 前田 脩	全学科2・3・4年	2

講義の内容・
授業スケジュール

現実に役立つ英語と同時に英米の文化の一片でも知識として取り入れて、授業をすすめます。毎回あてますので予習は必須です。時々英字新聞のコピーを使用します。

成績評価の方法

授業中の発表等、日常評価を50%程、前期、後期のテストをそれぞれ10%、40%程度に評価し、全体として総合評価します。

教科書

Survival English (Book 1) (朝日出版社) 1,359円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	おおた ゆきこ 太田 由紀子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

豊かな内容を楽しみながら語彙力・読解力を向上させる。

講義の内容・
授業スケジュール

言葉と文学、歴史、自然科学といった様々な分野・領域における英語文化の基礎知識を学ぶ。

履修上の留意点

英和辞書を常に携行すること。

成績評価の方法

前期・後期それぞれの期末試験、授業時の応答の様子、および出席状況などにより総合的に判断する。

教科書

E. D. Hirsch, Jr. 著 村田薫 編註 『英語で築く知の礎』(鶴見書店) 1,600円

参考書等

江戸川泰一郎著 『英文法解説』(金子書房) 1,750円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	むら いし えしやう 村石 恵照	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

テキストを中心に、英文の基本的読解方法と現代社会に関わる様々なトピックを英文で読める読解力を習得する。

成績評価の方法

授業参加意欲、出席、テストなどで総合的に評価。

教科書

『*The Powerful Reader Basic* (英文講読の新技法・基礎編)』(マクミラン・ランゲージハウス)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	町田 成 男	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解とスピード・リーディングの基礎を身につける。読解力については、精読に加えて、段落・文章等の大意を把握する。リスニングについては、テープを聞きながら文章の大意を把握する。

成績評価の方法

出席点と発表と年2回の試験の総合評価とする。

教科書

現在多数の中から検討しているため、第一回めの授業で発表する。また、その時、プリントしてテキストの内容を説明する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	松 堂 啓 子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

リスニング力の向上を目指す。ごく平易な口語英語のリスニングを通じて、基礎力の強化をはかる。4課ごとにまとめた小テストを行い習熟度を確認していく。また適宜、プリントを使用する学習も行う。

成績評価の方法

2/3以上の出席を満たすこと。
年4回予定している小テストと定期試験の成績を重視する。

教科書

Learn to Listen (マクミランランゲージハウス)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	三 浦 眞 理	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

非常に平易な英語で書いてある文章を、できるだけ速読し、量を多く読むことによって、英文を読む力と内容把握力の向上を図りたいと思います。
ごく基本的な構文及び語句を中・高校生に戻ったつもりで復習し、再確認しながら学習していこうと思います。

講義の内容・授業スケジュール

英文の story を読んで、その内容がある程度把握できるようになることを目標に、簡単な表現で書かれている文を多読し、基礎的にしっかり学習していこうと思います。
ごく基礎的な英語を（最初から再学習するつもりで）しっかりとおぼえてもらいます。
テストは学習した章を中心に分割して授業時間中に小テストとして行います。

履修上の留意点

後期最後に総まとめ試験実施（授業時間中の小テスト重視）

成績評価の方法

成績評価は、3分の2以上の出席（厳守）、授業中の発表、小テスト（70～80%）及び後期試験の結果によりおこないます。

教科書

INTERMEDIATE Faster Reading (成美堂) 1,600円

参考書等

プリントを使用することもあります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	飯沼好永 いぬま よしなが	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

様々な英語の文章を読みながら、より正確な内容理解と、それに必要な基本的な文法事項も合わせて、修得することに努める。

履修上の留意点

リーディングの力を向上させるには、多くの英文に触れることが大切であるが、受け身の姿勢では、自己の英語力を向上させることは難しいので、積極的に授業に参加して下さい。特に英語に対し苦手意識のある学生は、予習に力を入れて下さい。

成績評価の方法

成績は、出席状況、授業への取り組み方、課題、定期試験等を考慮して行う。平常評価（50%）、前期・後期試験（50%）

教科書

千葉元信・松尾秀樹・岡崎久美子『Reading Landmarks of the world（英文読解のトレーニング）』（三修社）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I C（会話）	ノーラン, D. J.	経営A1年	2

(P.90) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I C（会話）	ハバード, W. D.	経営A1年	2

(P.90) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I C（会話）	ロンゴ, T.	経営A1年	2

(P.91) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I C（会話）	ヘラー, P. S.	経営A1年	2

(P.91) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I C（会話）	ロビン, G. F.	経営A1年	2

(P.91) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I C (会話)	ラッセル, S. J.	経営 A 1 年	2

(P.92) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I C (会話)	ピアス, D. M.	経営 A 1 年	2

(P.93) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I C (会話)	ササキ, M.	経営 A 1 年	2

(P.93) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I C (会話)	レイン, R. V.	経営 A 1 年	2

(P.94) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II A [再クラス]	佐藤明子 さとうあきこ	全学科 3・4 年	2

講義のねらい

リーディング・リスニング問題を中心に英語の運用能力を高めることを目標とします。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストは、内容読解やリスニングの問題も入った総合テキストです。1 回の授業で、1 章程度進む予定です。

履修上の留意点

授業ではなるべく多くの学生を指名します。毎回予習を十分にしてくることを望みます。

成績評価の方法

前期・後期試験、平常点、出席状況を総合的に評価します。(ただし出席が3分の1に満たない場合は「不合格」とします)

教科書

『*Real Life in Britain* (イギリスを感じてみよう)』(三修社) 1,850 円 (税別)

参考書等

辞書を持ってきて下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	うつのみや ひでかず 宇都宮 秀和	全学科3・4年	2

講義のねらい

再クラスを受け持って受ける印象は次のようなものである。1) 学力はあるのに、出席日数が不足して単位が取れない場合。2) 基礎的なことを理解しないままに、ズルズルやって来た場合。

前者の場合、理由はいろいろあるだろうが、多くの場合、自分の生活を律することが出来なくて、なんとかなるだろう位の気持ちで学生生活を送っているような印象を受ける。しかし、セルフ・コントロールが出来なくては社会生活を送ることが出来ない。

後者の場合、納得しないまま、なんとかなるだろう、あとで分かるようになるだろう、の気持ちがあるように思われる。

いずれにしても、「基本」をしっかりとやること。生活においても、勉強においても。

成績評価の方法

成績は平常点。出席は2/3以上。

教科書

テキストはプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	おかざき としちろう 岡崎 寿一郎	全学科3・4年	2

講義のねらい

語学は、「外国語の学習で、母国語の限界を越える」(言語相対論)、また、「子供は、6才で基本的な文法力を、10才まで基本的な抽象能力を、大学の二・三年生で高度な抽象能力を獲得する」(言語発達史)の確認といえます。授業では、文の五型・冠詞と前置詞(日本語の文法概念にはない)の理解を徹底し、英語のラディカルな運用能力を目指します。

履修上の留意点

テキストの内容のトータルで正確な理解を目指すので、必ず予習をしてください。

成績評価の方法

平常評価としての出席(50%)、前期試験に代わる夏季レポート(25%)、後期試験(25%)の総合評価とします。

教科書

高山宏編注『古代世界を探る』(金星堂) 1,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	かわまた ようたろう 川股 陽太郎	全学科3・4年	2

講義のねらい

IAを基礎として英語の運用能力を高める。

講義の内容・授業スケジュール

ヒヤリング、スピーキング、ライティングのより高度な運用能力練習をする。

履修上の留意点

3分の2以上出席し、授業に参加すること。

成績評価の方法

平常評価。出席、発表、小テスト等を総合し評価する。

教科書

教科書は未定。プリント教材を適宜配布、VHS、DVD等も使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	岡崎 寿一郎 <small>わか さき としいちろう</small>	全学科3・4年	2

講義のねらい

語学は、「外国語の学習で、母国語の限界を越える」(言語相対論)、また、「子供は、6才で基本的な文法力を、10才まで基本的な抽象能力を、大学の二・三年生で高度な抽象能力を獲得する」(言語発達史)の確認といえます。授業では、文の五型・冠詞と前置詞(日本語の文法概念にはない)の理解を徹底し、英語のラディカルな運用能力を目指します。

履修上の留意点

テキストの内容のトータルで正確な理解を目指すので、必ず予習をしてください。

成績評価の方法

平常評価としての出席(50%)、前期試験に代わる夏季レポート(25%)、後期試験(25%)の総合評価とします。

教科書

教養課程英語研究編『精説高等英文法』(文化書房博文社)1,400円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	井伊 順彦 <small>い い のぶ ひこ</small>	全学科3・4年	2

講義のねらい

言葉の4機能である「読む」、「書く」、「聞く」、「話す」のうち、前の3つに重点を置いて、英語の実用能力を高めることをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

カセットテープを多用して、かなりの量の聞き取りや書き取りをおこなう。また、単語の並びかえとかたちで英作文能力の向上もめざす。

履修上の留意点

以上のような授業形態であるため、毎回なんらかのかたちで指名される諸君は半数以上になる。4年生に対しても、出席し、なおかつ活動することが大前提であると警告しておく。

成績評価の方法

授業中の活動状況、数回の小テスト、出席数を組み合わせて評価するが、詳細は教室で。

教科書

The Signs of the Times: America and Japan (日米カレント・トピックス)(朝日出版社)1,650円+税

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	ピアス, D. M.	全学科3・4年	2

講義のねらい

Please join this class together with your friends, or make new friends in class! During most of the class period you will be talking to each other in groups. Concentration will be upon communication rather than simple expressions. Students will improve their conversational ability by expressing opinions on topics of their own interest. You will not be learning any more English; all you have to do is to start using what you already know. Students will be free to make their own groups and carry out discussions and make presentations. By the end of the course you should be able to speak enough English to travel in foreign countries, talk with foreigners, and communicate about all the usual things in everyday life. Our textbook will guide you through everything. You will learn all the conversation patterns for everyday situations such as buying things, getting information, making reservations. The course also aims at helping you to find good employment in the future, and so we will concentrate on TOEFL, EIKEN, AND TOEIC. There will also be a lot of intensive practice in English composition, which you can practice together in groups. It's a lot of fun!

履修上の留意点

Attendance and active participation are most important, because improvement in English speaking depends on the amount of practice. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter-grade less than what the student would otherwise have received.

成績評価の方法

Apart from the two final-semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

Your final grade depends 70% on your class performance, in every class. I will keep a record of your participation in every single class meeting. This is a course for English conversation; one can improve speaking ability, similarly to playing piano, only by constant practice. This is true no matter how advanced the student may be. Therefore, attendance is extremely important, and the examinations have minor effect on the final grade. Finally! Everyone in the class is equally able to get an "A" in the class, because the final grade does not depend on the final examination. Even if a student cannot speak English at all, he/she has as much a chance as the other students to get an "A", because his final grade depends on his effort and his improvement in comparison to his initial ability.

教科書

We will probably use *American Sociology*, Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English-Japanese dictionary or a battery-powered dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	前期: 田中靖子 後期: 矢島直子	全学科3・4年	2

講義のねらい

大学1年で得た英語力をもとにして、英語を書く力をさらにつけてもらいたいと思います。センテンスを書くだけでなく、パラグラフを書くことを目指します。

履修上の留意点

教室でどんどん当てますから、予習をしてくること。英語の文章を自分なりに書いた上で、授業に臨んで下さい。

成績評価の方法

ふだん当てた時の英語力、出席状況、前期末・後期末試験の結果を総合的に評価します。

教科書

教場で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	おがさわら りゅう げん 小笠原 隆 元	全学科3・4年	2

講義のねらい	英語学習歴が8～10年にもなる受講生の実力、意志伝達・運用能力の向上をめざしたい。日、英両語で自信を持って発言出来るように努めてほしい。
履修上の留意点	授業初回時に英語力実力考査を実施するので必ず辞書持参の事。さらに関連諸資料、提出物を配布するので、受講者は必ず出席する事。
成績評価の方法	単位認定は各人各様の事情もあろうが試験・出席点・提出物・授業への参加度等々の総合的評価で行う。
教科書	テキストはまず次のものを購入されたい。 『英語自己表現の基礎レッスン』（松柏社）1,600円＋税 ◎他詳細は教場で順次示すので留意。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	こうちやま あり き 河内山 有 佐	全学科3・4年	2

講義のねらい	スピーキング、プレゼンテーション能力を育てる。
講義の内容・授業スケジュール	プレゼンテーション (Show & Tell) 教科書におけるダイアローグの応用表現 ディスカッション
履修上の留意点	なし
成績評価の方法	出席、プレゼンテーション重視
教科書	EVERYBODY'S TALKING (マクラミン) 1,748円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	おお ふち とし はる 大 瀨 利 春	全学科3・4年	2

講義のねらい	英語ⅠAで学んだことを基礎として、英語による意志伝達能力の向上を目指す。
履修上の留意点	予習をしっかりと行い、辞書を必ず持参するようにして下さい。
成績評価の方法	平常点50%、前・後期試験50%で評価します。平常点は出席率、発表の内容、授業態度などから総合的に評価します。
教科書	Both Sides Now (成美堂) 1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	山岸二郎 <small>やまがし じろう</small>	全学科3・4年	2

講義のねらい

カタログによれば本書は総合に区分されている。が、Exercisesもあり、これを利用して、英文を書くことに力点を置く。

こゝ十余年、ソ連邦の崩壊もあり東ヨーロッパは苦難の道を辿っている。西ヨーロッパもこれと直接又は間接的に係りながら、EUという大経済圏を目指して、努力を続けている。この現実を通観し、理解を深めると共に新しいヨーロッパの実状に触れたい。

成績評価の方法

出席を重視する。平常の学習、課題、テストなど総合的に評価する。

教科書

John H. Randle・辻 昌弘『*This is Europe* (新しいヨーロッパ)』(成美堂)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ C (会話)	ササキ, M.	経営A2・3・4年	2

(P.99) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ C (会話)	ラッセル, S. J.	経営A2・3・4年	2

(P.99) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ C (会話)	レイン, R. V.	経営A2・3・4年	2

(P.100) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ C (会話)	ロビン, G. F.	経営A2・3・4年	2

(P.100) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ C (会話)	ノーラン, D. J.	経営A2・3・4年	2

(P.100) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ C (会話)	ハバード, W. D.	経営A2・3・4年	2

(P.101) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡC(会話)	ロンゴ, T.	経営A2・3・4年	2

(P.101) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡC(会話)	ヘラー, P. S.	経営A2・3・4年	2

(P.102) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅢA	小布施 圭佐三 <small>おぶせ けいさぞう</small>	経営A3・4年	2

(P.103) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅢA	佐藤 孝一 <small>さとう こういち</small>	経営A3・4年	2

(P.103) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅢA	甲斐 捷子 <small>かい かつこ</small>	経営A3・4年	2

(P.104) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅢA	広川 治 <small>ひろかわ おさむ</small>	経営A3・4年	2

(P.104) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅢA	山口 晃 <small>やまぐち あきら</small>	経営A3年	2

(P.104) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅢA	伊藤 美代子 <small>いとう みよこ</small>	経営A3年	2

(P.105) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅢA	お太 たち みちこ 太田美智子	経営A3・4年	2

(P.105) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅢA	よし え まさ お 吉江正雄	経営A3・4年	2

(P.105) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅢA	てる やま ゆう ひこ 照山雄彦	経営A3・4年	2

(P.106) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅢA	おち あい かず あき 落合和昭	経営A3・4年	2

(P.106) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅢA	たか はし ひろし 高橋 寛	経営A3・4年	2

(P.106) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅢA	たん じ ひろ まさ 丹治弘昌	経営A3・4年	2

(P.107) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅢA	い とう こう いち 伊藤 幸一	経営A3・4年	2

(P.107) 参照

〔ドイツ語〕

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A 〔再クラス〕	柴野 博子 <small>しば の ひろこ</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

この授業は、初級文法の最も基本的な事柄のみを重点的に教え、ドイツ語の大枠がつかめるようにすることを目標にしています。

履修上の留意点

ドイツ語の勉強には、特に初級では、一步一步積み重ねて行くことが非常に大切です。従ってできるだけ休まずに出席することを希望します。

成績評価の方法

試験は、年に3回行います。この3回の試験と、平常の学習態度を総合して、成績評価を行います。

教科書

大岩信太郎『ドイツ文法のかなめ（新装版）』（三修社）1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A 〔再クラス〕	松岡 晋 <small>まつ おか すずむ</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

下に記した教科書を用いて一年間でドイツ語の初等文法を復習します。

講義の内容・授業スケジュール

ドイツ語の文字、発音規則の説明から始めて徐々に積み重ね、一年後には簡単なドイツ語の文章を読めるレベルに到達できれば、と考えております。授業では文法規則の説明が中心になりますが、それ以外に短文の和訳練習を行います。

履修上の留意点

再履修する羽目になった理由は、たいていの場合、出席不足です。今年こそ規則的に出席してください。さほど難しくない教科書をゆっくり進めますので。

成績評価の方法

成績評価は、最低二回以上おこなう筆記試験の結果および平常点（出席率、授業に取り組む姿勢など）によっておこないます。したがって、試験結果もさることながら、定期的出席、授業中の熱意なども重視します。

教科書

長谷川つとむほか著『らくらくドイツ文法』（三修社）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A 〔再クラス〕	織田 繁美 <small>おだ しげみ</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

文法というと無味乾燥という印象が思い浮かぶかも知れない。そのため授業に出たくないという気持から、遅刻し、休みがちになるのかも知れない。最初の4~5回、夏休み後の2~3回、この弱い気持を封じ込めて授業に出席し、授業初めの説明30~40分静かに耳を傾け、その後の演習では自分に当てはまらなくても、2~3題は解いてみるという前向きな気持で授業に臨むようにすれば、授業も後半に入る頃には、ドイツ語のしっかりした基礎が身についていくのが実感できることと思う。

履修上の留意点

授業初めの説明は殊に大切なので遅刻しないこと。一回一回の授業内容が有機的な積み重ねになるので欠席しないこと。

成績評価の方法

演習で正解に達すると、その都度、出席簿にチェックされ、これが平常点として加味され、成績評価にかなりのウェイトが置かれる。これに前・後期末のテスト結果が成績評価に加わる。

教科書

高橋行徳著『わかり易いドイツ文法』（芸林書房）1,300円

参考書等

プリントを併用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A 〔再クラス〕	もも ずみ いさむ 百 済 勇	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

1991年以来、ベルリン・ドイツ経済研究所の客員研究員をしているが、そこではドイツ人以外の外国の学生、院生も実習生として研修している。そこで共通していることは、学習、研究の目的意識が明確であること、さらに外国語修得が優れていることだ。これまで習った蓄積を基礎にして、応用問題にその重点を置く。毎回、何等かの形で試験をして、それを採点する。その平常点を重視、その結果期末試験は行わない。

講義の内容・授業スケジュール

毎回テキストに沿って、章ごとに進む。そして毎回小テストを行う。次の時間にそれを採点して返す。

履修上の留意点

この受講生は、成績よりも単に出席していなかったが故に単位を落としたのが殊勝な理由であろう。それ故に、毎回出席がまずその前提である。連絡を密にするために、メールを使用する。

成績評価の方法

毎回、小テスト、それ採点を採点して返すという繰り返しである。それ故に、平常点はその基本となる。期末試験は行わない。

教科書

「わかって楽しいドイツ語」：在間進、三修社、2,200円

参考書等

初年度で使用したドイツ語辞書、教科書を持参のこと。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A 〔再クラス〕	い がらし のぶ こ 五十嵐 信 子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

ドイツ語の基礎的な文法を理解し、これを身につけます。一年間で一通りの文法をマスターし、ドイツ語の文章を辞書をひきながら読むことができるようになります。そのことにより、ドイツ語圏のさまざまな文化現象への関心、理解がふかまり、一そう広い視野を獲得することができます。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) くり返しテープを聞き、また声に出して言うことで、ドイツ語の正しい発音を身につけます。
- 2) ドイツ文法の基本を理解し、文法の各項目の例文、練習問題を読み解くことでしっかり覚えこみます。
- 3) やさしいドイツ語会話ができるようになります。

履修上の留意点

学生諸君にのぞむこと
新しい言葉を学ぶことは本来楽しいことです。しかし言語は、どの部分も欠くことのできな
い一つの建造物に似ています。柱一本抜けても傾いてしまう、それゆえこの時間は休まず出席
して下さい。

成績評価の方法

年2回の定期試験および時間内の小テスト、これに出席や授業への参加態度などを加えて評価します。

教科書

在間進・納谷昌宏・清野智明『明るく楽しくドイツ語を！』（改訂版）（三修社）1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B 〔再クラス〕	柴野博子 <small>しばのひろこ</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

この授業は、初級ドイツ語のごく基本的な事柄を習得することを目標にしています。

履修上の留意点

ドイツ語の学習は、一步一步積み重ねて行くことが非常に大切です。できるだけ休まずに出席して下さい。

成績評価の方法

試験は年に3回行います。この3回の試験と、平常の学習態度を総合して、成績評価を行います。

教科書

高木実・常木実『新初級ドイツ語読本』(郁文堂) 1,300円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B 〔再クラス〕	野島利彰 <small>のしまとしあき</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

簡単な文章を読みながらドイツ語を学びます。

講義の内容・
授業スケジュール

練習問題を毎回、提出宿題にします。文章の訳読は希望者に任せます。練習問題を解きながら授業を進めます。

履修上の留意点

宿題を提出することが大事です。

成績評価の方法

宿題を提出したか否か、出席が基準を満たしているか否か、と期末試験の成績で総合的に判断します。

教科書

在間/イエセル著『ヴェーラとヴェルナー』朝日出版 2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B 〔再クラス〕	松岡晋 <small>まつおかすすむ</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

あまり難しくないドイツ文を読み通すことによって、同時に、初等文法の復習も行おう、というのがこの授業の目指すところです。

講義の内容・
授業スケジュール

授業は下に掲げる教科書に即して行われます。各課は読章(1~2ページからなるドイツ語の文章)、文法説明および練習問題からなっています。文法説明は最小限度にとどめ、ドイツ文の読解に専念します。独和辞典を毎回、必ず持参してください。

履修上の留意点

再履修する羽目になった理由は、たいていの場合、出席不足です。今年こそ規則的に出席してください。さほど難しくない教科書をゆっくり進めますので。

成績評価の方法

成績評価は、最低限二回以上行われる筆記試験および平常点(出席率、担当箇所の和訳をきちんと行ったかどうか等々)によって行います。

教科書

諏訪功ほか著『文法読本——ヨーロッパとは何か(新訂版)』(郁文堂) 2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B 〔再クラス〕	すぎもと まさとし 杉本正俊	全学科2・3・4年	2

- 講義のねらい** 「再」クラスではあるが、学生がドイツ語を「全く知らない」事を前提に、発音と文法を初めからやり直し、その知識を基礎にドイツ語の文を読む練習をする。
- 講義の内容・授業スケジュール** 一年でいちおう初級文法のすべてを終え、それに対応したドイツ語の文を読むつもりです。
- 履修上の留意点** 学生諸君は、必ずしも予習は要求されない。しかし授業中は勉強に集中する。また、負担にならない程度の課題が時々出るが、きちんとこなして行けば力が付くと思う。学生の理解力に応じた授業を行うので修得すべき事項は何度でも反復説明します。
- 成績評価の方法** 前後期2回の大テストの他、随時小テストを行う。平常点もかなり重視する。
- 教科書** 河合節子・林良子・四ッ谷亮子著『はじめてのドイツー使えるドイツ語表現』(改訂版)(三修社)

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B 〔再クラス〕	ちも すみ いさむ 百 濟 勇	全学科2・3・4年	2

- 講義のねらい** 既に10年以上、ドイツで最も重要な研究機関、「ベルリン・ドイツ経済研究所」及び「キール世界経済研究所」の客員研究員を兼任している。そこで欧州の学部学生、院生及び研究者の語学研修を身近に見ている。それを駒澤大学の学生に伝授したい。
- 講義の内容・授業スケジュール** まず、明確に専門に目を向けること。それには語学の修得が前提となる。当然に数カ国語が必要だ。ここではドイツ語の履修だが、使えるドイツ語を目指す。それ故にドイツ語・英語会話を併存させる。毎回の出席が前提。
- 履修上の留意点** 語学研修は、反復の継続である。それ故に出席が、先ずは大切だ。毎回出席出来ない学生は履修しないこと。連絡を密にするために、メールを利用する。
- 成績評価の方法** 毎回の出席を前提にしているが故に、学期全体の評価は平常点とする。その結果として学期末試験は行わない。
- 教科書** ドイツ語・英語会話を中心にするが故に、その都度プリントで渡す。
- 参考書等** このクラスは、再履修故に、既に購入している「ドイツ語辞典」及び「ドイツ語文法書」持参のこと。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I C (会話)	まつ おか すずむ 松 岡 晋	経営A 2・3・4年	2

(P.110) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡA 〔再クラス〕	しばのひろこ 柴野博子	経営A3・4年	2

講義のねらい

この授業は、初級文法で習った事柄を復習しながら、ある程度まとまった、やさしい文章を読んでいきます。テキストは、はじめてドイツに留学した日本の大学生の(異文化との出会い)を扱ったものです。

履修上の留意点

ドイツ語の学習には、一步一步積み重ねて行くことが非常に大切です。従ってできるだけ休まずに出席して下さい。

成績評価の方法

試験は、年に3回行います。この3回の試験と、平常の学習態度を総合して、成績評価を行います。

教科書

岩崎英二郎・山路朝彦・Wolf Gewehr『留学生のみたドイツ』(朝日出版社) 1,748円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡA 〔再クラス〕	もとほしうきょう 本橋右京	経営A3・4年	2

講義のねらい

初級文法項目を確認しながら、比較的やさしいテキストを読むことで、読解力を高めてゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

ドイツ語のやさしい文章にできるだけ多く触れ、基本的な語彙や枠組みを習得していきます。その過程で、ドイツ語圏の社会や文化についても学びます。

毎時間CD-ROMを利用します。まずは、発音・数字・日常的な表現等から始め、徐々に基本的な語彙や表現、文法事項を確かなものにします。

履修上の留意点

みなさんの積極的な学習を希望します。

成績評価の方法

前期後期の試験や出席などで総合評価します。

教科書

Schlecht&三室 CD-ROMブック 『パソコンで学ぶドイツ語 ハロー、ヴィーゲーツ?』(三修社) 4,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡA 〔再クラス〕	すぎもとまさとし 杉本正俊	経営A3・4年	2

講義のねらい

発音と初級文法を初めからやり直し、その知識を土台にして、やさしいドイツ語の文を読む練習をする。

講義の内容・授業スケジュール

一年間でいちおう初級文法の必要知識をすべて与え、それに応じたドイツ語の文を読むつもりです。学生の理解力に応じた授業を行うので、難解な事項は何度でも反復説明します。

履修上の留意点

学生の皆さんには、必ずしも予習は要求しません。しかし授業中は勉強に集中して下さい。また、時々負担にならない程度のやさしい課題を出しますが、きちんとこなして行けば力が付くと思います。

成績評価の方法

前後期2回の大テストの他、随時小テストを行い、平常点もかなり重視する。

教科書

小塩節『ドイツこころの旅』(朝日出版社)

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡC(会話)	野島としあき のしま としあき	経営A2年	2

(P.111) 参照

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅢA	織田しげみ おだ しげみ	経営A4年	2

(P.111) 参照

[フランス語]

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I A 〔再クラス〕	菅谷 暁 <small>すが や さとる</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

フランス語の初級文法を学習します。

履修上の留意点

文法の習得は特に一步一步の積み重ねが大事なので、休まずに出席すること、継続的な努力を望みます。

成績評価の方法

前期末と後期末の試験、および小テストによります。

教科書

山村他著『ジュタンブラス』（朝日出版社）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I A 〔再クラス〕	荻原 眷 <small>あし はら けん</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

1年かけて、仏語のやさしい文章（おもに会話の多い文章）が読めて（発音）、その内容が理解（読解力）できるようにします。読解力をつけるためには、文法の知識を身につけることがどうしても必要です。文法は読解力に非常に役立つ道具です。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、文法を土台にして、仏語の読み方、辞書の上手な引き方を覚えます。後期は、前期の作業を発展させて、できるだけ多くの仏文を読めるようにします。

履修上の留意点

教科書と同時に辞書を持参して下さい。

成績評価の方法

毎回小テストか辞書を使う和訳のテストをします。それに、期末の総合テスト。ときどきレポート。

教科書

『キャロット』

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I A 〔再クラス〕	小玉 齊 夫 <small>こ たま なり お</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

フランス語の規則を、しっかりと覚えていきます。辞書を活用し、読み方を確実にして、簡単なフランス語文を読み解けるようになることが目標です。

講義の内容・授業スケジュール

一回の授業で、一課を学習する、という速度で、進んでいきます。各課終了時に、まとめとしての小テストを行い、より確実な記憶・学習をめざします。

履修上の留意点

特別な事情がないかぎり、毎回必ず出席すること。知識の確認を、授業のたびごとに、行うこと。

成績評価の方法

上記の小テストならびに前期・後期の試験によって、判定します。

教科書

小畑・寺家村 著 『快速フランス語』（駿河台出版社）1,600円

参考書等

辞書については、初めの授業時に、説明します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I A 〔再クラス〕	はせがわ みつあき 長谷川 光明	全学科2・3・4年	2

講義のねらい	フランス語の初級文法を一通り習得することがこの授業の目標です。
講義の内容・授業スケジュール	下記の教科書に従って、各文法事項を解説したのち、その場で練習問題に取り組んでもらいます。練習問題の答案提出によって出欠をとります。試験は前期と後期二回行います。
履修上の留意点	フランス語にまず慣れ親しむために、出席者は口答問題、筆答問題に積極的に取り組んでもらいます。辞書は必ず毎回持参してください。
成績評価の方法	前期後期試験及び平常点。
教科書	稲田晴年『納得できるフランス文法』（第三書房）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I B 〔再クラス〕	たけだ まさずみ 竹田 正純	全学科2・3・4年	2

講義のねらい	フランス語の音を大切に、基礎的な項目の修得を心掛けたい。
講義の内容・授業スケジュール	初歩的な読む・話す・書くが身につくよう反復練習を中心に授業を進めていく。
履修上の留意点	辞書を必ず持参すること。授業を休まないこと。
成績評価の方法	授業のなかで小テストをおこなう。その結果をベースに前後2度の試験で評価する。
教科書	内藤陽哉・玉田健二『フランス語へのパスポート』（白水社）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I B 〔再クラス〕	い 今 ぜき 関 ア ン	全学科2・3・4年	2

- 講義のねらい** 一年時に習得できなかった箇所を確実なものにし、フランス語検定4級程度の力を付ける。
- 講義の内容・授業スケジュール** テープの聞き取り、単語調べ、その場での会話訓練および訳読、練習問題など。
- 履修上の留意点** 単位習得の条件は4段階に分かれているが、いずれの条件も満たさない学生は理由の如何に関わらず、単位は出さない。出席とは漫然と教室に座っていることを意味しない。積極的に授業に参加しなければ、出席とは認めないから注意すること。
- 成績評価の方法** A) フランス語検定4級合格(6月11月実施：各自書店で申し込む。勉強方法は授業時間後に問い合わせること)
B) 『ふらんす夏休み学習号』(白水社)に添付された実力テストの点数+前・後期定期試験=200点以上
C) フランス語検定5級合格+『ふらんす語夏休み学習号』(白水社)に添付された実力テストの点数+後期定期試験=180点以上
D) 3/4以上の出席+夏休みの課題『ふらんす夏休み学習号』(白水社)の実力テスト+前・後期定期試験
- 教科書** 澤田直之『アミカルマン』(駿河台出版社)1,800円
- 参考書等** 仏和辞典：『ふらんす夏休み学習号』(白水社)(7月中に大学内紀伊國屋書店で購入)

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I B 〔再クラス〕	すが 菅 や ざとる 谷 暁	全学科2・3・4年	2

- 講義のねらい** 初歩のフランス語を、コミュニケーション能力の学習に力点を置いて勉強します。
- 履修上の留意点** 休まずに出席すること、継続的な努力を望みます。
- 成績評価の方法** 前期末と後期末の試験、および小テストによります。
- 教科書** 藤田著『彼女は食いしん坊!』(朝日出版社)2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I B 〔再クラス〕	い 伊 とう 藤 な お	全学科2・3・4年	2

- 講義のねらい** フランス語文法の基礎を学習しながら、平易な対話文を読むとともに、簡単な表現を用いて実際の運用ができるようになることを目指します。音としてのフランス語に馴染んでもらうため、聴き取り、発話を重視する授業を行ないます。
- 履修上の留意点** 多少なりともフランス語に触れたことがあるはずの皆さんのなかには、フランス語を聴き取ったり、音に出すことに困難を感じた人もいるでしょう。しかし何度も聴き、繰り返し発話していれば、その困難も解消されます。そのためには、積極的に授業に取り組み、ためらわずに発話練習に参加することが必須です。必ず初回から出席し、毎回与えられる課題をしてから授業に臨んで下さい。
- 成績評価の方法** 前期・後期の試験、および平常点によって判定します。
- 教科書** 藤田裕二『彼女は食いしん坊』(朝日出版社)

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I B 〔再クラス〕	谷川 かわ かおる	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

旅行で使うフランス語など、実用的なフランス語に親しみつつ、基礎的な文法を最初からゆっくりにやり直す。

講義の内容・授業スケジュール

文法事項の解説、練習問題、簡単な文章の暗記など。毎週授業の最後に、暗記のための小テストを行い、出欠をとる。

成績評価の方法

前期・後期の試験、小テストなど。

教科書

藤田裕二、『彼女は食いしん坊』（朝日出版社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I C (会話)	佐藤 とう くみこ	経営A 2年	2

(P.114) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 II A 〔再クラス〕	畑中 ちあき	経営A 3・4年	2

講義のねらい

フランス文化についての短い読み物を読み進めながら、同時に、話す力、書く力につながるように、文法を復習する。

履修上の留意点

出席重視。長時間にわたって、連絡もせず、また、理由なく休んだ場合は、単位を放棄したものと見なすので、注意すること。

成績評価の方法

成績はクラス内の小テスト、前期末、学年末テストなどから総合的に評価する。

教科書

澤田直之他著『アミカルマン——フランス語・フランス文化への誘い——』（改訂版）（駿河台出版社）2002年

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 II A 〔再クラス〕	沼倉 ひろこ	経営A 3・4年	2

講義のねらい

辞書を使いこなして、文章を読む力をつける。

講義の内容・授業スケジュール

文化、地理、スポーツなどを題材にフランスの現在を知る。

履修上の留意点

文法の説明など随時行うので、休まないことが肝要。

成績評価の方法

前後期とも試験を行うが、平常点も重視する。

教科書

クリスチャン・ボームルー著『セレクション・時事フランス語』（1997～2002）（朝日出版社）1,800円＋税

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡA 〔再クラス〕	<small>たに</small> 谷川 <small>かおる</small>	経営A3・4年	2

講義のねらい

簡単なフランス語を読みながら、文法を基礎からやり直す。

講義の内容・
授業スケジュール

文法事項の解説、練習問題、訳読など。毎週授業の最後に、暗記のための小テストを行い、出欠をとる。後期には、参加者と相談の上、より高度なフランス語の講読にもチャレンジしてもらう予定。

成績評価の方法

前期・後期試験および小テスト。

教科書

加藤晴久、一戸とおる『時事テーマで学ぶ初級フランス語読本』（朝日出版社）2,200円＋税

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡC（会話）	<small>くわ</small> 桑 <small>た</small> 田 <small>のり</small> 禮 <small>あき</small> 彰	経営A3・4年	2

(P.115) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅢA	<small>まえ</small> 前 <small>だ</small> 田 <small>のり</small> 祝 <small>かず</small> 一	経営A4年	2

(P.115) 参照

〔中国語〕

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I・I B 〔再クラス〕	こう りん ひで もと 江 林 英 基	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

授業は発音とピンイン表記を再学習後、各課の文法を解説しながら本文と会話の文型を説明し、学生諸君に順番に朗読させ、正しい発音と声調を求める。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは中国人が日常生活でよく使用する単語と簡単な文型を内容とするものであり、全20課、各課の本文のあとに基礎文法の解説と会話の例文を付してある。その内容も易から難へと自然な順序で配列されている。

成績評価の方法

小テスト、宿題、年2回の定期試験及び出席状況と学習態度を総合して判定する。

教科書

上野恵司『新版標準中国語 I』（白帝社）1,545円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	と ぼり よし かつ 戸 張 嘉 勝	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

中国語の発音と基礎的な文法（文型）・会話を修得する。

講義の内容・授業スケジュール

- ①中国語と日本語との異同を簡単に解説し、学習上の注意事項と学習要領を学ぶ。
- ②発音と声調の反復練習によって正確な発音を覚える。特に日本語にない発音や発音上の約束事を徹底して行なう。
- ③基礎的な文法（文型）や実用会話は教科書の展開に沿って行なう。

成績評価の方法

前後期の中間試験、期末試験、授業態度や発表などの平常点と出席率によって評価する。

教科書

劉郷英・嘉瀬達男・豊後宏記『中国語精選サラダ』（単語と基本文型）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	すぎ やま やすし 杉 山 静	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

本講義は初級中国語の修得を目的とする。中国語 I の履修に不十分な人の為に中国語の基礎的なものを与える。

講義の内容・授業スケジュール

最初の2~3週間は中国語の最も重要で基礎的なものである発音を重点的に授業をする。発音第一主義から、基礎句型、常用語句の授業に入る。同時に、簡単な文法、句法の解明をも行う。

履修上の留意点

中国語発音システムである「漢語拼音方案」の修得に力を注ぐべき。漢字の発音、読み方に留意し、日本漢字との異同を比較する。

成績評価の方法

出席を最重視するが、授業に臨む態度も真面目でなければならない。年間通じて四回の試験やテストがある。出席率とテストの成績を総合的に評価する。

教科書

杉山静編『中国語実験教材』（金安出版社）1,000円

参考書等

辞書は必要で、試験のときに使用を認める場合がある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	佐藤 普美子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

中国語の基礎になる発音、語彙、基本文法をしっかりと身につける。中国式ローマ字表記（ピンイン）を正確に読み、書けるようにする。

履修上の留意点

授業時は、耳、口はもちろん、手もフルに活用して言葉の整理定着をはかるので、気力及び体力がないと継続受講は難しくなるだろう。覚悟が必要。私語厳禁。

成績評価の方法

学期末テストも行うが、小テスト、平常点（出席、授業時の意欲）を重視する。

教科書

楊凱栄・張麗群『中国語への船出』（朝日出版社）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	天野 節	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

中国語に興味を持ち、独習していけるようなきっかけを作りたい。

講義の内容・授業スケジュール

新出語句の発音と意味の確認。文法の説明と練習後、会話文の発音と意味を確かめて練習する。

履修上の留意点

予習、復習、必ず授業に出席。

成績評価の方法

出席、授業態度、課題、テストで総合評価する。

教科書

榎本英雄『できる中国語』（同学社）1,700円

参考書等

授業の中で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	根岸 政子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

中国語の正しい発音と基本文法を習得する。

履修上の留意点

最初の3、4回は中国語の発音をきちんと確認しながら進むので、必ず出席すること。やさしい教科書なので、1回に1課のペースで進むが、学習したことが力になっているかを確認するために随時小テストを行う。

1時限の授業であるが、きちんと4分の3以上出席すること。

成績評価の方法

前期後期のテストおよび小テスト、出席状況などで評価する。

教科書

関根謙著『基礎固め中国語』（同学社）1,800円

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	さくらぼかずのり 櫻庭和典	全学科2・3・4年	2

講義のねらい	日常生活でよく使う表現を選び、実生活に役立つ基礎的な中国語会話の習得を目指す。
講義の内容・授業スケジュール	始めは、発音（四声）・ピンイン表記（中国式ローマ字）の習得に重きをおき、初歩的な語法にはいり、平易な文型を通して表現力を高める。中国語文の反復・応用練習・暗誦により基礎語学の向上を計る。
履修上の留意点	授業の開始までに、教科書・辞書を必ず購入すること。
成績評価の方法	平常評価（授業態度・出席日数）、小テスト、学期末テスト（前期、後期各一回）出席日数の足りない場合受験資格を失うため注意すること。欠席・遅刻は日数により減点する。
教科書	小川郁夫著『中国語初級対話 64』（白帝社）1,550 円
参考書等	辞書は当分必要ないが、必要になったら授業のなかで紹介する。
その他	授業中の私語は厳禁とする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	そうたいわ 曹泰和	全学科2・3・4年	2

講義のねらい	バラエティに富む楽しいテキストで、実際に役立つような会話文を習う。基礎的な発音、基本文法をゼロから学ぶ。
履修上の留意点	元気よく、積極的に授業に参加すること。
成績評価の方法	テスト、宿題、出席、学習態度で総合評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	りうん 李雲	全学科2・3・4年	2

講義のねらい	基礎文型と表現が織り込まれた会話を中心に授業を進める。日常生活に必要な会話力、文章力をさらに高めることを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	基本文型、会話文、練習問題の順で練習し、各課ごとに、書き取りの練習もする。
履修上の留意点	平常の練習が大切なので必ず出席すること。
成績評価の方法	筆記試験、書き取り・会話のでき具合と出席率などによって総合的に評価する。
教科書	丁秀山・坂井ひとみ『やさしい入門中国語』（金星堂）2,300 円
その他	内容的に結構量があるので、きちんと予習、復習のできる学生に受講してもらいたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	三田村 圭子 <small>みたむら けい こ</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

中国語の発音と文法の基礎を短い文例を学びながら、習得する。

講義の内容・
授業スケジュール

最初の2ヵ月は、「ピンイン」の表記と、発音を中心に進める。その後は、配布するプリントと練習問題で文法の基礎を固める。

履修上の留意点

前回の失敗を繰り返さないこと。宿題は毎回提出すること。

成績評価の方法

前期・後期テストと2回の中間テストを行う。また、5題ほどの小テストを6回行い、出席等と合わせて評価する。

教科書

相原茂『1年生のころ』（朝日出版社）2,500円

参考書等

第1回の授業時に。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	小川 隆 <small>おがわ たかし</small>	全学科2・3・4年	2

履修上の留意点

発音と文法の基礎をゼロから学び直す。1年生のとき、なぜ失敗したか、自分でその原因をしっかりと反省して授業にのぞむこと。やり直したからといってしょげる必要はないが、同じ失敗はくり返さないでほしい。授業ではまったくの基礎からていねいに学び直すので、やり直しの良い機会だと考えて、前向きに取りくんでもらいたい。

成績評価の方法

年間4～5回のテストと平常点。出席是最重視。必ず第1回の授業から出席すること。当たり前だが、遅刻・私語は厳禁。とくに卒業年次生は初回に指示を受けること。

教科書

楊凱栄・張麗群『中国語への船出』（朝日出版社）2,200円（CD付）

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	胡 玉華 <small>こ ぎよく か</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

学習者がすでに持っている貴重な中国語学習の経験を生かして、発音と文法の基礎を学び直す。また、語学の勉強を通して、異文化への理解及び関心を深める。

履修上の留意点

各学習者の事情に合った学習指導を行うため、以下の点を守ってほしい：①1回目の授業に必ず出席する；②その後の授業をやむを得ず欠席の場合、事前申請或いは事後報告が必要。

成績評価の方法

平常点（出席、宿題の状況によって採点）、小テスト、定期試験によって行う。

教科書

竹島金吾監修 尹景春・竹島毅著『新版 中国語はじめての一步』（白水社）2,200円

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	ひろかね 兼 かなこ 弘 兼 加奈子	全学科2・3・4年	2

講義の内容・
授業スケジュール

当初は、発音や基本的な文法の内容の確認を行なう。学生の理解度をみながら、ゆっくりと進めていく予定である。

履修上の留意点

中国語が嫌いな学生も、苦手意識を持たずに授業に参加してほしい。

成績評価の方法

成績は年間約4回のテストと教場での平常評価によって総合的に判断する。

教科書

佐藤晴彦・玄幸子『私だけの中国語テキスト』（光生館）2,600円（予価）

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	らん めい 蘭 明	全学科2・3・4年	2

講義の内容・
授業スケジュール

前期は最初の一か月において、ピンインを読めるように集中的練習をする。その後、簡単な会話の練習に進む。後期は、やさしい日常会話を中心におき、授業を展開する。

成績評価の方法

出席など授業姿勢に評価の重きを置く。前後期二回に分け試験を行う。

教科書

董燕・遠藤光暁『話す中国語』（北京篇1）（朝日出版社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I C（会話）	あきもと なすく 秋 元 翼	経営A1年	2

(P.120) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I C（会話）	いん けい しゆん 尹 景 春	経営A3・4年	2

(P.121) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA 〔再クラス〕	ひら いし よし こ 平 石 淑 子	全学科3・4年	2

講義のねらい

中国語の基礎を確認しながら、やや長い文章に慣れると同時に、それを通して現代の中国に対する知識を深める。

講義の内容・授業スケジュール

現代の中国事情に関する知識を深められるようなテキストを選び、発表形式で講読を進める。

履修上の留意点

①四分の三以上の出席を求める。②必ず予習・復習をすること。③授業には辞書を携帯すること。

成績評価の方法

小テスト、レポートなどを含む平常点、及び期末試験による。

教科書

磯部祐子・郭明輝著『中国語で中国を読む』（白帝社）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA 〔再クラス〕	り うん 李 雲	経営A3・4年	2

講義のねらい

基本文型と表現が織り込まれた会話を中心に授業を進める。日常生活に必要な会話力、文章力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

基本文型、会話文、練習問題の順で練習し、各課ごとに、書き取りの練習もする。

履修上の留意点

平常の練習が大切なので必ず出席すること。

成績評価の方法

筆記試験、書き取り・会話のでき具合と出席率などによって総合的に評価する。

教科書

山下輝彦『中国語でコミュニケーション』（金星堂）2,400円

その他

内容的に結構量があるので、きちんと予習、復習のできる学生に受講してもらいたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA 〔再クラス〕	あき もと たすく 秋 元 翼	全学科3・4年	2

講義の内容・授業スケジュール

日本語でもよく使われる9つの故事成語について書かれた教科書を使用する。文章は全文ペンインつきのやさしい中国語で書かれている。成語は中国の歴史に根ざしているので興味をそえられるであろう。

履修上の留意点

教科書には練習問題もあるので予習、復習をして授業に臨んでもらいたい。音読練習も重視したい。4分の3以上の出席を要する。

成績評価の方法

平常の学習態度、成果と各期末のテストで評価する。

教科書

荒屋勸、金佩華、橋本幸枝著『日本に生きる中国語－故事成語－』（朝日出版社）1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語Ⅱ A 〔再クラス〕	おおくぼ あき お 大久保 明 男	経営A 3・4年	2

講義のねらい	中国語の「聴く」「話す」「読む」「書く」、各方面のバランスのとれた表現力を身につけることを目指す。
履修上の留意点	積極的に授業に参加すること。毎回予習、復習すること。
成績評価の方法	(1) 出席：最も重視する。年間6回以上の欠席者は履修者と認めない。 (2) テスト：定期試験のほか、小テストを随時行う。 (3) 学習態度：遅刻、私語、回答回避などの消極姿勢はマイナス評価となる。以上による総合評価
教科書	尹景春・竹島毅『中国語さらなる一歩』(白水社) 2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語Ⅱ C (会話) 〔再クラス〕	さ とう ふ み こ 佐 藤 普美子	経営A 2年	2

(P.123) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語Ⅱ C (会話)	あま の せつ 天 野 節	経営A 2年	2

(P.123) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語Ⅲ A	あま の せつ 天 野 節	経営A 4年	2

(P.123) 参照

[スペイン語]

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語 I A・I B 〔再クラス〕	みや ち たつ ろう 宮 地 達 郎	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

文法解説をできるだけ容易に説明する。簡単な日常会話も織込み、興味を持続させる。

履修上の留意点

最低限の復習、それに対する質問が望ましい。

成績評価の方法

前・後期のテスト及び出席点。

教 科 書

宮本博司著『ようこそスペイン語の世界へ』（大学書林）

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語 I A・I B 〔再クラス〕	おお いわ いきお 大 岩 功	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

初級文法の基礎を概観し、スペイン語とその世界に対する理解を深めることをねらいとします。

講義の内容・ 授業スケジュール

文法事項の解説を演習をベースに、折りに触れて会話の練習なども行います。ビギナーが特につまづきやすいポイントを押さえながら授業を進めます。

履修上の留意点

予習するかしないかは一義的に学習者の自主性の問題ですが、なるべく予習をして授業に臨むよう心がけてください。予習して損をすることは絶対にありません。なお、授業には辞書を必ず持参してください。

成績評価の方法

数回のテストと日頃の出席状況、受講態度を総合して評価します。

教 科 書

寿里順平・大岩功『読む・書く・話すスペイン語』（教材マルコ社）
長文読解用の教材についてはプリントを適宜用意します。

参 考 書 等

辞書
有本紀明編『西和辞典』（白水社）4,500円
宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）4,000円
カルロス・ルビオ、上田博人編『研究社新スペイン語辞典』（研究社）4,860円
桑名一博編『西和中辞典』（小学館）6,120円
これらのうちどれか一冊を入手することが望ましい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	うえ の かつ ひろ 上 野 勝 広	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

スペイン語の基礎（発音、文法、語彙）を身につけ、その背景文化への理解と関心を深めてゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを用いて、前期は1課～6課まで、後期は7課～12課を解説します。同時に口頭および筆記の練習も行ないます。

履修上の留意点

少しでもスペイン語を身につけるには、ただ授業に出席するだけでは達成できません。集中して教師や録音CDのスペイン語を聴き、疲れるくらい口や手を動かしてレッスンに励みましょう。
また最低限の復習も欠かせません。

成績評価の方法

年間4回のテストの結果（70％）に平常点（30％）を合わせて評価します。

教科書

江澤照美『パソ ア パソ』（同学社）2,700円

参考書等

初回の授業で紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	さ とう ひろ こ 佐 藤 紘 子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

必要最低限の文法事項に一通り目を通し、コミュニケーションのためのスペイン語運用能力の基礎を習得する。

履修上の留意点

欠席すると授業についていけなくなるので、できるだけ欠席しないように心掛けてください。

成績評価の方法

毎回授業の始めに行う小テストの成績の集計と、後期試験の成績を合わせて評価する。

教科書

石崎優子、フェリサ・レイ『新版・スペイン語世界への窓』（芸林書房）

参考書等

最初の授業で指示する

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	おぎ の めぐみ 荻 野 恵	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

下記テキストを使用し、単身赴任中の父親が暮らすバルセロナにサッカー留学をする太郎君のストーリーを通じて、接続法・現在までの文法事項を整理しながら学習すると共に、日常の会話表現やリスニングにも慣れていくことをめざす。

講義の内容・授業スケジュール

前期はテキストの第1課から第7課、後期は第8課から第12課まで進む予定である。又、各課の理解度に応じ、適宜プリントを配布する。

履修上の留意点

毎回、必ず予復習を心掛け、積極的な姿勢で授業に臨んでもらいたい。

成績評価の方法

出席状況、年4回のテスト、課題提出等を総合して評価する。

教科書

小池・上野『スペイン語を学びましょう』（朝日出版社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	おぎのまさじ 荻野雅司	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

スペイン語を通して、スペインのみならず、日本では、ともすると遠く、縁のうすいと思われがちな中南米の文化にも親しむ機会を持つことを狙いとする。

講義の内容・授業スケジュール

過去に学んだ事を今一度根本から見直して、スペイン語の基礎を習得する。

成績評価の方法

原則として年2回正規のテストを行うが、総合的な成績の評価に当たっては、良くて悪くてもテストの結果のみによってこれを行わない。むしろ、日頃の出席状況と受講態度を同じくらいに重視して評価する。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	さとうまりの 佐藤麻里乃	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

文法の初歩を習得し、スペイン語の特徴を理解する。

履修上の留意点

初回の授業で述べる注意事項を守ること。

成績評価の方法

出席率、授業態度、課題の出来具合により評価する。

教科書

寺崎英樹著『スペイン語文法のシステム』（同学社）

参考書等

『プログレッシブスペイン語辞典』（小学館）
『新スペイン語辞典』（研究社）など

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅠC(会話)	ルイズティノコ, C.	経営A1年	2

(P.126) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語Ⅱ A 〔再クラス〕	福本 久美子 <small>ふくもと くみこ</small>	経営A3・4年	2

講義のねらい

基礎文法を一通り終えることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

始業時に、「授業方針」のプリントを配布する。

履修上の留意点

初心に戻り、やる気を持って授業を受けていただきたい。始業時は必ず出席して欲しい。

成績評価の方法

前・後期テストと、授業時の小テストの合計に拠る。

教科書

西川喬『新スペイン語ゼミナール』（第三書房）

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語Ⅱ A 〔再クラス〕	大岩 功 <small>おおいわ いさお</small>	経営A3・4年	2

講義のねらい

スペイン語Ⅰで学習した内容を踏まえ、文法の理解をさらに深めるとともに、スペイン語で書かれた文章に親しむことをめざします。

講義の内容・
授業スケジュール

初めはスペイン語Ⅰで学習した文法項目を復習し、その後、さらに新しい項目を学習していきます。まとまった長さの文章を読むための教材も適宜使用します。

履修上の留意点

予習することによって授業の学習効果は何倍にも増幅されます。学生諸君はぜひ予習をしっかりやって授業に参加してください。なお、授業には必ず辞書を持参すること。

成績評価の方法

出席状況と年数回のテストの得点、および授業に臨む姿勢などを考慮して総合的に評価します。

教科書

寿里順平・大岩功『読む・書く・話すスペイン語』（教材マルコ社）
長文読解用の教材についてはプリントを適宜用意します。

参考書等

辞書
有本紀明編『西和辞典』（白水社）4,500円
宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）4,000円
カルロス・ルビオ、上田博人編『研究社新スペイン語辞典』（研究社）4,860円
桑名一博編『西和中辞典』（小学館）6,120円
これらのうちどれか一冊を入手することが望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡB	佐藤 綾子 <small>さとう ひろこ</small>	経営A3・4年	2

講義のねらい

スペイン語Ⅰで学習した基礎文法を復習した後、直説法未来、現在完了、過去、未来完了、過去完了更に接続法の用法を学習し、より複雑な構文が理解できるように指導する。

履修上の留意点

欠席すると授業についていけなくなるので、できるだけ欠席しないように心掛けてください。

成績評価の方法

毎回授業の始めに行う小テストの成績の集計と、後期試験の成績を合わせて評価する。

教科書

西川喬『新スペイン語ゼミナール』（第三書房）

参考書等

最初の授業で指示する

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡC(会話)	真下 祐一 <small>ましも ゆういち</small>	経営A2年	2

(P.127) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅢA	真下 祐一 <small>ましも ゆういち</small>	経営A4年	2

(P.128) 参照

〔ロシア語〕

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語 I A・I B 〔再クラス〕	ひろ た ひで やす 廣 田 英 靖	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つ型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

4、5、6月でかんたんな単語や文章を復習しながら発音やイントネーションの型を学びます。やさしい語尾変化に馴れるようにし、7月頃から平易な文章を声を出して読めるようにします。9月には6、7月頃に学んだ初歩の文法のまとめをします。10月頃からより複雑な文章を声を出して読み、内容を把握するように努めます。毎回授業の始めには楽しいクイズをしてできるだけロシア語に馴れてもらうようにします。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。
平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書

『21世紀のロシア語』（大学書林）定価未定

参考書等

『露和辞典』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語 I A・I B 〔再クラス〕	さ の あさ こ 佐 野 朝 子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

発音、イントネーション、会話を学び、同時にやさしいテキストを読んでいきます。
会話クラスにありがちな簡単な日常会話以外のことはいっさいわからない、という結果にならぬよう努力するつもりです。

履修上の留意点

予習はまずいらないと思いますが、ロシア語の発音、イントネーションを少しでも多く耳にするよう、できるだけ授業には出席して下さい。

成績評価の方法

平常点を重視します。

教科書

絵や図がたくさん入っているロシアで出版された教科書を使って授業をすすめますが、手に取りにくい教科書ですので、コピーを用意します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語 I A・I B 〔再クラス〕	木村英明 きむら ひであき	全学科2・3・4年	2

講義のねらい	発音、イントネーション、会話を学び、同時にやさしいテキストを読んでいきます。 会話クラスににありがちな簡単な日常会話以外のことはいっさいわからない、という結果にならぬよう努力するつもりです。
履修上の留意点	予習はまずいらないと思いますが、ロシア語の発音、イントネーションを少しでも多く耳にするよう、できるだけ授業には出席して下さい。
成績評価の方法	平常点を重視します。
教科書	絵や図がたくさん入っているロシアで出版された教科書を使って授業をすすめますが、手に入りにくい教科書ですので、コピーを用意します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語 I A・I B 〔再クラス〕	安徳ニーナ あん とく にーな	全学科2・3・4年	2

講義のねらい	基本的な文法、発音、読み、書き、が出来る事を目標とする。
講義の内容・ 授業スケジュール	教科書に基づいて講義を進める。
履修上の留意点	要点の復習は必ずしてほしい。
成績評価の方法	講義の中で時々行う練習問題を主として学習態度を参考にする。
教科書	桑野隆『はじめてのロシア語』(白水社)
参考書等	必要に応じてその都度資料を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語 I C (会話)	佐野朝子 さの あさこ	経営A1年	2

(P.131) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅡA 〔再クラス〕	クロチコフ, Y.	経営A3・4年	2

講義のねらい

以前に学習した発音、文法、会話の復習。
講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。
ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

成績評価の方法

平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。

教科書

プリント配布。

参考書等

ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅡA 〔再クラス〕	クロチコフ, Y.	経営A3・4年	2

講義のねらい

以前に学習した発音、文法、会話の復習。
講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。
ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

成績評価の方法

平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。

教科書

プリント配布。

参考書等

ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅡA 〔再クラス〕	あん とく 安 徳 ニーナ	経営A3・4年	2

講義のねらい

一般的な文法、発音、読み、書き、ができる事を目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書に基づいて講義を進める。

履修上の留意点

要点の復習は必ずしてほしい。

成績評価の方法

講義の中で時々行う練習問題を主として学習態度を参考にする。

教科書

桑野隆『はじめてのロシア語』（白水社）

参考書等

必要に応じてその都度資料を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅡC(会話)	クロチコフ, Y.	経営A2年	2

(P.132) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅢA	クロチコフ, Y.	経営A4年	2

(P.132) 参照

外国語

〔選択科目〕

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
時 事 英 語 研 究	たけむら えっこ 竹 村 恵都子	経営A1・2・3・4選	4

講義のねらい

今後の情報化時代に伴い、世界の動きに目を向け、国際社会の実状を的確に把握する必要があります。本授業では、基礎的な英語力を土台に、英文ニュースを学びます。新聞に使用される英語表現は、斬新な語句やイディオム、字句の省略など様々な特徴があります。日頃から内外の英字新聞を読むよう心掛けて下さい。十全な予習を望みます。

成績評価の方法

評価は前期・後期の試験を主とし、平常点（授業態度・発表も含む）、出席率及びレポートなどを総合的に判断し評価します。

教 科 書

馬場彰・佐藤和哉『*Current English - 2002/2003 Edition*（時事英語 - 2002/2003年度版）』（成美堂）1,700円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
時 事 英 語 研 究	はやし あきと 林 明 人	経営A1・2・3・4選	4

講義のねらい

CNN, Herald Tribune 紙などから集めたニュース英語によく使用される語をキーとした短文をたくさん読むことにより、そのキーワードの意味、および使い方をおぼえることを目的とします。そのほかに実際に英字新聞を読みます。

尚、履修希望者が70名を越えた場合は、4月の第1回目の授業で抽選となります。

成績評価の方法

試験、レポート、出席の総合評価です。

教 科 書

教員が作成したものを用います。

参 考 書 等

Sanseido's Dictionary of News English（三省堂）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
時 事 英 語 研 究	かわ うち けん りゆう 河 内 賢 隆	経営A1・2・3・4選	4

講義のねらい

本テキストは最新の新聞の論説やコラムを集めたものである。イギリス系のものが多いので、表現は少し堅いかも知れない。語法がしっかりしているので、きちんとした英語の力をつけるには恰好のテキストである。諸君と共に地味に学んでいきたい。「教えることは学ぶことである」

成績評価の方法

どの程度の学生が集まるかわからないが演習形式で授業をすゝめたい。出席点と発表点を重視する。それに二回の定期テストの結果を加えて評価する。真面目な態度ならば、少し位結果が悪くとも良い評価を下す。

教 科 書

『時事英語 2002/2003』（成美堂）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マルチ・メディア	おち 落 あい 合 かず 和 あき 昭	経営A1・2・3・4選	2

講義のねらい

このクラスにタイトルを付けるとすると、「日常会話から映画の英語へ」とでもなるだろう。このクラスのレベルは英語の中級（英検準二級、二級、準一級）程度とする。自然な日常会話文や映画の台詞を通して、英語圏の日常生活で、頻繁に、使用される現代口語英語表現を学びながら、英語の運用能力を高めることを第一目標とする。また、各種の実用検定試験（英検、TOEIC、TOEFL等）の受験準備にも役立つようにする。さらに、時間が許す限り、アメリカやカナダの作家、都市、国立公園等に関するビデオを鑑賞し、ヒヤリングの向上、文化や自然の多様性を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

一回の講義は、主として、三段階からなる。第一段階として、日常会話文や映画を通して、英語の自然なスピードに慣れ、ヒヤリングを向上させる。第二段階は、その会話文や映画の中で、使用されている表現の意味や用法を、文字を通して、確認する。第三段階は、学生に登場人物になってもらって、会話文や台詞（せりふ）を再現しながら、会話練習をする。授業は徹底的した演習形式を取り、学生の予習を前提にして、進める。

履修上の留意点

このクラスの受講を希望する学生は、最初の授業の時に、担当者の許可を得なければならない。教場は40名しか入れないLL教場を使用するので、40名以上の履修希望者がいた場合は、最初の授業の時に、抽選をする。そのため、最初の授業に出席しない学生はこのクラスを受講できない可能性がある。

成績評価の方法

定期試験が全評価の40%（ヒヤリングが20%、会話英作文が20%）、課題・授業中の発表・小テスト等が60%（課題は年間約10回程度提出。授業中の発表等に関しては、一回の授業に、全員が最低一回は当てるようにする）。出席率が三分の二を越えなければ、成績は「不可」とする。

教科書

- 1) 『口語英語の基本的総合演習』（鶴見書店）1,442円
- 2) 『Idioms』（オックスフォード大学出版局）2,200円
- 3) 『グッド・ウィル・ハンティング』（松柏社）1,900円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マルチ・メディア	おお ぼ なお き 大 庭 直 樹	全学科1・2・3・4選	2

講義の内容・
授業スケジュール

このクラスの第一の課題は、Office2002を使いこなすことである。Office2002はWord（ワープロ）、Excel（表計算）、PowerPoint（プレゼンテーション）、Schedule+（スケジュール管理）を中心としたアプリケーションである。Wordと電子辞書を使いながら、論文、公式文書、ビジネス文、手紙、英文等の書き方を訓練する。また、このソフトが持つ機能、アウトライン・プロセッサ、テンプレートを「思考の道具」として利用するノウハウをを体得する。更に、Excelでの表、グラフ、データベースの作成、また、図形、画像、デザイン文字の作成を学び、それらをリンクさせた複合文書を作成する訓練をする。

第二の課題は、インターネット（マルチメディア）の世界を探索することである。インターネットという広大な情報空間を探検し、各分野ごとに有用なサイトを紹介していく。ネット・サーフィンで大切なことは、必要な情報探索ができるようになることである。したがって、このクラスでは、受講生が様々なサーチ・エンジンを使って、学術ネットワークの情報検索のための基本的なテクニックを身につけることに重点を置く。

第三の課題は、データベース・ソフト「ファイルメーカー」を使いこなすことである。このソフトは、カード型のデータベースをつくることを目的とし、受講生は各自の研究、文献・資料整理等、それぞれの必要に合った「メモ・カード」の作り方を学び、またその有効的な使い方を身につける。

第四の課題は、ホームページの基本的な概念を理解し、受講生全員が「ホームページ・ビルダー2001」を使って、自分のホームページを作成する。出来上がったホームページは、インターネット上に流すことになる。

後期からは、受講生一人一人にプレゼンテーションをしてもらう。発表内容は、コンピュータ、インターネットについてならば何でもよるしい。発表は、コンピュータ・インターネットについての知識、情報の交換を目的とする。受講生は、前期から発表のプロジェクトを決めて、入念に発表の準備をしてほしい。

履修上の留意点

受講生は、一年間の課題をこなせば、コンピュータを活用した知的な活動において、相当なレベルに達するたするはずである。従って、このクラスを受講するには、年間を通じて毎週クラスに出席することが条件である。

成績評価の方法

試験、定期試験なるものは行わない。受講生には、サーバーの自分のフォルダに、一年間に20程度のファイルを提出してもらう。インターネットで各自が検索する情報もすべて、サーバーの自分のフォルダに入れてもらう。成績は、各学生が一年間にフォルダにセーブされたファイルの成果をもって評価する。

そ の 他

受講者は、教室以外、各自の必要度にあわせて総合情報センターの自習室（朝9時より夜9時まで開館）で補修すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マルチ・メディア	まち だ なお こ 町 田 尚 子	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

インターネット上のマスメディアの英語理解の上達を考えている人たちのためのコースです。

講義の内容・
授業スケジュール

4-203教場のPCで、英語新聞のウェブサイト上のオンライン記事・論説・特集等を選んで速読し、Wordで要約、さらに自分の見解をまとめ、電子メール・添付ファイルで提出し、添削指導を受けます。担当者とのメールは英文で行い、英文メール作成をマスターします。受講者のPC習熟度にあわせて、個別指導から始める予定です。

履修上の留意点

本学でのPC講習を受講し、KOMAnetのUserIDとPasswordを取得済みであることが前提となります。授業時間内に完結しないときは、自習室あるいは自宅で完成させて送信します。受講人数は30名程度に限定します。4月第一回授業時間にアンケートを実施しますので、必ず出席してください。

成績評価の方法

毎授業の要約と作成メールの成績で評価します。

教 科 書

教場で指示します。

英 会 話 Ⅱ

〈英会話Ⅱの授業内容と履修上の留意点〉

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話Ⅰのレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。関心のあるトピックを話したり、議論できることを目指した大学中級レベルの英語会話の授業です。達成目標の目安は英検準1級合格、TOEFLのスコア480点、TOEICのスコア700点程度。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

外
国
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 Ⅱ	ジトウィッツ, P. D.	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

To build upon the skills mastered in English 1 by giving students intensive practice in listening, reading, writing and speaking.
To help students learn techniques for increasing their vocabulary and their reading skills.
To help prepare students who are interested in advanced English study for my advanced or study abroad.

講義の内容・授業スケジュール

Students will participate in debates, prepare speeches and practice scenes from plays and films.

成績評価の方法

Students are expected to attend at least 80% of all classes and to positively participate in class.

教 科 書

The Spirit of Broadway, The Spirit of America—An Introduction to the Broadway Musical by Philip Zitowitz, Eihosha, 2000.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 Ⅱ	プラスキー, J. C.	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

The goal of this course is for students to begin expressing themselves beyond the basic level of proficiency about everyday topics with which they are familiar.

講義の内容・授業スケジュール

Grammar and vocabulary will be incorporated into communicative speaking activities, i.e., pair discussions with other students. Emphasis will be placed on student-to-student exchange of information and negotiation of meaning of means of questions. These activities will be supplemented with pronunciation, intonation, stress and rhythm exercises and listening practice.

履修上の留意点

Homework will be used in place of a textbook and therefore will be an essential part of preparation for each class.

成績評価の方法

Assessment will be determined by a combination of class participation (50%), homework (30%) and a final oral test (20%) given during the last class meeting.

教 科 書

None.

科目名	担当者名	配当学科	単位
英会話Ⅱ	ピアス, D. M.	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

The English intensive seminar is full-year course condensed into six days. Registration is voluntary, for students who are specially eager to improve English conversation ability. With these two properties in mind, the program is designed to provide incessant speaking practice in every period of the six days. By the end of the intensive practice, it will be much easier for students to speak in English. Practice will be on three levels: ordinary simple expressions, intelligent conversation, and academic topics. Lecture practice will concentrate on topics from American sociology. Concentrated listening comprehension will also be divided specifically into the same three levels. Most of the class time will be devoted to conversation practice between students in groups of two, three or four, according to the practice pattern. Audio-visual work, making use of a few short films, will be used for comprehension and composition practice in the final period of each day.

履修上の留意点

Attendance and active participation are most important, because improvement in English speaking depends on the amount of practice. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter-grade less than what the student would otherwise have received.

成績評価の方法

Apart from the two final-semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

Your final grade depends 70% on your class performance, in every class. I will keep a record of your participation in every single class meeting. This is a course for English conversation; one can improve speaking ability, similarly to playing piano, only by constant practice. This is true no matter how advanced the student may be. Therefore, attendance is extremely important, and the examinations have minor effect on the final grade. Finally! Everyone in the class is equally able to get an "A" in the class, because the final grade does not depend on the final examination. Even if a student cannot speak English at all, he/she has as much a chance as the other students to get an "A", because his final grade depends on his effort and his improvement in comparison to his initial ability.

教科書

We will probably use *American Sociology*, Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English-Japanese dictionary or a battery-powered dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

授業日程

前半							後半						
	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4	5	6
8月1日	金	○	○	○	○	○	8月20日	水					
8月4日	月	○	○	○	○	○	8月21日	木					
8月5日	火	○	○	○	○	○	8月22日	金					
8月6日	水	○	○	○	○	○	8月25日	月					
8月7日	木	○	○	○	○	○	8月26日	火					
8月8日	金	○	○	○	○	○	8月27日	水					

英 会 話 Ⅲ

〈英会話Ⅲの授業内容と履修上の留意点〉

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話Ⅱのレベルを習得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。自分の専門分野のトピックを発表し、論じられる表現力を目指した大学上級レベルの英語会話の授業です。達成目標は英検1級合格、TOEFLのスコア500点以上、TOEICのスコア900点程度。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

外
国
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 Ⅲ	ウェルズ, J. K.	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

Welcome to my class! This is not a class to be shy. It is a chance to speak openly.
Students must have taken English conv. II to be a member of the class. A short interview will be given the first day of class. If you speak well already, please join the class and get better attendance is important!
I'm waiting to meet you and to improve your English. . .

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 Ⅲ	ウェイド, D. A.	全学科2・3・4選	2

講義の内容・ 授業スケジュール

開講時指示する。

成績評価の方法

会話の少人数クラスの授業だけに、平常点と出席点を重視する（受け身の授業ではなく積極的な参加を望む）。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 (夏期集中) III	レーン, C. M.	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

There are two important aims of this course. First, and most important, is to help students develop their English conversation skills and to learn to express their opinions spontaneously on a number of topics with confidence. However, as the majority of misunderstandings between different nationalities stem, not only from language difficulties, but also from cultural ones, the second aim is to promote knowledge and awareness of the cultural heritages of other countries.

講義の内容・授業スケジュール

This is a highly intensive class concentrated within six days. During that period a number of different themes will be covered. These will range from simple personal issues, current trends and cultural issues to deeper more involved international problems. Included within the course will be research projects where in the students will be expected to collect information and present it to the class. Individual presentations will also be required.

履修上の留意点

This course offers students an opportunity to express their ideas on a variety of everyday matters. However, as this course is based on fluency and discussion, it is not recommended for students who want to concentrate on grammar skills, or for students who are unwilling to participate fully in pair work, role plays or group activities.

成績評価の方法

Evaluation
 25% attendance
 25% presentations
 50% participation and contribution to discussions.

参 考 書 等

Reference Books Dictionary

そ の 他

Method of Teaching. Each lesson will have a central theme. A short explanatory lecture will introduce the topic and then students will be invited through pair work or group discussions to express their opinions. Depending on the interest generated by the topic within the groups, students will be encouraged to produce short presentations, role plays and situational conversations. All classes will be conducted entirely in English.

授業日程

前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
8月1日 金	○	○	○	○	○		8月20日 水						
8月4日 月	○	○	○	○	○		8月21日 木						
8月5日 火	○	○	○	○	○		8月22日 金						
8月6日 水	○	○	○	○	○		8月25日 月						
8月7日 木	○	○	○	○	○		8月26日 火						
8月8日 金	○	○	○	○	○		8月27日 水						

英 語 L L II

〈英語 LL II の授業内容と履修上の留意点〉

中級：LL I 程度の基礎訓練を修得していることを前提とします。テープ教材またはビデオ教材を用いて、ニュース等の時事問題、やや専門的なテーマの英語スピーチ等の聴解力を集中的に訓練します。また、英語で要約・説明できる表現力を修得します。英検準 1 級合格、TOEFL のスコア 480 点、TOEIC のスコア 700 点程度をめざします。各担当者の講義内容 (syllabus) をよく読み、時間表で曜日・時間を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L II	おお た まさ こ 太 田 雅 子	全学科 2・3・4 選	2

講義のねらい

90 分の授業の前半は、テキストを用いて英語の難しい音のききとりを徹底的に学習する。そして後半は、映画の中の英語をききとれるように練習を重ねる。又、その中の表現を応用して、英語での自己表現力を養成する。

履修上の留意点

全授業回数の 3 分の 1 以上欠席した者には単位を認定しない。その他履修上の注意点は、第一回目の授業で指示するので、必ず出席すること。

成績評価の方法

毎回小テスト、年に 2 回ほど総テストを実施。

教 科 書

プリント教材。
テキストは未定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L II	にし むら ゆう こ 西 村 祐 子	全学科 2・3・4 選	2

講義のねらい

基本的な会話と英語表現を学んだレベル I を終了した学生もしくはそれと同程度の英語力がある学生のためのクラス。レベル II ではナチュラルスピードで話されるさまざまなストーリーのビデオを見ながら、さらに込み入った日常表現を修得していく。授業はすべて英語でおこない、質問もすべて英語でおこなう。学生同士の英語での話し合いなどもとりいれ、インターアクティブに授業をすすめる。到達目標は TOEIC 700 程度。難易度が高いので学生によっては受講を制限することがある。

成績評価の方法

ほとんど毎回英語でのサマリーをおこなう短い課題が与えられ、電子メールでの課題提出があり、電子メールでの課題提出の頻度とその内容によって成績評価がなされる。定期試験はおこなわない。

教 科 書

テキスト：Headway *pre-intermediate* (Oxford Univ. Press.)
使用ビデオ：Headway *elementary*、および *pre-intermediate*、その他。(いずれも本学 LL 事務室に備え付けのものなので、予習、復習用に借り出して活用してほしい。)

そ の 他

学生への要望：学生は全員電子メールアドレスを修得しておいてほしい。
電子メールアドレスは商業プロヴァイダーのものを持ちてさしつかえないが、大学の電子メールアドレスの取得はコンピュータ教場の使用の際にも必要なので、かならず事前におこなっておくのがぞましい。なお、携帯電話の電子メールは長文英語の課題提出が不可能であり、返信に困難をきたすこともあるため、原則として本授業用には使用しないこと。はじめの授業からききとり力をつけるためにテープ録音をするので、カセットテープ (90 分程度) をもってくること。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 L L II	まち だ なお こ 町 田 尚 子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

初級程度のLL授業履修済み、または未履修の場合、英検2級程度の英語力のある学生を対象に、TOEIC, TOEFLのテストに備えた聴解力と表現力の上達を目指すコースです。

講義の内容・
授業スケジュール

4, 5月: ビデオテープを用い、TOEICの基本的な練習問題による復習。
6月と7月第1週: TOEICスコア700程度を目指した聞き取り練習(添削指導)。
7月第2・3週: TOEICリスニング模擬テスト。
9, 10月: TOEFLのテスト用練習問題の添削指導。
11, 12月: パラフレイズ、含意、文脈による英文理解と表現力の向上。
最終授業日: テスト

履修上の留意点

Emailで連絡・添削等をするので、自習室(KOMAnet)あるいは自宅のメールアドレスがあること。事前登録30名の選に漏れ、受講を断念する希望者のためにも、固い意思で続けることができることを確信して、登録することを望みます。

成績評価の方法

毎授業のテストと最終テストで評価点を出します。

教 科 書

LL事務室備付けの教材 *Basic Skills and Strategies*、*English Master Box (1) (2)*、*Cambridge Preparations for the TOEFL Test* 等を使用します。

参 考 書 等

教場で指示します。

英 語 L L Ⅲ

〈英語 LL Ⅲの授業内容と履修上の留意点〉

上級：LLⅡを修得、またはそれと同等以上のレベルであることを前提とします。英語圏の大学の教養／専門科目等の授業が聞き取れ、演習で議論できる程度の英語の表現力を養成します。英検1級、TOEFLのスコア500点以上、TOEICのスコア900点程度を目指した訓練コースです。各担当者の講義内容(syllabus)をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L Ⅲ	岸 本 茂 和 <small>きし もと しげ かず</small>	全学科2・3・4選	2

履修上の留意点

英和辞典は必携。

成績評価の方法

前授業日数の3分の1以上欠席の場合は不可とする。授業の性質上筆記試験を実施するかどうかは未定。

教 科 書

開講時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L Ⅲ	久 保 ひ さ 子 <small>く ぼ ひ さ こ</small>	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

natives の lecture が聞きとれることをねらいとする。

講義の内容・
授業スケジュール

workbook になっている text を、聞きとり、書きとり、録音、再生、反復練習する。前期と後期、各々 announcement を各一回、dedate を各一回、参加すること。

履修上の留意点

LL class は、本来、laboratory による practical training のため、欠席しないようお願い致します。

成績評価の方法

期末試験 50%、
実習授業 50%

教 科 書

Michigan Action English Step 6 (World Times Japan)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L II	にしむらゆうこ 西村祐子	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

基本的な表現をつかっても「話すこと」からはじめたLL Iのレベルに対して、レベルIIでは日常的なテーマを掘り下げ、より高度な表現をききとることをめざした。レベルIIIは一層高度な、それを利用して会話の表現力を増していくことをめざしている。授業はすべて英語でおこなわれ、質問も英語でのみ受けつける。ほとんど毎回英語でのプレゼンテーションが要求され、それにもとづいた教員との応答によって授業がすすめられる。LLレベルIIを終了し、英検一級程度（TOEIC 900程度）をめざす学生用なので、このレベルにみえない学生はレベルIIを受講することをすすめる。

成績評価の方法

ほとんど毎回英語での短い課題が与えられ、プレゼンテーションを中心とした会話コースとなる。定期試験はおこなわない。

教科書

特に指定しない。

その他

学生への要望：聞き取り練習用にテープ録音をするので、カセットテープ（90分程度）をもってこること。
 使用カセットテープ：Open University Program シリーズ（LL 事務室備え付け）。
 使用ビデオ：Mapping the Landscape（ジェムコ出版、LL 事務室備え付け）その他オープンユニヴァーシティシリーズを適宜使用。

[ドイツ語]

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事ドイツ語	野島利彰 <small>のじま とし あき</small>	経営A3・4選	4

講義のねらい

ドイツでは環境政党である「緑の党」が政権に参加し、環境問題と自然保護、そして動物保護に積極的に取り組んでいます。環境問題先進国であるドイツの状況を知り、日本を考えます。

講義の内容・授業スケジュール

フランクフルター・アルゲマイネ新聞を中心とし、ドイツ・オーストリアの有力紙からの記事を読みます。

履修上の留意点

予習しやすいよう、授業終了の少し前に次回分の時事用語および文法事項の説明をします。訳読は希望者に任せます。

成績評価の方法

成績評価は授業に対する貢献度によります。

教科書

教材には記事のコピーを配布します。

参考書等

日本の新聞で環境問題・動物保護についてよく読むことが、ドイツの記事を理解する早道です。

科目名	担当者名	配当学科	単位
上級ドイツ語	栗原万修 <small>くり はら かず のぶ</small>	経営A3・4選	2

講義のねらい

上級ドイツ語クラスは、3、4年生を対象にしたクラスです。1、2年次で習得した語学力をのばし、さらに内容を文法的にも正確に読みとり、より高度なドイツ語が身につくようにするのがねらいです。継続的に1年間つづければ、かなり力がつくはずですので、欠席しないでつづけてください。1年間が終わって、受講してよかったと思えるような内容にしたいと思います。

成績評価の方法

成績評価は、試験ではなく、平常の勉強経過を中心に総合的に判断します。

教科書

テキストは特定せず、受講者の語学力に合わせ、また受講者の希望も聞きながら、最適と思われるものをその都度、コピーして配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語LLI	小林ゲアリンデ <small>こはやし</small>	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

ドイツ語の基礎的な知識を履修するとともにドイツおよびドイツ語を国語とするオーストリア、スイスの国情について知識を身につけることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

日常的な状況でのドイツ語を話し、理解することに重点をおく。そのため発音練習やパートナー練習を数多く取り入れる。基本的な文法の習得と並んでドイツ語を読む楽しみにも触れたい。適宜宿題を課す。

教科書

テキストは教室で配布する。

その他

ビデオ、カセットを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 LL II	^{こばやし} 小林ゲアリンデ	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

ドイツ語を1年(LLまたは他のドイツ語科目)で学んだ学生を対象とする。ドイツ語を話し、理解する能力をさらに伸ばし、ドイツ語圏諸国についての知識を拡げることが目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

話す力、とくに正しい発音を習得する。ややこみ入った状況での会話、中級テキストを読む練習をする。

教科書

Themen I neu

その他

ビデオを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 I A (選)	^{くり} 栗原 ^{ほら} 万 ^{かず} 修 ^{のぶ}	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

ドイツ語履修では、I Aは文法です。このクラスもドイツ語の文法を最初からやります。でもこのクラスは選択なので、1科目だけしか履修しない人もおりますから、できるだけいねいに、わかりやすく説明します。ただし、初習の外国語は継続的に続けないと習得できませんので、出席を重視します。

成績評価の方法

成績評価は、テストのほか、平常の授業中の学習意欲、さらに出欠なども考慮しながら総合的に判断します。

教科書

大岩『快速ドイツ文法 (14課)』(朝日出版社) 2,100円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 I B (選)	^お 織田 ^だ 繁 ^{しげ} 美 ^み	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

これからドイツ語を修得し、将来はドイツ人と話せる位まで上達したい、或は高度な本を読めるようになりたい、でも、自分には無理だろうと諦めるのが殆どの場合かも知れないが、ドイツ語の世界に踏み込む最初の精神的ハードルを飛び越え、自分独りでその世界にどんどん突き進んでいく気構えさえあれば、今の時代は居ながらにして、大きな金銭的負担もなく実現できるようになっている。この授業では、諸君の前に立ちはだかるこの精神的なハードルが飛び越えられる一つの力強い機縁になるような方向に授業を進めたい。授業ではテキストの外に、プリント、カセットテープを併用し、多角的な面から勉強目標にアプローチをしていきたいと思う。

履修上の留意点

授業を2~3回も引き続き休むと、自分では気付かなくても語感が鈍り、他の学生に遅れを取ったという焦りが出るので、遅刻したり、欠席しないこと。

成績評価の方法

授業では一人に1~2行位いを辞書を見ながら訳してもらい、その都度出席簿にチェックされ、平常点として成績評価にかなりウエイトが置かれる。これに前、後期末のテスト結果が評価に加味される。

教科書

Stufen 1 (Klett社) 3,580円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 Ⅱ (選)	もも ずみ いさむ 百 濟 勇	全学科2・3・4選	2

外
国
語

講義のねらい

長い間、ドイツで最も重要なシンクタンクである「ベルリン・ドイツ経済研究所」及び「キール世界経済研究所」の客員研究員を兼任しているが、そこでの真摯な学部学生、院生、研究者の語学研修の素晴らしさを駒澤大学学生に伝授したい。

講義の内容・
授業スケジュール

短期大学生を含めて専門課程に視野を置きながらの語学研修を目指す必要がある。これまでの蓄積を生かし、さらに使えるドイツ語を目指す。それ故にドイツ語・英会話の併用を行う。毎回小テストを行う。

履修上の留意点

毎回の出席が前提だ。それ故に出席できない学生は、受講しないこと。連絡を密にするために、メールを使用する。

成績評価の方法

毎回、何等かの形でテストを行う。平常点で採点、期末試験は行わない。

教 科 書

会話中心故に、毎回教場でプリントを配布する。

参 考 書 等

既に1年次に購入している「ドイツ語辞書」及び「ドイツ語文法書」を毎回持参のこと。

[フランス語]

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事フランス語	とよ やま ひろ お 遠 山 博 雄	経営A 3・4選	4

講義のねらい

フランス（語圏）社会の状況や動きを、フランスのTVニュースをとおして垣間見ること。同時に新聞記事の読解。

講義の内容・授業スケジュール

TVニュースを聴き取ることは至難のわざですが、文字に書き落としたものを配布しますから、まずは（新聞記事とともに）読む練習から。1年の終わりには少しは聴き取れるようになって欲しいと思います。

履修上の留意点

必ず辞書を持って出席すること。解説を聞きに来るのではなく、自分で読み、発音し、できれば聴いてみるのが大切です。

成績評価の方法

1～2回の筆記試験を予定していますが、参加者の人数によっては口述方式に変更するかもしれません。あわせて出席状況や教室での学習ぶりも考慮します。

教科書

そのつどプリントを用意します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
上級フランス語	こ だま なり お 小 玉 齋 夫	経営A 3・4選	2

講義のねらい

「上級フランス語」クラスでは、フランス語検定試験に合格することをめざして、文法事項の再確認とともに、聞きとり、作文、ならびに会話についての実力を養うことを目指しています。さしあたっては4級および3級に受かるように、1、2年次の知識を復習し、視聴覚教材も用いて、可能なかぎり、総合的なフランス語能力を身につけるよう、勉強していく予定です。

講義の内容・授業スケジュール

下記の教科書を用いますが、他に、こちらで準備するプリント教材あるいはビデオ教材なども、使っていく予定です。前期は、主として、これまでの復習に、後期は、その展開という風に、段階を追って進んでいくつもりです。

履修上の留意点

出席するのが楽しい授業、でなくては、会話などに心を配る余裕が出てきません。つとめて、そのようにしたいと思いますので、「遊び心」も持って参加して下さい。フランス語の聞き取りは、「ある日、突然に」、それまで理解できなかった表現も、分かってくるものです。初めの「難しさ」にめげずに、突然訪れて来る「その日」をめざして、地道に練習を続けていく心構えがたいせつです。

成績評価の方法

随時提出する宿題や、年末の試験で評価しますが、仏検に合格することも目標なので、従って評価に含まれることにもなります。

教科書

カルトン・西 著 『資料で読み解くフランス語』（第三書房、1800円）

参考書等

『現代和仏小辞典』（白水社）。フランス語彙を増やすためにも、必要です。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 L L I	ら り あ ・ 三 倉 ・ M. ラリア・三倉、M.	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

フランス人講師や教材のフランス語を聞きながら、学生が簡単なフランス語で表現力を身につけることを学ぶ。

成績評価の方法

筆記試験はしない。授業の平常評価と簡単な口頭面接評価。

教科書

H. TAKAHASHI, S. GIUNTA 『P. P. P (ペーペーペー) Presenter Pratiqueur Produire』（第三書房）2,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 L L II	ラリア・三倉、M. <small>みくら</small>	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

フランス語の基礎学習の経験のある学生のためのクラスです。生徒は小さなグループにわかれ、フランス語会話をたくさんすることで発音、表現力の向上をめざします。尚、ビデオで現在のフランスの若者の生活パターンが多く紹介されているので、それに触れながら楽しく学習できます。

成績評価の方法

筆記試験はしない。授業の平常評価と口頭面接評価。

教科書

MONNERIE 著 *BIENVENUE EN FRANCE TOME 1* (Didier HATIER)
上記の教材をコピーして学生に与えますので、学生は、格別に教科書を買う必要がありません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I A (選)	井田清子 <small>い だ きよ こ</small>	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

フランス語の初級文法を中心に基本的知識をマスターできるように学習します。文法事項のみにかたよらず、フランスの大学生の日常生活やパリをはじめ代表的な地方都市を話題とした読本としても楽しめます。文章体と会話体とを同時に身につけましょう。

講義の内容・授業スケジュール

フランス人の日常生活が身近に感じられるよう、文章と会話を生きたフランス語として習得します。

履修上の留意点

辞書をひく手間を惜まず、自分で面白さを味わってください。

成績評価の方法

前期・後期の試験を中心に、通常点も加味します。

教科書

小倉孝誠、小倉和子著『エメ・ヴ・ラ・フランス?』(第三書房)

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I B (選)	長谷川光明 <small>は せ が わ み つ あ き</small>	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

実用的な会話文を通じてフランス語の基礎を学習します。

講義の内容・授業スケジュール

下記の教科書に従って、各文法事項を解説したのち、視聴覚教材を用いながら、その場で練習問題に取り組んでもらいます。練習問題の答案提出によって出欠をとります。試験は前期と後期二回行います。

履修上の留意点

フランス語にまず音からなじんでいくために、授業中はテープに従ってなるべく大きな声で発声することが望まれます。教科書付属のCDを習慣的に聴くことも必要です。辞書は必ず持参してください。

成績評価の方法

前期後期試験及び平常点。

教科書

モーリス・ジャケ他『カンピュス』(朝日出版社) 2,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 Ⅱ (選)	くわ た のり あき 桑 田 禮 彰	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

フランス語中級。

講義の内容・
授業スケジュール

発音・文法についてもしっかり確認しながら、フランス語のテキストを丁寧に読んでいきます。

履修上の留意点

最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法

ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教 科 書

テキストは授業開始時に受講者と相談の上、決定します。

参 考 書 等

そのつど授業で指示します。

〔中国語〕

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事中国語	しお した しんいちろう 塩 旗 伸一郎	経営A3・4選	4

外国語

講義のねらい

インターネットで中国の各サイトを訪れ、速読(初見)と精読の2種のアプローチにより様々な文体を読み解く力を養う。併せて中国語入力や検索の体験学習も行う。

講義の内容・授業スケジュール

見出しとリード中心の速読は、初見とはいえ画面上で自動的にピンインのルビがつくので、その場で声に出して読むことができる。精読は、文の構造を捕える練習が眼目となる。

履修上の留意点

精読部分は予習が必要である。

成績評価の方法

平常点。

教科書

ネット上で採取。

参考書等

辞書は中日大辞典(大修館書店)、中日辞典(講談社 or 小学館)、中国語辞典(白水社)を推奨する。これらよりはるかに薄いものや、中日・日中を一冊で兼ねる安直な辞書は役に立たない。

その他

教場は総合情報センター。

科目名	担当者名	配当学科	単位
上級中国語	かま や おさむ 釜 屋 修	経営A3・4選	2

講義のねらい

今年度は長文解釈力の向上を目標とし、短篇小说、ショート・ショート、随筆等を取りあげる。

講義の内容・授業スケジュール

受講者が分担して、朗読・翻訳を行い、現代中国の社会、人間の生きざま等についての理解を深める。

履修上の留意点

きちんと出席し、予習をすること、積極的に作品と向きあって考えること。

成績評価の方法

読解能力、発音と口頭表現の技術を重視する。出席状況、期末試験の成績とあわせ評価。

教科書

釜屋修・王廼珍『北京文学小景』(三修社)1,400円

参考書等

中辞典以上の辞典をもつことが望ましいが、開講後に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語LLI	さ とう ふみこ 佐 藤 普美子	経営A2・3・4選	2

講義のねらい

初級用のテープ教材を用い、会話と聴き取りの基礎訓練を行う。すでにIA-IBの単位を取得しているか、それと同程度の学習経験のある人を対象とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業では基礎的な文法・文型の徹底的な習得を旨とする。耳と口の反復練習を大量に行い、中国語の基礎を、文字でなく音で身につけてほしい。

履修上の留意点

予習は必要ないが、復習と自習は不可欠。教科書付録のCDを活用して、毎日、中国語を口に耳にしてほしい。

成績評価の方法

平常点(出席及び授業への参加意欲)を重視。

教科書

楊達他『音で覚える中国語会話特訓』(同学社)2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語 L L II	小川 隆 <small>おがわ たかし</small>	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

テープを使って、中級でいどの会話と聴き取りの練習をする。週1回、年20数回の授業では、練習量が絶対的に不足なので、授業のほかに毎日の音読と暗誦を課す。それさえ怠らないなら、現在の基礎学力に自信がない人でも、充分について行けると思う。

履修上の留意点

短期・長期の留学をめざす人は、この科目やその他の中国語選択科目をなるべく多く履修しておいてほしい（個別に学習の相談に応じます）。

成績評価の方法

出席および毎回の暗誦の成果をもとに平常点評価。

教科書

楊凱栄『表現する中国語』（白帝社）2,400円（CD付）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語 I A（選）	蘭 明 <small>らん めい</small>	全学科1・2・3・4選	2

講義の内容・授業スケジュール

前期は最初の一ヶ月（4回に分け）において、ピンインを読めるように集中的練習をする。その後、簡単な会話の練習に進む。後期は、やさしい日常会話を中心におき、授業を展開する。

成績評価の方法

出席など授業姿勢に評価の重きを置く。前後期二回に分け試験を行う。

教科書

董燕・遠藤光暁『話す中国語』（北京篇1）（朝日出版社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語 I B（選）	釜屋 修 <small>かま や おさむ</small>	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

発音の基礎、基本語法の習得をめざす。耳でしっかり聞き、大胆に発声、表現して現代中国語の楽しさを学んでもらう。

講義の内容・授業スケジュール

正確な発音の習得、発音表記であるピンインの修得を前期の目標とする。後期は学んだ発音のいっそうの向上をめざす。

履修上の留意点

I A（選）とあわせて受講することも可能であるが、この科目だけ選択した人は、週一回のみの学習となるので欠席のないようにしてほしい。

成績評価の方法

出席状況、日ごろの受講態度、平常点・小テスト・期末テスト等の成績を参考に総合的に判定する。

教科書

西川和男ほか『楽々中国語』CD付、（白帝社）2,400円

参考書等

開講後に説明する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語Ⅱ(選)	まつもと あつとし 松本 丁俊	全学科2・3・4選	2

講義の内容・
授業スケジュール

中国の文化、歴史、風俗習慣、社会生活等が理解できる内容で、「読む」、「書く」、「聞く」、「話す」中国語の力になる様な授業を行う。

成績評価の方法

前期と後期のテストを重点として、授業中の発音、訳し方、練習などをチェック、さらに出席点も加味する。

教科書

平井和子・干小薇『中国語の魅力』(好文出版) 2,000円

外国語

〔スペイン語〕

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事スペイン語	うえの かつひろ 上野勝広	経営A3・4選	4

講義のねらい

インターネットを通じて入手できる最新のニュース記事を中心に、生きのいいマスコミのスペイン語を講読します。
受講者が辞書を使いながら独力で内容を理解できるよう、時事文の特徴や表現法を体得してもらいます。

講義の内容・授業スケジュール

最初は短くわかりやすい記事からゆっくり丁寧に読みはじめます。慣れてきたら徐々にスピードを上げて、この種の文章に対して必要な多読速読ができるように進めてゆきます。

履修上の留意点

受講者は毎回指名され、記事の訳読や内容に関する質問を受けます。予習を怠らず出席することが重要です。

成績評価の方法

授業への参加態度を重視し、平常点で評価します。試験やレポートは課しません。

教科書

コンピュータおよびプリント使用。

科目名	担当者名	配当学科	単位
上級スペイン語	うえの かつひろ 上野勝広	経営A3・4選	2

講義のねらい

このクラスでは、スペイン語検定試験（3級・4級）に合格することを目標にします。既習の文法事項を随時復習しながら、聴解・会話・読解・作文の各技能を伸ばし、総合的なスペイン語力を身につけられるようレッスンを進めます。

講義の内容・授業スケジュール

作文については年間を通じ下記のテキストを用いて、1回の授業で10ページくらい進めます。読解はインターネットのオンライン教材およびプリント、聴解・会話はビデオ・CD等の視聴覚教材を利用してゆきます。

履修上の留意点

「継続こそ力なり」です。休まずさばらず目標に向かって頑張れる意欲に満ちた受講者を歓迎します。また授業の学習成果を最大限あげるために、何より集中力が大切です。

成績評価の方法

授業への参加態度を重視し、平常点で評価します。試験・レポートは課しません。

教科書

小池和良『スペイン語作文の方法・構文編』（第三書房）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語LLI	ナバロ, ホワンJ.	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

授業対象者：基礎スペイン語終了者
※スペイン語を勉強したことがない方はご遠慮下さい。
授業目的：ビデオ教材を使用し、音と映像を通じて実際のスペイン語会話に触れると同時に、スペインの習慣や情景を知り、スペイン語習得の上での基礎知識を増やして頂きたい。

教科書

Viaje al español
テキスト及びVTR教材

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 LL II	ナバロ, ホワン J.	全学科2・3・4選	2

- 講義のねらい** 授業対象者：中級スペイン語終了者
 ※スペイン語を勉強したことのない方及び初級程度の学力の方には困難、御遠慮頂きたい。
 授業目的：ビデオ教材を使用し、音と映像を通して上級スペイン語会話に接して頂く。
- 成績評価の方法** 『Viaje al español 上級編』
 テキスト及びビデオ教材

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I A (選)	なか がわ きよし 中 川 清	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい スペイン語の基本的知識・能力をもとに、スペイン語の書き言葉および話し言葉の両面にわたって理解し、表現する実力を養う。文法・語彙については網羅的ではなく、必要と思われるものを集中的に練習する。

- 講義の内容・授業スケジュール**
1. 母音の文字と発音・子音の文字と発音
 2. 名詞の性・冠詞（不定冠詞・定冠詞）・名詞の数・形容詞の語尾変化
 3. 動詞 SER・主語人称代名詞・疑問文
 4. 動詞 ESTAR・SER と ESTAR の相違点・HAY と ESTAR の相違点・指示詞・否定文
 5. 動詞 TENER・所有詞・TAMBIEN と TAMPOCO・数詞・時間についての副詞句
 6. 直説法現在の規則動詞（AR 動詞・ER 動詞・IR 動詞）・不定語
 7. 直説法現在の不規則動詞 1・TENER QUE と HAY QUE
 8. 直説法現在の不規則動詞 2・IRA + 不定詞・不定詞とともに用いられる動詞・SABER・CONOCER
 9. 直接目的の人称代名詞・間接目的の人称代名詞
 10. 直接目的と間接目的の人称代名詞についての規則・動詞 GUSTAR
 11. 前置詞の後ろに置かれる人称代名詞

履修上の留意点 定期試験-7月と1月-

教科書 石崎優子、フェリサ・レイ『スペイン語世界への窓』（芸林書房）

参考書等 『現代スペイン語辞典』（白水社）・『西和中辞典』（小学館）、
 『新スペイン語辞典』（研究社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I B (選)	かめ やま こう いち 亀 山 晃 一	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい 初級文法から始め、発音・アクセント・イントネーションを練習する。比較的簡単な例文を確実に習得することで会話の基礎を作り、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当たって役立つ、コミュニケーション能力の開発と養成を行う。背景文化や歴史にも触れ、関心を育てることにより、学習継続の為の動機付けとしたい。

履修上の留意点 決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法 数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教科書 開講時、指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語Ⅱ(選)	おぎのまさし 萩野雅司	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

スペイン語Ⅰで学習したものをさらに広く深く学ぶことで実際に使えるスペイン語を習得し、3億人といわれるヒスパニック圏の人々を行う *communication* の術を身に付けることを狙いとしています。

講義の内容・
授業スケジュール

上記の目的を達成するために、一方でスペイン語Ⅰで得た知識を今一度リフレッシュしながら、新しい領域に進んでいきます。この過程では教科書以外に、プリント、テープ、ビデオ等を通じて実際に使われている、生きたスペイン語にも接して行きます。

履修上の留意点

言葉の学習には継続が肝要ですから、年間を通じて、コンスタントに出席できる学生の受講を期待します。

成績評価の方法

成績の評価に当たっては、テストの成績よりも、むしろ日頃の受講態度を重視します。

教科書

佐藤玖美子著『新・何を話しましょうか』(芸林書房)

[ロシア語]

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事ロシア語	木村英明	経営A3・4選	4

講義のねらい

1991年のソ連邦崩壊以降、長く政治的、経済的に迷走を続けてきたロシア社会だが、この数年はプーチン政権下で一定の安定を取り戻しつつある。豊かな天然資源、人的資源に恵まれたロシアの国際政治に及ぼす影響力や、21世紀の文化創造に向けて秘めている潜在力は看過できない。この授業では、そんなロシアの動向にじかにロシア語で触れていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

ロシアの政治、経済、文化に関する平易な記事や論文を講読する予定だが、ビデオ等の映像教材も用いることにする。テキストは適宜プリントの形で配布する。

履修上の留意点

各自が、授業を通じて自分の問題意識と出会えるよう、アクティブな授業参加を望む。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価する。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
上級ロシア語	クロチコフ, Y.	経営A3・4選	2

講義のねらい

会話練習。
簡単な新聞、雑誌の記事、文学書を辞書を用いて講読します。
講読した内容について自由会話を行う。
ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

成績評価の方法

平常点で評価します。

教科書

教場にて指示します。プリント配布。
学生の要望も考慮してテキストを選びます。
ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語LLI	安徳ニーナ	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

ロシア語I、IIで学んだことを基に、日常会話からロシア文学への入門ができることを目標とします。
日常の話題等についても自由に会話が出来ようになることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

教科書にもとづいて会話形式に講義を進めます。

履修上の留意点

講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。

教科書

S. KHAVRONINA 著 RUSSIAN AS SPEAK IT (ナウカ社)

参考書等

必要に応じてその都度資料を配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 L L II	安徳 ニーナ <small>あん とく</small>	経営A 2・3・4選	2

講義のねらい

日常会話からロシア文学への入門、新聞、雑誌を読みこなせることを目標とします。また自由に会話ができるようになることをめざします。

講義の内容・授業スケジュール

資料にもとづいて会話形式に講義を進めます。

成績評価の方法

講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。

教科書

新聞、雑誌の記事など必要に応じてその都度資料を配布します。(学生の希望も考慮します。)

その他

講義の状況に応じビデオ等を使用し「現在のロシアとロシア語について」説明と話します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 I A (選)	クロチコフ, Y.	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボディー・ランゲージを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
- 6) 教科書を使用して、コミュニケーションに欠かせない基本的な日常会話を習得していきます。はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に慣れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業で各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員がやさしく指導してくれますので恥ずかしがらないことが大切です。

講義の内容・授業スケジュール

教科書を使用して、コミュニケーションに欠かせない基本的な日常会話を習得していきます。4、5、6月でかんたんな単語や文章を復習しながら発音やイントネーションの型を学びます。やさしい語尾変化に馴れるようにし、7月頃から平易な文章を声を出して読めるようにします。9月には6、7月頃に学んだ初歩の文法のまとめをします。10月頃からより複雑な文章を声を出して読み、内容を把握するように努めます。毎回授業の始めには楽しいクイズをしてできるだけロシア語に馴れてもらうようにします。

成績評価の方法

平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書

『21世紀のロシア語』(大学書林) 価格未定
ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 I B (選)	木村英明 きむら ひであき	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

日本の隣国ロシアはソ連崩壊後の長い混迷から抜け出し、21世紀の経済的、文化的飛躍の道をたどり始めています。ロシアの人々とじかにコミュニケーションできる機会、必要性は日本でも高まりつつあります。この授業では、言葉を通してロシアの習慣や文化にも触れていきたいと思えます。

講義の内容・授業スケジュール

この授業では、簡単な日常会話表現をもとにして、初歩の文法を速習します。音声面を重視して、できるだけコミュニケーションに役立つロシア語を学習します。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

教科書

桑野隆『エクスプレス・ロシア語』(白水社)をもとに、必要に応じて適宜プリントを配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 II (選)	安徳ニーナ あん とく にーな	経営A 2・3・4選	2

講義のねらい

ロシア語 I で学んだことを基に、ロシア文学を理解できることを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

教科書にもとづいて会話を主体的に講義を進めます。

履修上の留意点

講義で時々行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。

教科書

S. KHAVRONINA 著 RUSSIAN AS WE SPEAK IT (ナウカ社)

参考書等

必要に応じてその都度資料を配布します。

〔朝鮮語〕

科目名	担当者名	配当学科	単位
朝鮮語 I A (選)	宋 美 玲 <small>そん み りょん</small>	全学科1・2・3・4選	2
朝鮮語 I B (選)			

講義のねらい

同一の教員が同一の教科書をもって週2回の授業を行う。Aクラスは会話中心、Bクラスは文法中心という方針である。朝鮮語の文字と発音、語彙と文法の基礎を獲得し、朝鮮語を学び朝鮮語に触れることの楽しさを堪能することを目指す。同時に韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いも試みる。

講義の内容・授業スケジュール

文字と発音の基礎を学び、実用的な会話文を中心に基本的な文法および表現を学習する。基本的な学習の内容はA、Bクラス同様であるが、後期からはAクラスでは、口頭練習および聞き取りと書き取り、Bクラスでは、文法事項による作文や読解などに力を注いでいく。

履修上の留意点

最初の文字と発音に慣れていくまでがその後の進歩と楽しさを決定するので、4月、5月はとりわけ熱心に取り組んでほしい。

成績評価の方法

授業への参加度、学習態度、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。

教科書

野間秀樹著『至福の朝鮮語』（朝日出版社）2,900円

参考書等

野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』（ナツメ社）1,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
朝鮮語 II (選)	宋 美 玲 <small>そん み りょん</small>	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

初級における基本的な文法の内容をふまえ、日常生活での基礎会話が話せるようにする。また、韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いを試み、資料の読解及びビデオの鑑賞を通して、実践的な習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

初級のテキストをもって、基本的な文法及び表現に基づいた文型練習を行う。また、口頭練習を通して聞き取り及び書き取りの能力を、プリントの資料をもって読解の能力を強化していく。

履修上の留意点

テキストの復習・予習など、積極的な授業への参加が望ましい。

成績評価の方法

授業への参加度、学習態度、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。

教科書

- 1) 野間秀樹著『至福の朝鮮語』（朝日出版社）2,900円
- 2) 野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』（ナツメ社）1,000円

その他

書き取りと聞き取りの練習のため、ノートを必ず持参すること。
『暮らしの単語集 韓国語』で単語のテストを行う。

外
国
語

4 保健体育科目

保健体育科目の目標

本学の『保健体育科目』は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。

人間がひととして生きていくうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。本学の『保健体育科目』は、様々なスポーツ種目を通して展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを享受する能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。

さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要素であるパーソナリティーを共通の体験を通して得ることで、学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。

4. 保健体育科目

健康・スポーツ実習 (トレーニング)	〈光 永 吉 輝〉	215
健康・スポーツ実習 (サッカー)	〈秋 田 浩 一〉	216
健康・スポーツ実習 (ジョギング)	〈森 本 葵〉	217
健康・スポーツ実習 (体操・トランポリン)	〈竹 田 幸 夫〉	218
健康・スポーツ実習 (卓 球)	〈秋田浩一・竹田幸夫〉	219
健康・スポーツ実習 (室内球技)	〈磯 崎 優 子〉	220
健康・スポーツ実習 (テ ニ ス)	〈江 口 淳 一〉	221
健康・スポーツ実習 (ソフトボール)	〈山 口 良 博〉	222
健康・スポーツ実習 (ゴルフ)	〈森 本 葵〉	223
健康・スポーツ実習 [再クラス] (室内球技)	〈田中佳孝・長濱友雄〉	224
健康・スポーツ実習 [再クラス] (室内球技)	〈鈴 木 淳 平〉	225
健康・スポーツ実習 [再クラス] (簡化太極拳)	〈大 石 武 士〉	225
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (サ ッ カ ー)	〈秋 田 浩 一〉	226
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (卓 球)	〈川 村 正 義〉	227
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (ゴルフ)	〈鈴 木 淳 平〉	228
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (空手道)	〈高 橋 俊 介〉	229
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (バドミントン)	〈牧 野 茂〉	230
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (ソフトボール)	〈山 口 良 博〉	231
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (室内球技)	〈鈴 木 淳 平〉	232
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前後期/基礎 (簡化太極拳)	〈大 石 武 士〉	233
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前後期/基礎 (バドミントン)	〈長 濱 友 雄〉	234
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前後期/基礎 (室内球技)	〈鈴 木 淳 平〉	234
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前後期/基礎 (卓 球)	〈牧 野 茂〉	235
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前後期/基礎 (バスケットボール)	〈牧 野 茂〉	236
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前後期/応用 (簡化太極拳)	〈大 石 武 士〉	237
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前後期/応用 (ニュースポーツ)	〈大 石 武 士〉	238
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前後期/応用 (バドミントン)	〈長 濱 友 雄〉	239
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前後期/応用 (室内球技)	〈鈴 木 淳 平〉	240

生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前後期／応用 (バドミントン)	〈鈴木 淳 平〉	……………	240
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前後期／応用 (卓球)	〈牧 野 茂〉	……………	241
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前後期／応用 (バスケットボール)	〈牧 野 茂〉	……………	242
生涯スポーツ実習 (集中前期) (テニス集中)	〈江 口 淳 一〉	……………	243
生涯スポーツ実習 (集中後期) (テニス集中)	〈江 口 淳 一〉	……………	244
生涯スポーツ実習 (集中後期) (ゴルフ集中)	〈三 幣 晴 三〉	……………	245
生涯スポーツ演習 (シーズン前期) (ゴルフ)	〈竹田幸夫 他〉	……………	246
生涯スポーツ演習 (シーズン後期) (スキー・スノーボード)	〈佐藤政之 他〉	……………	247
健 康 ・ ス ポ ー ツ 論	1 〈江 口 淳 一〉	……………	248
健 康 ・ ス ポ ー ツ 論	1 〈光 永 吉 輝〉	……………	249
健 康 ・ ス ポ ー ツ 論	2 〈大 石 武 士〉	……………	250
健 康 ・ ス ポ ー ツ 論	2 〈川 村 正 義〉	……………	251
健 康 ・ ス ポ ー ツ 論	2 〈牧 野 茂〉	……………	252
余 暇	学 〈秋 田 浩 一〉	……………	253
余 暇	学 〈田 中 佳 孝〉	……………	254

「健康・スポーツ実習」開講種目一覧

(於：玉川校舎)

		2時限 (経営-1)		3時限 (経営-2)	
木曜日	※光永	トレーニング		※竹田	体操・トランポリン
	秋田	サッカー		秋田	卓球
	竹田	卓球		山口	ソフトボール
	磯崎	室内球技		磯崎	室内球技
	山口	ソフトボール		光永	トレーニング
	森本	ジョギング		森本	ゴルフ
	江口	テニス		江口	テニス

※は、科目の主担当者

保健体育

「生涯スポーツ実習 I ~ IV」開講種目一覧

(於：本校体育館)

		月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日			
1時限													
2時限	長	前期・基礎	大	前期・応用	鈴	木	前期・応用	牧	前期・応用	牧	前期・応用		
		バドミントン		ニュースポーツ※					卓球		バスケットボール		
	濱	後期・基礎	後期・応用	後期・応用			後期・基礎	後期・応用	後期・基礎	後期・応用			
		バドミントン	ニュースポーツ※	卓球			野	野	野	バスケットボール			
3時限	長	前期・応用	大	前期・基礎	鈴	木	前期・応用	牧	前期・基礎	牧	前期・基礎		
		バドミントン		簡化太極拳※					室内球技		卓球	バスケットボール	
	濱	後期・応用	後期・基礎	後期・応用			後期・基礎	後期・応用	後期・基礎	後期・基礎			
		バドミントン	簡化太極拳※	室内球技			野	野	野	バスケットボール			
4時限	大	前期・応用	石	宮	沢	鈴	木	前期・基礎	前期・応用	木	前期・基礎		
		簡化太極拳※						室内球技			バドミントン		
	石	後期・応用						後期・基礎	後期・基礎		後期・応用	後期・基礎	後期・応用
		簡化太極拳※						室内球技	室内球技		バドミントン	バドミントン	

※印の科目は、本校修道館（第2体育館）にて実施し、それ以外は、本校第1体育館で実施します。

保健
体育

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (トレーニング)	みつ なが よし てる 光 永 吉 輝	営A1必	2

講義のねらい

トレーニングとは、運動刺激に対する、人体の適応性を利用して、人体の作業能力をできるだけ発達させる過程であると定義されている。骨、筋肉、靭帯、腱、心臓、肺臓など身体の形態や機能を強化発達させる過程をいい、社会生活をするうえで必要な心身の力を向上させるために行なう練習、訓練である。

近年、科学の著しい発展に伴う様々な社会的環境の変化などから、日常の筋肉運動量が少なくなり、かつまた知育偏重の傾向が一段と高まり、進学競争を低年齢化させ、加えて、栄養の過剰によって肥満傾向となるなど、日常生活における身体運動の必要性が盛んに論じられてきている。一般に日常生活以外に運動を行なわないでいると成長発育期では、体格の発達に体力が伴わない、いわゆる体力低下が見られ若年者でありながら成人病に罹り易い。したがって、これらに対する対抗策の一つとしてトレーニングが必要とされるのである。

講義の内容・
授業スケジュール

始めに体力測定を行ない、各自の体力に応じたトレーニングメニューを作成し、毎時間、ストレッチ体操・エアロビクス（有酸素運動）・ウエイトトレーニングなどを行なう。

ウエイトトレーニングは、米航空宇宙局（NASA）で宇宙飛行士のトレーニングマシンとして開発されたカイザーカムIIという空気抵抗を利用したマシンを用いて行なう。このマシンは、ダイヤル調整だけで負荷の調節が可能であり簡単でかつ安全なトレーニングマシンである。

授業計画

- 1時限目：オリエンテーション、体力測定
- 2時限目：カイザーカムII最大筋力測定
- 3時限目：〃
- 4時限目：トレーニング開始 毎時間、最大筋力の1/3～2/3の負荷を各自で選び5～8種類のマシンを、2～3セット行なう
- 5時限目：トレーニング
- 6時限目：トレーニング
- 7時限目：トレーニング
- 8時限目：負荷を男子は2kg up、女子は1kg up
- 9時限目：トレーニング
- 10時限目：トレーニング
- 11時限目：トレーニング
- 12時限目：負荷を男子は2kg up、女子は1kg up
- 13時限目：トレーニング
- 14時限目：トレーニング
- 15時限目：体力測定、まとめ

履修上の留意点

服装、トレーニングウェア、体育館シューズ（室内専用）を用意すること。

成績評価の方法

出席、トレーニング内容（毎時間記録をする）、授業への参加意欲、態度を総合的に判断して成績評価とする。

そ の 他

ストレッチ体操の各種、器具のいないトレーニング方法（単独法、対人法）などを各時間に詳しく講義する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (サッカー)	あき た こう 秋 田 浩 一	営A1必	2

講義のねらい

サッカーのゲームは、ボールを蹴ること(キック)、止めること(トラッピング)、運ぶこと(ドリブル)から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることによって数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間基本技術とゲームを行ない、サッカーの楽しさを実感する。また、正しいルールを学び、ゲームに生かすことへの理解度を高める。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容、服装等の説明
- 2 時限目：班分け、インサイドキック、トラッピング(グラウンダー)
- 3 時限目：インサイドキック、練習ゲーム
- 4 時限目：浮玉のとトラッピング1、リーグ戦1
- 5 時限目：インステップキック、リーグ戦2
- 6 時限目：インフロントキック、リーグ戦3
- 7 時限目：オフサイドルールの理解、リーグ戦4
- 8 時限目：浮玉のとトラッピング2、リーグ戦5
- 9 時限目：基礎技術の応用練習、リーグ戦6
- 10 時限目：基礎技術の応用練習、リーグ戦7
- 11 時限目：基礎技術の応用練習、リーグ戦8
- 12 時限目：基礎技術の応用練習、リーグ戦9
- 13 時限目：基礎技術の応用練習、優勝決勝戦
- 14 時限目：基礎技術の応用練習、優勝決勝戦
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装で良いが必ずアップシューズもしくはゴム底のスパイクシューズを用意すること(6本ポイントのスパイクは不可)。靴下は厚手のものがよい。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点はチーム対抗リーグ戦の結果と受講態度により採点する。個人に実技テストは、行わない。

そ の 他

雨天の場合は、室内にて他種目の運動もしくは、ルールの説明、ビデオによるプロゲームの観戦

注) 運動服装は雨天でも持参すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
健康・スポーツ実習 (ジョギング)	もり 森 もと 本 まもる 葵	営A1必	2

講義のねらい

健康、体力の維持増進を目的として行なわれる走運動、それがジョギングである。普及し始めて約25年位になる比較的新しい種目でもある。健康作りの運動はひとりひとりの体力に応じた運動処方が必要であり、指導者任せのトレーニングにすることなく、その処方を自分自身の手によって立案し、安全に実施することのできる能力を高めることを学習目標とする。実際の内容については、エクササイズ・ウォーキング（速歩）によってジョギングに必要な技術と体力を高めながら、30～60分程度のジョギングを実施することとする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：心拍数測定・諸注意・体重測定
- 2 時限目：エクササイズ・ウォーキング（速歩）
- 3 時限目：〃
- 4 時限目：〃
- 5 時限目：ジョギング（時間走、距離走、初歩のインターバルランニング）
- 6 時限目：〃
- 7 時限目：〃
- 8 時限目：12分間走
- 9 時限目：ジョギング（前半より幾分高度な時間走、距離走、初歩のインターバルランニング、
野外走、クロスカントリー）
- 10時限目：〃
- 11時限目：〃
- 12時限目：〃
- 13時限目：〃
- 14時限目：12分間走
- 15時限目：まとめ

保健
体育

履修上の留意点

事前にメディカルチェック（心電図、負荷心電図、その他）を受けることが望ましいが、体調を整えて受講とする。（食事をとること、睡眠時間の充分なこと）ジョギングによって相当量の発汗を伴うため着替えの用意が必要である。

成績評価の方法

出席を最重視するが、12分間走に於ける走行距離を得点に加えて評価する。

その他

雨天時は走のための補強トレーニング

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (体操・トランポリン)	たけだ ゆきお 竹田 幸夫	営A1必	2

講義のねらい

「体操」という種目を広義に捉え、健康体操やストレッチ体操、ならびに器械運動を含めた体操の実技を行なう。健康体操については、体のバランスをチェックし矯正するための体操とマッサージ法を紹介する。器械運動では、マットや鉄棒、さらにトランポリンという種目を中心にして、初心者を対象としたやさしい技から難しい技へと段階的に技を修得する。受講者の希望があれば、能力に応じてマット上での後転とび（バック転）まで発展させる。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
- 2 時限目：健康体操とストレッチ体操
- 3 時限目：々
- 4 時限目：マッサージ法
- 5 時限目：ストレッチ体操・マット・トランポリン
- 6 時限目：ストレッチ体操・マット・トランポリン
- 7 時限目：ストレッチ体操・男子：あん馬／女子：平均台
- 8 時限目：ストレッチ体操・男子：つり輪／女子：トランポリン
- 9 時限目：ストレッチ体操・男子：トランポリン／女子：鉄棒
- 10 時限目：ストレッチ体操・男子：平行棒／女子：トランポリン
- 11 時限目：ストレッチ体操・男女とも鉄棒
- 12 時限目：発展技の練習
- 13 時限目：自主練習
- 14 時限目：自主練習
- 15 時限目：まとめと評価

履修上の留意点

服装は、一般的なスポーツウェアを用意する。底の薄い体操シューズを用意するのが望ましいが、ソックスでも良い。実技は、玉川体育館1階アリーナの体操場で行なう。なお、体操場にセットされている鉄棒やトランポリンなどの器械は、扱い方を誤ると怪我や事故につながるため、授業時間内の指示を守ること。

成績評価の方法

健康体操および器械運動ともに、毎回授業に出席して実践することに大きな意味がある。とくに器械運動は、技を習得していく過程にも魅力を見出すことのできるスポーツ種目である。したがって、成績は出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は、男女それぞれに課題の達成度によって評価していく。易しい技から難しい技まで約40～50の課題を設定してあるので、受講生はそこから自分で習得したい技、能力に応じた技を選択する。技の達成度の評価は、受講生同士で行なう。

そ の 他

授業の進行状況に応じて、課題となっている技のビデオ、ならびに体操競技の競技会のビデオを観る。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (卓球)	あきた こういち たけだ ゆきお 秋田 浩一・竹田 幸夫	営A1必	2

講義のねらい

卓球の様々な技術の向上を図る事により、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単と言われるルール（シングルス、ダブルス）を理解し、将来、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
- 2 時限目：ラケットイング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
- 3 時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 4 時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム
- 5 時限目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム
- 6 時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
- 7 時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 8 時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム
- 9 時限目：シングルスゲーム
- 10時限目：ダブルスゲームのやり方。ダブルスゲームの練習
- 11時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 12時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 13時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 14時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装で良いが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は授業を受けることはできない。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

そ の 他

30分以上の遅刻は認めない。とくにゲームの班分けをした後の授業参加は認めない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
健康・スポーツ実習 (室内球技)	磯崎 優子 <small>いそ さき ゆう こ</small>	営A1必	2

講義のねらい

バスケットボール、バレーボール、バドミントンを教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
(バスケットボール)
- 2 時限目：ボール・ハンドリング、ドリブル・シュート、グループ分け
- 3 時限目：ハーフ・コート2対1、ゲーム (1次リーグ)
- 4 時限目：ハーフ・コート3対2、ゲーム (1次リーグ)
- 5 時限目：ハーフ・コート4対3、ゲーム (1・2次リーグ)
- 6 時限目：ハーフ・コート3対3、ゲーム (2次リーグ)
- 7 時限目：実技テスト、ゲーム (2次リーグ)
(バレーボール)
- 8 時限目：オーバー・アンダーパス、ゲーム (リーグ戦)
- 9 時限目：レシーブ・スパイクの基本、ゲーム (リーグ戦)
- 10 時限目：サーブ・レシーブ・スパイクの応用、ゲーム (リーグ戦)
- 11 時限目：実技テスト、ゲーム (トーナメント)
(バドミントン)
- 12 時限目：ラケットイング、ミニラリー、スマッシュ、ドロップショット
- 13 時限目：クリアー、ネット・ショット、ダブルスのルール
- 14 時限目：サーブ、ストロークの応用、ダブルスのゲーム
- 15 時限目：実技テスト、ダブルスのゲーム

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とする。体育館シューズを用意すること。担当教員によって時間配分を多少変更することがある。

成績評価の方法

出席点 (70点)、実技テスト (20点)、態度点 (10点)、60点以上を合格とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (テニス)	え ぐち じゅん いち 江 口 淳 一	営A1必	2

講義のねらい

テニスは、華やかなプロスポーツから、ファミリーテニスまで色々な技術レベルによって楽しむことができ、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。本実習においては、フォアハンド・バックハンドグラウンドストローク、ボレー、サーブ、スマッシュなど基本的なテニスの技術の習得と、ゲームに関するルール、マナーを学ぶことによって生涯を通じて楽しくテニスが行なえる能力と、態度を養うことを目標にしている。

また、テニスを教材にスポーツを楽しむという活動や経験を通してスポーツのもつ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、自律的にスポーツのもつ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、自律的にスポーツを生活化する態度を養うことを目指す。さらに、テニスという共通の体験を通して大学時代でなければ得られない人間関係を作り社会性を養うと共に、総合的な人間形成を目指す。

保
健
体
育

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業の目標の説明
- 2 時限目：ラケットイング、ミニラリー
- 3 時限目：フォアハンドグラウンドストロークの基本記述
- 4 時限目：バックハンドグラウンドストロークの基本記述
- 5 時限目：フォアハンドボレー、バックハンドボレー
- 6 時限目：スマッシュ、サーブ、ストロークの応用
- 7 時限目：ストロークの応用とミニゲーム
- 8 時限目：半面でのシングルスゲーム（ゲームを楽しむ）
- 9 時限目：半面でのシングルスゲーム（戦術と応用）
- 10 時限目：半面でのシングルスゲーム（戦術と応用）
- 11 時限目：ダブルスのルールとポジショニング
- 12 時限目：ダブルスゲームを楽しむ
- 13 時限目：より高度なダブルスのゲームへ
- 14 時限目：トーナメント形式の試合の進め方
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

1. 服装は一般的な運動服装とする。
2. テニスシューズを必ず用意すること。
3. ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出席状況、授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうか、または、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (ソフトボール)	やま ぐち よし ひろ 山 口 良 博	営A1必	2

講義のねらい

ソフトボールは野球と同様1チーム9名で2組が得点を争うゲームである。野球が体育実技で取り上げづらいのは、ある種の経験を要するからであり、ソフトボールは、チームの中で1～2名の未経験者がいてもゲームはある程度成立する。野球は、9回の攻守に対してソフトボールは7回と、時間の区切られた実技に適している。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：基本練習(キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、打撃練習：トス・ハーフ・フリーバッティング、走塁練習、その他)
- 2 時限目： ♪
- 3 時限目：試合(勝ち点制)
- 4 時限目： ♪
- 5 時限目： ♪
- 6 時限目： ♪
- 7 時限目： ♪
- 8 時限目：審判の仕方(球審、1・3塁審)
- 9 時限目： ♪
- 10時限目：試合(勝ち点制)
- 11時限目： ♪
- 12時限目： ♪
- 13時限目： ♪
- 14時限目： ♪
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

用具：貸与
 服装：ユニフォームの着用が必要はないが、実技のできる服装とする。
 シューズ：ランニングシューズ、アップシューズは可。野球のスパイクシューズは不可とする。

成績評価の方法

出席を重視し、試合毎の勝ち点も加えて評価する。

そ の 他

雨天時は、視聴覚室において、ルールの解説とビデオ観戦とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (ゴルフ)	もり もと まもる 森 本 葵	営A1必	2

講義のねらい

ゴルフゲームは、現在将来ともにより豊かな余暇時間体験を持つことのできる活動として最良の生涯スポーツである。
生涯スポーツとして、ゴルフのラウンドを楽しくプレーすることのできる基礎的知識、技術、及び態度を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：グリップ、アドレス、スイング
- 3 時限目：打撃練習 (7・9 アイアン)
- 4 時限目：打撃練習 (7・9 アイアン) ・ビデオによるスイング理論の解説
- 5 時限目：打撃練習 (5 アイアン)
- 6 時限目：打撃練習 (5 アイアン)
- 7 時限目：打撃練習 (W 1・W 3)
- 8 時限目：打撃練習 (W 1・W 3)
- 9 時限目：打撃練習 (アプローチ)
- 10 時限目：打撃練習 (アプローチ)
- 11 時限目：打撃練習 (パッティング) ・ルールの解説
- 12 時限目：打撃練習 (パッティング) ・ラウンドにおけるマナー、エチケットの解説
- 13 時限目：ラウンド (模擬コース)
- 14 時限目：ラウンド (模擬コース)
- 15 時限目：実技テスト

履修上の留意点

1. 服装は、一般的な運動服装とする。
2. シューズは、運動靴とする。
3. ゴルフ用グローブを各自用意すること。

成績評価の方法

授業に出席して実習することが重要である。したがって成績は、出席点70%・実技点(実技テストを含む)30%の割合で評価する。

そ の 他

雨天時及び強風などの場合は、教場を変更する場合があるので掲示板を確認すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(室内球技)	たなか よしたか ながはま とちお 田中 佳孝・長濱 友雄	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

室内で行なう球技（卓球、バドミントン、バレーボール、バスケットボール）の基本技術の習得をベースにして、各種目ともゲーム中心の授業を展開する。いずれの種目とも、将来さまざまな場で「生涯スポーツ」として楽しむことができる種目である。したがって、それぞれの種目の基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについての理解も深めたい。

講義の内容・授業スケジュール

【前期】

- 1 時限目：オリエンテーション、前期授業内容の説明
- 2 時限目：卓 球（ラケットの握り方、フットワーク、ミニゲーム）
- 3 時限目： 〃（サービスとリターン、ルールの解説、シングルスゲーム）
- 4 時限目： 〃（シングルスゲーム）
- 5 時限目： 〃（シングルスゲーム）
- 6 時限目： 〃（ダブルスゲームの進め方、ゲーム）
- 7 時限目： 〃（ダブルスゲーム）
- 8 時限目： 〃（まとめと評価）
- 9 時限目：バドミントン（ラケットの握り方、フットワーク、半面コートでのミニゲーム）
- 10 時限目： 〃（ストローク、ドロップショット、スマッシュの練習、シングルス）
- 11 時限目： 〃（ルール解説、シングルスゲーム）
- 12 時限目： 〃（ダブルスゲームの進め方、ダブルスゲーム）
- 13 時限目： 〃（ダブルスゲーム）
- 14 時限目： 〃（ダブルスゲーム）
- 15 時限目： 〃（まとめと評価）

【後期】

- 1 時限目：オリエンテーション、後期授業内容の説明
- 2 時限目：バレーボール（パスとサーブの技術、ミニゲーム）
- 3 時限目： 〃（アタックとブロックの技術、ルール解説）
- 4 時限目： 〃（フォーメーション、ゲーム）
- 5 時限目： 〃（ゲーム）
- 6 時限目： 〃（ゲーム）
- 7 時限目： 〃（ゲーム）
- 8 時限目： 〃（まとめと評価）
- 9 時限目：バスケットボール（パス、ドリブル、ショットの基本技術）
- 10 時限目： 〃（レイアップショット、ジャンプショットの技術、ルール解説）
- 11 時限目： 〃（ファウルの種類と罰則の解説、ゲーム）
- 12 時限目： 〃（ゲーム）
- 13 時限目： 〃（ゲーム）
- 14 時限目： 〃（ゲーム）
- 15 時限目： 〃（まとめと評価）

履修上の留意点

遅刻は認めない。実技は、本校第1体育館で行なう。一般的なスポーツウェア、ならびに室内球技に適した体育館シューズを用意する。なお、卓球、バドミントンで使うラケットは、貸与する。

成績評価の方法

基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについて理解するためには、毎回授業に出席して、実技を实践することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は、各種目における個人別の技能、およびゲームの結果を加味して評価する。

そ の 他

曜日・時限によって定員がちがうので注意、『履修要項』を確認の上履修すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(室内球技)	すずき じゆん べい 鈴 木 淳 平	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

室内で行なわれる球技を教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。

講義の内容・授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・フットサルといった、室内でのボールゲーム（主にチームスポーツ）を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。

スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点

○スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。

成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

保健体育

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(簡化太極拳)	おお いし たけ し 大 石 武 士	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとり、一定の早さを保ち、ゆっくりした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・授業スケジュール

1時限目：オリエンテーション	16時限目：太極拳動作について説明
2時限目：重心の移動・腹式呼吸運動	17時限目：総合
3時限目：第一組 起勢・左右野馬分鬃・白鶴亮翅	18時限目：総合
4時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱	19時限目：総合
5時限目：第三組 左攬雀尾・右攬雀尾	20時限目：総合
6時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭	21時限目：総合
7時限目：第五組 高探馬・右蹬脚・双峰貫耳・轉身左蹬脚	22時限目：総合
8時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立	23時限目：総合
9時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂	24時限目：総合
10時限目：第八組 轉身搬攔捶・如封似閉・十字手・収勢	25時限目：総合
11時限目：総合	26時限目：総合
12時限目：総合	27時限目：総合
13時限目：総合	28時限目：総合
14時限目：総合	29時限目：総合
15時限目：テスト	30時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：40名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習(再クラス) 集中授業コース(サッカー)	あき た こう いち 秋 田 浩 一	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

サッカーのゲームは、ボールを蹴ること(キック)、止めること(トラッピング)、運ぶこと(ドリブル)から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることによって数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間基本技術とゲームを行ない、サッカーの楽しさを実感する。また、正しいルールを学び、ゲームに生かすことへの理解度を高める。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1日目午前：基本技術練習(キック、トラップ、ヘディング、ドリブル) チーム分け
- 1日目午後： 〃
- 2日目午前：パス練習、ゲーム
- 2日目午後：ロングキック、ゲーム
- 3日目午前：ドリブル、ゲーム
- 3日目午後：シュート、ゲーム
- 4日目午前：ルールの解説、ゲーム
- 4日目午後：ゲーム(リーグ戦)
- 5日目午前： 〃
- 5日目午後： 〃

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装で良いが必ずアップシューズもしくはゴム底のスパイクシューズを用意すること(6本ポイントのスパイクは不可)。靴下は厚手ものがよい。

成績評価の方法

出欠は午前午後の二回確認する。成績は授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

- 再クラス 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：(前期) 7月18日(金)～22日(火)
(後期) 12月21日(日)～25日(木)
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
 - (2) 実施時間：午前10:00～12:00
午後13:00～15:30
 - (3) 実施場所：玉川グラウンド
 - (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
 - (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習(再クラス) 集中授業コース(卓球)	かわむらまさよし 川村正義	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

卓球の様々な技術の向上を図る事により、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルール（シングルス、ダブルス）を理解し、将来、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 日目午前：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明。ラケットイング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形。
- 1 日目午後：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム。
- 2 日目午前：バックハンドショットの打ち方。バックハンドゲーム。
- 2 日目午後：カットの打ち方と返球の方法。シングルスゲーム。
- 3 日目午前：シングルスゲーム。ダブルスゲームのやり方。
- 3 日目午後：ダブルスゲームの練習。
- 4 日目午前：ダブルスゲーム。
- 4 日目午後：ダブルスゲーム。
- 5 日目午前：トーナメント形式の試合。
- 5 日目午後：まとめ。

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装で良いが、必ず体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

評価は出席点 70 点。実技点 30 点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

そ の 他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期) 7月18日(金)～22日(火)
(後期) 12月21日(日)～25日(木)
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10:00～12:00
13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習(再クラス) 集中授業コース(ゴルフ)	すずき しゆん べい 鈴 木 淳 平	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

ゴルフゲームは、現在将来ともにより豊かな余暇時間体験を持つことのできる活動として最良の生涯スポーツである。

生涯スポーツとして、ゴルフのラウンドを楽しくプレーすることのできる基礎的知識、技術、及び態度を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

- 1日目：オリエンテーション
グリップ、アドレス、スイング
打撃練習(7・9アイアン)
- 2日目：打撃練習(7・9アイアン)・ビデオによるスイング理論の解説
打撃練習(5アイアン)
打撃練習(5アイアン)
- 3日目：打撃練習(W1・W3)
打撃練習(W1・W3)
打撃練習(アプローチ)
打撃練習(アプローチ)
- 4日目：打撃練習(パッティング)・ルールの解説
打撃練習(パッティング)・ラウンドにおけるマナー、エチケットの解説
ラウンド(模擬コース)
- 5日目：ラウンド(模擬コース)
実技テスト

履修上の留意点

1. 服装は、一般的な運動服装とする。
2. シューズは、運動靴とする。
3. ゴルフ用グローブを各自用意すること。

成績評価の方法

授業に出席して実習することが重要である。したがって成績は、出席点70%・実技点(実技テストを含む)30%の割合で評価する。

そ の 他

雨天時及び強風などの場合は、教場を変更する場合がありますので掲示板を確認すること。
再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期)7月18日(金)～22日(火)
(後期)12月21日(日)～25日(木)
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10:00～12:00
13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川グラウンド
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への「履修届(事前登録)」は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習〔再クラス〕 集中授業コース(空手道)	たかほし しゅんすけ 高橋 俊介	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

空手道は、男子、女子を問わずに誰でもができ、空手道を通して礼節を重んずる精神を養成することを目的とする。また、身体各部を均等に動かし呼吸運動を伴うことによって内臓諸器官の機能を向上させることができる優れた健康法でもある。さらに護身術としても楽しく特殊な技術を習得する授業である。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1日：空手道の歴史と技の説明
自然体での上段直突、中段直突、上段揚受、中段外受
閉足立ちによる前蹴り、前屈立ちによる逆突、下段払い
- 第2日：前屈立ちによる移動基本、追突、前蹴り
前屈立ちにて後方に下がって上段揚受、中段外受、下段払い、下段払い受
自然体から左右の猿臂、前屈立ちで身体を回転してからの猿臂打
- 第3日：総合的に反復して練習
総合的に反復して練習
2人組で相対して攻撃技と防禦技をかけ合う約束組手に入る。
- 第4日：約束組手の中に猿臂打、手刀打を入れて護身術に入る。
総合的に反復して練習
総合的に反復して練習
- 第5日：総合的に反復して練習
総合的に反復して練習
実技試験

保
健
体
育

履修上の留意点

服装は、全員が授業用の空手衣を着用する。

成績評価の方法

授業出席状況、授業の参加態度、実技テストにて総合的に評価する。

そ の 他

- 再クラス 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：(前期) 7月18日(金)～22日(火)
(後期) 12月21日(日)～25日(木)
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10:00～12:00
13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習(再クラス) 集中授業コース(バドミントン)	まきの 牧 野 茂	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

ゲームを楽しむための基本的な技術やルールを習得し、仲間づくりを通して社会的態度を養うとともに、生涯スポーツとして取り組むことができる基本的能力を身につけることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1日目午前：オリエンテーション、ラケットティング、ストロークの基本技術（回内、回外）
 1日目午後：オーバー・ヘッド・ストローク
 ①（スマッシュ、ドロップ）、コート反面のシングルス・ゲーム
 2日目午前：オーバー・ヘッド・ストローク
 ②（スマッシュ、クリアー、ドライブ）、サービス
 2日目午後：アンダー・ハンド・ストローク
 ①（クリアー、ヘアピン・ショット）、サービス、コート反面のシングルス・ゲーム
 3日目午前：アンダー・ハンド・ストローク
 ②（ロブ、クロス、ネットショット）、シングルス・ゲーム
 3日目午後：サイド・ハンド・ストローク（ドライブ、クリアー）、サービス、シングルス・ゲーム
 4日目午前：オーバー・ヘッド・ストローク
 ③（カット、プッシュ）、総合練習、ダブルス・ゲーム
 4日目午後：総合練習、ダブルス・ゲーム
 5日目午前：総合練習、ダブルス・ゲーム
 5日目午後：総合練習、トーナメント型式のゲーム

履修上の留意点

- (1) 服装は、一般的な運動服とする。
- (2) 体育館シューズを用意すること。
- (3) ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出欠は午前午後の二回確認する。成績は授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

- 再クラス 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：（前期）7月18日（金）～22日（火）
 （後期）12月21日（日）～25日（木）
 7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
 - (2) 実施時間：10:00～12:00
 13:00～15:30
 - (3) 実施場所：玉川体育館
 - (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
 - (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習(再クラス) 集中授業コース(ソフトボール)	やまぐちよしひろ 山 口 良 博	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

補強運動、練習及びゲームなどを積極的に行い、体力や運動能力を高める。技術やルールを習得し、ソフトボールのゲームを行う基本的能力を身につける。また、ソフトボールの楽しさをゲームや技術の習得を通して体験する。さらに、クラスの仲間と協力して練習やゲームを行う中で社会的態度を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1日目 午前：チーム分け、基本練習（キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、トスバッティング、走塁練習、その他）
午後：同上
- 第2日目 午前：ゲーム
午後：〃
- 第3日目 午前：〃
午後：審判法・ゲーム
- 第4日目 午前：〃
午後：〃
- 第5日目 午前：〃
午後：〃

履修上の留意点

一般的の体育服装を用意すること。野球用ユニフォームでも良い。運動靴は必ず用意すること。スパイクシューズは認めない。用具は貸与する。

成績評価の方法

出席を重視し、総合的に評価する。

そ の 他

雨天の場合は、室内において補強トレーニングまたは視聴覚機材を用いて、ルールや競技の理解を深める。

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期) 7月18日(金)～22日(火)
(後期) 12月21日(日)～25日(木)
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10:00～12:00
13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川グラウンド
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習〔再クラス〕 集中授業コース(室内球技)	すずき じゆん べい 鈴 木 淳 平	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

室内で行なわれる球技を教材とし、そこで用いられる基礎的な技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。

講義の内容・
授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・バドミントンを行なう。チームスポーツ、個人スポーツに必要とされる要素（体力的・技術的）を意識してゲームを多く消化していく。
スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点

○スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。

成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

そ の 他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：（前期）7月18日（金）～22日（火）
（後期）12月21日（日）～25日（木）
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10:00～12:00
13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への「履修届（事前登録）」は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	おお いし たけ し 大 石 武 士	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ		全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ		全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ		全学科4選	

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとり、一定の早さを保ち、ゆっくりした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3 時限目：第一組 起勢・左右野馬分鬃・白鶴亮翅
- 4 時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5 時限目：第三組 左攪雀尾・右攪雀尾
- 6 時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 7 時限目：第五組 高探馬・右蹬脚・双峰貫耳・轉身左蹬脚
- 8 時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9 時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10 時限目：第八組 轉身搬攔捶・如封似閉・十字手・取勢
- 11 時限目：総合
- 12 時限目：総合
- 13 時限目：総合
- 14 時限目：総合
- 15 時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：40名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率 70%、総合評価 30% で行う。

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・基礎) (後期・基礎) (バドミントン)	なが はま とも お 長 濱 友 雄	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. バドミントンの楽しさをゲームや技術の習得など通じて体験することから、これからの活動欲求を高める。
また、技術的課題として、以下の点に留意して行なう。
(1) フォアハンド、バックハンドとも使うことが出来る。
(2) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ルールの説明、サーブ、ハイクリヤー
- 3 時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドロップショット
- 4 時限目：反面での簡易ゲーム
- 5 時限目：ク
- 6 時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 7 時限目：サーブ、ドライブ、スマッシュ
- 8 時限目： } 総合練習・ゲーム（シングルス）
- 10 時限目： }
- 11 時限目： } 総合練習・ゲーム（ダブルス）
- 15 時限目： }

履修上の留意点

1. 定員は40名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・基礎) (後期・基礎) (室内球技)	すず き じゆん へい 鈴 木 淳 平	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

室内で行なわれる球技を教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。

講義の内容・授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・フットサルといった、室内でのボールゲーム（主にチームスポーツ）を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。
スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点

○スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。

成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

科目名		担当者名	配当学科	単位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・基礎) (後期・基礎) (卓球)	まきの 牧野 しげる 茂	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. 卓球の技術やルールを習得し、生涯スポーツとして取り込むことが出来る基本的技能を身につける。
3. クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。
技術的課題として、以下の点に留意して行なう。
 - (1) フォアバンド、バックハンドとも使うことが出来る。
 - (2) スマッシュを打つことが出来る。
 - (3) ゲームの中で各種技術を使うことが出来る。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
 - 2 時限目：ラケットの持ち方、サーブ
 - 3 時限目：サーブ、サーブレシーブ、ラリー
 - 4 時限目：サーブ、フォアハンドドライブ
 - 5 時限目：サーブ、バックハンドの使い方、ラリー
 - 6 時限目：サーブ、フォアハンド、バックハンド
 - 7 時限目：シングルスゲームの練習
 - 8 時限目：
 - 9 時限目：
 - 10 時限目：
 - 11 時限目：
 - 12 時限目：
 - 13 時限目：
 - 14 時限目：
 - 15 時限目：
- 8時限目～11時限目： } 総合練習、シングルスゲーム練習
 12時限目～15時限目： } 総合練習、ダブルスゲーム

履修上の留意点

1. 定員は50名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽で動きやすいものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率 70%、総合評価 30% で行なう。

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・基礎) (後期・基礎) (バスケットボール)	まき の 野 しげる 茂	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

バスケットボールを教材とし、基本的な技術やルールを学びながらゲームの楽しみ方を身につけるとともに、体力や運動能力の向上をはかる。また、仲間づくりを通して社会的態度を養うとともにスポーツを生涯にわたって、生活の中に取り入れ実践していく基礎的能力をも養うことを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ボール・ハンドリング、ドリブル・シュート、ハーフコート2マン・パス
- 3 時限目：フルコート2マン・パス①、ハーフコート2対1、ミニゲーム
- 4 時限目：フルコート2マン・パス②、ハーフコート3対2、ミニゲーム
- 5 時限目：フルコート3マン・パス、シューティング・ドリル、ゲーム（リーグ戦）
- 6 時限目：2マン・ファースト・ブレイク①、フルコート2対1、ゲーム（リーグ戦）
- 7 時限目：2マン・ファースト・ブレイク②、フルコート2対1、ゲーム（リーグ戦）
- 8 時限目：3マン・ファースト・ブレイク、フルコート3対2、ゲーム（リーグ戦）
- 9 時限目：4マン・ファースト・ブレイク、フルコート4対3、ゲーム（リーグ戦）
- 10 時限目：初歩的なマンツーマン・オフense①ハーフ・コート2対2、ゲーム（リーグ戦）
- 11 時限目：初歩的なマンツーマン・オフense②ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 12 時限目：初歩的なマンツーマン・オフense③ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 13 時限目：総合練習、ゲーム（リーグ戦）
- 14 時限目：総合練習、ゲーム（リーグ戦）
- 15 時限目：実技テスト、ゲーム（リーグ戦）

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館にて行う。
- (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点（70点）、実技テスト（20点）、態度点（10点）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	おお いし たけ し 大 石 武 士	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ		全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ		全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ		全学科4選	

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとり、一定の早さを保ち、ゆっくりした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3 時限目：第一組 起勢・左右野馬分鬃・白鶴亮翅
- 4 時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5 時限目：第三組 左攬雀尾・右攬雀尾
- 6 時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 7 時限目：第五組 高探馬・右蹬脚・双峰貫耳・轉身左蹬脚
- 8 時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9 時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10時限目：第八組 轉身搬攔捶・如封似閉・十字手・収勢
- 11時限目：総合
- 12時限目：総合
- 13時限目：総合
- 14時限目：総合
- 15時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：40名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率 70%、総合評価 30% で行う。

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (ニュースポーツ)	おお <small>いし</small> <small>たけ</small> <small>し</small> 大 石 武 士	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

現在、ニュースポーツとして注目されている簡単で安全、手軽にできるスポーツチャンバラやミニサッカー・バウンドテニスなど、それぞれのスポーツを余暇ゲーム感覚で楽しみながら、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして、生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：スポーツチャンバラ：基本姿勢
- 3時限目：スポーツチャンバラ：受け、体捌きの基本動作
- 4時限目：スポーツチャンバラ：足捌き、打の基本動作
- 5時限目：スポーツチャンバラ：応用打法
- 6時限目：スポーツチャンバラ：受打の基本動作
- 7時限目：スポーツチャンバラ：バウンドテニス・ミニサッカー
- 8時限目：スポーツチャンバラ： 〃 〃
- 9時限目：スポーツチャンバラ： 〃 〃
- 10時限目：スポーツチャンバラ： 〃 〃
- 11時限目：スポーツチャンバラ： 〃 〃
- 12時限目：スポーツチャンバラ： 〃 〃
- 13時限目：総合
- 14時限目：総合
- 15時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：35名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不要。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (バドミントン)	なが はま とも お 長 濱 友 雄	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. バドミントンの楽しさをゲームや技術の習得など通して体験することから、これからの活動欲求を高める。
3. クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度をを養う。
また技術的課題として、以下の点に留意して行なう。
(1) スマッシュ、ドロップショットを打つことが出来る。
(2) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
2 時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドライブ
3 時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
4 時限目：総合練習
5 時限目：総合練習
6 時限目： } 総合練習・ゲーム（シングルス）
10時限目： }
11時限目： } 総合練習・ゲーム（ダブルス）
15時限目： }

履修上の留意点

1. 定員は40名とする
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (室内球技)	すず ぎ じゅん べい 鈴 木 淳 平	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

- 講義のねらい** 室内で行なわれる球技を教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。
- 講義の内容・授業スケジュール** バレーボール・バスケットボール・フットサルといった、室内でのボールゲーム（主にチームスポーツ）を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。
スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。
- 履修上の留意点** ○スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。
- 成績評価の方法** 出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (バドミントン)	すず ぎ じゅん べい 鈴 木 淳 平	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

- 講義のねらい**
- 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
 - バドミントンの技術やルールを習得し、生涯スポーツとして取り組むことができる基本的能力を身につける。
また、技術課題として、以下の点に留意して行なう。
 - フォアハンド、バックハンドとも使うことが出来る。
 - ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようにする。
- 講義の内容・授業スケジュール**
- 1時限目：オリエンテーション
 - 2時限目：ルールの説明、サーブ、ハイクリヤー
 - 3時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドロップショット
 - 4時限目：反面での簡易ゲーム
 - 5時限目：〃
 - 6時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
 - 7時限目：サーブ、ドライブ、スマッシュ
 - 8時限目： } 総合練習・シングルスゲーム
 - 11時間目： }
 - 12時間目： } 総合練習・ダブルスゲーム
 - 15時間目： }
- 履修上の留意点**
- 定員は40名とする。
 - 実技は本校第1体育館で行なう。
 - 服装は身軽に動作できるものがよい。
 - シューズは体育館専用のものを用意する。
 - その他のものは用意しなくてもよい。
- 成績評価の方法** 出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	まきの野 牧 野 茂	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ		全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ		全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ		全学科4選	

講義のねらい

- (1) 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
- (2) 卓球の楽しさやゲームを通して、これからの活動欲求を高める。
- (3) クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：サーブ、サーブレシーブ
- 3 時限目：サーブ、ラリー
- 4 時限目： } 総合練習・シングルスゲーム
- 8 時限目： }
- 9 時限目：総合練習、ダブルスゲーム練習
- 10 時限目： } 総合練習・ダブルスゲーム
- 13 時限目： }
- 14 時限目：総合練習、シングルス勝ち抜き戦
- 15 時限目：総合練習、ダブルス勝ち抜き戦

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館で行なう。
- (3) 服装は身軽で動きやすいものがよい。
- (4) シューズは体育館専用のものを用意する。
- (5) その他のものは用意しなくてよい。

成績評価の方法

出席率 70%、総合評価 30% で行なう。

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (バスケットボール)	まきの 牧野 茂	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

バスケットボールを教材とし、体力や運動能力の向上をはかりながら、基本的な技術を復習し、より高度な技術の習得を目指す。また、審判法やゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより次元の高いゲームを実施できる能力を養うことを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ボール・ハンドリング、レイアップ・シュート、ハーフコート 2 対 1
- 3 時限目：2 ボール・ドリブル、シューティング・ドリル、3 対 3 ゲーム
- 4 時限目：2 マン・ファースト・ブレイク、フルコート 2 対 1、3 対 3 ゲーム
- 5 時限目：3 マン・ファースト・ブレイク、フルコート 3 対 2、ゲーム (リーグ戦)
- 6 時限目：4 マン・ファースト・ブレイク、フルコート 4 対 3、ゲーム (リーグ戦)
- 7 時限目：著名なマンツーマン・オフENSE①ハーフ・コート 2 対 2、ゲーム (リーグ戦)
- 8 時限目：著名なマンツーマン・オフENSE②ハーフ・コート 3 対 3、ゲーム (リーグ戦)
- 9 時限目：著名なマンツーマン・オフENSE③ハーフ・コート 3 対 3、ゲーム (リーグ戦)
- 10 時限目：モーション・オフENSE①ハーフ・コート 2 対 2、ゲーム (リーグ戦)
- 11 時限目：モーション・オフENSE②ハーフ・コート 3 対 3、ゲーム (リーグ戦)
- 12 時限目：モーション・オフENSE③ハーフ・コート 4 対 4、ゲーム (リーグ戦)
- 13 時限目：総合練習、ゲーム (リーグ戦)
- 14 時限目：総合練習、ゲーム (リーグ戦)
- 15 時限目：実技テスト、ゲーム (リーグ戦)

履修上の留意点

- (1) 定員は 50 名とする。
- (2) 実技は本校第 1 体育館にて行う。
- (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点 (70 点)、実技テスト (20 点)、態度点 (10 点)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習 (集中前期・基礎/応用) テニス集中	え ぐち じゆん いら 江 口 淳 一	全学科選	1

講義のねらい

テニスは、華やかなプロスポーツから、ファミリーテニスまで色々な技術レベルによって楽しむことができ、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。

本実習においては、フォアハンド・バックハンドグラウンドストローク、ボレー、サービス、スマッシュなど基本的なテニスの技術の習得と、ゲームに関するルール、マナーを学ぶことによって、生涯を通じて楽しくテニスが行なえる能力と、態度を養うことを目標にしている。

また、テニスを教材にスポーツを楽しむという活動や経験を通して、スポーツのもつ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、スポーツを自立的に生活化する態度を養うことを目指す。

さらに、5日間集中的に行なうことでテニスを通した人間関係を広げ深めることの楽しさを知る。

(基礎) …初心者を対象とする。「テニスを楽しむ」という観点から段階的に技術を習得し、ゲームを楽しむことを目標とする。

(応用) …エキスパートを対象とし、「ゲームに勝つ」ことや指導法などを学びながら High で Full にテニスと関わる能度を養う。

講義の内容・授業スケジュール

1 日目午前：ラケットイング、フォアハンド・バックハンドグラウンドストロークの基本技術

1 日目午後：ミニラリー、ラリーを楽しむ

2 日目午前：フォア・バックハンドボレー、スマッシュ、サーブ、ストロークの応用

2 日目午後：ラリーの応用とミニゲーム

3 日目午前：半面でのシングルスゲーム (ゲームを楽しむ)

3 日目午後： (戦術と応用)

4 日目午前：ダブルスのルールとポジショニング

4 日目午後：ダブルスのゲームを楽しむ

5 日目午前：トーナメント形式の試合

5 日目午後：まとめ

履修上の留意点

- (1) 履修者の技術レベルは問わない。
- (2) 服装は一般的な運動服装とする。
- (3) テニスシューズを必ず用意すること。
- (4) ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出席状況 (出欠は午前午後の二回確認する。)、授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうかまたは、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。集中授業コース実施について

(1) 実施期間：7月18日(金)～22日(火)

7月18日更衣の上、午前10時にテニスコート集合

(2) 実施時間：午前10:00～12:00

午後13:00～15:30

(3) 実施場所：玉川グラウンドのテニスコート

(4) 定 員：40名とする。

(5) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。

特・4時限(前期)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習 (集中後期・基礎/応用) テニス集中	えぐち じゆん いち 江口 淳 一	全学科選	1

講義のねらい

テニスは、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。本実習では、フォアハンド・バックハンド グラウンドストローク、ボレー、サービス、スマッシュなど打球技術の習得と、ゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより高度な次元でテニスに関わる能力と、態度を養うことを目標としている。

また、テニス裏打球技術の習得ばかりでなく《あがり》や《プレッシャー》といったメンタル面を克服することが重要視される心理ゲームで、それゆえに奥が深く、勝敗の行方が読めないスポーツとなっている。本実習においては、このテニスにおけるメンタルトレーニングの重要性を実技と解説を交えながら理解し、さらなるステップアップを目指す。

さらに、5日間集中的に行なうことでテニスを通した人間関係を広げ深めることの楽しさを知ることを目標とする。

(基礎) …初心者を対象とする。「テニスを楽しむ」という観点から段階的に技術を習得し、ゲームを楽しむことを目標とする。

(応用) …エキスパートを対象とし、「ゲームに勝つ」ことや指導法などを学びながら High で Full にテニスと関わる態度を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1日目午前：フォアハンド・バックハンド グラウンドストロークの基本技術の確認
- 1日目午後：ラリーの応用練習
- 2日目午前：より高度なフォア・バックハンドボレー、スマッシュ、サーブ
- 2日目午後：より正確でスピーディーなテニスを目指す。
- 3日目午前：ダブルスのルールとポジショニング
- 3日目午後：ダブルス（平行陣への移行）
- 4日目午前：ダブルス・ゲーム（メンタル面を考慮した）
- 4日目午後：シングルス・ゲーム（メンタル面を考慮した）
- 5日目午前：団体戦形式の試合
- 5日目午後：まとめ

履修上の留意点

- (1) 履修者の技術レベルは問わない。
- (2) 服装は一般的な運動服装とする。
- (3) テニスシューズを必ず用意すること。
- (4) ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出席状況（出欠は午前午後の二回確認する。）、授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうかまたは、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：12月21日（日）～25日（木）
12月21日更衣の上、午前10時に玉川テニスコート集合
- (2) 実施時間：10:00～12:00
13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川グラウンドのテニスコート
- (4) 定 員：40名とする。
- (5) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
特・4時限（後期）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習 (集中後期・基礎/応用) ゴルフ集中	み ぬさ はる み 三 幣 晴 三	全学科選	1

講義のねらい

ゴルフは、今や国民的スポーツになりつつある。初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象として実施する。
 本講義は、ゴルフの技術的な上達を主たるねらいとするが、プレイヤーとしてのマナーやエチケット、さらに受講者同士とのコミュニケーションも重要なねらいである。
 生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良き人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1日目 実技：打撃練習（グリップ・アドレス・スイングの基本練習）
講義：スイングの基本
- 2日目 実技：打撃練習（9I、7I・アプローチ練習）
講義：マナーとエチケット
- 3日目 実技：打撃練習（7I、5I、1W・パッティング練習）
講義：ゴルフルール
- 4日目 実技：打撃練習（PW、7I・アプローチ練習・パッティング練習）
講義：ゴルフコースとラウンドについて
- 5日目 実技：打撃練習（総合的打撃練習）

履修上の留意点

- (1) 服装・用具
 - ① 一般的な運動服装（セーター・ウインドブレーカーも天候によっては必要）
 - ② グローブ（ゴルフ用グローブに限る）は、必ず各自で用意すること。

そ の 他

- (1) 実施期間：平成15年12月21日（日）～25日（木）
12月21日更衣の上、午前10時に玉川校舎グラウンド集合
- (2) 実施時間：10:00～12:00
13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川校舎グラウンド
- (4) 費用：受講者の上達度によっては、民間の練習場を利用する予定である。この場合ボール代として、2,000円程度必要である。
- (5) 定員：40名
- (6) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
特・4時限（後期）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ演習 (シーズン前期・基礎/応用) ゴルフ	たけだ ゆきお 竹 田 幸 夫 他	全学科選	2

講義のねらい

「健康スポーツ実習」で行われているゴルフ授業を一步進めて、ゴルフコースを使用してゴルフを基本からラウンドプレーまでを体験することをねらいとする。したがって、初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象とするカリキュラムが組まれている。ゴルフの技術的なねらいを主たるねらいとするが、プレーヤーとしてのマナーやエチケット、更に同伴競技者とのコミュニケーションも本講義の重要なねらいとなる。生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良き人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

- オリエンテーション 1回目 4月10日(木) 12:20~12:40 2研-101 教場
2回目 4月16日(水) 12:20~12:40 2研-101 教場
※ 本オリエンテーションにて、受講許可書発行を行います。
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
- 事前授業 7月20日(日) 13:00~16:00 2研-102 教場「ゴルフの基礎知識」
- 実習内容および現地講義
 - 1日目【9月8日(月)】実技: 14:00~17:00 《打撃練習》
講義: 19:00~21:00 《ゴルフスイングの基本》
 - 2日目【9月9日(火)】実技: 9:00~17:00・13:30~16:30 《打撃練習・その他》
講義: 19:00~21:00 《ゴルフのマナーやエチケット》
 - 3日目【9月10日(水)】実技: 9:00~17:00・13:30~16:30 《打撃練習・その他》
講義: 19:00~21:00 《ゴルフのルール・ラウンドについて》
 - 4日目【9月11日(木)】実技: 9:00~17:00・13:30~16:30 《ラウンド・その他》
講義: 19:00~21:00 《ラウンドの反省と総括》
 - 5日目【9月12日(金)】実技: 9:00~11:00・12:30~14:30 《ラウンド・その他》

履修上の留意点

生涯スポーツ演習 シーズン前期・基礎/応用 ゴルフを履修する場合は、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可書を受けなければなりません。受講要項および本講義内容をよく確認して下さい。

- 実習日程: 平成15年9月8日(月)~9月12日(金)の4泊5日(現地集合解散)
- 場 所: ①宿泊 軽井沢千ヶ滝温泉ホテル 電話(0267)46-1111
長野県北佐久郡軽井沢町千ヶ滝温泉
②練習場 軽井沢ゴルフ練習場 電話(0267)48-1211
③コース 晴山ゴルフ場・ホテルコース・和美パー3コース・その他
- 定 員: 30名
- 集合解散: 現地(軽井沢千ヶ滝温泉ホテル)
詳細については事前授業で説明するので必ず出席すること。
- 受 講 料: 50,000円 ※なお左記金額には、交通費は含まれない。
受講者は、経理部窓口で費用を納入すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。
納入期間: 平成15年5月26日(月)~6月7日(土)
- 服装・用具:
 - ① 一般的なゴルフ服装(セーター・ウインドブレーカーも天候によって必要)
 - ② ゴルフシューズ(ソフトスパイクに限る)は、必ず用意すること。ただし、練習場においては運動靴でも可。
 - ③ グローブは、必ず各自で用意すること。
※ゴルフクラブ・キャディーバッグは大学で用意するが、自分の物を持参してもよい。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習(5日間)に参加終了し、2単位が認められる。成績評価の方法は、出席点70%、技術の上達度および小テスト30%(ルール、マナー等)

そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部(第2研究館9階保健体育部資料室)に連絡すること。なお、参加費は返却されないことがある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ演習 (シーズン後期・基礎/応用) スキー・スノーボード	きとう まさゆき 佐藤 政之 他	全学科選	2

講義のねらい

現在わが国において、スキーやスノーボードに代表されるスノースポーツは、国民に広く普及し「生涯スポーツ」として定着している。これらを楽しむ為に、実習および講義によって基礎技術や練習方法、ならびにゲレンデにおけるマナーなどについて理解を深めていきたい。

実習はそれぞれの技術レベルに応じて班分けして実施する。コースの内容は以下の通りである。

- スキー・スノーボード基礎コース：雪面に慣れることから始まり、基礎的な滑走技術の習得を目指す。
- スキー・スノーボード応用コース：基礎コースを更に発展させ、安全で楽しくゲレンデを滑る技術の習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

1. オリエンテーション 1回目 4月10日(木) 12:20~12:40 2研-101 教場
2回目 4月16日(水) 12:20~12:40 2研-101 教場
※ 本オリエンテーションにて、種目決定と受講許可書発行を行います。
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
2. 事前授業 12月22日(月) 13:00~16:00 2研-102 教場「スノースポーツの基礎知識」
3. 実習内容および現地講義
 - 1日目【2月16日(月)】午後、現地ホテルロビー集合
午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの基礎技術解説および安全・マナー」
 - 2日目【2月17日(火)】
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの応用技術解説」
 - 3日目【2月18日(水)】
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツと環境」
 - 4日目【2月19日(木)】
午前・午後：班別実習および全体講義「本実習の反省とまとめ」
 - 5日目【2月20日(金)】
午前・午後：班別実習 午後、現地解散の予定

履修上の留意点

本講座は、生涯スポーツ演習 シーズン後期・基礎/応用ですが、履修する場合は、スキーまたはスノーボードのどちらかの種目とします。また、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可書を受けなければなりません。受講要項および本講義内容をよく確認して下さい。

- 1) 実習日程：平成16年2月16日(月)～2月20日(金)の4泊5日(現地集合解散)
- 2) 場 所：実習 安比高原スキー場
宿泊・現地講義 安比グラウンド 電話(0195)73-5019
- 3) 定 員：スキー 40名
スノーボード 10名(但し、初心者に限る)
- 4) 受 講 料：50,000円 ※なお左記金額には、交通費は含まれない。
受講者は、経理部窓口で費用を納入すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意してください。
納入期間：平成15年5月26日(月)～6月7日(土)
- 5) 用 具：用具は現地レンタル可能(有料)。
- 6) 特記事項：卒業年次生の追再試、1～3年生の追試験と重なっているので特に注意すること。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習(5日間)に参加終了し、2単位が認められる。成績評価の方法は、事前授業参加状況、各班において実施する実技テストと実習参加態度、並びに技術や理解度も含めて総合的に成績評価がなされる。

そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部(第2研究館9階保健体育部資料室)に連絡すること。なお、参加費は返却されないことがある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論1(前期)	え ぐち じゆん いち 江 口 淳 一	営A1選	2

保 健 体 育

講義のねらい

現代文明は、経済性、利便性、効率性の名の下に人間を身体運動から遠ざけ、結果として運動不足症候群と呼ばれる様々な現象を生んできた。本講義では、このような社会において、より良く、たくましく生きて行く為に人間生活の基本である健康、体力、身体運動に対する理解を科学的アプローチで深め、さらには身体運動を自律的に生活の中に位置づけていく態度と能力の育成を図ることを目的とする。また、運動・スポーツの文化的意義について学ぶことで、Quality of life を実践するための基礎を養うことを主眼に講義を進めるつもりである。

人が生きて行くためには、自らの身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であると考えられる。スポーツを単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また身体を認識する手段としてとらえ、更に、スポーツを享受する能力とゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを本講義の目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：講義の目標の説明、学生の学習目標設定
- 2 時限目：ゆとり時代のLIFE STYLE (To have or To be)
- 3 時限目：生涯学習社会と大学保健体育科目の意義
- 4 時限目：現代社会と健康・スポーツ (余暇社会、高齢化社会と健康阻害要因)
- 5 時限目：健康と体力の概念
- 6 時限目：人体 1) 骨格の構造
- 7 時限目： 2) 筋肉の構造
- 8 時限目： 3) 運動と呼吸循環器系
- 9 時限目： 4) 運動と代謝
- 10時限目： 5) 運動エネルギー供給の仕組み
- 11時限目：スポーツ・トレーニングの筋、骨格に及ぼす効果
- 12時限目：スポーツ・トレーニングの呼吸循環器系に及ぼす効果
- 13時限目：運動処方計画のための基礎 (パワートレーニング、エアロビクストレーニング)
- 14時限目：スポーツ科学分野におけるトピックス、21世紀に向けての健康づくり
- 15時限目：まとめ-学生自身による授業評価-

成績評価の方法

出席状況および授業最終日に行うアンケートにて評価する。

参 考 書 等

配布プリントにより授業を進めるため教科書はないが、以下の文献は参考図書となる。
『運動処方』(朝倉書店) 3,500 円
『運動生理学 20 講』(朝倉書店) 2,884 円
『「ゆとり」時代のライフスタイル』(日本経済新聞社) 1,300 円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論1(前期)	みつ なが よし てる 光 永 吉 輝	営 A 1 選	2

講義のねらい

健康と長寿を願う心は、太古の昔より人類普遍の願望であるが、日常生活においては自分が現在健康である事を意識して行動している人は少ないのではないだろうか、病気やけがをしてはじめて健康の重要性を知るのではなく、常日頃から健康を意識し健康に関心の目を向けることが必要である。

文明先進国における疾病や運動不足に起因するさまざまな健康阻害を、スポーツ医学の面から人体を運動器としてとらえ、骨格、筋肉、靭帯を中心に、頭部、体幹、手、足と各部の身体的特長や、その欠点とスポーツ障害について講義する。

自己や他人の生命そして健康は何物にもまして大切なものである事の理解を深める事を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：講義の概要説明
- 2 時限目：骨格と障害 1) 頭蓋
- 3 時限目：　　　　　　　　　　　2) 体幹
- 4 時限目：　　　　　　　　　　　3) 体幹
- 5 時限目：　　　　　　　　　　　4) 下肢
- 6 時限目：　　　　　　　　　　　5) 下肢
- 7 時限目：　　　　　　　　　　　6) 上肢
- 8 時限目：身体運動と健康
- 9 時限目：運動不足の害
- 10時限目：運動の効果・骨と健康
- 11時限目：トレーニング論 1)
- 12時限目：トレーニング論 2)
- 13時限目：運動と栄養
- 14時限目：健康管理
- 15時限目：まとめ

成績評価の方法

出席および筆記試験によって行なう。またレポートなど提出物によって試験に変える場合もある。

教科書

『保健体育概論』（カヅサ出版部）。教科書は指定するが、必ずしも教科書に沿って講義を進めるわけではない。

参考書等

医学面の人体解剖図などその他必要な資料は、こちらで配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論2(前期)	おお いし たけ し 大 石 武 士	全学科選	2

講義のねらい

生涯を通じての健康や体力・身体運動の効果、体育・スポーツの概念やエイズ問題にふれていき、スポーツ・レクリエーション時や日常生活において、我々はいつどこで、どのような急病や傷害に出会うかもしれない。このような時、救急車が来るまでにしなければならない処置、とっさの処置が生命の別れ目になる。また、小さい怪我でも最初の手当が悪ければ経過が長引く。救命救急のための知識や技術を身につける事によって、病人や怪我人の生命、病気や怪我の経過に大きな差が生じてくる。このことをよく理解し、主な病気・傷害に対する救急処置法について講義を行う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：講義内容の説明
- 2 時限目：体育の概念
- 3 時限目：身体運動と体育運動
- 4 時限目：健康の概念、身体運動の効果
- 5 時限目：人体構造の概略、エイズ問題
- 6 時限目：救急処置の目的、一次救命処置
- 7 時限目：一次救命処置
- 8 時限目：一次救命処置実習
- 9 時限目：出血多量、ショック
- 10 時限目：熱中症、やけど(熱傷)、凍傷
- 11 時限目：R・I・C・E 処置、創傷、創傷のない障害
- 12 時限目：挫滅傷、打撲、刺し傷
- 13 時限目：中毒、鼻出血、咬傷、虫や毒魚
- 14 時限目：体力について
- 15 時限目：テスト

成績評価の方法

出席・実習および学期末試験で評価する。

参 考 書 等

- 1 駒澤大学保健体育部編『保健体育概論』(カヅサ出版) 1,700 円
- 2 『最新図解救命救急-応急手当の手引き-』(小学館) 700 円

そ の 他

救急処置法については、心肺蘇生訓練用マネキンを使った実習や、ビデオを交えながら講義を展開していく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論2(前期)	かわむらまさよし 川村正義	全学科選	2

講義のねらい

「健康は人間が自分に贈れる最大のプレゼントである」ことを念頭に、生涯にわたり健康的でより豊かな生活の実現に必要な身体にかかわる教養を高めることをねらいとする。そして今から「知識」と「態度」が運動して成り立つ「行動」を起こしてほしい。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目 講義のねらいと内容説明
- 2 時限目 健康や体力と考え方
- 3 時限目 運動・スポーツの実施の意義
- 4 時限目 ・生物学的意義
- 5 時限目 ・社会的意義
- 6 時限目 ・教育学的意義
- 7 時限目 健康と体力の現状
- 8 時限目 運動・スポーツの実践
- 9 時限目 ・運動の仕組み ・運動技能
- 10 時限目 ・トレーニング方法と障害
- 11 時限目 ・体力測定と評価方法
- 12 時限目 運動・スポーツ実施の効果
- 13 時限目 ・身体的効果 ・身体の発達成長
- 14 時限目 ・心理的効果 ・生活習慣病の改善
- 15 時限目 まとめ・「健康寿命をのばし自分の意志で自由に行動できる長生きほど幸せな生涯はない」

保健
体育

履修上の留意点

数回の小テストを行う予定

成績評価の方法

定期試験と受講態度を加味して評価する。

教 科 書

特に指定しない。資料を配布する。

参 考 書 等

- 『健康・体力のための運動生理学』（杏林書院）
- 『健康と運動の科学』（大修館書店）
- 『スポーツと寿命』（朝倉書店）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論2(前期)	まさの 牧野 茂	全学科選	2

講義のねらい

現代社会における健康の意義と認識を深めるとともに、ますます高齢化していく社会において、学生生活を含め生涯にわたって健康な生活を送るための基礎的な知識と、自己の健康管理能力を高めることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：目的と課題の把握 全体ガイダンス、アンケートとその解説
- 2 時限目：健康とは何か① 語源・定義・性格
- 3 時限目：健康とは何か②
- 4 時限目：健康とは何か③
- 5 時限目：恒常性と適応 ストレス学説
- 6 時限目：健康の成立条件 健康を規定する条件
- 7 時限目：健康の保持増進① 科学的研究、健康教育
- 8 時限目：健康の保持増進② 保健衛生サービス、健康の獲得
- 9 時限目：健康指標 WHOの総合健康指標
- 10 時限目：日常生活と健康① 運動・栄養・休養①
- 11 時限目：日常生活と健康② 〃・〃・〃 ②
- 12 時限目：日常生活と健康③ 嗜好品と健康
- 13 時限目：感染症について① インフルエンザ、結核
- 14 時限目：感染症について② 性行為感染症
- 15 時限目：筆記試験

成績評価の方法

筆記試験において、60点以上を合格とする。

教 科 書

教科書は使用しない。必要に応じてプリントを配布するが、主として黒板を用いるので、出席し、ノートを整理しておくこと。

参 考 書 等

『保健体育概論』（カズサ出版部）1,700円
他は、講義のなかで紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
余 暇 学 (前期)	あき た こう いち 秋 田 浩 一	営A2・3・4選	2

講義のねらい

世界のサッカーをリードするヨーロッパ。特にオランダ、イタリア、ドイツ、イングランドの現状と将来について考える。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ヨーロッパサッカーの歴史
- 3 時限目：オランダサッカーの現状
- 4 時限目： の考え方
- 5 時限目：イタリアサッカーの現状
- 6 時限目： の将来
- 7 時限目：ドイツサッカーの現状
- 8 時限目： の将来
- 9 時限目：イングランドサッカーについて
- 10時限目：フランスサッカーについて
- 11時限目：ヨーロッパのクラブの運営と組織について
- 12時限目：東ヨーロッパ・トルコのサッカーについて
- 13時限目：オランダサッカーの実習
- 14時限目：イタリア
- 15時限目：まとめ レポート提出

履修上の留意点

講義は教室で、実習は主として第1体育館で実施する。用具等はすべて貸与する。実習時は運動着、体育館用シューズを用意。

成績評価の方法

平素の学習態度とレポート提出および授業内の小テストで成績評価を行う。

参 考 書 等

不要。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
余 暇 学 (前期)	た な が よ し た か 田 中 佳 孝	営A2・3・4選	2

講義のねらい

「余暇」が勤労の付け足しとして扱われた時代から一つの生活のテーマとして見直され始めた現在、真の自由時間としての余暇の本質を探り、種々の生涯スポーツと自然の中での様々な遊びの知識を学び、将来の個々の余暇生活を考える。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
- 2 時限目：余暇学とは
- 3 時限目：日本の社会と余暇の歴史
- 4 時限目：これからの余暇
- 5 時限目：生涯スポーツ
- 6 時限目：ダイエットのウソ・ホント
- 7 時限目：春の里山遊び
- 8 時限目：秋の里山遊び
- 9 時限目：キノコ狩り
- 10時限目：和式蚊鉤釣法（テンカラ）と西洋毛鉤釣り（フライフィッシング）
- 11時限目：ネイチャー・スキー
- 12時限目：「私の余暇」発表
- 13時限目：予備日

履修上の留意点

1. 遅刻は認めない。
2. 授業中の携帯電話の使用は厳禁。違反者は不合格とする。

成績評価の方法

2/3以上の出席をした者に対し、個人発表とレポート提出により、優～不可の評価を行なう。出席回数が不足した者は不合格とする。

教 科 書

特になし

Ⅱ 専 門 教 育 科 目

経営学科フレックス A・第 1 部経営学科

授業時間表の区分「B」の科目を履修する場合は、
フレックス B の頁を参照してください。(→P. 531)

科
專
門
教
育
目
錄

經 營 学 史	〈中 川 淳 平〉	295
ア メ リ カ 經 營 学	〈宮 城 徹〉	296
下 イ ツ 經 營 学	〈高 橋 成 夫〉	297
經 營 管 理 論	〈鈴 木 幸 毅〉	298
經 營 組 織 論	〈日 野 健 太〉	299
經 營 勞 務 論	〈 休 講 〉	
生 産 管 理 論	〈 休 講 〉	
マ ー ケ テ イ ン グ 論	〈兼 村 栄 哲〉	300
經 營 財 務 論	〈高 田 光 明〉	302
国 際 經 營 論	〈茂 垣 広 志〉	303
經 營 戰 略 論	〈中 村 公 一〉	304
企 業 形 態 論	〈各 務 洋 子〉	305
ベ ン チ ャ ー 企 業 論	〈 休 講 〉	
公 益 企 業 論	〈園 田 哲 男〉	306
經 營 管 理 史	〈前 田 和 利〉	306
日 本 經 營 史	〈大 島 久 幸〉	307
商 業 經 營 史	〈山 田 勝 勝〉	307
保 險 經 營 論	〈石 名 坂 邦 昭〉	308
銀 行 經 營 論	〈服 部 昌 久〉	309
商 業 經 營 論	〈 休 講 〉	
上 級 簿 記 論	〈床 井 睦 子〉	310
財 務 會 計 論	〈渡 邊 惠 一 郎〉	311
管 理 會 計 論	〈猿 山 義 広〉	311
會 計 監 査 論	〈阿 部 一 人〉	312
原 稅 務 會 計 論	〈 休 講 〉	
經 營 分 析 論	〈高 木 克 己〉	313
国 際 會 計 論	〈片 桐 伸 夫〉	314
情 報 會 計 論	〈 休 講 〉	
經 濟 政 策 論	〈飯 田 泰 之 昇〉	315
財 政 融 濟 論	〈速 水 尾 好 正〉	315
金 融 經 濟 論	〈寺 尾 好 智 則〉	316
日 本 經 濟 論	〈永 田 智 則〉	317
証 券 市 場 論	〈 休 講 〉	
計 量 經 濟 學 論	〈佐 藤 昇 良〉	318
イ ノ ベ ー シ ョ ン 論	〈 休 講 〉	
日 本 經 濟 史	〈北 島 万 次〉	320
情 報 処 理 応 用 Ⅱ	〈小 沢 利 久 秀〉	321
情 報 処 理 応 用 Ⅲ	〈宇 谷 明 秀 久〉	322
情 報 処 理 応 用 Ⅳ	〈小 沢 利 久 秀 久〉	323
情 報 処 理 科 論	〈宇 谷 明 秀 久〉	324
經 營 情 報 學 論	〈西 村 和 利 夫 久〉	325
經 營 情 報 學 論	〈小 沢 利 久 雄 典〉	326
シ ス テ ム 論	〈高 井 武 典 二〉	327
統 計 原 統 計	〈青 木 内 慎 二〉	328
經 營 統 計	〈山 長 國 強〉	329
		330

民法 I [総則・物権法]	〈大 宮 隆〉	331
商法 I [総則・会社法]	〈荒 木 正 孝〉	332
労働法	〈藤 本 茂〉	333
税 法	〈 休 講 〉	
演 習	II 〈明 石 博 行〉	334
演 習	II 〈阿 部 一 人〉	334
演 習	II 〈飯 田 哲 夫〉	335
演 習	II 〈石 名 坂 邦 昭〉	335
演 習	II 〈小 沢 利 久〉	336
演 習	II 〈各 務 洋 子〉	336
演 習	II 〈鹿 嶋 秀 晃〉	337
演 習	II 〈片 桐 伸 夫〉	338
演 習	II 〈兼 村 栄 哲〉	338
演 習	II 〈兼 村 栄 哲〉	339
演 習	II 〈近 藤 禎 夫〉	340
演 習	II 〈猿 山 義 広〉	341
演 習	II 〈鈴 木 幸 毅〉	341
演 習	II 〈高 井 徹 雄〉	342
演 習	II 〈高 木 克 己〉	342
演 習	II 〈高 田 光 明〉	343
演 習	II 〈滝 田 公 一〉	343
演 習	II 〈長 国 強〉	344
演 習	II 〈中 川 淳 平〉	344
演 習	II 〈中 村 公 一〉	345
演 習	II 〈永 田 智 則〉	346
演 習	II 〈西 村 和 夫〉	347
演 習	II 〈羽 鳥 茂〉	348
演 習	II 〈日 野 健 太〉	348
演 習	II 〈前 田 和 利〉	349
演 習	II 〈宮 城 徹〉	350
演 習	II 〈山 田 勝〉	351
演 習	II 〈渡 邊 惠 一 郎〉	351
民法 II [債権法]	〈上 井 長 久〉	352
商法 II [商行為、手形・小切手法]	〈島 原 宏 明〉	353
外書講読 (英書)	〈高 田 光 明〉	353
外書講読 (英書)	〈滝 田 公 一〉	354
外書講読 (英書)	〈日 野 健 太〉	354
外書講読 (独書)	〈百 濟 勇〉	355
外書講読 (仏書)	〈前 田 祝 一〉	355
外書講読 (中国書)	〈杉 山 静〉	356
外書講読 (スペイン書)	〈上 野 勝 広〉	356
外書講読 (ロシア書)	〈杉 山 秀 子〉	357
ビジネス英語	〈町 井 靖〉	357
特殊講義 (前期)	〈代 田 純〉	358
演 習	III 〈明 石 博 行〉	358
演 習	III 〈阿 部 一 人〉	359
演 習	III 〈石 名 坂 邦 昭〉	359
演 習	III 〈小 沢 利 久〉	359
演 習	III 〈各 務 洋 子〉	360

演	習	Ⅲ	〈各	務	洋	子〉	360
演	習	Ⅲ	〈鹿	嶋	秀	晃〉	361
演	習	Ⅲ	〈片	桐	伸	夫〉	362
演	習	Ⅲ	〈兼	村	榮	哲〉	362
演	習	Ⅲ	〈近	藤	禎	夫〉	363
演	習	Ⅲ	〈猿	山	義	広〉	363
演	習	Ⅲ	〈鈴	木	幸	毅〉	364
演	習	Ⅲ	〈高	井	徹	雄〉	364
演	習	Ⅲ	〈高	木	克	己〉	365
演	習	Ⅲ	〈滝	田	公	一〉	365
演	習	Ⅲ	〈長		国	強〉	366
演	習	Ⅲ	〈長	瀬	勝	彦〉	367
演	習	Ⅲ	〈永	田	智	則〉	367
演	習	Ⅲ	〈中	川	淳	平〉	368
演	習	Ⅲ	〈中	村	公	一〉	369
演	習	Ⅲ	〈西	村	和	夫〉	370
演	習	Ⅲ	〈羽	鳥		茂〉	371
演	習	Ⅲ	〈前	田	和	利〉	371
演	習	Ⅲ	〈宮	城		徹〉	372
演	習	Ⅲ	〈山	田		勝〉	373
演	習	Ⅲ	〈渡	邊	惠	一郎〉	373

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済学概説	はとり 羽鳥 茂	経営A1必	4

講義のねらい

本講義では、経済学の基礎知識の修得をめざします。前期ではミクロ経済学、後期ではマクロ経済学を主として扱います。現実の経済問題の理解にどのように経済学が応用されているかの観点から講義するつもりです。

講義の内容・授業スケジュール

1. 経済学の課題、2. 需要理論と消費者行動、3. 供給理論と企業行動、4. 市場機構、5. 市場の失敗、6. 国民所得決定理論、7. 財政政策、8. 金融政策、9. 景気循環理論、10. 経済成長論

履修上の留意点

授業中は他の受講生に迷惑が及ばないように、私語を慎み、携帯電話の電源を切るなど全員が授業に集中できるように心がけてください。

成績評価の方法

原則として学年末の定期試験で評価しますが、授業への出席も重視します。レポート提出を課すこともありますので、総合的な評価になることもあります。

教科書

幸村千佳良『経済学事始』（多賀出版）2,700円

参考書等

必要に応じて紹介します。

科
専
門
教
育

科目名	担当者名	配当学科	単位
簿記学	とこいむつこ 床井 睦子	経営A1必	4

講義のねらい

簿記学において主にその対象とされるのは企業の複式簿記です。経済の具体的担い手である企業は、人・モノ・カネそしてサービス（情報）からなります。そうした企業を資金という統一概念で捉え、その源泉と運用の二側面に着目し、勘定という特殊な様式でこれを記録・計算・表示するシステムが複式簿記と呼ばれ、かのゲータが複式簿記は人間の精神が発明したもっともすばらしいものの一つであると賞賛したものでもあります。本講義では、この複式簿記原理の理解を目的に、(1) 仕訳、(2) 転記、(3) 決算の基本部分を学習します。そして、貸借対照表・損益計算書に代表される財務諸表と関連させながら、企業の計数管理についても考えていきます。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期：Ⅰ. 「簿記学」の学習内容とガイダンス（年間計画、各種資格検定試験について）
Ⅱ. 企業会計と複式簿記システム－貸借対照表・損益計算書の意義、作成目的及び複式簿記との関連性
Ⅲ. 複式簿記システムの基礎（総論、簿記の目的と財務諸表）
1 複式簿記の原理とその記帳法（取引の二面認識、取引と勘定、仕訳と転記、仕訳帳と総勘定元帳）
2 決算手続（決算予備手続、決算本手続）
3 簿記の一巡（ビデオを併用し、今までの学習のまとめ）
後期：Ⅳ. 財務諸表作成の基礎（貸借対照表・損益計算書のディスクロージャー制度）
1 期中取引の処理（貸借対照表・損益計算書に関わる勘定各論）
2 決算と財務諸表（決算整理、帳簿締め切り、財務諸表の作成）
3 コンピューター会計（帳簿記入とコンピューターでの会計処理方法の相違）
Ⅴ. 財務諸表の分析と読み方－簡単な財務諸表分析と企業評価

履修上の留意点

“継続は力なり” 簿記学はその典型かも知れません。毎回の出席を期待しています。

成績評価の方法

前期と後期の2回の試験に平常点（出席点）を加味し、総合評価で行います。

教科書

床井睦子著『アカウントニングの基礎』（白桃書房）3,300円

参考書等

必要に応じて紹介していきます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
簿 記 学	いわ ぶち しやう こ 岩 渕 昭 子	経営A1必	4

講義のねらい

簿記とは、企業の経営活動を貨幣価値的に把握し、一定の記帳原理によって記録・計算・整理する方法です。今日、コンピュータによる会計処理が増えておりますが、その基本は複式簿記にあります。前期では、勘定各論を中心に、後期は、個人企業の決算手続きと財務諸表の作成まで学習します。

講義の内容・授業スケジュール

簿記は「手で考える学問」です。設例を実際に解くことが理解を早く深めます。講義の内容は次のとおりです。

- ① 簿記の基礎
- ② 商品売買の処理
- ③ 現金預金取引の処理
- ④ 手形取引の処理
- ⑤ 有価証券と固定資産の処理
- ⑥ その他の債権債務
- ⑦ 試算表の作成
- ⑧ 決算
- ⑨ 財務諸表の作成
- ⑩ 帳簿組織

履修上の留意点

簿記の学習は、記憶することよりもペンと電卓を片手に反復学習によって修得していくものと思います。可能な限り出席を心掛けて、経営学部の学生にとって重要な基礎的専門学問の一つである簿記学を身につけられることを期待いたします。

成績評価の方法

前期と後期の試験に平常点(出席・課題・小テスト)を加味して、総合評価により行います。

教科書

大橋信定編著『改訂版簿記基礎講座』(創成社) 1,500円

その他

必要に応じて紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
簿 記 学	たか だ みつ あき 高 田 光 明	経営A1必	4

講義のねらい

〔複式簿記〕

この授業では、企業が採用している簿記システムである複式簿記について学ぶ。
企業は、社会が必要とする財貨やサービスを生産し販売するという活動を営む報酬として、利益を獲得しようとする組織体である。このような活動では、機械、建物、原材料などの財貨が必要となるし、労働力も不可欠である。企業は、その活動を営むに際し、これらの財貨を取得しなければならないし、働き手も雇用しなければならないわけであり、そのために元手となる資本を必要とする。

この元手としての資本を集めることを、資本の調達という。そして、現金の状態では通常は調達する資本で、企業は、上記の財貨や労働力などを取得し、これらの生産要素により、新たな財貨やサービスを製品として生産し販売するという営業活動を遂行する。こうした営業活動として具体化しているのが、資本の運用活動である。生産した製品が社会に受け入れられ販売が順調に進めば、製品の販売により回収獲得されてくる資本は、生産要素の取得に投じた資本よりも増加している。企業の営業活動を通じた資本のこのような自己増殖分が利益である。他方、製品が期待したようには社会に受け入れられず販売が滞り、製品の販売により回収獲得されてくる資本が、生産要素の取得に投じた資本よりも少なく、営業活動で資本が減少してしまうこともある。このような資本の目減り分が損失である。

企業が資本調達活動や、購買・生産・販売という営業活動として観察される資本の運用活動を実施すると、企業資本が増減変化する。企業が資本を調達すれば、その資本を具体化している現金の増加という形をとって企業資本の有高がそれだけ増加する。調達資本で営業活動を遂行していくと、資本は調達時の現金の状態から、原材料や機械といった非現金資産に転換し、さらにはその姿を次々と変え、最終的には元の現金の状態に戻ってくる。そして、営業活動が順調に推移するならば、この過程を通じて資本は自己増殖しているという具合である。企業の諸活動に伴う以上のような資本の動きを把握するために必要とされるのが、複式簿記である。

〔大学における簿記学〕

簿記学は、大学における会計関係の科目を学ぶ基礎・出発点としての位置にある。簿記学のカリキュラム上におけるこのような性格に配慮し、この授業では、受講者が、会計関係の諸科目をこれから学んでいける発展性のある学力を身に付けられることを目指す。そのためには、複式簿記を理論的に理解できるようにする必要があるため、会計学との関連に留意しながら授業を行う。

講義の内容・授業スケジュール

この授業では、複式簿記について、その基本構造と、帳簿の開始記入時から決算手続きを経て帳簿の締切り手続きに至る一巡の主要手続きを、系統的に理解できるようになることをまず主眼とする。そこで、授業の前半では、次の順番で授業を進めていく。

1. 資本と資産
2. 勘定の記入
3. 取引の分解
4. 収益と費用
5. 仕訳と転記
6. 試算表
7. 精算表と財務諸表
8. 決算と決算手続

履修上の留意点

簿記の学習には、記帳練習が不可欠である。授業中にあるいは宿題の形で課す記帳練習のノルマを果たし、簿記の仕組みを言わば体得するという姿勢も大事である。

成績評価の方法

期末の筆記試験と、適宜提出を求める記帳練習問題を総合して評価する。

教科書

沼田嘉穂著『簿記教科書』（同文館）
同著『簿記教科書・記帳練習帳』（同文館）

参考書等

染谷恭次郎著『簿記の手ほどき』（日経文庫）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
簿 記 学	ざる やま よし ひろ 猿 山 義 広	経営A1必	4

講義のねらい

この講義では、会計学の初心者を対象として、日商簿記検定3級程度の商業簿記を学びます。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 第1章 簿記の基礎概念
- 第2章 資産・負債・資本と貸借対照表
- 第3章 収益・費用と損益計算書
- 第4章 取引と勘定
- 第5章 仕訳と転記
- 第6章 仕訳帳と総勘定元帳
- 第7章 試算表と精算表
- 第8章 決算手続
- 第9章 3分法による商品売買
- 第10章 仕入帳・売上帳・商品有高帳
- 第11章 現金と預金
- 第12章 有価証券
- 第13章 売掛金と買掛金
- 第14章 その他の債権・債務
- 第15章 手形
- 第16章 貸倒れと貸倒引当金
- 第17章 有形固定資産
- 第18章 資本金と引出金
- 第19章 税金
- 第20章 費用・収益の見越と繰延
- 第21章 試算表の作成
- 第22章 決算整理と仕訳の訂正
- 第23章 精算表の作成
- 第24章 帳簿組織と伝票会計
- 第25章 貸借対照表と損益計算書

履修上の留意点

「簿記学」は計算科目なので、かならず電卓を持参すること。

成績評価の方法

期末試験、夏季休業中のレポート、および平常点を考慮して、総合的に評価する。ただし、中心になるのは期末試験の結果である。

教 科 書

平松一夫編著『商業簿記3級テキスト〔改訂版〕』（税務経理協会）
平松一夫編著『商業簿記3級ワークブック〔改訂版〕』（税務経理協会）

科目名	担当者名	配当学科	単位
簿記学	小田 幹雄	経営A1必	4

講義のねらい

簿記を初めて学ぶ学生のために設けられた基礎知識を理解してもらうクラスです。簿記は日常の経済活動の状態を数値的に把握し、記録するための大切な手段であるので、本講座では「簿記とはどのようなものか」ということを認識してもらうために、プリントや練習問題により、簿記学習の基礎である資産・負債・資本の概念、収益・費用の意味について理解してもらいたい。また、勘定科目の意味を理解し、簿記一連の流れである仕訳・転記・試算表・決算修正・決算等についての基本的問題について正確に理解してもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義の内容は次のようになります。

- I 複式簿記の原理：複式簿記の計算構造・簿記一巡の手順
- II 期中取引の処理：現金預金、商品売買、売掛金・買掛金、受取手形・支払手形
- III 決算に必要な処理：決算修正仕訳・残高試算表の作成など
- IV 帳簿処理の合理化：伝票制度、(コンピューター簿記)

履修上の留意点

簿記の学習は「自分自身がペンと電卓をもって練習問題を数多く解くこと以外にはない」と私の教育方針から、練習問題を解かせるし、テストや宿題を出すこともある。テスト用紙は必ず提出すること。出欠席のチェックは毎回行う。

成績評価の方法

講義時のテストおよび、宿題の点数を合計し、更に、定期試験の点を加算し、再び平均点を出して評価する。そのため、講義中のテストや宿題の未提出者は当然平均点が下がることになるから注意をすること。

教科書

羽淵信宏監修『簿記テキスト—商業簿記—初級編』(共栄出版) 2,000 円程度
中村義彦編著『基本簿記演習』(プレスウェーヴ) 1,524 円

参考書等

鶴飼哲夫・中村義彦著『簿記イントロダクション』(森山書店) 2,625 円

科専門教育
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
簿 記 学	おお の まん な 大 野 満 奈	経営A1必	4

講義のねらい

簿記は会計学の基本であり、複式簿記の計算構造は、会計学のどの分野を学ぶにしても前提的に理解されることが必要である。この意味において、簿記の基本原則を理解し、経営学部に学ぶ者が最低必要とされる簿記知識を修得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

前 期

1. 簿記・会計の意義と目的
2. 企業の財政状態—貸借対照表
3. 企業の経営成績—損益計算書
4. 取引と仕訳
5. 勘定記入と元帳の締め切り
6. 帳簿・伝票・証ひょう
7. 試算表の作成 (1)
8. 精算表の作成 (1)
9. 現金・預金
10. 小口現金
11. 商品売買の処理と仕入帳・売上帳
12. 総合復習
13. 総合復習

後 期

1. 商品有高帳
2. 売掛金・買掛金と人名勘定
3. 有形固定資産の取得と売却
4. 資本金と引出金
5. 試算表の作成 (2)
6. 売上原価の計算と決算仕訳
7. 貸し倒れの見積りと減価償却
8. 精算表の作成 (2)
9. 有価証券
10. 手形取引
11. 費用・収益の見越しと繰り延べ
12. 精算表の作成 (3)
13. 総合復習

履修上の留意点

簿記は自分で練習問題を解き、照合することによって初めて修得できるものであるから、原則として毎回出席して要点を理解し、自宅では毎回の復習に心掛けること。また、疑問点は、積極的に質問することによって早期に解決しておくこと。

成績評価の方法

試験の点数・出席回数・提出物の三点をもって総合的に評価する。

教 科 書

『要点整理 日商簿記検定練習問題集』3級 (一橋出版)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 学	か しま ひで あき 鹿 嶋 秀 晃	10以降入学生/経営A1必 9以前入学生/経営A2必	4

講義のねらい

「経営学とはどのような学問なのか」をわかりやすく解説し、一年間の講義を通じて、各受講者が「経営学を学ぶことのおもしろさ」を発見できることを目指します。経営学の最新のトピックスや、TVや新聞で見る経済経営のニュースを幅広く取り上げ、学問としての経営学と現実の企業経営との接点をさぐります。経営学のおもしろさを少しでも実感してもらえるよう授業を進めていきます。経営学の基礎的な専門用語・概念・理論を一通り理解した上で、2年次以降の専門科目を主体的に選択し、特定の専門領域を深めるための足がかりにしてもらいたいと願っています。

講義の内容・ 授業スケジュール

講義のサブテーマは以下の通り。

- ・経営学とは
- ・社会科学とは
- ・企業とは
- ・企業形態論
- ・経営組織論
- ・経営管理論
- ・経営戦略論
- ・経営学史
- ・マーケティング論
- ・生産管理論
- ・経営労務論
- ・日本的経営論
- ・国際経営論など

講義スケジュールについては、ホームページで公開します。

履修上の留意点

出席点なし。私語や携帯電話など授業進行や他受講生の邪魔をする者は即刻退室させます。ひどい場合は単位認定をしません。

成績評価の方法

出席点なし（授業中に提出してもらった質問票等は成績評価に一切考慮しません）。「レポートと筆記試験」の2つの合計点によって成績を評価します。

教科書

特に指定しません。板書とプリントを中心とした講義形式を取ります。

参考書等

日経産業新聞編『2003年版市場占有率』日本経済新聞社、2002年10月発行（レポート作成時の自習用テキストです。必ず購入のこと。4月講義開始時にもう1冊追加します）。その他の参考文献は講義の中で適宜紹介します。

その他

初回講義には必ず出席のこと。資料&課題集（1000円）を販売します。代金持参のこと。ホームページでも、授業に関する情報を提供します。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kashima/index.html>

科目名	担当者名	配当学科	単位
会計学	近藤 禎夫 こん とう きた お	14以降入学生/経営A1必 13以前入学生/経営A2必	4

講義のねらい

普通、企業会計というときそれは財務会計を指す。財務会計は、商法、証券取引法、および法人税法などの法律制度に拘束されるので制度会計ともいう。また、企業とりわけ独占大企業は、企業活動の詳細を会計数値によって利害関係者(経営者はいうまでもなく、株主、投資家、税務当局等々)に報告・開示が義務づけられており、公表会計ないし外部報告会計とも称したりする。

会計学および会計実務も、21世紀の企業を取り巻く国際的な政治情勢・経済情勢の劇的な変化にともない、日本の証券・金融市場や経済界全般が国際会計基準に調和せざるを得なくなってきた。まさに幕末の黒船出現のように、わが国に金融ビッグバンとともに会計ビッグバンをもたらした。例えば、企業グループ全体の業績を重視した連結財務諸表およびキャッシュフロー計算書の導入、年金制度の変革と退職給付会計、金融派生商品会計(デリヴァティブ)、税効果会計の導入等々と枚挙にいとまがない。

前期においては、初心者を対象にした財務会計の基本的な仕組みや会計制度の概要を講義する。それをふまえて、後期には最先端の日本の現代会計制度およびとくに注目すべき上記の個別問題に取り組むように計画している。

講義の内容・授業スケジュール

[会計の基本構造]

1. 会計の対象と方法
2. 会計の歴史
3. 企業の計算構造と複式簿記
4. 貸借対照表と損益計算書、利益処分計算書

[企業会計制度]

5. 日本の企業会計制度の特質
6. 商法、法令による企業会計制度
7. 証券取引法による企業会計制度
8. 財務情報の開示と監査制度

[会計の国際化と会計制度の変革]

9. 連結財務諸表の計算書
10. キャッシュフロー計算書
11. 退職給付会計
12. 金融商品・金融派生商品会計
13. 国際会計基準・米国会計制度

履修上の留意点

1年次生は簿記学をしっかり履修しつつ受講すること。また2年次生も簿記学の知識は必ず必須要件であり、さらに商法などの履修をすることが望ましい。

成績評価の方法

夏季休暇前の中間試験(またはレポート)ならびに学年末試験(とくに重視)により評価する。必修科目なので真剣に受講して頂きたい。

教科書

遠藤孝・近藤禎夫他著『会計学』(改訂版)(森山書店)2000年 3,500円
*教科書は、原価計算論の講義でも使用するので、受講者は重複しないよう注意。

参考書等

中央経済社編『会計法規集』最新版(2003年7月頃発売)
その他の参考書および参考文献は、随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 原 論	あか し ひろ ゆき 明 石 博 行	経営 A 2 選必	4

講義のねらい

資本制の経済社会（資本制社会）を対象とする経済社会学の基礎理論について、入門的な講義をします。講義では、近代から現代にかけて生まれ発展し変化してきた、そして現在わたしたちがそのなかで日々暮らしている資本制社会をめぐる、どのような経済的な仕組みと運動法則がそこにあるのか、個々の国や社会における思想・法律・政策などは資本制の経済によってどのように規定されるのか、資本制の国々や社会の思想・法律・政策などの相対的な独自性は経済にどのような影響を与えるのか、といった問題に取り組みます。この取り組みをつうじて、わたしたちの社会生活を支えている経済の仕組みや、わたしたちの社会行動を支配し規制している法則の基礎について、科学的かつ系統的な理解を得られるよう援助することが、本講義の目的であり課題です。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、序論的な解説を行う序章ののち、7つの章からなる本論の第1章から4章までに重点をおいて進めます。

序章では、経済社会と経済社会学に関する基礎的な解説をします。予備的知識の修得をめざし、人類社会の特徴である経済を土台とする社会構成の把握、人類史におけるさまざまな経済社会の興亡と区分、経済社会学の研究史の概要など、資本制の経済社会を理解するうえでの基礎となることがらを説明するのです。

第1章では、市場と個人について説明します。本章では、市場はどのような生産の様式を基礎として発生し発展するのか、市場で売買される商品とはどのようなものなのか、商品が発生し発展するとともに貨幣が発生し発展するのはなぜなのか、貨幣はどのような機能をもつものなのかを説明します。また、市場で貨幣を仲立ちとする商品の売買がなされることを基礎として、自立した所有者としての私的個人という人間類型と市民社会が形成され発展してくることに ついても説明します。

第2章では、資本としての貨幣の運動について説明します。本章では、資本および資本家とは何か、資本としての貨幣の運動が可能となるための条件は何かを探求し、労働力の商品化が市場の一般化と近代的な資本発生条件であることを明らかにします。

第3章では、労働と資本について説明します。資本制社会は、資本としての貨幣を投ずる階級に属する人々が、労働をしなければならない階級の人々の労働力を商品として市場で買い、生産の過程でその労働力を使用し、最初に投じられた資本価値を越える剰余価値を獲得することによって成立します。階級社会としての資本制社会の法則や制度はこの仕組みを基礎として生まれ発展し変化することを、本章で明らかにします。

第4章では、資本の再生産と蓄積について説明します。資本の再生産とともに階級関係の再生産および階層の分化・再編がなされること、資本の蓄積により資本制の経済社会が発展し変化してゆくことを、この部分で論じます。

資本の流通の問題を扱う第5章、資本と利潤の問題を扱う第6章、資本の諸姿態の問題を扱う第7章については、十分な説明はできません。しかし、第4章までの関連部分と最後の部分で、これらの諸章で論ずべきことについても簡単に言及する予定です。

履修上の留意点

講義に出席して、ノートをとる必要があります。

成績評価の方法

講義のさいに適時提出してもらったレポートと年度末の定期試験の結果を総合的に判断し、評価をします。

教科書

教科書は使用しません。しかし、適時プリントを配布し、講義を理解できるよう援助します。参考書等は講義のさいに紹介します。

科 専 門 教 育 目 録

科目名	担当者名	配当学科	単位
近代経済学	たき た こう いち 滝田公一	経営A2選必	4

講義のねらい

産業組織論の入門的講義を行います。産業組織論は、企業や産業についての経済学的に分析する学問です。本講では、経営学や会計学を学ぶ際に役立つであろうと思われる補完的知識を与えることを目的としています。

講義の内容・
授業スケジュール

- 講義内容は以下のとおりです。
- (1) 産業組織論とは？
 - (2) 厚生経済学入門
 - (3) 企業の理論
 - (4) 支配的企業と市場支配力
 - (5) 価格差別
 - (6) 製品の品質と市場支配力
 - (7) ゲーム理論Ⅰ
 - (8) 古典的寡占理論
 - (9) ゲーム理論Ⅱ
 - (10) 寡占の動的理論
 - (11) 製品差別化
 - (12) 企業の戦略的行動
 - (13) 参入障壁
 - (14) 研究・開発投資
 - (15) 略奪的価格付け
 - (16) 垂直統合と垂直制約
 - (17) 水平合併
 - (18) 企業規制の諸問題

履修上の留意点

初級のミクロ経済学の知識があると、便利ですが、授業で必要な場合は、逐一説明しますので、必ずしも必要ではありません。なお、関連科目としては、統計原論、計量経済学、経営数学などが上げられます。

成績評価の方法

成績評価は、学年度末試験によります。

教科書

教科書は、特に指定しません。

参考書等

初級のミクロ経済学の知識については、
 倉澤資成、『入門価格理論』（日本評論社）
 伊藤元重、『ミクロ経済学』（日本評論社）1992年
 などを参照されるとよいでしょう。
 産業組織論の参考書として、次のものを挙げておきます。
 新庄浩二編、『産業組織論』（有斐閣ブックス）1995年
 長岡貞男・平尾山紀子、『産業組織の経済学』（日本評論社）1998年
 ロジャー・クラーク、『現代産業組織論』（多賀出版）1989年
 Carlton, D. and J. Perloff, (1994) *Modern Industrial Organization, Second Edition* Harper Collins,
 Scherer, F. and D. Ross, (1990) *Industrial Market Structure and Economic Performance Third Edition*, Houghton-Mifflin.

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経営科学概論	飯田哲夫	経営A2選必	4

講義のねらい

企業経営上の諸問題を解決するための科学的方法論について学ぶ。高品質の製品・サービスを提供する効率的で生産性の高い企業経営を行うために、種々の経営管理技術が発達してきている。本講義では、それらの中で代表的なものであるOR(オペレーションズ・リサーチ)、IE(インダストリアル・エンジニアリング)、QC(品質管理)を主に取り上げ、基本的な理論と方法を概説する。本学部において学ぶ経営科学系科目の基礎を習得することを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では、経営科学と経営工学の両分野の内容を扱う。科学的アプローチか工学的アプローチかの違いはあるが、両者とも効率的な経営活動のための問題解決および意思決定を支援することを目的としている。

講義内容は、経営科学・経営工学の概略、対象とする諸分野および種々の管理手法の3つに大別される。講義は一つ一つの対象分野および管理手法の詳細に立ち入ることなく、広く経営科学・経営工学を概説する。経営科学・経営工学の扱う分野と管理手法は互いに密接に関係しているため、両者の関係が分かるように適宜関連付けて説明を行っていく。

1. 経営科学・経営工学の概略

経営科学・経営工学とは、問題発見と解決のプロセス

2. 経営科学・経営工学の扱う分野

- ① 生産管理(生産計画、在庫管理、H程計画)
- ② 品質管理(品質の作り込み、品質保証、TQC・TQM)
- ③ 財務・資産管理(投下資金の経済性評価)
- ④ 販売管理(マーケティング活動・計画)

3. 経営科学・経営工学の管理手法

- ① オペレーションズ・リサーチ(線形計画法、在庫モデル、PERT・CPM、シミュレーション)
- ② データ解析(需要予測手法、回帰分析)
- ③ 経済性工学(損益分岐点分析、資金の時間的価値、設備投資案の経済計算)
- ④ 品質管理手法(QC7つ道具、統計的品質管理)
- ⑤ インダストリアル・エンジニアリング(作業研究、作業測定)

履修上の留意点

経営科学・経営工学の手法を理解するには、ある程度、数学的知識や抽象的概念に慣れる必要がある。これらについては、適宜講義中に補足説明を行っていく。また、理解を深めるには講義の積み重ねが大切であるので、毎回出席してノートを取ること。

成績評価の方法

前期・後期それぞれに数回小テストを行う。必要に応じてレポートの提出を求めることもある。それらの成績を年度末の筆記試験に加味して評価する。

教科書

特に指定しない。プリントを適宜配布する。

参考書等

講義中に適宜紹介していく。

その他

〔関連科目〕経営数学、経営科学、経営情報論、情報理論、経営統計、統計原論を先に履修しておくことが望ましい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 数 学	飯 田 哲 夫	経営A1・2・3・4選	4
		14以降入学生/経営B1・2・3・4選	

講義のねらい

企業経営上の諸問題を扱う際、問題を定量的に分析したり、合理的な意思決定を行うために数理的な方法論を用いることがしばしばある。また、近年の情報化の発展に伴い、多種大量のデータを収集し、企業経営に活用することが容易になっており、そのための情報利用技術もまた発展してきている。

合理的な意思決定を支援する方法論や情報利用技術については、経営科学や経営情報学といった専門科目で学ぶことになるが、それらを理解する上で、ある程度の数学的素養があることが望ましい。

この講義では、経営科学や経営情報学、そして、その他の経営学関連の専門科目に関係する数学的知識のみを対象とし、数学をあまり得意としない人でも理解できるように、応用例を交えて、数学がどのように用いられるのかを具体的に紹介しながら基礎的なことから講義を進めていく。

講義の内容・授業スケジュール

講義は高校で習った数学の復習を含めて基本的な内容から始め、微分および線形代数を扱う。具体的には以下の内容を予定している。

1. 1次関数、2次関数
2. 分数関数、指数関数
3. 数列、極限
4. 微分法とその応用
5. 多変数関数、多変数関数の微分とその応用
6. ベクトル、行列、逆行列
7. 連立1次方程式、連立1次不等式
8. 確率の基礎

ただし、応用例などを紹介するにあたり、関連性の強いいくつかの内容をまとめて説明することもあるため、必ずしも上記の順番で講義を行うものではない。

履修上の留意点

講義では理解を助けるために例を用いて説明を行うけれども、数学を学ぶ上では、抽象的な概念に慣れることが必要であり、かつ、講義の積み重ねを経ないと理解できないことも多いため、毎回出席すること。

成績評価の方法

前期・後期それぞれに数回小テストを行う。必要に応じてレポートの提出を求めることもある。それらの成績を年度末の筆記試験に加味して評価する。

教科書

特に指定しない。プリントを適宜配布する。

参考書等

講義中に適宜紹介する。

その他

〔関連科目〕 経営科学概論、経営科学、経営情報論、情報理論、経営統計、統計原論

専
門
教
育
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情報処理基礎(前期)	かわちや さちこ 河内谷 幸子	経営A1・2・3・4選	2

講義のねらい

この講義のねらいは、様々な情報の中から自分に必要な情報を取得し、自分なりの表現へと加工して発信する力を身につけることです。

講義の内容・授業スケジュール

毎回、1人1台コンピュータを使って実習を行います。初心者者を前提として、パソコンの電源の入れ方からはじめます。その後、タイプ練習、日本語入力、ホームページ検索、ワープロソフト、プレゼンテーションソフトの使い方などを実習していきます。

履修上の留意点

コンピュータ実習授業は1回休むと次の実習内容がわからなくなるので、休まないようにしましょう。出席は必ずとります。

成績評価の方法

出席を重視します。コンピュータを使って解くレポート課題を2~3回出し、その結果と出席点で成績を評価します。

教科書

4月の最初の授業で指示します。

参考書等

その都度授業で指示します。

その他

1人1台コンピュータを使った実習形式です。

〔クラス定員〕60名

〔関連科目〕経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論

※この科目は4月初旬に事前登録の申請をしなければ履修できません。

科 専
目 門
教 教
育 育

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情報処理基礎(前期)	かとう たけのぶ 加藤 武信	経営A1・2・3・4選	2

講義のねらい

情報化社会の電子文房具であるパソコンは、個人レベル、組織レベルおよび社会レベルで益々必要性を増している。ここではパソコンの原理とその活用法の基礎部分を総合的に学習し、それを自在に使用して、インターネットを用いた情報検索やワープロによる文書の作成、表計算によるデータ加工の技法などを修得する。パソコンの実習環境は、Windowsを用いる。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) コンピュータの仕組みと Windows の基本操作
アクセサリとペイントの活用、タイピング、ファイルシステムの操作を含む
- (2) ワープロソフト Word による文書作成
日本語入力、手紙、納品書、履歴書などの作成、図形描画の活用
- (3) 表計算ソフト Excel による作表・作図(基本レベル)
売上集計、成績処理と各種グラフ、納品書、履歴書、精算表の作成
基本関数、論理関数、データベースの活用
- (4) インターネットと電子メールの活用
Web ページの検索、ダウンロード、メールの送受信など

履修上の留意点

パソコン実習が全体の80%を占めるので、欠席せず、熱意をもって受講することを望む。習熟するためには、時間外のパソコン実習が必須である。また、テキストや配布教材を熟読しなければならない。

成績評価の方法

出席、レポートおよびテストにより評価する。

教科書

加藤武信他『コンピュータ活用』(サンウェイ出版)2,300円

その他

授業の方法：パソコン実習

〔クラス定員〕60名

〔関連科目〕経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論

※この科目は4月初旬に事前登録の申請をしなければ履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情報処理基礎(前期)	じ びき まさ ひろ 地 引 昌 弘	経営A1・2・3・4選	2

講義のねらい

本講義では、経営の様々な場面で出会う意思決定やその問題解決の手段として、コンピュータを自分自身で活用できるための基礎の習得を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

- ・イントロダクション
講義内容概説／情報教育センターに関するオリエンテーション／コンピュータ科学と経営学について（プロローグ）
- ・コンピュータの構成と基本操作
初めてコンピュータに触れる人が戸惑わないために、コンピュータを使う上での最初の一步から説明を始める。続いて、基本的な入力装置であるキーボードおよびマウスの操作に慣れることを目標に、ワープロソフトを用いた文書の作成を行なう。
- ・ホームページによる情報発信
電子メールを用いたコミュニケーションやWWWブラウザを用いた情報収集、最後に自らのホームページを作成して情報を発信できることを目指す。

履修上の留意点

本講義は、コンピュータの初心者が、コンピュータを補助として利用できるようになることを、そして何か問題が起きた場合でも自分自身で対処を行なえるようになることを最終的な目標にしています。
従って、上記の基本スケジュールと並行して、適宜コンピュータに関する様々な知識や最新情報なども解説していく予定です。
また、この目標に向けてのどのような質問／疑問でも大いに歓迎致します。

成績評価の方法

まずは、上記に述べた本講義の趣旨より、単位の取得だけが目的の者は遠慮していただきたい（出席免除などは認めない）。
実習が中心なので、基本的には毎回出席し、出席の確認として実習内容を提出させることを予定している。また、実習の状況に応じて課題を提出させる場合がある。
期末には、履修を終えた項目を応用したレポートを提出させる。
成績評価は、出席および課題／レポートを統合して行なう。

そ の 他

教科書などは特に指定しないが、必要に応じて各項目ごとの参考図書を紹介する。状況が許せば、コミュニケーション手段の一つとしてE-mail（電子メール）を利用する予定。
〔クラス定員〕 60名
〔関連科目〕 経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論
※この科目は4月初旬に事前登録の申請をしなければ履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情報処理基礎(前期)	と お や ま ま さ お 遠 山 正 朗	経営A1・2・3・4選	2

講義のねらい

本講義の目的は、大学生として必要不可欠なコンピュータの活用能力を身に付けてもらうことである。その活用能力とは、コンピュータを単体で活用する能力、コンピュータをネットワーク上で活用する能力の2つに大別できるのであるが、それらを着実に習得できるよう、コンピュータの基本的な使い方から始めて、企業に関する情報の収集・処理などの応用的な使い方の導入まで、段階的に学習していく。

講義の内容・
授業スケジュール

予定している講義内容は以下の通りである。

- 1 コンピュータの基本的な使い方
- 2 Windowsの基本操作
- 3 インターネットの基礎
- 4 ワードプロセッサによる文書作成
- 5 表計算ソフトによるデータ処理

履修上の留意点

授業は、コンピュータを使用した実習によって進め、各回ごとに授業内容に応じた演習を課すので、遅刻、欠席をしないように努めること。

成績評価の方法

出席・演習課題(毎回実施) 50%
レポート 50%

教 科 書

特に指定しない。必要に応じてレジユメ等を配布する。

参 考 書 等

授業時間中に適宜紹介する。

そ の 他

〔クラス定員〕60名
〔関連科目〕経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論
※この科目は4月初旬に事前登録の申請をしなければ履修できません。

科 専 門 教 育
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情報処理基礎(前期)	やま した ひで あき 山 下 英 明	経営A1・2・3・4選	2

講義のねらい

コンピュータは企業経営にとってすでに欠かすことの出来ないものとなっており、最近のインターネットの普及により、いち早く情報を集めるための道具として、ますますその必要性は増えていく。

本講義では、コンピュータの基本的な使用方法から始めて、コンピュータを使って以下に情報を処理し、それを表現し、書類やプレゼンテーションの形として作成していくかを解説していく。

講義の内容・授業スケジュール

1. コンピュータの基本的な使用方法
電源の入れ方からはじめ、タイピングの練習をおこなう。また、基本的なコンピュータ用語について解説する。
2. ワードプロセッサによる文書の作成法
日本語ワードプロセッサを用い、文書の作成技法について学ぶ。
3. 表計算ソフトによるデータの処理と視覚化
いろいろなデータを用い、そのデータにどのような意味が隠されているのかを探るため、表計算ソフトを用いて、どのように処理をすればいいか、また、その結果をどのように表現すればいいかについて学ぶ。
4. プレゼンテーションソフトによる発表方法
プレゼンテーションソフトを使い、3. で作成した表やグラフを使って効率よく、美しく、わかりやすく発表するかについてまなぶ。マルチメディアによるプレゼンテーションについてもふれていく。
5. インターネットについて
インターネットとは何か、どのようなことが出来るのかなど、インターネットの現状と将来について、電子メール、ワールドワイドウェブ(WWW)を中心に解説をしていく。
6. その他
時間が許す範囲で、これらのソフトをどのように作成するかについて、いくつかのプログラミングの手法について解説していく。

履修上の留意点

実習科目であるので、必ず出席すること。毎回簡単なレポートを提出することを義務付ける。また、講義の最初の時間説明をし、その後実習をするので、遅刻もしないこと。

成績評価の方法

講義時間内に提出する演習課題 50%
2, 3回のレポート 50%

教科書

教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布する。

その他

〔クラス定員〕60名
〔関連科目〕経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論
※この科目は4月初旬に事前登録の申請をしなければ履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報処理基礎(前期)	依田 聖 <small>よだ きよし</small>	経営A1・2・3・4選	2

講義のねらい

コンピュータなしでは社会生活を遂行してゆくことは困難になりつつある。コンピュータの基本的な操作方法をマスターする中で、コンピュータの機能について理解し、情報を大学生活に活用する能力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

大学あるいは企業でPCを道具(情報収集、情伝達、レポートの作成等)として使う基本的な力(コンピュータ・リテラシー)を養う。演習を中心に進めるが、コンピュータ化の問題点と情報倫理等の講義も行う。演習の主要な点は①PCの操作(Windowsの基本操作)②WWW(ブラウザの使用法、情報検索・収集)③電子メール(送受信、添付ファイル、アドレス帳)④ワープロ(操作法、文書作成、印刷)

履修上の留意点

本科目は理科系の科目であり積み重ねが必要。欠席すると次が分からなくなる。休まず、遅刻はしないことと(出欠は必ずとる)。わからないことは恥ずかしがらず聞き、その場で解決のこと。また復習をしっかりすること。演習は結果としてハードなものになるので熱意を持って取り組むこと。

成績評価の方法

出席(毎回の課題を提出)50%、レポート50%。特にメールを習った後は毎回の課題はメールで提出する。

教科書

太田忠一編『文科系のためのコンピュータリテラシ』(サイエンス社)1997年 2,200円

その他

〔クラス定員〕 60名
〔関連科目〕 経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論
※この科目は4月初旬に事前登録の申請をしなければ履修できません。

科 専
目 門
教 教
育 育

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報処理応用I(後期)	河内谷 幸子 <small>かわちや さちこ</small>	経営A1・2・3・4選	2

講義のねらい

この授業のねらいは、自分の持つ情報のよりよい表現方法を学ぶことです。また、将来的に全く新種のソフトが世間的に普及するような場合が生じても適応できるように、積極的に新しいものに取り組む姿勢を身につけることも目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

毎回、1人1台コンピュータを使って実習を行います。「情報処理基礎」履修者または同等の基礎力を持つ者を対象とします。表計算ソフト、自分のホームページ作りなどを実習します。

履修上の留意点

「情報処理基礎」をあらかじめ履修しておくことをすすめます。また、コンピュータ実習授業は1回休むと次の実習内容がわからなくなるので、休まないようにしましょう。出席は必ずとります。

成績評価の方法

出席を重視します。コンピュータを使って解くレポート課題を2~3回出し、その結果と出席点で評価します。

教科書

4月の最初の授業で指示します。

参考書等

その都度授業で指示します。

その他

1人1台コンピュータを使った実習形式です。
〔クラス定員〕 60名
〔関連科目〕 経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論
※この科目を履修するためには、「情報処理基礎」の4月初回授業時に担当教員の受講許可を得た上で、履修登録してください。「情報処理基礎」への事前登録申請のみでは履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情報処理応用 I (後期)	かとう たけのぶ 加藤 武 信	経営A1・2・3・4選	2

講義のねらい

「情報処理基礎」の授業で確立したパソコンに関する知識・技術をさらに発展させ、実社会で応用できる活用能力に高める。すなわち Excel による応用処理と PowerPoint を用いたプレゼンテーション、さらに関係データベース Access を活用した「仕事の仕組み」の具体化を試みる。パソコンの実習環境は、Windows を用いる。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 表計算ソフト Excel による応用処理
データベース応用、ピボットテーブルの活用、各種計算モデルの活用、管理資料の作成
- (2) プレゼンテーションソフト PowerPoint によるデータの視覚化
表題、箇条書き、組織図、表、グラフ、挿絵入りスライドなどの作成
- (3) データベースソフト Access による成績処理業務の設計と処理
テーブルの設計、フォームによるデータ入力、テーブルの結合、クエリによる各種集計、SQL の基礎

履修上の留意点

パソコン実習が全体の 80% を占めるので、欠席せず、熱意をもって受講することを望む。習熟するためには、時間外のパソコン実習が必須である。また、テキストや配布教材を熟読しなければならない。

成績評価の方法

出席、レポートおよびテストにより総合評価する。

教 科 書

加藤武信他『コンピュータ活用』（サンウェイ出版）2,300 円

参 考 書 等

加藤武信他『プログラムとシステム演習』（サンウェイ出版）1,800 円

そ の 他

授業の方法：パソコン実習
〔クラス定員〕60 名
〔関連科目〕経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論
※この科目を履修するためには、「情報処理基礎」の 4 月初回授業時に担当教員の受講許可を得た上で、履修登録してください。「情報処理基礎」への事前登録申請のみでは履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情報処理応用 I (後期)	じ びき まさ ひろ 地 引 昌 弘	経営A1・2・3・4選	2

講義のねらい

本講義では、コンピュータの操作方法を単に習得するだけに偏らず、コンピュータ自体の知識や経営における実際の問題などに対応させながら、意思決定／問題解決の手段として活用できる能力の習得を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

- ・表計算の基本
経営の場における情報分析に際して、ワープロ以上に重要なツールである表計算ソフトに慣れることを目標に、代表的な表計算ソフトである MS-EXCEL を利用した表計算やグラフの作成、基礎的な統計分析などの各機能について学ぶ。
- ・オフィス統合ツールの基本
表計算ソフトの基礎的な利用方法をベースに、より実践的な経営の問題への応用を目指す。まずは、ワープロソフトやデータベースソフトとの連携を目標に、作成したグラフを文書に組み込んだり、データベースからデータを取り出して解析を行なう技術を習得する。
最後に、表計算ソフト上の簡易プログラミング機能であるマクロを利用して、各オフィスツールを統合した環境における応用方法について学ぶ。
- ・コンピュータの応用
コンピュータを自分自身で使いこなせることを目標に、プログラミングやアーキテクチャ、トラブル時の処理などコンピュータへの理解を深めるための実習／解説を行なう。まずは、簡単なプログラムを自分で開発できることを目指して、オフィス統合ツール上で利用される Visual Basic を対象にプログラミングの基礎を習得する。続いて、複雑なプログラムを作成するための作法や実際のデバッグ手法を学ぶ。最後に、OS やネットワークの仕組みについて解説を行ない、今後コンピュータを独力で使いこなしていける能力の習得を目指す。

科 専 目 門 教 育

履修上の留意点

本講義は、情報処理基礎の履修者が日常の活動にコンピュータを自在に活用できることを最終的な目標にしています。

従って、上記の基本スケジュールと並行して、適宜コンピュータに関する様々な知識や最新情報なども解説していく予定です。また、この目標に向けてのどのような質問／疑問でも大いに歓迎致します。

成績評価の方法

まずは、上記に述べた本講義の趣旨より、単位の取得だけが目的の者は遠慮していただきたい（出席免除などは認めない）。

実習が中心なので、基本的には毎回出席し、出席の確認として実習内容を提出させることを予定している。

また、実習の状況に応じて課題を提出させる場合がある。

期末には、履修を終えた項目を応用したレポートを提出させる。

成績評価は、出席および課題／レポートを統合して行なう。

そ の 他

教科書などは特に指定しないが、必要に応じて各項目ごとの参考図書を紹介する。状況が許せば、コミュニケーション手段の一つとして E-mail (電子メール) を利用する予定。

〔クラス定員〕60名

〔関連科目〕経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論

※この科目を履修するためには、「情報処理基礎」の4月初回授業時に担当教員の受講許可を得た上で、履修登録してください。「情報処理基礎」への事前登録申請のみでは履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情報処理応用 I (後期)	と お や ま ま さ お 遠 山 正 朗	経営A1・2・3・4選	2

講義のねらい

本講義の目的は、前期開講の情報処理基礎とあわせ、大学生として必要不可欠なコンピュータの活用能力、すなわち、コンピュータを単体で活用する能力と、コンピュータをネットワーク上で活用する能力を身に付けてもらうことである。それらを着実に習得できるよう、コンピュータの基本的な使い方の確認から始めて、企業に関する情報の収集・処理などの応用的な使い方、そして処理した情報の発信の仕方まで、段階的に学習していく。

講義の内容・授業スケジュール

予定している講義内容は以下の通りである。

- 1 プレゼンテーションソフトによる資料作成
- 2 表計算ソフトによるデータの応用的処理
- 3 インターネットの活用による情報収集・処理
- 4 情報発信のためのホームページ作成

履修上の留意点

授業は、コンピュータを使用した実習によって進め、毎回ごとに授業内容に応じた演習を課すので、遅刻、欠席をしないように努めること。

成績評価の方法

出席・演習課題（毎回実施）50%
レポート50%

教 科 書

特に指定しない。必要に応じてレジュメ等を配布する。

参 考 書 等

授業時間中に適宜紹介する。

そ の 他

〔クラス定員〕60名
〔関連科目〕経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論
※この科目を履修するためには、「情報処理基礎」の4月初回授業時に担当教員の受講許可を得た上で、履修登録してください。「情報処理基礎」への事前登録申請のみでは履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情報処理応用 I (後期)	やま した ひで あき 山 下 英 明	経営A1・2・3・4選	2

講義のねらい

Excel VBA (Visual Basic for Applications) は、Excel のマクロを記述するためのプログラム言語で、VBA を使ってプログラミングを行うと、Excel をより高度なソフトとして使用することができる。本稿では、Excel の操作は知っているけれど、プログラミングの経験はないという学生を対象にして VBA 習得の基礎となる概念から重要なプログラミング技術までを、アプリケーションを作成しながらわかりやすく解説する。

講義の内容・
授業スケジュール

1. VBA の基礎知識 (3 回)
VBA プログラミングを学習するときに、基礎知識として欠かすことのできない要素である「オブジェクト」、「イベント・ドリブン・プログラミング」、「オブジェクト指向プログラミング」について解説する。
2. VBA プログラミングの手順 (2 回)
VBA プログラミングを行う手順について、実例を作成しながら説明する。
自動メンバ表示機能を利用したコード入力、自動フォーマット機能による入力コードのチェック、マクロ記録機能などを使う。
3. VBA プログラミングの実際 (8 回)
Visual Basic Editor の構成要素と、プログラミング環境の設定について説明するとともに、これらのツールや機能を使って、本格的なアプリケーションを作成しながら、VBA プログラミングの実際について解説する。

科 専
門 教
育 目

履修上の留意点

実習科目であるので、必ず出席すること。毎回簡単なレポートを提出することを義務付ける。また、講義の最初の時間説明をし、その後実習をするので、遅刻もしないこと。

成績評価の方法

講義時間内に提出する演習課題 50%
2、3 回のレポート 50%

教 科 書

教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布する。

そ の 他

〔クラス定員〕60名
〔関連科目〕経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論
※この科目を履修するためには、「情報処理基礎」の4月初回授業時に担当教員の受講許可を得た上で、履修登録してください。「情報処理基礎」への事前登録申請のみでは履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報処理応用 I (後期)	よ だ きよし 依 田 聖	経営A1・2・3・4選	2

講義のねらい

コンピュータなしでは社会生活を遂行してゆくことは困難になりつつある。コンピュータの基本的な操作方法をマスターする中で、コンピュータの機能について理解し、情報を大学生活に活用する能力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

前期で養った基本的な力をベースにして、コンピュータを実践的に使えるような力を養う。演習を中心に進めるが、情報倫理やITビジネス等の講義も行う。演習の主要な点は①表計算(エクセル)(操作法、表計算、グラフ)②WWW-ワープロ-エクセルの連携(アプリケーション間でのデータのやり取り、情報検索・収集とその解析)③HPの作成(HTML言語でHPを作成)

履修上の留意点

本科目は理科系の科目であり積み重ねが必要。欠席すると次が分からなくなる。休まず、遅刻はしないことと(出欠は必ずとる)。わからないことは恥ずかしがらず聞き、その場で解決のこと。また復習をしっかりとすること。演習は結果としてハードなものになるので熱意を持って取り組むこと。

成績評価の方法

出席(毎回の課題を提出)50%、レポート50%。毎回の課題はメールで提出する。

教科書

太田忠一編『文科系のためのコンピュータリテラシ』(サイエンス社)1997年、2,200円

その他

〔クラス定員〕60名
〔関連科目〕経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論
※この科目を履修するためには、「情報処理基礎」の4月初回授業時に担当教員の受講許可を得た上で、履修登録してください。「情報処理基礎」への事前登録申請のみでは履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演 習 I	あか し ひろ ゆき 明 石 博 行	経営A2選	4

講義のねらい

本演習では、WORDを使った情報整理能力と英語の読解力の育成を図りつつ、経済社会学の基礎的学習に取り組みます。

講義の内容・授業スケジュール

演習は前期と後期にわけて行います。前期には、WORDの基本的な操作方法、およびノートとレポートの作り方の基本について学習し、課題図書とのノートとレポートを作成します。後期には、作成したノートとレポートを利用し、課題図書の学習に取り組みます。課題図書の学習にさいしては、報告レジュメを使った報告の仕方について学び、さまざまな角度から討論をするなかで参加者のディベート能力を磨いてゆきます。夏には3年生との合同合宿を行います。なお、2年次には、高校の政治・経済レベルから、経済社会学の基礎理論をあわせて学びます。

履修上の留意点

演習参加者の問題意識をふまえて3、4人の班を編成し、班ごとの補習を行います。補習では、インターネットを通じて入手したFinancial Timesの最新記事を読むことにより、英語の読解力の育成を図ります。また、補習も含めた演習全体への参加が求められます。

成績評価の方法

成績は、通常の演習および補習への参加状況を基本としつつ、課題修得の到達度の判断を加えて評価をします。

教科書

WORDの学習のために『超図解WORD2002(基礎編)』(エクスメディア、950円)を使用し、その他の課題図書は演習参加者の問題意識を聞いたうえで決定します。また、2、3年次の学習用テキストとして、『ノートの作り方』と『レポートの作り方』を配布し、使用します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	あ べ かず ひと 阿 部 一 人	経 営 A 2 選	4

講義のねらい

本演習では、財務会計を中心に、企業会計の基礎研究をおこなう。

講義の内容・
授業スケジュール

この財務会計の基礎知識を習得するために、簿記の学習を初歩程度からはじめて日本商工会議所簿記検定試験の合格を目標に（すでに3級に合格している者は2級にむけて）これから簿記会計を学習・研究しようとする人達を対象に学習する。後期では、報告形式により報告者のレジュメ（報告要旨）にそって、演習を進める。

成績評価の方法

成績評価は、出席状況、報告発表、レポート等により総合的に判定する。

教 科 書

飯野利夫著 「財務会計論」同文館

参 考 書 等

授業中において適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	い い だ て つ お 飯 田 哲 夫	経 営 A 2 選	4

講義のねらい

この演習では、問題解決のための「モデル」による分析および意思決定をテーマとしています。分析とは、物事や現象の本質を捉え理解するプロセスのことであり、解決したい問題の構造を明らかにし対策を見つけ出す（意思決定を行う）ことを目的としています。その中で最も強力な分析が、モデルによる分析です。モデル分析は、古くは物理学のニュートン力学が代表的な成功例ですが、近年ではビジネスの様々な問題解決に利用されています。モデルは、しばしば数学的な形式で表されることがありますが、数学的なモデルを用いることで、企業が蓄積している大量のデータ・情報を利用した定量的な分析が可能となり、それは、データに裏付けられた合理的な意思決定へと通じていきます。その際、コンピュータの利用は必須となります。この演習では、モデルとコンピュータを利用した分析技術を学習していきます。

講義の内容・
授業スケジュール

モデルによる意思決定・分析の基礎的知識の習得のために、入門書の輪読を行います。また、コンピュータの利用に関する基礎的知識も習得します。

履修上の留意点

このゼミでは、学生の主体的・積極的な参加を前提としています。1年次において経営数学を受講し、そこで学んだ知識を応用してみたいと思っている意欲のある学生の参加を希望します。

成績評価の方法

平常点（出席とゼミへの積極性）、課題のレポートと発表により総合的に評価します。

教 科 書

最初の授業のときに紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	小沢利久	経営A2選	4

講義のねらい

人は様々な場面で次に取るべき行動の選択（意思決定）を迫られている。例えば、投資家は日々変動する株価と付加的な情報を基に資金の投資配分を決めている。電話会社は携帯電話機数の伸びや通話時間の伸びを考慮しながら次の設備投資判断をしている。本演習では、このような問題に対処するための学問的基礎として、オペレーションズ・リサーチの各種手法とコンピュータリテラシについて学んでいく。特に、株価や需要の変動など、不確定要素を含む問題を確率的なモデルとして表わし、解析していくことに重点を置く。

講義の内容・授業スケジュール

・演習 I（2年生）では、確率的に変動する現象を理解するための基礎的な知識の修得を目指す。金融工学と確率論の基礎に関する輪読を予定している。

履修上の留意点

情報処理基礎・応用、経営科学概論、統計原論、経営科学など、経営科学系の科目を並行して履修することが望ましい。

成績評価の方法

出席状況、受講態度や理解度を勘案して評価する。

専
門
教
育
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	各務洋子	経営A2選	4

講義のねらい

大学は、学問追究の場です。しかし、単に高度な学術知識を与えるだけの場ではありません。3年間の演習を通して、大学時代に身につけるべき個人の貴重な資産（能力）を知的交流を通して培うことを目指します。具体的には、①高度な学術性と同時に、創造的な理解力を身につけ、多様な価値観から常に自由な立場であり続けるための批判的知性を育てること。②多くの知識を幅広く学ぶということではなく、幅広い知識を深く学ぶための確固たる主体性を育てること。③生涯、知的に成長を続けるために備えておくべき力を、習慣化すること。これらを実現するために、様々なプログラムを用意しています。常に、ワクワクドキドキする知的緊張感を研ぎ澄ませ、楽しみながら現実と理論の融合を試みます。

現代企業に焦点をあて、企業の所属する業界構造、利害者集団との関わり、競争状態などの外部環境分析、ヒト・モノ・カネ・情報などの内部環境分析を通して、企業の採るべき行動、戦略、組織構造、経営管理形態などを考察する。企業をウチ側とソト側から、経営学の視点に立ち、複眼的、立体的に観察・分析・研究する。

講義の内容・授業スケジュール

理論研究では、経営環境、経営戦略、経営者の役割など、経営学の基本を研究する。テキストを精読し、担当者がレジュメを作成し、報告。質問者数人を中心に議論する。理論研究と並行して、現実の企業研修に利用されているビジネス・シミュレーション・ゲーム（企業経営の模擬実験）をチームに分かれて行う。会社の創立から、株主総会の開催（ゲームの最終段階）、経営幹部反省会（コンパ）まで、企業経営の一連の流れを体感し、意思決定の難しさ、チームワークの重要性を実感してもらう。後期の業界研究では、チームに分かれ、実際の企業訪問、インタビューを通じた生の情報を収集。データの分析方法、グループでの効果的にプレゼンテーションの力を養う。

成績評価の方法

ほぼ毎週の小レポート。年度末のグループワーク：ゼミ論（業界構造分析）提出。平常点（ゼミでの発表力、議論への貢献度等）。

教科書

伊丹敬之・加護野忠男著「ゼミナール経営学入門」日本経済新聞社他、年に数冊。

その他

合宿は、年1～2回。後期の研究に関連した会社訪問、工場見学など。コンパは、課題の山終了毎に随時開催。

ゼミ情報は、ホームページに掲載：<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kagami>

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	鹿嶋秀晃 <small>かしま ひであき</small>	経営 A 2 選	4

講義のねらい

研究テーマは現代日本の人事労務管理。大学生活の中で、ゼミは最も勉強に打ち込み、一番思い出になるところだと考えます。よって、学力に関係なく、積極的に勉強し、行事を企画し、みんなで楽しくゼミを過ごしたいという学生を採用します。ゼミがより広い知識や考え方を得、友人関係を築く場となることを願います。

講義の内容・授業スケジュール

現代の日本企業とそこに働くサラリーマンが抱える問題に関して、入門書と専門書を読んできます。企業と労働、社会について幅広い関心を持ち、科学的に考える力を養います。サブテーマは「終身雇用」「年功賃金と能力主義」「年俸制」「人事考課」「日本的経営」「女性労働」「日本的労使関係」「会社人間」「過労死」ほか。2ヵ月に1冊のペースで本を読みます。受講者全員はあらかじめテキストを熟読しておくこと。その中から報告者（レジュメを作成）、コメンテーターを決め、その2人を中心に議論をしていきます。報告者とコメンテーターは順番。毎回の「新聞発表」では担当者が最近の新聞から企業経営や労務に関するものを切り抜き、自分のコメントを加えてプレゼンテーション。

履修上の留意点

出席重視。無断欠席は2度目で単位認定なし。欠席は3度を越えると単位認定しません。ただし、特別な事情には個別に対応します。レジュメはワープロで作成すること。ゼミ以外の工場見学、コンパ、合宿等もゼミの一環なので必ず出席するように。

成績評価の方法

出席点、講義中の発表・発言、レポートを総合して判定。

教科書

適宜指定する。ちなみに昨年度使用したテキストは太田肇『ベンチャー企業の「仕事」』、高橋俊介『キャリアショック』、熊沢誠『女性労働と企業社会』など。

参考書等

演習時に適宜紹介。

その他

履修希望者は、可能な限り講義「経営労務論」を履修のこと。その他のゼミ活動には、卒業論文集の発行、個人ホームページの作成、ゼミ書評、全国コンテスト参加などがあります。ゼミHPも合わせて参照のこと。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kashima/index.html>

科専門
教育
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	かたがひのぶお 片桐伸夫	経営 A 2 選	4

講義のねらい

このゼミは 3・4 年次（演習Ⅱ・Ⅲ）で「就職希望会社の経営分析」を行うことを目的とします。

経営分析とは、文字通り「企業の経営を分析すること」であり、きわめて範囲の広いものです。具体的には、皆さんが将来を託そうとする会社は、

- 1 財政的に安定しているだろうか（安定性分析）、
 - 2 「儲け」はどうだろうか（収益性分析）、
 - 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか（生産性分析）、
 - 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか（成長性分析）、
- といった内容です。

履修上の留意点

このゼミでは、経営分析の中でも、とくに財務諸表（貸借対照表や損益計算書など）の分析を中心とします。したがって、1 年次の簿記学に興味を感じた人向きのゼミです。

成績評価の方法

成績評価の方法は平常点です。

2 年次（演習Ⅰ）では、6 月は日商簿記検定 2 級（or 1 級）、11 月は 2 級（or 1 級）にチャレンジしてもらいます。

その他

プレゼミや合宿も行います。

ゼミ入室の決定方法は面接〔志望理由書（500 字程度）事前提出〕とテスト（演習Ⅰは 1 年次学習中の簿記）によります。

なお、いうまでもなく無断欠席と遅刻は厳禁です。以上の方針に見合う、学習意欲十分な学生諸君の参加を希望します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	かむらえいぢ 兼村栄哲	経営 A 2 選	4

講義のねらい

受講生の 1 人 1 人が、マーケティングにかかわる諸現象を体感し、自分なりに論理的に説明できるようになることを主な目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

以下の 3 つを主な内容とする。

- ① マーケティング論に関する基本的なテキストを全員で輪読し、基礎的な概念や理論を学んでもらう。これは、各受講生が、事前に割り当てられた担当箇所について作成したレジュメを発表し、その後討論するという形式をとる。
- ② 年に数回、4～5 人のグループで、マーケティング（論）にかかわるいくつかのテーマについて調べてきてもらい、その内容を発表してもらう。
- ③ 年に数回、工場見学を予定している。工場見学後、レポートを提出してもらう。

履修上の留意点

以上の 3 点をとくに要望する。

- ① 積極的に参加すること（通常の演習のみならず、合宿その他の課外活動にも積極的に参加すること。また、単に出席するのではなく、自発的に自分なりの疑問や意見を示すこと。）
- ② お互いの親睦を深めること
- ③ 授業開始後、諸般の事情で履修を取りやめる場合にも、必ず事前にその旨を申し出ること

成績評価の方法

授業態度、発表内容、レポート内容等を総合的に評価する。

教科書

開講時に指定する。

参考書等

適宜、紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	高井 徹雄	経営A 2選	4

講義のねらい

IT（情報技術）が社会のキーワードとされる今日、我々は、真の意味で情報が価値を持ち、情報が価値を生み出す、高度情報社会に生きています。皆さんが、企業や官庁の有能なスタッフとして「情報エリート」を目指すならば、少なくとも、

- 1) 発見力：与えられるのではなく、自ら問題を発見する能力。
- 2) 洞察力：必要な情報を選び、情報に基づき分析し、問題の本質を解明する能力。
- 3) 解決力：他社と協力しあって、具体的な問題解決策を提案し、実行化する能力。
- 4) 表現力：自らの提案を解り易く表現し、情報発信する能力。

が要求されるはずでです。こうした能力を養って頂くために、毎週の演習、およびゼミ合宿において、適切な題材と環境を用意して行きます。

講義の内容・授業スケジュール

経営における意思決定の問題に、科学的・システムの的にアプローチすること。これを念頭において、各週の題材を選んで行きます。どの題材についても、概念→理論→技法→道具、の4つのフェーズを通過します。

およそのスケジュールは以下のとおり。受講生とコミュニケーションをとりながら、理解度や興味の方向を見極めながら進めて行きます。

演習 I

- 4 - 7月：情報リテラシ…文書、HTML 文書作成、スプレッドシート基礎・応用
- 6月：ソフトシステム方法論…演習 II と合同ゼミ合宿、SSM で社会的問題を扱う
- 9 - 12月：計算機言語…スプレッドシートマクロ、Delphi プログラミング

履修上の留意点

ゼミ合宿など課外活動を含め、主体的にゼミに参加されることを願っています。

成績評価の方法

出席状況など平常点の他、前期・後期各1回与える課題により評価します。

教科書

開講時に指定します。

参考書等

授業中に適宜紹介します。

科専門教育
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	高木 克己	経営A 2選	4

講義のねらい

本ゼミナールでは、3年間を通じて、法人税の対象となる企業の課税所得の算定過程を明らかにすることを中心に研究を行います。

なお、毎回報告者の発表に対し討論を行うという形式で進めていくので、その中で十分に自分の意見が主張できるようになって欲しいと考えています。

2年次では、企業の税金の問題を扱う前提として、簿記、会計理論の基礎的な知識を習得します。本年度は会計学の基礎を中心に勉強をします。ただし、最低限、6月の日商検定試験3、2級に向けて3カ月間だけ簿記検定の勉強をします。（すでに3級を取得している者は2級に向けて、初めての人は3級の合格を目的にします。）

なお、合宿は11月全学年合同で行っています。その内容は、ディベートが中心になります。その他、年2回程度、全学年で集まる機会を持っています。

ゼミ運営の基本的な考え方として、一生懸命勉強している人や各種の試験等をめざして勉強している人が、居心地の悪いような雰囲気は絶対つくりたくないにしています。明るくて、好奇心が強く、夢をたくさん持っている人が志望してくれたらいいなと思っています。

成績評価の方法

出席及び報告により評価します。

参考書等

最初の授業で紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	滝田公一	経営 A 2 選	4

講義のねらい

本年度は次の文献を利用して演習を行う予定です。
 [1] 東北大学経営学グループ著、「ケースに学ぶ経営学」有斐閣ブックス、1998年(2,500円)
 文献[1]は、「企業とは何か?それはどのように経営されているのか?」という問題を幾つかの現実の事例(例えば、スカイマークエアライン社の設立、マクドナルドとモスバーガーの競争戦略など)をどうして考察したものです。此の教科書を題材として、学生諸君には、課題報告(例えば、1970年代から80年代に架けて、日本の自動車企業は、アメリカの自動車企業に追いつき追い越していきますが、なぜそのようなことが起こったのか、環境と戦略について調べましょう、など)をしてもらう予定です。このような課題報告を通じて、レポートの書き方と文献・資料の探し方に習熟していただくことも演習 I の狙いの一つです。

また、文献[1]とあわせて、代表的な表計算ソフトである Excel を使った経済データの情報処理をも勉強する予定です。簡単な計算によるデータの変換、グラフの作成、最小二乗推定、確率分布、線形計画法、簡単な経済理論のシミュレーション、などが取り扱われる予定です。特別な予備知識は必要ありませんが、「情報処理基礎」を前もって、または、同時に履修されると理解が一層深まるのではないかと思います。

成績評価の方法

成績評価は、学年末に、課題に基づくレポート(通常、computer assignment)を提出してもらい、それによって行います。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	長国強	経営 A 2 選	4

講義のねらい

現代は情報化社会といわれ、新聞・雑誌・インターネットを開いてもそこに大量の経済・経営データが見られる。ところで、経済・経営などのデータをそのまま見れば、単なる数字の山にすぎず、大切なことはそこから正しい見通しを得ることであろう。実際のデータから経済・経営など社会的な動きをどのように読みとるのかといった能力を養成できるようにすることを目的として、本演習はコンピュータを使つてのデータ解析の基本技術を学習する。

講義の内容・授業スケジュール

演習 I (2年生): WORD と EXCEL...コンピュータ初心生のために
 初心生にコンピュータの基本知識やタイピングの基礎を教えた後、コンピュータ上の代表的なワープロソフト-WORD と表計算ソフト-EXCEL をマスターできるよう、実際の文章や統計表を取り入れながら徹底的に実習していく。

成績評価の方法

平常点: 出席・レポートの成績などで総合的に評価する。

その他

演習 I の選抜方法は自己紹介文(A4、1枚)と面接によって行う。なお、継続性ということから、演習 II と演習 III の募集はいたしません。

演習 I と演習 II は学生諸君のまだ慣れていないコンピュータ上の演習のうえ、毎回の実習アイトンに連続性があり、1回欠席すると、次回の実習についていけなくなることも考えられる。したがって、理由なく年間5回以上欠席した場合、自動的に除名されることにする。また、現代社会に通用するための常識的な素質と思うが、協調的にかつ永遠に新しいものに取り込みたい、という意欲を持つ学生諸君の参加を特に望む。

専
門
教
育
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	なか がわ しゆん べい 中 川 淳 平	経営 A 2 選	4

講義のねらい

この演習では、企業、そして企業をめぐる社会・経済現象について参加者が多角的な理解が得られるようにしたいと考える。併せて、報告の仕方、文章のまとめ方について習得する。

講義の内容・授業スケジュール

経営学・経済学の基本的な文献を読み、討論してゆく。文献は開講時にこちらで指定する文献のなかから参加者に選択してもらい、その概要を発表してもらおう。さらに、一年間の学習のまとめとして、レポート（小論文）を作成する。

履修上の留意点

多量の文献を読む予定なので、積極的に勉学する、意欲ある学生の参加を望みます。

成績評価の方法

発表や討論の内容、レポート、学習態度によって総合的に評価する。

教科書

開講時に指示します。

科専門教育
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	なか むら こう いち 中 村 公 一	経営 A 2 選	4

講義のねらい

本ゼミでは現代企業の置かれている環境とそれに対する経営戦略を紐解いていき、実践的な場面でも応用できる知識と考え方を身に付けるために、文献購読・資料調査・ケーススタディ・ビジネスプランニングなど多彩な課題に取り組みます。

ゼミは、単位を採るだけのものではなく、個人の「知的トレーニングの場」であり、他のゼミ生達と切磋琢磨する場であると考えて下さい。私の役割は、ゼミ生がゼミでの勉強をきっかけにして豊かな学生時代を築こうとする時のお手伝いをするだけに過ぎません。運営の主体は君達にあります。

- ①文献購読やケーススタディなどを通して、企業の置かれている環境とそれに対する戦略を的確に理解する専門知識の習得、分析力、洞察力の強化を図ります。
- ②レポート作成を通してのアウトプット能力、論述能力、論理構成力の強化を図ります。
- ③毎週の報告や議論などを通じてプレゼンテーション能力やディスカッション能力の強化を図ります。
- ④実際にビジネスプランの策定を通して、事業戦略を構築する企画力と構想力の強化を図ります。

講義の内容・授業スケジュール

演習 I（2年生）

前期；経営戦略論に関する入門書の購読＋資料などの調査方法、企業研究・分析

後期；現在の経営環境の解説作業、競争企業分析の実践

合宿；ビジネスプランニング大会

他大学とのゼミ交流も本年度実施予定

履修上の留意点

ゼミの理念は「知的トレーニング」にあるので、毎週レポートを宿題として課し、相当の勉強時間の確保が必要になります。また、ゼミでは議論が中心になるために、事前の準備も必要となります。入ゼミに当たっては、ホームページにも詳しい内容が掲載されていますので参考にしてください。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~nakamura/>

成績評価の方法

遅刻の常連、無断欠席、各種課題や提出物の期限の遅れ、ひどい内容のレポートを提出した場合は、厳しくチェックします。成績は平常点によって判断します。なお、4年次には卒業論文があります。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	なが た とも のり 永 田 智 則	経営 A 2 選	4

講義のねらい

当ゼミナールは国際経済学にかかわる事象を研究対象としている。
 近年の国際的相互依存関係の緊密化は、どの国の経済にとっても、国際経済とのかかわりがいかに重要であるかを認識させてきた。ある国で生じた経済問題は、その影響が全世界に波及し、世界経済の流れを変え、各国経済に変革を迫る。この流れに対応できない経済は取り残され、困難に直面する。
 当ゼミナールでは、世界の各地で生じている諸現象の中から、経済発展と貿易の關係に焦点を絞り、この問題の研究を通して、国際経済の仕組みやメカニズムについて理解を深めることを目標としている。

講義の内容・
授業スケジュール

「演習 I」では国際経済学の初歩的な分析道具の習得を目的とし、テキストを中心に授業を行う。ここで学ぶ分析道具を使って、現実の世界経済の出来事を学生諸君が自分なりに分析できるように心がける。

履修上の留意点

無断欠席、遅刻は厳禁。授業中は積極的に発言をすること。

成績評価の方法

授業中の発言や提出レポート等を含め、ゼミ活動にどの程度積極的に参加したかを最大の評価ポイントにする。

教 科 書

教科書及び参考文献等については必要に応じて紹介する。

専
門
教
育
目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 I	にしむら かずお 西 村 和 夫	経営 A 2 選	4

講義のねらい

【テーマ：コンピュータ科学】 文書（英論文など）の読みかた、書きかた、発表のしかた、コンピュータの利用のしかたを体得し、論理的な思考力を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

入ゼミ手続き（1年次）

面接と文章完成法テストによって選考する。説明会に出席しないと、面接が受けられない。“情報処理基礎”をすでに履修している人を優先する。

演習 I

- ・ タッチタイプ
- ・ 書誌情報の検索のしかたと検索演習 ⇒ レポートや論文の作成に役立つ。
- ・ 言語によるプログラミング
- ・ 問題の発見と解決
- ・ コンピュータの基礎知識
- ・ 論文の読み方と発表のしかた(1)

その他

- ◆ 就職活動についてのアドバイス。面接の実習。ビジネス文書の書きかた[2]。
- ◆ 情報処理技術者試験の受験のための学習。
- ◆ 合宿（年1度）・イベント（年1～2度）。

履修上の留意点

テーマは“コンピュータ科学”であって、コンピュータの操作方法ではない。コンピュータの知識がある人ではなく、やる気と実行力のある人を求む。入ゼミ者は、2年次までに“情報処理基礎”を必ず履修すること。

成績評価の方法

出席のほかに
演習 I：タッチタイプ、検索課題、レポート

参 考 書 等

- [1] R.Graham, D.Knuth and O.Patashnik, Concrete Mathematics, Addison-Wesley, 1989.
- [2] 吉田幸生、仕事の文章が面白いほど書ける本、中経出版、1992.

そ の 他

西村ゼミのページ：<http://www.komazawa-u.ac.jp/du/nis/>

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	はとり しげる 羽鳥 茂	経営A 2選	4

講義のねらい

現在の日本経済のさまざまな姿を基本データによって確認し、新しい動きを理解することが本演習の主要な課題である。

また、2002年3月にスタートした経済学検定試験（ERE）に諸君がチャレンジすることを薦めたいので、出題科目の学習についても指導する予定である。

履修上の留意点

積極的にゼミに参加することを学生諸君に要望する。

成績評価の方法

出席状況とゼミでの積極性ならびに年度末に提出する課題レポートによって成績を評価する。

教科書

田中隆之『現代日本経済』、日本評論社、2002年、2,800円

参考書等

経済セミナー編集部編『経済学検定試験－ポイント解説と演習－』、日本評論社、2002年、1,680円

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	ひの けん た 日野 健太	経営A 2選	4

講義のねらい

好むと好まざると、ひとは学校、職場、地域をはじめとする組織と無関係に過ごすことはできない。いかに組織とつき合うかは、現代人の究極のテーマといってよい。そこでこのゼミでは組織が直面するさまざまな問題を取り上げ、多角的に分析する。「組織行動」つまり、組織における人間行動が中心的なテーマである。具体的には、モチベーション、リーダーシップ、コンフリクト、組織学習などを扱う。

演習Iでは、まず、経営組織論の基本的な文献を輪読し、組織論の見地から論じられるようになることを目的とする。理論にとどまらず、同時に具体的な問題を取り上げ、理解を深めたい。また、自分の関心のあるテーマを見つけてもらう。

講義の内容・
授業スケジュール

文献輪読とディスカッションによって経営組織論の内容を学ぶとともに、工場、職場の見学、実務家によるレクチャーを行い、現実の組織のイメージを持てるように進める。

必要に応じて、夏、秋の合宿を行う。

履修上の留意点

ディスカッションに参加するためには、レポーター以外の学生も予習は必須であるし、自分の考えをまとめるために、小レポート（原稿用紙2枚以下）を頻繁に課す。

成績評価の方法

出席とゼミへの積極性、レポート内容による。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

開講時に指示する。

その他

わたくし自身も、学部学生時代のゼミの友人とはいまだにつきあいが深い。そういった友人を得る機会となるように望む。

無断欠席、遅刻は認めない。教室でのディスカッションのみならず、コンパ等の親睦活動にも積極的に参加する学生が望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	みやぎ 徹	経営 A 2 選	4

講義のねらい

演習 I (2年)

ゼミ生は、ゼミナールという、いわば学問的コミュニティの枠を形成し、学友間の人間的なつながりのなかに一緒にディベートを重ね、かつ相互に新鮮な学問的刺激と影響をあたえあい、そのことによって、よりよい学問的環境を展開し、生活するのだからなければならないのは、言うまでもない。その一環として、このゼミの2年次と3年次のゼミ生は、それぞれ年2回のゼミ合宿を行い、親睦を深めている。

さて、このゼミは、企業という経営学の認識対象を正しく理解することを目的とし、「現代経営理論の研究」という統一テーマの下で、4年次ゼミまで3年間一貫して上述の目的達成を進める。一口に現代経営理論と言っても、さまざまな理論があるが、ここでは、企業を正しく理解するための分析枠組として大いに役立つと思われる、諸理論の研究構想・方向という程度に限定して考えてよい。

この目的のために、2年次ゼミ生は、英語圏とドイツ語圏の代表的な「組織理論」とすると同時に、3年次ゼミの研究領域へのインプットと成っている、という二重の意義をもつ文献(邦訳書)を熟読し、その基本的内容や考察方法をきちんと理解し、理論認識を深めるよう努力してほしい。

※ ゼミは、毎回1人あるいは複数のリポーターが与えられた範囲をレジュメに基づいて報告し、その他のゼミ生もそれを中心にして活発にディベートするように進める。

※ ゼミの中心的素材はゼミの開始時に指示する。

※ 斉藤 孝著『学術論文の技法』日本エディタースクール出版部、平成9年、を入手のこと。

成績評価の方法

平常点評価。その際、(a)出席を重視する。(b)自分の思うところを述べ、他人の意見に注意深く耳を傾ける能力があるかどうかを重視する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	やま だ まさる 山 田 勝	経営 A 2 選	4

講義のねらい

特に商業経営を中心にすえ、経営者（商人）の役割と資質を勉強する。商人を勉強の対象としながら、自分との比較を行い、自ら事業を起こす可能性とそのために必要な学習をしてもらう。

講義の内容・授業スケジュール

経営の基礎として、年度始めに各ゼミごとに指定する教科書・副読本を読みレポートする。日本経済新聞は（毎朝夕）は必読とする。
毎週英語の経済雑誌から Cover Story などのコピーを配布するので読んできてもらい、内容についてディスカッションする。英語を学ぶのではなく、英語で（国際的センスで）現下の経営環境と問題を理解してもらう。ボーダレス時代に入り、グローバルな経営を理解し、そこで活躍するには国際語としての英語は必須であることを肝に銘じ、英語力の乏しい学生にはアルバイトではなく、英語力の強化に課外時間を充ててもらう。

成績評価の方法

平素の発表を評価していく。

そ の 他

- (I) 商業活動には簿記・会計、商法、手形・小切手法の知識、パソコンの使用が必要である。授業時間外に学習してもらう。
(II) 授業時間はディスカッションに充てるので、十分な予習、欠席をしないこと、積極的な発表を求める。
(III) 時間外に出来るだけ補講として企業見学などを実施する。履修希望者にはそれらも授業の一部として理解してもらう。

専
門
教
育
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	わた なべ えいちろう 渡 邊 恵一郎	経営 A 2 選	4

講義のねらい

会計の主な役割は、特定の経済主体（家計、企業、官公庁その他）の経済状況を計数（貨幣）的に表現すること、財産を管理保全することそれにこれを利用する人々に伝達することにある。私の演習では、特に現代の経済社会の重要な経済主体である企業の資金会計を中心に、実務に役立つ基礎知識が得られるよう指導する。

講義の内容・授業スケジュール

簿記の基礎を涵養し、次に資金会計の体系的な研究および有価証券報告書の見方などを修得させる。
2年次……私の財務会計論の講義を受講しながら、日商簿記検定試験2級（工業簿記および商業簿記）を学修する。

履修上の留意点

2年次から4年次まで一貫して段階的に学修するので、出席率を重視し、3年間継続して履修すること。なお、授業時間外では、前述のゼミナール大会（11月関東、12月全国）に出場のため、夏合宿などを行う。

成績評価の方法

成績評価は、平常点、協調性および出席率を総合して判定する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営学史	なか がわ じゅん へい 中 川 淳 平	経営A 2・3・4選	4
		14以降入学生/経営B 2・3・4選	

講義のねらい

この講義では、100年あまりにわたる経営学の歴史上、重要なものと位置づけられる学説の展開を、企業経営の背景にある社会経済システムの動きと関連させながら検討する。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 経営理論のジャングルの状況
2. 科学的管理法と人間関係論
3. 所有と経営の分離
4. 近代組織論の展開
5. 社会経済構造の変動と経営学説の変容
6. 経済学の企業理論
7. 企業と社会（ドイツ経営学の発展）

履修上の留意点

講義中の私語は慎んで下さい。

成績評価の方法

試験による。また必要に応じてレポートの提出を求めることがある。

教科書

適宜プリントを配布する。

参考書等

配布するプリントに適宜指示する。

科 専
門 教
育 目

科目名	担当者名	配当学科	単位
アメリカ経営学	みやぎ 徹	経営A 2・3・4選 14以降入学生/経営B 2・3・4選	4

講義のねらい

世界の経営学をリードしているのは、いうまでもなく、アメリカ経営学とドイツ経営学である。そして、日本の経営学の研究・教育は、第2次大戦前はドイツ経営学から、大戦後はアメリカ経営学から圧倒的な支配的影響を受けて発展してきた。ところが、特に1960年代以降になると、ドイツ経営学にもアメリカ経営学の影響が顕著に見られるようになった。

学生諸君は、必修科目である「経営学」の授業を通じて、無意識のうちに、アメリカとドイツの経営学にかんする基礎知識をある程度身につけていることを前提とした上で、経営学徒のメッカ、アメリカ経営学をその最先端の理論的・経験的研究の基本的成果を踏まえて全般的に講義するが、主として、下記の授業計画の7つの要目について検討する。その際、日本の企業との関連についても検討を加える。

講義の内容・授業スケジュール

マイクと板書。教科書は指定しない。

この授業は1週1回90分で年間30週の時間数（ただし、期末試験日を入れて）から成る。最初の授業時間は、この科目を選択するか否かを判断するために下見に来ている学生諸君に、アメリカ経営学の1年間の授業の概要を説明する。原則として、下記の授業計画の要目をそれぞれカッコ内の授業回数（合計29回）で完結する予定である。

なお、この授業回数は一応の目安であり、授業時間が祝祭日に当る場合は授業の進展状況によって若干変更することがある。

〈2003年度「アメリカ経営学」授業計画〉

- I 1年間の授業の概要 (1)
- II 経営学の対象と方法 (2)
- III 意思決定と権力（パワー）(8)
- IV 戦略（特に提携、グループ、ファミリー）(4)
- V コンティンジェンシー理論 (4)
- VI 取引コスト理論 (6)
- VII プロパティ・ライツ理論 (2)
- VIII プリンシパル-エージェント理論 (2)

履修上の留意点

- 1 宮城徹『企業の政治理論序説』（税務経理協会）1997
- 2 宮城徹「企業制度とプロパティ・ライツ理論」『商学研究科紀要』（早大、第20号）1985
- 3 宮城徹「情報と企業経営の理論的諸問題」日本経営学会編『情報化の進展と企業経営』（千倉書房）1987
- 4 宮城徹「経営者論」鈴木英寿編『経営学総論』（第2版）（成文堂）1998
- 5 宮城徹「経営学の歴史」藤芳誠一編『新版・新時代の経営学』（学文社）1993
- 6 宮城徹「組織の経済理論の基礎構造」日本経営学会編『現代経営学の課題』（千倉書房）1997
- 7 宮城徹（単独訳書）『情報時代の企業管理の教科書—組織の経済理論の応用—』（税務経理協会）2000（A. Picot u. a., Die grenzenlose Unternehmung, Gabler, 1998）
- 8 宮城徹（共訳書）『新制度派経済学による組織入門』（白桃書房）1999（A. Picot u. a., Organisation. Eine ökonomische Perspektive, Schaffer-Poeschel, 1997）

ここでは紙幅の関係で上記の授業内容に直接関連のある私の著書・論文・訳書だけを参考文献の一部として掲げておいたが、その他の文献については適宜紹介しておく。

成績評価の方法

期末筆記試験。なお、学生諸君の理解度と教育効果を確かめるために、期末試験以外に、小試験をおこない、その結果を評価の対象に加味することがある。

《期末試験の出題形式》

複数の問題から1題選択して論述する。詳細は試験前の授業で説明する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 経 営 学	たか 高 ほし 橋 しげ 成 お 夫	経営A 2・3・4選 14以降入学生/経営B 2・3・4選	4

講義のねらい

ドイツ経営学の性格や内容を、この学問の歴史の中で明らかにするとともに、現代のドイツの企業経営制度の特徴を解明することにある。

講義の内容・
授業スケジュール

- I. ドイツ経営学の生成
- II. ドイツ経営学の展開
 - (1) 科学的私経済学と技術論的私経済学
 - (2) 私経済学的企業経済学と規範的・技術的経営経済学
 - (3) 理論科学的経営経済学と応用科学的経営経済学
- III. ドイツ経営学の動向
 - (1) 意思決定志向的経営経済学
 - (2) システム志向的経営経済学
 - (3) 労働志向的経営経済学
- IV. ドイツの企業経営制度

履修上の留意点

積極的に出席することが望ましい。

成績評価の方法

定期試験や出席状況等を総合して評価する。

教 科 書

特定の教科書は使用しない。

参 考 書 等

北野利信編『経営学説入門』（有斐閣新書）
北村健之助『経営経済学』（学文社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 管 理 論	すずき こと ぎやく 鈴 木 幸 毅	経営A 2・3・4選	4
		14以降入学生/経営B 2・3・4選	

講義のねらい

経営管理の理論と現実について、経済社会の動向、資本主義企業の現在の姿を視野に入れつつ、説明する。

講義の内容・
授業スケジュール

下記の1、2、3を前期にとりあげ、それとの関連において後期には4を中心に講義する。

- 1 古典的理論
 - (1) テイラーの科学的管理論
 - (2) 管理過程論（職能論）
 - (3) 管理構造論（組織論）
- 2 新古典的理論
 - (1) ホーソン実験と人間関係論的管理論
 - (2) 行動科学的管理論
 - (3) 管理開発論
- 3 近代理論
 - (1) バーナード革命
 - (2) 組織論的管理論
 - (3) 意思決定論的管理論
- 4 現代理論
 - (1) 環境適応的管理論
 - (2) 戦略的管理論
 - (3) 環境問題と企業責任論

履修上の留意点

自主的学習を期待するので、特に出欠をとることはしないが、中間試験に代わるレポート提出を求め、その成績を期末テスト結果に加味して評価する。

教 科 書

鈴木幸毅著『企業と管理の理論』（税務経理協会）2001年4月（前期）
後期は、別の教科書を使う。

参 考 書 等

鈴木幸毅著『バーナード組織理論の基礎』（税務経理協会）1998年
鈴木幸毅著『地球環境問題と各国・企業の環境対応』（税務経理協会）2001年6月

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 組 織 論	ひのけんた 日野 健太	経営A 2・3・4選	4
		14以降入学生/経営B 2・3・4選	

講義のねらい

組織論のフレームワークによって、企業をはじめとする組織を分析できるようになることを目的とする。そのため、この講義では、組織論で扱われる基本概念を学ぶ。

講義の内容・ 授業スケジュール

経営組織論の内容は、大きく分けて、組織の環境適応を扱うマクロ組織論と、組織における集団、個人を扱うミクロ組織論に大別される。ここでは、ミクロ組織論、マクロ組織論の順序で講義を進める。学生諸君が具体的なイメージを持てるように、何回かケースを取り上げる。また、学年末の数回は、組織論の分野の新しい理論やトピックについて扱い、全体的な理解が深まるように配慮する。

講義の対象は以下の通り（番号と講義の回数是对応しない。また必要に応じて順序を入れ替えることがある）。

- (1) 組織論における組織観と人間観
- (2) モチベーション
- (3) グループダイナミクス
- (4) リーダーシップ
- (5) 組織におけるパワーとコンフリクト
- (6) 組織の環境適応
- (7) 情報処理の理論
- (8) 知識創造理論
- (9) イノベーションと組織変革
- (10) まとめ

履修上の留意点

特に、前提となる特別の知識は必要としないが、自分の所属する組織や見聞する組織を思い浮かべながら学習すると理解が深まるであろう。また、授業中質問することがあるが、そんなに難しいことを訊くつもりはないので、大きな声で答えてほしい。

成績評価の方法

学期末2回の定期テストのウエイト 80% 小テスト等のウエイト 20%
講義の内容に対してフィードバックを得るために出席をとることがあるが、基本的に成績評価には加味しない。

教 科 書

金井壽宏『経営組織』（日経文庫）

参 考 書 等

高橋・山口・磯山・文『経営組織論の基礎』（中央経済社）
桑田・田尾『組織論』（有斐閣）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マ ー ケ テ ィ ン グ 論	かねむらえいてつ 兼 村 栄 哲	経営A 2・3・4選 14以降入学生/経営B 2・3・4選	4

講義のねらい

社会的な分業体制が成立している今日の経済においては、生産と消費の間にさまざまな隔たりが発生しており、そのために、円滑な交換が阻害されていることが少なくない。こうした隔たりは、一般に、「経済的懸隔」ないし「経済的隔離」と呼称されている。

マーケティング論は、この経済的懸隔を架橋し、円滑な交換を実現するメカニズムを研究する学問であり、マクロ・マーケティング論とマイクロ・マーケティング論の2つに大別される。前者は、社会経済的な視点から、経済的懸隔を架橋するメカニズムを把握しようとするものであり、「流通論」とほぼ同義である。後者は、個別企業のマネジメントの視点から、所定企業の商品についての経済的懸隔を架橋するメカニズムのあり方を検討するものであり、当該企業の商品を消費者に効率的かつ効果的に到達させるにはどうすればよいかを考察する。なお、「マーケティング論」といえば、通常、このマイクロ・マーケティング論を指している。

マクロ・マーケティング論とマイクロ・マーケティング論は密接に関連しており、一方をより深く理解するためには、他方を理解しておくことが必要不可欠である。そこで、本講義では、主として、前半にマクロ・マーケティング論を、後半にマイクロ・マーケティング論を扱っていく。

講義の内容・授業スケジュール

〔オリエンテーション〕

- 1) オリエンテーション
- 2) マーケティングの2義性
・経済的懸隔の意義と内容 ・マーケティングの2義性

〔マクロ・マーケティング論〕

- 1) 流通機能
・流通機能の意義と領域 ・流通フロー
- 2) 流通機構
・流通機関の意義と内容 ・卸売業者の意義と分類 ・小売業者の意義と分類 ・流通の客體
・流通機構を取り巻く環境 ・流通経路
- 3) (マイクロ・) マーケティングの台頭
・商業者の存立根拠 ・流通における商業者の地位の後退
・伝統的流通経路と垂直的マーケティング・システム

〔マイクロ・マーケティング論〕

- 1) 企業におけるマーケティングの役割
・経営戦略 ・マーケティングの役割 ・マーケティング・コンセプト ・マーケティング概念の拡張傾向
- 2) マーケティング管理
・マーケティング管理過程 ・環境分析 ・市場細分化 ・マーケティング・ミックス
- 3) 市場概念
・市場の2義性 ・消費財市場と産業財市場の比較 ・市場構造
- 4) 製品戦略の領域
・製品の意義 ・製品ミックス ・新製品の意義 ・新製品開発プロセス ・製品ライフ・サイクル
・製品廃棄と計画的陳腐化 ・ブランドの意義と役割 ・ブランドの分類
- 5) 価格戦略の領域
・価格の設定方法 ・新製品導入時の価格設定方法 ・価格の管理方法
- 6) チャネル戦略の領域
・チャネル・タイプ ・チャネルの構築方法 ・チャネルの管理方法
- 7) プロモーション戦略の領域
・広告活動 ・人的販売活動 ・セールス・プロモーション活動 ・パブリシティ活動
- 8) マーケティング・リサーチ

履修上の留意点

- 1) 出席すること。
- 2) 携帯電話や私語など、講義の妨げになるような行為は絶対にしないこと。
- 3) 講義中にプリントを配布することがあるが、このプリントは当該講義時間内にしか配布しないので注意すること。

成績評価の方法

テスト-90点、出席状況など-10点

教科書

兼村栄哲編著『マーケティングの基礎知識』（白桃書房）2003年発行予定。

参考書等

兼村栄哲他4名著『現代流通論』(八千代出版)1999年
宮澤永光監修『基本流通用語辞典』(白桃書房)1999年
宮澤永光・亀井昭宏監修『マーケティング辞典』(同文館)1998年
その他の参考書などについては、適宜紹介する。

その他

マーケティング論も、他の学問からまったく独立しているわけではない。実際に、さまざまな学問における概念や手法を援用ないし応用している。そこで、事前に履修しておいたり、並行して履修するのが望ましい科目を示しておく。

〔マーケティング論全般〕

商業経営論

〔マクロ・マーケティング論〕

企業形態論-とくに、「2) 流通機構 小売業者の意義と分類」において。

〔ミクロ・マーケティング論〕

経営戦略論-とくに、「1) 企業におけるマーケティングの役割 経営戦略」において。

経済学概説・近代経済学-とくに、「3) 市場概念 市場の2義性」、「同 市場構造」、
「5) 価格戦略の領域 価格の設定方法」において。

統計学・統計原論・経営統計-とくに、「8) マーケティング・リサーチ」において。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営財務論	たか だ みつ あき 高 田 光 明	経営A 2・3・4選 14以降入学生/経営B 2・3・4選	4

講義のねらい

〔財務の意味〕

経営財務は、企業という組織体の財務を研究する学問分野である。企業は、社会が必要とする財貨やサービスを生産し販売するという活動を営む報酬として、利益を獲得しようとする組織体である。このような活動では、機械、建物、原材料などの財貨が必要となるし、労働力も不可欠である。企業は、その活動を営むに際し、これらの財貨を取得しなければならないし、働き手も雇用しなければならないわけであり、そのために元手となる資本を必要とする。

この元手としての資本を集めることを、資本の調達という。そして、現金の状態では通常は調達する資本で、企業は、上記の財貨や労働力などを取得し、これらの生産要素により、新たな財貨やサービスを生産して販売するという営業活動を遂行し、その結果として資本が自己増殖することを目指す。このことが資本の運用であり、企業の営業活動を通じた資本の自己増殖分が利益である。企業の財務とは、現在では、企業による以上のような資本の調達と運用をいっている。

〔資本調達の位置〕

企業が資本を調達するのは、調達資本をできるだけ効率的に運用して自己増殖させ、利益を生み出すためである。その意味では、資本の運用あつての調達であるといつてよい。しかしながら、企業は、用途に合った種類の資本を、必要とする額だけ必要なときに調達できなければ、資本の運用を意図したように行い難くなる。資本運用の効率性は、企業が、資本の運用に合わせた調達がいかに行えるかに制約される。資本の運用がうまくいくかどうかの出発点は、資本をどのように調達するかにあるといえる。

資本の調達問題は、経営財務において、依然として重要な位置を占めていることに変わりがない。資本の運用あつての調達であるからといって、そのことは、資本の調達面の意義が小さくなることをけつて意味してはいないのである。この授業では、以上のような問題意識のもとで、資本の調達を中心に、必要に応じて資本の運用面と関連させながら講義するつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

基礎知識を体系的に理解し、この学問の基本的考え方を身に付けられるようにするために、まず基礎的・総論的事項から講義していく。

1. 経営財務の領域
2. 資本と資産
3. 資本の分類
4. 資本の運用形態
5. 資金調達の基本原則
6. 流動・固定分類法の重要性
7. 資金概念
8. 企業利益の概念
9. キャッシュ・フロー
10. リスクとリターン
11. 資本のコスト
12. 内部資金
13. 株式資本と他人資本との相違
14. レバレッジ
15. 資金調達の手順

履修上の留意点

経営財務論を理解する上で必要となる最小限の会計的知識も授業では説明する。しかし、簿記学と会計学を前もって履修してあることが望ましい。

成績評価の方法

原則として、期末筆記試験により評価し、出席点を加味する。

参考書等

中原章吉編著『経営財務と管理会計』（中央経済社）
 染谷恭次郎著『資金計画の手引き』（日経文庫）

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際経営論	茂垣広志 <small>もがきひろし</small>	経営A 2・3・4選	4
		14以降入学生経営B 2・3・4選	

講義のねらい

国際経営とは、国境を越えて事業を展開している企業（多国籍企業）の戦略およびマネジメントの課題に取り組んでいる経営学の一領域である。本講義のねらいとしては、経営戦略論、管理論、組織論をベースとして、比較経営や異文化マネジメントの視点を加味して、多国籍企業の戦略行動とマネジメントの特徴を理解することにある。つまり、国内的企業ではあまり問題とならないような、企業の国際化、多国籍化にかかわる諸問題を企業経営の視点から多面的に捉え、検討することを通じて国際経営に関する基本的理解を深めることを講義の目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

日本企業を念頭において授業を進めるが、欧米系多国籍企業との比較、ケースを用いて理解が深められるような講義の内容を予定している。授業のスケジュールに関しては、下記のような構成となっている。

1. 国際経営論入門、2. 経営戦略の基礎と国際経営戦略、3. 企業の国際化と国際経営環境、4. 企業の多国籍化と国際化の発展段階、5. 国際競争戦略のパターン、6. 国際戦略提携、7. 国際経営組織、8. 国際経営のモデル、9. 日本企業の国際経営（日米欧多国籍企業比較）、10. 海外子会社のマネジメント、11. 異文化マネジメント、12. 海外派遣（出向）者の育成・選抜・処遇、13. 日本企業の国際経営上の課題と展望

科
専
門
教
育
目
録

履修上の留意点

教科書を用いて講義を進めるため、授業に教科書を携帯のこと。

成績評価の方法

成績は、期末試験の結果によるが、その際、出席状況を加味する。

教科書

茂垣広志『グローバル戦略経営』（学文社）2,800円

参考書等

必要に応じて指示する。

その他

プロジェクターを用いて講義形式で授業を進行する。また、必要に応じて資料を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営戦略論	なかむらこういち 中村公一	経営A 2・3・4選	4
		14以降入学生/経営B 2・3・4選	

講義のねらい

経営戦略論は、現実の企業経営と密接に関連している実践的要素の強い科目である。受講生が企業に就職した時に、その企業が属する業界がどのように動いており、それに対応して企業が採っている戦略を理解することは、自分達の仕事の意義を考える上で有効なことである。さらに、就職活動の時にも、希望する企業の動向を把握することは重要な選択要因の一つとなるだろう。

本講義では、さまざまな企業の置かれている環境とそれに対する経営戦略を理解し、実践的な場面でも応用できる知識と考え方を提供することを目標に進めていく。

そこで、新聞やビジネス誌などをリソースとして、実際の企業の経営戦略をケースとして取り上げる。そして、なぜこの企業はこの戦略を採るのか、その戦略によってどのような効果が期待されるのか、ということに関して、古典から最先端の理論を使って解釈することを焦点に講義を進める。また、「こんな事例まで戦略的に分析できるのか！」という驚きも講義を通して提供していきたい。

専科 教育 目

講義の内容・ 授業スケジュール

講義のテーマは企業の成長戦略と競争戦略の分析にある。これは経営戦略論の中心的概念でもあり、企業が存続し発展していくには成長が必要であり、そのためには他企業との競争が避けられないからである。講義内容は一回の講義で一つのトピックの理解に努める。

1、経営戦略の基本課題；(1) 経営戦略とは何か、(2) 戦略の概念、(3) 経営戦略論の展開(学說的系譜)、(4) 外部環境分析・内部資源分析、(5) 戦略の策定と実行、(6) 現代企業の経営戦略、(7) 組織変革との関係

2、企業の成長戦略；(1) 企業の成長とは何か、(2) 事業領域の決定、(3) 多角化戦略、(4) 内部成長戦略(研究開発・製品開発戦略、社内ベンチャー)、(5) 外部成長戦略(M&A・アライアンス)、(6) グローバル戦略、(7) 地域企業の戦略(企業集積)

3、企業の競争戦略；(1) 企業の競争とは何か、(2) 競争上の優位性、(3) 価値連鎖(バリューチェーン)、(4) コア・コンピタンス、(5) コーポレート・ブランド、(6) ビジネスモデル、(7) イノベーション、(8) 標準化競争(デファクトスタンダード)

4、その他；(1) ステークホルダー戦略(各種利害関係者との関係・企業の社会的活動)、(2) 起業家精神、(3) eビジネスなど

以上は、講義で行う主要テーマであり、この順番通りに行うわけではない。また、1回の講義の中で複数のテーマを扱う場合もある。

これらの用語を見ただけでは授業内容は難しく感じると思うだろうが、企業の実例を豊富に使いながら講義は行われるので理解しやすいだろう。

履修上の留意点

経営戦略論は実際の企業活動と密接に関連しているために、日頃から新聞や雑誌などで関連する記事にはできる限り目を通すことが望まれる。そして、日常生活でも戦略論で学習したさまざまな視点から物事を見ていけるように心がけよう。

注意点としては、講義に対する妨害行為(私語、携帯電話など)には厳しく対処する。一人(数人)の愚かな行為により、他のまじめな学生に迷惑をかけ、講義自体の雰囲気が悪くなるために、教場を友人との話す場として考えている者は出席しないこと。なお、妨害行為をした者には、退場や不可の宣告もありうるので注

成績評価の方法

年度末の定期試験を中心に、授業中に実施する小レポート・アンケートを加点することによって判定する。

教科書

特に指定しない。基本図書や参考文献等などは授業中にその都度指摘する。

授業中にレジュメを配布してそれに基づいて講義を進めていく。1回の講義で1つの重要テーマに関する内容を学習する。

参考書等

経営戦略論の全般的な内容を理解するには、大滝精一他『経営戦略』(有斐閣)1,900円が役に立つだろう。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
企業形態論	のが 各務 み よう こ 子	経営A 2・3・4選 14以降入学生/経営B 2・3・4選	4

講義のねらい

企業形態論は、経営学において早くから成立した学問領域の一つである。企業形態を単に企業規模の区分として捉えるのではなく、企業制度の歴史的発展の過程、進化の段階として動的に捉える。資本主義経済の支配的な企業形態である株式会社を中心に据え、歴史的発展の過程、株式会社制度の基本、所有と経営との関係、現代株式会社の特質、株式会社支配論等の理論的特質を学び、現代社会における企業行動の理解を深める。企業に関する時事ニュースも同時に取り上げ、現代経営の諸現象を考察するための基本的知識の修得を目指す。

講義の内容・ 授業スケジュール

取り上げるテーマは以下の通りである。

1. 企業論と企業形態論：企業概念（企業理論への道程）
 - ・企業の法律形態（個人企業、組合企業、会社企業）
 - ・企業形態の本質的意味・企業の資本調達メカニズム
2. 単独出資者の企業：経済形態としての個人企業
 - ・法律形態としての個人企業・個人企業の実態
3. 少数出資者の企業：少数集団企業の特質（人的集団企業と混合的集団企業）
 - ・合名会社と合資会社の制度と本質・有限会社の制度と本質
4. 出資者多数の企業：株式会社
 - ・株式会社制度の特質・株式会社制度の歴史的変遷・株式会社の実態
 - ・株式会社とガバナンス（コーポレート・ガバナンスの意味、ガバナンス論争の背景、ガバナンス制度導入の実態—執行役員制度、持株会社制度等）
5. 株式公開会社と資本市場：株式公開の意味、企業成長と市場評価
6. 株式会社のトップ・マネジメントの制度と実態：日本のトップ・マネジメント組織
 - ・株主総会・取締役会・監査役会・執行役員と取締役会改革・諸外国のトップ・マネジメント制度と実態
7. 中小企業の企業形態：中小企業の特質
 - ・中小企業の類型化・下請け企業・ベンチャー企業、地域における中小企業集積・中小企業の組織化・組合制度の現状と課題
8. 企業結合の諸形態：市場経済における企業結合の必要性
 - ・企業の境界と取引費用・企業結合形態の多様性・企業結合形態の国際比較・M&Aと戦略的提携
9. 企業の国際化と多国籍企業：企業の国際化の背景と推移
 - ・多国籍企業の戦略と組織・国際化と経営課題
10. 公企業と公的サービスの供給方法の多様化：公企業の本質
 - ・公企業の存在意義と固有の属性・公企業の経営原則・公企業の経営形態・公的サービスの供給方法の多様化
11. 公企業の民営化：民営化の概念
 - ・世界的潮流としての民営化とその背景、目的
 - ・日本の公企業民営化

科 専 門 教 育 目

成績評価の方法

年2回の定期試験と、講義の終わりに小レポート（複数回）を実施する。小レポートの合計点（30%）、前期試験（30%）、後期試験（40%）によって総合評価する。

教科書

増地昭男・佐々木弘編著『最新・現代企業論』（八千代出版）2001年
その他、参考文献は適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
公益企業論	そのだつお 園田哲男	経営A2・3・4選 14以降入学生/経営B2・3・4選	4

講義のねらい

公益企業論の主要内容は、企業規制に関連する諸問題であり、とくに一般的企業規制と区別された意味における公益企業規制である。つまり、公益企業は、料金およびサービスに関し、規制をうけている問題であり、また、公益企業概念が、本来、制度的色彩の濃いものである。本講では、今日、企業の社会的責任の問題が論じられ、国民福祉という観点から、企業のあり方が問われ、政策事項として企業規制が問題とされている中で、公益企業の規制とは何か、また、公益企業の特質とは一体どのようなものかについて理解を深めることにある。

講義の内容・授業スケジュール

講義のすすめ方としては、前期に、公益企業概念の発達と、その問題点、および公益企業概念の再検討を行なう。後期は、公益企業における持株会社の形成（前期と後期）および評価について考察し、その上で公益企業の特質について理解させる。

履修上の留意点

学問は、単に知識だけを増殖するのではなく、適切な判断と意思決定を行なうための基礎となるものと考えている。本当に学ぶ意思のある学生だけが履修してくれることを望む。

成績評価の方法

成績評価は、單元ごとに小テストやレポートをし、総合評価とするが、大学卒業レベルの知識と問題解決能力を養う努力をしない者は厳しい評価を行なうつもりである。

教科書

授業中に指示する。また参考文献などを挙げ、できるだけ広範な考察を行なうつもりである。

専
門
教
育
目
録

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営史	まえだかずとし 前田和利	経営A2・3・4選 14以降入学生/経営B2・3・4選	4

講義のねらい

経営史を学ぶことによって企業経営の変化のダイナミズムを理解することが可能となる。本講義では、経営発達史における各段階の典型国をとりあげて講義するが、その際できるだけ産業・企業の歴史や国際比較の視点をふまえて論じていく。その結果、日本の企業経営の特質を鮮明に浮かび上がらせることができよう。

講義の内容・授業スケジュール

- I. 経営史研究の課題と方法
- II. 企業経営発達史
 1. 企業経営の生成
商人資本の経営、マニファクチュア経営
 2. 企業経営の確立
産業革命、工場制度、企業経営の諸様相－企業経営者のタイプと理念、企業・経営諸機能
 3. 企業経営の発展
市場と技術、大量生産システム、大企業の形成と戦略・組織、巨大企業の成立と管理機構
- III. 日本の企業経営史－ケースを中心として－
以上のうち、前期において企業経営の確立の一部まで終える。日本のケースについては進行具合によって変更がありえる。

履修上の留意点

教科書は使用しないので、下記の参考書を参照し、必ずノートを整理しておくこと。年に数回簡単な問題等を提示して回答してもらう予定である。適宜資料を授業開始時に配布する。

成績評価の方法

学年末試験による評価を原則とするが、多少提出した回答を加味する。

教科書

使用しない。

参考書等

榎本悟『アメリカ経営史学の研究』（同文館）、大河内暁男『経営史講義』（第2版）（東京大学出版会）、湯沢威ほか『エレメンタル 経営史』（英創社）、宮本又郎ほか『日本経営史』（有斐閣）その他随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本経営史	おおしま ひさゆき 大島久幸	経営A 2・3・4選 14以降入学生/経営B 2・3・4選	4

講義のねらい

本講義では、日本の経済発展との関連で、財閥を取り上げる。三井、三菱、住友などの財閥が、近代日本において、経済発展を担う中心的存在であったという事実に着目して、それら財閥が、どのようなプロセスで誕生し、日本の経済発展とともにどのように成長していったのかという点を考察し、そこから日本経済の発展の特徴や日本企業の歴史的な起源を考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義では以下の内容を取り上げる。
 1. 政商の誕生 2. 政商の資金源 3. 政商からの脱皮 4. 家政改革と家憲 5. コンツェルンと持株会社 6. 専門経営者の登場 7. 商社ブームと破綻 8. 鈴木商店の挫折 9. 三大財閥の覇権 10. 恐慌とドル買い 11. 財閥の転向 12. 戦時体制と財閥 13. 財閥解体 14. 企業集団と財閥

成績評価の方法

前期レポートと定期試験で総合的に評価する。

教科書

武田晴人『財閥の時代』（新曜社）1996年

参考書等

講義の中で適宜指定する。また必要に応じて教材を配布する。

科専門教育
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
商業史	やまだ まさる 山田勝	経営A 2・3・4選 14以降入学生/経営B 2・3・4選	4

講義のねらい

商業経営の歴史的発展の過程を、文化との関係に留意しながら講義する。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容の主なテーマは次のとおりである。
 (1) 商業史の視点 (6) 継続性
 (2) 歴史研究とパラダイム論 (7) 流通量
 (3) 利潤 (8) 大衆消費社会の特質
 (4) 商品 (9) 価格革命
 (5) 市場 (10) 情報社会と商業

履修上の留意点

講義を聴くことのみが学習の方法ではないが、講義は各自の学習の導きとしては有益であると思う。出席はとらないが、聴講に努めて欲しい。質問は歓迎する。教場での私語は他人の迷惑となるので厳禁とする。必要があれば教場から出て話すこと。

成績評価の方法

成績評価は定期試験による。

教科書

山田勝著『現代商業の歴史と展開』（創成社）2,850円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
保 險 経 営 論	いしなざかにあき 石名坂 邦 昭	経営 A 2・3・4 選 14以降入学生/経営 B 2・3・4 選	4

講義のねらい

本講義においては、保険学のアプローチとして近年一般化しつつあるリスク・マネジメントの基本的事柄につき理解した後に、保険理論の基本的知識を正確にし、わが国の保険事業並びに一般企業がかかえているリスクに関する諸問題にどのように対処したらよいかの応用能力が持てるようになることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

保険学の研究は、保険法学的アプローチ、保険経済的アプローチ、保険経営学的アプローチとそれぞれの時代を背景に論じられてきた。今日、保険学研究については保険経営学的研究をより発展させた、「危機管理論」(リスク・マネジメント)研究が主流となっている。本講義においては、最初にリスク・マネジメントの基本体系について論じ、リスク・マネジメントの理論、歴史的発展について見た後に、リスク・マネジメントの中心となる保険の機能、保険本質、保険技術について詳しく見ていきたい。

前期はリスク・マネジメントを中心とした講義を行い、後期に保険論を中心とした講義を行う。講義は、理解しやすいように工夫をこらしていく。教科書は使用するが、それは本講義を理解するための基本的共通知識として使用し、講義は教科書に書かれている事柄が理解されていることを前提として進めていく。

履修上の留意点

保険およびリスク・マネジメントを理解するためには使用される専門用語を理解されていなければならない、学ぶことも広範囲にわたるため、講義を受ける前に必ず教科書を読み講義後の復習も忘れないようにしてほしい。学生諸君の積極的な授業への参加を望む。

成績評価の方法

講義への出席状況および授業時の質疑応答と定期試験の結果を総合して成績評価を行う。

教 科 書

石名坂著『リスク・マネジメントの理論』(白桃書房) 3,500円

参 考 書 等

石名坂著『ファミリーリスク・マネジメントと保険』(白桃書房)
石名坂著『リスク・マネジメントの基礎』(白桃書房)

科目名	担当者名	配当学科	単位
銀行経営論	はつ どり よし ひさ 服 部 昌 久	経営A 2・3・4選 14以降入学生 経営B 2・3・4選	4

講義のねらい

金融制度は一国の歴史的発展の産物であり、その国の繁栄を築くための社会的インフラである。社会が今日のように大きな変革期にあるときには、長期的な展望に立って変化を先取りして新たな制度を構築しなければならない。経営環境が大きく変化した中で、銀行は新たな道を求めて模索しているが、本講義においては、戦後のわが国の金融システムの変遷を振り返るとともに、欧米主要銀行の動きにも注目しながら、利用者のニーズに応える銀行のあるべき姿を探りつつ、時事問題も含め、銀行経営にかかわる諸問題を、わかりやすく解説する。

講義の内容・授業スケジュール

講義はおおよそ次のような内容を予定している。

- ① わが国の金融制度の沿革と特徴
- ② 銀行の機能
- ③ 銀行の業務
- ④ 銀行経営と不良債権問題
- ⑤ 銀行経営とリスク管理
- ⑥ 信用秩序の維持と諸規制
- ⑦ これからの銀行経営のあり方

履修上の留意点

講義は基本的な事柄を取り上げ、わかりやすく解説するよう心がけるが、それでも不明な点があれば、質問を歓迎する。

成績評価の方法

学年末の定期試験(50%)、読書感想文(20%)、授業への出席(30%)を総合して評価する。読書感想文の課題図書は開講時に指示する。

教科書

服部昌久『日本型金融システムの転換』(財団法人為替貿易研究会) 2001年 2,700円

参考書等

- ・ロバート・ライタン、ジョナサン・ロウチ 小西龍治訳『21世紀の金融業』(東洋経済新報社) 1998年 2,000円
- ・高瀬恭介『新版 金融変革と銀行経営』(日本評論社) 1999年 3,800円
- ・高木仁、高月昭年『入門 日本の金融機関』(東海経済新報社) 2000年 2,900円
- ・鹿野嘉昭『日本の金融制度』(東洋経済新報社) 2001年 3,200円
- ・藪下史郎、武士俣友生『中小企業金融入門』(東洋経済新報社) 2002年 2,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
上 級 簿 記	とこ い むつ こ 床 井 睦 子	経営A 2・3・4選 14以降入学生/経営B 2・3・4選	4

講義のねらい

この講義では、1年次の必修科目である「簿記学」で修得した基本的な簿記の知識を、より総合化・体系化させつつ、高度の簿記理解を目指して行います。具体的には、特殊取引・本支店会計・株式会社会計・個別財務諸表・連結財務諸表・キャッシュフロー計算書等の一連の応用簿記を学んでいきます。技術的管理技法としてのこうした高度の簿記の学習を企業の決算書理解に結びつけて取り扱い、実践的な計算管理により関心を深めてもらいたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

- ・簿記の一巡の手続と財務諸表
- ・特殊取引：
 - 特殊商品売買取引、手形取引、固定資産取引
- ・本支店会計：
 - 本支店取引、合併財務諸表
- ・株式会社会計：
 - 株式会社の資本、利益処分（損失処理）、社債・繰延資産、株式会社の税金
- ・計算と財務諸表
 - 決算整理と財務諸表（個別財務諸表・連結財務諸表・キャッシュフロー計算書）

履修上の留意点

高度の簿記の修得には、継続と復習につきます。毎回の出席と学んだことを自分の力にする努力とを期待します。

成績評価の方法

前期・後期の試験に平常点を加味し、総合評価で行います。

教 科 書

加古宜士・渡部裕巨編著『新検定簿記ワークブック（商業簿記）』2級（中央経済社）600円
その他教科書については、開講時に指示します。

参 考 書 等

必要に応じて紹介していきます。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
財務会計論	渡邊 恵一郎 <small>わた なべ えいちろう</small>	経営A 2・3・4選 14以降入学生/経営B 2・3・4選	4

講義のねらい

財務会計論は会計学の一分野であり、企業の経営成績と財政状態を明らかにするという基本的職能を取り扱っている。財務会計の目的は、企業経営に責任を負う経営者に、投資者、債権者その他企業と利害関係を持つ外部の人々に対して、適切な企業財務情報を提供させることにある。この主たる手段が、損益計算書、貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書などの財務諸表である。

講義では、財務諸表を作成するための会計処理（測定）と表示方法（伝達）を中心的課題とし、またこれに関するわが国の商法、税法などの会計法規も取り上げ、さらに国際会計基準との関連にも触れる。

講義の内容・授業スケジュール

講義の内容はおおむね下記の教科書によることとし、この授業スケジュールは次のとおりである。

- ① 4～5月 財務会計の機能と制度、利益計算の仕組み、会計理論と会計原則
- ② 6～7月 利益計算と資産評価の基本原則、現金預金と有価証券、売上高と売上債権、棚卸資産と売上原価
- ③ 9～10月 固定資産と減価償却、繰延資産、負債、資本
- ④ 11～12月 財務諸表の作成と公開、連結財務諸表、外資建取引等の換算

履修上の留意点

毎時間の出席率と宿題提出（年1回）を重視する。

成績評価の方法

成績評価は、出席率、宿題提出及び定期試験点数の総合による。

教科書

桜井久勝著『財務会計講義』（中央経済社）

参考書等

日本公認会計士協会編『監査小六法』（中央経済社）

その他

(1) 授業の方法は、講義による。(2) 簿記学・会計学の単位を修得していること。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
管理会計論	猿山 義 広 <small>さる やま よし ひろ</small>	経営A 2・3・4選 14以降入学生/経営B 2・3・4選	4

講義のねらい

この講義では、すでに「簿記学」の単位を修得していることを前提として、企業における管理会計の基本思想を学びます。

講義の内容・授業スケジュール

1. 管理会計の意義と体系
2. 短期利益計画のためのC-V-P分析と経済性計算
3. 意思決定のための原価概念と利益概念
4. 原価管理会計
5. 予算統制
6. 投資意思決定

履修上の留意点

「管理会計論」は計算科目なので電卓を持参すること。

成績評価の方法

期末試験、夏季休業中のレポート、および平常点を考慮して、総合的に評価する。ただし、中心になるのは期末試験の結果である。

教科書

中原章吉編著『管理会計論』（税務経理協会）
なお、適宜、プリントを配布する。

参考書等

櫻井通晴著『管理会計〔第二版〕』（同文館）

科目名	担当者名	配当学科	単位
会計監査論	あべかずひと 阿部一人	経営A 2・3・4選 14以降入学生/経営B 2・3・4選	4

講義のねらい

“監査論を無味乾燥であるとエスケープしないでくれたまえ”

もともと監査論は、その言葉自体がもつ語感からして、堅苦しく・手続的で暗いイメージを与えがちである。

監査論は他人の不実行為を暴くこと自体を目的とするものではないので、仮にその結果、内容のどこにも非のうちどころがなく全く適切で妥当なことが明らかになったとしても、それはむしろ当然の事柄であって、その人が負っている責任を免れることにもなるのである。

監査は、優れて社会的・人間的な用具として生みだされたものであるが、しかしそれを悪用したり骨抜きにしたりする者も現実には存在することは、過去の事例からも明らかなことであるけども、そのような者が多ければなおのこと監査に対する社会的な要望も多岐に存在している。

まさに、監査がどれだけ社会一般に受け入れられているかということこそ、文明社会を映し出す尺度であると言えまいか！

監査論は財務諸表監査として特徴づけられている。

これは、企業をめぐる多数の利害関係者を保護するため、企業の発表する財務諸表が企業の財政状態や経営成績を適正に表示しているかどうかについて、職業的監査人が公正な立場から批判的意見を表明する社会制度であり、他のあらゆる監査の標準をなすものである。

本講義では、財務諸表監査を中心として、さらに監査役監査ならびに内部監査をはじめ最近の経営監査、監査の国際化などの関連領域をも含めて論及する。

専科 門教 育目

講義の内容・ 授業スケジュール

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 会計監査の意義と目的（総論） | 10. 監査人 |
| ①監査の必要 ②監査の意義 | 11. 監査証拠 |
| ③監査の対象 | 12. 監査計画 |
| 2. 会計監査の意義と目的（2） | 13. 内部統制 |
| ①監査の目的 ②監査思想の変遷 | 14. 試算 |
| ③監査の効用 | 15. 監査技術と監査手続 |
| 3. 監査の機能 | 16. 監査調査 |
| 4. 会計上の誤謬と不正 | 17. 監査報告書 |
| 5. 監査の種類 | 18. 連結財務諸表の監査 |
| 6. 会計監査と財務諸表監査 | 19. 中間財務諸表の監査 |
| 7. 我国の監査制度 | 20. システム監査 |
| ①証券取引法監査 ②商法監査 | 21. 国際監査基準 |
| ③その他の監査制度 | 22. 現代監査論の動向 |
| 8. 監査基準（1） | ①監査概念の拡大化 |
| ①必要性 ②生成と展開 | ②監査保証に程度の差を認める監査概念 |
| 9. 監査基準（2） | |
| ①意義 ②体系 ③一般基準 | |
| ④実施基準 ⑤報告基準 | |

履修上の留意点

「簿記学」「会计学」の科目を履修済みであることが好ましい。

成績評価の方法

評価の方法は、前期と後期の定期試験、レポート（夏季）および出席状況を考慮して、総合的に判定する。なお、最初の講義時に詳細な講義内容、試験の方法および評価の方法等について説明するので、受講希望者は必ず出席すること。

教科書

大矢知司『監査論概説』（白桃書房）3,300円

参考書等

田島四郎『最新監査論』（税務経理協会）2,900円
 高田正淳『最新監査論』（中央経済社）2,800円
 鳥羽至英『監査基準の基礎』（白桃書房）3,900円
 三澤 一『会計監査の理論』（中央経済社）2,800円
 山榎忠恕・松田信男『監査基準精鋭精説』（税務経理協会）3,500円
 脇田良一『財務諸表監査の構造と制度』（中央経済社）3,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
税 務 会 計 論	たかき かつみ 高 木 克 己	経営A2・3・4選 14以降入学生 経営B2・3・4選	4

講義のねらい

今日、租税は我々個人にとっては、所得税、相続税等の問題として、また、企業にとっては、法人税の問題が大きな関心事として存在している。ここ数年、法人税も税率の引き下げをはじめ、多くの改正が行われている。本講義では、普通法人（株式会社等）を前提とした法人税の算定過程を中心に講義を進めていく。

税務会計とは、一般に企業における課税所得の算定過程を研究する分野をいう。この課税所得は、商法あるいは企業会計原則等によって算出された利益にもとづいて算定される。そこでは、法人税法固有の規定（いわゆる別段の定め）が適用され、負担の公平、簡便性、あるいは政策的配慮等さまざまな考え方が反映されている。講義では、こうした税法固有の考え方の根拠、背景等を出来るだけやさしく説明しながら、今日、法人税法の抱えている問題点を明らかにしていきたいと考える。

講義の内容・授業スケジュール

- 講義内容の概要は次のとおりである。
1. 法人の種類及び課税所得の範囲等
 2. 同族会社と青色申告
 3. 課税所得の計算構造
 - (1) 企業利益と課税所得の関係
 - (2) 益金の額及び損金の額
 - (3) 公正処理基準及び資本等取引
 4. 収益の計上基準についての原則的な考え方
 - (1) 引渡基準
 - (2) 特殊販売収益の計上基準
 - (3) 役務、請負、譲渡収益等の計上基準
 5. 受取配当金益金不算入
 6. リース取引
 7. 給与（報酬、給料、賞与）の税務処理基準
 8. 交際費及び寄付金
 9. 有価証券、棚卸資産、固定資産、繰延資産等の税務処理
 10. 圧縮記帳
 11. 引当金と準備金
 12. 企業を巡る国際課税の問題
 - (1) 移転価格税制
 - (2) タックス・ヘイブン対策税制
 - (3) 外国税額控除制度
 13. 法人税額の計算

科 専 門 教 育 目 録

履修上の留意点

「簿記学」「会計学」等の基礎的な会計科目を修得した上で履修した方がより理解が深まると思われる。

成績評価の方法

原則として学年末の試験によって評価する。レポートは年1回程度提出を求める。

教 科 書

開講時に指示する。

参 考 書 等

開講時に指示する。

そ の 他

毎回出欠をとるかどうかは、初回の講義の中で受講生諸君と相談して決めたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営分析論	かたぎりのおのぶ 片桐伸夫	経営A 2・3・4選 14以降入学生/経営B 2・3・4選	4

講義のねらい

経営分析とは、文字どおり「企業の経営を分析すること」であり、かなり多方面にわたる内容をもっています。

皆さんが将来を託そうとする会社は、

- 1 財政的に安定しているだろうか（安定性分析）、
 - 2 「儲け」はどうだろうか（収益性分析）、
 - 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか（生産性分析）、
 - 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか（成長性分析）、また、
 - 5 社会に対してどのように貢献しているだろうか（社会性分析）、
- といった内容です。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、企業の毎期の経営活動を報告する「貸借対照表」や「損益計算書」などの「財務諸表」の読み方をまず説明し、安定性・収益性分析を学習します。

後期は生産性・成長性・社会性分析や、さらに、損益分岐点・利益増減その他の分析を取りあげます。

「各自が企業の経営を分析できるようになる」ため、授業で必要最小限の理論を学び、ただちに、新聞などの最新のトピックによって企業の現実にふれます。

履修上の留意点

この授業の目的は、「財務諸表分析」を中心に、各人が就職を希望する、あるいは興味を持っている会社の「分析」をしていただくことにあります。つたなくても、ささやかでも、その成果は皆さんの貴重な「財産」です。

成績評価の方法

成績評価はレポートと授業中のテストで行います。学年末試験は行いませんのでご注意ください。

*レポート・テーマ：前期「各自が関心を持っている企業の収益性・安定性分析」

：後期「各自が関心を持っている企業の成長性その他の分析（続）」

☆提出日（授業はじめに配布するシラバスに明記）以外は受け付けませんのでご注意ください。

*テスト範囲：財務諸表数値を用いた経営比率の算出問題。

☆質問は授業以外にも研究室2307号室で随時受け付けますので、遠慮なくおいでください。

教科書

開講時、指示します。

参考書等

随時、紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済政策	飯田 泰之 <small>いいだ やすゆき</small>	経営A 2・3・4選	4
		14以降入学生/経営B 2・3・4選	

講義のねらい

経済に関する諸問題についてその政策的な対応のあり方を論じる。複雑な現状を理解し、対応策を探るためにも問題を整理し、論理的に把握することが必要である。経済問題に関してその導きの糸となるものこそが経済理論に他ならない。本講では基本的なミクロ経済学・マクロ経済学の知識を援用し「経済学的に妥当な政策」を論じることを中心的な課題とする。講義全体に必要な基本ツールの学習後、①理論的な枠組みを解説し、②それを用いて政策的課題を論じ、③現実の事例・データで確認するというプロセスを繰り返すことで講義を進めていく。

講義の内容・授業スケジュール

前期は経済学の基本思考、図表・データの読み方使い方といった基本ツールを講義した上でミクロ・産業レベルの経済政策課題を中心に学習する。具体的には「貿易」「課題」「公共投資」「環境問題」「産業政策・産業規制」「不況の長期化」などを取り扱う。後期はマクロレベルの経済政策課題の学習と現在の日本経済に対する様々な政策提案の検討を行う。具体的には「財政政策の根拠」「金融政策の手法」「失業問題」「不良債権処理」「需要創出型構造改革」「インフレーションターゲット」などが中心になるだろう。

履修上の留意点

出席は問わないかわりに講義中の私語等には厳しく対応する。

成績評価の方法

2回のレポート提出と後期試験。再試験は行わない。

教科書

指定しない。

参考書等

ミクロ経済学・マクロ経済学に関する基本的なテキストを持っていると便利である。その他の参考文献に関しては講義の中で紹介する。

科 専
目 門
教 育

科目名	担当者名	配当学科	単位
財政学	速水 昇 <small>はやみ のぼる</small>	経営A 2・3・4選	4
		14以降入学生/経営B 2・3・4選	

講義のねらい

私たちの日常生活は、そのほとんどの側面で直接・間接的に政府の経済活動の恩恵を受けている。たとえば、出掛けに傘を持っていくべきか否かは、適確な天気予報によって判断できるし、病気や怪我をしたときにかかる医療費は医療保険のおかげで実際に支払った額の数割程度ですむ。また、道路・港湾などの社会資本整備は公共部門が供給しているなど、政府はさまざまな役割を担っている。さらに金融不安、国債の累積残高、高齢化・少子化社会、規制緩和など政府が解決しなければならない問題が非常に多くある。

その反面、わが国の政府は、平成12年度末で国債の発行残高が約364兆円、地方公共団体の赤字が約187兆円、これに約28兆円の旧国鉄の債務や「隠れ借金」といわれる林野事業等の特別会計の借金などを加えると、財政赤字は実に約647兆円になる。この数字は12年度わが国のGDP見込みの129.6%に相当する。EU（ヨーロッパ連合）の基準だと健全な国家の財政赤字はGDPの60%とされているから、わが国の財政はいかに不健全な状態であるかが理解できる。最近の景気低迷、これから高齢化・少子化社会に向けて、納税者としての立場、あるいは日本国民としての立場から財政の問題を考えていくことが大切であるという認識に立つて授業を行う。

成績評価の方法

試験、授業中の小テスト

教科書

速水昇著 要説『財政学』（学文社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
金 融 論	寺 尾 好 正 <small>てら お よし まさ 寺 尾 好 正</small>	経営A 2・3・4選	4
		14以降入学生/経営B 2・3・4選	

講義のねらい

- 現実の経済問題の理解と、わが国が直面している課題に対する経済政策の対応のあり方を考える力を養うことを目的とする。そのためには、経済の金融的側面の理解が不可欠であるが、一般に必ずしも理解が進んでいない。こうした実情を踏まえ、フィナンシャルな事象や monetary theory を中心とする。また、金融・経済の現実を踏まえた、実践的な議論・理論に重点を置く。
- フィナンシャルな事象を検討する場合、特に市場メカニズムの理解・評価が重要である。従って、講義では市場メカニズムの視点が様々なテーマに共通する「縦糸」となる。
- 上記の問題意識の下で、カレントな 이슈や、金融市場の実際の動向等を随時紹介することにより、臨場感あふれる講義を指向する予定。
-上記検討において、実践的な意味を持つと考えられる範囲で、経済理論のフレーム・ワークを活用する。(経済の現実と距離感が比較的小さいとの視点から、ケインズ理論が中心となる)。

講義の内容・授業スケジュール

- わが国経済が直面している経済問題を扱う観点から、不良債権問題を始めとする金融システムの問題と、マクロ金融政策の両者をカバーする予定。

成績評価の方法

- 期末試験と提出レポートの内容等を総合して評価する予定。

教科書

- ・堀内昭義 著『金融システムの未来』(岩波新書)
- ・翁 邦雄 著『金利の知識』(日経文庫)

参考書等

- ・KEYNES, J. M. *The General Theory of Employment, Interest and Money*
- ・池尾和人著『現代の金融入門』(ちくま新書)

専
門
教
育
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 際 経 済 論	なが 永 田 とも のり 智 則	経営A 2・3・4選	4
		14以降入学生/経営B 2・3・4選	

講義のねらい

現在の国際経済は、各国経済の急速なグローバル化の進展にともなって、ダイナミックに変動しています。その中で、各国経済は緊密な相互依存関係を構築することによって国際社会から大きな利益を得ています。同時に、相互依存関係の緊密化は、ややもすれば国際間に相互対立を生み出し、さまざまな国際経済現象を引き起こします。どの国の経済も国際経済の動向と無縁であることはできませんし、逆にどの国の出来事も国際経済に影響を及ぼします。

本講義の目的は現実には生じている国際経済現象の解明に役立つような基礎的理論を簡潔に提示することにあります。「なぜ貿易が行われるのか」から説き起こし、最近の東アジアの経済発展に大きな役割を演じている「直接投資」まで題材にして講義する予定です。

授業で展開される分析道具を習得すれば、現実の国際経済現象を自ら解明するのに役立つはずです。

講義の内容・授業スケジュール

本年度の講義内容は以下の6つのテーマを予定します。

1. 国際分業論
2. 貿易政策
3. 経済成長と貿易
4. 国際マクロ経済学
5. 外国為替と国際収支
6. 資本の国際移動

履修上の留意点

授業中は他の受講生に迷惑が及ばないように、私語を謹み、携帯電話の電源を切るなど全員が授業に集中できるように心がけて下さい。授業内容で不明な点や疑問点があれば遠慮なく質問して下さい。

成績評価の方法

成績評価は、原則として学年末の定期試験で評価しますが、授業への出席も重視します。途中、検討課題を出すことも考えていますので、総合的な評価になることもあります。

教科書

開講時に指示します。

参考書等

随時必要に応じて紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
証 券 市 場 論	さとう のぼる 佐藤 昇	経営A 2・3・4選	4
		14以降入学生/経営B 2・3・4選	

講義のねらい

従来、わが国の金融システムは銀行等を仲介者とする間接金融を中心として発展してきた。しかしながら、近年、銀行等の不良債権の大量発生によりこの方式がやや機能不全の様相を呈するとともに、有価証券を発行して投資家から資金を調達する手段である直接金融システムへの比重移行の必要性が提言されている。講義では有価証券市場の機能や市場構成など基礎的な解説とともに将来への展望についても検討し、経済動向に関する報道等を正しく理解し、みずから判断する能力を培うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

最初に証券市場で取り扱う対象である有価証券を定義し、その機能等を解説する。そのうえで伝統的有価証券である債券や株式の種類や機能、発行・流通市場について考察するが、わが国の財政事情と国債市場の動向あるいは株式市場動向と経済全般との関わり、など経済社会における重要な課題についても触れておきたい。

また、資金運用手段としての証券市場の役割も重要であるので、債券利回りの意味と計算の方式、株式の投資尺度やその利用方法、あるいは企業の債務返済能力を示す格付け制度の概要と活用方法など、いわば実務的側面についても解説する。

なお、近年における金融・証券市場のグローバル化にともなって、資金の動きが速くなり、移動の範囲も急速に拡大しているため、市場改革のテンポも極めて速くなっている。今後も、内外共に市場の激変が予想されるため、証券市場に関連して重要な事態が発生した際には、その都度背景や影響などを解説する。

履修上の留意点

証券や金融市場に関するニュースに関心を持って欲しい。その上で、疑問点や不明な用語等があれば積極的に質問してもらいたい。授業に際しては出来るかぎり質問の時間を設ける予定である。

成績評価の方法

原則として学年末の定期試験によって評価する。

教 科 書

佐藤昇ほか著『入門 現代の証券市場（第2版）』（東洋経済新報社）2,800円（予定）
（前年までの教科書を全面改定し現在印刷中、発行は5月の予定）

参 考 書 等

授業中に指定する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
計 量 経 済 学	こ 眞 逸 良	経営A 2・3・4選	4
		14以降入学生/経営B 2・3・4選	

講義のねらい

現実の経済データを用いた例題を実際に解くことを通じて、計量経済学を学ぶ。パソコンを利用して演習を行うことにより、抽象的になりがちな計量経済学を分かりやすく理解し、実際のデータ分析の能力を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

前 期

Excelを利用して例題を解きながら、以下の内容を講義する。

1. 統計学の基礎知識 (I)
2. 統計学の基礎知識 (II)
3. 単純回帰モデル
4. 重回帰モデル
5. 回帰モデルの仮説検定

後 期

TSPを利用して前期の例題を再計算することを通じて、TSPの扱いをマスターする。その上で、以下の内容を講義し、TSPを用いて演習を行う。

6. TSPの基礎
7. ダミー変数
8. 系列相関
9. 連立方程式

科 専
門 教
育 目

履修上の留意点

経済理論のある程度勉強していることと、統計原理と経営数学を履修すること。

成績評価の方法

日頃の宿題、レポートと学期末試験の結果により総合的に判断する。試験での持ち込みは自由。

教 科 書

白砂堤津耶『例題で学ぶ 初歩からの計量経済学』（日本評論社）1999 2,800円（税別）

参 考 書 等

山本拓『計量経済学』（新世社）
 蓑谷千風彦『計量経済学』（東洋経済新報社）
 G. S. マダラ著・和合肇訳『計量経済分析の方法』（シーエービー出版）
 唯是康彦『Excelで学ぶ計量経済学入門』（東洋経済新報社）
 縄田和満『Excelによる回帰分析入門』（朝倉書店）
 蓑谷千風彦等『パソコンによる数量分析・ExcelとTSP入門』（多賀出版）
 縄田和満『TSPによる計量経済分析入門』（朝倉書店）
 和合肇、伴金美『TSPによる経済データの分析』（東京大学出版会）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 経 済 史	きた しま まん じ 北 島 万 次	経営A 2・3・4選	4
		14以降入学生/経営B 2・3・4選	

講義のねらい

第Ⅰ部 日本における無階級社会（原始社会）から階級社会（奴隷制社会・封建制社会・資本制社会）にいたるまでの経済史発展の移り変わりについて、そのあらましを述べる。

第Ⅱ部 幕藩体制社会の経済のしくみとその発展

1. 幕藩体制社会の経済構造とその特質について述べる。
2. その前提として、幕藩体制社会（封建社会の経済）のもとで、近代へ向けての経済発展がどのように展開したかについて述べる。その事例としてつぎのことについてふれる。

- ① 江戸時代後期、畿内における棉作の展開とその実態
- ② 開港直前における信州諏訪製糸業の展開
- ③ 江戸時代後期、上州における地主制とその経営

第Ⅲ部 幕末維新期の経済変動

1. 明治維新と外圧についてのあらまし
2. 幕末貿易の展開とその実態
3. 日本における資本の形成
 - ① 秩禄処分過程
 - ② 銀行資本の創出
4. 資本の投資
5. 地租改正の実態とからくり

成績評価の方法

出席点とテスト。(注) 出席の著しく悪い受講者には単位を認定しない場合がある。

教科書

教材はその都度配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情報処理応用Ⅱ(前期)	お ざ わ と し ひ さ 小 沢 利 久	経営A2・3・4選	2

講義のねらい

IT化が進行する現在、ネットワークに接続されたコンピュータが至る所に設置され、それらが日々膨大なデータを収集・蓄積している。それらのデータを基にして有効な方策立案を行うためには、さまざまな観点からデータを分析し、意味のある情報を引き出さなければならない。この講義では、データ分析ができるという意味でパソコンが使いこなせるようになることを目標に、Excel、特に付属のツールを用いたデータの分析方法について学んでいく。

講義の内容・
授業スケジュール

アプリケーションソフトはExcelのみを用いる。予定している内容は以下であるが、順序は適宜変更する。

1. Excel基本機能の復習：式、グラフなど
2. 近似曲線：移動平均、単回帰直線など
3. 分析ツール・回帰分析：重回帰分析による要因の抽出など
4. ワークシート関数：基本的な関数、統計関数、財務関数など
5. ゴールシート：目標値を与える条件の探索など
6. ソルバー：最適化問題の解法など

履修上の留意点

情報処理基礎と情報処理応用Ⅰの内容、特にExcelについての基本的知識を前提として講義を進める。パソコンを用いたデータの分析方法を修得するためには、単にパソコンの使い方を学ぶだけでなく、その分析方法が持つ意味や目的についても理解する必要がある。一般に、データ分析方法は数学を基にして構成されている。しかし、幸いなことに、そのような数学的内容の詳細を知らなくてもデータ分析はできるので、この講義では一切触れない。興味のある学生には関連科目の受講を勧める。

成績評価の方法

テーマ毎の演習課題（レポート）を主とし、それに出席状況を加味して評価する。

教 科 書

教科書は必要に応じて指定する。また、必要に応じてプリントを配付する。

参 考 書 等

参考書は必要に応じて指定する。

そ の 他

〔クラス定員〕60名
〔関連科目〕経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論
※この科目は4月初旬に事前登録の申請をしなければ履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情報処理応用Ⅱ(前期)	宇 谷 明 秀 <small>う たに あき ひで</small>	経営A2・3・4選	2

講義のねらい

本講義では、プログラミングについて学ぶ。演習で簡単なデータ処理ソフトを作成する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1) プログラミング講義
C言語について、そのすべてを説明する。
- 2) プログラミング演習
C++Builderを使って、幾つかの簡単なデータ処理ソフトを作成する。

履修上の留意点

情報処理応用Ⅰを履修しておく和良好的。授業は演習中心になるので、欠席は極力避けること。

成績評価の方法

出席(20点) + 中間試験(40点) + 期末試験(40点)。

教 科 書

使用しない。講義内容をまとめた資料を配布する。

参 考 書 等

授業の中で随時紹介する。

そ の 他

〔クラス定員〕60名
〔関連科目〕経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論
※この科目は4月初旬に事前登録の申請をしなければ履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
情報処理応用Ⅲ(後期)	小 沢 利 久 <small>お ざわ とし ひさ</small>	経営A 2・3・4選	2

講義のねらい

プログラムとはコンピュータに処理を実行させるための指令書であり、全てのコンピュータはその指令書に従って動作している。指令書はプログラミング言語と呼ばれる特別な言葉で記述されており、その言葉の使い方を学ぶことがプログラミングを学ぶことに対応する。例えば、Excelで折れ線グラフを作成するという処理にはそれに対応するプログラムが存在し、VBA (Visual Basic for Applications) という言語で記述されている。よって、自らプログラムを作成することで、より複雑で柔軟な処理を思い通りに構成することが可能となる。この講義では、Excel上のVBAを用いてプログラミングの初歩を学んでいく。また、Excelのワークシート操作をプログラムによって実行させる方法について学んでいく。

講義の内容・授業スケジュール

- アプリケーションソフトはExcelのみを用いる。予定している内容は以下である。
1. VBAの基礎：VBエディタ、モジュール、プロシージャ、コード、マクロの記録
 2. 簡単なプログラム：変数、演算子、MsgBox、InputBox、Range
 3. 処理の流れと配列：条件分岐、繰り返し制御、配列
 4. オブジェクト：メソッドとプロパティ、セルの操作、シートの操作
 5. 処理の分割：サブプロシージャ、ファンクションプロシージャ
 6. ユーザーフォーム：コントロール、イベントプロシージャ

科 専
門 教
育 目

履修上の留意点

情報処理基礎と情報処理応用Ⅰの内容、特にExcelについての基本的知識を前提として講義を進める。講義内容は全て関連しており、途中が抜けるとその先を理解するのは難しいということをよく理解しておくこと。スポーツと同様、プログラミングは自分でプログラムを作り、実行するということを繰り返して初めて修得できる。よって、簡単なものでよいので、自分の手と頭を使い、いろいろなプログラムを作ってみること。

成績評価の方法

テーマ毎の演習課題(レポート)を主とし、それに出席状況を加味して評価する。

教科書

教科書は必要に応じて指定する。また、必要に応じてプリントを配付する。

参考書等

参考書は必要に応じて指定する。

その他

〔クラス定員〕60名
〔関連科目〕経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論
※この科目を履修するためには、「情報処理応用Ⅱ」の4月初回授業時に担当教員の受講許可を得た上で、履修登録してください。「情報処理応用Ⅱ」への事前登録申請のみでは履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報処理応用Ⅲ(後期)	宇谷明秀 <small>うたにあきひで</small>	経営A2・3・4選	2

講義のねらい

多くの企業では、多量の情報を収集し、収集した情報を分析して経営戦略を立案している。本講義では、幾つかのデータ分析手法を紹介し、C++Builderを使って、実際にデータ分析ソフトを開発する。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) データ分析手法の講義
経営戦略を立案する際に用いる幾つかのデータ分析手法を紹介する。
- 2) ソフト開発
C++Builderを使って、実際にデータ分析ソフトを開発する。

履修上の留意点

情報処理応用Ⅰ及びⅡを履修しておくが良い。授業は演習中心になるので、欠席は極力避けること。

成績評価の方法

出席(20点) + 中間試験(40点) + 期末試験(40点)。

教科書

使用しない。講義内容をまとめた資料を配布する。

参考書等

授業の中で随時紹介する。

その他

〔クラス定員〕60名
〔関連科目〕経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論
※この科目を履修するためには、「情報処理応用Ⅱ」の4月初回授業時に担当教員の受講許可を得た上で、履修登録してください。「情報処理応用Ⅱ」への事前登録申請のみでは履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報理論	にしむらかずお夫 西村和夫	経営A 2・3・4選	4
		14以降入学生/経営B 2・3・4選	

講義のねらい

近年では日常的に使われる言葉となっている“情報”の本質を探ります。主に、情報の量(情報量)を定義したシャノン(C. E. Shannon)流の情報理論について講義します。

この授業を受講すれば、ある通報や記号のもっている情報量を、具体的な数値として(シャノンという単位で)計算できるようになります。これによって、たとえばDNAの情報量を記録するために十分なフロッピーディスクの枚数が、たちどころに計算できるようになります。

また、情報量の期待値(平均値)であるエントロピーという概念も理解できます。これは、経営情報論、符号理論、通信理論、暗号理論などで利用される重要な概念です。

その後で、エントロピーによって冗長度を導入します。言語の文字や音が冗長であることが、会話を成立させるために重要であることを理解します。

途中で、古代から現代にわたる暗号の話をしていきます。現代の暗号技術の基礎についての理解は、現代社会で生きていくために必要なことです。

講義の内容・授業スケジュール

- 4月3回 授業内容概説、情報とは、情報量への要求
- 5月3回 対数の原理と性質、計算練習
- 6月4回 情報量の定義、練習、情報量の利用、2進法
- 7月3回 暗号系と用語、古典的な暗号、“踊る人形”の解説
- 9月2回 現代的な暗号、暗号技術を使ってできること
- 10月2回 符号化(JISコード、国際符号化文字集合)、対数・情報量の中間試験
- 10月2回 確率過程およびマルコフ過程
- 11月2回 遷移確率と同時確率
- 11月1回 エントロピーの定義
- 12月2回 冗長度、言語のエントロピー
- 12月1回 価格以外の情報がない場合の市場占有率予測
- 12月1回 検査術(CD)、情報の圧縮と乱数、デジタルとアナログ

科専門教育
目

履修上の留意点

4年次で履修するのは困難です。2～3年次のうちに履修しておくように強く奨めます。また、毎回出席して計算練習に参加していないと、試験問題を解くことは無理でしょう。

内容の性質上、確率と対数に関する多少の数学的知識が必要になりますが、これらについて全く知らなくても理解できるように配慮しています(上表5月参照)。

成績評価の方法

10月の中間試験(30%)と定期試験(70%)との合計点によります。

教科書

クイズと計算練習を適宜とりいれます。また、プロジェクトとプリントを使います。適当な教科書はありません。

参考書等

そのつど紹介します。

その他

〔関連科目〕→ 経営情報論 この科目は、再試験を実施しません。

講義内容のページ：<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kazov/Nis/lecture/info.html>

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 科 学	お 小 沢 利 久 <small>ざわ とし ひさ</small>	経営A 2・3・4選	4
		14以降入学生/経営B 2・3・4選	

講義のねらい

経営科学とは、経営活動において生じる様々な意思決定を科学的に支援するための方法論を考える学問である。また、モデルを用いて対象を定量的に分析する点に特徴がある。本講義では、経営科学的な問題のとらえ方と問題解決のための代表的な手法について学んでいく。

講義の内容・授業スケジュール

前半は、最適化のための手法を扱う。生産計画問題とは、使用可能な資源の量が限られている場合に利益を最大化する方法を求め問題であるが、このような最適化問題を扱う手法として線形計画法とネットワーク計画法を取りあげる。ゲームの理論では、競争下における最適な戦略について考えていく。後半は、不確実性を伴う状況下での意思決定と不規則に変動する現象を分析するための手法を扱う。不確実性の下で情報を多面的に分析するための考え方を示すのが意思決定の理論である。オプションの価格付け理論では、不規則に変動する株価をモデルに取り込んだ分析法を示す。待ち行列理論では、不規則に発生するサービス要求を処理するためのコンピュータシステムなどを解析する。以下は今年度の講義予定である。

1. 線形計画法：定式化、シンプレックス法、感度分析
2. ネットワーク計画法：最短経路問題、最小木問題、最大流問題
3. ゲームの理論：ナッシュ均衡、有限ゼロ和2人ゲーム
4. 意思決定の理論：意思決定の基準、情報の価値、階層的意決定法
5. オプションの価格付け理論：コールオプション、1期間モデル、裁定定理
6. 待ち行列理論：ケンドールの記号、リトルの式、M/M/Sモデル

履修上の留意点

理解を深めるために適宜演習を行う。

成績評価の方法

試験（前期末と後期末の2回）を主とし、それに演習課題と出席状況を加味して評価する。

教 科 書

プリントを配付する。

参 考 書 等

田畑吉雄『経営科学入門』（牧野書店）
森雅夫他『オペレーションズリサーチ I、II』（朝倉書店）

そ の 他

経営数学と経営科学概論を先または同時に履修しておくことが望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営情報論	高井徹雄	経営A2・3・4選 14以降入学生/経営B2・3・4選	4

講義のねらい

経営スタッフの役割は、意思決定を支援すること、すなわち、意思決定者が適切な意思決定を行えるよう、決定の指針となる情報を提供することに外ならない。本講義では、将来、企業や官庁における経営スタッフを目指す諸君のために、経営情報に関する体系的な観点と、情報利用技術の基礎について解説する。

講義の内容・授業スケジュール

I. 経営情報とシステムの観点（前期）

(1) 科学とシステムの観点（4月～5月：4週）

情報学のバックグラウンドにある考え方や知識について整理する。科学の方法とシステムのもの見方、それに基づく問題へのアプローチとはどのようなものかについて理解を深める。

(2) 情報学の基礎と周辺領域（5月～6月：5週）

情報処理技術に関わる基礎的な勉強をする。主としてコンピュータベースのシステムによる情報の取り扱いに関し、知っておくべき基礎的事項について整理する。

(3) 情報環境の発展と経営における利用（6月～7月：5週）

経営の場における意思決定と情報利用技術の関わりについて学ぶ。まず、企業における情報利用の形態の歴史の変遷を概観する。次いで、今日から近未来において、インターネット環境下の戦略的な情報の利用はどうあるべきか。すなわち、ITを用いた意思決定と管理のあり方、また電子商取引の現在と今後の発展について考察する。

II. 情報の利用技術（後期）

(1) 多変量データ解析（9月～10月：7週）

調査収集された生のデータは、そのままでは情報としての価値はない。データを加工・分析し、それが表す意味を解釈することで初めて意思決定のための情報が得られる。ここでは、定量的データを分析するための、重回帰分析、主成分分析、判別分析法を、またアンケート調査などで得られる定性的データを分析するための数量化Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ類法について、その原理と適用方法を学ぶ。

(2) シミュレーション（11月～12月：4週）

複雑な対象の動的な特徴を分析するための有力な方法としてシミュレーション技法がある。まず、社会経済系に関するシステム・ダイナミックス、工学的システムに関する有限要素法などの数値シミュレーション、待ち行列現象の解析に威力を発揮する離散系シミュレーションなど、代表的な手法についてその特徴を概観する。次いで、乱数を用いるモンテカルロ法の基礎的方法に触れた後、離散系シミュレーションの原理とモデル構築の方法について学ぶ。

(3) DSSとES（12月～1月：3週）

人工知能の原理と、その経営の場での応用として期待されるDSS（意思決定支援システム）、ES（専門家システム）の概要について学ぶ。

履修上の留意点

「情報処理基礎」と「経営数学」を履修済みまたは同時に履修していることを前提として授業を行う。また、「統計原論」か「経営統計論」のいずれかを履修済みまたは同時に履修することが望ましい。

成績評価の方法

前期、後期末に実施する筆記試験に基づき評価する。その他、出席状況も評価に反映させる。

教科書

教科書は指定せず、授業の各テーマに沿って適宜プリントを配布する。

参考書等

本講義のテーマに関わりの深い参考書として、高原康彦・高津信三編、高井徹雄他著『経営情報システム』（日刊工業新聞社）3,200円を推奨しておく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
シ ス テ ム 論	あ お き たけ のり 青 木 武 典	経営 A 2・3・4 選 14以降入学生/経営 B 2・3・4 選	4

講義のねらい

経営学、経営科学、システム科学、コンピュータ・サイエンスやこれらの関連領域で用いられるシステムに関連する主要な概念やモデルについて修得する。また、いくつかのモデルについて簡単な例題をとおしてシステムに対する理解を深める。

講義の内容・
授業スケジュール

0. オリエンテーション（本講義の概要説明）
1. 情報とシステム
 2. 意思決定とシステム
 3. 企業とシステム
 4. ネットワーク社会とシステム
（前期は1、2、後期は3、4を講義する。）

履修上の留意点

特定の領域について事前の知識は要求しないが、いくつかの数学的モデルについては、高校の数学Ⅰ程度の学力が必要である。また、授業では直接コンピュータを使用することはないが、エクセルなどの表計算ソフトが使えることが望ましい。

成績評価の方法

学年末試験の成績を60%、学期中に出题するレポート（4回程度）を40%程度の割合で総合的に評価する。（通常の授業時に出席はとらない。）

教 科 書

特定の教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布する。

参 考 書 等

齊藤雄志ほか『インターネット時代の情報管理概論』（共立出版）
 高原康彦・中野文平編『経営システム』（日刊工業新聞社）
 高原康彦・高津信三編『経営情報システム』（日刊工業新聞社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
統計原論	やまの うち しん じ 山 内 慎 二	経営A 2・3・4選	4
		14以降入学生/経営B 2・3・4選	

講義のねらい

大雑把に言えば、統計学は「確率と分布」の性質を用いたデータ処理を通して、「母集団」及び「標本」という2つの親子関係の言葉を繋げて、知識や技術を議論する学問である。本講義では、最初に簡潔に確率論の基礎を紹介し、次にデータ処理によって母集団と標本の関係を捉え、最後に統計的推測として推定と検定等を丁寧に説明する。本講義では、実用性を重視し、統計的方法や概念を豊富な例題や数値例によって説明し、数式の使用も必要最小限に止めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容は以下の通りです。

序説	生活のなかの統計学、量的データと質的データ	1回
基礎的概念	階乗と総和、順列と組合せ	2回
記述統計	度数分布表、平均と分散、相関係数	3回
確率論の基礎	集合、標本空間、確率、2項分布、正規分布	6回
前期復習と中間試験（7月中旬）		2回
標本分布	χ^2 分布、t分布、F分布	2回
統計的推定	点推定（不偏推定、モーメント法、最尤法）	4回
仮説検定	片側と両側検定、有意水準、棄却域、適合度検定	4回
回帰と相関	線形回帰モデル、相関係数の標本分布	2回
後期復習と定期試験（翌年1月中旬）		2回

科 専 門 教 育 目

履修上の留意点

年間数回程度の練習問題を適時に配布します。これを本講義内容の基礎的部分をもとに、独自に解ければ、中間試験と定期試験はまず大丈夫でしょう。

成績評価の方法

講義への出席状況及び中間試験と定期試験の結果により総合的に判断します。

教科書

佐和隆光著『初等統計解析 改訂版』（新曜社）1997 1,500円（税別）

参考書等

数値表としての参考書：

森口繁一編『新編 日科技連数値表』（日科技連出版社）1996 510円（税別）

P. G.ホエール著、浅井晃・村上正康共訳『初等統計学』（培風館）1996 1,700円

その他

授業の方法－講義（OHPを使用する場合があります。）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 統 計	なが 長 こ 国 きょう 強	経営A 2・3・4選	4
		14以降入学生/経営B 2・3・4選	

講義のねらい

統計と企業経営の関わりについてを展開する経営統計とは、分析目的に対応して主に経営情報としてのデータを収集・処理・分析し、複雑な現象を理解すると共に、データを生成した集団や構造についてを予測し、いろいろな意志決定をサポートすることである。経営的意志決定において最も重要なことは、将来の経営状況をどう見るかであり、その予測に対して経営統計は十分な役割を果たされるはずである。

この講義では、企業経営における統計データの具体例を数多く取り入れることによって、経営統計の手法をわかりやすく説明していく。また、数学苦手の学生を配慮し、講義の内容説明は微・積分などの計算をいっさい用いず、数式の使用も必要最小限に止める。

講義の内容・
授業スケジュール

予定している講義内容は以下の通りである。

経営統計について：経営統計の役割、基礎概念

統計特性値：平均、分散、正規分布

市場調査と統計整理：調査の諸段階、標本設計、データ整理

経営時系列：季節指数、時系列予測

経営指数：物価指数、数量指数

統計推測：標本分布、区間推定、仮説検定

統計的意志決定理論：意思決定基準、期待効用理論

履修上の留意点

年間5回程度の演習問題を適時に配布し、それを独白かつ理解的に解ければ、中間試験や定期試験に心配する必要はない。

成績評価の方法

講義への出席状況と中間・定期試験の結果により総合的に判断する。

教 科 書

特に使用しないが、プリントは適時に配布する。

そ の 他

統計学、あるいは統計原論を先にまたは同時に履修することが望ましい。
この科目は、再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
民法Ⅰ（総則・物権法）	おおみや たかし 大 宮 隆	経営A 2・3・4選	4

講義のねらい

民法という法律は、日常の社会生活(財産関係と家族関係)を規律の対象とし、総則・物権・債権・親族・相続の五編に編別されている。本講の対象は、第一編総則、第二編物権である。なかでも総則は、全編に共通な規定と、どの編にも入れることができない規定を集めて構成されているので、抽象的な法文形式が多い。よって講義においては、具体例を挙げてわかりやすく説明したいと思っている。

講義の内容・授業スケジュール

- ① 民法の意義
- ② 民法典の編別
- ③ 民法の指導原理とその修正
- ④ 自然人
- ⑤ 法人
- ⑥ 物
- ⑦ 法律行為
- ⑧ 期間
- ⑨ 時効
- ⑩ 物権変動
- ⑪ 占有権
- ⑫ 所有権
- ⑬ 地上権
- ⑭ 永小作権
- ⑮ 地役権
- ⑯ 留置権
- ⑰ 先取特権
- ⑱ 質権
- ⑲ 抵当権

科 専
門 教
育 目

履修上の留意点

講義には六法持参のこと。講義終了時に次週の予告をするので、教科書を読んでくること。

成績評価の方法

年度末の定期試験と出席状況を総合して評価する。

教科書

『新民法概説（1）総則・物権』（有斐閣双書）1,900円

参考書等

講義の中で随時紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商法Ⅰ（総則・会社法）	あら き まさ たか 荒 木 正 孝	経営A2・3・4選	4

講義のねらい

この講義では、会社法（総則、合名会社、合資会社、有限会社、株式会社）の基礎的かつ基本的な事項について解説するが、とくに現代の経済活動において重要な役割を果たしている株式会社の法規制について多くの時間を割くつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

大企業は全て株式会社の形態をとり、その株式会社が現代の経済を担い、商品やサービス、そして労働の場を提供するという社会的機能を通して国民の生活に計り知れない大きな影響を及ぼしている。そこで、この講義では、株式会社の生成、機能、構造、消滅などの私法的側面を中心に規制する株式会社法に重点を置き、そこでの重要問題を探り上げ、判例や学説の対応、実務の取り扱いなどを検討し、会社法の基本原理を理解してもらおうつもりである。

履修上の留意点

会社法は商法の重要な部分であり、その中心は、商法第二編会社、有限会社法などの規定である。ところで、商法は、民法を一般法とする特別法であるから、商法を学ぶ際には、その基礎となる民法総則、物権法、債権法などの知識があると一層分かりやすい。もっともここでは、講義の内容を理解するために必要な範囲で民法＝財産法の規定や基本概念にも触れるつもりであるから、財産法の全てを履習していなくても受講には差し支えない。

なお、授業には平成15年度版の六法を持って出席して下さい。

成績評価の方法

年度末のペーパーテストの点数で評価します。

教 科 書

開講時に指示する。

参 考 書 等

鴻・落合・江頭編『会社判例百選』第5版（有斐閣）
奥島・中島編『商法演習Ⅰ（会社法）第3版』（成文堂）

科目名	担当者名	配当学科	単位
労働法	ふじもと しげる 藤本 茂	経営A 2・3・4選 14以降入学生/経営B 2・3・4選	4

講義のねらい

今日、労働関係は、雇用調整・リストラや能力主義人事管理の導入に見られるように大きく変貌を遂げようとしています。終身雇用や年功型賃金体系といった従来の日本の雇用慣行に見直しがなされ、現在は、変動期にあるといえましょう。労働法は、労働関係において生じる紛争を法的に解決する方法を検討する法領域です。この変動に無関係ではられません。

この変動期において、労働者に降りかかるさまざまな事象は、雇用関係法領域において、顕著です。労働基準法改正、裁量労働、労働時間の弾力的運用、有期雇用契約の期間の拡大、解雇制限や男女雇用平等などです。

本講義ではこの雇用関係法領域を中心に授業を進めます。労働組合を中心に扱う労使関係法領域も重要ですが、あまり多くの時間を割くことができません。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、下記事項について、基本的なことを学ぶことを基本にして、現代的課題に言及しようと思います。

詳細は第1回目の授業のときにプリントを配布して述べます。ここでは、一応の項目を掲げるに止めます。

- (1) 労働法の基礎的考え方
- (2) 日本型雇用システムの変化と労働法
- (3) 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合
- (4) 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴
- (5) 雇用における男女平等
- (6) 組合が自由に活動できる環境の整備－不当労働行為
- (7) 労働条件の決定－労働契約、就業規則、労働協約
- (8) 雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間
- (9) 人事異動－配転、出向、転籍
- (10) 雇用の出口－解雇、定年、退職
- (11) 賃金、賞与、退職金
- (12) 労働時間、時間外・休日労働
- (13) 休憩、休日、休暇
- (14) 労働災害など

科 専 門 教 育 目

履修上の留意点

出席しましょう。また、積極的に質問をしてください。ただし、私語はNo、携帯電話はOff、内職はNo、そして無断で席を立つこともNo。いわゆる授業のマナーは守ってください。憲法、民法、社会保障法、社会政策は履修してほしい科目です。

成績評価の方法

成績は、平常点を加味することはありませんが、学年末試験がメインです。追・再試験は実施します。

教科書

道しるべとして、ベーシック労働法(浜村彰ほか著・有斐閣)か労働法(浅倉むつ子ほか著・有斐閣)のうち1冊を購入して自宅学習に使ってください。受講者は必ず、1冊は用意してください。

参考書等

適当と思われる概説書・参考書をいくつか、第1回目の授業において配布するプリントで紹介します。

六法に関しては、最新のもの(法律改正があるので特に注意)そして労基法施行規則の載っているものを用意してください。

その他

皆さんが各々の事項について法的にはどのように考えていくのか、イメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を揚げながら、授業を進めます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	あか し ひろ ゆき 明 石 博 行	経営 A 3 選	4

講義のねらい

本演習では、3年次の共通研究テーマである多国籍企業の研究を中心に、経済社会学の応用分野の学習に取り組みます。また、決算書とマクロ経済データの分析における EXCEL を利用法について学習しつつ、英語の読解力のさらなる向上を図ります。そのうえで、卒業論文の作成にむけた各自の研究領域をしぼってゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

演習は前期と後期にわけて行います。前期には、EXCEL および PowerPoint の操作能力を育成しつつ、2年次とは異なる方法による課題図書ノート、および決算書の分析・マクロ経済データ分析のための基礎資料を作成します。後期には、課題図書ノートと基礎資料を利用した学習に取り組み、多国籍企業にかんする学習と研究を深めます。夏には2年生との合同合宿を行います。3年次にはなお、時事問題の報告と討論が演習における一つの課題となります。

履修上の留意点

班ごとの補習を行いながら、班による学習・研究と演習参加者全員による学習・研究とを組み合わせてゆきます。補習では、Financial Times の最新記事を読み続けるとともに、インターネットを利用した情報の収集能力のさらなる向上を図ります。補習を含めた演習全体への参加が求められます。

成績評価の方法

成績は、通常の演習および補習への参加状況を基本としつつ、課題修得の到達度の判断を加え、評価をします。

教科書

多国籍企業にかんする課題図書とともに、EXCEL の学習のために『超図解 EXCEL2002 (基礎編)』(エクスメディア)を使用します。また、3、4年次の学習用テキストとして、『NIK-KEINET・景気ウォッチの活用法』と『決算書分析の基本』を配布し、使用します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	あ べ かず ひと 阿 部 一 人	経営 A 3 選	4

講義のねらい

演習 I に引きつづきテキストにそって財務会計の基礎を体系的に学習する。後期は、企業会計の領域の中から各自がテーマを選び、それにもとづいて研究発表を行う。また、学年末に卒業論文としてまとめたいテーマを選定し、研究計画書(テーマ、理由、枚数など)を提出してもらう。

成績評価の方法

成績評価は、出席状況、報告発表、レポート等により総合的に判定する。

教科書

飯野利夫著 「財務会計論」同文館

参考書等

授業中において適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	飯田哲夫	経営A3選	4

講義のねらい

この演習では、問題解決のための「モデル」による分析および意思決定をテーマとしています。分析とは、物事や現象の本質を捉え理解するプロセスのことであり、解決したい問題の構造を明らかにし対策を見つけ出す（意思決定を行う）ことを目的としています。その中で最も強力な分析が、モデルによる分析です。モデル分析は、古くは物理学のニュートン力学が代表的な成功例ですが、近年ではビジネスの様々な問題解決に利用されています。モデルは、しばしば数学的な形式で表されることがありますが、数学的なモデルを用いることで、企業が蓄積している大量のデータ・情報を利用した定量的な分析が可能となり、それは、データに裏付けられた合理的な意思決定へと通じていきます。

その際、コンピュータの利用は必須となります。

この演習では、モデルとコンピュータを利用した分析技術を学習していきます。

講義の内容・授業スケジュール

モデルによる意思決定・分析の習得のために、関連文献の輪読を行います。また、コンピュータの利用に関する応用的知識も習得します。

履修上の留意点

このゼミでは、学生の主体的・積極的な参加を前提としています。「経営数学」を受講した程度の数学的知識を持っていることが望ましい。その数学的知識を応用してみたいと思っている意欲のある学生の参加を希望します。

成績評価の方法

平常点（出席とゼミへの積極性）、課題のレポートと発表により総合的に評価します。

教科書

最初の授業のときに紹介します。

科専門教育
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	石名坂邦昭	経営A3選	4

講義のねらい

企業の安定経営をはかる上でリスク・マネジメントは欠かすことのできない理論となっている。今日の複雑多岐にわたるビジネス・リスクにどのように対処すべきかは企業経営者の一番の関心事と言える。本演習においては、ビジネス・リスクへの対処を理論的・技術的に考察していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

リスク・マネジメントを学ぶ上で、必要不可欠となる保険について、各課題ごとに毎週レポートを提出してもらい、数名の受講生に報告をしてもらい、そのことにつき討論を行う。また、リスク・マネジメントの基本的なことにつき講義も行う。

履修上の留意点

毎週、定められたテーマについて全員が参加してディスカッションを行うため無断欠席はしないでもらいたい。

成績評価の方法

出席およびレポートによる総合評価を行う。

教科書

講義に必要な資料等はコピーして配布する。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	小沢利久	経営A3選	4

講義のねらい

人は様々な場面で次を取るべき行動の選択（意思決定）を迫られている。例えば、投資家は日々変動する株価と付加的な情報を基に資金の投資配分を決めている。電話会社は携帯電話機数の伸びや通話時間の伸びを考慮しながら次の設備投資判断をしている。本演習では、このような問題に対処するための学問的基礎として、オペレーションズ・リサーチの各種手法とコンピュータリテラシについて学んでいく。特に、株価や需要の変動など、不確定要素を含む問題を確率的なモデルとして表わし、解析していくことに重点を置く。

講義の内容・授業スケジュール

・演習Ⅱ（3年生）では、コンピュータの利用に関する基礎的な知識の修得を目指す。VBAによるプログラミングとHTMLによるホームページ作成を予定している。

履修上の留意点

情報処理基礎・応用、経営科学概論、統計原論、経営科学など、経営科学系の科目を並行して履修することが望ましい。

成績評価の方法

出席状況、受講態度や理解度を勘案して評価する。

専
門
教
育
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	各務洋子	経営A3選	4

講義のねらい

大学は、学問追究の場です。しかし、単に高度な学術知識を与えるだけの場ではありません。3年間の演習を通して、大学時代に身につけるべき個人の貴重な資産（能力）を知的交流を通して培うことを目指します。具体的には、①高度な学術性と同時に、創造的な理解力を身につけ、多様な価値観から常に自由な立場であり続けるための批判的知性を育てること。②多くの知識を幅広く学ぶということではなく、幅広い知識を深く学ぶための確固たる主体性を育てること。③生涯、知的に成長を続けるために備えておくべき力を、習慣化すること。これらを実現するために、様々なプログラムを用意しています。常に、ワクワクドキドキする知的緊張感を研ぎ澄ませ、楽しみながら現実と理論の融合を試みます。

現代企業に焦点をあて、企業の所属する業界構造、利害関係者との関わり、競争状態などの外部環境分析、ヒト・モノ・カネ・情報などの内部環境分析を通して、企業の採るべき行動、戦略、組織構造、経営管理形態などを考察する。企業をウチ側とソト側から、経営学の視点に立ち、複眼的、立体的に観察・分析・研究する。

講義の内容・授業スケジュール

理論研究では、演習で学んだ経営学の基本を中心に、企業理論を深める。テキストを精読、レジュメを作成し、報告する。更に、学習した内容を、自分の言葉で表現し直し、議論を通して深く理解することを実現するために、毎週、理論の重要なポイントをテーマとしてとりあげ、30分ディベートを実施。この独自のプログラムは、毎年夏合宿で、徹底的に身体で身に付け、演習Ⅱ&演習Ⅲでツールとして利用している。また個人研究を開始する。経営学や企業に関連した個人の興味・関心を探究することから始める。演習終了時には、取り上げたテーマについての専門家になることを目指す。

成績評価の方法

個人研究の定期的な提出。個人研究のプレゼンテーション。平常点（ゼミでの発表力、議論への貢献度等）。

教科書

ゼミ内で適宜指示する。

その他

合宿は、年1～2回。後期の研究に関連した会社訪問、工場見学など。コンパは、課題の山終了毎に随時開催。

ゼミ情報は、ホームページに掲載：<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kagami>

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	鹿嶋秀晃 <small>かしまひであき</small>	経営A3選	4

講義のねらい

研究テーマは現代日本の人事労務管理。大学生活の中で、ゼミは最も勉強に打ち込み、一番思い出になるところだと考えます。よって、学力に関係なく、積極的に勉強し、行事を企画し、みんなで楽しくゼミを過ごしたいという学生を採用します。ゼミがより広い知識や考え方を得、友人関係を築く場となることを願います。

講義の内容・授業スケジュール

現代の日本企業とそこに働くサラリーマンが抱える問題に関して、入門書と専門書を読んでいます。企業と労働、社会について幅広い関心を持ち、科学的に考える力を養います。サブテーマは「終身雇用」「年功賃金と能力主義」「年俸制」「人事考課」「日本的経営」「女性労働」「日本的労使関係」「会社人間」「過労死」ほか。2ヵ月に1冊のペースで本を読みます。受講者全員はあらかじめテキストを熟読しておくこと。その中から報告者（レジュメを作成）、コメンテーターを決め、その2人を中心に議論をしていきます。報告者とコメンテーターは順番。毎回の「新聞発表」では担当者が最近の新聞から企業経営や労務に関するものを切り抜き、自分のコメントを加えてプレゼンテーション。

履修上の留意点

出席重視。無断欠席は2度目で単位認定なし。欠席は3度を越えると単位認定しません。ただし、特別な事情には個別に対応します。レジュメはワープロで作成すること。ゼミ以外の工場見学、コンパ、合宿等もゼミの一環なので必ず出席するように。

成績評価の方法

出席点、講義中の発表・発言、レポートを総合して判定。

教科書

適宜指定する。ちなみに昨年度使用したテキストは太田肇『ベンチャー企業の「仕事」』、高橋俊介『キャリアショック』、熊沢誠『女性労働と企業社会』など。

参考書等

演習時に適宜紹介。

その他

履修希望者は、可能な限り講義「経営労務論」を履修のこと。その他のゼミ活動には、卒業論文集の発行、個人ホームページの作成、ゼミ書評、全国コンテスト参加などがあります。ゼミHPも合わせて参照のこと。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kashima/index.html>

専
門
教
育
目
録

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	かたがら のぶ お 片桐伸夫	経営A3選	4

講義のねらい

このゼミは3・4年次（演習Ⅱ・Ⅲ）で「就職希望会社の経営分析」を行うことを目的とします。

経営分析とは、文字通り「企業の経営を分析すること」であり、きわめて範囲の広いものです。具体的には、皆さんが将来を託そうとする会社は、

- 1 財政的に安定しているだろうか（安定性分析）、
 - 2 「儲け」はどうだろうか（収益性分析）、
 - 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか（生産性分析）、
 - 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか（成長性分析）、
- といった内容です。

履修上の留意点

このゼミでは、経営分析の中でも、とくに財務諸表（貸借対照表や損益計算書など）の分析を中心とします。したがって、1年次の簿記学に興味を感じた人向きのゼミです。

成績評価の方法

成績評価の方法は平常点です。

3年次（演習Ⅱ）では、各自が決めたテーマに取り組み、そのレポートを検討する形式で授業を進めます。

その他

プレゼミや合宿も行います。

ゼミ入室の決定方法は面接〔志望理由書（500字程度）事前提出〕とテスト（演習Ⅰは1年次学習中の簿記、演習Ⅱは日商簿記検定2級程度）によります。

なお、いうまでもなく無断欠席と遅刻は厳禁です。以上の方針に見合う、学習意欲十分な学生諸君の参加を希望します。

専
門
教
育
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	かねむら えい てつ 兼村栄哲	経営A3選	4

講義のねらい

受講生の1人1人が、現代企業における生産・技術・労働（・マーケティング）にかかわる諸現象を体感し、自分なりに論理的に説明できるようになることを主な目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

以下の3つを主な内容とする。

- (1) 生産管理論を中心とした現代企業論に関する専門的なテキストを全員で輪読し、基礎的な概念や理論を学んでもらう。これは、各受講生が、事前に割り当てられた担当箇所について作成したレジュメを発表し、その後討論するという形式をとる。
- (2) 年に数回、グループで、生産管理（論）にかかわるいくつかのテーマについて調べてきてもらい、その内容を発表してもらう。
- (3) 年に数回、工場見学を予定している。工場見学後、レポートを提出してもらう。

履修上の留意点

以下の3点をとくに要望する。

- (1) 積極的に参加すること（通常の演習のみならず、合宿その他の課外活動にも積極的に参加すること。また、単に出席するのではなく、自発的に自分なりの疑問や意見を示すこと。）
- (2) お互いの親睦を深めること
- (3) 授業開始後、諸般の事情で履修を取りやめる場合にも、必ず事前にその旨を申し出ること

成績評価の方法

授業態度、発表内容、レポート内容等を総合的に評価する。

教科書

開講時に指定する。

参考書等

適宜、紹介する。

その他

金曜日・3時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	かねむら 兼村 栄 哲	経営A3選	4

講義のねらい

受講生の1人1人が、マーケティングにかかわる諸現象を体感し、自分なりに論理的に説明できるようになることを主な目的としている。

講義の内容・
授業スケジュール

以下の3つを主な内容とする。

- (1) マーケティング論に関する基本的なテキストを全員で輪読し、基礎的な概念や理論を学んでもらう。これは、各受講生が、事前に割り当てられた担当箇所について作成したレジュメを発表し、その後討論するという形式をとる。
- (2) 年に数回、4～5人のグループで、マーケティング（論）にかかわるいくつかのテーマについて調べてきてもらい、その内容を発表してもらう。
- (3) 年に数回、工場見学を予定している。工場見学後、レポートを提出してもらう。

履修上の留意点

以下の3点をとくに要望する。

- (1) 積極的に参加すること（通常の演習のみならず、合宿その他の課外活動にも積極的に参加すること。また、単に出席するのではなく、自発的に自分なりの疑問や意見を示すこと。）
- (2) お互いの親睦を深めること
- (3) 授業開始後、諸般の事情で履修を取りやめる場合にも、必ず事前にその旨を申し出ること

成績評価の方法

授業態度、発表内容、レポート内容等を総合的に評価する。

教科書

開講時に指定する。

参考書等

適宜、紹介する。

その他

木曜日・4時限

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	近 藤 禎 夫 <small>こん どう まだ お</small>	経営 A 3 選	4

講義のねらい

「演習」(以下、ゼミという)は、たんに専門領域の知識を教師が教授するのではなく、教師がゼミの場をリードしながらも学生みずからが主体的にゼミのテーマに取り組まなければならない。そのためには自己の属するゼミのテーマをよく理解し、文献をもとに得られた知識をゼミの場で報告し、問題点を明確にしつつゼミでの議論を深めていくことになる。

講義の内容・
授業スケジュール

「企業分析方法論研究」をテーマとする。教材は第1部上場またはそれに準ずる独占・大企業の「有価証券報告書」を中心に実証分析の演習を実施する。

研究の狙いは実証分析を通じ、(a) 通用の企業分析(経営分析)の基本的性格を明確にし、(b) それの全面的批判的摂取をはかることに重点を置く。また4年次でのケース・スタディの準備に入る。「演習II」は入室の為のテストを行なう。テストの範囲は、簿記・会計の基礎知識を問うものとする。

なお、クラブ・サークル活動で時間を取られる学生は、ゼミ活動と確実に両立できることを入室の条件とする。

専
門
教
育
目

履修上の留意点

ゼミは学生相互間および教師との対話を重視し、研究テーマを体系的に把握するよう指導していきたい。また研究報告のみにとどまらず、その時間の議事運営もすべて学生に体験させるように指導している。もちろんゼミの運営そのものも、学生の主体性を重視して自由に取り組むように心がけている。

成績評価の方法

出席と報告を重視する。

教 科 書

学期の始めに指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	さる やま よし ひろ 猿 山 義 広	経営 A 3 選	4

講義のねらい

中級レベルの管理会計に関する知識を一通り習得すること。

講義の内容・授業スケジュール

- | | |
|----------------------|----------------|
| ① 経営者と管理会計 | ⑪ ABCによる間接費管理 |
| ② 業績評価のための管理会計 | ⑫ 経営意思決定と会計 |
| ③ キャッシュ・フロー経営 | ⑬ 戦略的・戦術的価格決定 |
| ④ 事業部制と分権的組織の会計 | ⑭ 戦略的意思決定と投資決定 |
| ⑤ 損益分岐点分析と直接原価計算 | ⑮ 物流費、販売促進費の管理 |
| ⑥ 経営戦略と中・長期経営計画 | ⑯ 情報技術とソフトの管理 |
| ⑦ 利益管理と予算管理 | ⑰ 研究開発費の管理 |
| ⑧ 標準原価計算とコスト・コントロール | ⑱ 海外事業の管理 |
| ⑨ インテグレートド・コストマネジメント | |
| ⑩ 原価企画と戦略的コストマネジメント | |

履修上の留意点

上手な報告ではなく誠実な報告を心がけてほしい。

成績評価の方法

平常点（出席および報告の出来）によって評価する。

教科書

櫻井通晴著『管理会計 [第二版]』（2000年、同文館）。

参考書等

必要に応じて配布する。

その他

無断で休まないこと。

科 専
門 教
目 育

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	すず き こう き 鈴 木 幸 毅	経営 A 3 選	4

講義のねらい

我々の生きる現代は、企業社会といわれ、また組織社会とも言われている。この社会において企業は、経済的権力を握り社会的及び政治的権力を行使しているが、国際化の真価を問われ、著しく進んだ情報化・技術革新によって革命的影響を受け、そして成熟化社会における価値観の多様化によって社会との関係枠組みの変革を求められている。こうした状況は、経営管理（論）の理論的及び実践的研究に対して影響を及ぼす。

以上の認識のもとに、今年度は、「企業責任と環境問題」について検討する。
〈テーマ〉 「企業責任と環境問題」

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 企業概念と理論について学習し、それを基礎に「企業責任」を考える。
- (2) 企業の環境問題とは何かについて現実的に捉え、それを理論的に整理し、「企業責任」と「社会的貢献」を明らかにする。

成績評価の方法

個人又は共同論文作成を中心に成績を評価する。

参考書等

鈴木幸毅著『環境問題と企業責任〈増補版〉』中央経済社（平成6年）
同 『環境経営学の確立に向けて』税務経理協会（平成11年）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	たか い てつ お 高 井 徹 雄	経営 A 3 選	4

講義のねらい

IT (情報技術) が社会のキーワードとされる今日、我々は、真の意味で情報が価値を持ち、情報が価値を生み出す、高度情報社会に生きています。皆さんが、企業や官庁の有能なスタッフとして「情報エリート」を目指すならば、少なくとも、

- 1) 発見力：与えられるのではなく、自ら問題を発見する能力。
- 2) 洞察力：必要な情報を選び、情報に基づき分析し、問題の本質を解明する能力。
- 3) 解決力：他社と協力しあって、具体的な問題解決策を提案し、実行化する能力。
- 4) 表現力：自らの提案を解り易く表現し、情報発信する能力。

が要求されるはずで。

3年次ゼミでは、毎週の演習を通じて、また、ゼミ合宿においてはグループのリーダー役として、養ってきた能力を実践的に発揮していただく場を用意します。

講義の内容・授業スケジュール

経営における意思決定の問題に、科学的・系統的にアプローチすること。これを念頭において、各週の題材を選んで行きます。どの題材についても、概念→理論→技法→道具、の4つのフェーズを通過します。

およそのスケジュールは以下のとおり。受講生とコミュニケーションをとりながら、理解度や興味の方角を見極めながら進めて行きます。

4-10月：輪読…メンバーの要望もお聞きして適切な文献を1冊選び、全員で輪読会

6月：ソフトシステム方法論…演習Iと合同ゼミ合宿、SSMで社会的問題を扱う

11-12月：ゼミ論テーマの作成

履修上の留意点

ゼミ合宿など課外活動を含め、主体的にゼミに参加されることを願っています。

成績評価の方法

出席状況など平常点の他、前期・後期各1回与える課題により評価します。

教 科 書

輪読用の教科書を開講後に指定します。

参 考 書 等

授業中に適宜紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	たか き かつ り 高 木 克 己	経営 A 3 選	4

講義のねらい

3年次では、前期において卒業論文作成に向けてのテーマ決定するために、法人税関連のテキストを読みます。なお、「税務会計論」も必ず並行して、受講してください。

3年次後期から4年次終了時までの予定としては、各自選定したテーマを数回に分けて報告することになります。例えば、制度の意義、概要、沿革、ケース・スタディ、問題点の整理、その解決策あるいは方向性、などです。

3年次終了時には、各自選定したテーマで進級論文(10枚以上、400字)の作成を行います。特に3年次では、各自のテーマの沿革、制度導入の背景等、現行の制度の内容、諸外国の制度との比較等に重点を置いて、作成することになります。

なお、合宿等の行事は、2年次と同じく例年通りです。

成績評価の方法

出席及び報告により評価します。

参 考 書 等

最初の授業で紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 II	高田光明	経営A3選	4

講義のねらい

この演習では、企業という組織体によって行われる財務活動に関して、資本調達面から重点的に研究を行う。企業は、その活動を営むに際し、機械、建物、原材料などの財貨を取得しなければならないし、働き手も雇用しなければならないわけであり、そのために元手となる資本を必要とする。資本の調達とは、この元手としての資本を集めることをいう。当演習の目的は、このテーマでの研究を通して、企業の財務活動がどのような原理・原則にもとづいて行われているか考察することにある。

大学では、授業をきっかけにして、関心のある分野を自発的に学習し、自ら考えながら学ぶという姿勢が肝心である。そうすれば、卒業後に、必要に応じて、また自らの関心・興味にしたがい、自分で主体的に学べる自己学習能力を身に付けられるようになる。そして、そのような能力を身に付ける過程で、物事を自分なりに筋道立てて考える力が育ってくるはずである。大学でのこのような教育目的の達成を図るには、とにかく、自ら考えながら学ぶという主体性が必要である。演習という形式の授業では、主体的に学ぶことが何より要求される。したがって、この教育目的を達成するための経験を積める場所として最適なのが、演習の授業であるといえる。演習のより根本的なねらいは、自己学習能力を身に付けられるようにするとともに、そのための学び方を通して、論理的思考能力が培われるようにすることにある。

講義の内容・授業スケジュール

授業の具体的進め方としては、まず、基礎的知識の体系的理解を図るために、企業財務に関する入門書レベルの文献の共同研究から始める予定である。

履修上の留意点

企業が実施する財務活動の結果は、企業がその会計システムから作成する財務諸表に示される。したがって、企業の財務を研究するために、企業会計に関する初歩的知識は必要である。

成績評価の方法

適宜提出を求めるレポートにより評価する。

科 専 門 教 育 目 録

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 II	滝田公一	経営A3選	4

講義のねらい

本年度は、文献[1]のほかに、代表的なデータ処理ソフトであるSPSS(the Statistical Package for the Social Sciences)を利用して演習を行う予定です。もう一つの代表的な処理ソフトであるSASがどちらかと言えば、理科系のためのデータ処理ソフトであるのに対して、SPSSは、文字通り社会科学のために開発されたデータ処理ソフトであります。この演習では、米国のNational Opinion Research Centerによってなされた、アメリカの成人2090人を対象とした世論調査General Social Surverを分析することによって、アメリカ人の宗教観、政治に対する姿勢、墮胎に対する考え方、などを調べます。

また、RATS、TSPといった計量経済学用のソフトを用いて、capital asset pricing modelや、生産費用の測定、製品の品質の変化の測定、賃金差別の問題などについても学習する予定です。

成績評価の方法

成績評価は、学年末に、課題に基づくレポート(通常、computer assignment)を提出してもらい、それによって行います。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	<small>なが こ きょう</small> 長 国 強	経営 A 3 選	4

講義のねらい

現代は情報化社会といわれ、新聞・雑誌・インターネットを開いてもそこに大量の経済・経営データが見られる。ところで、経済・経営などのデータをそのまま見れば、単なる数字の山にすぎず、大切なことはそこから正しい見通しを得ることであろう。実際のデータから経済・経営など社会的な動きをどのように読みとるのかといった能力を養成できるようにすることを目的として、本演習はコンピュータを使つてのデータ解析の基本技術を学習する。

講義の内容・授業スケジュール

演習Ⅱ（3年生）：HTML言語とEXCEL…コンピュータ上の情報発信とデータ解析
WORDとEXCELの入門を既に果たされ、これからコンピュータのことを、情報通信やデータ解析などの実践を通じてもっと知りたいという学生のための演習です。インターネットの斬新さは、誰もが簡単にホームページなどで情報を発信することにあると思う。演習Ⅱの前期は、ホームページのレイアウトや仕掛けを記述するHTMLと呼ばれる言語を中心に展開する。後期は、近い将来学生諸君に直面されるはずの市場調査・予測、品質・生産管理などの課題をコンピュータ上、データ解析手法を使い、企業現場の具体例を交えて細かく分析する。

成績評価の方法

平常点：出席・レポートの成績などで総合的に評価する。

そ の 他

継続性ということから、演習Ⅱと演習Ⅲの新規募集はいたしません。
演習Ⅰと演習Ⅱは学生諸君のまだ慣れていないコンピュータ上の演習のうえ、毎回の実習アイテムに連続性があり、1回欠席すると、次回の実習についていけなくなることも考えられる。したがって、理由なく年間5回以上欠席した場合、自動的に除名されることにする。また、現代社会に通用するための常識的な素質と思うが、協調的かつ永遠に新しいものに取り込みたい、という意欲を持つ学生諸君の参加を特に望む。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	<small>なか がわ じゅん へい</small> 中 川 淳 平	経営 A 3 選	4

講義のねらい

この演習では、経営学説について考察する（したがって、演習での研究テーマとしては、経営学説のなかから1つないし複数の学説から選択することとなる）。併せて、文献・資料の調査の仕方、報告のあり方、文章のまとめ方について習得する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、参加者が知識を共有できる様、経営学史の基本文献を輪読する。したがって、毎回担当を決め、報告をする。報告後、参加者で討論を行なう。後期は前期で学んだ諸学説の中から、適宜テーマを選択し、その研究内容を報告してもらい、討論を行なう。そして、一年間の学習の成果として、論文を提出してもらう。

履修上の留意点

予習・復習、あるいは論文作成のために多くの時間を割く必要があるので、積極的に勉学する、意欲ある学生の参加を望みます。

成績評価の方法

発表や討論の内容、論文、学習態度によって総合的に評価する。

教 科 書

宮田矢八郎『経営学100年の思想—マネジメントの本質を読む』（ダイヤモンド社、3,200円）

参 考 書 等

参加者が選択したテーマに応じ、適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 II	なかむら こういち 中 村 公 一	経営 A 3 選	4

講義のねらい

本ゼミでは現代企業の置かれている環境とそれに対する経営戦略を紐解いていき、実践的な場面でも応用できる知識と考え方を身に付けるために、文献購読・資料調査・ケーススタディ・ビジネスプランニングなど多彩な課題に取り組みます。

ゼミは、単位を採るだけのものではなく、個人の「知的トレーニングの場」であり、他のゼミ生達と切磋琢磨する場であると考えて下さい。私の役割は、ゼミ生がゼミでの勉強をきっかけにして豊かな学生時代を築こうとする時のお手伝いをするだけに過ぎません。運営の主体は君達にあります。

- ①文献購読やケーススタディなどを通して、企業の置かれている環境とそれに対する戦略を的確に理解する専門知識の習得、分析力、洞察力の強化を図ります。
- ②レポート作成を通してのアウトプット能力、論述能力、論理構成力の強化を図ります。
- ③毎週の報告や議論などを通じてプレゼンテーション能力やディスカッション能力の強化を図ります。
- ④実際にビジネスプランの策定を通して、事業戦略を構築する企画力と構想力の強化を図ります。

講義の内容・授業スケジュール

演習Ⅱ（3年生）

前期；ビジネススクールで使う比較的容易な経営戦略論に関する文献購読（日本語版）

後期；ケーススタディ中心（各ゼミ生が興味のあるものを選択）、ケース分析レポート

合宿；ビジネスプランニング大会

他大学とのゼミ交流も本年度実施予定

履修上の留意点

ゼミの理念は「知的トレーニング」にあるので、毎週レポートを宿題として課し、相当の勉強時間の確保が必要になります。また、ゼミでは議論が中心になるために、事前の準備も必要となります。入ゼミに当たっては、ホームページにも詳しい内容が掲載されていますので参考して下さい。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~nakamura/>

成績評価の方法

遅刻の常連、無断欠席、各種課題や提出物の期限の遅れ、ひどい内容のレポートを提出した場合は、厳しくチェックします。成績は平常点によって判断します。なお、4年次には卒業論文があります。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	<small>なが た とも のり</small> 永 田 智 則	経営 A 3 選	4

講義のねらい

当ゼミナールは国際経済学にかかわる事象を研究対象としている。
 近年の国際的相互依存関係の緊密化は、どの国の経済にとっても、国際経済とのかかわりがいかに重要であるかを認識させてきた。ある国で生じた経済問題は、その影響が全世界に波及し、世界経済の流れを変え、各国経済に変革を迫る。この流れに対応できない経済は取り残され、困難に直面する。
 当ゼミナールでは、世界の各地で生じている諸現象の中から、経済発展と貿易の関係に焦点を絞り、この問題の研究を通して、国際経済の仕組みやメカニズムについて理解を深めることを目標としている。

講義の内容・授業スケジュール

「演習Ⅱ」では視野を広げ、貿易が経済発展に果たしている役割を検討し、東アジア地域の経済発展と日本経済との関係を中心に研究する。

履修上の留意点

無断欠席、遅刻は厳禁。授業中は積極的に発言をすること。

成績評価の方法

授業中の発言や提出レポート等を含め、ゼミ活動にどの程度積極的に参加したかを最大の評価ポイントにする。

教科書

教科書及び参考文献等については必要に応じて紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	にしむらかずお夫 西村和夫	経営A3選	4

講義のねらい

【テーマ：コンピュータ科学】 文書（英論文など）の読みかた、書きかた、発表のしかた、コンピュータの利用のしかたを体得し、論理的な思考力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

入ゼミ手続き（1年次）

面接と文章完成法テストによって選考する。説明会に出席しないと、面接が受けられない。“情報処理基礎”をすでに履修している人を優先する。

演習Ⅱ

- ・論文の読み方と発表のしかた(2) スタンフォード大学でも使っている“Concrete Mathematics” [1]の第1章を輪講する（レジメと書画カメラを使う）。⇒“再帰的な考え方”を理解する。
- ・“再帰的なプログラム”の作成。ゼミ論文のテーマの決定。
- ・仕様書の書きかた
- ・ゼミ論文中間報告書の提出。

その他

- ◆就職活動についてのアドバイス。面接の実習。ビジネス文書の書きかた[2]。
- ◆情報処理技術者試験の受験のための学習。
- ◆合宿（年1度）・イベント（年1～2度）。

科専門教育
目

履修上の留意点

テーマは“コンピュータ科学”であって、コンピュータの操作方法ではない。コンピュータの知識がある人ではなく、やる気と実行力のある人を求む。入ゼミ者は、2年次までに“情報処理基礎”を必ず履修すること。

成績評価の方法

出席のほかに

演習2：輪講のレジメと発表、小テスト、ゼミ論文中間報告書

参考書等

- [1] R. Graham, D. Knuth and O. Patashnik, Concrete Mathematics. Addison-Wesley, 1989.
[2] 吉田幸生、仕事の文章が面白いほど書ける本、中経出版、1992.

その他

西村ゼミのページ：<http://www.komazawa-u.ac.jp/du/nis/>

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	は とり しげる 羽 鳥 茂	経営A3選	4

講義のねらい

現在の日本経済のさまざまな姿を基本データによって確認し、新しい動きを理解することが本演習の主要な課題である。

また、2002年3月にスタートした経済学検定試験（ERE）に諸君がチャレンジすることを薦めたいので、出題科目の学習についても指導する予定である。

履修上の留意点

積極的にゼミに参加することを学生諸君に要望する。

成績評価の方法

出席状況とゼミでの積極性ならびに年度末に提出する課題レポートによって成績を評価する。

教 科 書

田中隆之『現代日本経済』、日本評論社、2002年、2,800円

参 考 書 等

経済セミナー編集部編『経済学検定試験－ポイント解説と演習－』、日本評論社、2002年、1,680円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	ひ の けん た 日 野 健 太	経営A3選	4

講義のねらい

好むと好まざると、ひとは学校、職場、地域をはじめとする組織と無関係に過ごすことはできない。いかに組織とつき合うかは、現代人の究極のテーマとあってよい。そこでこのゼミでは組織が直面するさまざまな問題を取り上げ、多角的に分析する。「組織行動」つまり、組織における人間行動が中心のテーマである。具体的には、モチベーション、リーダーシップ、コンフリクト、組織学習などを扱う。

演習Ⅱでは、自分の関心のあるテーマを明確にし、組織論の見地から論じられるようになることを自的とする。文献の輪読によって、分析のための概念を得るとともに、関心の所在について報告してもらう。

講義の内容・
授業スケジュール

文献輪読とディスカッションによって経営組織論の内容を学ぶとともに、工場、職場の見学、実務家によるレクチャーを行い、現実の組織のイメージを持てるように進める。また、後期を中心に、それぞれの関心の所在について報告してもらう。

必要に応じて、夏、秋の合宿を行う。

履修上の留意点

ディスカッションに参加するためには、レポーター以外の学生も予習は必須であるし、自分の考えをまとめるために、小レポート（原稿用紙2枚以下）を頻繁に課す。

成績評価の方法

出席とゼミへの積極性、レポート内容による。

教 科 書

開講時に指示する。

参 考 書 等

開講時に指示する。

そ の 他

わたくし自身も、学部学生時代のゼミの友人とはいまだにつきあいが深い。そういった友人を得る機会となるように望む。

無断欠席、遅刻は認めない。教室でのディスカッションのみならず、コンパ等の親睦活動にも積極的に参加する学生が望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	まえだかずとし 前田和利	経営A3選	4

講義のねらい

明治期から現在に至るまでの間、それぞれの段階でどのような産業企業がどのような企業家達によってつくりだされたのか、そして成功した企業がなぜ存続・成長(ないしは停滞・挫折)したのか。本演習では「企業(経営)は人なり」という視点から検討していく。

講義の内容・
授業スケジュール

演習Ⅱ前期では日本経営史のうえでイノベティブな行動をとった代表的企業経営者の足跡を検証する。後期においては、たとえば「花王とライオン」、「松下とソニー」といったようなケースを用いて、企業の創業者精神とその継承についての企業間比較の研究を行ない、リビング・カンパニー(長寿企業)の性格的特徴を見出していく。なお、並行して個人・グループによる研究のプレゼンテーションを行なう。

履修上の留意点

演習を優先できる人の参加を希望する。

成績評価の方法

平常点(出席と授業態度)とレポート提出(2回)による。

教科書

演習Ⅱ前期——佐々木聡編『日本の企業家群像』丸善、1,800円。
その他については後日紹介する。

参考書等

適宜紹介する。

その他

担当者による要旨報告と問題提起、質疑応答という形式で進めるが、事前の要旨・資料の配布が求められる。
なお、前期においてはビデオを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 II	みやぎ 徹	経営A3選	4

講義のねらい

演習Ⅱ（3年）

3年次ゼミ生は、2年次ゼミの研究成果を基礎にして英語圏とドイツ語圏（邦訳書）と日本の代表的な「新しい制度学派」の文献を素材として、2年次ゼミの場合と同様のやり方で、企業について一層突っ込んだ研究を行う。

こうして、ゼミ生は、2年次から3年次のゼミへというステップを踏んだ学習・研究を通じて、「組織理論」（特に意思決定理論とコンティンジェンシー理論＝状況的アプローチ）と「新しい制度学派」の双方の組織（＝企業）についての理解の共通性や相違点などを少しでも見分けることができるようになれば、それに越したことはない。それはともあれ、3年次ゼミ生は各自、同ゼミの最後の段までに、「ゼミ論文」のテーマを設定し、私に提出しなければならない。

※ ゼミは、毎回1人あるいは複数のリポーターが与えられた範囲をレジメに基づいて報告し、その他のゼミ生もそれを中心にして活発にディベートするように進める。

※ ゼミの中心的素材はゼミの開始時に指示する。

※ 斉藤 孝著『学術論文の技法』日本エディタースクール出版部、平成9年、を入手のこと。

成績評価の方法

平常点評価。その際、(a) 出席を重視する。(b) 自分の思うところを述べ、他人の意見に注意深く耳を傾ける能力があるかどうかを重視する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	山田 勝 <small>やま だ まさる</small>	経営A3選	4

講義のねらい

特に商業経営を中心にすえ、経営者（商人）の役割と資質を勉強する。商人を勉強の対象としながら、自分との比較を行い、自ら事業を起こす可能性とそのために必要な学習をしてもらう。

講義の内容・授業スケジュール

経営の基礎として、年度始めに各ゼミごとに指定する教科書・副読本を読みレポートする。日本経済新聞は（毎朝夕）は必読とする。
毎週英語の経済雑誌から Cover Story などのコピーを配布するので読んできてもらい、内容についてディスカッションする。英語を学ぶのではなく、英語で（国際的センスで）現下の経営環境と問題を理解してもらう。ボーダレス時代に入り、グローバルな経営を理解し、そこで活躍するには国際語としての英語は必須であることを肝に銘じ、英語力の乏しい学生にはアルバイトではなく、英語力の強化に課外時間を充ててもらう。

成績評価の方法

平素の発表を評価していく。

その他

- (Ⅰ) 商業活動には簿記・会計、商法、手形・小切手法の知識、パソコンの使用が必要である。授業時間外に学習してもらう。
- (Ⅱ) 授業時間はディスカッションに充てるので、十分な予習、欠席をしないこと、積極的な発表を求める。
- (Ⅲ) 時間外に出来るだけ補講として企業見学などを実施する。履修希望者にはそれらも授業の一部として理解してもらう。

科 専
門 教
育 目

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	渡邊 恵一郎 <small>わた なべ えいちろう</small>	経営A3選	4

講義のねらい

会計の主な役割は、特定の経済主体（家計、企業、官公庁その他）の経済状況を計数（貨幣）的に表現すること、財産を管理保全することそれにこれを利用する人々に伝達することにある。私の演習では、特に現代の経済社会の重要な経済主体である企業の資金会計を中心に、実務に役立つ基礎知識が得られるよう指導する。

講義の内容・授業スケジュール

簿記の基礎を涵養し、次に資金会計の体系的なおよび有価証券報告書の見方などを修得させる。
3年次……資金会計の基礎理論およびキャッシュ・フロー会計と経営との関係について学修する。これには、3～4人を1チームとして編成し、レジュメを作成して発表し、質疑応答してもらう。
（この間、日本学生経済ゼミナール大会へ出場のための論文を学生が自主的に作成する。）

履修上の留意点

2年次から4年次まで一貫して段階的に学修するので、出席率を重視し、3年間継続して履修すること。なお、授業時間外では、前述のゼミナール大会（11月関東、12月全国）に出場のため、夏合宿などを行う。

成績評価の方法

成績評価は、平常点、協調性および出席率を総合して判定する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
民法Ⅱ（債権法）	うえい たけひさ 上井長久	経営A3・4選	4

講義のねらい

本講義は、他人に対して、或る物を交付させること、または、或ることを為すことを要求する権利、すなわち債権についての実体的権利関係を総合的に考察するが、それを通して、債権をめぐる問題に対して精通するとともに、柔軟に解決できるように導くことを目標とする。そのように人が人に対して或る事柄を要求することを正当と認め、その請求の実現が当事者間ではかることが出来ない場合に、当事者の一方の訴えに基づき他方の責任を追求するために裁判所が力を貸す関係が債権関係である。そのような人と人の関係は、封建的な身分関係から生じるのではなく、周知のように近現代では多くは契約関係から生じる。その他に、契約関係がなくとも相互扶助、公平、損害補填等の要請に基づく事務管理、不当利得、不法行為などからも債権関係が生じる。

債権法は、その全てについて言えることではないが、合意優先ないし契約自由の原則の及ぶ領域においては、その規定が任意法規性のゆえに日常の経済生活では往々にして、合意により債権法規と異なる生活規範が設定され、また、それが許される法の範疇である。この範疇においては、日常生活の一定の基準たる債権法規の解釈と、その法規を排除した、より有益な準則を設定した生活関係の両方を理解することが必要である。

講義の内容・授業スケジュール

この講義は、債権総論と債権各論を講義の対象とする。まず債権法全体の仕組み、内容をひととおり説明したうえで、債権一般の通則たる債権総論、次いで債権発生の原因にあたる契約、事務管理、不当利得、不法行為などの債権各論について逐条的かつ重点的に解明する。講義の内容および進行は、具体的には、以下の予定である。

- ① 債権の意義・性質・社会的機能、債権法の法源、債権法の特質・体系（前期）（第1回）
- ② 債権の目的・内容（第2回）
- ③ 債権の効力——債務と責任、履行強制（第3回）
- ④ 債務不履行責任（第4、5回）
- ⑤ 債権の対外的効力——債権者代位権（第6回）
- ⑥ 詐害行為取消権（債権者取消権）（第7回）
- ⑦ 多数当事者の債権関係——債権の共有・合有・総有、分割・不可分債権（第8回）
- ⑧ 連帯債務、保証債務（第9、10回）
- ⑨ 債権の譲渡、債務の引受（第11回）
- ⑩ 債権の消滅（第12、13回）
- ⑪ 契約総則——債権発生原因、契約自由の原則、契約の種類（後期）（第14回）
- ⑫ 契約の成立（第15回）
- ⑬ 契約の効力——同時履行の抗弁権（第16回）
- ⑭ 危険負担、（第17回）
- ⑮ 第三者のためにする契約（第18回）
- ⑯ 契約の解除（第19回）
- ⑰ 贈与、売買、交換（第20回）
- ⑱ 消費貸借、使用貸借、賃貸借（第21回）
- ⑲ 雇傭、請負、委任等の契約（第22回）
- ⑳ 事務管理、不当利得（第23回）
- ㉑ 不法行為（第24、25回）

履修上の留意点

債権法は、民法学の一分野であるから、必然的に民法の他の分野にも関連する。とくに債権を担保するための担保物権や民法全体の基本原則である民法総則などを扱う「民法Ⅰ」も併せて履修することが望ましい。

成績評価の方法

学年末の定期試験で行う。

教科書

遠藤浩・川井健他編『民法（4）～（7）』（有斐閣双書）

参考書等

我妻栄・有泉亨共著水本浩補訂正『民法2債権法』（一粒社）および稲本洋之助・上井他共著『民法講義5契約』（有斐閣大学双書）

科目名	担当者名	配当学科	単位
商法Ⅱ (商行為、手形・小切手法)	しま ばら ひろ あき 島 原 宏 明	経営A 3・4選	4

講義のねらい

現代の経済社会における企業間の取引では、手形や小切手等の有価証券が数多く使用されている。中でも手形と小切手は典型的な有価証券であって、その流通に関する法規制の多くは商法上の他の有価証券にも及んでいる。したがってその体系の理解は有価証券全般を理解する上で不可欠なものである。また、手形や小切手は金銭債権と結びついた証券であるため、これに関する法体系は債権法の一部として把握され、民法の債権総論と密接な関係にある。

講義の内容・
授業スケジュール

手形法は第一編が替手形と第二編が約束手形の二編から成り立っており、為替手形についての規定の多くを約束手形に準用するという構成になっている。ただし、わが国においては為替手形がほとんど用いられていないという現実があり、また為替手形に比べて約束手形の方が仕組みが単純であるため、条文の順序とは一致しないが講義では約束手形を中心にして説明を行い、適宜が替手形、および為替手形と基本的な仕組みを同じくする小切手についての説明を付け加えていくという形をとる。

なお、企業活動に関わったことのない学生諸君には手形や小切手の世界は現実感が乏しく興味を起りにくいいため、なるべく具体的な判例を示して解説をしていくつもりである。

成績評価の方法

期末試験による。

教科書

島原宏明『手形法学への誘い』（八千代出版）2,500円

参考書等

開講時に指示する。

科 専
門 教
育 目

科目名	担当者名	配当学科	単位
外書講読（英書）	たか だ みつ あき 高 田 光 明	経営A 3・4選	4

講義のねらい

この講義では、英文で書かれた専門書の内容を正確に理解できるようになることを目的とする。そのためには、日本語の場合と異なる英語の構文を正しく捉える必要があるし、単語の意味を、前後の文脈に関連させて正確に知ることも大切である。前後の文脈に配慮することなく、単語を日本語に機械的に置き換えて事足りれりとする学習態度では、英語の専門書を読んでいることにはならない。このような読み方では、簡単な単語で構成された単純な構文の文章でも、その内容を正確に理解できるようにはならない。おそらく、いつまで立っても、たまたま正しく読めることもあるという状態のままであると思われる。この授業では、そのような英文読解力の水準から脱却することを狙いとする。

履修上の留意点

英語の専門書の内容を理解し、本当の意味で読めるようになるためには、たねんに文脈を追うという態度で、まず自分自身で英文を理解しようと努める必要がある。外書講読のような科目では、予習を行って、教材のどこが分かりどるところが分からないかを自分自身で前もって知っておくことが不可欠である。そして、授業中には、予習で分からなかった点を理解できるように努め、予習では分かったと判断した箇所を、ほんとうに理解できていたか確認しながら学んで頂きたい。こうした地道な学習の仕方を続けることが肝心である。

授業態度として一番まずいのは、予習をせずに授業に出席し、その場しのぎで授業時間を過ごすことである。そのような姿勢で授業を受けていると、英文の専門書を読解する能力に進歩がないまま1年が過ぎてしまう。授業で進む範囲を前もって予習せずに、ただ出席するだけでは、この授業を受ける意味がないといえる。

成績評価の方法

筆記試験による評価を原則とし、平常点を加味する。

教科書

アメリカ合衆国で定評のある企業財務関係の専門書（大学の教科書として入門書レベル）の一部を使用する予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
外 書 講 読 (英 書)	たき た こう いち 滝 田 公 一	経 営 A 3・4 選	4

講義のねらい

We are going to read the following text; Denardo, E. V. *The Science of Decision Making*.
This book is a practical, accessible, engaging, and deeply penetrating introduction to the science of decision making. It is a successful fusion of problem-based learning and spreadsheet computation with decision science. It surveys the models of operations research and of probability.

履修上の留意点

No prerequisites are required.

成績評価の方法

Graded by submitted computer assignments.

教 科 書

Denardo, E. V. *The Science of Decision Making* John Wiley & Sons, 2002

専
門
教
育
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
外 書 講 読 (英 書)	ひ の けん た 日 野 健 太	経 営 A 3・4 選	4

講義のねらい

やさしめの英語の論文を読むことによって、経営学のホットなトピックについて英語で学ぶ。今年度はリーダーシップについての論文を読む予定。

講義の内容・
授業スケジュール

最初は、英語の復習もかねて、一文ずつ逐語訳を行うスタイルで進む。受講生は、予習が必須である。何となく感覚で読もうとするのではなく、きちんと日本語訳を用意してくることが、英語の能力の向上にもつながるはずである。順番に一人一文ずつ訳してもらう。予習して来なかった場合は、欠席扱い。

徐々に受講生の反応を見ながら、要約を発表するといったスタイルを取り入れたい。

成績評価の方法

出席点のウエイトが50% 定期テストのウエイトが50%

教 科 書

使用しない。コピーを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
外 書 講 読 (独 書)	<small>もも ずみ いさむ</small> 百 濟 勇	経営 A 3・4 選	4

講義のねらい

現在、欧州経済で一番関心と呼んでいる事項は、単一通貨ユーロの導入である。とりわけ、1999年1月1日より欧州通貨同盟第3段階として単一通貨ユーロ、非現金取引に導入され、欧州中央銀行（ECB）単一金融政策が開始されたことである。これを踏まえて、2002年1月1日より、ユーロ紙幣、コインが導入された。米国を上回る3億人と世界の20%以上の大きな国内総生産（GDP）を持つ単一通貨圏ユーロの出現は、ブレトン・ウッズ体制崩壊以来、プラザ合意・ルーブル合意といった政策努力後も継続してきたデファクトのドル中心の国際体制から、三極通貨体制による新たな国際通貨制度への移行を意味するのだろうか？ 1991年以来、ドイツで最も重要なシンクタンクの一つである「ベルリン・ドイツ経済研究所」の客員研究員をしているが、ドイツの研究者が使用する資料を含めてアプローチする。その際に、EUなど国際機関、ドイツ連邦政府、ドイツの各研究所などのインターネットによる資料検索は、欠かせない。ドイツ語を主とした資料を使うが、その他英文・日本語などの資料も平行して使用する。ゼミ方式を採用、毎回インターネットによる最新の資料も配布する。

講義の内容・授業スケジュール

講義の内容としては、文部省重点領域研究での成果、「ドイツ経済の現状」および「ドイツを軸とし、EUの対外経済政策、とりわけ対東欧・ロシア経済関係」を使ってアプローチする。そして「欧州現代経済論」へアプローチする。

履修上の留意点

毎時間、インターネットによる資料検索、またドイツの新聞を中心にしての時事的な記事も、その都度呈示する。それ故にゼミ論や卒論を目指している学生が好ましい。

成績評価の方法

期末試験は行わない。

教科書

インターネットによる検索資料は、その都度授業で渡す。

参考書等

百濟勇：『EUの東方拡大とドイツ経済圏』、日本評論社、1999年
百濟勇：『EU・ロシア経済関係の新展開～ドイツを軸として欧州・CIS関係を探る』、日本評論社、2003年
参考文献であるが故に購入の必要は無し。

その他

この授業からは、テレビ朝日アナウンサーの藤井堯君などが出ている。

科 専
目 門
教 育

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
外 書 講 読 (仏 書)	<small>まえ だ のり かず</small> 前 田 祝 一	経営 A 3・4 選	4

講義のねらい

カナダ社会の中で重要な部分を構成しているフランス系カナダの理解を深めてもらいたいと思っています。

講義の内容・授業スケジュール

外書講読なので、フランス語のテキストをこちらで用意し、それらを読みつつ、半分は講義という形式にします。

履修上の留意点

フランス語初級の履修済の学生を対象とします。

成績評価の方法

出席点・平常の学習態度のみで評価します。

教科書

教科書なし。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
外書講読（中国書）	すぎ やま やすし 杉 山 静	経営A 3・4選	4

講義のねらい	中国語初級や中級位の学力をもつ者を対象に、中国語の閲読能力や一般中国語の力のアップを目指す。
講義の内容・授業スケジュール	中国の歴史、文化、とくに経済や経営の現状に関するものの中国語材料を教材として講読する。
履修上の留意点	授業はセミナーの形で進める。履修者は授業前の準備が必要である。
成績評価の方法	先ず出席することが一番大事で、出席率を最も評価する。細かい試験はないが、翻訳や作文などの宿題、場合によってはテストもあろう。
教科書	最初の授業時間に指定する。
参考書等	最初の授業時間に指定する。
その他	辞書は必ず用意すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
外書講読（スペイン書）	うえ の かつ ひろ 上 野 勝 広	経営A 3・4選	4

講義のねらい	スペイン語の基本的な商業通信文を中心に講読します。
講義の内容・授業スケジュール	Business Spanish の入門書を中心に、会話文を含め精読します。進度は受講者の理解力に応じて調整してゆきます。
履修上の留意点	Business Spanish に必要な語彙や表現を中心に説明しますので、受講者は文章全体の内容理解に努めてもらいます。
成績評価の方法	数回の課題レポート（50%）と平常点（50%）を総合して評価します。
教科書	プリント使用、授業時に配布します。
参考書等	必要に応じて授業時に紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
外書講読（ロシア書）	すぎやま ひでこ 杉 山 秀 子	経営A 3・4選	4

講義のねらい

やさしいロシア語の実用的文章をできるだけ多く読み、その中から日常よくつかわれる表現をとりあげ、日常会話で応用できるように学んでいきたい。ビデオや映画なども積極的に活用し、その中でとりあげられてるオフィシャルなロシア語表現に慣れ、ロシア人とのコミュニケーションを円滑なものにするべく努力してみたい。

成績評価の方法

出席を重視します。出席率プラス年二回の小テストの総合点で判断します。

教科書

プリント配布。
ビデオと映画をみるチャンスをつくります。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ビジネス英語	まち い やすし 町 井 靖	経営A 3・4選	4

講義のねらい

「商品の輸出入に関する英文の手紙」を学習する。テキスト『ビジネス英語』に従って、取引先の発見からカタログの送付、オファー、見積り、交渉、注文、船積み、クレームなど、貿易取引の各段階で良く使用される表現を学ぶ。実際の輸出入業務では英文の手紙を書く必要があるので、英作文演習には力を入れたい。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストは貿易取引の各段階で良く使用される表現を英文解釈で学び、それらの重要表現を使用して英作文をするようになっている。英作文は授業中に1題やり、数題が宿題となるが英文解釈、[研究]、[注]を良く読返して英作文を考え、それらの表現をしっかりと修得していただきたい。

貿易の専門的用語の理解も必要なので、テキストの付録「貿易用語集」により、定型取引条件、為替相場、複合運送、信用状、手形買取り、海上保険などを講義する。

履修上の留意点

全員授業に参加していただくので予習（英文解釈）、復習（英作文）が必要である。英作文は間違いを恐れず挑戦していただきたい。個人的に添削指導する。

成績評価の方法

前期、後期の試験成績と出席による。

教科書

町井靖著『ビジネス英語』（創成社）1,600円（本体価格）

参考書等

教室で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
特殊講義 (前期)	しろ 代 田 じゆん 純	経営A 3・4選	2

講義のねらい

野村證券株式会社の提供による本講座は、「資本市場の役割と証券投資」をテーマとし、野村證券および野村総合研究所の現役スタッフによって前期13回で講義される。講義では、証券市場に密接に関連する経済情報の捉え方からスタートし、株式や、債券、投資信託などの基礎を解説した後、資産運用とライフプランニング、資本市場と投資家心理などの実践的課題に接近し、最後にはベンチャービジネスにも言及する。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 ガイダンス
- 2 経済情報の捉え方
- 3 経済成長と金融資本市場について
- 4 証券投資のリスク・リターンについて
- 5 株式市場の役割と投資の基礎知識について
- 6 債券市場の役割と投資の基礎知識について
- 7 投資信託の役割とその仕組みについて
- 8 ポートフォリオ・マネジメントについて
- 9 市場のグローバル化と証券投資について
- 10 資産運用とライフプランニング
- 11 資本市場における投資家心理について
- 12 個人投資家と証券ビジネスについて
- 13 ベンチャービジネスとIPOについて

履修上の留意点

遅刻、途中退室は認めない。講師の都合でテーマが変更することもある。

成績評価の方法

定期試験による。再試験はない。但し、レポート提出者には加点する。

教科書

毎回、講義資料が配布される。指定参考書として、代田純『日本の株式市場と外国人投資家』（東洋経済新報社）2002年を使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	あか し ひろ ゆき 明 石 博 行	経営A 4選	4

講義のねらい

本演習では、今年度の研究テーマである平成不況の研究を深めるとともに、卒業論文を執筆します。

講義の内容・授業スケジュール

演習は前期と後期にわけて行います。前期には、PowerPointの操作能力、企業分析と景気動向分析のプレゼンテーション用資料を作成します。また、班ごとの取り組みを中心に、卒業論文の執筆準備を進めます。後期には、PowerPointを使って研究成果のプレゼンテーションを行うとともに、卒業論文についての報告と討論をしつつ、卒業論文を完成させます。こうした卒論への取り組みと関連させて、インターネットを通じた情報収集能力と情報の整理能力のさらなる向上を図り、秋にはPowerPointを用いたプレゼンテーションと卒業論文の中間報告・検討のための合宿を行います。

履修上の留意点

4年次には、卒業論文のテーマに即して班を再編します。卒論の作成にさいしては、班ごとあるいは個人ごとに、演習時間外に補足的な相談会を行います。

成績評価の方法

成績は、通常の演習および相談会などへの参加状況を基本としつつ、卒業論文の取り組みにかんする判断を加えて評価をします。

教科書

卒業論文の作成に必要なすべての文献が、教科書・参考書となります。また、4年次の学習用テキストとして、『NIKKEINET・景気ウオッチの活用法』と『決算書分析の基本』に加え、『卒論作成の手引き』を配布し、使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	阿部一人	経営A4選	4

講義のねらい

各自の選択したテーマにそって、卒業論文の作成とその検討を行う。

成績評価の方法

成績評価は、報告発表、レポート、出席状況により総合的に判定する。

教科書

授業中において適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	石名坂 邦昭	経営A4選	4

講義の内容・
授業スケジュール

各自のテーマについて論文を作成し、全体の論文集を作成する。

成績評価の方法

論文をもって評価する。

参考書等

論題に必要な資料を紹介する。

科 専
門 教
育 目

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	小沢利久	経営A4選	4

講義のねらい

人は様々な場面で次を取るべき行動の選択（意思決定）を迫られている。例えば、投資家は日々変動する株価と付加的な情報を基に資金の投資配分を決めている。電話会社は携帯電話機数の伸びや通話時間の伸びを考慮しながら次の設備投資判断をしている。本演習では、このような問題に対処するための学問的基礎として、オペレーションズ・リサーチの各種手法とコンピュータリテラシについて学んでいく。特に、株価や需要の変動など、不確定要素を含む問題を確率的なモデルとして表わし、解析していくことに重点を置く。

講義の内容・
授業スケジュール

・演習Ⅲ（4年生）では、経営科学の分野から各自テーマを決め、それについて調査、モデル化、分析を行い、論文にまとめる。

履修上の留意点

情報処理基礎・応用、経営科学概論、統計原論、経営科学など、経営科学系の科目を並行して履修することが望ましい。

成績評価の方法

演習Ⅲは論文の提出を必須とし、その内容によって評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 Ⅲ	かがみ ようこ 各 務 洋 子	経営 A 4 選	4

講義のねらい 本演習ではテーマを「現代企業における生産・技術・労働」とし、このテーマに沿ってゼミ生各人が自分の関心のあるテーマを設定し、それについて研究し各人がゼミ論文を作成することを最大の目的としている。またゼミ論文の経過・成果についてプレゼンテーション（発表・報告）を行ってもらい、その中で議論・討論を行う形で授業をすすめていく。この研究発表・報告・討論を通じて、各人が論理的に思考し、自分の意見を的確に表現する練習をする。

講義の内容・授業スケジュール 4年次では、各人がゼミ論文のテーマを設定し、論文作成のための研究を進めていく。授業自体は各人による研究発表・討論で行われる。研究発表・討論を中心に行われるので、ゼミ内に全員が積極的に発言できる雰囲気を作りたい。

履修上の留意点 中途半端な気持ちで志願する学生には遠慮してもらいたい。毎回少なくとも1回は発言することが義務付けられるので、消極的な姿勢でゼミに参加する者にとっては苦痛でしかないであろう。本ゼミでは何よりもやる気のある学生を歓迎する。

成績評価の方法 特に出席を重視。規定の欠席回数に達したものは即除籍にする。その他、ゼミでの報告内容や参加態度も成績評価に入る。

そ の 他 水曜日・4時限

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 Ⅲ	かがみ ようこ 各 務 洋 子	経営 A 4 選	4

講義のねらい 大学は、学問追究の場です。しかし、単に高度な学術知識を与えるだけの場ではありません。3年間の演習を通して、大学時代に身につけるべき個人の貴重な資産（能力）を知的交流を通して培うことを目指します。具体的には、①高度な学術性と同時に、創造的な理解力を身につけ、多様な価値観から常に自由な立場であり続けるための批判的知性を育てること。②多くの知識を幅広く学ぶということではなく、幅広い知識を深く学ぶための確固たる主体性を育てること。③生涯、知的に成長を続けるために備えておくべき力を、習慣化すること。これらを実現するために、様々なプログラムを用意しています。常に、ワクワクドキドキする知的緊張感を研ぎ澄ませ、楽しみながら現実と理論の融合を試みます。

現代企業に焦点をあて、企業の所属する業界構造、利害者集団との関わり、競争状態などの外部環境分析、ヒト・モノ・カネ・情報などの内部環境分析を通して、企業の採るべき行動、戦略、組織構造、経営管理形態などを考察する。企業をウチ側とソト側から、経営学の視点に立ち、複眼的、立体的に観察・分析・研究する。

講義の内容・授業スケジュール 理論研究では、最新の経営学の領域で出版された専門書を取り上げる（適宜指示する）。発表方法は、演習Ⅱと同様。重要なポイントをテーマとして取り上げる30分ディベートを、毎週実施する。個人研究は、演習で問題提起され、分析を続けている個人個人の研究をまとめあげる。年度末には、演習Ⅰ&Ⅱの履修者も交えて、パワーポイントで作成したプレゼンテーション資料をもとに、発表会を開く。

成績評価の方法 個人研究の定期的な提出。個人研究のプレゼンテーション。平常点（ゼミでの発表力、議論への貢献度等）。

教 科 書 ゼミ内で適宜指示する。

そ の 他 合宿は、年1～2回。後期の研究に関連した会社訪問、工場見学など。コンパは、課題の山終了毎に随時開催。
ゼミ情報は、ホームページに掲載：<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kagami>
火曜日・4時限

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 Ⅲ	鹿嶋秀晃 <small>かしまひであき</small>	経営A4選	4

講義のねらい

研究テーマは現代日本の人事労務管理。大学生活の中で、ゼミは最も勉強に打ち込み、一番思い出になる場所だと考えます。よって、学力に関係なく、積極的に勉強し、行事を企画し、みんなで楽しくゼミを過ごしたいという学生を採用します。ゼミがより広い知識や考え方を得、友人関係を築く場となることを願います。

講義の内容・
授業スケジュール

現代の日本企業とそこに働くサラリーマンが抱える問題に関して、入門書と専門書を読みます。企業と労働、社会について幅広い関心を持ち、科学的に考える力を養います。サブテーマは「終身雇用」「年功賃金と能力主義」「年俸制」「人事考課」「日本の経営」「女性労働」「日本の労使関係」「会社人間」「過労死」ほか。2ヵ月に1冊のペースで本を読みます。受講者全員はあらかじめテキストを熟読しておくこと。その中から報告者（レジュメを作成）、コメンテーターを決め、その2人を中心に議論をしていきます。報告者とコメンテーターは順番。毎回の「新聞発表」では担当者が最近の新聞から企業経営や労務に関するものを切り抜き、自分のコメントを加えてプレゼンテーション。

履修上の留意点

出席重視。無断欠席は2度目で単位認定なし。欠席は3度を越えると単位認定しません。ただし、特別な事情には個別に対応します。レジュメはワープロで作成すること。ゼミ以外の工場見学、コンパ、合宿等もゼミの一環なので必ず出席するように。

成績評価の方法

出席点、講義中の発表・発言、レポートを総合して判定。

教科書

適宜指定する。ちなみに昨年度使用したテキストは太田肇『ベンチャー企業の「仕事」』、高橋俊介『キャリアショック』、熊沢誠『女性労働と企業社会』など。

参考書等

演習時に適宜紹介。

その他

履修希望者は、可能な限り講義「経営労務論」を履修のこと。その他のゼミ活動には、卒業論文集の発行、個人ホームページの作成、ゼミ書評、全国コンテスト参加などがあります。ゼミHPも合わせて参照のこと。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kashima/index.html>

科専門
教
育
目
録

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	かたぎり のぶ お 片桐 伸 夫	経営A4選	4

講義のねらい

このゼミは3・4年次(演習Ⅱ・Ⅲ)で「就職希望会社の経営分析」を行うことを目的とします。

経営分析とは、文字通り「企業の経営を分析すること」であり、きわめて範囲の広いものです。具体的には、皆さんが将来を託そうとする会社は、

- 1 財政的に安定しているだろうか(安定性分析)、
 - 2 「儲け」はどうか(収益性分析)、
 - 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか(生産性分析)、
 - 4 長期的な会社の「伸び」はどうか(成長性分析)、
- といった内容です。

履修上の留意点

このゼミでは、経営分析の中でも、とくに財務諸表(貸借対照表や損益計算書など)の分析を中心とします。したがって、1年次の簿記学に興味を感じた人向きのゼミです。

成績評価の方法

成績評価の方法は平常点です。

4年次(演習Ⅲ)では、2年間の成果をゼミ論としてまとめます。

その他

プレゼミや合宿も行います。

ゼミ入室の決定方法は面接〔志望理由書(500字程度)事前提出〕とテスト(演習Ⅰは1年次学習中の簿記、演習Ⅱは日商簿記検定2級程度)によります。

なお、いうまでもなく無断欠席と遅刻は厳禁です。以上の方針に見合う、学習意欲十分な学生諸君の参加を希望します。

専
門
教
育
目
的

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	かねむら えい てつ 兼 村 栄 哲	経営A4選	4

講義のねらい

受講生の1人1人が、マーケティングにかかわる諸現象を体感し、自分なりに論理的に説明できるようになることを主な目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

各字の問題意識にしたがって、卒論を作成してもらおう。卒論は、ワープロ原稿で、A4版用紙1頁あたり1,200字(40字×30行)で25枚以上とする。

履修上の留意点

以上の3点をとくに要望する。

- ①積極的に参加すること(通常の演習のみならず、合宿その他の課外活動にも積極的に参加すること。また、単に出席するのではなく、自発的に自分なりの疑問や意見を示すこと。)
- ②お互いの親睦を深めること
- ③授業開始後、諸般の事情で履修を取りやめる場合にも、必ず事前にその旨を申し出ること

成績評価の方法

授業態度、卒論の内容等を総合的に評価する。

参考書等

適宜、紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 Ⅲ	近 藤 禎 夫 <small>こん どう さだ おお</small>	経営A 4選	4

講義のねらい

「演習」(以下、ゼミという)は、たんに専門領域の知識を教師が教授するのではなく、教師がゼミの場をリードしながらも学生みずから主体的にゼミのテーマに取り組まなければならない。そのためには自己の属するゼミのテーマをよく理解し、文献をもとに得られた知識をゼミの場で報告し、問題点を明確にしつつゼミでの議論を深めていくことになる。

講義の内容・授業スケジュール

4年次はケース・スタディが中心である。テーマは3年次で決定した上記「独占・大企業ならびに産業部門別実証分析」とする。したがって、いうまでもなく4年次は新規補充をしない。

履修上の留意点

ゼミは学生相互間および教師との対話を重視し、研究テーマを体系的に把握するよう指導していきたい。また研究報告のみにとどまらず、その時間の議事運営もすべて学生に体験させるように指導している。もちろんゼミの運営そのものも、学生の主体性を重視して自由に取り組むように心がけている。

成績評価の方法

出席と報告を重視する。

教科書

学期の始めに指示する。

科 専
門 教
育 目 録

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 Ⅲ	猿 山 義 広 <small>さる やま よし ひろ</small>	経営A 4選	4

講義のねらい

マーケティングと管理会計の接合領域における概念および分析手法を学ぶこと。

講義の内容・授業スケジュール

論文や各種資料の輪読とゼミ論の作成を同時並行で行う。

履修上の留意点

テーマの都合上、英文の論文や資料を読むことが多いので、辞書を持参すること。

成績評価の方法

平常点で8割、残り2割はゼミ論によって評価する。

教科書

その都度、配布する。

参考書等

その都度、指示する。

そ の 他

ディスカッション形式の演習に近づけていきたいので、積極的に議論に参加すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 Ⅲ	鈴木 幸毅 <small>すずき こうき</small>	経営A 4選	4

講義のねらい

我々の生きる現代は、企業社会といわれ、また組織社会とも言われている。この社会において企業は、経済的権力を握り社会的及び政治的権力を行使しているが、国際化の真価を問われ、著しく進んだ情報化・技術革新によって革命的影響を受け、そして成熟化社会における価値観の多様化によって社会との関係枠組みの変革を求められている。こうした状況は、経営管理（論）の理論的及び実践的研究に対して影響を及ぼす。

以上の認識のもとに、今年度は、「企業責任と環境問題」について検討する。
 〈テーマ〉 「企業責任と環境問題」

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 企業概念と理論について学習し、それを基礎に「企業責任」を考える。
- (2) 企業の環境問題とは何かについて現実的に捉え、それを理論的に整理し、「企業責任」と「社会的貢献」を明らかにする。

成績評価の方法

個人又は共同論文作成を中心に成績を評価する。

参考書等

鈴木幸毅著『環境問題と企業責任（増補版）』中央経済社（平成6年）
 同 『環境経営学の確立に向けて』税務経理協会（平成11年）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 Ⅲ	高井 徹雄 <small>たかい てつお</small>	経営A 4選	4

講義のねらい

IT（情報技術）が社会のキーワードとされる今日、我々は、真の意味で情報が価値を持ち、情報が価値を生み出す、高度情報社会に生きています。皆さんが、企業や官庁の有能なスタッフとして「情報エリート」を目指すならば、少なくとも、

- 1) 発見力：与えられるのではなく、自ら問題を発見する能力。
- 2) 洞察力：必要な情報を選び、情報に基づき分析し、問題の本質を解明する能力。
- 3) 解決力：他社と協力しあって、具体的な問題解決策を提案し、実行化する能力。
- 4) 表現力：自らの提案を解り易く表現し、情報発信する能力。

が要求されるはずです。

4年次ゼミでは、卒業ゼミ論文の作成を通して、これまでの学習の成果を発揮していただきます。

講義の内容・授業スケジュール

- 4－7月：卒業ゼミ論文のテーマ選定と個人指導
 9－12月：卒業ゼミ論文作成に関する個人指導
 1月：卒業ゼミ論文の最終発表と提出

履修上の留意点

卒業ゼミ論文の作成と提出が、4年次演習履修の必須条件です。

成績評価の方法

個人指導の経過と、提出された卒業ゼミ論文及び発表を見て評価します。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業中に適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 Ⅲ	高 木 克 己	経営A4選	4

講義のねらい

4年次では、5月半ばから7月にかけて、3年次に作成した進級論文を教材にして論文の書き方、文章の構成、専門用語の使い方等、2、3人の少人数で個別指導を行います。そして後期には、各自選択したテーマの問題点の整理、今後の方向性(解決策等)を中心に報告を行い、4年次終了時には、卒業論文(30枚以上、400字)の作成します。
 なお、合宿等の行事は、2年次と同じく例年通りです。

成績評価の方法

出席及び報告により評価します。

参考書等

各自選択したテーマにより紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 Ⅲ	滝 田 公 一	経営A4選	4

講義のねらい

演習Ⅰ、Ⅱで習得した、資料の分析的読み、批判的読み、データの情報処理技術などを活用して、ゼミ卒業論文を作成していただきます。ゼミ卒業論文の作成を義務づける理由は、次のようであります。すなわち、
 (ア)どのようなトピックをゼミ卒業論文のテーマとしたらよいか、すなわち、論題の切り出し方を学ぶ、
 (イ)自分の考えを論理的に明確にし、読者に理解しやすいように、幹線のわかる構造を持った論文の書き方を学ぶ、
 と言った、知的作業については、その重要性にもかかわらず、これまで、日本の学校教育では、その教育が十分になされてこなかったように思われるからであります。最後に比較的入手が容易であろうと思われる参考文献をあげておきます。

成績評価の方法

成績評価は、提出していただいたゼミ論文によって行います。

参考書等

澤田昭夫、『論文の書き方』、講談社学術文庫、昭和52年
 澤田昭夫、『論文のレトリック』、講談社学術文庫、昭和58年
 梅棹忠夫、『知的生産の技術』岩波新書、昭和50年
 川喜田二郎、『発想法』中公新書、昭和51年
 中野不二男、『メモの技術—パソコンで知的生産—』、新潮選書、平成9年

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 Ⅲ	<small>なが</small> 長 <small>こ</small> 国 <small>きよう</small> 強	経営A4選	4

講義のねらい

現代は情報化社会といわれ、新聞・雑誌・インターネットを開いてもそこに大量の経済・経営データが見られる。ところで、経済・経営などのデータをそのまま見れば、単なる数字の山にすぎず、大切なことはそこから正しい見通しを得ることであろう。実際のデータから経済・経営など社会的な動きをどのように読みとるのかといった能力を養成できるようにすることを目的として、本演習はコンピュータを使つてのデータ解析の基本技術を学習する。

講義の内容・授業スケジュール

演習Ⅲ（4年生）：総決算…卒業論文作成に挑戦
研究テーマを自主的に選び、演習Ⅰと演習Ⅱの2年間で学んだコンピュータとデータ解析の基本知識や手法を自ら実践し、卒業論文作成に取り込む。卒業論文については、11月の中間報告、1月の卒論発表会を経て、最終的に提出してもらう。

成績評価の方法

平常点：出席・レポートの成績などで総合的に評価する。

そ の 他

継続性ということから、演習Ⅲの新規募集はいたしません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	ながせかつひこ 長瀬勝彦	経営A4選	4

講義のねらい

このゼミは組織とコミュニケーションの問題をテーマとしています。組織が組織として成立し続けるためには、メンバー間のコミュニケーションが不可欠であって、組織内部では常時様々な形態のコミュニケーションが交わされています。その中でわれわれがもっとも注目するのが、協力や交渉に関わるコミュニケーションです。組織の中で物事を進めるには、メンバー間の協力や交渉が欠かせません。そこに交わされるコミュニケーションを多面的に追求しましょう。

講義の内容・授業スケジュール

4年次は個人研究論文を作成し、ゼミ論集にまとめます。
全学年合同で年に2回おこなわれる合宿も重視しています。競技ディベートや模擬裁判、模擬面接、プレゼンテーションなど、特別プログラムを用意しています。

履修上の留意点

手書きのレポートは許されていませんので、選抜の合格者はゼミ開始時までにワープロでレポートが作成できるようにしておく必要があります。自宅に持っていない場合は、登録して大学の自習室のパソコンを使用してください。みなさんが会社に入ると、文書は全てワープロになります。今のうちに修得しておきましょう。

また作成されたレポートや用語集などは、順次インターネット上のゼミのホームページ(URL=<http://user.komazawa.com/nagase/zemi/>)に公開されます。当ゼミはコンピュータのゼミではありませんが、インターネットは現代社会的知的生産に必要なツールとして認識しています。ゼミのホームページの制作とメンテナンスも重要な活動のひとつです。選抜の合格者に対しては簡単な講習会を開きます。

このゼミの参加者に必要な資質は、何を措いても旺盛な知的的好奇心です。森羅万象に興味を抱き、新聞を読み、書物を読み、マンガを読み、映画を観、町を観察し、友と語り、大学の講義にも出る(!)という食欲さが要求されます。次に必要なのが、現象の背後に潜む法則をあぶり出す抽象的思考力。要は自分の頭で考えることです。さらに言えば議論好きなこと、文章を書くのが苦にならないことが望ましいのですが、そうでなくとも、努力を惜しまない姿勢があれば大丈夫です。

教科書

随時指示します。

参考書等

随時指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	ながたとものり 永田智則	経営A4選	4

講義のねらい

世界の各地で生じている諸現象の中から、経済発展と貿易の関係に焦点を絞り、この問題の研究を通して、国際経済の仕組みやメカニズムについて理解を深めることを目標としている。

講義の内容・授業スケジュール

「演習Ⅲ」では研究活動の集大成としてゼミ論と取り組み、経済開発と貿易の関係を整理しながら、国際経済の仕組みやメカニズムについて理解を深める。

履修上の留意点

無断欠席、遅刻は厳禁。授業中は積極的に発言をすること。

成績評価の方法

提出されたゼミ論を評価対象にする。

教科書

教科書及び参考文献等については必要に応じて紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 Ⅲ	なか がわ しゆん べい 中 川 淳 平	経営A4選	4

講義のねらい

この演習では、経営学説について考察する（したがって、演習での研究テーマとしては、経営学説のなかから1つないし複数の学説から選択することとなる）。併せて、文献・資料の調査の仕方、報告のあり方、文章のまとめ方について習得する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、参加者が知識を共有できる様、経営学史の基本文献を輪読する。したがって、毎回担当者を決め、報告をする。報告後、参加者で討論を行なう。後期は前期で学んだ諸学説の中から、適宜テーマを選択し、その研究内容を報告してもらい、討論を行なう。そして、一年間の学習の成果として、論文を提出してもらう。

履修上の留意点

予習・復習、あるいは論文作成のために多くの時間を割く必要があるので、積極的に勉強する、意欲ある学生の参加を望みます。

成績評価の方法

発表や討論の内容、論文、学習態度によって総合的に評価する。

教科書

宮田矢八郎『経営学100年の思想—マネジメントの本質を読む』（ダイヤモンド社、3,200円）

参考書等

参加者が選択したテーマに応じ、適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 Ⅲ	なかむらこういち 中 村 公 一	経営 A 4 選	4

講義のねらい

本ゼミでは現代企業の置かれている環境とそれに対する経営戦略を紐解いていき、実践的な場面でも応用できる知識と考え方を身に付けるために、文献購読・資料調査・ケーススタディ・ビジネスプランニングなど多彩な課題に取り組みます。

ゼミは、単位を採るだけのものではなく、個人の「知的トレーニングの場」であり、他のゼミ生達と切磋琢磨する場であると考えて下さい。私の役割は、ゼミ生がゼミでの勉強をきっかけにして豊かな学生時代を築こうとする時のお手伝いをするだけに過ぎません。運営の主体は君達にあります。

- ①文献購読やケーススタディなどを通して、企業の置かれている環境とそれに対する戦略を的確に理解する専門知識の習得、分析力、洞察力の強化を図ります。
- ②レポート作成を通してのアウトプット能力、論述能力、論理構成力の強化を図ります。
- ③毎週の報告や議論などを通じてプレゼンテーション能力やディスカッション能力の強化を図ります。
- ④実際にビジネスプランの策定を通して、事業戦略を構築する企画力と構想力の強化を図ります。

講義の内容・授業スケジュール

演習Ⅲ（4年生）

前期；戦略的思考・問題解決法（ロジカルシンキング・クリティカルシンキング）の実践
後期；卒業ゼミ論文の作成
合宿；ビジネスプランニング大会
他大学とのゼミ交流も本年度実施予定

履修上の留意点

ゼミの理念は「知的トレーニング」にあるので、毎週レポートを宿題として課し、相当の勉強時間の確保が必要になります。また、ゼミでは議論が中心になるために、事前の準備も必要となります。入ゼミに当たっては、ホームページにも詳しい内容が掲載されていますので参考にして下さい。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~nakamura/>

成績評価の方法

遅刻の常連、無断欠席、各種課題や提出物の期限の遅れ、ひどい内容のレポートを提出した場合は、厳しくチェックします。成績は平常点によって判断します。なお、4年次には卒業論文があります。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 Ⅲ	にしむらかずお 西村和夫	経営A4選	4

講義のねらい

【テーマ：コンピュータ科学】 文書（英論文など）の読みかた、書きかた、発表のしかた、コンピュータの利用のしかたを体得し、論理的な思考力を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

演習Ⅲ

論文の書きかたを習得する。

- ・資料の調査
- ・中間発表とレポート提出
- ・論文の作成と発表
- ・論文提出
- ・発表会

その他

- ◆就職活動についてのアドバイス。面接の実習。ビジネス文書の書きかた[2]。
- ◆情報処理技術者試験の受験のための学習。
- ◆合宿（年1度）・イベント（年1～2度）。

履修上の留意点

テーマは“コンピュータ科学”であって、コンピュータの操作方法ではない。コンピュータの知識がある人ではなく、やる気と実行力のある人を求む。入ゼミ者は、2年次までに“情報処理基礎”を必ず履修すること。

成績評価の方法

出席のほかに
演習3：ゼミ論文

参 考 書 等

- [1] R. Graham, D. Knuth and O. Patashnik, Concrete Mathematics, Addison-Wesley, 1989.
[2] 吉田幸生、仕事の文章が面白いほど書ける本、中経出版、1992.

そ の 他

西村ゼミのページ：<http://www.komazawa-u.ac.jp/du/nis/>

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	はとりしげる 羽鳥 茂	経営A4選	4

講義のねらい

現在の日本経済のさまざまな姿を基本データによって確認し、新しい動きを理解することが本演習の主要な課題である。

また、2002年3月にスタートした経済学検定試験（ERE）に諸君がチャレンジすることを薦めたいので、出題科目の学習についても指導する予定である。

履修上の留意点

積極的にゼミに参加することを学生諸君に要望する。

成績評価の方法

出席状況とゼミでの積極性ならびに年度末に提出する課題レポートによって成績を評価する。

教科書

田中隆之『現代日本経済』、日本評論社、2002年、2,800円

参考書等

経済セミナー編集部編『経済学検定試験-ポイント解説と演習-』、日本評論社、2002年、1,680円

科 専
門 教
育 目

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	まえだかずとし 前田 和利	経営A4選	4

講義のねらい

演習Ⅱのテーマを継続して検討する。

講義の内容・
授業スケジュール

- ①企業間競争の視点から事例研究をとりあげる。
- ②個人ないしグループによる研究成果の報告を行ない、論文（ワープロ、12000字以上）を作成する。

成績評価の方法

論文評価による。

参考書等

論文の進行速度に応じて適宜指示する。

その他

報告者は事前に要旨・資料を配付すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 Ⅲ	みやぎ てつ 宮 城 徹	経営 A 4 選	4

講義のねらい

演習Ⅲ（4年）

4年次ゼミ生は、400字詰原稿用紙30～50枚程度のゼミ論文の作成にとりかかる。そのさい、テーマに密接に関連のある邦訳書・邦語の文献を適宜指示するが、英語圏あるいはドイツ語圏の論文をゼミ論文の素材にしたいというゼミ生に対しては、然るべき論文を1本割り当てるので、それを翻訳してゼミ論文に加味してもよい。また、論文を仕上げるまでの日程等についてもアドバイスする。

※ ゼミは、毎回1人あるいは複数のリポーターが与えられた範囲をレジュメに基づいて報告し、その他のゼミ生もそれを中心にして活発にディベートするように進める。

※ ゼミの中心的素材はゼミの開始時に指示する。

※ 斉藤 孝著『学術論文の技法』日本エディタースクール出版部、平成9年、を入手のこと。

成績評価の方法

平常点評価。その際、(a)出席を重視する。(b)自分の思うところを述べ、他人の意見に注意深く耳を傾ける能力があるかどうかを重視する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	やま だ まさる 山 田 勝	経営A4選	4

講義のねらい

特に商業経営を中心にすえ、経営者（商人）の役割と資質を勉強する。商人を勉強の対象としながら、自分との比較を行い、自ら事業を起こす可能性とそのために必要な学習をしてもらう。

講義の内容・授業スケジュール

経営の基礎として、年度始めに各ゼミごとに指定する教科書・副読本を読みレポートする。日本経済新聞は（毎朝夕）は必読とする。
毎週英語の経済雑誌から Cover Story などのコピーを配布するので読んできてもらい、内容についてディスカッションする。英語を学ぶのではなく、英語で（国際的センスで）現下の経営環境と問題を理解してもらう。ボーダレス時代に入り、グローバルな経営を理解し、そこで活躍するには国際語としての英語は必須であることを肝に銘じ、英語力の乏しい学生にはアルバイトではなく、英語力の強化に課外時間を充ててもらう。

成績評価の方法

平素の発表を評価していく。

その他

- (Ⅰ) 商業活動には簿記・会計、商法、手形・小切手法の知識、パソコンの使用が必要である。授業時間外に学習してもらう。
- (Ⅱ) 授業時間はディスカッションに充てるので、十分な予習、欠席をしないこと、積極的な発表を求める。
- (Ⅲ) 時間外に出来るだけ補講として企業見学などを実施する。履修希望者にはそれらも授業の一部として理解してもらう。

科 専
目 門
教 教
育 育

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	わた なべ えいちろう 渡 邊 恵一郎	経営A4選	4

講義のねらい

会計の主な役割は、特定の経済主体（家計、企業、官公庁その他）の経済状況を計数（貨幣）的に表現すること、財産を管理保全することそれにこれを利用する人々に伝達することにある。私の演習では、特に現代の経済社会の重要な経済主体である企業の資金会計を中心に、実務に役立つ基礎知識が得られるよう指導する。

講義の内容・授業スケジュール

簿記の基礎を涵養し、次に資金会計の体系的な研究および有価証券報告書の見方などを修得させる。
4年次……3年次に引き続き、経営分析を含めた資金会計論を学修する。その後、わが国の主要企業が作成し市販されている有価証券報告書の一般の見方を解説する。この報告書には、企業に関する数多くの情報が多角的に開示（ディスクローズ）されている。最後に演習の総仕上げとして、卒業論文の作成指導を行う。毎年、自主的に卒業論文集「恵流」（本年第31巻）を刊行している。

履修上の留意点

2年次から4年次まで一貫して段階的に学修するので、出席率を重視し、3年間継続して履修すること。なお、授業時間外では、前述のゼミナール大会（11月関東、12月全国）に出場のため、夏合宿などを行う。

成績評価の方法

成績評価は、平常点、協調性および出席率を総合して判定する。

科
專
門
教
育
目

Ⅲ 他学部履修科目

他学部
履修科目

履修科目
他学部

Ⅲ. 他学部履修科目

禅学概論	〈佐藤秀孝〉	379
中国禅宗史	〈石井修道〉	379
日本禅宗史	〈佐藤秀孝〉	380
禅籍講読Ⅰ	〈石井修道〉	380
禅籍講読Ⅲ	〈石井清純〉	381
仏教概論	〈吉津宜英〉	382
インド仏教文化史	〈金沢篤〉	382
中国仏教文化史	〈永井政之〉	383
日本仏教文化史	〈袴谷憲昭〉	383
中国古典語初級	〈石井公成〉	384
中国哲学史	〈前川亨〉	384
上代文学研究Ⅰ	〈小野寛〉	385
中古文学研究Ⅰ	〈松岡智之〉	385
中世文学研究Ⅰ	〈武田昌憲〉	386
近世文学研究Ⅰ	〈近衛典子〉	386
近世文学研究Ⅰ	〈休講〉	
比較文学	〈満谷マーガレット〉	387
西洋思想史	〈柴野博子〉	387
演劇概論	〈阿部由香子〉	388
イギリス文学特講Ⅰ	〈石原孝哉〉	388
イギリス文学特講Ⅱ	〈高野正夫〉	389
イギリス文学特講Ⅲ	〈岡崎寿一郎〉	389
イギリス文学特講Ⅳ	〈中岡洋〉	390
イギリス文学特講Ⅴ	〈富士川義之〉	390
イギリス文学特講Ⅵ	〈丸小哲雄〉	391
アメリカ文学特講Ⅰ	〈東雄一郎〉	392
アメリカ文学特講Ⅲ	〈足田和人〉	392
演劇特講(イギリス・アメリカ)	〈落合和昭〉	393
時事英語	〈荒井良雄〉	393
人口地理学	〈大友篤〉	394
文化地理学	〈小田匡保〉	394
応用地理学	〈高木正博〉	395
現代地理学特論	〈長谷川均〉	395
日本史特講Ⅶ(近代)	〈小泉雅弘〉	396
東洋史特講Ⅹ(近・現代)	〈趙軍〉	396
考古学特講Ⅲ	〈休講〉	
西洋文化史Ⅰ	〈休講〉	
日本民俗学	〈谷口貢〉	397
哲学史	〈山口祐弘〉	397
歴史哲学	〈山口祐弘〉	398
産業・職業社会学	〈休講〉	
マス・コミュニケーション論	〈川本勝〉	398
社会福祉発達史	〈林千代〉	399
国民所得論	〈吉野紀〉	400
中小企業論	〈吉田敬一〉	401
社会政策	〈光岡博美〉	402

教 育 經 濟 論	〈谷 敷 正 光〉	403
ア ジ ア 經 濟 論	〈鄭 章 淵〉	405
中 国 經 濟 論	〈小 杉 修 二〉	406
ア メ リ カ 經 濟 論	〈瀨 戸 岡 紘 志〉	406
口 シ ア ・ 東 欧 經 濟 論	〈山 縣 弘 博 之〉	407
商 業 政 策	〈番 場 博 之〉	408
貿 易 論	〈古 沢 紘 造〉	409
行 政 法 各 論	〈金 子 昇 平〉	410
比 較 憲 法	〈西 修 修〉	410
親 族 法	〈五 島 京 子〉	411
相 続 法	〈門 広 乃 里 子〉	411
西 洋 法 制 史	〈北 野 かほる〉	412
英 米 法	〈北 野 かほる〉	413
經 濟 法	〈岡 田 外 司 博〉	414
国 際 政 治 学	〈小 堀 訓 男〉	414
ヨ ー ロ ッ パ 政 治 史	〈浦 田 早 苗〉	415
地 方 自 治 法	〈富 井 幸 雄〉	415
比 較 政 治 学	〈三 竹 直 哉〉	416
ヨ ー ロ ッ パ 政 治 論(1)	〈中 野 裕 二〉	417
ヨ ー ロ ッ パ 政 治 論(2)	〈中 野 裕 二〉	418
現 代 国 家 論	〈大 塚 桂〉	419
比 較 憲 法	〈 休 講 〉	
医 療 宗 教 学	〈 休 講 〉	
医 療 經 濟 学	〈 休 講 〉	
国 語 学	〈片 山 晴 賢〉	419
国 語 史	〈萩 原 義 雄〉	420
女 性 史	〈高 嶋 めぐみ〉	421
文 化 概 論	〈菌 部 幹 生 他〉	421
国 文 学 特 殊 研 究	〈小 林 治 他〉	422
古 典 戲 曲 演 劇	〈岡 田 万 里 子〉	422
メ デ ィ ア と 表 現	〈松 田 直 行〉	423
時 事 英 語	〈岡 本 誠〉	423
臨 床 放 射 線 特 論	〈 休 講 〉	

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅学概論	佐藤秀孝	経営A	4

講義のねらい

禅学とは禅に関する学である。禅（禅那）という修行法はインドに発生し、仏教に取り入れられ、中国や朝鮮さらに日本など広範に展開したものである。一概には規定できないが、この講義では禅と禅宗に関する基本的な知識を歴史面と思想面から概説し、あわせてそれら禅学研究のあり方について触れるものである。禅宗は仏教の中でもっとも実践的な宗派であり、中国・日本の歴史と文化に大きな足跡を記し、今日においては国際的関心も高い。この禅を学問的に考察せんとするのが禅学であり、本講義はその概論・概説にはかならない。

はじめにインド仏教における禅（禅定）について触れ、さらに禅の歴史的考察として、菩提達磨に始まる中国禅（禅宗）の基本的な歴史（禅宗史）を禅思想の展開を踏まえつつ概観し、また日本の禅宗にも及びたい。さらに思想面としては、禅の立場、禅の人間観・修行観、禅の生活さらに禅と文化、禅の今日的課題（本覚思想・見性の問題）など、およそ禅に関する諸方面からの概説的考察をなしたい。そして、これらに並行して禅学に関するそれぞれの分野における研究方法や基本的な資料などについても解説するつもりである。

成績評価の方法

平常点（出席率や学習態度）と年度末の定期試験による。

教科書

教科書はとくに指定しないで、その都度、諸資料をコピーなどで配布する。

参考書等

参考書としては伊吹敦『禅の歴史』（法蔵館）や駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅱ』（更生社）および田中良昭編『禅学研究入門』（大東出版）が有効であろう。

その他

授業方法としては原則として講義方式で行なう。

他学部
履修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国禅宗史	石井修道	経営A	4

講義のねらい

この講義は中国禅宗史を概観するものである。禅宗史を学ぶのに必要な資料にまず触れ、勉強の仕方も折りに触れたい。具体的には、唐・五代・宋・元代の最も魅力ある禅者を一人一人禅宗史上で位置づける中で学んで行きたい。年間、数限られた人数しか触れられないであろうが、しかし、できるだけ数多くの禅者に触れてみたい。特に唐・五代を中心に①菩提達磨②二祖慧可③五祖弘忍④六祖慧能⑤青原行思⑥南嶽懷讓⑦石頭希遷⑧馬祖道一⑨葉山惟儼⑩百丈懷海⑪雲巖曇晟⑫南泉普願⑬趙州從諗⑭潯山靈祐⑮黃檗希運⑯洞山良价⑰臨濟義玄⑱雪峰義存⑲玄沙師備⑳雲門文偃などを取り上げる。宋・元では、①芙蓉道楷②宏智正覺③円悟克勤④大慧宋杲⑤中峰明本などを取り上げる。興味ある行状はできるだけ触れるつもりである。

講義の内容・
授業スケジュール

プリントの原典資料をできるだけ配布しながら講義を進めたい。

履修上の留意点

教科書の『中国禅宗史話』を読み、予備知識を付けておく。

成績評価の方法

夏期休暇後に教科書の感想文のレポート（400字詰め5枚程度）の提出による20点と学年末の筆記試験80点で評価する。成績にはある程度出席数を考慮し、原則として二桁の数の出席を目安とする。

教科書

石井修道『中国禅宗史話』（禅文化研究所）3,605円

参考書等

『禅学大辞典』（大修館書店）、入矢義高等『禅語辞典』（思文閣書店）。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本禅宗史	佐藤秀孝	経営A	4

講義のねらい

本講座は、日本における禅宗の歴史を講義するものである。唐・宋代に隆盛した中国禅宗がどのように日本に伝来し、如何なる展開・発展を遂げて日本禅を形成していったのか、その過程を探ることで、思想史的な意義と日本文化への影響などを論じたい。

講義の内容・授業スケジュール

禅宗の伝来、栄西の能忍、兼修禅の系譜、道元の仏法と初期永平寺僧団、来日僧と純粹僧、日本禅の二十四流、五山の成立と五山文学、中世文化と禅宗、応燈関の一流、瑩山紹瑾と曹洞宗の地方展開、隠元の来日と黄檗宗、近世臨済宗と白隠禅、近世の曹洞宗の宗統復古、近代国家と禅宗、といったテーマを順次進めていく。

履修上の留意点

禅の教理や思想の理解および日本史の一般的知識を習得しておくこと。

成績評価の方法

平常点（出席）と試験による総合評価。

教科書

伊吹教『禅の歴史』（法蔵館）3,800円

参考書等

田中良昭編『禅学研究入門』（大東出版社）6,000円
 駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅱ』（更正社）2,600円
 船岡誠『日本禅宗の成立』（吉川弘文館）2,500円
 その他、日本禅宗に関する諸文献

履修科目
他学部

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅籍講読 I	石井修道	経営A	4

講義のねらい

この講義は中国禅宗典籍を原典テキストで味読するものである。唐代の最も魅力ある禅者として伝えられ、最も読まれてきた『六祖壇経』を今年度は読む。『六祖壇経』は六祖慧能（638～713）の伝記と説法の記録である。テキストには大きく3種ある。敦煌本・恵昕本・宗宝本（流布本）である。この講義では恵昕本『六祖壇経』を講読する。慧能の言行を知らないのでは、禅を学んだとは言えない。

講義の内容・授業スケジュール

原典にいきなり真っ正面からぶつかる。テキストはプリント配布。

履修上の留意点

必ず手持ちの漢和辞典を持参すること。無ければ『全訳 漢辞海』（三省堂）等を購入して欲しい。また、『中国禅宗史話』（禅文化研究所）を読み、中国禅宗史の予備知識を付けておく。

成績評価の方法

夏期休暇後に六祖慧能の伝記（400字詰め5枚以上）のレポートの提出による20点と学年末の筆記試験80点で評価する。成績にはある程度出席数を考慮し、原則として二桁の数の出席を目安とする。

教科書

プリント配布

参考書等

石井修道『中国禅宗史話』（禅文化研究所）3,605円。『全訳 漢辞海』（三省堂）2,840円。入矢義高等『禅語辞典』（思文閣書店）。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
禅 籍 講 読 Ⅲ	いし い きよ ずみ 石 井 清 純	経営 A	4

講義のねらい

この講義は、日本において禅宗が成立した当時の禅籍を講読するものである。具体的には、日本史の時代区分でいうところの中世、すなわち鎌倉時代から室町南北朝時代に編集された禅語録や法語類がこれにあたる。

禅宗は、鎌倉時代、武家政権の幕開けと共に日本に伝来したことで知られる。そしてそれは、その後、一部では中国の五山制度を導入することにより中央に進出し、また他方では、種々の宗教的要素を取り込んで地方に展開していった。つまり、この時代は、まさに日本の禅宗が生まれ、そして独り歩きを始めた時代なのである。

この講義では、まず、禅の表現形式に慣れるために、各種仏教関連の辞書を用いて丹念に禅籍を読み進める。そしてさらに、読み進んだ内容から、日本の禅林の思想的特徴を把握できればと考えている。

講義の内容・
授業スケジュール

本年度は、日本における禅思想の特徴を見出す意味から、臨済宗大応派の宗峰妙超の語録を読み進める。この派は、後の日本禅林の展開に大きな影響を与えたものであり、その主張を知ることは、禅の日本的展開の様相を知るに不可欠といえる。

講義前半は、対象となるテキストをプリントにて配布、そこに現われる禅語の意味を、一つ一つ丹念に辞書を用いて確認してゆく。これは、禅籍の独自の漢文表現と、仏教関係辞書の検索方法の双方に慣れることを意図したものである。

辞書の使用方法和漢文表記に慣れたところで、後半は、思想的内容を読解する演習へと移行してゆく予定である。

履修上の留意点

辞書や参考書類は用意するが、自己の読解力を高める意味でも、講義中に用いる基本的な辞書類は各自で用意されたい。

成績評価の方法

前期中に2回、後期中に1回、計3回の小テスト（ペーパーテスト）を行なう。それに年度末の定期試験を加えた計4回のテストを総合して成績を評価する。

教 科 書

講義ごとにプリントを配布。

参 考 書 等

『禅入門4大燈』（講談社）
講義中に使用する予定の辞書類
『禅学大辞典』（大修館書店）、『中日大辞典』（大修館書店）、『禅語辞典』（思文閣）
『新字源』（角川書店）、『助字小字典』（内山書店）

他
学
部
履
修
科
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 概 論	よし づ よし ひで 吉 津 宜 英	経営 A	4

講義のねらい

仏教概論とは仏教を全体的に把握し、仏教とは何かを明示することを目的とします。ただ、釈尊以来の仏教は多彩であり、ある場合には相互に対立したり、矛盾する場合があります。私は釈尊の自洲（自己を拠り所にする）と法洲（法を拠り所にする）の教えを重視します。法洲の立場では、この範囲の教えを仏教と認定して良いとの基準があると思います。ただ、問題は自洲です。人間は千差万別ですから、さまざまな自覚の形態があり、それによってさまざまな仏教観が生まれることとなります。この仏教概論では釈尊の教えとして縁起と中道を中心として把握し、私自身は現代の日本社会に生きる仏教研究者としての自覚の一端を披瀝します。ただ、仏教の特色は仏教だけを認識していても明らかになるものではありません。仏教以外の思想や宗教などを比較検討してみても始めて仏教の特色が鮮明になることもあります。そこで、私は現代の世界で無視できない思想や宗教として、一神教（ユダヤ教、キリスト教、イスラム）、儒教、ヒンズー教、そして科学思想の四つを選び、仏教と対峙させてみたいと思います。それらとの比較によって、仏教の特色が強い点や弱い面、また濃い点や薄い面などとして総合的に把握され、現代社会で仏教の果たすべき役割も具体的に浮き彫りにされると考えております。

講義の内容・授業スケジュール

まず最初に釈尊の縁起や中道の教えの意義をインド思想史の立場から明らかにします。次に、それらの教えを私自身がいかにかに認識し、実践しているかを語ります。さらに、現在の世界で盛んに活躍している思想や宗教を取り上げ、それらの特色や意義を把握します。また、それらの思想や宗教と仏教との比較検討を行います。その上で、現代における仏教の意義や役割を明らかにします。

履修上の留意点

この科目専用のノートを用意して下さい。私の講義を記録すると共に皆さん方の意見や疑問を書き留めていって下さい。結果的に1年間の受講と思索の軌跡が残るようにしてもらいたいことを希望します。私が講義している最中でも手を挙げて質問して下さい。ただ、私語は厳禁であり、厳しく注意します。

成績評価の方法

毎回の出席、年間2～3回の課題提出、最後の期末試験、これらを総合して成績評価を行います。

教科書

特に使用しませんが、参考資料としてのプリントを配布します。

参考書等

講義の中で、随時参考図書などを紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
インド 仏教 文化 史	かな ざわ あつし 金 沢 篤	経営 A	4

講義のねらい

インド生まれの仏教を、広範で多岐多彩なインド文化の史的展望の中でとらえてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

神や人間などが織りなす奇想天外なインド的物語世界の解説を皮切りに、仏教の出現と展開と衰頽にまつわる文化的トピックを論究する。

履修上の留意点

仏教や古今のインド文化に熱い関心を持つ学生諸君の主体的取り組みを期待する。

成績評価の方法

年度末試験などで総合的に判断する。

教科書

指定なし（資料は教場で適宜指示する）。

参考書等

教場で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国仏教文化史	なが い まさ し 永井政之	経営A	4

講義のねらい

中国で成立した「禅」は、難解とも言える「禅問答」でその名を馳せます。しかし「問答」が繰り返されるのは、それなりの理由があるからです。方外の人である禅僧といえども、社会と全く無縁では存在しませんでした。今年の講義は中国の民衆と禅との関係を考える一環として、禅僧の言葉にあらわれた中国の文化、特に風俗習慣との関係を論じてみたいと思います。

成績評価の方法

期末試験の成績に加えて、出席、課題図書についてのレポートなどを総合して評価します。

教科書

適宜プリントを配布します。大切に保管してください。

参考書等

授業中に紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本仏教文化史	はかま や のり あき 袴谷憲昭	経営A	4

講義のねらい

この講義では、日本に完全に定着してしまった仏教文化の実態を、その問題に応じた関連文献を講読することを通じて、批判的に考察することを主眼とする。取り上げられる問題は多様になるかもしれないが、できれば、通史的に扱っていきたいと思っている。

講義の内容・授業スケジュール

講義において取り上げられる問題やその順序をここに明記することはできないが、だいたい、下記に示すような予定である。

- 序：仏教東漸—半跏思惟像
- 第1章：『玉虫厨子』と捨身供養
- 第2章：『往生要集』と地獄極楽
- 第3章：『一言芳談』と後世物語
- 第4章：『日本史』における仏教
- 第5章：『新論』の国体論と仏教
- 結：仏教西来—靖国問題考

履修上の留意点

参加者には、文献を自ら読もうとすることが要求される。

成績評価の方法

学年末の定期試験による。ただし、参加者の状況によっては評価の方法の変更もありうる。

教科書

渡辺照宏著『日本の仏教』（岩波新書、1958年第1刷、2002年4月第61刷）定価740円＋税

参考書等

末本文美士著『日本仏教史』（新潮文庫）

他
学
部
履
修
科
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国古典語初級	いし い こう せい 石 井 公 成	経営A	4

講義のねらい

漢文読解の基本的な力と、中国思想の基本的な知識を身につけることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

基本的な文法から始め、中国仏教に大きな影響を及ぼした『老子』『莊子』『易経』およびそれらの注釈を読む。

履修上の留意点

口頭での訓読、現代語訳、訓読からの漢文の復原など、学生諸君に作業を課しながら講読してゆくため、予習が必要である。

成績評価の方法

試験を行うが、授業中に上記の作業をよく担当している者については、平常点を加算する。

教科書

使用せず、コピーを配布する。

参考書等

教場で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国哲学史	まえ かわ とおる 前 川 亨	経営A	4

講義のねらい

中国人の世界観、人間観の歴史的展開を把握することを目的とする。儒教・道教・仏教の思想とその相互関係の理解が主な課題である。特に、東アジア世界の中での中国思想という視点を失わないように心掛けたい。中国人の思考様式の特徴を明らかにすることは、中国思想の強い影響を受けている日本人の思考様式を相対化することにもつながるであろう。今日の我々の主観的な価値観によって過去を断罪するような態度からはっきり一線を画し、評価する前にまず理解するように勉めよう。

講義の内容・授業スケジュール

今年度は唐代から始めて近代（辛亥革命時期）に至る時代を扱う。その場合にも、断代史的ではなく、問題史的に進めていくつもりである。唐代以前の時代についても、前提となる知識には触れるように努める。「近代とは何か」特に「中国近代とは何か」ということが、全体を貫くテーマとなるであろう。

履修上の留意点

中国の思想・宗教・文化・社会などに関心を有する多様な受講者の参加を希望する。古典中国語もしくは現代中国語の初歩的な知識をもつことが望ましいが、授業じたいはその方面の知識なしでも理解可能であろう。積極的な問題関心をもってひとの受講を期待する。継続して出席する意志と意欲をもたない者の受講はお断りする。

成績評価の方法

授業内容に関連するレポートを前期と後期に提出してもらう。ただし、継続して出席しないで、レポートだけ提出しても、決して単位を取得することはできない。

教科書

特に必要としない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

その他

できるだけ多くの知識を提供するため講義形式をとるが、受講者の意見を徴しながら進めたい。積極的な問題提起・討論を歓迎する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
上代文学研究Ⅰ	小野寛 <small>おの ひろし</small>	経営A	4

講義のねらい

万葉集をよむことから、上代文学の特質を考える。

講義の内容・授業スケジュール

万葉集全20巻から、名作・問題作を選び、その作品について原文の検討、その訓みの確定、語句の研究、ことばの原義・語法、歴史的・社会的・地理的背景を詳細に調べる。授業は全面的講義方式による。毎時出欠をとる。

履修上の留意点

講義はその都度、新しく調査研究してまとめてゆくものだから、必ず出席して、ひたすらノートをとること。講義でわからないことはそのままにせず、チェックし、メモして、自分で調べてみる。質問も歓迎。

成績評価の方法

数回のレポートと学年末の筆記試験（持込一切なし）によって評価する。

教科書

小野寛著『新選万葉集抄』（笠間書院刊）1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中古文学研究Ⅰ	松岡智之 <small>まつ おか とも ゆき</small>	経営A	4

講義のねらい

平安時代の仮名文学作品では、人生のいかなる局面でいかなる詩（和歌）が生まれるのかという関心が、作品生成の基盤となっているものが多い。本講義は、こうした作品形成のあり方をさまざまな作品の分析的読解を通して考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

①『伊勢物語』を出発点に、和歌と歌物語的ないし歌日記的なものに関する問題提起をする。②平安時代の和歌の特色を、前代とのつながりを考慮しながら把握する。③『伊勢集』冒頭部および『平中物語』を解説する。④『蜻蛉日記』『和泉式部』等、日記文学における和歌のあり方を考える。⑤①～④の検討を踏まえ、『源氏物語』を読解する。

成績評価の方法

レポート、筆記試験、出席状況を総合して評価する。

教科書

プリント配布。

参考書等

授業時に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中世文学研究 I	たけだまさのり 武田昌憲	経営 A	4

講義のねらい

無常観の美学に触れる—「祇園精舎の鐘の聲、諸行無常の響きあり」で始まる、格調高くも、また人の心を打つ『平家物語』の調べを鑑賞。本作品は平安貴族の優美・鎌倉武士の勇壮さを併せ持ち、また、琵琶法師が語り歩いたという不思議な作品です。平清盛、木曾義仲、源義経、那須与一、などの英雄像。建礼門院、祇王、巴御前などの女性像を追って人間の生きる美しさをみます。

講義の内容・授業スケジュール

軍記の定義と流れ—軍記の発生・将門記。軍記の展開・陸奥話記。軍記の成長・保元物語・平治物語。軍記の達成・平家物語。
作品読解—祇園精舎。祇王—白拍子と遊び女・清盛の悪行。源氏揃え—源頼政の位置。橋合戦。木曾の最後—乳母子との愛・巴との愛。那須与一—扇の的美学
その後の軍記—太平記の世界・後期軍記の世界。

履修上の留意点

授業中の私語、遅刻は厳禁。

成績評価の方法

前期末と後期末に試験またはどちらかレポート。また、教場レポート、出席状況、授業態度を含め、総合的に評価する。

教科書

佐藤謙三校注 角川文庫『平家物語』上・下 (角川書店)

参考書等

参考書その他は授業の都度、紹介・指示する。

その他

授業方法は講義

科目名	担当者名	配当学科	単位
近世文学研究 I	このえのりこ 近衛典子	経営 A	4

講義のねらい

上田秋成の読本『雨月物語』を読む。

講義の内容・授業スケジュール

単に小説のストーリーを追うだけでなく、典拠となった中国白話小説、日本の古典作品の精読、本文との比較検討を通して、浮かび上がってくる作品の主題を考える。

履修上の留意点

出席重視。

成績評価の方法

出席状況、受講態度、レポート等を総合し評価する。

教科書

鴛山樹心編『講読雨月物語』(和泉書院)

その他

講義

他履修科目
学部

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
比 較 文 学	^{みつたに} 満谷マーガレット	経営 A	4

講義のねらい

文化交流のもっとも重要な手段である翻訳の問題について考えてみたい。まず、最近話題となっているジェンダー翻訳論やポスト・コロニアル翻訳論を含めて、さまざまな翻訳論を紹介しながら、言語と文化の問題を幅広く扱う。比較文学の伝統的な主題である「影響関係」の枠を超えて、翻訳が創作活動をどう刺激したかが見えてくるはずだ。また、翻訳は「読む」ことから始まるとすれば、それは当然「誤読」を伴う。日本の近代は西洋を「誤読」することから出発したといえるだろうし、西洋も日本を「誤読」し続けているといえるだろう。小説、詩、児童文学など、具体的なテキストを読みながら、明治の翻訳者が西洋から何を、どのように取り入れようとしたのかを見るとともに、十九世紀のジャポニズム（日本趣味）から戦後のハイク・ブームにいたるまで、西洋が日本をどのように読んできたのかを見ていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

授業は講義を中心に進めるが、テキストを読むこともある。教科書はないが、必要に応じてプリントを配る。外国語のテキストには必ず日本語訳か解説がつく。横文字アレルギーの人は困るだろうが、英語に堪能である必要はない。

成績評価の方法

前期、後期と試験を行う。

教科書

プリント

参考書等

秋山勇造『翻訳の地平』（翰林書房）1995年
日本近代思想体系 15『翻訳の思想』（岩波書店）1991年
西田直敏『「新体詩抄」研究と資料』（翰林書房）1994年など

他
学
部
履
修
科
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西 洋 思 想 史	^{しば の ひろ こ} 柴野博子	経営 A	4

講義のねらい

前半は、西洋哲学史の古代・中世・近代を概観する。その後、現代哲学の一つとして生の哲学をとりあげたい。とくにデイルタイの解釈学とその現代的発展に力点をおき、解釈学が現代に生きる私達にどのような意味をもつか考えてみたい。

成績評価の方法

年2回の筆記試験またはレポートによって評価します。

教科書

久保陽一『原典による哲学の歴史』（公論社）3,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
演劇概論	あべゆかこ 阿部由香子	経営A	4

講義のねらい

近代以降の日本演劇はいくつもの屈折を重ねて現代に至っている。「演劇」に対するイメージが多様であるのはなぜなのか？演劇をとりまく状況の変遷をたどりつつ、演劇と近代化の問題、劇壇と文壇との関係、劇団や女優の問題などをとりあげていく。

講義の内容・授業スケジュール

近代、現代の日本演劇の流れを中心に講義するとともに、いくつかの作品の戯曲を読み、ビデオを鑑賞する時間も取り入れる。

履修上の留意点

授業で扱う作品をあらかじめ読んできてもらったり、実際に劇場へ足をはこんで観劇してもらった場合があるので、演劇に対して積極的な興味関心がある者の受講がのぞましい。

成績評価の方法

前期は試験をおこない、後期はレポートの予定。出席点、平常点も加味する。

教科書

教場で指示する。

参考書等

教場で指示する。

他履修科目
学部

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講 I	いしはらこうき 石原孝哉	経営A	4

講義のねらい

イギリスルネッサンス期の文学について、講義します。ヨーロッパ文学と古典、イギリスのルネッサンス、シェイクスピアの劇場、シェイクスピアの生涯、シェイクスピアの作品論、シェイクスピアの歴史劇、歴史劇と歴史などが中心的な課題です。このほかに Thomas More, Edmund Spenser, Christopher Marlowe, Ben Jonson, John Bunyan, John Milton など取り上げます。

成績評価の方法

この時代に関心がある意欲的な学生の受講を望みます。
成績評価は、レポートと筆記試験によります。

教科書

『シェイクスピアを読む』（三修社）2,800円、配布プリント

その他

ビデオ、スライドなど補助教材を利用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講Ⅱ	たかの まさお 高野 正夫	経営A	4

講義のねらい

18世紀後半までの英詩の世界では、秩序のある洗練された詩が好まれ、自然に対してはそれほど強い関心を持たれなかった。「理性の時代」と呼ばれた18世紀であったからこそ、詩人は秩序を尊び、粗野で洗練されていないものを拒絶したのであろう。その結果として、ある意味では快適で居心地のよい都会が、人の近づき難い荒々しい自然よりも好まれたのである。

もちろん、DrydenやPopeなどに代表される古典主義的な詩の特徴である洗練された秩序に逆らった詩人もいた。James Thomsonのように、人間を研究することなく、自然そのものの素朴な美しさを描いた詩人もいれば、また、Edward YoungやRobert BlairそしてThomas Grayなどのように、主に「死」を主題として陰うつな詩を書いた墓地派の詩人たちもいた。しかしながら、彼らのほとんどは18世紀の詩の特徴である、不自然で形式的な言葉遣いや技巧から抜け出すことはできなかった。

そして、1798年にWilliam WordsworthとSamuel Taylor Coleridgeによって出版された*Lyrical Ballads*という、1冊の詩集によってこのような古典主義的で因襲的な詩の流れが大きく変わってしまったのである。いわゆるロマン主義の時代の到来を告げるこの詩集に表現された素朴な言葉や主題は、保守的な批評家たちにとってはまったく受入れ難い、あまりにも革新的なものであったが、この小さな流れは、その後19世紀の前半まで英詩の主流となっていった。

イギリスの北西部に位置する湖水地方を愛し、そこに住んだこの2人の詩人の中でも、特に自然を愛したのがワーズワスであった。ワーズワスの詩に描かれた美しい、しかし時には厳しい姿を露にする自然をうたった詩や、彼が得意とした、普通の人々の様々な人生の絵模様をうたった物語詩などを中心に読みながら、ワーズワスの詩の世界を見ていくことにする。

成績評価の方法

前期のレポートと期末試験によって評価する。

教科書

教場にて指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講Ⅲ	おかざき としいちろう 岡崎 寿一郎	経営A	4

講義のねらい

おそらく、過去のいかなる瞬間もまた現在であったことの認識をもつことなく「現代性」modernityという言葉の感覚を理解することは、むづかしいとおもいます。この認識の方法によって、19・20世紀の英詩について、その現代的な意味を確認します。

講義の内容・授業スケジュール

講義の進行については、前期では、ワーズワス、コールリッジ、バイロン、シェリー、そしてキーツのロマン派詩人たちの詩について、フランス革命・イギリスの産業革命という時代的背景を捨象することなく論究してみたい。後期では、ヴィクトリア朝の時代と詩人たちについて、テニスン、ブラウニング、スウィンバーン、そしてマシュー・アーノルドの詩を検証した後、イギリスの近代文学を拓いたオスカー・ワイルドの詩と批評を発売として、近代詩人イエーツ、エズラ・パウンド、T. S. エリオットの現代詩（モダニズム）、さらにD. H. ロレンスの詩の論究を経て、現代イギリスの詩人たちの詩にと到達したいとおもいます。

成績評価の方法

成績評価については、平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）による総合評価とします。

教科書

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、対象とした詩人と詩について必要なプリントを配布します。

参考書等

参考書・文献については講義中に適宜言及します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講Ⅳ	なか おか ひろし 中 岡 洋	経営A	4

講義のねらい

イギリス小説のなかで特異な地位を占めつつ、もはや伝統の外部とはいいがたくなっている
ブロンテ文学について講義する。わが国では比較的よく親しまれていると思われるが、正しく
理解するためにあらゆる方面から考察を加えてみようと思う。

講義の内容・
授業スケジュール

具体的には Charlotte Bronte (1816-55) の *Jane Eyre* (1847) をはじめとして、姉妹のす
べての小説にふれ、初期作品から詩歌、エッセイの類まで扱う。また映画化された作品もあり、
それらを上映、鑑賞する機会ももちたい。全体をほぼ把握した段階で、その周辺の作家たちと
の関連に言及し、広くイギリス文学の特質を理解するように努める。

履修上の留意点

出席に励むこと。各自が自覚をもって勉強に励むことを期待している。

成績評価の方法

出席回数と試験の結果によって評価する。

教 科 書

特に定めないが、その都度参考書を挙げて説明するので、読んでおくようにする。

参 考 書 等

教場で適宜指示する。

そ の 他

真面目に受講することを期待し、不真面目な受講態度の学生は退席してもらう。

履修科目
他学部

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講Ⅴ	ふじかわ よし ゆき 富士川 義 之	経営A	4

講義のねらい

英国文化史についての講義。とくにロマン主義時代の風景詩と風景画、ラファエル前派から
世紀末の文学と絵画の関連性について文化史的背景のなかで述べる予定である。

講義の内容・
授業スケジュール

講義で述べる詩人や作家の文例をコピーで読むとともに、19世紀英国の画家たちの絵画を
テレビ画面に映して見ることにより、文学と絵画により親しんでほしいと願っている。

履修上の留意点

積極的に取り組んでいただきたい。毎回出席をとる。

成績評価の方法

レポートと試験。

教 科 書

『概説イギリス文化史』（ミネルヴァ書房）

参 考 書 等

適宜指定する。

そ の 他

講義が中心だが、討論の機会を随時もうけるつもりなので、ぜひ参加してほしい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講Ⅵ	まるこ ^ま こ ^こ てつ ^つ お ^お 雄 ^雄	経営A	4

講義のねらい

文学研究が感動に始まるとすれば、それは個人的・主観的です。個人的・主観的であるとは、読み手の深奥の中心から「叫びのような声」に触れることです。批評することは、実は、文学テキストと読み手とをリアル・タイムで結んでゆくネットワークのようなものです。作者の世界と読み手の世界とをリアル・タイムで結びつけることで、読み手はテキスト世界との出会いに自らの心を開き、その出合のときその世界に対して読み手は違和感を抱く。かくして読み手は自らの世界を更新してゆくモーメントを獲得することになり、批評が始まります。

批評の世界は個人的・主観的な世界から宇宙的な世界に向けて発信し、文学以外の人間のさまざまな領域と共存し対峙していくわけです。批評的行為はいつまでも文学テキストに寄生しないで、自律していきます。

であるから、初発の読書体験を大切に、主体としての自分をどう形成してゆくかを説明し、そこから文学批評方法を修得し確立して、テキストの印象や感想に価値を見出せるようにしてゆきます。とりわけ批評行為は、テキストの読み・解釈・批評の過程にあって、テキストの構造の織り目をゆるめて、テキストの持つ価値や姿勢に対して対立し、そのイデオロギーと対決する最後の機会であり、読み手がテキストに対してどのようにして責任をとるかを発見することです。その結果文学批評は個人の嗜好ではなく、集団的な判断の問題になってきますので、本講義は文学批評のさまざまな方法に親しみつつ、テキストの印象や感想に価値を見出せるように講義してゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

1. 文学テキストの虚構的世界とその必要性について
2. 文学的言語とは何か；日常言語と虚構言語の差異について
3. 文学テキストの機能と力について
4. 英文学研究の成立過程；文学研究制度の問題について
5. 伝統的方法とテキスト演習
6. ロシア・フォルマリズム
7. ニュー・クリティシズムとテキスト演習
8. 受容理論（読者論の立場）
9. 「精神分析批評と原型批評」とテキスト演習
10. 構造主義
11. 記号論
12. 「構造主義と記号論」とテキスト演習
13. ポスト構造主義
14. ニュー・ヒストリシズム
15. 批評精神の遍在性と批評的態度について

成績評価の方法

出席、前期・後期のターム・ペーパー（レポート作成）などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価。

教科書

- ・ *Elements of fiction* by R.Scholes（英宝社）
- ・ プリント使用：プリントのファイルを用意すること；読書リストのプリント配布

科目名	担当者名	配当学科	単位
アメリカ文学特講Ⅰ	あずま 東 ゆういちろう 雄一郎	経営A	4

講義のねらい

アメリカ詩の概観、アメリカン・ルネッサンス、モダニズム、ポストモダニズムの流れにそって、Walt Whitman, Emily Dickinson, Robert Frost, Wallace Stevens, W. C. Williams, Ezra Pound, T. S. Eliot, John Crowe Ransom, E. E. Cummings, Hart Crane, Langston Hughes, Elizabeth Bishop, John Berryman, Robert Lowell, Robert Bly, Allen Ginsberg, Gary Snyder, Sylvia Plath, Mark Strand等の詩人の作品を読んでゆきます。それぞれの詩人の作品を通して、アメリカの歴史、文化、人種差別、ジェンダー、宗教、自然、自我のヴィジョン、絵画、音楽等の問題を探り上げ、論じてゆきます。アメリカの自由詩をおおいに楽しんで下さい。新しい詩のスタイルは、一個人の技巧的な変革ではなく、新しい思想から生まれます。

教科書

新倉俊一『アメリカ詩入門』（研究社）2,200円

参考書等

新倉俊一『アメリカ詩の世界』（大修館）

科目名	担当者名	配当学科	単位
アメリカ文学特講Ⅲ	あし だ かず ひと 足 田 和 人	経営A	4

講義のねらい

ロスト・ジェネレーションといわれる作家の特徴を探る。また、歴史的、文学史的背景を考慮に入れながら、彼らの短編小説の技法を学んでゆく。

講義の内容・授業スケジュール

それぞれの作家の代表的な短編小説を読みながら講義を行う。

履修上の留意点

あらかじめ指定されたテキストを読んでいることを前提に講義を進める。授業中に発言を求めるときも少なからずあるので、積極的な参加を希望する。

成績評価の方法

毎時間の小レポート、及び前後期2回の期末レポートで評価する。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

必要に応じて配布・紹介する。

他履修科目
学部

科目名	担当者名	配当学科	単位
演劇特講 (イギリス・アメリカ)	おちろ あい かず あき 落合和昭	経営A	4

講義のねらい

主として、20世紀のアメリカの著名な劇作家、および、現在、活躍中の劇作家を取り上げ、彼等の劇の特徴を、劇の構成要素(「筋」、「登場人物」、「テーマ」、「台詞」、「視覚効果(背景、照明等)」、「効果音(音楽も含む)」等を通して、できるだけ多角的に考察する。その際、演劇史における思潮も考慮に入れるつもりであるが、講義が概念的、抽象的にならないように、必ず、劇作品を通して、具体的に、劇の構成要素等を考察する。アメリカ劇作家以外にも、数人ではあるが、20世紀アイルランドやイギリスの劇作家も取り上げる予定である。さらに、一般には、あまり知られていない劇作家、特に、一幕劇(短い劇、小説で言うなら、短編小説、通常、「場所」が一つだけの劇)を書いた劇作家も取り上げ、一幕劇の特徴やその多様性をも考察する。また、講義のなかで、折に触れ、重要な演劇用語や劇場の種類等も学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

講義のなかで取り上げる主な劇作家は、アメリカでは、Susan Glaspell (1882-1948)、Alice Gerstenberg (1885-1972)、Engene O'Neill (1888-1953)、Thornton Wilder (1897-1975)、Tennessee Williams (1911-83)、Arthur Miller (1915-)、Shirley Jackson (1919-65)、Edward Albee (1928-)、Sam Shepard (1943-)、David Mamet (1947-)、アイルランドでは、John Millington Synge (1871-1909)、Samuel Beckett (1906-89)、イギリスでは、John Boynton Priestley (1894-1984)、Harold Pinter (1930-) 等である。

履修上の留意点

講義の内容をふまえて、劇作品を分析してもらうので、積極的な参加が望ましい。

成績評価の方法

期末試験が全評価の40%、前期の課題が30%、後期の課題が30%とする。一回の課題は原稿用紙400字詰め5枚から10枚(ワープロの場合は、2000字から4000字)とする。出席率が3分の2以上を越えなければ、成績は「不可」とする。

教科書

プリント

他
学
部
履
修
科
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語	あら い よし お 荒井良雄	経営A	4

講義のねらい

このクラスでは、Newspaper English と Radio English を中心に、Current English を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

英字新聞、ラジオの英語、映画やテレビの英語、雑誌の英語を使って、Current English と英米文化の背景を研究し、刻々と変る世界情勢を理解し、国際的視野を広げる事を目標とする。

履修上の留意点

その日のラジオの英語や英字新聞の英語を主として扱うので、各自が自習するとともに、辞書を必ず持参すること。

成績評価の方法

毎時間の小テストと、夏休み前と冬休み前の2回のテストで評価する。

教科書

『ニュース英語パワーボキャブル 4,000語』(語研) 1,900円

参考書等

各種の時事英語辞典。

その他

テープを使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
人 口 地 理 学	お お とも あつし 大 友 篤	経 営 A	4

講義のねらい

地理学は、地域の特性や機能、地域的關係、地域間の相互作用、地域構造、あるいはこれらの変化を明らかにする学問である。しかし、地域は、地球表面上の一定の広がり（空間）と定義することができるが、きわめて抽象的な実在であるために、上記の諸要素を明らかにするためには、地球上に存在している何らかの事象を媒介にすることが必要になる。すなわち、人口地理学は、人口現象を媒介にして、上記の諸要素を明らかにしようとする学問である。したがって、人口地理学の研究にあたっては、まず、人口現象を正しく理解することが必要であり、そのためには、人口学の知識が必要となる。1年間という制約のなかでは、人口学とその知識に基づく人口地理学の2分野の講義はできないので、ここでは、人口学の基礎知識を説明しながら、これまでに人口地理学研究のなかで明らかにされた法則や理論などを並行して説明する。

講義の内容・授業スケジュール

人口構造（基本的構造、社会的構造、文化的構造、経済的構造）、人口動態（出生、死亡）、人口移動（国内移動、国際移動）、人口の地域分布、人口変動と将来予測、人口と資源、人口と環境などの項目について、体系的に説明する。

成績評価の方法

定期試験による。

他履修科目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文 化 地 理 学	お だ まさ やす 小 田 匡 保	経 営 A	4

講義のねらい

文化地理学の内容は幅広いが、特に宗教地理学の代表的な研究テーマについて研究例に基づき述べる。

講義の内容・授業スケジュール

1. 文化地理学とその概要
2. 宗教地理学
3. 宗教分布
4. 宗教集落・宗教都市
5. 巡礼
6. 墓地

成績評価の方法

成績評価は、出席状況、レポート、試験によって行なう。レポートが受理されない場合は、単位も認定されない。

教科書

使用しない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
応用地理学	たかぎまさひろ 高木正博	経営A	4

講義のねらい

この科目は、地理学と他の研究分野を視野に入れた学際的なテーマを考えている。講義では「河川」を対象とし、これの専門分野である河川工学や農業水文学などの成果をふまえて、地理学として河川をどのように扱うかを考える。河川は、河道だけでなく流域全体を捉えることが必要である。流域(地域)における自然的特性とその土地の人々とのかわりあいを利用・災害・自然環境などの視点から講ずる。

講義の内容・授業スケジュール

まず、河川の流出に関する基本特性について水文学から講ずる。つぎに、いくつかの具体的な河川を事例として、利用・災害・河川環境などの視点からそれぞれ河川特性を考える。また、都市の水環境など、川をめぐる現実的な課題について、その本質を探る。

履修上の留意点

講義が中心になるが、受講者にも意識を持ってもらうため、夏休み中に現地調査を伴う課題を提示する。

成績評価の方法

学年末試験と夏休みのレポートの他、授業中の課題など平常点も加算する。

教科書

授業時間にプリントを配布する。

参考書等

配布プリントをとおり随時紹介する。

その他

講義中心。事例紹介のためのスライドやOHP、ビデオも使用する。

他学部
履修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代地理学特論	はせがわひとし 長谷川均	経営A	4

講義のねらい

この講義では、「オキナワ」をテーマに、島々の自然や環境、文化について地理学的なアプローチを試みたい。沖縄県では、本土復帰以降の30年間、巨額な資金が積み込まれ地域振興がはかられた。そのマイナスの結果として、島々の自然がいたるところで痛めつけられてしまった。この講義では、これらの現状とその背景にある沖縄の自然を解説し、地理学の分野で試みられている環境保全の取り組みや新しい調査方法を紹介したい。また、あわせて「オキナワ」の人々の暮らしの背景にある、本土にすむ私たちから見ればかなり異質に見える文化を「創作民謡」の歌詞などから解説してみたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期のテーマは「沖縄の自然」、「沖縄における土地改変と自然環境の悪化」である。サンゴ礁の自然をとおして、これらの現状を解説したい。なお、後期は前期の内容を受け「リモートセンシングデータ」や「地理情報システム」を使って、地域や環境の変化を抽出する方法、地理学への応用例を沖縄での事例を中心に解説する。また、講義のねらいの最後で述べた内容に関して講義の準備を進めているが、学生から積極的な希望がなければ省略する。詳しいスケジュールについては、講義開始時に年間計画表(シラバス)を配布し説明する。

履修上の留意点

講義中の私語、いねむり、教室からの退出は認めない。

成績評価の方法

2回の講義内試験結果により評価する。出席し講義をまじめに受けていれば単位取得は容易なはずである。

教科書

使用しない。毎回プリントを配布する。

参考書等

シラバスの付録として参考書のリストを示す予定である。

その他

VTR、PCによるプレゼンを多用するが、基本的には講義形式の授業である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 史 特 講 VII (近代)	こ いづみ まさ ひろ 小 泉 雅 弘	経営A	4

講義のねらい

近代日本の出発点となった幕末維新期の諸問題について講義し、最近の研究動向にも触れながら維新変革と近代国家の成立について考える。

講義の内容・授業スケジュール

最初に明治維新史の時代区分に関する諸説を検証し、次いで幕藩体制の崩壊から明治国家成立の過程を検討する。その際、必要に応じて史料講読を行いながら授業を進める。具体的には、ペリー来航・開国、安政の大地震と民衆、幕政改革、幕末の政治運動、江戸の都市騒擾、戊辰戦争、維新政権、民権分離問題、廃藩置県、藩閥権力の生成などを、集団・情報・国民国家といった観点も取り入れながら述べていく。

履修上の留意点

既成の歴史認識にとらわれるのではなく、史料批判や史料解釈などを基礎とした自ら歴史を考える姿勢を身につけてほしい。

成績評価の方法

定期試験により評価し、出席状況を加味する。

教 科 書

特にないが、必要な資料はコピーして配布する。

参 考 書 等

講義内容に則して、適宜参考文献を紹介したい。

履修科目
他学部

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
東 洋 史 特 講 X (近・現代)	ちよう ぐん 趙 軍	経営A	4

講義のねらい

〈近・現代日中関係史〉と題して講義する。その目的は外交・貿易・文化往来などの方面を通して、二千年以上にわたる日本と中国の間の友好と不友好の歴史を概的に解説し、日本とアジア諸国とりわけ中国との関係を正しく理解できる知識と教養を高めることである。

講義の内容・授業スケジュール

近代以前の日中関係史を概的に紹介し、「西力東漸」以後、とりわけ第一次世界大戦以後の日中関係史を具体的に解説する。

1. 近代以前の日中交通史
2. 「日清提携」と「征亜論」の創生
3. 「アジア連帯」と国権主義の台頭
4. 宮崎滔天と中国
5. 頭山満と中国
6. 辛亥革命・孫文と日本
7. 内田良平と中国
8. 中国の国民革命と日本の対応
9. 「満州事変」から日中戦争へ
10. 日本の敗戦と台湾との「国交」
11. 政経分離と政経不可分
12. 国交正常化と日中平和友好条約
13. フィーバーと摩擦
14. 改革開放と「新アジア主義」
15. 真のアジア共生をめざして

履修上の留意点

受講者とのコミュニケーションを図るため、毎回出席カードを配り、授業内容に関する質問・感想・提言などはそのカードの裏に積極的に記入して提出してほしい。

成績評価の方法

年に2回レポートの提出を要求し、課題は数週間前に提示する。成績評価には出席日数を参考にする。

教 科 書

趙軍著『大アジア主義と中国』（亜紀書房）1996年
竹内実著『日中国交基本文献集』上・下巻（蒼々社）1993年

参 考 書 等

田中明彦著『日中関係 1945-1990』（東京大学出版会）1991年
ホームページ「日中関係資料館」<http://www.est.hi-ho.ne.jp/~zhaojun/> など。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本民俗学	谷口 貢	経営A	4

講義のねらい

日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の考察を通して、日本社会に展開する生活文化を究明する学問である。民俗はよく「民族」と混同されるので注意を要する。本講義は、民俗学をはじめて学ぶ人のための入門編として、基礎的知識を把握できるようにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は「日本人の一生」をめぐる民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変化し、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していくことにしたい。年間の講義予定は以下に掲げるとおりで、各々2回程に分けて行う。

- 第1講 家族と社会
- 第2講 産育儀礼
- 第3講 子どもと遊び
- 第4講 若者の民俗文化
- 第5講 成人儀礼
- 第6講 婚姻儀礼
- 第7講 女性の民俗文化
- 第8講 交際と贈答
- 第9講 老人の民俗文化
- 第10講 日本人の靈魂観
- 第11講 葬送儀礼
- 第12講 墓と先祖祭祀

成績評価の方法

夏期レポート及び小レポートを実施する予定。受講者の成績評価は、夏期レポートと小レポート、そして学年末の筆記試験の合計をもって行うものとする。出席を重視する。

教科書

使用しない。

参考書等

谷口貢・他編『現代民俗学入門』（吉川弘文館）

他学部
履修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学史	山口 祐弘	経営A	4

講義のねらい

カントを源とするドイツ観念論の諸思想は現代に様々な照明を与えてくれる。今日確実な思索を行おうとするならば、繰り返しそこに立ち返ることが求められ、またその意義は尽きない。だが、その発展を一望のもとに収めることはたやすいことではない。その根本にあった問題は何か、それを駆動したものは何か、が問われねばならない。そうした問題論的展開として捉ええた時に、ドイツ観念論は一つの歴史となるのである。本講は、この意味でドイツ観念論に歴史を発見しようとする試みである。カントが提起しかつ後世に残した課題を明らかにし、それが如何なる方向に解決を求めていったかをフィヒテ、シェリング、ヘーゲルを軸として考察する。

参考書等

山口祐弘『カントにおける人間観の探求』、『ドイツ観念論における反省理論』（勁草書房）

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史哲学	山 ^{やま} 口 ^{ぐち} 祐 ^{まさ} 弘 ^{ひろ}	経営A	4

講義のねらい

「すべての真の歴史は現代の歴史である」というクローチエの言葉を手引きとして、「歴史とは何か」という問題を様々な思想家の見解によりつつ考える。

講義の内容・授業スケジュール

1. 生の様態と歴史の類型（ニーチェ）
2. 歴史の哲学的考察（カント）
3. 哲学的歴史の構想（ヘーゲル）
4. 歴史認識と価値（ヴィンデルバンド）
5. 文化科学の客観性（ウェーバー）
6. ホモ・ファールベルとポイエーシスの世界（西田幾多郎）
7. 歴史の存在構想（メルロ・ポンティ）

成績評価の方法

出席を重視する。成績は平常の学習態度と期末に課す小論文の評価によって判定する。

教科書

E・H・カー『歴史とは何か』（岩波新書）
B・クローチエ『歴史の理論と歴史』（岩波文庫）

他履修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
マス・コミュニケーション論	川 ^{かわ} 本 ^{もと} 勝 ^{まさる}	経営A	4

講義のねらい

社会的コミュニケーションの特質を整理し、マス・コミュニケーション活動の現代的特質と社会的機能、影響過程を考察する。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期は、社会生活とコミュニケーションとの関連を考える。
- ・社会的コミュニケーションの諸形態と特質。
 - ・情報環境の変容とコミュニケーション内容。
 - ・社会生活とコミュニケーション行動。
- 後期は、マス・コミュニケーション活動が社会や人々に対してどのような機能やインパクトを与えているかを考える。
- ・マス・コミュニケーション活動と諸問題。
 - ・メディア・コミュニケーションの社会的機能。
 - ・受容過程の特質と効果研究。

履修上の留意点

他学部・学科履修科目であるが、他学部・他学科の学生は、社会学の科目を履修して社会学の基礎知識を修得しておくこと。

成績評価の方法

講義中に課する小レポート、出席を考慮し、試験によって行う。

教科書

特に用いない。

参考書等

講義中に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉発達史	はやし 林 ちよ 代	経営A	4

講義のねらい

いつの時代にも人々の生活不安は、自然の変化と社会の変動によって生じる。社会の変動期には、常に多くの生活問題が発生し、大多数の人々は、生活困難におちいった。それに対応する社会福祉は一定の歴史的産物であること、そしてその理解に立って本質を把握し、現状と今後の方向を考える力をつけたい。

講義の内容・授業スケジュール

主に、英国と日本を中心に、資本主義社会の成立とともに生成した社会事業から社会福祉へ至る歩みを講述する。さらに、こんにちの福祉社会をも検証したい。単に事実の羅列ではなく、対象の存在と問題解決の方法、方法の意図や施策の背景をなす思想、それらの関連などを立体的、構造的にとらえるというのが本講義の内容である。なお今も存在しつづける慈善（事業）をもとり上げたい。

特に日本の場合、社会福祉（事業）の前段階は、厚生事業といった。きわめて日本的特質を示すものとして深い考察が必要であると考えている。

履修上の留意点

熱心にとり組もうという意欲を持ってもらいたい。

成績評価の方法

最後にレポート提出を課す。

教科書

特に無い。

参考書等

その都度紹介する予定である。

その他

特に無し。

他
学
部
履
修
科
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
国民所得論	よしの吉野 <small>おさむ</small> 紀	経営A・経営B	4

講義のねらい

わが国の労働力は就業者 6,660 万人（平成 12 年）を数え、その内で約 5,600 万人の人が事業所等で雇用者として働いている。この生産活動からさまざまな財（商品）やサービスが産出されてくるが、その種類や数量たるや膨大なものとなる。この大きさを 1 年という単位期間内で集計し、金額表示にしたものが大雑把に言って GDP（国内総生産）にあたる。生産された財・サービスは、誰かが貨幣を支払って支出・購入してくれるからこそ、また次の年の生産活動を実現可能にしてくれる。その誰かは、一つは 4,400 万にのぼる家計世帯であり、二つには他の企業であり、その他に政府もあり、日本からの輸出を引き受けてくれる海外の購入者であったりもする。ここには、財・サービスの売渡しの見返りにあたる円や外貨で支払われる貨幣の流れがみられる。これを称して経済循環とよぶが、わが国の 1 年間の規模は平成 12 暦年の GDP によって 514 兆円に達すると評価されている。

一つの国民経済を眺めようとすれば、このように大きな集計量と接することが不可欠となる。このことは、数限りない取引が日々結ばれていることを考えればむしろ当然と言えよう。こうした取引関係は複雑に入り込んでおり、その 1 つ 1 つを追跡すると、国民経済全体という大きな森の中に迷い込むことにもなりかねない。そこで、森の上の舞に上がって、これらの取引を上空から眺める工夫が生まれてくる。このような視点に立つ経済の分析手法が、巨視的（マクロ）分析とよばれ、経済全体の活動の成果を集計量でとらえようと編み出された国民経済計算の整備とともに発展してきたのである。そこでは、無数の複雑に絡みあった諸取引を、いくつかの類似した性質を共有するグループ（経済主体）毎に分け、それぞれの取引額を記録し、そして経済主体のさまざまな取引相互間の依存関係を説明しようとするところに狙いがさだめられている。

履修科目
他学科目

講義の内容・
授業スケジュール

1. 「国民経済計算の話」……………5 回
GDP、GNP などの経済指標や消費、投資、輸出入などの国民経済全体をとらえる単位を理解することと、さまざまな諸取引間の相互関係を日本経済の循環図を通してとらえることが主題である。
《参考》経済企画庁「平成 13 年日本経済の循環図」（配布資料）
2. 「総需要・均衡産出量・均衡所得」……………4 回
いわゆる単純なケインズ派の所得決定理論が、モデル分析に則って説明され、次の第 3 講で活躍する IS 曲線の基礎理解を得ることが目標となる。このテーマの終了後、練習問題を解くレポートが課せられる。解答は配布され、解説は授業の中で行なわれる。
《参考》中谷巖 『入門マクロ経済学』（日本評論社）第 3 章
3. 「貨幣・利子および同時均衡」……………8 回
この段階で貨幣の果たす役割が明示的に導入され、前講までの主題との接合がはかられて、IS 曲線と LM 曲線を主な武器とする分析が進められてゆく。モデルを用いた説明が中心となるが、日本経済の現況との関連が説明の中に登場する機会も増えてゆくであろう。また、利子率に触れるとき、預貯金の利率に加えて有価証券の利回りにも馴染んでもらうことになるであろう。その他、国家公務員、地方公務員、国税専門官などの専門科目試験の例題を示す事もある。本テーマの終了時にも、簡単な練習問題がレポートの課題として課せられる。正解と解説は授業中で示す。
《参考》伊達邦春（編）『マクロ経済学』（八千代出版）第 9 章
4. 「金融政策、財政政策」……………4 回
前講までの内容が理解されれば、金融政策と財政政策の発動によって、望ましい所得水準を達成するプロセスは比較的容易に理解できるものと思われる。その上で、国内および国際的クラウディング・アウト効果が取り扱われる。アメリカのベトナム戦争時に生じた国内的クラウディング・アウト効果に関するケース・スタディは興味をよぶのであるまいか。
《参考》ドーンブッシュ・フィッシャー『マクロ経済学（上）』（CAP 出版）第 4 章
5. 「労働市場を組み込んだ総需要・総供給分析」……………5 回
ここまで扱われてきたのは、財・サービスの市場と貨幣市場であったが、これに労働市場が明示的に組み合わされる。さらに物価の変動が重要なテーマとして加わる。

成績評価の方法

基本的には期末試験による。2 回の練習問題に対するレポートは一定の評価対象となりうる。再試験は実施。

教科書

R. J. ゴードン『現代マクロエコノミクス（上）』（第 6 版）（多賀出版）

科目名	担当者名	配当学科	単位
中小企業論	よしだ けい いち 吉田 敬一	経営A・経営B	4

講義のねらい

中小企業は日本の企業総数の99%を占めており、そこで働く従業者は被雇用者全体の80%近くにも及んでいます。さらに製造業についてみると、付加価値額の50%以上は中小企業が生み出しています。そして、これらの中小企業の優れた部品加工・組み立て能力を抜きにして、日本の大企業は高品質で低価格の製品を国内・国際市場に供給することができなかつた、というのが真実です。ところが、今日、経済構造転換の下での新3K現象（空洞化・価格破壊・規制緩和）により、戦後経済発展を支えてきた中小企業は深刻な存立危機に直面しています。そこで本講義では、戦後日本の経済発展において、自動車工業を事例として中小企業が果たしてきた重要な役割を明らかにすること、これまでの中小企業政策の特徴を学ぶこと、最後に下請問題・金融問題を取り上げ、中小企業のおかれている立場・条件の劣悪性を明らかにし、経済大国にとどまらず、生活大国を21世紀に建設するための重要課題としての日本の中小企業問題の解決の方向と展望を考えることを主要課題とします。

講義の内容・授業スケジュール

講義は以下の項目を柱として行ないます。

- I 中小企業問題研究へのアプローチ
- II 戦後日本の経済発展と中小企業—自動車工業の生産分業システムを事例として—
- III 戦後日本の中小企業政策の歩み
- IV 中小企業振興の主要問題

履修上の留意点

中小企業問題は、国民経済全体が抱える諸問題の集約として発現してしている（例えば、貸し渋り問題、商工ローン問題、生産の海外移転による下請企業の苦悩など）、日々の経済動向に対する鋭い感受性が求められます。そこで受講生は、新聞やテレビの経済報道に関心を持つことが望ましい。

成績評価の方法

学年末試験とレポートで評価します。また再試験も実施します。

教科書

本講義では教科書は使用しません。

参考書等

吉田・永山・森本編著『産業構造転換と中小企業』（ミネルヴァ書房）
 吉田敬一『転機に立つ中小企業』（新評論）
 中小企業庁編『中小企業白書』（大蔵省印刷局）
 巽・佐藤編『新中小企業論を学ぶ』（有斐閣）
 渡辺・小川・黒瀬・向山『21世紀中小企業論』（有斐閣）

他
履修
学
科
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会政策	みつおかはくみ 光岡博美	経営A・経営B	4

講義のねらい

社会政策とは、資本主義社会で発生する社会問題や労働問題を体制内において解決する思想や政府の政策を意味している。この社会政策という学問は19世紀の半ばに、その当時のヨーロッパでは後進国であったドイツで発生したが、やがて近代化をめざす日本に紹介された。この意味で、戦前から社会政策学は日本の経済学のなかでも重要な位置を占めてきたが、それは戦前日本の経済学がドイツ経済学から大きな影響を受けてきたからであった。

戦後の時代になると、社会問題や労働問題の処理は、政府の政策によってだけでなく、国民の権利を前提にして、その解決が意図されるようになってきた。殊に、労働問題は政府の介入を避け、労使の自主的な団体交渉によって事態に対処していくという方向に向かった。労働基準法、労働組合法、労働関係調整法といった労働法体系は、このような体制を作り出すために制定された法律だったのである。

このような現実世界の変化は、社会・労働問題へのアプローチの方法として、労使関係論の学問は発達を促すこととなった。戦後の日本においても欧米社会で開拓された労使関係論を吸収し、労使関係をその実態に即して理解しようという研究が大きな影響を及ぼしている。

なお、全体の講義を通じて、その時々々の社会政策や労働運動・社会運動によってどのような問題が解決され、どのような問題が未解決のまま残されその解決が迫られているのかを考えてみることにする。

講義の内容・授業スケジュール

そこで、上に述べたような社会政策論や労使関係論の動向を視野に置いたうえで、本年度は、次のような講義内容で授業を行うこととしたい。

- (1) 社会改良の思想と理論
- (2) 労使関係論の思想と理論
- (3) 日本における社会政策・労働問題（戦前）
- (4) 日本における社会政策・労働問題（戦後）
- (5) 戦後日本における労使関係の展開
- (6) 高齢化社会と社会保障
- (7) 日本の労使関係の現実と未来

上にのべた(1)～(7)のテーマについて、各々約3回程度の講義を予定している。しかし、時には、社会政策や労働問題を勉強するための専門書の解説、最近注目されている外国人労働者問題やフェミニズム論、また私が専門的に研究してきた問題なども解説したいと考えている。

履修上の留意点

特にないが、これまでは毎年かなりの数の履修者がいるために教場も比較的大きな教場であった。そのためか、時として後部座席での私語が目立った。教場での私語は慎むこと。また私の講義では黒板をフルに利用するので、受講者はなるべく黒板の近くで聞いてほしい。

成績評価の方法

本年度は前期末に試験を行うか、あるいはレポートの提出を求める。どちらにするかは適当な時期に講義のなかで指示する。年度末試験については2～3週間前の授業で詳しく解説する。成績評価は前期末の試験かレポートと年度末試験の成績による。なお、再試験は実施しない。

教科書

特にないが、講義の内容と関連して参考書を適時指示する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育経済論	谷 敷 正 光	経営 A	4

講義のねらい

この講義は経済発展に産業教育が果たした意義とその役割について明らかにするのがねらいである。日本は近年、「経済大国」として世界的に認められるようになったが、この発展を築いた基礎に日本の高い教育水準と人材養成があるといわれている。そして欧米各国では経済面での国際競争力の低下が教育水準の低下と密接に関連しているとの観点から日本の産業教育政策を解明するとともに、21世紀に向けて一連の教育改革を行ってきた。アメリカの「危機に立つ国家」「全米教育サミット」「アメリカ教育法」、イギリスの「教育改革法」「二十一世紀に向けての教育・訓練」、フランスの「ジョスパン法」など各国の改革の中心は厳しい経済競争に勝ち残るための教育水準の向上、教育に市場原理の導入、高等教育の質的充実、教育投資の拡大など教育を「国の最優先課題」と位置づけている。

そこで本年度は、こうした欧米先進国の経済再建と教育改革の動向、日本の経済と教育の現状をまず明らかにする。

次に、外国からは高く評価されている日本の高い教育水準、人材養成教育を戦前は産業資本確立期を中心に、戦後は朝鮮戦争を契機に復興した経済復興期から平成景気までを中心にそれぞれの経済発展段階の特徴とそれに応じた産業界の人材教育要求と国の教育政策、産業教育政策を明らかにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 先進国の経済発展と教育
 - 日本の産業化とリテラシー・識字率
 - 日本の経済成長と教育
 - アメリカの教育最前線 (ビデオ)
 - レーガン大統領の経済と教育 1 「危機に立つ国家」 (一部ビデオ)
 - レーガン大統領の経済と教育 2 「国家は応える」 (一部ビデオ)
 - ブッシュ大統領の経済と教育 1 「全米教育サミット」 (一部ビデオ)
 - ブッシュ大統領の経済と教育 2 「2000年のアメリカ」 (一部ビデオ)
 - クリントン大統領の経済と教育「アメリカ教育法」 (一部ビデオ)
 - サッチャー首相の経済と教育「教育改革法」 (一部ビデオ)
 - ブレア首相の経済と教育「教育委員会の民営化」 (一部ビデオ)
 - ブレア首相の経済と教育「オープニングアウト」 (一部ビデオ)
- 戦前日本の経済発展と実業教育政策
 - 学制時代における経済と教育 1 富国強兵・殖産興業 (映画)
 - 学制時代における経済と教育 2 学制公布と「行政管理学校」
 - 教育令時代における経済と教育 1 工場私下と産業の勃興 (一部ビデオ)
 - 教育令時代における経済と教育 2 教育令公布と実業補習学校・徒弟学校
 - 学校令時代における経済と教育 1 産業革命と産業の発展 (一部ビデオ)
 - 学校令時代における経済と教育 2 学校令公布と実業教育・「機業地学校」
 - 実業学校令時代における経済と教育 1 資本主義の確立 (一部ビデオ)
 - 実業学校令時代における経済と教育 2 実業学校令公布と「委託教育」「工場内学校」
- 戦後日本の経済発展と産業教育政策
 - 復興期の経済発展と教育 産業教育振興法と教育 (一部ビデオ)
 - 高度成長第1期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
 - 高度成長第2期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
 - 高度成長第3期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
 - 高度成長終焉後の経済発展と教育

他学部
履修科目

履修上の留意点

- 年間 5~6 回程度小テストを実施し、平常点とする。
- 現実的理解のためにビデオ・映画・OHP を使用する。
- 毎時間、講義用のプリントを配布する。一度配布したプリントは、後の時間では配布しない。
- 毎時間かなり板書するので、黒板が見えにくい人はできるだけ前に着席のこと。

成績評価の方法

- 授業中の小テストと期末試験の成績によって評価する。
- 再試験を実施する。

教科書

毎時間、講義の教材として年間 40~50 枚のプリントを配布するので、教科書は特に使用しない。

参考書等

参考文献は講義の中で適宜紹介するので、興味のある人は読んで講義の参考にして下さい。
 小林泰宏『アメリカで進む教育改革』(朝日新聞社)
 森嶋通夫『サッチャー時代のイギリス』(岩波新書)

G・メイナード『サッチャーの経済革命』（日本経済新聞社）
舟場正富『ブレアのイギリス』（PHP 新書）
ブライアン・サイモン『現代の教育改革・イギリスと日本』（エイデル）
A・グリーン, J・ハリスン『英国病』（新評論社）
攝西光速『日本資本主義発達史－産業資本の成立と発展－』（有斐閣）
猪木武徳『学校と工場』（読売新聞社）
三好信浩『日本の女性と産業教育－近代産業社会における女性の役割－』（東信堂）
天野郁夫『教育と近代化』（玉川大学出版部）
沼口博『学校教育と経済発展』（学文社）
その他は講義の中で紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
アジア経済論	ちよん 鄭 ちやん 章 よん 淵	経営A・経営B	4

講義のねらい

この講義では、受講生諸君のアジア経済に対する理解を深めるために、アジア経済を歴史・理論・現状分析の3分野に大きく分け、できるだけその全体像に迫る予定である。基本的な視座としては、1960年代以降本格化したアジアの経済発展を20世紀後半期に新たに勃興した資本主義発展の事例と捉え、その特徴並びに発展と矛盾のメカニズムの解明に焦点を当てる。その際、従来のアジア経済論のように（典型的には、新古典派開発経済学）工業化の本格化した60年代以降の時期にのみ注目するのではなく、その「前史」をなす時期（特に、植民地期や戦後1950年代までの時期）も射程に入れて、通史的に経済発展過程を捉える。また、60年代以降の工業化過程において常に経済発展をリードしてきたアジア国家の役割を重視し、「開発独裁」概念を援用した分析を試みる。そして、あくまでもアジアに視座を置きつつも、現在に至る歴史過程において、その都度、アジア経済に決定的な影響を及ぼしてきた世界経済の動向にも注意を払いたい。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕

1. 経済発展の前史
 - (1) 植民地経済の概要
 - (2) 戦後経済発展の初期条件
2. アジアNIEsの経済発展
 - (1) アジアNIEsの範疇と経済発展の特徴
※NIEsの用語説明、経済開発戦略の特徴、産業的特徴
 - (2) 開発独裁体制の成立
※韓国の事例、その他の開発独裁
 - (3) 経済発展と民主化の弁証法
3. ASEAN諸国の経済発展
 - (1) タイ・マレーシア・インドネシアの経済発展過程
 - (2) ASEANの歴史
 - (3) 日本企業の進出状況

〔後期〕

4. アジア社会主義諸国の開放政策
 - (1) 中国の開放政策
 - (2) その他……ベトナム、北朝鮮
5. アジア経済発展論の系譜
 - (1) アジアNIEs論
 - (2) 東アジア経済発展論
6. アジアにおける地域経済協力
 - (1) APECの発展過程
 - (2) ASEANの自由化過程
 - (3) その他の中小規模経済圏
7. アジア経済の現状
 - (1) アジア通貨危機の発生とその影響
 - (2) その他の諸問題…環境問題 etc.
 - (3) 日本とアジアとの関係の展望

成績評価の方法

前後期二回のペーパーテストと夏期レポートで総合的に評価する。試験の際に自筆のノートを参照にしますので、講義中ノートをよくとってもらいたい。再試験を実施する。

教科書

特に定めないが、準テキストとして以下の文献を読んでもらいたい。
大野健一・桜井宏二郎『東アジアの開発経済学』（有斐閣アルマ）2,000円（税抜き）

参考書等

参考文献については、講義中に随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 経 済 論	小 ^{すぎ} 杉 ^{しゅう} 修 ^じ 二	経営A・経営B	4

講義のねらい

前期は中華人民共和国の経済を歴史的に学ぶ。その開発目標に着目して、中ソ同盟下の大国志向としての「ソ連モデル」(1949-57)、独自の超大国を志向して米ソと対立した「毛沢東モデル」(1958-78)について学ぶ。

ソ連モデル期に中国は途上国の特徴＝機械の生産能力の欠如を克服し、国民生活を改善した。

毛沢東モデル期に兵器の一定の自給と核ミサイルの保有に至った。この時期、国民生活は改善されず、臨戦体勢づくりのため経済効率は低下し行きづまった。

後期はこの状況を打開した「鄧小平モデル」(1978-)を学ぶ。独自の超大国志向は維持しながらも平和共存政策への転換の下、開放政策による外資の呼びこみ、沿海部重点開発、軽工業優先開発、「独立した工業体系」づくりからの脱却、生産請負等の農業改革、市場経済への移行によって高度成長を達成、また、国民生活を改善し、「世界の生産現場」になった。後期には中国のかかげていた社会主義、「中国脅威論」等の問題をも考えてみたい。

履修上の留意点

言うまでもないが、私語、飲食、携帯電話は禁止（授業に集中できない人は出席不可）。

成績評価の方法

前期レポート、後期試験。

教科書

前期 小杉修二『増補 現代中国の国家目的と経済建設』（龍溪書舎）4000円

参考書等

平田幹郎『中国データブック 2000-2001』（古今書院）3800円

その他

授業方法 講義＋ビデオ映像の活用

他履修科目
学部

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ア メ リ カ 経 済 論	瀬 ^せ 戸 ^と 岡 ^{おか} 紘 ^{ひろ}	経営A・経営B	4

講義のねらい

現代のアメリカ経済事情を幅ひろくわかりやすく解説します。特別な経済学の予備知識がなくても理解できる授業です。アメリカ経済を自力で理解していく力をつけることが目標です。

講義の内容・授業スケジュール

以下の項目をさしあたり準備しています。受講者の要望の強いものから講義していきます。

◇大統領の今年の経済政策、◇建国の理念と現実、◇アメリカの農業、◇アメリカの工業、◇ベンチャービジネス、◇雇用と労働者、◇商業とサービス、◇金融、◇教育と経済、◇科学技術、◇先端産業、◇経済と環境問題、◇アメリカ社会とヴォランティア、◇女性・マイノリティ、◇ドルの地位とIMF、◇アメリカの貿易、◇軍の世界的ネットワークと経済的意義、◇海外援助、◇多国籍企業とアメリカ経済、◇アメリカとEU、◇アメリカと日本、◇アメリカとアジア・太平洋、◇アメリカとカナダ・メキシコ、◇アメリカの経済学、など

履修上の留意点

1回の講義でひとつのテーマをとりあげます。あたらしい情報やトピックスを、解説つきで、つねに受講者に紹介します。アメリカの諸大学の授業にみられる長所を可能なかぎりとり入れた授業です。受講者の側からの評価や採点、改善提案なども実施します。

成績評価の方法

随時、受講者には小論を書いてもらい、それで成績評価をします。平常点重視のためえから、一発勝負の年度末試験は、受講者の強い要望がないかぎり実施しません。それゆえ再試験も実施しません。

教科書

最新の情報をもとに講義をすすめます。だから特定の教科書は使用しません。講義では、随時よい文献などを紹介していきます。日々のニュースと諸君の周囲にあるさまざまなアメリカものの本の全体がこの講義の教科書ですが、どうしてもといわれれば、グリーンバーグ著『資本主義とアメリカの政治理念』（瀬戸岡訳 青木書店 1994年）をおすすめします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア・東欧経済論	やまがたひろし 山縣弘志	経営A・経営B	4

講義のねらい

外国経済研究の課題を、その経済事情に通じることという形で、狭く設定する必要はないので、各自の問題意識に引きつけてとらえてもらえばよいが、とりわけ、独特のソ連経済からロシア的・資本主義的・市場経済への転換を、資本主義世界経済のあり方、日本経済のあり方を念頭に置きつつ講義する予定である。その際、ソ連経済史の評価のためには社会主義論の捉え直しが不可欠であり、他方で政策も含めた経済現象の総体を文化的基盤と切り離して論じることができないから、常に総合的視点と批判精神を伴った受けとめを期待する。

講義の内容・授業スケジュール

ソ連邦が解体し、東欧諸国も再編成されて、一つの歴史的移行過程にあるが、「どこからどこへ？」の問題は必ずしも決着済みではない。この地域が従来の歴史的経緯を背負って今後も多少とも独自の経済圏を形成していくことは確かであろう。

ロシア・東欧圏は、ヨーロッパとアジアにまたがりオリエントと接するユーラシア地域として、独自の、また内部的には多様な文化を醸成してきた。この地域は、帝国主義の時代に入って、第1段階としてロシア革命、第2段階として第2次大戦を契機に社会主義をめざすことになった。そしてその歴史は通例まぎれもない社会主義の歴史として通俗的に理解されてきたが、本来は社会主義の模索として開始されたものであり、社会主義に到達しえたか否か自体が吟味の対象である。これは同時代史の問いかけに応えるために必要な認識であろう。

社会主義論の歴史的な捉え直しの上に立って、1930年代にソ連邦で形成され40年代に東欧に移植された独特の体制の認識が深まれば、「どこからどこへ？」の問題の第1段階に答える可能性が生まれるであろうし、その第2段階を検討することは、我々の時代の当面している課題を明らかにすることに通じるであろう。

1. 社会主義とロシア革命
 - (1) 社会主義論とマルクス
 - (2) ロシア革命のめざしたもの——レーニン時代——
2. ソ連経済体制の成立とスターリン時代
 - (1) 1920年代から30年代への転換
 - (2) ソ連型「社会主義」の特質と行きづまり
3. 「計画経済」と经济管理システム
 - (1) 「計画経済」の成立と実態
 - (2) ソ連型经济管理システム
4. ソ連経済の生産力水準
 - (1) 経済構造の特質と軍事生産
 - (2) 工業生産力と工業技術
 - (3) 農業問題
5. 停滞からペレストロイカへ
 - (1) 経済改革の時代
 - (2) プレジネフと停滞の時代
 - (3) ペレストロイカとその挫折
6. ロシア・東欧経済の現状と課題
 - (1) ロシア・東欧の文化と社会
 - (2) 資本主義化の諸問題
 - (3) ロシアと日本——比較経済史——

履修上の留意点

トピックスにコメントすることが多いと思われるので、必ずしも授業計画通り、またその全てを網羅して進むとは限らないが、部分から全体を照射するように心がけたい。敢えて挑発的な講義にしたいので、学生諸君にはステレオタイプから脱して自分自身の頭で考えることを期待する。

成績評価の方法

成績評価はレポート（9月提出、40点配点）と定期試験（自筆ノート持込み可、60点配点）によって行う。模範答案等の丸写しは認めない。オリジナリティを評価する。
再試験実施。

教科書

教科書はない。参考書は適宜指示する。歴史の見直しが必要とされ、変化の激しい時代に、万全の教科書はありえない。

その他

教科書はないので、授業中にノートを取るのとは当然のことになるだろう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 業 政 策	ばん ば ひろ ゆき 番 場 博 之	経営A・経営B	4

講義のねらい

商業政策（流通政策）とは、流通に関わる企業の活動に対する公的な介入（政策）を意味する。日本ではグローバルスタンダードの名のもとに規制緩和が進んでいるが、欧米では必ずしもそうではない。日本の商業政策とは何か、どのような特徴を持つのかを本講義では考えて行く。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は総論、後期は各論を行う。総論では流通経済学の基本的事項を概説し、そのあと日本の商業政策体系を解説する。各論では競争政策と出店政策を中心に説明する。また、講義の流れとは別に、テーマ講義を数回行う。そこでは、現在問題となっている商業政策・流通に関するテーマを取り上げて、1回完結の講義を行う。詳細なシラバスは開講時に配布する。

成績評価の方法

原則として定期試験の結果のみで評価する。必要に応じて小レポートを課すことも検討しているが加点の程度は高くない。

教 科 書

前期の総論では使用しないが、後期の各論では使用する予定である。書名等は後期の開講時に提示する。

そ の 他

講義ではOHC（教材提示装置）ならびにビデオを用いて、より具体的に商業政策にかかわる問題を見て行くこととする。講義の多くで教員の方で用意した書き込み式プリント、統計資料などを用いる。

問い合わせ先、E-mail:h2banba@cuc.ac.jp、HP:http://www.cuc.ac.jp/~h2banba

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
貿 易 論	ふる さわ こう ぞう 古 沢 紘 造	経営A・経営B	4

講義のねらい

オゾン層破壊、熱帯林破壊、温暖化、酸性雨、放射能汚染など地球を取り巻く環境はますます深刻になっています。一方、私たち生命体は水・大気・土壌の汚染により生存を脅かされる場所まで来ています。本講義では、こうした危機的状況を踏まえ、生命系の経済学の立場に立って、貿易問題、さらには国際分業のあり方について深く考えてみたいと思います。その中で、経済学、生態学、倫理学からなる総合的視角の重要性を認識しつつ、私たちの生活のありようを問うことにも力を注ぎたい。

生命系の経済学とは、人格をもった人間としてのニーズ、環境、資源、地球のすべての生命との共存、などを基準とした主体的な指標の確立と、それを実現し保証する政策と運動を具体的に提出する経済学です。詳しくはポール・エキンズ編著『生命系の経済学』（御茶の水書房）を読まれるとよいでしょう。

講義の内容・
授業スケジュール

I. 生産・消費と貿易

1. 農産物と貿易
2. 水産物と貿易
3. 林産物と貿易
4. 鉱物資源と貿易
5. 工業製品と貿易

II. 政治・経済・社会と貿易

1. 開発援助と貿易
2. 環境と貿易
3. WTOと貿易
4. グローバリゼーションと貿易
5. 持続可能な発展と貿易

社会・経済状況の変化に対応して、アップ・ツー・デートな貿易問題も積極的に取り上げるようにしたい。

成績評価の方法

テスト、提出物（講義ごとのまとめ、前期、後期の終り 授業で書いてもらう講義全体のまとめ）などを総合して評価を行う。テストやまとめを書くとき、論点を明確にし、自分の考えをしっかりと出すように努力してもらいたい。思考の跡がうかがえないものは、評価の対象とはならないでしょう。

再試験を実施しない。

教 科 書

特にこれといった教科書は使いません。専門用語などむずかしいことは、そのつど説明しますので、授業に出てもらえれば内容は充分理解できると思います。

参 考 書 等

講義の中で興味をもち、もっと知りたいことがありましたら、遠慮なく相談にきてください。参考になる本など教えます（研究室：第2研究館、4階34号室）。

科目名	担当者名	配当学科	単位
行政法各論	かねこしゅうへい 金子昇平	経営A・経営B	4

講義のねらい

現代の行政法は、従来、対象とされていない、新たな法分野が続出している。例えば、行政手続法、情報公開法等の制定をはじめ、各行政分野ごとの基本法が整備されようとしている。また現実の行政需要も変化、発達し、その適正化が求められている。

講義は、行政紛争解決の手法として、行政救済法を、主な内容として行う。そこで具体的に、どのような国家賠償事件、行政事件が存在し、何が法律上の問題となっているのか、また、どのように法的解釈を、すべきかについて解明していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

行政法の基本的な原理や原則に対する、再学習をし、総論と各論とのリンケージを確認しながら講義を行う。

- (1) 国家補償（国家賠償法、損失補償）
- (2) 行政上の苦情処理
- (3) 行政上の不服申立
- (4) 行政訴訟（行政事件訴訟法）

履修上の留意点

行政法は、きわめて数多くの法律が登場してくるので、六法全書を必ず持参すること。

成績評価の方法

期末試験の成績により評価する。

教科書

原田尚彦『行政法要論』（学陽書房）

その他

塩野宏他編『行政判例百選Ⅰ・Ⅱ』第四版（有斐閣）

他履修科目
学部

科目名	担当者名	配当学科	単位
比較憲法	にしおさむ 西修	経営A・経営B	4

講義のねらい

比較憲法は、世界の憲法動向を知り、日本国憲法を広い視野から眺めるといって非常に大きな効用をもっている。本講義は、主要諸国のみならず、アジアや発展途上国の憲法をも対象にして、立体的に組み立てる。

講義の内容・授業スケジュール

おおむね以下の内容になる。①比較憲法とは（研究の意義、比較の対象、方法、限界など）②主要諸国の憲法（アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、中国など）の概要、③アジアおよび発展途上国の憲法（韓国、北朝鮮、タイ、イスラム圏）の概要、④項目別の比較（平和主義、人権条項、有事対処、憲法改正など）。

履修上の留意点

①開講時にシラバスを配付するか、KOMSYに詳細を記載するので、よく読んでおくこと
②日本国憲法との関連で問題意識をもつこと ③私語は絶対に慎むこと ④途中からの入退室はしないこと。

成績評価の方法

①出席・レポート 20点 ②前期試験 40点 ③後期試験 40点。

教科書

年度内に作成の予定だが、コピーなどを配付する。

参考書等

- ①西修著『ここがヘンだよ！日本国憲法』（アスキー）2001年。とくにPART3「世界の憲法はこうなっている！」
- ②アルバート・ブラウスタイン著、西修訳『世界の憲法—その生成と発展—』（成文堂）1994年
- ③西修著『憲法体系類型的研究』（成文堂）1997年

その他

授業中に試験をする可能性があるため、注意すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
親 族 法	こ とう きやう こ 五 島 京 子	経営A・経営B	4

講義のねらい

民法典第四編親族編に規定される内容を中心に「親族法」の講義を行う。身近な家族の問題を法的視点から理解することを通じて、民法の基礎的な考え方を身につけることを目的としたい。

講義の内容・授業スケジュール

私法の一般法である民法には財産関係を規律する法と家族関係を規律する法が含まれるが、本講座は後者を講義の対象とする。具体的には、親族・婚姻・離婚・親子・親権・後見・扶養について順次講じていくことになるが、法律を初めて学ぶ方たちのために最初はゆっくりと基本的用語の説明をしながら講義を進め、知識がある程度集積してくる夏休み明けから進度を速めていく予定である。民法の条文解釈を中心に、わが国における制度の歴史や欧米家族法との比較、法社会学的な考察をも踏まえ、最近の立法の動向を紹介しながらダイナミックな家族をめぐる法状況を検討したい。

履修上の留意点

面白がって講義に参加していただくのは大歓迎だが、その興奮を講義の時間内に隣の人たちと分かち合うのは控えていただきたい。1人のひそひそ話が100人分集まれば、もはやひそひそ話ではなくなるのである。

成績評価の方法

定期試験により成績評価をするが、出席状況などの平常点をも加味する。

教科書

遠藤浩ほか編『民法(8)親族(第4版増補版)』(有斐閣双書)1,600円

参考書等

久貴忠彦・米倉明・水野紀子編『家族法判例百選(第6版)』(有斐閣)2,200円
六法

他
学
部
履
修
科
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
相 続 法	かど ひろ の り こ 門 広 乃 里 子	経営A・経営B	4

講義のねらい

民法典第五編にあたる「相続法」の講義を行う。わが国の相続法は、戦前の家督相続から戦後の均分共同相続へと変遷し、さらに今日においては遺言制度の利用も増加するなど、大きく変化している。本講義では、こうした動向とその背景の理解とともに、財産法の応用問題といわれるほど難解な相続法の理解を図りたい。

講義の内容・授業スケジュール

わが国の相続法の変遷とその背景を検討したうえで、相続人・相続の効力・相続の承認および放棄・財産の分離・相続人の不存在・遺言・遺留分について、順次論説していく。

履修上の留意点

教科書を読んだうえで講義に出席することが望ましい。

成績評価の方法

おもに定期試験によって成績を評価する。

教科書

遠藤浩ほか編『民法(9)相続(第4増補版)』(有斐閣双書)1,600円

参考書等

久貴忠彦・米倉明編『家族法判例百選(第5版)』(有斐閣)2,200円
六法

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西 洋 法 制 史	北 ^{また} 野 ^の かほる	経営A・経営B	4

講義のねらい

イギリスの法制度の歴史を、社会の法的構造と国家統治機構のかかわりを軸に解説する。特に注目される法的現象を挙げながら、各時代毎の法制度の全般的特徴と、基本的社会・政治構造との関連について考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1部 総論
 - 第1章 法制史学概説
 - 第1節 法制史学の方法と対象
 - 第2節 法制史学の目的と効用
 - 第3節 イングランド法制史学の対象と方法
 - 第2章 イギリス歴史学の基本的知識
 - 第1節 時間的範囲
 - 第2節 空間的範囲
- 第2部 イングランド法制史
 - 第1章 古代
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 法構造
 - 第2章 中世 (1066 - 1350)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造 封建制
 - 第3節 統治構造 封建制の解体
 - 第4節 法構造
 - 第3章 近世 (1350 - 1650)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 統治構造
 - 第4節 法構造

他履修
学部科目

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教科書

特に指定しない。

参考書等

年度当初に指示する。

その他

一冊で間に合うような参考書はないため、試験準備に最も有効なものは講義の際に筆記した各自のノートである。今年度から講義内容を少し変更するため、過去の講義ノートはあまり役に立たない。敢えて出席はとらないが、出席してノートをとらないと事実上試験準備ができなくなるので十分注意すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英米法	またの北野かほる	経営A・経営B	4

講義のねらい

近現代法治国家の主要法系のひとつである英米法系について、日本法を含む大陸法系と比較しての基本的特徴を外観し、その主要な理由をなすと考えられる、法形成における裁判の意味について、判例法を中心に考察する。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1章 法系
 - 第1節 近代法の法系
 - (1) 西洋近代法
 - (2) 二大法体系
 - (3) 大陸法系あるいはローマ法系
 - (4) 英米法系あるいはコモン・ロー法系
 - 第2節 イギリス法の特徴
 - (1) 一般的特徴
 - (2) 歴史的特徴
 - 第3節 英米法の分類
 - (1) 法域
 - (2) 法源
 - (3) コモン・ロー
- 第2章 英米法の特徴
 - 第1節 法内容の歴史性
 - (1) 歴史的連続性
 - (2) 法系としての特徴
 - 第2節 法観念の社会性
 - (1) 法の観念
 - (2) 法システムにおける裁判の位置
 - (3) 救済と権利
 - 第3節 法思考の実務性
 - (1) 総論
 - (2) 法曹一元
- 第3章 判例法の理論
 - 第1節 判例法
 - (1) 判例法
 - (2) 判決における法考察
 - (3) 判例法の考察
 - 第2節 判例法の理論
 - (1) 外枠
 - (2) 内実
 - (3) 先例性の判断
 - 第3節 制定法の解釈
 - (1) 制定法の位置づけ
 - (2) 厳格な分離解釈の理論

他
学
部
履
修
科
目

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教科書

特に指定しない。

参考書等

望月礼二郎『英米法（新版）』（青林書院）現代法律学全集55 5,150円
その他の参考書：年度当初に指示する。

その他

昨年度から講義計画に変更が生じているため、シラバスが一部大きく変更になっている。試験準備には講義ノートが最も有効であるが、過年度のノートの有効性は大きく下がる。各自注意して出席し、ノートをとること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済法	岡田としひろ 外司博	経営A・経営B	4

講義のねらい

独占禁止法は、企業の経済活動に関する世界共通のルールとしてますます重要になりつつあるのみならず、実は私達の生活にも深く関わっている。ところが、独占禁止法の条文を見ると、一般になじみのうすい抽象的な用語が並んでいて難解であり、その理解は決して容易ではない。そこで、本講義では、最初数回は理論的問題にも触れるが、その後は独禁法の規制の内容とその実際の解釈運用について、具体的事例を多くふまえてできるだけわかりやすく解説することを目標にしたいと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

講義は2回に1枚プリントを配布し、そのプリントに書かれた設問にこちらの方で答えて行くという方法をとる。

履修上の留意点

プリントを受け取らずに講義を聴いても意味がないので、出席は取らないが、講義に出席して少なくともプリントを受け取ることを勧める。

成績評価の方法

試験（後期1回のみ）によって判定する。

教科書

丹宗暁信・厚谷襄児編『新現代経済法入門』（法律文化社）

履修科目
他学部

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際政治学	小堀のりお 訓男	経営A	4

講義のねらい

国際社会に展開する政治現象を、政治学的アプローチで論及し、国際政治の本質を理解することが、本講義のねらいである。

前期の講義は、国際政治とは、いかなるものか、分かり易く概説する。具体的には、国家、権力、民族、階級、国際政治における権力と道義、国内政治と国際政治等をテーマに“国際政治の本質”について考察する。つぎに、より理解を深めるために、“国際政治の基調”と題して、国際政治が展開し、現在に至るまでの、各時代の国際政治の基調を、歴史的に概観する。

後期では、“国際政治の問題”と題して、冷戦後の国際政治、ナショナリズム、地域的安全保障、エネルギーと環境問題、国連の使命と限界、地域統合と国家の役割の変化等の、国際政治学が取り組むべき課題を、理論的かつ実証的に解明しながら、受講生とともに考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義のテーマ、内容については予告する。受講生は必ず予習をして、講義に出ること。基本的な知識については、共通の理解を徹底したいので、全員で討論しながら授業を進めたい。よって、積極的な参加を求める。

成績評価の方法

1年間に数回程度、授業中に30分のショートテストを実施する。これは講義の理解の程度を知るためであるが、このテストの評価を30%とし、定期試験を70%の評価とする。

教科書

必要に応じて講義のなかで紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ヨーロッパ政治史	浦田早苗	経営A	4

講義のねらい

現代西ヨーロッパの政治は、そこから多くのことを学んできた我々の先達が描いたほど理想的な状態で機能しているわけではなく、数々の矛盾にみちている。自由、平等の精神なり、『華やかなりし議会政治』の概念は、激動の現代政治のなかにあっては時として空虚な響きを投げかけてくることは否定できない。しかし、国家や政党、国民や民族といった西洋で生まれた近代政治の概念に再検討が迫られている今ほど、そうした概念の本質を成立した歴史過程のなかで考察することの重要性が問われたときはなかった。本講義では、近代ヨーロッパの歴史全般を概説しながら、ヨーロッパが抱える問題の本質を明らかにすること、及び現代政治を誤りなく把握する上で必要な基礎概念を検討することに視点がおかれている。

講義の内容・授業スケジュール

- ・近代の始点ルネサンス期と18世紀 ・英国革命とIRA ・ジャコバイトと英国王室
- ・議院内閣制の成立変遷過程 ・英国における政治腐敗防止過程
- ・フランス革命と国家の概念 ・フランス政治におけるジャコバン主義
- ・「後発国型近代化」の問題点——ドイツの場合—— ・統合ヨーロッパの源流

成績評価の方法

前期レポート——7~8×400字——は任意ではあるが、年5~6回とる出席点とともに学年末試験に加算する。試験はあらかじめ提示した5問から2題出題する。(ノートの持ち込みは不可)

教科書

特に教科書は指定しないが、さらに詳細な研究を望む学生には適宜参考書を推薦する。

履修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
地方自治法	富井幸雄	経営A	4

講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをききながら、新地方自治法の理念を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎週レジュメを配布し、それに沿って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

成績評価の方法

前期試験(40%)と学年末試験(60%)で総合的に評価する。

教科書

原田尚彦『地方自治の法としくみ』(学陽書房)2,000円

参考書等

『地方自治判例百選(第2版)』(別冊ジュリスト)。
 なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』(良書普及会)は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』(岩波書店)、同他『概説日本の地方自治』(東京大学出版会)は必読。

その他

講義では頻繁に法律の条文に言及するので、六法(『地方自治小六法』(学陽書房)があるがポケット六法でよい。)は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法の大規模な改正がなされたので、必ず平成13年度版を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両法分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
比 較 政 治 学	三 竹 直 哉 <small>みなけ なおや</small>	経営 A	4

講義のねらい

世界のいろいろな国で起きていることを手がかりに、さまざまな政治現象がどう説明されるかを、いっしょに考える授業です。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに、指定してある教科書を使い、方法論の基礎の基礎を勉強します。それから、優れたドキュメンタリーなど、かなりの数のビデオ教材を見て外国の様子を知り、随所で比較政治学分野で現在行われている最新の研究を紹介していきたいと思います。2003年度は、移民政策の比較研究に特に力を入れたいと思っています。

前期中もしくは、後期中に、もう一冊か二冊、教科書として指定した本を買っていただく可能性があります。

この授業についての最新の情報は、下記のホームページで見られますので、ご利用ください。
<http://homepage2.nifty.com/mitakezemi/>

履修上の留意点

クラス全体の雰囲気や人数にもよりますが、3～4人のグループに分けて意見交換する時間を多く作りたいと思いますので、そのつもりで参加してください。

なお、本を教科書として指定した場合には、授業は指定した箇所を読んできて、内容について討論する形式になります。読んできていない人は授業に参加できなくなりますので、注意してください。

成績評価の方法

学年末試験と平常点によります。詳しいことは最初の授業で説明しますし、下記のホームページにも掲載しますので、履修登録される方は<必ず>参照してください。なお、2002年3月まで掲載されているものは、あくまでも2002年度用です。2003年度用の情報は、2003年4月に入ってから確認してください。
<http://homepage2.nifty.com/mitakezemi/>

教 科 書

高根正昭『創造の方法学』（講談社）640円
 他に一冊、もしくは二冊、指定する可能性があります。

参 考 書 等

適宜指示します。

そ の 他

授業では、みなさんがせつかく6年間（以上）も勉強した英語がさびつかないように、英語に接する機会を少しでも多く作るようにします。英語の資料は英語のまま見せたり配布したりします。

ホームページにこの授業用の掲示板を設けますので、質問や話し合いに使ってください。
<http://homepage2.nifty.com/mitakezemi/>

他履修科目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ヨーロッパ政治論(1) (前期)	なかの ゆうし 中野 裕二	経営A	2

講義のねらい

平成15年(2003年)度の「ヨーロッパ政治論(1)」はフランスを対象とする。フランスの政治制度を概観した後、近年のフランス政治を理解する上で重要なテーマを扱う。

講義の内容・
授業スケジュール

講義の予定は以下の通り。ただし、部分的に変更することもある。

- 第1章 政治制度
1. 大統領も首相もいる国
 2. 「半大統領制」
 3. 「合理化された議会制」
- 第2章 社会編成原理としての共和制
1. フランス共和制の理念
 2. 共和制の現実
 3. 「フランス的統合」
- 第3章 移民問題
1. 移民の概観
 2. 移民問題の顕在化
 3. 移民問題とフランス共和制

- 第4章 国民戦線の台頭
1. フランスの新右翼
 2. 新右翼の主張
 3. 国民戦線台頭の意味

履修上の留意点

「政治制度論」をすでに受講していることが望ましい。
フランス、広くはヨーロッパの政治に関心のある学生の受講を希望する。日本の政治に関心のある学生も、講義の中では明示的に日本の政治との比較は行わないが、日本政治との類似点・相違点という観点から問題関心を抱き受講してもらいたい。
授業中の私語および携帯電話の使用には厳しく対処する。

成績評価の方法

期末試験を70点、小テスト・授業要約などを30点に換算し、100点満点で評価する。ただし、授業中の発言や「意見質問用紙」の提出など、積極的な授業参加は別途高く評価する。

教科書

教科書は用いない。毎回プリントを配布し、プリントに書き込むことで講義ノートを作成してもらう。

参考書等

- 田口富久治・中谷義和編『新版 比較政治制度』法律文化社、1999年
 中野裕二『フランス国家とマイノリティ』国際書院、1996年
 畑山敏夫『フランス極右の新展開』国際書院、1997年
 山口定・高橋進編『ヨーロッパ新右翼』朝日新聞社、1998年
 奥島孝康・中村紘一編『フランスの政治』早稲田大学出版部、1993年
 宮島喬編『現代ヨーロッパ社会論』人文書院、1998年
 長部重康『変貌するフランス』中央公論社、1995年
 渡邊啓貴『フランス現代史』中央公論社、1998年
 本間圭一『パリの移民・外国人』高文研、2001年
 三浦信孝編『普遍性か差異か』藤原書店、2001年 など

その他

配布するプリントの概要はKOMSYに掲載するので参照すること。

他
学
部
履
修
科
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
ヨーロッパ政治論(2) (後期)	なかのゆうじ 中野裕二	経営A	2

講義のねらい

平成15年(2003年)度の「ヨーロッパ政治論(2)」はイギリスを対象とする。イギリスの政治制度を概観した後、近年のイギリス政治を理解する上で重要なテーマを扱う。

講義の内容・
授業スケジュール

講義の予定は以下の通り。ただし、部分的に変更することもある。

第1章 政治制度

1. 複合国家から準連邦国家へ
2. 議会優位

第2章 政党政治——サッチャリズムからブレアの「ニュー・レイバー」へ

1. 準備作業——概念、理論の確認
2. イギリスの伝統的政党制
3. サッチャリズム
4. ブレアの「ニュー・レイバー」

第3章 北アイルランド紛争

1. 北アイルランド紛争の歴史的経緯
2. 北アイルランド紛争の基底

履修上の留意点

「政治制度論」をすでに受講していることが望ましい。

イギリス、広くはヨーロッパの政治に関心のある学生の受講を希望する。日本の政治に関心のある学生も、講義の中では明示的に日本の政治との比較は行わないが、日本政治との類似点・相違点という観点から問題関心を抱き受講してもらいたい。

授業中の私語および携帯電話の使用には厳しく対処する。

前期に開講される「ヨーロッパ経済論(1)」の第一回目の授業に出席し、担当教員より受講許可書を得た上で、履修届に記入し登録する。

成績評価の方法

期末試験を70点、小テスト・授業要約などを30点に換算し、100点満点で評価する。ただし、授業中の発言や「意見質問用紙」の提出など、積極的な授業参加は別途高く評価する。

教科書

教科書は用いない。毎回プリントを配布し、プリントに書き込むことで講義ノートを作成してもらう。

参考書等

田口富久治・中谷義和編『新版 比較政治制度』法律文化社、1999年
 宮島喬編『現代ヨーロッパ社会論』人文書院、1998年
 梅川正美『イギリス政治の構造』成文堂、1998年
 山口二郎『イギリスの政治 日本の政治』筑摩書房、1998年
 舟場正富『ブレアのイギリス』PHP 研究所、1998年
 自治・分権ジャーナリストの会編『英国の地方分権改革』日本評論社、2000年
 豊永郁子『サッチャリズムの世紀』創文社、1998年
 川勝平太／三好陽編『イギリスの政治』早稲田大学出版部、1999年
 ポール・スノードン／大竹正次『イギリスの社会』早稲田大学出版部、1997年
 鈴木良平『アイルランド問題とは何か』丸善、2000年
 M・イグナティエフ『民族はなぜ殺し合うのか』河出書房新社、1996年
 富田正史『「多文化主義ネーション」に向けて』晃洋書房、1996年 など

その他

配布するプリントの概要は KOMS Y に掲載するので参照すること。

他履修
学部
科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代国家論	おお つか かつら 大塚 桂	経営A	4

講義のねらい

近年、政治制度の諸改革（1府12省庁、地方分権、規制緩和 etc）がすすんでいます。これにより、21世紀型国家が構築されたものと評価されています。ところで、第2次大戦後、新生日本国家がスタートしました。民主化の徹底、人権意識の高揚がはかられました。これにより、大日本帝国体制が清算されたと考えられています。しかし、果たしてそうといえるのでしょうか。明治国家のフレームワークは、今日にあっても直接間接に影響を与えていますし、その痕跡もはっきりと残っています。現代国家を理解するにあたっては、明治国家の構造を知ることが有益です。本講義では、明治国家における制度、思想、運動について究明していきます。

講義の内容・授業スケジュール

1 国家論の課題 2 幕末政治過程 3 幕末政治思想（水戸学、国学） 4 公議政体論 5 太政官制・内閣官制 6 大日本帝国憲法 7 法典整備・司法制度 8 統帥権・戒厳（令） 9 地方官官制 10 自由民権運動 11 帝国議会 12 財政制度 13 教育勅語 14 国家神道 15 社会主義運動 16 大正デモクラシー 17 天皇機関説 18 天皇制ファシズム 19 統制経済 20 まとめ

成績評価の方法

受講生と相談の上で、以下のいずれかの方式によって単位を認定します。
A方式（レポートによる単位認定）～年4回の課題報告を提出してもらい成績を評価します。レポート作成を通して、読解力と書く能力を涵養します。
B方式（試験による単位認定）～中間、期末試験により評価します。
※なお、B方式のみ追・再試験を実施します。

教科書

大塚桂『明治国家の基本構造』（法律文化社）3300円

参考書等

大塚桂『現代国家へのアプローチ』（成文堂）3000円

その他

私の研究室は、第2研究館8階（2835）です。電話は3418-9377（直）です。

他
履修
科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語学	かた やま はる かた 片山 晴賢	経営A	4

講義のねらい

国語学というのは、日本語そのものを研究対象とする学問です。私たちが日常使用している日本語を、どのような過程を経て成立してきたのか、また、どのようなメカニズムを持っているのか、といった視点から分析していきます。

講義の内容・授業スケジュール

まず、日本語の特徴を概観し、それから、音声／音韻・文字・語彙の各方面から概説します。なお、概要は次の通りです。
・音声／音韻：どの器官を使って声をだしているのか
どのように声を作っているのか
音声をどのように表記するのか
アクセント・イントネーション・プロミネンスとは何か
・文字：漢字・ひらがな・カタカナ・ローマ字の成立と変遷
仮名遣いの諸問題
・語彙：語彙の種類とその特徴

履修上の留意点

授業には、受身でなく、自ら考え、分析し、発表するという態度で臨むこと。

成績評価の方法

筆記試験の結果／授業態度（出席）／課題の提出状況

教科書

適宜プリントを配布します。
春日正三・古瀬順一・輝博元・川口明美著『国語学概説』（双文社出版）1,800円

参考書等

その都度指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国 語 史	はぎ 原 よし お 萩 原 義 雄	経営 A	4

講義のねらい

音韻・文字・文法・語彙・敬語・文体・言語生活といった分野を常に据える形態で、古代から現代までの“ことばの歴史”を現代人の眼で、しかと見据えていくことを目的としています。そのなかで、古代から現代までに伝わる国語資料についての現状の把握が第一となります。そして、どう時代区分されているのかを知りましょう。そのうえで、將來どのように国語研究として重要性を持ち、どのように発展していくかを認識していただきます。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1回の講義内容 『古事記』（国宝真福寺本）&最初に情報センターの使用手続きについて、再度説明
- 第2回の講義内容 『日本書紀』「卷子本、東洋文庫所蔵の巻第廿四・皇極期の参照画像写真」
- 第3回の講義内容 『万葉集』について（現存『万葉集』の最善本の内容、「万葉仮名」という文字表記）
- 第4回の講義内容 06. 天女幻想『竹取物語』（32頁）
- 第5回の講義内容 『伊勢物語』（書名・作者そしてこの作品構成、真字本『伊勢物語』、大正時代に吉井作竹下夢二絵『新譯絵入伊勢物語』）について
- 第6回の講義内容 『土左日記』（爲家本と定家本との異なり）について
- 第7回の講義内容 『源氏物語』（人物系図・京大付属図書館蔵中院本『源氏物語』漢字の頻度を考察）
- 第8回の講義内容 『大鏡』について
- 第9回の講義内容 『方丈記』鴨長明の自筆本についてその表記形式及び内容について
- 第10回の講義内容 『平家物語』について
- 第11回の講義内容 鎌倉時代の『吾妻鏡』について（源頼朝・頼家・実朝そして北条政子とその一族）
- 第12回の講義内容 夏季課題の取扱いについて説明しました。
- 第13回の講義内容 夏季課題の提出日。
- 第14回の講義内容 『小倉百人一首』について
後期講義に向けてその方向性と準備として、どのような作品を考察したいのかを「掲示板」へ書込みすることを指示。これに基づき、後期作品の選択に入ります。
- 第15回の講義内容 休講
- 第16回の講義内容 『正法眼蔵』山は是れ山 水是水。〔山水経〕
- 第17回の講義内容 『蒙古襲来絵詞』について
- 第18回の講義内容 『徒然草』について
- 第19回の講義内容 35. 『義経記』判官びいき。〔192頁〕
- 第20回の講義内容 乱世庶民の夢『御伽草子』浦島太郎（浦島伝説・浦島太郎伝説の謎）・ものくさ太郎・鉢かづき・酒吞童子・一寸法師、一寸法師
- 第21回の講義内容 江戸上方 井原西鶴 元禄の英雄『好色一代男』
- 第22回の講義内容 48. 松尾芭蕉『奥の細道』風雅のこゝろ。〔260頁〕。
- 第23回の講義内容 庶民のサロン『浮世風呂』〔362頁〕
- 第24回の講義内容 69. 勧善懲悪『南総里見八犬伝』
- 第25回の講義内容 近代への架け橋『航米日録』 について

履修上の留意点

また、短期大学国文学掲示板のご利用を期待します。皆様方の声と管理担当者である萩原の考えや日程をここに反映させて、学習支援及び学習意欲の向上をめざすことが本来の目的です。ここに記載された内容は、すべてこちらで管理運営しています。今後、この授業内・外を問わず、この書き込みを通じて授業評価にも大きく反映させていきますのでご承知願います。

成績評価の方法

前期と後期それぞれにレポート課題を用意します。これを紙出し&FD（ネットへの添付資料）にして、最終締め切り日に提出します。
提出の際には、提出の年月日の記入。学籍番号。氏名を必ずファイル名と内容資料に必ず添えてください。

教科書

インターネット公開型テキスト“国語史”[URL <http://www.komazawa-u.ac.jp/~hagi>]

参考書等

『講座国語史』第1巻から第6巻（大修館）
『日本語の歴史』全7巻（平凡社）
紀田順一郎著作集第4巻『日本の書物』

履修科目
他学部

科目名	担当者名	配当学科	単 位
女性史	高嶋 めぐみ	経営A	4

講義のねらい

日本古代・中世・近世・近代・現代の家族・婚姻の具体像を探りながら女性の生き方を考える。また新聞などの記事・統計をもとに、現在わきあがっている女性周辺のさまざまな問題について考察していく。

講義の内容・授業スケジュール

時代を①原始古代②中世③近世④近代⑤現代に分け、各時代の社会、家族、そして女性の社会的地位の変遷などについて実態面および法的側面などから講述していく。

履修上の留意点

講義に集中すること。他人を思いやり、迷惑をかけること。

成績評価の方法

総合評価（①出席、受講の状況②レポートまたは試験）

教科書

特に指定はしない。

参考書等

講義内容と関連して、適宜指示する予定。

その他

ビデオ・OHP など適宜使用する予定。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
文化概論	菌部 幹生・井上 優 佐藤 憲昭・町田 尚子 末藤美津子・内藤 寿子 藤田 和美	経営A	4

講義のねらい

「タブー」(taboo) を共通のテーマとして、下記のような日程と担当者によって、それぞれの専門とする立場からアプローチがなされる。

講義の内容・授業スケジュール

以下に示す日程にしたがって授業を進める。講義の内容をはじめとするその他の詳しいことからは、各担当者により指示があるのでそれにしたがうこと。
本年度の日程と内容は以下の通りである。

- ◎4月16日（水） オリエンテーション 菌部幹生
- ① 近代文学とタブー 《4/23、5/7、5/14、5/21（4回）》 井上優
- ② タブーと宗教 《5/28、6/4、6/11、6/18（4回）》 佐藤憲昭
- ③ 言語とタブー 《6/25、7/2、7/9、7/16（4回）》 町田尚子
- ④ 教育におけるタブー 《9/17、9/24、10/1、10/8（4回）》 末藤美津子
- ⑤ メディアとタブー 《10/22、10/29、11/5（3回）》 内藤寿子
- ⑥ 慣習のタブー 《11/12、11/19、11/26、12/3（4回）》 藤田和美
- ◎12月10日 まとめ 菌部幹生
- ◎1月8日 レポート提出（資料室） 菌部幹生

履修上の留意点

最初の授業時（4/16）にオリエンテーションを行うので、受講者は必ず出席すること。

成績評価の方法

レポート及び出席状況等により評価する。

教科書

各担当者より指示する。

参考書等

各担当者より指示する。

他
学
部
履
修
科
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学特殊研究	小林 治・鈴木 裕子 園部 幹生・松田 直行	経営A	4

講義のねらい

「音」をテーマとして、下記の日程と担当者によりそれぞれの立場からの考察がなされる。

講義の内容・授業スケジュール

各担当者から、その都度指示があるので、それに従うこと。本年度の内容と日程及び担当者は、次の通りである。

- ① 近現代文学の中の音と音楽 (4/10, 4/17, 4/24, 5/8, 5/15, 5/22, 5/29) 小林治
- ② 説話文学における音 (6/5, 6/12, 6/19, 6/26, 7/3, 7/10) 園部幹生
- ③ 歌の近代史～J-POPへの道程 (9/18, 9/25, 10/2, 10/9, 10/16, 10/23, 10/30) 松田直行
- ④ 王朝人が聞いた「音」—古代の物語と日記から— (11/6, 11/13, 11/20, 11/27, 12/4, 12/11) 鈴木裕子

履修上の留意点

最初の授業時(4/10)にオリエンテーションを行うので、受講生は必ず出席すること。

成績評価の方法

レポートおよび出席状況等により総合的に評価する。

教科書

担当者により指示する。

参考書等

授業中に指示する。

他履修科目
学部

科目名	担当者名	配当学科	単位
古典戯曲演劇	岡田 万里子	経営A	4

講義のねらい

演劇を実演された戯曲であると坪内逍遙は定義したが、実際にわれわれが演劇と考える作品には戯曲に根ざしたこの演劇観で把握しきれない面があるのではないだろうか。今日古典的な演劇のジャンルにあげられる能・狂言や歌舞伎、人形浄瑠璃には、出演者の極度な身体表現あるいは舞台上の仕掛けや象徴性、観客と一体化した場の創造などが見られ、これらは「古典」「戯曲」「演劇」といった近代的概念では理解しづらいものである。「戯曲」を超越したこのような表現こそが近代以前の演劇を支配していたともいえよう。本講義では主として歌舞伎を扱う。当然のことながら、歌舞伎を通して、「演劇」とは何か、「戯曲」とは何か、「古典」「伝統」といった問題について、あらためて考えていくことになるだろう。

講義の内容・授業スケジュール

あることがらを考える際、その歴史をひもとくことはひとつの有効な方法である。歌舞伎は、今日では日本を代表する文化・技術として、もっとも高尚な趣味のひとつに数えられているとあってよい。しかし、多くの芸術活動が既存の芸術への否定と新しさへの混沌とした欲求から生まれるように、歌舞伎もまたその例にもれない面が見られる。前期は、歌舞伎という演劇ジャンルの誕生から今日にいたる変遷を学び、後期は演技、演出など特徴と考えられていることからついてとりあげる。

履修上の留意点

履修前の歌舞伎に関する予備知識は問わないが、履修後は、テキストをはじめ教場で紹介する文献を設定された期限までに読むことを義務づける。また、導入的なビデオ鑑賞も行なうが、実際に劇場へ足を運び、レポートを提出することも求められる。このほか、自主的にかつ貪欲に古典芸能を鑑賞する意欲のある学生の履修が望ましい。

成績評価の方法

期末レポートと出席による。

教科書

古井戸秀夫、河野多恵子『歌舞伎』(新潮古典文学アルバム 22) (新潮社) 1,300円

参考書等

教場において指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
メディアと表現	まつ だ なお ゆき 松 田 直 行	経営A	4

講義のねらい

マルチメディア社会における多様な表現形態の全体像を俯瞰するとともに、実際の表現現場における仕事の具体性に触れることによって、メディアと表現の現在を多角的に考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

担当者からのガイダンスと総論の講義のあと、現在様々なメディアと表現にかかわる分野で、実際に仕事をされている方々を毎回ゲストとしてお招きし、現場の具体的な状況についてのお話をうかがう特殊形態授業となる。ゲストはまだ未定だが、1人1回から3回で交代し、テレビ局、広告代理店、出版社、通信会社、映画・演劇・音楽関係、俳優ほか、できる限り多様な職種の方々をお招きしたい。

成績評価の方法

レポートの提出と出席状況により評価する。

教科書

指定しない。

参考書等

教場で適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
時事英語	おか もと まこと 岡 本 誠	経営A	4

講義のねらい

「時事英語」なる英語があるわけではない。英語でしいて言えば"Current English"ということになるか。文学作品でお目にかかるような構成や文体のものではないわけである。メディアの英語と考えてよい。

小説やドラマには起承転結というか、順を追ってプロットが展開され、終りに近くなってクライマックスに達する。時事英語では、これとは逆に、最初に話の内容を全部さらけ出し、重要な点から説明していく。この最初の部分をleadという。

かくして、内容の構成や文体の点で新聞・雑誌・放送といったメディアで接する英語についてはそれなりの認識が必要となる。本講義ではそういった分野の英語にふれることをねらいとする。

講義の内容・
授業スケジュール

その日の朝のアメリカからの短波放送のニュースを聴き、そのニュースキャスターの原稿を作ってみる。インターネットも利用した内外の新聞やNewsweekなどの記事も併用する。受講する諸君はこの分野の語法である journalese に親しみ、新聞英語ぐらいは読み慣れるようにしてほしい。

履修上の留意点

世界の政治・経済の動きに注意を払ってほしい。それが社会の事象に対して問題意識をもつことに通ずる。こういう態度はいよいよ社会人になるときにモノを言う。講義中にケータイを鳴らした者は減点。

成績評価の方法

受講中の発表。小テスト。出席情況。

教科書

特定の教科書は使用しない。

参考書等

『時事英語講座』（研究社）

履修科目
他学部

IV 「日本語」・「日本事情」科目

「日本語」
「日本事情」

「日本事情」
「日本語」

IV. 「日本語」・「日本事情」科目

(対象：外国人留学生・海外帰国子女)

《日本語科目》

日 本 語	I	〈佐野典子〉	429
日 本 語	I	〈多田羅哲子〉	429
日 本 語	II	〈佐野典子〉	429
日 本 語	II	〈多田羅哲子〉	430
日 本 語	III	〈多田羅哲子〉	430
日 本 語	III	〈湯村礼子〉	431
日 本 語	IV	〈石川守〉	431
日 本 語	IV	〈湯村礼子〉	431
日 本 語	V	〈石川守〉	432
日 本 語	V	〈多田羅哲子〉	432
日 本 語	VI	〈石川守〉	433
日 本 語	VI	〈多田羅哲子〉	433

《日本事情科目》

日本事情 I	〔地理〕 (前期)	〈須山 聡〉	433
日本事情 II	〔自然〕 (前期)	〈清水 善和〉	434
日本事情 III	〔歴史〕 (後期)	〈宮本 由紀子〉	435
日本事情 IV	〔思想〕 (前期)	〈赤羽 由規子〉	435
日本事情 V	〔社会〕 (後期)	〈李 妍 炎〉	436
日本事情 VI	〔政治・法律〕 (後期)	〈中野 裕二〉	437
日本事情 VII	〔文学〕 (後期)	〈奥原 淳子〉	437
日本事情 VIII	〔文化・芸術〕 (後期)	〈赤羽 由規子〉	438
日本事情 IX	〔経済〕 (前期)	〈吉田 敬一〉	438
日本事情 X	〔経営〕 (前期)	〈鈴木 幸毅〉	438

「日本事情」
「日本語」

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 I	佐野典子	全学科	2

講義のねらい

本講義は、留学生を対象とし、日本語の聴解力、及び読解力の向上を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、テレビドラマのVTRを教材に、実際に話される日本語がどのようなものか学習し、同時に、書き言葉、話し言葉の違いを把握する。

履修上の留意点

教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法

成績は、提出物（毎週）、小試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 I	多田羅哲子	全学科	2

講義のねらい

常用漢字の読み方を中心に日本語の知識を強化する。
漢字の正確な読み書き、語彙の様々な意味・使い方、文法、表現等の練習を通して日本での生活および専門教科の学習に役立つ日本語の知識を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

- ・常用漢字を正確に読めるようにする。そのためには読み方のルールも知る。
- ・語句の基本的意味・用法とともに学生生活に必要なと思われる派生的意味や使い方も練習する。
- ・助詞・機能語・慣用表現・文法事項等の復習もする。

成績評価の方法

平常点と期末試験の成績で評価する。

教科書

プリント教材（常用漢字を基本とした語彙集、および文系教科の概論、入門書、新聞等から抜粋した例文集）を配布する。

「日本語
日本事情」

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 II	佐野典子	全学科	2

講義のねらい

本講義は、留学生を対象とし、日本語のみならず、広く日本文化の把握を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業は、前期は、日本の映画を中心に、日本語を勉強する。後期は、同じテーマを持った、外国の映画との、比較を通して、日本文化の特質を探る。

履修上の留意点

教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法

成績は、提出物（毎週）、小試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅱ	多田羅 哲子 <small>たたら あきこ</small>	全学科	2

講義のねらい

- 話すことを中心に日本語の運用能力を養う。
- 事実の説明や、スピーチ、質疑応答、討論等を通して、正しく適切な表現を用いて日本語が自由に話せるようになることを目指す。
- 発音、アクセント、イントネーション等、自分の日本語を自分で見直し矯正する習慣をつける。
- あわせて書く練習もする。

講義の内容・授業スケジュール

- 発音アクセントの基礎練習、朗読練習等を行う。
- 読んだこと、聞いた内容を自分の言葉で説明したり、それに対する自分の考えを述べる練習をする。
- スピーチをし、その内容について質疑応答、意見交換、討論等を行う。
- ディベートを通して適切な表現で自己主張したり、相手を説得する練習をする。
- 話したことを文章にまとめる。
- テープを聞き自分の日本語を意識し矯正する。

履修上の留意点

積極的に授業活動に参加し、提出物は必ず提出すること。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教科書

必要に応じてコピーを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅲ	多田羅 哲子 <small>たたら あきこ</small>	全学科	2

講義のねらい

- 聴きとることを中心に日本語の総合的能力を養う。
- 話題になっていることについて生の日本語を通じて深く理解し、また的確に表現できるようになることを目指す。
- 一つのテーマについて聴きとる（見る）・読む・話す・書く活動を通じてバランスのとれた日本語の力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

- 今話題になっているテーマについてビデオを見たり、本・新聞・雑誌などの文章を読んで内容を把握する。
- その内容を説明したり、それについて自分の考えを述べたり討論したりする。
- また、それらを文章に表現する練習もする。

履修上の留意点

必ず出席し、授業に積極的に参加すること。

成績評価の方法

平常点、つまり授業中の発言や提出物を重視する。

教科書

ビデオを使用。プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日 本 語 Ⅲ	湯 村 礼 子	全学科	2

講義のねらい

これまで修得してきた日本語能力をさらに強化し、文献を自分で調べながら読み、理解できるようにする。さらに、文献を通して、考え、自分の意見を持ち、発表・説明ができるようになることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

新聞・雑誌・文学作品・専門書などから教材を選び、読み進める。読んだ後に、意見を出し合ったり、討論を行ったりし、さらに認識を深め、最後に小レポートを提出してもらう。後期には、各自分担を決めて調べたり、資料を収集したりしての発表も行なう。

履修上の留意点

授業活動を重視するので、当然、毎時間の出席を原則とする。

成績評価の方法

試験（漢字・語彙テスト etc）、内容把握小レポート、授業での発表、その他の授業活動（発言、他の人の意見を良く聴くこと・授業態度 etc）を総合的に評価する。

教 科 書

授業中にプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日 本 語 Ⅳ	石 川 守	全学科	2

講義のねらい

日本語の中上級の文型、表現、会話の表現を学ぶことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

1. 形式名詞を中心とした表現。
2. 最近よく使われる会話文型を分析する。
3. 会話特有の表現について学ぶ。

履修上の留意点

受身の立場ではなく、できるだけ発言することが望ましい。

成績評価の方法

授業へのとりくみと期末試験等で総合的に評価する。特に出席は重視。

教 科 書

授業中に配布する。

参 考 書 等

特になし。

「日本語」
「日本事情」

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日 本 語 Ⅳ	湯 村 礼 子	全学科	2

講義のねらい

書くことを中心に授業を進める。日常生活、大学生活に必要な文章力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

文・段落・文章の書き方、文章の種類などについて講義し、実践し学生に書いてもらう。書いたものについて再度見なおし進めていく。

履修上の留意点

講義・授業中の実践活動が重要なので、毎時間の出席を原則とする。

成績評価の方法

作文・レポートなど（5回程度）
授業活動（発言、授業態度、授業中の提出物 etc）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 V	いし かわ まもる 石 川 守	全学科	2

講義のねらい

日本語の「基礎文法」についてより深く理解するために詳しく分析し、そこに潜む日本語文法の特徴を考え、ひいては話し、聞き、書き、読む際により正確に深く日本語が理解できるようになることを目指したい。したがって、基礎的な文法に特に自信のない学生に受講してもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、テキスト「日本語基礎文法」を使って、そこに出てくる項目を中心に、ともに考え分析しながら進めていきたい。始めは、初級レベルから始め、時間が許せば中級レベルのものも分析してみたい。

履修上の留意点

扱う学習項目は主に初級文法であるが、文法的な問題は基本的なものほど難しく、また深く掘り下げて分析して行くので、内容は単なる初級であると考えないでもらいたい。

成績評価の方法

成績評価は、筆記試験と平常点（出席、授業への参加度）の二つで評価する。

教 科 書

教材は、授業中にプリントを配布する。

参 考 書 等

特になし

そ の 他

授業は講義形式ではなく、常に教師から学生に質問をする形で行なっていく。

「日本事情」
「日本語」

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 V	た たら あき こ 多田羅 哲 子	全学科	2

講義のねらい

- ・読むことを中心に話す力、聴解力、作文力など日本語の総合的な能力を高める。
- ・現在マスコミ等でよく使われている表現、外来語等の語彙などを知る。

講義の内容・授業スケジュール

本・新聞・雑誌等の生教材を読んで、今話題になっていることについて、語彙・表現・文法事項などを確認する。
テーマについて話し合ったり書いたりする。

履修上の留意点

授業中の活動が大切なので必ず出席すること。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教 科 書

プリントを配布、ビデオも使用。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 VI	いし ^{かわ} 石川 ^{まもる} 守	全学科	2

講義の内容・
授業スケジュール

日本語Vで学習した内容は引き続き、更にその残りの文法と中上級全般とのかかわりを中心に講義を進めていく。

主たる項目は以下の通りである。

- ・目的の表現
- ・試みの表現
- ・条件の表現 「と」「たら」「なら」
- ・原因・理由の表現
- ・逆接の表現
- ・依頼の表現
- ・使役の表現と用法
- ・受身の表現
- ・自動詞と他動詞
- ・使役の受身
- ・～てしまうの用法

その他

順番は必ずしも上の通りとはならない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 VI	な ^{たら} 多田羅 ^{あき} 哲子	全学科	2

講義のねらい

読解能力を向上させる。

文章を読むことを通して、文法や適切な語彙の使い方を確かめ、表現力を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

小説・エッセイなどを中心に読み、そこに出てくる表現、語彙の使い方、文法などを確かめ、正しくより適切に使えるよう練習する。

履修上の留意点

授業に積極的に参加すること。

成績評価の方法

平常点と筆記試験

教科書

プリントを配布。

「日本語」
「日本事情」

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情 I (前期) 〔地理〕	す ^{やま} 須山 ^{さとし} 聡	全学科	2

講義のねらい

日本のさまざまな地域についての知識を深め、日本の地域的な特徴について考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

授業はゼミ形式で進める。受講者で日本の特定地域（都道府県あるいは都市）を分担し、それぞれに地域について毎回2～3人に発表してもらい、それをもとに議論する。

成績評価の方法

出席と発表内容、および議論への参加状況によって評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本事情Ⅱ（前期） 〔自然〕	しみず よし かず 清水 善 和	全学科	2

講義のねらい

日本はアジア大陸の東端に位置する島国であり、亜寒帯の北海道から温帯の本州を通り亜熱帯の沖縄まで、約3,000kmの細長い国土を有している。四季の季節変化が明瞭で梅雨や台風、日本海の多雪のような独特な気象現象もみられる。また、37万平方キロメートルの狭い国土の中に、山脈、丘陵、河川、湖沼、平野、海岸が箱庭のように組み合わせり、多種多様な地形が形成されている。さらに、日本は複数のプレートの境界域にあたるため、世界でも有数の火山・地震地帯となっており、これらによる自然災害も多い。このような多様な自然環境を反映して、日本には独特の生物相が発達している。

本講義では日本の自然を位置、気候、地質・地形、生物の4章に分けて解説する。その際に次の3つの視点に留意する：（1）アジア全体の自然の中に日本を位置付ける、（2）現在の状態と過去の歴史とのつながりを重視する、（3）自然と日本人の生活、文化との関わりにも注目する。すなわち、できるだけ時間的、空間的に広い視野から日本の自然をとらえることにより、留学生の母国の自然とのつながりも確認できるようにしたい。なお、日本の自然破壊の歴史や自然保護のあり方等についても適宜言及する。

講義の内容・授業スケジュール

- I 章 位置
 - 1. 国土の範囲
 - 2. 行政区分
 - 3. 位置の特徴
- II 章 気候
 - 1. 世界の気候帯
 - 2. 海流
 - 3. 気候の特徴
 - 4. 気団と季節
 - 5. 台風
 - 6. 天気予報
 - 7. 生物季節
 - 8. 俳句と季節
- III 章 地質・地形
 - 1. 弧状列島
 - 2. 変動の歴史
 - 3. 多様な地形
 - 4. 火山
 - 5. 地震
- IV 章 生物
 - 1. 世界の植生帯
 - 2. 日本の植生帯
 - 3. 生物地理区
 - 4. 日本の海産生物
 - 5. 帰化種の侵入
 - 6. 自然保護の制度

履修上の留意点

なし。

成績評価の方法

レポート（2回）と出席回数に基づいて評価する。

教科書

特定の教科書はなし。

参考書等

参考書は適宜紹介する。

その他

必要な図表をまとめた補助教材のプリントを適宜配布する。講義は日本語で行い、板書には漢字も使用する。漢字にはできるだけ読みがなをつける。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本事情Ⅲ (後期) 〔歴史〕	みやもと ゆきこ 宮 本 由紀子	全学科	2

講義のねらい

日本の歴史を学ぶことで日本民族の持つ民族性を理解する手掛りとしたい。

講義の内容・
授業スケジュール

特に江戸時代に至る過程を講義し、鎖国制度の完成までを目安にする。

履修上の留意点

板書を中心とし、わかり安く楽しい講義をところがけるので、ノートを取り、理解できないところは質問するなどして疑問を残さないようにすること。

成績評価の方法

出席日数を評価の参考とし、レポートまたは筆記試験で成績の評価とする。

教 科 書

なし

参 考 書 等

その都度知らせる。

そ の 他

講義のみ

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本事情Ⅳ (前期) 〔思想〕	あか ぼ ゆきこ 赤 羽 由規子	全学科	2

講義のねらい

日本人が古くから伝承してきた民族音楽の中に、日本人の精神世界を見ていく。
民族音楽とは、古来、人々が生きていく上で、衣食住と同じように必要としてきた音楽で、それは、例えば信仰、祭り、作業、遊びなどに伴う形で存在している。ほとんどは作者不詳であり、楽譜もなく、普通の人々の間で口頭伝承されていく性質のものである。テープやビデオを用いて、実際に音楽を視聴しながら講義を進めていきたい。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

出席数、筆記試験によって採点する。

参 考 書 等

その都度知らせる。

〔日本語〕
〔日本事情〕

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅴ(後期) 〔社会〕	李 妍 炎 り けん えん	全学科	2

講義のねらい

この講義では、一般的に「日本的」「日本型」「日本らしい」と言われるような社会事象を発見し、その意味を探り、それについて理解し、検討していくことを目的とする。それによって、受講生とともに日本社会への理解を深めていく。

講義の内容・
授業スケジュール

新聞記事や映像などを素材として、受講生が「日本的」「日本型」「日本らしい」と思うようなものを選んで、授業で発表する。その発表をベースにコメントや議論を加えて授業を進めていく。大まかなテーマとスケジュールは以下のとおりである。

1. ガイダンス
2. 日本の政治 (政治家)
3. 日本の経済 (企業)
4. 日本の外交 (国際交流・国際援助)
5. 日本の教育 (学校・子育て)
6. 日本の若者
7. 日本の芸能
8. 日本の事件簿
9. 日本の事件簿
10. 日本の暮らし
11. 日本の暮らし
12. ディスカッション: 「日本的」と「日本らしい」から考える日本社会論
13. まとめ

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

平常点 (出席) とレポートによる。

教科書

特に指定しない。

参考書等

特に指定しない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅵ(後期) 〔政治・法律〕	なかのゆうじ 中野裕二	全学科	2

講義のねらい

この講義は、日本語を母語としない学生を対象にして、日本の政治制度を概観し、現在の日本政治の争点と課題を理解することを目的とする。

項目ごとにまず講義を行い、そのうえでその項目に即したテーマを設定し、受講生の間で討論をして内容の理解を深める。

講義の内容・
授業スケジュール

取り上げる項目は次のとおり。

1. 国会
2. 政党政治
3. 首相
4. 官僚
5. 地方政治
6. 政治参加

履修上の留意点

積極的に授業に参加すること。できるだけ双方向型の授業にしたいと考えている。

成績評価の方法

①出席、②質問、発言など授業への積極的参加度、③期末試験を総合的に評価する。

教科書

特定の教科書は使用しない。毎回プリントを配布するので、そのプリントに書き込むことで講義ノートを作成してもらう。

参考書等

適宜紹介する。

その他

配布するプリントの概要はKOMSYに掲載するので参照すること。

日本語
日本事情

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅶ(後期) 〔文学〕	おくはらじゅんこ 奥原淳子	全学科	2

講義のねらい

本講義は、日本語を母語としない留学生を対象に、問題発見能力の涵養と、文学・言語に対する理解を深めることを目標とします。

講義の内容・
授業スケジュール

各自がテーマを選定し、調査研究して発表する、という方法で授業を進めます。その際、内容はもちろん、言語面での問題点も共に考えていきます。

テーマは、文学作品、作家、日本語の言語項目を対象とします。

第一回の授業には、予め関心のある作品や作家、言語項目を持って出席してください。

履修上の留意点

受身でなく積極的な姿勢で臨むこと。

成績評価の方法

出席・提出物・発表・レポート

教科書

その都度指示します。

参考書等

その都度指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅷ(後期) 〔文化・芸術〕	あかばゆきこ 赤羽由規子	全学科	2

講義のねらい

いわゆる「伝統邦楽」といわれている、日本の古くからの和楽器による音楽や芝居の中に、日本人の義意識を探っていく。

また、日本の伝統音楽は、そもそもアジア諸国の音楽を学ぶことから始まり、そこから次第に日本人に合った独特のものを生み出していったのであり、更に明治以後には西洋音楽からも多くの触発を受け、戦後には「現代邦楽」を目指している。そのような過程をも合わせて見て行きたい。テープやビデオを用いて、わかりやすく講義を進めていく。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

出席数、筆記試験によって採点する。

参考書等

その都度知らせる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅸ(前期) 〔経済〕	よしだけいいち 吉田敬一	全学科	2

講義のねらい

第2次世界大戦に敗れ、廢墟の中から経済復興に挑戦し、80年代には「Japan as No. 1」と称されるに至った経済発展の秘密を、できるだけ分かりやすく説明し、留学生諸君が母国に帰った後で役に立つ経済的知識を身につけてもらうことが、この講義の目的です。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は以下の項目を柱として行ないます。

- I 日本経済入門の入門
- II 戦後日本の高度経済成長の秘密
- III 経済大国日本とバブル景気
- IV 空洞化問題に苦しむ日本

履修上の留意点

難しい経済学の子習・復習は必要ありませんが、日々の経済動向に対する鋭い感受性を磨くことが必要です。そこで受講生は、新聞やテレビの経済報道に関心を持つことが望ましい。

成績評価の方法

定期試験とレポートで評価します。また再・追試験も実施します。

教科書

本講義では教科書は使用しません。

参考書等

講義中に必要に応じて紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅹ(前期) 〔経営〕	すずきこうき 鈴木幸毅	全学科	2

講義のねらい

環境問題を取り上げ、外国の状況と比較しながら日本の特徴をとらえる。

成績評価の方法

出席を重視し、時々短いレポートの提出を求める。

教科書

教科書、参考書は、授業のはじめに指定する。

経営学科フレックスB

第 2 部 経 営 学 科

I 全 学 共 通 科 目

1 宗教教育科目

宗教教育

1. 宗教教育科目

仏教と人間	〈岩 永 正 晴〉	447
仏教と人間〔再クラス〕		
仏教と人間	〈吉 村 誠〉	447
仏教と人間〔再クラス〕		
仏教と人間〔再クラス〕	〈皆 川 広 義〉	448
仏教と人間〔再クラス〕	〈小 坂 機 融〉	449
仏教と人間〔再クラス〕	〈松 本 史 朗〉	449
仏教と人間〔再クラス〕	〈熊 本 英 人〉	450

宗教教育

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	岩永正晴	経営B1必	4
仏教と人間〔再クラス〕		全学科2・3・4年	

講義のねらい

曹洞宗によって創立された駒澤大学で学ぶ学生諸君に仏教への関心を持ってもらうことが本講義の目的です。しかし、煩雑な儀礼や慣例・漢文などの語学・特殊な用語・独特の思考法・多量の文献など、諸君から仏教を遠ざける要因は少なくないでしょう。そこで本講義では、その要因のひとつ、仏教で用いる用語の解説に主眼を置きながら、仏教の考え方を紹介していきます。宗教にまつわる問題が取り沙汰される昨今、ひとえに熱狂したり嫌ったりするのではなく、仏教について冷静に考察するための材料が提供できれば、と考えています。

講義の内容・授業スケジュール

原則として毎回ひとつの用語をテーマに定め、解説する。

履修上の留意点

成績評価に際しては、平常点など補助的な評価材料を一切用いないので注意して貰いたい。

成績評価の方法

学年末の試験のみによって成績評価を行う。レポート、出席点等はない。

教科書

教科書は未定。但し千円程度のものを用いる予定で、初回の授業において指示する。

参考書等

平川彰著『仏教入門』（春秋社刊）
古田紹欽訳注『正法眼蔵随聞記』（角川文庫）。
その他は講義の中で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	吉村誠	経営B1必	4
仏教と人間〔再クラス〕		全学科2・3・4年	

講義のねらい

仏教の礼拝対象である仏像には、信者でなくともその美に心打たれることがある。そこにはいかなる思いが託されているのだろうか。また寺院には、神秘的なマンダラを前に呪文を唱え、あるいは清寂たる庭を背に黙座する人がいる。それらはいったい何を象徴しているのだろうか。本講義では、代表的な仏教芸術を手がかりに、美に託された思想の源流を求めて、遠くブッダの時代へとさかのぼる。その思想を未来へと投じたとき、私たちの人生や来るべき世界はどのように照らされるのだろうか。

講義の内容・授業スケジュール

前期は仏教のイコノロジーについて。仏・菩薩への信仰を分析し、その背後にある思想を読み取ってゆく。後期は仏教のシンボリズムについて。密教と禅の象徴形式について考察し、それらの意味を読み解いてゆきたい。年間を通じて、日本人の人間や社会に対する見方が、仏教のそれに裏打ちされていることを発見するであろう。さらに日本人が培ってきた感性や思惟が、これからの生活や社会に何らかの意味を持つのか否か、持つとすればどのようなありかたにおいてか、という問題についても考えをめぐらせたい。

履修上の留意点

必修科目であるが、この機会を前向きにとらえ、日本の文化史・美術史の教養として、宗教学・仏教学の入門としてなど、自分なりの目標を立てて授業に臨んでもらいたい。出席励行。

成績評価の方法

出席状況とレポートによる総合評価。

教科書

プリントを使用する。

参考書等

授業中に随時紹介する。

その他

授業は講義形式。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間 〔再クラス〕	みな がわ ひろ よし 皆 川 広 義	全学科2・3・4年	4

講義のねらい

仏教の開祖・釈尊（おしゃかさま）の生涯と教えを学ぶことによって、現代に生きる私たちの人間としての道を学んでゆきたい。

釈尊は、訳2500年まえ、インドのヒマラヤ南麓にあった釈迦国の皇太子として生まれた。彼は、青年時代までは幸せな人生を歩んでいたが、ある日身近にいる人々の老病死の苦悩をみて、自分もいつかはあのような一大事に直面することを自覚させられた。

釈尊は、その生死の苦悩から解脱して、安心と生きがいを求めて、沙門という宗教者になられた。沙門は、樹下石上に生活し、三衣一鉢しか所有しないで、道を求める宗教者であった。彼は幸いにも六年の修行の後に、菩提樹下で座禅瞑想中に悟りを得て、生死の苦悩からの解脱道を発見せられた。人間が、なんのために生まれ、成長し、そして老い、病にたおれ、死してゆくのかという人生の目的をも悟られたのである。

釈尊は、悟りを得てから45年間、八十歳で亡くなられるまで、自分が悟り発見した生死の苦悩からの解脱道と人生の目的とを、多くの苦悩に打ちひしがれている人々に伝道されたのである。

本学は、曹洞宗がこの釈尊の教えにもとづいて設立した大学であり、この『仏教と人間』の講義を通して、各自がおのれの人間としての道を学びとっていただきたい。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに、人間と宗教について、社会学、心理学、宗教学、仏教などをふまえて、わかりやすく語りたい。

次に、釈尊の生涯と教えを考察し、彼の宗教の成立とその教えへの世界へのひろがりについて述べる。

結びに、仏教の教えを通して、私たちがなんのために生まれ、成長し、老病死してゆくのか、つまり、人生の目的について、各自が自分の問題として明らかにできるようにしてゆきたい。

I 人間と宗教

- 1 現代人の意識と行動
- 2 世界の宗教状況
- 3 我国の宗教と問題点
- 4 有所得の宗教と無所得の宗教
- 5 人間存在の有限性 生老病死

II 仏教 仏教の開祖 釈尊の生涯と教え

- 1 釈尊の国インドと時代
- 2 誕生と成長
- 3 出家求道 沙門の道
- 4 菩提樹下の悟り 自己の真実 生命
- 5 初めての説法 釈尊の教え ①縁起説 ②血諦説
- 6 45年の伝道
- 7 沙羅双樹下の入滅
- 8 弟子たちによる仏教の誕生
- 9 釈尊仏教の世界へのひろがり

III 人生の目的

私たちは、なんのために生まれ、成長し、老い、病にたおれ、そして死してゆくのか。

履修上の留意点

積極的に聴講し、学習することを希望する。

宗教教育科目の「仏教と人間」は、本学がほこりうる講座であり、この授業を通して他大学ではなかなかし得ない人間の陶冶と人格の完成をなすとげて、豊かな人生をつくりだしていただきたい。

成績評価の方法

聴講態度（出席率など）、レポート、年度末の定期試験などによって、総合的に評価する。

参 考 書 等

奈良康明『仏教と人間』（東京書籍）1,400円

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間 〔再クラス〕	小坂機融 <small>こ さが き ゆう</small>	全学科2・3・4年	4

講義のねらい

当授業は、大学教育を実施するに当たって、先づ本学の建学の理念である仏教思想による知性と慈悲とを兼ね備えた人間の育成を目指し、仏教的情操を基調として、広い知識と専門の学術とを修得して行くという本学独自の講座である。

仏教は、人間および世界に対する深い洞察からもたらされた思想信仰である。偏りのない智慧の獲得をもって一切を正しく認識判断して、おのおのの実人生を虚妄なものではなく、確実なものとして生きる道を示して来た。仏教は、伝統を有しているが、決して古くさいものではなく、常に現実の事として響くものであるから、これからの諸君の学業と人生に生かされることを切望する。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 現代文明社会の明と暗
2. 現代文明の理念を吟味する
3. 科学技術の飽なき進歩への信仰と危惧
4. 人間の自然認識とその問題点
5. 人間—その成りたちと変貌—
6. 本能と自我とエゴイズム
7. 仏教における人間観・世界観・自然観
8. 仏教による認識と行動
9. 仏教を基盤とする文化・社会・政治・経済等
10. 逼塞しない人生

履修上の留意点

この講座の核は、誰れもがそらすことのできない課題であるので自身で真剣に考えることに努めてほしい。

成績評価の方法

授業の伝達度を確認するため、毎時間その日の問題を提示して解答して貰うことと、期末試験・出席状況等によって評価する。

教科書

講義形式、出来れば1～2回坐禅実習。

参考書等

松本史朗著『仏教への道』、奈良康明著『仏教と人間』（共に東京書籍）

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間 〔再クラス〕	松本史朗 <small>まつ もと し ろう</small>	全学科2・3・4年	4

講義のねらい

本学の建学の理念である「仏教の教義と曹洞宗立宗の精神」を学生諸君に理解してもらうことが、この講義のねらいである。従って、仏教とは何か、それは人生において如何なる意味をもつのかを、分かりやすく説明したい。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は、仏教成立以前のインド思想から始めて、仏教の開祖である釈尊の思想、さらに大乘物教の教典の思想、及び、日本仏教の思想の説明へと進みたい。

成績評価の方法

年度末の試験によって、成績を評価する。

教科書

松本史朗『仏教への道』（東京書籍）1,400円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間 〔再クラス〕	くまもと えい にん 熊 本 英 人	全学科2・3・4年	4

講義のねらい

日本における宗教とは何か、仏教を中心に考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

仏教史を概観したうえで、日本の仏教および宗教の現在を考える。
 仏教に限らず、宗教は、社会の変容と相互関係をもって展開してきた。ブッダの伝記や仏教史上の事件、人物などのなかから、現代につながる話題を取り上げて解説していく。宗教に対する無関心、無自覚の持つ問題を理解してもらいたい。

成績評価の方法

年度末の筆記試験。適宜レポートを課す。

教 科 書

適宜プリントで配布する。

参 考 書 等

講義の中で随時紹介する。

2 教養教育科目

授業時間表の区分「A」の科目を履修する場合は、
フレックス A の頁を参照してください。(→P. 25)

教養教育

2. 教養教育科目

(1) 人文分野

宗教学〔聖と俗〕	菅原 壽清	457
宗教学〔比較宗教文化〕	田中 かの子	458
文学(1)(3)〔日本文学「古典」〕	合瀬 純華	458
文学(2)〔日本文学「近代」〕	保明 陽子	459
歴史学(1)〔日本近代史〕	林 彰	459
歴史学(2)〔中国古代史〕	小林 惣八	460
歴史学(3)〔中国古代理想史〕	小林 惣八	460
哲学〔西洋思想の源流〕	河谷 淳	460
哲学〔近代の人間観と世界観〕	伊古田 理	461
哲学〔現代文明と人間〕	鈴木 聡	461
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	伊古田 理	462
論理学〔科学方法論と現代論理学〕	麻生 享志	462
倫理学〔現代と倫理〕	古田 知章	463
倫理学〔人生と倫理〕	末木 恭彦	463
教育の思想	伊藤 茂樹	464
教育と社会	伊藤 茂樹	464
発達と学習の心理学	川田 三夫	465
カリキュラムと学習	川田 三夫	466

(2) 社会分野

法学・憲法〔法と権利〕	〈鷄徳啓登〉	467
法学・憲法〔法と社会生活〕	〈長谷川日出世〉	467
社会科学論〔社会認識の思想〕	〈枝松正行〉	468
社会学〔現代社会を考える〕	〈呉炳三〉	469
社会学〔現代文化を考える〕	〈橋爪敏〉	469
統計学〔社会現象の統計的決定〕	〈新行内康慈〉	470
文化人類学〔文化と人間〕	〈川上新二〉	470
文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕	〈杉井純一〉	471
政治学〔政治システムと政治参加〕	〈村井良太〉	472
政治学〔国際社会と日本〕	〈山村恒雄〉	472

(3) 自然分野

心理学(1)〔ヒューマン・ウォッチング〕	〈鈴木 順一〉	473
心理学(2)〔人間関係を考える〕	〈鈴木 順一〉	473
生物学〔生態と進化〕	〈清水 善和〉	474
生物学〔生物と環境〕	〈中村 敏枝〉	476
地球科学〔地球環境の現在・過去・未来〕	〈山縣 毅〉	477
地球科学〔変動帯としての日本列島〕	〈藤井 享〉	478
自然環境論〔宇宙から見た地球環境〕	〈篠原 正雄〉	479
自然環境論〔環境と保全〕	〈山縣 毅〉	480
情報数学〔情報と論理〕	〈小沢 誠〉	480

教養教育

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 〔聖と俗〕	すが 原 壽 清 すが わら とし きよ	経営B選 14以降入学生/経営A選	4

講義のねらい

人間の精神世界の根源にあって人びとの生活を支える宗教文化の理解は、現代社会においても不可欠であると思われます。そこで、本講義では「聖と俗」というテーマで、人びとの暮らしと宗教について、その宗教的営みを宗教人類学の視点からとらえてみたいと考えております。授業は講義形式とし、前半は宗教学・宗教人類学についての基礎的な問題を、後半は聖と俗を手がかりに、日本人の生死観、東南アジアや中国雲南など、具体的な地域の事例を基にしながら、現代社会との関わりや人びとの暮らしと宗教について、順次考えてみたいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

- 〈宗教人類学入門〉
- 1、宗教と宗教人類学（宗教をとらえる視点）
 - 2、宗教人類学の研究領域（多様なアプローチ）
〈宗教の多様性〉
 - 3、さまざまな宗教形態（その多様な形態）
 - 4、宗教の分類方法（現代の分類方法）
〈聖なるコスモロジー〉
 - 5、聖と俗
 - 6、東南アジア・中国雲南の人びとの暮らしと宗教
 - 7、シャーマニズム
 - 8、日本人の生死観

成績評価の方法

試験＋出席点＋レポート点（詳細は、講義の時説明）

教科書

指定なし。

参考書等

『宗教学ハンドブック』（世界書院）

その他

ビデオ・スライドなども使用。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 〔比較宗教文化〕	たなか のこ 田 中 かのこ	経営B選 14以降入学生/経営A選	4

講義のねらい

「～教」という名称に慣れていると、あたかもそれが視えない壁をなして他宗教との境界をつくっているかのように思えてくる。けれども諸宗教のおこなわれている現地に行ってみると、そこには「～教徒」である以前の、「人間」として限りある生命（いのち）をまっとうするための様々な生き方がみられ、宗教の多様性よりもはるかに個性豊かで、意外性に富んでいる。宗教文化は、そのような「人間」の諸相を信仰生活によりまとめあげたものであるが、共に生きる信仰の異なる人々との交流をとおして伝播する思想の影響力は測りがたく、実際の「～教」というのは、世界地図では表示できない範囲と次元において展開してゆくものである。本講は、このように融通性のある宗教観にもとづき、世界の主要な宗教文化を誤解や偏見を廃した正しい観点から理解することをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

現代世界に生きつづける諸宗教のなかから、講義担当者自身の現地調査と人々との交流経験をとともなうゾロアスター教、ユダヤ教、キリスト教、イスラーム、シーク教、ヒンドゥー教、ジャイナ教、仏教を選び、それぞれの歴史・思想・文化、および、相互の歴史的連関について解説する。その予備知識として、前期の初めには、比較宗教学の基本的立場、宗教多元主義の問題点、諸宗教を比較する方法などを講ずる。

比較宗教文化の具体例としては、仏教美術とキリスト教美術を取り上げる。

履修上の留意点

生きた諸宗教の実相を垣間見るため、祈りの声や聖歌（録音テープ）を聴き、スライドを鑑賞することを重視する。

成績評価の方法

出席状況、夏休みのレポート（B5版に収まる短文のなかで自己表現できるような課題）、各自の創意工夫を「答え」とする論述式の学年末試験（たんなる答案であるにとどまらず、在学中の貴重な時間を費やした一つの作品となるような問いをたてる予定）。

教科書

プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文 学 (1)(3)〔日本文学「古典」〕	おほせ すみか 合 瀬 純 華	経営B選 14以降入学生/経営A選	4

講義のねらい

平賀源内といえばエレキテルの発明家であり、本草学者、鉱山開発、殺人の末の獄死など、その破天荒な生涯から奇人変人として知られている。だが、彼の文学作品は当時の江戸の戯作者たちに影響を与え、「江戸戯作の祖」として評価されている。日本の古典文学史においては源内が生きた18世紀後半は、文化の中心が上方から江戸へ移行し、洒落本や黄表紙など多様な都市文芸が開花する時期でもある。以上の観点から、この講義では平賀源内の文学と江戸中期の戯作を鑑賞することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

まずは文学史的な知識をふまえた上で、平賀源内の生涯と時代背景を概観し、特に小説『根南志具佐』を現代語訳しながら講読する。その他の江戸戯作については、具体的な作品を影印と翻字によって読みながら、変体仮名の解説を目標とする。

履修上の留意点

講義中の私語、携帯電話の使用（含メール）は禁止する。

成績評価の方法

出席状況および前後期2回の定期試験による。

教科書

必要に応じてプリントして配布する。

参考書等

中村幸彦校注『風来山人集』（岩波書店、日本古典文学大系）
その他。

その他

4月開講第一回目の授業時に詳細なシラバスを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文学 (2)〔日本文学「近代」〕	ほあき ようこ 保明陽子	経営B選 14以降入学生/経営A選	4

講義のねらい

明治期以降における日本の「近代化」を、「文学」という切り口で考える。これまで日本という国は、西欧の「近代化」に多大な影響を受けてきた。しかし昨今の風潮は、その流れを端に押しやる勢いがある。そこで、これまでの過去の歴史的経緯を考慮しつつも、近代社会において文化後進国ゆえの、曖昧かつ複雑な構造をもつ日本独自の「近代化」を、文学的視座から改めてとらえ直す。主に、啓蒙色の強い明治三十年代の文学的素材をもとに、現代社会の背景をかいま見る。

講義の内容・授業スケジュール

文学作品に現れた「英雄」「恋愛」「家」「武士道」「宗教」「癒し」「救い」といった様々なテーマは、作品の古今にかかわらず、現代社会を個人レベルで読み解く鍵である。このような日常にある「文学」的なものという身近な視点から、敢えて通俗性という枠組をとおして、そこに潜む「社会」の様相をかいま見る。近年話題になっている現代作家の作品と、明治時代の文学作品を比較しながら、そこにある「文学」とは何かを探求するが、具体的な作品についてはそのテーマごとに適宜講義において明らかにする。

履修上の留意点

この講義では、みなさんと共に年間を通して、文学作品を本格的に読むことになる。授業に出席することで新しい読み方を探求し、そして実際にその本を読み、そこで獲得した読みの成果を表現することが望まれる。

成績評価の方法

毎回の授業を通して課されたテーマの考察が、不定期なレポート提出という形で成績に反映される。

教科書

適宜講義で指示する。

参考書等

適宜講義で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史学 (1)〔日本近代史〕	はやし あきら 林 彰	経営B選 14以降入学生/経営A選	4

講義のねらい

今年度は、幕末から明治・大正時代にかけての思潮・思想を中心に概観していく予定でいる。西欧から輸入された近代思想が日本でどのように浸透し、日本化されていくか、他方、伝統的な思想が天皇制を核にいかに関わり、近代思想とどう錯綜・対立していくのか。それらを見ていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は近代史の概説をこころみる。その後、近代の思潮動向をおっていく。とくに、体制側の思想や反体制側の思想を運動もからめてみていく。

成績評価の方法

レポートと定期試験。

参考書等

講義中に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史学 (2)[中国古代史]	小林 惣八 <small>こばやし そう はち</small>	経営B選 14以降入学生/経営A選	4

講義のねらい

中国史の歩みを大別すると、黄河文明、殷周時代、秦漢時代、魏晉南北朝時代、隋唐時代、五代・宋時代、元・明・清時代、新生中国とに分けられる。本講義ではその歩みを多角的にとらえ通観するものである。

成績評価の方法

前・後期のレポート提出と定期試験による総合評価。
詳細は追って指示する。

教科書

特別定めないが、中国史の概説書や図表を座右に置いて聞くことを望む。

その他

出席を重視する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史学 (3)[中国古代思想史]	小林 惣八 <small>こばやし そう はち</small>	経営B選 14以降入学生/経営A選	4

講義のねらい

ユウラシア大陸の歴史の歩みは、中国を中心に北アジア、中央アジア、西南アジア、東南アジア、インドが相互に影響しあいながら進展していく。本講義では、中国の歩みを多角的にとらえ、時に周辺諸民族の歩みにも触れながらこれらを通観するものである。

成績評価の方法

前・後期のレポート提出と定期試験による総合評価。
詳細は追って指示する。

教科書

特別定めないが、アジア史の概説書や図表を座右において聞くことを望む。

その他

出席を重視する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学 [西洋思想の源流]	河谷 淳 <small>かわ たに あつし</small>	経営B選 14以降入学生/経営A選	4

講義のねらい

この授業ではギリシア哲学（古代哲学）とキリスト教哲学（中世哲学）とを主に扱う。これらふたつの哲学思想は西洋思想の二大源流に対応するものであり、それぞれは知と信という対立のもとに理解することができよう。しかしながら、ふたつの源流は不連続と同時に連続性という側面も併せ持ち、複雑に分岐・合流を繰り返しながら近現代の思想へと流れ込んでいる。そうだとすれば、現代の私たちが古代・中世哲学について考えるということは現代哲学の一形態であると言ってもよいであろう。

講義の内容・授業スケジュール

講義では次のような内容を取り扱う。
 (1) ギリシア哲学（ソクラテス以前・ソクラテス・プラトン・アリストテレス）
 (2) キリスト教哲学（教父哲学、スコラ哲学）
 (3) 近代哲学（デカルト、ロック、カント）

履修上の留意点

授業を受け身的に聴くというよりは一緒に問題を考えていくという積極的な姿勢が望ましい。

成績評価の方法

中間・期末試験（それぞれ40点満点）と夏休みレポートと出席状況の総合点で評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学 〔近代の人間観と世界観〕	伊古田 理 <small>いこた まさる</small>	経営B選 14以降入学生/経営A選	4

講義のねらい

現代文明の形成にあたって中核をなした思想である、近代ヨーロッパ思想を紹介し、その問題点をさぐる。今年度は、特に「歴史」について検討する。近代において、「歴史」の概念がどのように形成され、現代文明を考えるうえでどのような意義と問題点をもっているかを解説する。

講義の内容・授業スケジュール

まず、ヨーロッパ思想の源流である古代ギリシャ哲学、キリスト教思想について、必要なところをおさえ、そのうえで近代以降の思想の発展を解説する、という方針をとる。

成績評価の方法

夏期中間試験と冬期定期試験の成績を素点とし、100点満点での素点に対する失点の一定割合を、夏期レポート課題によりリカバーする。

教科書

久保他編『原典による哲学の歴史』（公論社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学 〔現代文明と人間〕	鈴木 聡 <small>すずき さとる</small>	経営B選 14以降入学生/経営A選	4

講義のねらい

本講義では、イギリス経験論・プラグマティズム・現象学・生の哲学・分析哲学などにおける素材の中で厳選されたものを叩き台として、一つの問題をとことん考え抜くという態度を学生諸君が身につけるための機会を提供したいと思う。

講義の内容・授業スケジュール

以下の素材のうちのいくつかを叩き台として講義を進める予定である。

1. ヒュームの因果論
2. 演繹
3. 帰納
4. 仮説形成
5. グルーのパラドクス
6. 懐疑のパラドクス
7. ニューカムのパラドクス
8. 囚人のディレンマ
9. 言語哲学

履修上の留意点

毎回の出席が要求される。

成績評価の方法

成績は、中間試験・期末試験・小テスト・出席点で評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

その他

本講義は、講義→小テスト（チュートリアル）→前回の講義の復習→小テストの解説→…という形式で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔科学方法論と現代論理学〕	いこた まさる 伊古田 理	経営B選 14以降入学生/経営A選	4

講義のねらい

現代論理学の内容を、「ことばの正しさ」のうちで「推論の正しさ」のかたちづくる領域がどのようなものかを考えることにより、紹介してゆく。

具体的には、「推論の正しさ」の領域がどのようなメカニズムで機能しているかを習得することを第一の目標として、そのうえで（時間の許すかぎり）こうした領域の位置づけについて論ずることにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

①古典的三段論法 ②公理系 I～命題論理 ③公理系 II～述語論理 ④コンピュータと論理

成績評価の方法

年2回の試験（夏期中間試験＋年度末定期試験）を実施し、それとは別に各学期にそれぞれレポート課題を出す。

詳細については、授業開始時のガイダンスの際に説明する。

教科書

開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔科学方法論と現代論理学〕	あま お たか し 麻 生 享 志	経営B選 14以降入学生/経営A選	4

講義のねらい

西洋哲学の中で、論理学は常に大きな位置をしめてきた。論理とは何か、正しさをどう説明すればよいか、真理をどのようなものと考えるか、といった問題の考察に、「論理学」は欠かせない。このような「論理の本性への考察」には、古代ギリシャの哲学者、アリストテレスの論理学を知る必要がある。彼の論理学には、当時の学問がおかれた状況が強い影響を与えていたと考えられる。その後、自然科学の発達によって学問状況は変化した。その変化に対応する形で論理学の変革も試みられた。さらに、二十世紀に入って、数学研究と論理学研究の交流・接触が考えられるようになる。このように論理学は変化の歴史を持つ。そこで①論理とは何かを考え、②変化する論理学の各内容についての知識を持ち、③日常生活における論理の活用について、自分で考えることの手引きを与えることをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

論理の本性、真理論、パラドックス、アリストテレス論理学、帰納法論理、実験主義論理学、論理学方法論、記号論理学概観、日常生活における正しい推論、学問と論理などの話題を考えています。

履修上の留意点

大学という学問の場においては、講義内容を聞いて理解し、練習問題をこなす、内容を記憶するだけでは、十分ではありません。自分で検討し、疑い、考えることが絶対に必要であると考えます。そのために、自分で本を読んだり、調べたりという作業が加わるでしょう。意欲ある取り組みと、徹底的に自分の頭で考える姿勢を求めます。

成績評価の方法

平常点として、出席と、講義中に行う問題や論述を主な評価材料にし、前期・後期試験・夏休みのレポート成績を加味します。

教科書

なし。

参考書等

多数。講義内にて詳細に説明します。

その他

講義と問題演習（ないし論述筆記）。早退は、許可のない限り認めません。主体的な質問を大いに歓迎し、期待します。初日はガイダンスとし、定時から五分間程度、または正規の終了時刻前五分間に資料を配布して質問を受け付けます。（ガイダンス後は、雑談的内容にあてる予定です。この間、入退出自由。）この時配布する資料は、履修に必要ですので、何らかの方法で必ず入手するようにして下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 〔現代と倫理〕	ふるたともあき 古田知章	経営B選 14以降入学生/経営A選	4

講義のねらい

今日、多くの領域で、倫理の確立、再構築が求められている。これは、言い換えると、現代において倫理というものが分からなくなっていることの現れである。そして、このような状況のもと、われわれは、ひとつの人格をもつ個人として、自らの倫理観を模索していかなければならない。しかし、倫理とは何かを考えると、個々の領域、場面での「正しさ」の中身を検討すると同時に、その際の倫理的主体となるべき「自己」のあり方が知らなければならない。逆に言うと、この生きている自分が外的世界や他者と結んでいる関係、あるいは、自分が自分自身について考えることの意味などを明確にすることで、現代社会に生きるわれわれの向かうべき方向も見えてくる。そして、この見通しの上に立ってこそ、個々の領域での倫理観も意義あるものとなると考えられる。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、「自己」と「世界」あるいは「他者」との関係などの、「自己」と倫理をめぐる基礎的な諸問題を整理し、後期は、前期で扱った内容をもとに、現代社会で関心が集まっている、生命倫理、環境倫理といった応用倫理に関する諸問題の検討をおこなう。

成績評価の方法

二回の定期試験（中間試験、年度末試験）と平常点（出席状況、夏期レポート等）で評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

講義の際にその都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 〔人生と倫理〕	すえきやすひこ 末木恭彦	経営B選 14以降入学生/経営A選	4

講義のねらい

人は一人では生きることができない。生きるとは、必然的に人と人の関りの場に身を置かねばならない。人倫の中に生きるのである。人は、また、「よく」生きることを求める。ここに、どう生きるのが「よく」生きることか、また、それがどうして「よく」生きることになるのかという問題が生じる。これらは、「倫理学」の主要な内容をなす。本講義は、我々が生きることの「倫理」性に自覚を深めることを目的として、その参考となるように先人の「倫理」をめぐる諸説を紹介する。

講義の内容・授業スケジュール

今年度は、特に環境との関わりに問題をしぼる。又、参考とする先人は、東洋（特に中国・日本）に限り、東洋の伝説的な思想が現代に於ていかに役立つかを課題としたい。教科書は、国際シンポジウム「東洋の伝統的環境思想の現代的意義」の報告論文集である。講義は、教科書に収める論文の中から講師が重要と考える論文を選び、順次読み進みながら考察を深めてゆく。

履修上の留意点

ノートは確実にとる（板書を書き写すだけでなく口頭説明も的確に要をとらえ記録すること）

成績評価の方法

中間試験と学年末試験、レポートに出席態度を加味して判断する。

教科書

『東洋的環境思想の現代的意義』（農山漁村文化協会）

参考書等

講義中に適宜に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教育の思想(前期)	伊藤茂樹	経営B2選	2
		12以降入学生/経営A2選	

講義のねらい

私たちが今日知っている学校教育という営みは、近代という時代の到来とともに出現した制度であり、また近代社会を成り立たせる不可欠の制度でもある。この「公教育」のバックボーンとなった思想、歴史的経緯、その特色や社会的帰納について概観し、今日の教育やそれが直面する諸問題について考えるための手がかりを探索する。

講義の内容・授業スケジュール

とりあげるテーマ群として以下のようなことがらを予定している。
 ・近代社会と教育
 ・学校という場

履修上の留意点

自分が通ってきた学校やそこで受けてきた教育について、批判的に再考する姿勢を求める。

成績評価の方法

学期末試験により評価する。

教科書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教育と社会(後期)	伊藤茂樹	経営B2選	2
		12以降入学生/経営A2選	

講義のねらい

学校教育という営みは社会のあり方や他の諸領域に広く影響されると同時に、社会に影響を及ぼす関係にある。また一方で、学校という場もひとつの社会を形成している。こうした観点から、現代社会における学校教育が直面している諸問題や、これからの時代に学校教育が向かおうとしている方向性について、多面的に考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

とりあげるテーマ群として以下のようなことがらを予定している。
 ・現代の教育問題
 ・教育改革の現在

履修上の留意点

ふだんから教育に関するニュースに気をつけ、自分なりに考えることを心がける。

成績評価の方法

学期末試験により評価する。

教科書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
発達と学習の心理学(前期)	かわだみつお夫 川田三夫	経営B 2選	2
		12以降入学生/経営A 2選	

講義のねらい

- 1) 子供の成長・発達の概要を理解する。
- 2) 学習心理学の基本的な事項を理解する。
- 3) 発達に影響を与える広義の環境の問題について考える。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1) ガイダンス、発達や学習をめぐる現状と問題点
- 2) 発達や学習の理論、乳児期・幼児期の発達の特徴と留意点
- 3) 児童期の発達の特徴と留意点
- 4) 青年期の発達の特徴と留意点
- 5) 青年後期・成人期の発達の特徴と留意点
- 6) 人格の発達と問題点
- 7) 社会性の発達と問題点
- 8) 情緒や性意識の発達と問題点
- 9) 交友・対人関係の発達と問題点
- 10) 若者文化や社会風俗の歴史の変遷と現状の問題点
- 11) 青少年の非行等の問題行動
- 12) 人格障害、情緒障害、神経症的な問題行動等
- 13) 学校生活をめぐる諸問題
- 14) 試験

履修上の留意点

- 1) 教科書は指定せずレジメ、資料等を配布し講義を行う。
- 2) 板書を少なくして、学生自身がノートを取るようになっている。
- 3) 日頃から努力して言葉や文章力を高めてほしいと思っている。

成績評価の方法

- 1) 学期末に定期試験を行う。
- 2) それ以外にも不定期に小試験（論述、レポート）を行うことがある。
- 3) 授業の際に口頭試問や提出物もあり、評価の際に考慮される。
- 4) 以上の合計得点で所定の基準に従い評価される。

教 科 書

ない。

参 考 書 等

参考文献は授業中に適宜紹介する。

そ の 他

- 1) 授業の方法は講義が中心だが、毎回何らかの形でいろいろ質問される。
- 2) 現実を見聞しながら色々なことを考えてほしいと思っている。
この科目は、平成11年度までに「教育心理学」「青年心理学」の単位を取得した者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
カリキュラムと学習(後期)	かわ だ みつ お 夫 川 田 三 夫	12以降入学生/経営B 2選 12以降入学生/経営A 2選	2

講義のねらい

- 1) 教授-学習課程に関わる基本的な事項を学習する。
- 2) 教育目標、教育課程を中心に学習活動の効果的な展開について考える。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) ガイダンス、発達と学習（教育）をめぐる現状と問題点
- 2) 発達と学習
- 3) 学習理論の基本と応用
- 4) 教育(学)・教育心理学の基本と応用
- 5) 教育理論や方法の歴史の変遷、現状と課題
- 6) 教育目標
- 7) 教育課程（学校教育の基本について）
- 8) 教授-学習過程（学習指導、学級集団、生徒指導）
- 9) 教育評価の歴史の変遷、現状と課題
- 10) 学習指導要領（改訂の歴史、『学校教育法』、『学校教育法施行規則』等）
- 11) 総合的学習、職業教育、生涯学習、障害児教育
- 12) 学校、教師、生徒の諸問題（授業時間、教科書、教科書検定、等）
- 13) その他（教員養成、教員採用の問題、教育制度・教育行政等の問題、等）
- 14) 試験

履修上の留意点

- 1) 教科書は指定せずレジメ、資料等を配布し講義を行う。
- 2) 板書を少なくして、学生自身がノートを取るようになっている。
- 3) 日頃から努力して言葉や文章力を高めてほしいと思っている。

成績評価の方法

- 1) 学期末に定期試験を行う。
- 2) それ以外にも不定期に小試験（論述、レポート）を行うことがある。
- 3) 授業の際に口頭試問や提出物もあり、評価の際に考慮される。
- 4) 以上の合計得点で所定の基準に従い評価される。

教 科 書

ない。

参 考 書 等

参考文献は授業中に適宜紹介する。

そ の 他

- 1) 授業の方法は講義が中心だが、毎回何らかの形でいろいろ質問される。
- 2) 現実を見聞しながら色々なことを考えてほしいと思っている。
この科目は、前期に「発達と学習の心理学」を履修することを原則とします。平成11年度以前入学者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と権利〕	鷄徳啓登	経営B選 14以降入学生/経営A選	4

講義のねらい

人間は社会の中で生まれ、他の人と利害を対立しながら社会生活を営むものである以上、そこには相互の利害を調整し、紛争を解決するためのルール（規範）が必要である。「社会あるところ法あり。」（法諺）といわれるのはそれを如実に示すものである。この授業では、法の概論と基礎的な実定法上の権利・義務との二つに分けて、「法」とそこに認められる「権利」を講義する。

講義の内容・授業スケジュール

- 法の概論は次の内容を中心として行う。
 - ①法の意義 ②法発生の背景 ③法とその近辺の社会規範 ④法の種別と解釈 ⑤法の適用
- 実定法上の権利・義務の講義は次の内容を中心として行う。
 - ①民法上の権利－権利の主体と客体、権利能力・行為能力、権利の種類と内容（財産法上の権利、親族法上の権利、相続法上の権利）、権利の発生・消滅。
 - ②憲法上の権利－自由権（経済的自由権、精神的自由権、身体的自由権）、平等権、社会権（生存権、教育権、勤労権、労働者の権利）、参政権（選挙権、被選挙権）、受益権（請願権、国家賠償請求権、裁判を受ける権利、刑事補償請求権）。
 - ③国家・地方公共団体の権利－国家作用と三権分立制の意義・統治機構、立法権と立法機関、行政権と行政機関、司法権と司法機関、地方公共団体の自治権と住民の権利。

成績評価の方法

出席状況と試験。

教科書

小林弘人・松村格編著『法学・憲法』（八千代出版）3,500円

参考書等

『小六法』または『ポケット型小六法』（出版社・定価各種類）、その他参考書等については教場にて説明。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と社会生活〕	長谷川日出世	経営B選 14以降入学生/経営A選	4

講義のねらい

我々は、好むと好まざるとにかかわらず、法と密接なかかわりのある生活を強いられている。しかしながら多くの場合、我々はこの事実を知らず、何等かの法的問題が発生した時に初めて、これに気付く。
本講義では、まず、社会生活を営む上で不可欠な、社会規範としての法の生成およびその性質についての分析をおこなう。そして、次に、そこで得られた法概念を基礎に、国家の基本法である憲法と我々のかかわりあいを検討する。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、法を学ぶために必要な基礎的知識の修得を目指す。具体的には法と道徳の関係、法と強制、法の体系性、国家と法、実定法上の原則等。
後期は、日本国憲法を具体的に検討する。特に日本国憲法の基本原理の成り立ち、基本的人権の保障規定等についての検討。

成績評価の方法

定期試験によるものとする。

教科書

長谷川日出世著『法の基礎概念と憲法』（成文堂）

参考書等

『ポケット六法』（有斐閣）

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会科学論 〔社会認識の思想〕	えだ まつ まさ ゆき 枝 松 正 行	経営B選 14以降入学生/経営A選	4

講義のねらい

社会科学には自然科学や人文科学とは独自の対象把握の方法や体系がある。社会現象を形成する個々の人間は、生産的労働を中心とする活動の担い手としてつねに目的意識的な社会活動を行う能動的主体であるにもかかわらず、総体としての社会現象は、市場メカニズムに象徴されるように人間の意識を超えた物理現象の如き客観的な運動法則に従っている。しかもそれは連続的であると同時に、飛躍や発展を伴う固有の歴史法則でもある。グローバルトリレンマに直面した現代世界は過去に例を見ない大転換期であるが、社会科学こそは歴史科学であると同時に未来科学なのであり、社会の変化・生成・発展法則の先見とリスクの回避には大きな責任がある。

講義ではマルクス経済学、ヴェーバー社会学、ドラッカー経営学などに学びつつ、現代の社会経済システムの転換メカニズムを解明し、オルタナティブな持続可能社会への移行を展望する。

講義の内容・授業スケジュール

上記のような社会科学的視座を基礎として、これらを現代社会に適用し、同時多発テロ以降の世界情勢や日本「構造改革」の歴史的な性格を解明するとともに「循環型・男女共同参画社会」への現実的転換を加速しうる実践的な政策・管理科学についても明らかにしていく。

履修上の留意点

日々の経済・社会報道に関心を注ぎ、たえず生の現実素材をとりいれておくこと。

成績評価の方法

前・後期の中間試験ないしレポートと平常点により評価する。

教科書

とくに指定しないが、参考文献はその都度紹介する。

参考書等

大塚久雄著『社会科学の方法』（岩波新書）など。

その他

毎回授業の冒頭でカードによる前回授業時の学生諸君の質問・意見・要望を紹介し、出来るだけ授業内容に反映させていく。個別の質問・相談は授業終了時に対応する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学 〔現代社会を考える〕	お 奥 <small>ひよん</small> さん <small>三</small>	経営B選	4
		14以降入学生/経営A選	

講義のねらい

社会学は個人、さらに社会集団などを対象とし、その分野は、「家族」「経済」「企業」「教育」「宗教」「文化」など様々である。このような分野において特徴的であるといえる問題は何だろうか。また、われわれは、それらの問題を解決するためにどのような手段を取りうるのか。この講義は、前期は社会学の基礎となる諸概念を踏まえた上で、後期よりは、以下のようなトピックスに焦点をあてて、現代社会の特徴的な問題について考察を深めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- ①現代の社会変動にともなう家族の変化をおう。特に乳幼児期における親との関わりや家族生活における様々な要因によって子供の社会化に影響を与え、または青春期や高齢期に様々な問題が現れる。このような一連をみていくとともに、少子化・高齢化といった家族に関する諸問題の検討。
- ②経済のグローバル化にともなう企業活動の意義、特に企業人の「豊かさ」と「余暇」の問題。
- ③社会・文化的産物として男性・女性はいかにして生産されていくのだろうか。「恋愛」、「性」、「結婚」といった事項を中心に「ジェンダー（社会的な性）」の問題を考える。
- ④若者文化（ユース・カルチャー）が現代において果たす役割とは？など文化を通じて日本人の心を分析していく。

履修上の留意点

授業を通じて、何かを学びたい学生は歓迎します。何の目的意識もなく、時計の振り子のように「出席さえすればよい」、また「教養科目なので、簡単に単位がとれる」と思っている学生は履修しないようお勧めします。

成績評価の方法

開講時に説明する。

教科書

労働・福祉研究会『21世紀の労働と福祉』（学文社）2,500円

参考書等

講義の中に、その都度お知らせします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学 〔現代文化を考える〕	はし <small>つめ</small> さとし <small>敏</small>	経営B選	4
		14以降入学生/経営A選	

講義のねらい

この講義は、「社会学」についての基本的な知識を提供し、あわせて、「現代社会」についての若干の問題を論ずることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

「講義のねらい」で述べたように、この講義は「社会学」の知識と、「社会学」的見方を通してみた「現代社会」の問題を扱うことになる。しかし、ほとんどの学生諸君は「社会学」についての予備知識は無いものと思われる。「社会学」は高等学校までの社会科とはかなり異なっている。そこで、まず、前期においてこのような社会学独自の社会現象の見方、考え方、基礎的な知識を理解し、後期に、こうした理解を踏まえて、「現代社会」の諸問題－文化とは何か、現代文化とは何か、大衆文化等－を扱うことにしたい。

成績評価の方法

成績の評価は、講義内容に関わる基本的な問題について、学年末におこなうペーパー・テストによって評価する。

教科書

安藤喜久雄ほか編『社会学概論』（学文社）

参考書等

高尾・橋爪編『社会学の基礎』（犀書房）
R. ニスベット『現代社会学入門1～4』（講談社学術文庫）
その他授業中に適宜指示したい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
統計学 〔社会現象の統計的決定〕	新行内 康 慈 <small>しんぎょうち こうじ</small>	経営B選 14以降入学生/経営A選	4

講義のねらい

統計学は、観測値からその源泉の特徴や傾向を明らかにして結論を導き出す道具で、経営・経済をはじめとする社会現象の解析、意志決定など幅広い分野で活用されています。本講義は統計学の入門として、基本的な考え方と諸手法を現実の問題を引用しながら平易に解説することをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

①記述統計 ②標本空間と確率 ③確率変数と確率分布 ④母集団と標本 ⑤推定 ⑥検定 ⑦相関 ⑧回帰

履修上の留意点

統計学は積み重ねが要求される分野です。継続して出席していくことが大切です。

成績評価の方法

出席・課題・試験を統合して評価します。

教科書

必要に応じてプリントを配布します。

参考書等

必要に応じて適時紹介します。

その他

配布資料に基づき、例題を交えて講義し、さらに理解を深めて実際に活用できるようにするため、適時課題演習を実施します。また、期末試験も実施します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化人類学 〔文化と人間〕	川上 新 二 <small>かわかみ しんじ</small>	経営B選 14以降入学生/経営A選	4

講義のねらい

世界にはさまざまな文化を背景として暮らす人々がいるが、その彼らのもつさまざまな文化を理解すること（異文化理解）が、すなわち彼らを理解することにつながる。また異文化理解は我々以外の文化を理解するというだけではない。異文化を理解することは、我々の文化の再発見、再認識にもつながる。さらにさまざまな文化の理解は、それを生み出した人間の理解にもつながる。この講義では、さまざまな異文化を紹介しながら、その理解のための見方を養うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

まず、文化とは何か、文化人類学における文化のとらえ方について紹介した後、婚姻、家族、親族、宗教、儀礼、経済行為などさまざまな場面で見られる世界各地の事例を紹介しながら、異文化理解のための視点を養うことにする。

成績評価の方法

出席状況、レポートの提出状況および内容、定期試験によって評価する。原則として遅刻、途中退席を認めず、また頻繁に授業内容のまとめ等のレポートを提出してもらうことを考えている。

教科書

教科書は指定しない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化人類学 〔諸民族とコスモロジー〕	すぎ 杉 井 純 一 <small>しゆん いち</small>	経営B選 14以降入学生/経営A選	4

講義のねらい

様々な民族が絶えず各地を移動する現代世界では、私たちは「異質な他者」との出会いを日常的に経験します。こうした多民族社会に生きる私たちは以前にもましてコミュニケーションの困難に直面します。お互いが先入観や偏見にとらわれず、十分な意志疎通を図るためには、相互の民族的、文化的背景への理解が前提となります。

文化人類学は民族や文化の多様性を比較することで、相互の文化的相違についての認識を深める学問です。例えば、人々の生活様式や儀礼、慣行を通して「人間を取りまく世界、宇宙の成りたちやしくみ」についての多様な観念体系を理解していきます。

本講義では、前期に文化人類学の基礎、後期に民族とコスモロジーを学びます。まず、「他者を理解する」ことの困難さを味わいながら、「他者との共生」の可能性について考えていくことが本講義の目的です。

講義の内容・授業スケジュール

- I 文化人類学の基礎
 1. 文化人類学とは何か
 2. 文化とコミュニケーション
 3. 環境と人間
 4. ジェンダーとセクシュアリティ
 5. 婚姻・家族・親族
- II 民族とコスモロジー
 1. 呪術と宗教
 2. 儀礼の構造
 3. 儀礼・神話・世界観
 4. 神聖王権
 5. 民族・宗教・国家

履修上の留意点

ビデオを見た感想を問うことがあります。

成績評価の方法

夏期レポート（20%）、期末試験（60%）、平常点（20%）で評価します。

教科書

特に指定しません。

参考書等

祖父江孝男『文化人類学入門』（中公新書）
佐々木宏幹・村武精一編『宗教学人類学』（新曜社）

その他

できるだけ、ビデオを利用します（年に4～5回程度）。

科目名	担当者名	配当学科	単位
政治学 〔政治システムと政治参加〕	村井良太	経営B選 14以降入学生/経営A選	4

講義のねらい

日々耳にするニュースの多くは、直接間接に政治と関係しています。消費税や公共事業に見られるように、政治は私たちの生活一般に深く関わっているのです。また私たちは主に選挙を通じて政治をつくる立場にもあります。日本のような民主主義社会において、政治への理解は社会人の大切な素養であるといえます。本講義は、政治参加とそれを支える政治システムに注目しながら、社会人の素養としての政治学、政治を見る目を養うことを目的としています。

講義の内容・授業スケジュール

講義は基本的に下記教科書を下敷きにおこないますが、各テーマごとに話をふくらませたり、政治史など新たにテーマを加えたりしながら進めていきます。講義内容としては、官と民の関係、地方分権、選挙、政治参加、マスコミと政治、国会、官僚制、首相のリーダーシップ、国際政治、経済交渉など政治学に基本的なテーマに、占領、講和、日本の国際社会復帰など政治史上の知識を加味していきたいと思っています。詳しい予定は第一回目の講義でお知らせします。

履修上の留意点

履修する学生に求めるのは何より政治を知りたいという熱意です。積極的な参加を期待しています。

成績評価の方法

成績は、随時おこなう出席調査、中間レポート、学年末試験により評価します。

教科書

真淵勝・久米郁男・北山俊哉『はじめて出会う政治学』（有斐閣）1,700円＋税。

参考書等

参考図書は講義のなかで随時紹介していきます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
政治学 〔国際社会と日本〕	山村恒雄	経営B選 14以降入学生/経営A選	4

講義のねらい

「法学」や「経済学」とは違い、「政治学」に対して抱くイメージは、人によってかなり異なるようである。この授業は副題にある通り「国際社会」のなかで日本が直面するさまざまな課題を取り上げ、それを素材として「政治を見る眼」を養うことを目的とする。具体的には、近代国際社会成立以降第二次世界大戦終了後に至るまでの国際政治の主な出来事を解説し、それを基にして現在生じている時事問題を考える素材を提供しようとするものである。したがって、授業は時事問題の解説が目的ではなく、受講生のひとりひとりが、政治問題に対して自分の意見を形成できるよう、「分析の道具」を提供しようとするものである。

講義の内容・授業スケジュール

時事問題を素材として用いるため、具体的な問題を予め示すことはできないが、分析のための基本的な知識として、以下の項目を取り上げる。

- 1 ウェストファリア体制の形成
- 2 近代の国際政治
- 3 地球的問題群
- 4 第二次世界大戦後の国際政治の変容
- 5 冷戦と核兵器
- 6 食糧問題
- 7 環境破壊と持続可能な開発
- 8 日本をめぐる諸問題

履修上の留意点

受け身ではなく、積極的に授業に参加できる意欲のある人を歓迎します。

成績評価の方法

夏休み明けのレポートと学期末試験による。なお、夏休み明けのレポートを提出しない者は、学期末試験の受験資格を失うので注意すること。

教科書

特定の教科書は使用しない。

参考書等

授業中、随時指定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学 (1) 〔ヒューマン・ウォッチング〕	すずき じゆん いち 鈴木 順 一	経営B選 14以降入学生/経営A選	4

講義のねらい

心理学全般の幅広い知識の概念学習は、個人的にできるので自宅ですべてしていただきます。授業では、主として性格心理学や臨床心理学を背景に、学生相互のコミュニケーションを深め、お互いを鏡として自己を見つめ、自分や他人の性格を理解し、自己成長するための体験学習をしていきます。

講義の内容・授業スケジュール

次のような内容を、講義と共にグループにより体験学習していきます。

- ① 学生相互のコミュニケーションを深め、心のふれあいを体験する。
- ② 自分や他人の性格を理解する。
- ③ 自分の性格形成史をふり返る。
- ④ 性格変容の理論と技法を学ぶ。
- ⑤ 心の悩みから立ち直る方法を学ぶ。
- ⑥ 心病む人の心理的成長を援助するかかわり方を学ぶ。

履修上の留意点

講義形式ではなく、グループによる話しあい中心の体験学習のため強い主体的参加意欲が要求されます。最初の授業で述べる授業方針とルールをよく理解して、自己の責任において主体的に選択して下さい。

毎回出席をとり、出席が重視されますので欠席しがちな人は履修しないで下さい。

成績評価の方法

平常の小試験、小レポート、そして出席点等の平常点にて評価します。

教科書

中村昭之編『心理学概説』（八千代出版）1,500円
川瀬正裕・松本真理子編『自分さがしの心理学』——自己理解ワークブック——（ナカニシヤ出版）1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学 (2) 〔人間関係を考える〕	すずき じゆん いち 鈴木 順 一	経営B選 14以降入学生/経営A選	4

講義のねらい

より良い人間関係を築くには、自分や他人の性格を深く理解し受容する必要があるでしょう。特に、自己を知り自分をコントロールすることは重要です。

自分のことは自分が一番良く知っているようでいて、実は案外知らないことが多いことを深層心理学は教えてくれます。他人という鏡を通して自己を見つめなおさないと、本当の自分の姿はなかなか見えてこないものです。

本講座では、主として性格心理学や臨床心理学を背景にして、学生相互のコミュニケーションを深め、お互いの性格を理解し、より良い人間関係を築いていくような体験学習をしていきます。

講義の内容・授業スケジュール

次のような内容を、講義と共にグループにより体験学習していきます。

- ① 学生相互のコミュニケーションを深め、心のふれあいを体験する。
- ② 自分や他人の性格を理解する。
- ③ 自分の性格形成史をふり返る。
- ④ 性格変容の理論と技法を学ぶ。
- ⑤ 心の悩みから立ち直る方法を学ぶ。
- ⑥ 心病む人の心理的成長を援助するかかわり方を学ぶ。

履修上の留意点

講義形式ではなく、グループによる話しあい中心の体験学習のため強い主体的参加意欲が要求されます。最初の授業で述べる授業方針とルールをよく理解して、自己の責任において主体的に選択して下さい。

毎回出席をとり、出席が重視されますので欠席しがちな人は履修しないで下さい。

成績評価の方法

平常の小試験、小レポート、そして出席点等の平常点にて評価します。

教科書

中村昭之編『心理学概説』（八千代出版）1,500円
川瀬正裕・松本真理子編『自分さがしの心理学』——自己理解ワークブック——（ナカニシヤ出版）1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単位
生物学 〔生態と進化〕	し清水 みずよし かず和	経営B選 14以降入学生/経営A選	4

講義のねらい

地球上の生物はすべて約40億年前に誕生した始原生物に端を発し、その後に連続と続いた進化の産物である。どの生物も進化の遺産を負って存在しており、進化を抜きにして生物を理解することはできない。また、この地球上には現在100万種以上の生物が存在していると推定されている。肉眼では見えないバクテリアから体長20mを超すシロナガスクジラまでさまざまな形、大きさの生物が熱帯から極地、高山から深海まで地球上のあらゆる場所において独自の生活を築いている。そして、これらの生物は孤立して存在するのではなく、互いに密接な関係を保ちながら地球上にさまざまな生態系を形成している。この複雑、多様な姿が生物のもう一つの特徴である。一方、生命の基本的な情報を担う分子である遺伝子の研究が進んで、あらゆる生命現象を遺伝子レベルで統一的に理解することも可能になってきた。そこで、本講義では生物の進化、多様性、遺伝子を3つのキーワードにして、生物の分類や生態の実際を体系的に捉えるとともに、生物の進化や多様性の維持に関するメカニズムについて解説する。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 第1章 遺伝子と進化－我ら生物みな兄弟
 - (1) 生命の歴史性
 - (2) 遺伝子と生命現象
 - (3) 進化のメカニズム
- 第2章 40億年の生物進化－偶然と必然が織りなす奇跡
 - (1) 地質年代図
 - (2) マーグリスの共生説
 - (3) カンブリアの爆発
 - (4) 大量絶滅
 - (5) 生物の上陸
- 第3章 系統と分類－名もなき雑草はない
 - (1) リンネ式分類体系
 - (2) 生物五界説
 - (3) 種の定義と属性
 - (4) 分子時計と系統樹
- 第4章 行動と進化－生物は誰がために生きるか
 - (1) 動物行動学の歩み
 - (2) 適応度とゲーム理論
 - (3) 利他的行動と血縁淘汰
 - (4) 性選択と性比
 - (5) 利己的遺伝子
- 第5章 個体群生物学－産めよ殖えよ地に満てよ
 - (1) 潜在的な増殖率
 - (2) 密度効果
 - (3) 生命表
- 第6章 共生と競争－出し抜きながら深い仲
 - (1) 種間関係と共生
 - (2) 花と昆虫の共進化
 - (3) 菌根
 - (4) 擬態
- 第7章 人類の進化－ヒトは唯一の生き残り
 - (1) 霊長類の系統
 - (2) ヒトの発展段階
 - (3) ホミニゼーション（ヒト化）
 - (4) 人体の特徴
- 第8章 進化論－進化論も進化する
 - (1) ダーウィン以前
 - (2) ダーウィン進化論
 - (3) ネオ・ダーウィニズム
 - (4) 進化論批判
- 第9章 生態系－命は無数のつながりの中で
 - (1) 生態系（エコ・システム）
 - (2) 食物連鎖と生物濃縮
 - (3) 光合成と呼吸
 - (4) 生産諸量

- 第10章 物質の循環－元素はめぐるよどこまでも
 - (1) 物質循環の大原則
 - (2) 水の循環
 - (3) 炭素の循環
 - (4) 窒素の循環
 - (5) 地球環境の形成
- 第11章 植生遷移－裸地もいずれは森林に
 - (1) 遷移のモデル
 - (2) さまざまな遷移
 - (3) 森林の更新
- 第12章 生物多様性－多様な世界に未来あり
 - (1) 3つの多様性
 - (2) 多様性の尺度
 - (3) 生物地理区と植生帯
 - (4) 多様性の危機
- 第13章 人為と生物－生物界のグローバリゼーション
 - (1) 里山の生物
 - (2) 都市と生物
 - (3) 帰化種の侵入

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

試験、レポート、出席を勘案して評価する。

教科書

受講者には清水が執筆した web 版教科書（無料ダウンロード可）を紹介する。

参考書等

章ごとに適宜紹介する。

その他

講義で必要な図表は適宜プリントにして配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
生物学 〔生物と環境〕	なかむらとしえ 村 敏 枝	経営B選 14以降入学生/経営A選	4

講義のねらい

米国同時多発テロ事件が起きた2001年9月、国内では狂牛病問題が浮上した。狂牛病は牛の致死性の感染症であるが、病原体がプリオンというたんぱく質であること、ヒトおよび他の生物に種の壁を超えて感染することが生物学的には興味深い。英国でこれが蔓延したのは羅病した牛の屍体を飼料（肉骨粉）として用いたことによるという。つまり、経済性・効率性の追及の結果である資源の有効利用が、草食動物である牛に肉食、しかもとも食いをさせたため生じた、人災なのである。人間の生産活動は、生物と環境にいま何をもたらしているのだろうか。

講義の内容・
授業スケジュール

1. はじめに
2. 生物の生活
 - a. 地球の歴史・生命の起源
 - b. 生命の誕生
 - c. 生命の維持——いのちを支える物質とエネルギー
 - d. 植物の物質生産
 - e. 遷移——溶岩上に森林が成立するまで
 - f. 遷移——植物群落の世代交代
 - g. 個体群の内部構造——順位制となわばり
 - h. 生殖行動——こどもを確実に残すための作戦
 - i. 生態系——めぐる生命の輪
3. 人間の活動と地球環境
 - ・化学物質の功罪
 - a. 化学物質がつくる豊かな生活
 - b. ゴミ焼却とダイオキシン
 - c. ダイオキシン汚染
 - d. 内分泌攪乱化学物質（環境ホルモン）
 - ・バイオテクノロジー
 - e. 遺伝子組み換え生物
 - f. クローンと動物工場
 - ・地球温暖化とエネルギー問題
 - g. 地球温暖化のメカニズム
 - h. 生態系におよぼす影響
 - i. 新エネルギー革命
 - j. 原子力利用の諸問題

教養教育

履修上の留意点

義務教育までの数学、理科ははじめ各教科の知識を本講義の前提とする。意見発表の場を設けたいので、積極的に取り組む学生の参加を期待します。

成績評価の方法

期末試験と平常点で総合評価します。

教科書

赤堀他著『生物学・地球に生きるいのちを考える』（宣協社）

参考書等

その都度紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地球科学 〔地球環境の現在・過去・未来〕	やまがた 山 縣 毅	経営B選 14以降入学生/経営A選	4

講義のねらい

現在、地球温暖化、海水準の上昇、オゾン層の破壊などの地球規模の自然環境の変化が、21世紀の大きな問題として捉えられています。これらの問題に対処する手段、特に自然環境がどのように過去、将来において変化し、それが何に起因するかを推定・予測する手段の一つとして地球科学があります。本講義では、地球科学による過去の環境（古環境）の推定・復元方法を、地球環境の変遷を創生期から現在までたどりながら、理解してもらうことを目標としています。

また、私たちが住んでいる関東地方の古環境の復元も、いくつかの地域を例に取りながら解説していきます。受講者にとって、自分の居住地域と共にグローバルな自然環境についても考える契機になることを期待します。

講義の内容・授業スケジュール

前半に地球科学の概説を行い、後半に地球環境の変遷、関東地方の地質について講義をしていきます。

1. 地球の内部構造と地質変動
2. 地球の環境変遷
3. 関東地方の地質
 - ・関東平野の断層と地震
 - ・房総・三浦半島の地質－付加テクトニクス－
 - ・伊豆大島、箱根の火山活動
 - ・関東山地の地質
 - ・関東平野の地下表層部の地質

成績評価の方法

レポートと出席状況で評価いたします。

教科書

特に定めなし。

参考書等

『最新 図表地学』（浜島書店）ISBN4-8343-4002-3C7344

その他

OHP、スライド等を使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地球科学 〔変動帯としての日本列島〕	ふじ 井 すすむ 藤 井 享	経営B選 14以降入学生/経営A選	4

講義のねらい

地球科学は、地形、岩石、地質、火山、地震、重力など地球に関するさまざまな現象を研究する分野であるが、地殻の変動や地形・地質の形成史を究明することが特に重要である。日本列島はユーラシア大陸と太平洋に挟まれており、島弧-海溝系（海溝を伴う弧状列島）の変動帯である。日本列島付近は4種類のプレートが衝突しあっており、火山活動、地震が多発、地形の起伏が大きく地質構造も複雑である。したがって、日本列島は世界でも第一級の変動帯とって過言ではない。

日本列島は火山活動や地震の頻発する自然条件下にあるため、否応なしにそれらに遭遇することも止むを得ない。したがって、これらの自然現象を正しく理解し、日頃から関心を抱くとともにその対策を講じることが重要である。本講義は、以下のような変動地形と日本列島の地形の由来を十分理解できるように展開したいと思う。

講義の内容・授業スケジュール

授業は地図を多用して、世界で最も活動的な変動帯としての日本列島の地形を多角的に扱ってみたい。主な内容とスケジュールは次のとおりである。

- ① 地球上の変動帯とプレートテクトニクス
- ② 弧-海溝系の変動帯と日本列島
- ③ 島弧と火山帯
- ④ 第四紀の地殻変動（曲動地形、断層地形等）
- ⑤ 日本列島の活断層
- ⑥ 日本列島の巨大地震と変動地形
- ⑦ 火山活動と火山地形
- ⑧ 最終氷期と後氷期の日本列島

履修上の留意点

「地球科学」は、地球の内部や地表で行われる自然現象を扱うために、地図を多用する。そのため、「地図帳」（高校で使用したもので可）を準備すること。また、講義ノートをとることは重要。地図やその他の図を書くことが多いので、色鉛筆（12色）を準備してほしい。

成績評価の方法

テスト、レポート、出席状況を総合して評価する。

教科書

使用しない。

参考書等

貝塚爽平著『日本の地形-特質と由来』（岩波新書）1977
その他の参考書、文献等は講義の中で紹介する。

その他

講義形式であるが、必要によりビデオ、スライド等を使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自 然 環 境 論 〔宇宙から見た地球環境〕	しの ばら まさ お 篠 原 正 雄	経営B選 14以降入学生/経営A選	4

講義のねらい

現代の天文学と惑星科学の成果の上に立ち宇宙の視点から地球の自然環境について講義します。太陽系の惑星の一つである地球の自然環境は46億年の太陽系の歩みの結果形成されてきました。現在も、太陽はもちろんのこと、太陽系内外の宇宙からのさまざまな影響の下にあります。また、過去30年間の太陽系探査により多くの天体が調べられ、地球をこれらの天体と比較しながら研究できるようになってきました。その成果をふまえて、「地球環境」とはそもそもどんなものであり、どのように形成され、変化してきたかを中心に取り上げます。

日常生活でのある行為が「地球に優しい」のか逆に「地球を傷つける」のかという判断は立場により、また時代により異なります。環境問題は「健康法」と似ていて、仕組みもわかっていないうちに、効果も立証されていない手段でともかく対処しなければいけないという場合もあります。その結果、認識が少し進むと「善」と「悪」が入れ替わることも起こります。表面だけを見ていると、環境に確かなものは何もないかのように思われてきます。

この講義を通して個別の環境問題の背後にある地球環境システムについて理解し、より深いところから地球環境を考えられるようになっていただきたいと思います。

講義の内容・ 授業スケジュール

1. 宇宙と地球
宇宙の中の地球 宇宙の起源と進化 太陽系と地球の起源
2. 宇宙と地球環境
太陽 地球磁気圏 海と大気 生命 地球環境の進化
3. 地球環境の変動
宇宙環境と地球環境変動 地球システムと地球環境変動 人類と地球環境変動
4. 地球環境問題
オゾン層破壊問題 地球温暖化問題 エネルギー その他の環境問題
5. 宇宙と地球の未来
文明の未来 地球と宇宙の未来 SETI (地球外文明探査)

成績評価の方法

学年末に行う筆記試験の結果により評価します。平常点も考慮します。

教 科 書

石田恵一著『宇宙と地球環境』（成山堂書店）1,600円

参 考 書 等

小宮山宏著『地球持続の技術』（岩波新書）660円
その他、講義の中で適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然環境論 〔環境と保全〕	やまがた 山 縣 毅	経営B選 14以降入学生/経営A選	4

講義のねらい

18世紀後半から始まった産業革命以降、産業文明の発展により、地球規模の環境変化が自然の復元能力を超えて急激に進んでいます。その変化は、人類の生存自体にも深刻な影響を及ぼすようになってきています。本講義では、地球科学的立場から、地球環境の諸問題を解説し、人間活動が自然環境に与える影響、環境保全の意義について考えてもらうことを目標としています。実生活で体験したり、各種報道により伝えられる地球環境に関する諸事象を正しく理解するための教養を、受講者に身につけてもらえるように、講義を進めていきます。

講義の内容・授業スケジュール

1. 地球表層の環境変遷とその要因 2. 人間活動による環境変化
(地球温暖化、大気酸性化、オゾン層の破壊)
3. 資源・エネルギーと環境
4. 地質変動による環境変化と自然災害
(地震、火山活動、崖崩れ)
5. 地球環境に対する海の影響
6. 環境保全

履修上の留意点

なし

成績評価の方法

レポートと出席状況で評価いたします。

教科書

特に定めない。

参考書等

講義の中で紹介します。

その他

OHP、スライド等を使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報数学 〔情報と論理〕	おざわ 小 沢 誠	経営B選 14以降入学生/経営A選	4

講義のねらい

実社会に起こる種々の問題をグラフで表現し、具体的な解決方法を導き出すことを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期に、グラフと部分グラフ・木・連結度・オイラー回路とハミルトンサイクル・マッチングを学び、その応用として、最短道問題・連結子問題・信頼できる通信ネットワーク・中国郵便配達夫問題・巡回セールスマン問題・適正割り当て問題を取り扱う。後期に、辺着色・独立集合とネットワーク・点彩色・平面的グラフ・有向グラフ・ネットワークを学び、その応用として、時間表問題・Schurの定理・Mengerの定理を取り扱う。

履修上の留意点

毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

成績評価の方法

試験の結果で評価する。出席も考慮する。

教科書

J. A. Bondy & U. S. R. Murty (立花俊一・奈良知恵・田澤新成訳)『グラフ理論への入門』(共立出版) 2,800円

参考書等

R. Diestel(根上生也・太田克弘訳)『グラフ理論』(シュプリンガーフェアラーク東京)4,200円

その他

毎回の授業を三分割し、定義・定理の紹介、例題の解説の後、練習問題を解いていただく。

3 外 国 語 科 目

外国語

3. 外国語科目

[英語]

英語 I A	〈丸 小 哲 雄〉	485
英語 I A	〈吉 川 直 澄〉	485
英語 I A	〈落 合 和 昭〉	486
英語 I A	〈八十木 裕 幸〉	486
英会話 I	〈永 野 光 一〉	487
英語 L L I	〈真 砂 久 晃〉	487
英語 I B	〈佐々木 隆〉	488
英語 I B	〈真 砂 久 晃〉	488
英語 I B	〈樋 渡 俊 光〉	489
英語 I B	〈太 田 美智子〉	489
英語 I A・I B [再クラス]	〈丹 治 弘 昌〉	489
英語 I A・I B [再クラス]	〈伊勢村 定 雄〉	490
英語 I A・I B [再クラス]	〈伊勢村 定 雄〉	490
英語 I A・I B [再クラス]	〈山 縣 裕〉	490
英語 I A・I B [再クラス]	〈佐 藤 江里子〉	491
英語 I A・I B [再クラス]	〈本 間 俊 一〉	491
英語 II A	〈芝 田 興太郎〉	492
英語 II A	〈甲 斐 捷 子〉	492
英語 II A	〈小笠原 隆 元〉	493
英語 II A	〈吉 川 直 澄〉	493
英語 II B	〈芝 田 興太郎〉	494
英語 II B	〈落 合 和 昭〉	494
英語 II B	〈北 村 弘 文〉	495
英語 II B	〈高 橋 佳 江〉	495
英語 II A・II B [再クラス]	〈丸 小 哲 雄〉	495
英語 II A・II B [再クラス]	〈山 縣 裕〉	496
英語 II A・II B [再クラス]	〈笹 倉 貞 夫〉	496
英語 II A・II B [再クラス]	〈萩 原 輝〉	496

[ドイツ語]

ドイツ語 I A	〈松 岡 晋〉	497
ドイツ語 I B	〈野 島 利 彰〉	497
ドイツ語 I A・I B [再クラス]	〈本 橋 右 京〉	497
ドイツ語 II A	〈清 水 修〉	498
ドイツ語 II B	〈篠 原 敏 昭〉	498
ドイツ語 II A・II B [再クラス]	〈本 橋 右 京〉	499

[フランス語]

フランス語 I A	〈今 関 ア ン〉	500
フランス語 I B	〈前 田 祝 一〉	500
フランス語 I A・I B [再クラス]	〈桑 田 禮 彰〉	500
フランス語 II A	〈八 木 明 美〉	501
フランス語 II B	〈木 下 雄 介〉	501
フランス語 II A・II B [再クラス]	〈竹 田 正 純〉	501

〔 中 国 語 〕

中国語ⅠA・ⅠB	〈秋元 翼・王 聡〉	502
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈大久保 明 男〉	502
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈曹 泰 和〉	503
中国語ⅡA	〈秋 元 翼〉	503
中国語ⅡB	〈王 聡〉	503
中国語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	〈弘 兼 加奈子〉	504
中国語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	〈東 映 全〉	504

〔 ス ペ イ ン 語 〕

スペイン語ⅠA	〈大 岩 功〉	505
スペイン語ⅠB	〈大 岩 功〉	505
スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈栗 林 ゆき絵〉	506
スペイン語ⅡA	〈亀 山 晃 一〉	506
スペイン語ⅡB	〈中 山 直 次〉	507
スペイン語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	〈栗 林 ゆき絵〉	507

〔 ロ シ ア 語 〕

ロシア語ⅠA	〈廣 田 英 靖〉	508
ロシア語ⅠB	〈廣 田 英 靖〉	509
ロシア語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈杉 山 秀 子〉	509
ロシア語ⅡA	〈廣 田 英 靖〉	510
ロシア語ⅡB	〈廣 田 英 靖〉	510
ロシア語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	〈杉 山 秀 子〉	510

〔 英 語 〕

英 会 話	Ⅰ	〈永 野 光 一〉	511
英 会 話	Ⅱ	〈永 野 光 一〉	511
英 語 L L	Ⅰ	〈真 砂 久 晃〉	512
英 語 L L	Ⅱ	〈外 池 一 子〉	512

英 語 I A

〈英語 I A の授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をのばします。文章表現の場合、文から段落へ、会話表現の場合、日常基本表現から、多様な会話表現の理解と運用能力を目指します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	丸 小 哲 雄	経営B1年	2

講義のねらい

英語の総理解として環境問題、健康に関する食事や運動の問題、ライフスタイルに関する文書を読みます。テキスト内容を自分の現実的な問題としてリンクさせ、自らを異化して捉え直しつつ、考える英語表現に親しむことで、個性ある発想法を修得してもらいたい。同時にその読みの段階では専門的な語彙、英語のヴァリエーションのあり方、パラグラフの展開の仕方を研究します。加えて文法力やリスニング力をも涵養してゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

20分間を教材(テキストとテープ)を利用してリスニング・タイムとして、70分をリーディング及びライティング・タイムとします。リスニング・タイムは語彙と総理解を、ライティング・タイムはテキストの内容に関する練習問題を通して自己表現できるように発信型の能力を涵養してゆきます。レポート提出もあります。

成績評価の方法

出席、前期・後期のターム・ペーパー(レポート作成)、前期・後期の語学試験などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価。

教 科 書

リーディング・テキスト *Your World: Nature, Health, and Lifestyles* (英宝社)
リスニング・テキスト *12 Great Hit Songs (4)* (英宝社)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	吉 川 直 澄	経営B1年	2

講義のねらい

入学時の英語を基礎として、スピーキングとリスニングの演習を行なう。

講義の内容・授業スケジュール

炎は、いったん点火されれば、燃料の追加さえ怠らなければ、燃え続けるだろう。とはいえ、英語学習における“点火作業”には根気が必要だ。読めば何のこともない会話の断片すらも、音そのものから理解し、対処するには練習がいる。前期後期とも、音声を通じて、日常的な基本表現の定着を目指す。

履修上の留意点

とにかく繰り返し練習すること。付属のCDは、ただ聞くだけでなく、声を出して練習してほしい。練習する場合には、英語のリズムとイントネーションを極力“模倣”するように心掛けること。

成績評価の方法

3分の2以上の出席、授業内提出物、プレゼンテーション、前期末試験もしくは夏休みレポート、後期末試験を総合して評価する。なお、欠席と遅刻の回数についての問い合わせには一切応じない。

教 科 書

Leo Jones *Let's Talk 1* Cambridge University Press.

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	おちあいかずあき 落合和昭	経営B1年	2

講義のねらい

このクラスのレベルは英語の中級（英検準二級、二級、準一級）程度とし、英語圏の日常生活で、頻繁に、使用される現代口語英語表現を学びながら、英語の運用能力を高めることを目標とする。また、各種の実用検定試験（英検、TOEIC、TOEFL等）の受験準備にも役立つようにする。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、主として、四段階からなる。第一段階として、ヒヤリングを通して、英語の自然なスピードに慣れる。第二段階は、そのなかで、使用されている慣用表現の意味を、テキストを通して、確認する。第三段階は書き取りをする。第四段階は学生に登場人物になってもらって、その会話を再現する。

履修上の留意点

授業は徹底した演習形式を取り、学生の積極的な参加を前提にして、進める。

成績評価の方法

前・後期定期試験テストは40%、課題・授業中の発表・小テスト等は60%（課題は年間約10回程度提出。授業中の発表等に関しては、全員に一回の授業に最低一回は当てるつもりでいる）。出席率は三分の二を越えなければ、成績は「不可」とする。

教科書

- 『ネイティブ英語の慣用表現 (1)』（マクミラン）1,800円
- 『大学英語ヒヤリングのエッセンス』（朝日出版社）900円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	やそぎひろゆき 八十木裕幸	経営B1年	2

講義のねらい

英語を話したり、書いたりするための基礎知識を習得することをねらいとした。

講義の内容・授業スケジュール

日本語と英語の違いに注目して、英語表現を掴むことに重点を置く。日英比較—10章、文体—6章を2時限で1章消化していきたい。

履修上の留意点

英作文中心ですので、特に予習を実行して下さい。

成績評価の方法

欠席1回—4点を評点から減点、レポート1回—4点満点、前期後期テスト合計100点満点、小テスト—2点満点、授業に臨む態度—20点満点。

教科書

英語表現入門、武田良一、英宝社、1900円税別。
プリント

参考書等

授業時に紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 会 話 I	<small>なが の こう いち</small> 永 野 光 一	経営B1年/11以前経営B選	2

講義の内容・
授業スケジュール

開講時指示する。

成績評価の方法

会話の少人数クラスの授業だけに、平常点と出席点を重視する（受け身の授業ではなく積極的な参加を望む）。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 L L I	<small>まな ご ひさ あき</small> 真 砂 久 晃	経営B1年/11以前経営B選	2

講義のねらい

基本的な英語の Listening 能力と発音の向上をめざす。

講義の内容・
授業スケジュール

毎時間、ビデオを見ながら、Listening の練習をして耳を慣らし、少なくとも日常会話が聞き取れるようにする。

履修上の留意点

出席が3分の2未満の学生は単位を取得できない。（正当な理由のある欠席については考慮する）

成績評価の方法

成績 = (前期の点数 + 後期の成績) ÷ 2
前期、後期共、成績は (100点満点) = 出席点 (20~30%) + テスト (70~80%) となる。

教 科 書

CUTTING EDGE Elementary/Pre-Intermediate Video Workbook (Longman) 1540円

そ の 他

最初の授業では、詳しい説明をするので、必ず出席すること。

英 語 I B

〈英語 I B の授業内容と履修上の留意点〉

Reading and Listening Comprehension (Reading and Listening) : 入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と speed reading の基礎を身に付けます。読解力の場合、精読に加えて段落、章などの大意が把握できること、聴解力の場合、大意が把握できることを目指します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	ささき たかし 佐々木 隆	経営B1年	2

講義のねらい

本テキストは異文化コミュニケーションを題材としたもので、身近なものを取り上げて、異文化理解の一端としたい。

講義の内容・授業スケジュール

学生諸君の興味や関心にも対応できるように、テキストは特に定めない方針である。扱う内容は時事的なものを中心に、国内外を問わず、英語を読むのではなく、内容を読むことを知ってもらいたい。内容の理解には一般常識は不可欠である。

成績評価の方法

成績評価は出席を重視。授業での活動を成績に大きく反映させる。

教 科 書

Japanese and Westerners (マクミラン・ランゲージハウス)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	まなご ひさあき 真 砂 久 晃	経営B1年	2

講義のねらい

基本的な英文の読解能力の向上を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

初回の授業でオリエンテーションをする。必ず出席すること。

履修上の留意点

出席が3分の2未満の学生は単位を取得できない。但し、正当な理由のある欠席に関しては考慮する。

成績評価の方法

成績 = (前期の点数 + 後期の成績) ÷ 2
前期、後期共、成績は (100点満点) = 出席点(20~30%) + テスト(70~80%)となる。

教 科 書

THE BEATLES P.SHIPTON 著 (南雲堂フェニックス) 980円

そ の 他

授業を受ける時は携帯電話のスイッチを切っておくこと。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 I B	樋 渡 俊 光 <small>ひ わたり しゆん こう</small>	経営B1年	2

講義のねらい

国際化時代を迎えて、英語の学習の必要性が益々高まり、発信型コミュニケーションの能力をつけることが急務となる今日です。そこでアメリカ人と日本人の文化や考え方の違いを学習すると同時に現代の日本の状況を説明できる英語力を身につけることを目標とします。

成績評価の方法

出席点、二回の定期試験で評価し、年間欠席数は5回以内とする。

教科書

SIMPLY AMERICA, SIMPLY JAPAN (南雲堂)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 I B	太 田 美 智 子 <small>おお た みちこ</small>	経営B1年	2

講義のねらい

英語読解力の養成とリスニングの向上を目的とします。

講義の内容・
授業スケジュール

必要な情報を素早く読み解く訓練を重ねます。また、ロックンロールを通して幅広い表現方法は勿論のこと、社会的問題、隠されたメッセージなど、興味深いテーマの許で英語を学べることと思います。

履修上の留意点

必ず予習し、真摯な態度で授業に臨むこと。単位の修得ではなく、各自の実力の向上が目的であることを決して忘れないこと。そして何事にも知的好奇心を持つ。単に椅子に座しているのみで、授業参加していない場合には出席とはみなさない。

成績評価の方法

平常時の授業態度、予習の有無、場合によってはレポートの内容、また試験を行った際はその素点、等々の総合評価。

教科書

Rockin' English (マクミラン・ランゲージハウス)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 I A・I B [再クラス]	丹 治 弘 昌 <small>たん じ ひろ まさ</small>	経営B2・3・4年	2

講義の内容・
授業スケジュール

具体的には教場にて説明します。

成績評価の方法

成績評価は原則として3分の2以上の出席を最低限として、数回の小テスト並びに年2回の期末テストによって判定します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A・I B 〔再クラス〕	いせむら さだ お 雄 伊勢村 定 雄	経営B 2・3・4年	2

講義のねらい

発音、イントネーション、辞書の使い方などの基本を学ぶことを主眼とするが、出席と予習も重視する。

講義の内容・授業スケジュール

2～3時間で1レッスンを終えるように進む。〔本文の音読→Questions (2種類) →English Break→ダイアログ (音読・訳読) →小テスト〕の順でやる予定。(変更も少しある。)

履修上の留意点

予習必要！辞書は毎回持参のこと！

成績評価の方法

ペーパーテスト及び出席態度。

教科書

伊勢村定雄・Dennis R. Kogge『アメリカン・ライフを英語で』(北星堂書店) 1,900円

参考書等

中型英語辞典なら何でも可。

その他

水曜日・6時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A・I B 〔再クラス〕	いせむら さだ お 雄 伊勢村 定 雄	経営B 2・3・4年	2

講義のねらい

発音、イントネーション、辞書の使い方などの基本を学ぶことを主眼とするが、出席と予習も重視する。

講義の内容・授業スケジュール

2～3時間で1レッスンを進む。
進め方は：〔本文の音読→訳読→Exercises〕となるが、音読は全員が参加し、他は1人ずつ指名してやってもらう。

履修上の留意点

予習必要！辞書は毎回持参のこと！

成績評価の方法

ペーパーテスト及び出席態度。

教科書

渡辺節子他『インターネットで世界旅行』(南雲堂) 1,800円

参考書等

中型英語辞典なら何でも可。

その他

水曜日・7時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A・I B 〔再クラス〕	やま がた 山 裕 山 縣 裕	経営B 2・3・4年	2

講義のねらい

日常会話を TOEIC 形式の問題などまじえながら学習する。学生用 CD 付教材使用。

成績評価の方法

定期テスト・出席点などを総合的に評価する。

教科書

S. Eckstut・青木雅幸著『TOEIC テストに役立つ日常英語』(成美堂) 1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A・I B 〔再クラス〕	佐藤 江里子	経営B2・3・4年	2

講義のねらい

異文化が抱える現実を理解するための13のトピックから成るテキストを用い、総合的な視点で内容を把握しながら、実践的な英語力を習得することを旨とする。

履修上の留意点

必ず予習をし、辞書を用意して授業に出席すること。

成績評価の方法

出席、発表、毎回行う小テスト、授業態度などの平常点(50%)と、前期後期試験(50%)による総合評価。

教科書

『FACE IT! 異文化への視線』(南雲堂)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A・I B 〔再クラス〕	本間 俊一	経営B2・3・4年	2

講義の内容・
授業スケジュール

教科書の英文の訳読とその構文理解を中心として学びながら、話題は英米文化圏の日常生活、そして彼らの思考、さらに日本との比較に及ぶ。通常の授業は、前もって学習する予定を発表し、予習を前提に授業を進める。さらに年間を通じていくつか課題の提出を要求するつもりである。学習においては、もちろん細部にこだわるつもりであるが、あまり細部にこだわり過ぎて全体観を失うことは愚かなことであるから、時には相手に大きな誤解を与えない程度に大胆に要約する能力を養えるようにする。

成績評価の方法

前期と後期の2回の試験はもちろんのこととして、普段の授業での発表、さらに年間を通じての課題の提出で評価を決定する。授業の出席は3分の2以上、遅刻3回で1回の欠席と計算する。なお、課題の提出の仕方については授業で細かく説明するつもりであるが、休暇中にパソコン・ネットワークでも可能であるから興味のある学生はそれに習熟されたい。

教科書

『愛の諸相』(朝日出版社) 1,700円

英 語 II A

〈英語ⅡAの授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : I A を基礎として、より高度な英語の運用能力を身に付けます。文章表現の場合、段落から自由作文へ、会話表現の場合、ダイアログからディスカッションを目指します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A	しげ た こうたろう 芝 田 興太郎	経営B2年	2

講義のねらい

言いたいこと、思っていることをのびのびと書いてみよう。英語で発表してみよう。表現しようとする意欲と表現できた達成感を育ててゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- (A) 幾つかのテーマの中から自由に選択し、年間3~4篇のESSAY (自由作文) を書き上げる。
 (B) 併行して和文英訳演習プリントを継続的に使用。基礎力を増進する。

履修上の留意点

表現しようとする意欲を最重視する。欠席、遅刻、駒澤大学学生にふさわしくないマナーには厳しく対処するつもり。辞書必携。

成績評価の方法

定期試験は行わず。ESSAY、小テスト、平常の積極性、出席率を総合的に判断する。

教 科 書

テキスト、参考書は使わない予定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A	か い かつ こ 甲 斐 捷 子	経営B2年	2

講義のねらい

テキストはアメリカの文化、社会事情を様々な角度から紹介するビデオ教材です。現場の映像と生の音声を通して、臨場感を楽しみながら、英語の運用能力を総合的に高めることを目的とします。毎回の授業は「聞き」、「話し」、「読み」、「書く」、徹底的な総合演習です。

履修上の留意点

1単元終るごとに小テストを必ず行います。これは詳細な復習のためのテストで本試験と同じような傾向のものです。このテストで70%以上得点できるよう、復習に重点を置いて勉強して下さい。

成績評価の方法

一応の目安として、平常評価としての出席10%、前期試験30%、後期試験30%、小テスト30%による総合評価とします。総合点が基準に達しなかった場合、欠席が1/3を超えた場合、及び前後期定期試験のいずれかを欠試した場合は不合格となりますから、特に欠席をしないよう、十分注意して下さい。

教 科 書

教科書は使用せず、教員が作成するハンドアウトを使用します。ビデオ教材は、*American Dream* です。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	小笠原 隆元 <small>おがさわら りゅう げん</small>	経営B2年	2

講義のねらい

これまで7~8年間も学んだ英語力が将来何とか利用出来ることを目標にして、日本語と英語を比較文化、言語的に考えて年間25回前後の授業をする。

履修上の留意点

各自が自信をつけるように年間10回以上の日英両語によるレポート提出、小英作文提出を課します。

◎授業初回時に諸資料配布・提出物、英語力実力考査をするので必ず辞書持参で出席して下さい。

成績評価の方法

単位認定は出席点をはじめとする総合的評価で行う。

教科書

テキストは次のものを購入して下さい。

- ①『はじめてのイマージョン』（三修社）1,800円+税
 - ②『語順が身につく英作文』（朝日出版社）1,800円+税
- 他は教場にて示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	吉川 直澄 <small>きつかわ なお ずみ</small>	経営B2年	2

講義のねらい

英語IAを基礎として、より高度な英語運用能力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

日常的な基本表現を復習しつつ、英語での自己表現を拡大させる。前期は、主に音声を通じて、目から覚えられていた英語表現が“運用可能”となっているかどうか確認してゆく。後期は、前期の目標を継承しつつ、可能な限りプレゼンテーションを学生諸君にしてもらう。

履修上の留意点

とにかく繰り返し練習すること。付属のCDは聞くだけではなく、声を出して練習するためにある。練習する場合には、英語のリズムとイントネーションを極力“模倣”するように心掛けること。

成績評価の方法

3分の2以上の出席、授業内提出物、プレゼンテーション、前期試験もしくは夏休みレポート、後期末試験を総合して評価する。なお、欠席と遅刻の回数についての問い合わせには一切応じない。

教科書

プリント使用

英 語 II B

〈英語 II B の授業内容と履修上の留意点〉

Speed Reading and Intensive Reading : I B を基礎として、できるだけ多くの量を読めるように、大意の把握に心掛け、読む速度を上げます。また、より高度な英文を正確に理解するための構文も学びます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II B	しげ た こうたろう 芝 田 興太郎	経営B2年	2

講義のねらい 「読解力の増進は多読から」。平易な英文に絶えず親しみ、語学力を高めたい。

講義の内容・授業スケジュール 教科書に沿って読んでゆく予定。随時、別の読み物を加えたい。

履修上の留意点 自宅学習が欠かせない。辞書必携。

成績評価の方法 授業の始めと終りに行なう小テスト。出席率、積極性、礼儀を総合的に判断。

教 科 書 Lori Howard 著 *Read All About It Book 2* (OXFORD)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II B	おち あい かず あき 落 合 和 昭	経営B2年	2

講義のねらい このクラスのレベルは英語の中級（英検準二級、二級、準一級）程度とし、英語圏の日常生活で、頻繁に、使用される現代口語英語表現を学びながら、英語の運用能力を高めることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール 講義は、主として、三段階からなる。第一段階として、ヒヤリングを通して、英語の自然なスピードに慣れる。第二段階は、そのなかで、使用されている慣用表現の意味を、テキストを通して、確認する。第三段階は、学生に登場人物になってもらって、その会話を再現する。

履修上の留意点 授業は徹底した演習形式を取り、学生の積極的な参加を前提に、進める。

成績評価の方法 前・後期定期試験は40%、課題・授業中の発表・小テスト等は60%（課題は年間約10回程度提出。授業中の発表等に関しては、全員に一回の授業に最低一回は当てらるつもりでいる）。出席率は三分の二を越えなければ、成績は「不可」とする。

教 科 書 1) 『ネイティブ英語の慣用表現 (1)』(マクミラン) 1,800 円
2) 『機能別英語表現演習』(英宝社) 1,700 円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II B	きたむらひろふみ 北村弘文	経営B2年	2

講義のねらい

この授業の目的は、はじめて時事英語を読む学生諸君に、英字新聞を読む基礎を学んで貰うことにあります。そのためテキストにはやさしくて読み易い記事のみが取り上げられています。受講者は意欲的に授業に参加して、時事英語についての知識と能力を高め、併せて国際的な視野を養うのに役立てて欲しいと思います。

成績評価の方法

定期試験(前・後期)の成績以外に、平常点、レポート、出席状況などを勘案して評価します。

教科書

Newspaper English (2002年度版) (朝日出版社) 1,400円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II B	たかほしよしえ 高橋佳江	経営B2年	2

講義のねらい

一年生で学んだ英語力を落とすことなく、更に高度の長文を読めるようにする。正確な読みが要求される。

講読：一回の授業で必ず何人も当たるので、毎回予習も欠かさないこと。授業時間内にあわてて調べることのないように。高校時代に学んだ文法は意外に役立つ。苦手だった者は文法の教科書を参考にすると良い。辞書(大学生・社会人向けの学習用を使うこと。コンサイスなどの薄いものは不可)は必携。

成績評価の方法

欠席が1/3を越えた者(前・後期合わせて欠席8回以上)、理由なく連続4回欠席した者は受験の資格がない。前・後期の試験の平均点が60点以上の者を合格とする。遅刻3回で欠席1回扱いとする。

教科書

未定(最初の授業時に指定)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II A・II B 〔再クラス〕	まるこてつお 丸小哲雄	経営B3・4年	2

講義のねらい

環境問題を取り扱いたい。20世紀は戦争と科学技術の時代で、抗生物質と農薬、そして遺伝子の革命であった。現代ではインターネットによる情報社会であり、「IT革命の時代」と呼ばれるようになってきた。しかし自然破壊と化学物質の毒性による人間環境の痛めつけはわれわれが予想した以上に進んでいるようです。加えて、地球温暖化問題、大気・水質汚染問題、人口爆発、それらを原因とする環境ホルモンなどの問題も深刻な様相を呈しています。そこで環境保護運動の土台となるキー・ワードを捉えつつ、環境問題に対する関心を高め、自己表現としての実用英語を修得していただきたい。

同時に、20分間を教材を利用してリスニング・タイムとして、70分をリーディング・タイムとします。リスニング・タイムは語彙と総合理解を、リーディング・タイムはテキストの読み・解釈・批評の能力を涵養してゆきます。レポート提出もあります。

成績評価の方法

出席、前期・後期のターム・ペーパー(レポート作成)、前期・後期の語学試験などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価。

教科書

- ・リーディング・テキスト：『危うい日本の生活環境』(英宝社)
- ・リスニング・テキスト：『12 Great Hit Songs (4)』(英宝社)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA・ⅡB 〔再クラス〕	やまがた 山 縣 裕	経営B3・4年	2

講義のねらい 日常会話を TOEIC 形式の問題などまじえながら学習する。学生用 CD 付教材使用。

成績評価の方法 定期テスト・出席点などを総合的に評価する。

教科書 S. Eckstut・青木雅幸著『TOEIC テストに役立つ日常英語』（成美堂）1,900 円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA・ⅡB 〔再クラス〕	まさくら 笹 倉 貞 夫	経営B3・4年	2

講義のねらい 近年ますます国際化していく現代社会に即応し得るような洗練された国際感覚の育成とともに、実践的な英語運用能力の伸長をめざす。

講義の内容・授業スケジュール 平易な現代アメリカ英語で書かれたテキストを用いて、英語による文章表現を学ぶ。

履修上の留意点 予習・出席重視。

成績評価の方法 前・後期末テストの他、随時レポートを提出していただき、出席状況も勘案しながら総合的に最終評価を出す。

教科書 Pearl S. Buck 『The Bible Story（聖書物語）』（太陽社）1,422円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA・ⅡB 〔再クラス〕	はぎわら 萩 原 輝	経営B3・4年	2

講義のねらい これまで学んできた英語を基礎として、自分の考えや意見を、英語で表現出来る能力の習得を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール 4月から6月は、"Happiness"と"Money"と"work"についての章を学ぶ。7月は前期のまとめと、前期試験を実施。9月から12月は、"Love and Hate"と"Humor and Laughter"と"Experince"についての章を学ぶ。1月は後期試験を実施する。

履修上の留意点 いつでも自分の考えや意見を英語で表現出来るようにするために、自主的に勉強する態度を身に付けて欲しい。なお、教科書、英和・和英辞典を毎時間持参すること。

成績評価の方法 成績評価は、3分の2以上の出席、授業態度、試験の結果、等の総合評価。

教科書 Jim Knudsen 著『名句で英語を学ぶ』（南雲堂）1,957円

【ドイツ語】

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A	まつ おが すずむ 松 岡 晋	経営B1年	2

講義のねらい

下に記した教科書を用いて一年間でドイツ語の初等文法を学習します。

講義の内容・授業スケジュール

ドイツ語の文字、発音規則の説明から始めて徐々に積み重ね、一年後には簡単なドイツ語の文章を読めるレベルに到達できれば、と考えております。授業では文法規則の説明が中心になりますが、それ以外に各課ごとに例文を列挙したコピーを配布し、実際のドイツ文に慣れていただきます。また、発音も重視して、随時、反復練習をおこないます。

履修上の留意点

文法学習は積み重ねですから、定期的に出席することを切に望みます。また、教科書以外に、最初の時間に何種類か示す中型の「独和辞典」のうちの一冊を必ず購入してもらい、それを毎回持参していただきます。

成績評価の方法

成績評価は、最低二回以上おこなう筆記試験の結果および平常点（出席率、授業に取り組む姿勢など）によっておこないます。したがって、試験結果もさることながら、定期的出席、授業中の熱意なども重視します。

教科書

長谷川つとむほか著『らくらくドイツ文法』（三修社）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B	の じま とし あま 野 島 利 彰	経営B1年	2

講義のねらい

文法をある程度踏まえながら、耳からドイツ語を学びます。

講義の内容・授業スケジュール

付属のCDを自宅で聞いてあることを前提として授業を進めます。教室では練習問題に答えってもらうことを主眼にします。

履修上の留意点

文章をそのまま暗記してしまうほどCDを聞き込んでください。そうすれば練習問題も簡単に分かります。

成績評価の方法

予習をしてあるか否か、2回の期末試験、ヒアリングテストなどを総合的に判断して成績を評価します。

教科書

シュレヒト／三室著『ドイチュ・プラクティッシュ〈ロート〉』三修社 2500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A・I B 〔再クラス〕	もと はし う きょう 本 橋 右 京	経営B2・3・4年	2

講義のねらい

伝統的なドイツ語初級文法の配列にしたがって、やさしい文章をできるだけ多く読み、運用能力の涵養を期します。

講義の内容・授業スケジュール

文法を初めから復習し、場合によっては補足します。文法によってドイツ語の仕組みを把握し、それをテキストで確認します。そこに出てきた基本表現を覚え、さらに練習問題で理解を確実なものとし、習得を助けます。

履修上の留意点

予習や授業中の発表など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法

前期後期の試験や出席などで総合評価します。

教科書

諏訪田「新訂・ドイツ文法18歩」（同学社）2200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡA	し清水 おさむ 修	経営B2年	2

講義のねらい

特にコミュニケーション能力の養成をめざします。

講義の内容・授業スケジュール

最初は特に、復習に力を入れます。受講者の習熟度、意欲に合わせて授業を進めていきます。

履修上の留意点

ドイツの文化を知り、それについて考えるということは、日本の文化を知り、それについて批判的に考えるということです。
受講者には自分自身の意見を持つこと、主体的に考えるという態度を期待します。

成績評価の方法

主に平常点で評価します。

教科書

プリントを用意します。

参考書等

授業中に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡB	しの はら とし あき 篠原敏昭	経営B2年	2

講義のねらい

ドイツ語ⅠA・ⅠBで習った基礎的なことがらをもとに、少し進んだレベルのドイツ語の文章が理解できるようになることをめざします。あわせてより進んだレベルの文法項目の学習もおこないます。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを用いて授業をおこないますが、ドイツ人の考え方や行動スタイルなどもテキストをとおして学んでいきたいと思っています。

履修上の留意点

予習をやってくること、欠かさず出席すること、辞書を必ずもってくること。

成績評価の方法

毎回の授業における各人の取組みを重視したいと思っています。予習や宿題の消化が大事になります。小テスト、期末試験、学年末試験などを含めて総合的に評価します。

教科書

大谷弘道『CD付きドイツ人を知る9章』（三修社）2500円

参考書等

授業の中で指示します。

その他

CDをつかった授業をおこなう予定です。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語ⅡA・ⅡB 〔再クラス〕	もと はし う きょう 本 橋 右 京	経営B3・4年	2

講義のねらい

やさしい文章を読み、基本的な語彙やドイツ語の構文の特徴を習得します。

講義の内容・
授業スケジュール

初級文法を初めから復習し、場合によっては補足します。表現は短くて平易です。テーマは、ドイツ語圏の日常生活や生活文化です。私たちには馴染みのない事柄が興味深く紹介されています。

履修上の留意点

テキストには丁寧な文法問題が用意されています。しっかり予習して授業に臨んでください。予習や授業中の発表など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法

前期後期の試験や出席などで総合評価します。

教 科 書

Briel・渡辺『アルタークスレーベン』（郁文堂）2000円

[フランス語]

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 I A	いま ぜき 今 関 ア ン	経 営 B 1 年	2

講義のねらい

フランス語初級文法の確実な習得を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

文法の問題点を学生自身が発見し、読み・書き・話し・聞く、という全ての能力を使ってフランス語文法を身につける。

履修上の留意点

毎回必ず仏和辞典を持ってきて、実際に作業しながら授業を進めてゆく。宿題は必ずすること。欠席すると小テストに不都合が生じるので皆勤を目指して欲しい。

成績評価の方法

各単元毎の小テストを含む出席点 50%、定期試験 50%

教 科 書

伊勢晃『グラメール』（草美出版社）2,500 円

参 考 書 等

仏和辞典、清岡智比古『フラ語動詞、こんなにわかっていいかしら？』（白水社）1,500 円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 I B	まえ だ のり かず 前 田 祝 一	経 営 B 1 年	2

講義のねらい

音としてのフランス語に慣れ親しんでもらいます。

講義の内容・授業スケジュール

生活上の基本語・基本動詞・基本文型を習得することを主たる目的とします。

履修上の留意点

毎回の授業が新しいことの学習であり、その積み重ねで1年間の勉強が成り立っているのですから、欠席すれば先のことが分からなくなります。このことに留意すること。

成績評価の方法

前・後期のペーパー・テストで成績を評価します。また出席点や平常の課題なども考慮します。

教 科 書

沢田・ラタンジオ・黒川編『アミカルマン——フランス語・フランス文化への誘い』（改訂版）（駿河台出版社）1,800 円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 I A ・ I B 〔再クラス〕	くわ た のり あき 桑 田 禮 彰	経 営 B 2 ・ 3 ・ 4 年	2

講義のねらい

フランス語の基礎の習得

講義の内容・授業スケジュール

まず発音の基本をしっかり確認した上で、できるかぎり分かりやすく初級文法を説明しながら、簡単な文章読解・練習問題・会話表現を通じて、フランス語の基礎を身につけます。

履修上の留意点

発音練習や文法理解のために最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法

ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教 科 書

大津・楠瀬・村岡『赤い風船』（朝日出版社）

参 考 書 等

そのつど授業で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡA	やぎ 八木 明美	経営B2年	2

講義のねらい

初級文法をひととおり学習した者を対象にさらに文法学習を通してフランス語を理解することを目的として授業をすすめる。

出席、予習・復習、積極的な授業参加を求める。前期1回、後期1回のテストで成績評価します。

成績評価の方法

出席、予習・復習、積極的な授業参加を求める。前期1回、後期1回のテストで成績評価します。

教科書

『ル・フランセ』（白水社）1,750円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡB	きの 木 した ゆう すけ 下 雄 介	経営B2年	2

講義のねらい

1年次の授業で修得した文法の知識をもとに、辞書と相談しながら文章を読み解く練習をする。

講義の内容・授業スケジュール

平易な文章の探偵小説をテキストに用いる。

履修上の留意点

予習復習が必要なことは言うまでもない。テキスト中のすべての単語の品詞名・用法を確認して授業にのぞむこと。予習を怠り、教室に坐りに来るだけの学生は受講者とは認めない。かならずまともな仏和辞典を教室に持参すること（ポケット版の小辞典は不可）。

成績評価の方法

平常点を重視し、期末・学年末の試験成績を加味して採点する。

教科書

野村二郎編注『ロンメルのお宝』（白水社）1,470円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡA・ⅡB 〔再クラス〕	たけ だ まさ ずみ 田 正 純	経営B3・4年	2

講義のねらい

初級文法の復習をしながら教科書を読み進めていく。と同時に、中級フランス語の骨格部分も学習する。

講義の内容・授業スケジュール

読む・話す・書くの基本部分の練習を繰り返す。

履修上の留意点

辞書を必ず持参すること。授業を休まないこと。

成績評価の方法

小テストのほか、提出物も課す。それをベースに前後期2度の試験で評価する。

教科書

ミュリエル・ジョリヴェ『フランス男性から一言』（第三書房）1,100円

中国語

中国語 I A・I B・II A

(P.116) 参照

中国語 II B

I A-I Bの学習を基礎としつつ、簡単な内容の文を言ったり書いたりすることのできるような、初歩的な表現力の獲得を目指す。長文読解中心のII Aに対し、II Bの教材は短文の会話体を主とするもので、内容理解だけならさほど難しくはないであろう。ここで目標とされているのは新たな知識の拡張よりも、むしろ既修の知識を血肉化させ、それを「使える」ようにすることなのである。つまり、「発信型」の語学力の土台を築こうというわけである。そのため毎回の授業に休まず出席するのはもちろんのこと、教室で行われる練習に積極的に参加し、なるべく多くの反復練習をこなすよう努めてほしい。成績評価の原則は、上記I A-I Bに準ずる。

【辞書について】

(P.117) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	秋元 翼	経営B1年	2
中国語 I B	王 聡		2

講義の内容・授業スケジュール

前期はピンイン（中国式ローマ字表記）で中国語の音節の発音の仕方を学んだ後、簡単な文型の学習に入る。後期はひきつづき発音訓練をしながら、初級文法の知識をつみ重ね完成させる。

履修上の留意点

中国人教師の発音をよく聞き、大きい声を出して正しい発音が身につくように練習してほしい。学んだ文型を用いて会話にも積極的に挑戦してほしい。4分の3以上の出席を要する。

成績評価の方法

平常の学習態度、成果を重視し、各期末のテストと合わせて評価する。

教科書

尹景春・竹島毅著『《新版》中国語はじめの一步』（白水社）2310円

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	大久保 明 男	経営B2・3・4年	2

講義のねらい

正確な発音と基礎文法の習得をめざす

履修上の留意点

毎回予習、復習が必要。

成績評価の方法

以下の三項目で総合評価する

- ① 出席率：全授業回数の四分の三以上出席すること。6回以上の欠席は単位放棄とみなす。
- ② 小テスト：各課終了後に小テストを行う。必ず受けること。
- ③ 学習態度：遅刻、早退、私語、指されて「わかりません」の即答などは消極的な学習姿勢としてマイナス評価される。

教科書

尹景春・竹島毅『中国語はじめの一步』（白水社）2,060円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	曹 泰 和	経営B2・3・4年	2

講義のねらい

バラエティに富む楽しいテキストで、実際に役立つような会話文を習う。基礎的な発音、基本文法をゼロから学ぶ。

履修上の留意点

元気よく、積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法

テスト、宿題、出席、学習態度で総合評価する。

教科書

相原 茂・陳淑梅等著 アニメ中国語『恋する莎莎』(朝日出版社) 2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅡA	秋 元 翼	経営B2年	2

講義の内容・
授業スケジュール

日本語でもよく使われる9つの故事成語について書かれた教科書を使用する。文章は全文ピンインつきのやさしい中国語で書かれている。成語は中国の歴史に根ざしているのも興味をそられるであろう。

履修上の留意点

教科書には練習問題もあるので予習・復習をして授業に臨んでもらいたい。音読練習も重視したい。4分の3以上の出席を要する。

成績評価の方法

平常の学習態度、成果と各期末のテストで評価する。

教科書

荒屋勤、金佩華、橋本幸枝著『日本に生きる中国語—故事成語編—』(朝日出版社) 1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅡB	王 聡	経営B2年	2

講義のねらい

発音の復習や簡単な日常会話の学習と並行しながら、文法の基礎事項を順次学んでいく。中国語のヒアリングと会話の能力を高めることを目標とする

講義の内容・
授業スケジュール

前期：発音の復習。コミュニケーションの中で実際に使う基本表現の習得。基礎文法の解説。
後期：日常会話と基礎文法の習得を中心にし、発音の復習も念頭に。

履修上の留意点

予習を済ませてあることを前提に授業をする。

成績評価の方法

出席率・授業態度・平常点50%、定期試験50%。

教科書

三瀨正道他『たのしく話そう中国語』(朝日出版社) 2,100円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語ⅡA・ⅡB 〔再クラス〕	ひろ かね かなこ 弘 兼 加奈子	経営B3・4年	2

講義の内容・
授業スケジュール

めざましい発展をとげている現在の中国を「住宅の話」「結婚の話」等の十二の項目に分けて授業を行なう。

翻訳が中心となるが、発音・声調も重視していく。

履修上の留意点

中国語が嫌いな学生も、苦手意識を持たずに授業に参加してほしい。

成績評価の方法

成績は年間約4回のテストと教場での平常評価によって総合的に判断する。

教 科 書

三瀧正道・楊光俊 新訂版『現代中国 走馬看花』（朝日出版社）2,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語ⅡA・ⅡB 〔再クラス〕	あずま えい ぜん 東 映 全	経営B3・4年	2

講義のねらい

本講座では、学生諸君が大学一年生の時に学習した中国語A、またはBで、学習した音読を再確認し、このテキストを通じて、読解力の向上にとどまらず、中国人の生活・文化・風俗習慣により、ものの見方、考え方などをも垣間みることができ、中国を多く知ることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

このテキストは、中国の故事や民話、人民生活、新聞記事等から構成された文章を教材にし、中国への関心を高めることを目指す。

履修上の留意点

出席重視・大声で読むこと、時間厳守そして事前予習することが大切である。

成績評価の方法

試験、出席、授業態度等総合的に判断する。

教 科 書

頼石傳等共著『現代中文課文』（神保出版）1,650円

[スペイン語]

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I A	おお いわ いさお 大 岩 功	経営B1年	2

講義のねらい

初級文法の基礎を概観し、スペイン語とその世界に対する理解を深めることをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

文法事項の解説と演習をベースに、折りに触れて会話の練習なども行います。ビギナーが特につまづきやすいポイントを押さえながら授業を進めます。

履修上の留意点

予習するかしないかは一義的に学習者の自主性の問題ですが、なるべく予習をして授業に臨むよう心がけてください。予習して損をすることは絶対にありません。なお、授業には辞書を必ず持参してください。

成績評価の方法

年数回のテストと日頃の出席状況、受講態度を総合して評価します。

教科書

寿里順平・大岩功『読む・書く・話すスペイン語』（教材マルコ社）
長文読解用の教材についてはプリントを適宜用意します。

参考書等

辞書有本紀明編『西和辞典』（白水社）4,500円
宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）4,000円
カルロス・ルビオ、上田博人編『研究社新スペイン語辞典』（研究社）4,860円
桑名一博編『西和中辞典』（小学館）6,120円
これらのうちどれか一冊を入手することが望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I B	おお いわ いさお 大 岩 功	経営B1年	2

講義のねらい

I-Aで学ぶ初級文法をふまえて、スペイン語の初歩的な運用能力を身につけることをことをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

I-Bは作文を中心とした演習がメインとなりますが、適宜、文法項目の解説もします。

履修上の留意点

演習が主ですから、必ず予習して授業に臨んでください。宿題をやってくることは最低条件です。授業には辞書を持参してください。

成績評価の方法

年数回のテストと日頃の出席状況、受講態度を総合して評価します。

教科書

寿里順平・大岩功『読む・書く・話すスペイン語』（教材マルコ社）
長文読解用の教材についてはプリントを適宜用意します。

参考書等

辞書有本紀明編『西和辞典』（白水社）4,500円
宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）4,000円
カルロス・ルビオ、上田博人編『研究社新スペイン語辞典』（研究社）4,860円
桑名一博編『西和中辞典』（小学館）6,120円
これらのうちどれか一冊を入手することが望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	<small>くり ばやし</small> 栗 林 ゆき絵	経営B2・3・4年	2

講義のねらい

基本的な文法事項を整理して、スペイン語のことばのしくみを学習する。

講義の内容・
授業スケジュール

授業は文法事項の説明とそれを応用した練習問題という構成で進める。前期は現在形、後期は過去形、未来形、現在完了を中心に学習する。随時、課題、小テストを実施。

履修上の留意点

指示された課題は必ずやってくること。

成績評価の方法

平常点（出席、課題）6割以上、試験（小テストおよび前後期末）6割以上で合格とする。出席が6割に満たない者には単位を与えない。

教科書

堀田英夫『現代感覚でおぼえるスペイン語のエッセンス』（朝日出版社）1,900円

参考書等

『プログレッシブスペイン語辞典』（小学館）
*辞書はすでに所有しているものはそれを使用すればよいが、未購入の者は上記の辞書を購入するように。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡA	<small>かめ やま こう いち</small> 亀 山 晃 一	経営B2年	2

講義のねらい

基礎的な文法知識と日常会話によく出て来る表現を確実に身に付け、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って困らない為のコミュニケーション能力を養成する。演習の機会を多くすることにより、習得した知識を定着させる。

履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしないこと。自ら興味をもち、学習を継続すること。

成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教科書

開講時指示

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡB	なが やま なお じ 中山 直次	経営B2年	2

講義のねらい

前年度に引き続き、楽しみながら、スペイン語の総合的な学習を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

昨年度スペイン語ⅠBで使用した『トーレス一家の人たち』の前半を簡単に復習した後、その後半を学習します。これまで通り、場面別の会話文を訳読し、そこから取り出した文法を解説し、関連問題を解きます。ただし、今年度は、授業に変化をもたせるために、毎回副読本を使って簡単なスペイン語会話の演習をはさみます。

履修上の留意点

外国語の学習には「継続は力なり」という格言がよくあてはまります。「勉強する」というよりは「つきあう」という感覚で結構ですので、気楽に、しかし気長に取り組んでください。

成績評価の方法

授業中の演習や応答の状況、および宿題や小テストの成績などを記録しておき、その合計を数値化して成績の評価とします。(いわゆる学期末定期試験は行いません)。

教科書

中山著『トーレス一家の人たち』(芸林書房)：昨年度からの継続受講者は購入不要です。
中山著『250語のできるやさしいスペイン会話』(白水社)：今年度用の副読本です。

参考書等

辞書・参考書等は、現在持っているもので十分まにあうと思います。ただし、辞書は小型の携帯用だけでは幾分物足りなくなるかも知れませんので、その場合、できれば『現代スペイン語辞典』(白水社)・『西和中辞典』(小学館)・『新スペイン語辞典』(研究社)などのうちいずれか一冊を補充してください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語ⅡA・ⅡB [再クラス]	くり ばやし え 栗 林 ゆき絵	経営B3・4年	2

講義のねらい

本年度は会話表現の習得に重点をおく。動詞の活用形を学びながら、基本表現の応用の仕方を理解し、それを用いて様々なニュアンスの文を作ることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

活用・文法事項の確認→応用作文、会話表現の説明→応用作文、を交互に行う。

履修上の留意点

辞書(和西つきが望ましい)は授業中に使用するので必ず持ってくること。基本表現は口をつけて出るよう発音練習を繰り返してほしい。

成績評価の方法

出席日数が6割に満たないものは、試験の採点を行わない。小テスト、前後期の試験を合わせて60%以上とることが単位取得の最低条件。

教科書

木村琢也『スペインへのパスポート』(同学社)

参考書等

『プログレッシブスペイン語事典』(小学館)
*辞書を所有しない者は上記の辞書を購入するように。

[ロシア語]

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロ シ ア 語 I A	ひろ た ひて やす 廣 田 英 靖	経営B1年	2

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切です。

講義の内容・授業スケジュール

4、5、6月でかんたんな単語や文章を復習しながら発音やイントネーションの型を学びます。やさしい語尾変化に馴れるようにし、7月頃から平易な文章を声を出して読めるようにします。9月には6、7月頃に学んだ初歩の文法のまとめをします。10月頃からより複雑な文章を声を出して読み、内容を把握するように努めます。毎回授業の始めには楽しいクイズをしてできるだけロシア語に馴れてもらうようにします。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教 科 書

杉山秀子他著『21世紀のロシア語』（大学書林）価格未定
杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』（大学書林）1,751円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロ シ ア 語 I B	<small>ひろ た ひで やす</small> 廣 田 英 靖	経営B1年	2

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
 - 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
 - 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
 - 4) 基礎的な初等文法を学びます。
 - 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
- はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

4、5、6月でかんたんな単語や文章を復習しながら発音やイントネーションの型を学びます。やさしい語尾変化に馴れるようにし、7月頃から平易な文章を声を出して読めるようにします。9月には6、7月頃に学んだ初歩の文法のまとめをします。10月頃からより複雑な文章を声を出して読み、内容を把握するように努めます。毎回授業の始めには楽しいクイズをしてできるだけロシア語に馴れてもらうようにします。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教 科 書

杉山秀子他著『21世紀のロシア語』(大学書林) 価格未定
杉山秀子他著『やさしいロシア語読本』(大学書林) 1,751円

参 考 書 等

『露和辞典』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロ シ ア 語 I A ・ I B 〔再クラス〕	<small>すぎ やま ひで こ</small> 杉 山 秀 子	経営B2・3・4年	2

講義のねらい

一般的に、語尾変化があるロシア語は、難しい言語であるとおもわれがちですが、その動詞、形容詞、名詞の語尾変化を含む文法体系は、驚くほど首尾一貫しており、ある程度基本文法を学ぶと、ロシア語の文体が如何に単純、明快であるか、さらにその構成が極めておおらかで、自由、柔軟なことに気がつきます。このような特徴を持つユニークなロシア語の学習を通して、ユーラシア大陸における旧ソ連の各共和国、諸民族の生活や文化の背景にも広い視野でスポットをあてます。

最初の段階では、ローマ字やギリシャ文字と共通のものもあるわずか33個のロシア語アルファベットの綴、発音をイラストで示し、次にごく簡単な言葉、挨拶、ことわざを利用しながら、アクセントとリズム、イントネーションを反復練習し、自然におぼえることに重点をおきます。

徐々にロシア語の基本文法を体系的に分かりやすく解説し、平易な文型、実用的で応用のきく会話表現を学び、辞書を用い簡単な文章が正確に読み取れるようにします。

授業の合間には、気分転換をかねてポピュラーなロシア民謡を口ずさんだり、楽しく内容豊かなアニメーション・ビデオを鑑賞し、頭脳を能率よく働かせるロシア語学習を目指します。

成績評価の方法

出席および平常点を重視し、授業内に行う小テストを加え評価します。

教 科 書

戸辺又方『1年生のロシア語』(白水社) 1,400円

参 考 書 等

『露和辞書』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロ シ ア 語 II A	<small>ひろ た ひで やす</small> 廣 田 英 靖	経営B 2年	2

講義のねらい

ロシア語 IA で学んだ基本的な語尾変化、基礎文法を復習しながら、複文（関係代名詞、形動詞、副動詞など）をさらにわかりやすく具体的に解説し、辞書の引き方を学び、辞書をたよりに簡単な文章を読んだり、日常会話も試みます。

授業の合間には、ロシア文化圏を紹介するビデオを鑑賞し、また Windows で日本語ワープロソフト Word を用いてロシア語の文書を作り、「パソコンでロシア語の処理ができる」ことを実感します。

成績評価の方法

出席および平常点を重視し、授業内に行う小テストを加え評価します。

教 科 書

教場にてプリントを配布。

参 考 書 等

『露和辞書』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロ シ ア 語 II B	<small>ひろ た ひで やす</small> 廣 田 英 靖	経営B 2年	2

講義のねらい

ロシア語 I B で学んだことを基礎に、新聞・雑誌などから選んだ生の興味ある見出しや短い文章を教材として利用し、ロシア語の理解力を向上させるために、辞書を実用的な文章の学習に取り組みます。

授業の合間には、旧ソ連、新しいロシアおよびその近隣諸国の文化、歴史の理解に役立つビデオを鑑賞し、またユーモアあふれるロシアのアネクドット（小話）や含蓄に富んだことわざにもふれ、生き生きとした実践的なロシア語学習を目指します。

成績評価の方法

出席および平常点を重視し、授業内に行う小テストを加え評価します。

教 科 書

教場にてプリントを配布。

参 考 書 等

『露和辞書』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロ シ ア 語 II A ・ II B 〔再クラス〕	<small>すぎ やま ひで こ</small> 杉 山 秀 子	経営B 3・4年	2

講義のねらい

ロシア語 IA で学んだ基本的な語尾変化、基礎文法を復習しながら、複文（関係代名詞、形動詞、副動詞など）をさらにわかりやすく具体的に解説し、辞書の引き方を学び、辞書をたよりに簡単な文章を読んだり、日常会話も試みます。

授業の合間には、ロシア文化圏を紹介するビデオを鑑賞し、また Windows で日本語ワープロソフト Word を用いてロシア語の文書を作り、「パソコンでロシア語の処理ができる」ことを実感します。

成績評価の方法

出席および平常点を重視し、授業内に行う小テストを加え評価します。

教 科 書

教場にてプリントを配布。

英 会 話 I ・ II

初級の会話クラスです。基本的な日常表現ができることを目指します。達成目標の目安は英検2級合格、TOEFLのスコアー450点、TOEICのスコアー500点程度です。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 I	<small>なが の こう いち</small> 永 野 光 一	経営B1年/11以前経営選B選	2

講義の内容・
授業スケジュール

開講時指示する。

成績評価の方法

会話の少人数クラスの授業だけに、平常点と出席点を重視する（受け身の授業ではなく積極的な参加を望む）。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 II	<small>なが の こう いち</small> 永 野 光 一	経営B選	2

講義の内容・
授業スケジュール

開講時指示する。

成績評価の方法

会話の少人数クラスの授業だけに、平常点と出席点を重視する（受け身の授業ではなく積極的な参加を望む）。

英語 L L I ・ II

ランゲジ・ラボラトリ（1号館3・4階のLL教場）を使用し、英語の発音、アクセント、イントネーションなどの口頭練習、日常会話などのヒアリングとスピーキングを訓練します。I、IIとも TOEFL で 450点、TOEIC500点、英検 2 級合格程度を達成目標とする初級レベルのクラスです。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L I	真 砂 久 晃 <small>まなごひさあき</small>	経営B1年/11以前経営B選	2

(P.487) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L II	外 池 一 子 <small>とのいけかずこ</small>	経営B選	2

講義のねらい

日常生活の様々な場면을テーマにした会話の聞き取りを中心にリスニング力の向上を目指しますが、最終目標はそれを基にスピーキングの力をつけることです。

講義の内容・授業スケジュール

そのために、個々の音声の発音に加えて、語や句の中におけるアクセントの位置、リズム、イントネーション、さらには音が連続した時、また弱く発音された時の音の変化などに留意しながら授業を進めます。

履修上の留意点

予習は当然ですが、復習をきちんとすること。各レッスンのポイントとなる表現は必ず覚えること。カセットテープを必ず持参すること。

成績評価の方法

平常点 30%、授業の進度にあわせて行う試験（日安は前期・後期各 2 回）70%。出席日数が 3 分の 2 以上の履修者のみが評価の対象となります。

教科書

開講時に指示する。

4 保 健 体 育 科 目

保健体育科目の目標

本学の『保健体育科目』は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。

人間がひととして生きていくうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。本学の『保健体育科目』は、様々なスポーツ種目を通して展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを享受する能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。

さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要素であるパーソナリティーを共通の体験を通して得ることで、学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。

保健体育科目時間表

(於：本校体育館)

	月 曜 日		火 曜 日		水 曜 日		木 曜 日	
6 時 限	※大石	ニュースポーツ			高 橋	空手道	宮 沢	健康・スポーツ論
	秋 田	バドミントン			※川村	卓球		
	内 山	室内球技			三 幣	バドミントン		
7 時 限	大 石	ニュースポーツ	田 中	健康・スポーツ論	※高橋	空手道		
	※秋田	バドミントン			川 村	卓球		
	内 山	室内球技			三 幣	バドミントン		

※は、科目の主担当者

4 . 保健体育科目

健康・スポーツ論 (前期)	〈鈴木 淳平〉	517
健康・スポーツ論 (前期)	〈田中 佳孝〉	518
健康・スポーツ実習 (卓球)	〈川村 正義〉	519
健康・スポーツ実習 (バドミントン)	〈秋田浩一・三幣晴三〉	520
健康・スポーツ実習 (室内球技)	〈内山 雅博〉	521
健康・スポーツ実習 (空手道)	〈高橋 俊介〉	522
健康・スポーツ実習 (ニュースポーツ)	〈大石 武士〉	523
生涯スポーツ実習 (集中前期・基礎/応用)	〈休 講〉	
生涯スポーツ実習 (集中後期・基礎/応用)	〈休 講〉	
生涯スポーツ演習 (シーズン前期) (ゴルフ)	〈森本葵 他〉	524
生涯スポーツ演習 (シーズン後期) (スキー・スノーボード)	〈鈴木淳平 他〉	525

保健体育

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論(前期)	すずき じゆん べい 鈴 木 淳 平	経営B選	2

講義のねらい

健康としての具備すべき条件（13項目）の追求と、それに深くかかわる体育、スポーツの本質を見つめて、その科学的、医学的知識を持って、将来の社会的な生活拡充化の意識の育成を図る。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：体育の発生と今日までの各々の時代の変遷と併せて古代体育の目的と現代の体育の具体的目標について。
- 2 時限目：健康のための条件を再確認し、健康と身体運動の意義を人間以外の動物の寿命等を例として認識させる。
- 3 時限目：スポーツの発生経緯、発案者、命名の様相、各々の特徴、分類について
- 4 時限目：スポーツと体力の関係について
- 5 時限目：運動能力発達の原理
- 6 時限目：運動能力の領域
- 7 時限目：運動能力の構造
- 8 時限目：運動能力とスポーツ技能の分析
- 9 時限目：総合体力の定義と要素
- 10 時限目：スポーツ実施上の功罪、その一つとしてのスポーツ生涯について
- 11 時限目：　　〃
- 12 時限目：トレーニング理論全般
- 13 時限目：　　〃
- 14 時限目：　　〃
- 15 時限目：まとめ

成績評価の方法

成績評価は学期末の筆記試験による。

教 科 書

不要。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論(前期)	たなか よし たか 田 中 佳 孝	経営B選	2

講義のねらい

煩雑な現代社会の中で、人間が健康を維持しながら日常生活を営む為には安定した栄養摂取、十分な休養(睡眠)と適度な運動が必要である。これら三つは全て不可欠なものであるが、この講義では殊に栄養の観点から健康に係る諸問題を識り、より積極的な健康維持の為の栄養学的方法を学び、ストレスの多い現代社会生活に対抗できる食生活や健康な学生生活を送る為の栄養学をビタミンを中心に学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 人間に必要な栄養素
- 2 戦前・戦後に於ける栄養不足の違いについて
ビタミンとは
- 3 ビタミンの生理作用と薬理作用について
- 4 ビタミン欠乏症について
潜在性ビタミン欠乏症と自律神経失調症について
- 5~7 主なビタミンの働きについて
A、B群、C、D、E、K、U等
- 8~10 健康な学生生活を送る為のビタミン
○飲酒
○喫煙
○スポーツ
○外食、甘党
○ダイエット
○妊娠
- 11~12 健康を保つ食べ物
- 13 筆記試験

履修上の留意点

1. 遅刻は認めない。
2. 授業中の携帯電話の使用は厳禁。違反者は不合格とする。

成績評価の方法

2/3以上の出席をした者に対し筆記試験を行ない、優~不可の評価を行なう。出席回数が不足した者は不合格とする。

教科書

なし

参考書等

『健康科学ライブラリー』1、4、7、8、9巻(大修館)
『0歳からのビタミンバイブル』／『貝原益軒の養生訓』／『サーロインステキー症候群』
／『食事療法』／『新健康になるシリーズ』(女子栄養大学)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (卓球)	かわ 村 まさ よし 川 村 正 義	経営B1必	2
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(卓球)		経営B2・3・4年	

講義のねらい

文明発達の著しい今日、日常生活の中での動的プログラムは、益々減少しつつある。このような生活環境、特にフレックスB学生に対して、例え少ない時間であっても、卓球を通じて体を動かすことを主なねらいとしたい。特に卓球は瞬時の動きを必要とするから、意識的に敏捷な動きを課したい。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、目標の説明
- 2 時限目：ラケットの種類の特徴、ラケットの握り方、ラケットとボールを使った遊び
- 3 時限目：サービス、レシーブ、フォアハンドドライブ
- 4 時限目：サービス、フォアハンドドライブ、スマッシュ
- 5 時限目：サービス、バックハンド
- 6 時限目：サービスレシーブ、バックハンド
- 7 時限目：総合練習
- 8 時限目：総合練習 シングルスゲーム
- 9 時限目：シングルスゲーム
- 10時限目：ク
- 11時限目：ク
- 12時限目：ダブルスゲーム
- 13時限目：ク
- 14時限目：ク
- 15時限目：まとめ、テスト

成績評価の方法

出席を重視する。

教 科 書

服装は運動着、体育館用シューズ。
用具は全て貸与する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (バドミントン)	あきた こういち みぬさ はるみ 秋田 浩一・三幣 晴三	経営B1必	2
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(バドミントン)		経営B2・3・4年	

講義のねらい

バドミントンは、大衆スポーツとして日本人には非常に親しい存在である。幼いころからバドミントンラケットとシャトルコックで遊びとしてラリーを楽しんでいる。にもかかわらず、バドミントンを正式のルールのもとで実施できる人は非常に少ない。これは、おそらく学校体育の中で実施している学校がすくないことによるものであろう。

本講義では、手軽に実施できて、しかも運動量も予想以上に多く、虚々実々の駆け引きを必要とするバドミントンを、生涯スポーツとして長く楽しめるように、そのための基礎知識と技術を提供しようとするものである。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション・バドミントンの基礎知識・ラリー練習
(バドミントンのスイング技術・グリップ)
- 2 時限目：サーブの基本技術・フォアとバックスイングの基本技術
簡易ゲーム (ダブルスのラリーゲーム)
- 3 時限目：スマッシュの基本技術/ネット際のプレー技術
簡易ゲーム (ダブルスのラリーゲーム)
- 4 時限目：バドミントンコートの説明・ダブルスゲームの運び方、ルールの説明
正式ルールでのダブルス練習試合
- 5 時限目：ダブルスゲーム、1部リーグから4部リーグまでのリーグ戦第1日目
- 6 時限目：同 第2日目
- 7 時限目：同 第3日目
- 8 時限目：同 第4日目
- 9 時限目：同 第5日目
- 10 時限目：シングルスゲームの運び方、ルールの説明、正式シングルスゲームでの練習試合
- 11 時限目：シングルスゲーム、1部から7部までのリーグ戦
- 12 時限目：同 第2日目
- 13 時限目：同 第3日目
- 14 時限目：ダブルス、トーナメント優勝戦
- 15 時限目：シングルス、トーナメント優勝戦

成績評価の方法

服装：一般的な運動服装
シューズ：運動靴 (体育館用として中履きのシューズを使用すること)

教 科 書

出席を主体とし、それに技術、ルール、マナーなどの理解度を加える。

そ の 他

バドミントンラケット・シャトルコックは大学で用意する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
健康・スポーツ実習 (室内球技)	うちやままさひろ 内山雅博	経営B1必	2
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(室内球技)		経営B2・3・4年	

講義のねらい

バスケットボール、バレーボールを教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
(バスケット・ボール)
- 2 時限目：ボール・ハンドリング、ドリブル・シュート、グループ分け
- 3 時限目：ハーフ・コート2対1、ゲーム (1次リーグ)
- 4 時限目：ハーフ・コート3対2、ゲーム (1次リーグ)
- 5 時限目：ハーフ・コート4対3、ゲーム (1・2次リーグ)
- 6 時限目：ハーフ・コート3対3、ゲーム (2次リーグ)
- 7～9 時限目：実技テスト、ゲーム (2次リーグ)
(バレーボール)
- 10 時限目：オーバー・アンダーパス、ゲーム (リーグ戦)
- 11 時限目：レシーブ・スパイクの基本、ゲーム (リーグ戦)
- 12 時限目：サーブ・レシーブ・スパイクの応用、ゲーム (リーグ戦)
- 13～15 時限目：実技テスト、ゲーム (トーナメント)

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とする。体育館シューズを用意すること。担当教員によって時間配分を多少変更することがある。

成績評価の方法

出席点 (70点)、実技テスト (20点)、態度点 (10点)、60点以上を合格とする。

その他

種目の内容については、第1回目の授業時に決定する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (空手道)	たかほし しゆん すけ 高橋 俊 介	経営B1必	2
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(空手道)		経営B2・3・4年	

講義のねらい

空手道は、男子、女子を問わずに誰でもができ、空手道を通して礼節を重んずる精神を養成することを目的とする。また、身体各部を均等に動かし呼吸運動を伴うことによって内臓諸器官の機能を向上させることができる優れた健康法でもある。さらに護身術としても楽しく特殊な技術を習得する授業である。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：空手道の歴史と技の説明
- 2 時限目：自然体での上段直突、中段直突、上段揚受、中段外受
- 3 時限目：閉足立ちによる前蹴り、前屈立ちによる逆突、下段払い
- 4 時限目：前屈立ちによる移動基本、追突、前蹴り
- 5 時限目：前屈立ちにて後方に下がって上段揚受、中段外受、下段払い、下段払い受
- 6 時限目：自然体から左右の猿臂、前屈立ちで身体を回転してからの猿臂打
- 7 時限目：総合的に反復して練習
- 8 時限目：総合的に反復して練習
- 9 時限目：2人組で相対して攻撃技と防禦技をかけ合う約束組手に入る。
- 10 時限目：約束組手の中に猿臂打、手刀打を入れて護身術に入る。
- 11 時限目：総合的に反復して練習
- 12 時限目：総合的に反復して練習
- 13 時限目：総合的に反復して練習
- 14 時限目：総合的に反復して練習
- 15 時限目：実技試験

履修上の留意点

服装は、全員が授業用の空手衣を着用する。

成績評価の方法

授業出席状況、授業の参加態度、実技テストにて総合的に評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (ニュースポーツ)	おお いし たけ し 大 石 武 士	経営B1必	2
健康・スポーツ実習 [再クラス](ニュースポーツ)		経営B2・3・4年	

講義のねらい

現在、ニュースポーツとして注目されている簡単で安全、手軽にできるスポーツチャンバラやミニサッカー・バウンドテニスなど、それぞれのスポーツを余暇ゲーム感覚で楽しみながら、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして、生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時 限 目：オリエンテーション
- 2 時 限 目：スポーツチャンバラ：基本姿勢
- 3 時 限 目：スポーツチャンバラ：受け、体捌きの基本動作
- 4 時 限 目：スポーツチャンバラ：足捌き、打の基本動作
- 5 時 限 目：スポーツチャンバラ：応用打法
- 6 時 限 目：スポーツチャンバラ：受打の基本動作
- 7 時 限 目：スポーツチャンバラ：バウンドテニス・ミニサッカー
- 8 時 限 目：スポーツチャンバラ： ♪ ♪
- 9 時 限 目：スポーツチャンバラ： ♪ ♪
- 10 時 限 目：スポーツチャンバラ： ♪ ♪
- 11 時 限 目：スポーツチャンバラ： ♪ ♪
- 12 時 限 目：スポーツチャンバラ： ♪ ♪
- 13 時 限 目：総合
- 14 時 限 目：総合
- 15 時 限 目：テスト

履修上の留意点

服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不要。

成績評価の方法

出席率 70%、総合評価 30% で行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ演習 (シーズン前期・基礎/応用) ゴルフ	もり もと まもる 森 本 葵 他	経営B選	2

講義のねらい

「健康スポーツ実習」で行われているゴルフ授業を一步進めて、ゴルフコースを使用してゴルフを基本からラウンドプレーまでを体験することをねらいとする。したがって、初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象とするカリキュラムが組まれている。ゴルフの技術的なねらいを主たるねらいとするが、プレーヤーとしてのマナーやエチケット、更に同伴競技者とのコミュニケーションも本講義の重要なねらいとなる。生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良き人間関係をつくっていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

- オリエンテーション 1回目 4月10日(木) 17:40~18:00 9-173 教場
2回目 4月16日(水) 17:40~18:00 9-173 教場
※ 本オリエンテーションにて、受講許可書発行を行います。
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
- 事前授業 7月20日(日) 13:00~16:00 2研-102 教場「ゴルフの基礎知識」
- 実習内容および現地講義
 - 1日目【9月8日(月)】実技：14:00~17:00《打撃練習》
講義：19:00~21:00《ゴルフスイングの基本》
 - 2日目【9月9日(火)】実技：9:00~17:00・13:30~16:30《打撃練習・その他》
講義：19:00~21:00《ゴルフのマナーやエチケット》
 - 3日目【9月10日(水)】実技：9:00~17:00・13:30~16:30《打撃練習・その他》
講義：19:00~21:00《ゴルフのルール・ラウンドについて》
 - 4日目【9月11日(木)】実技：9:00~17:00・13:30~16:30《ラウンド・その他》
講義：19:00~21:00《ラウンドの反省と総括》
 - 5日目【9月12日(金)】実技：9:00~11:00・12:30~14:30《ラウンド・その他》

履修上の留意点

生涯スポーツ演習 シーズン前期・基礎/応用 ゴルフを履修する場合は、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可書を受けなければなりません。受講要項および本講義内容をよく確認して下さい。

- 実習日程：平成15年9月8日(月)~9月12日(金)の4泊5日(現地集合解散)
- 場 所：①宿 泊 軽井沢千ヶ滝温泉ホテル 電話(0267)46-1111
長野県北佐久郡軽井沢町千ヶ滝温泉
②練習場 軽井沢ゴルフ練習場 電話(0267)48-1211
③コース 晴山ゴルフ場・ホテルコース・和美パー3コース・その他
- 定員：20名
- 集合解散：現地(軽井沢千ヶ滝温泉ホテル)
詳細については事前授業で説明するので必ず出席すること。
- 受講料：50,000円 ※なお左記金額には、交通費は含まれない。
受講者は、経理部窓口で費用を納入すること(16:30以降は夜間総合事務室で受け付けます)。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意してください。
納入期間：平成15年5月26日(月)~6月7日(土)
- 服装・用具：
 - ① 一般的なゴルフ服装(セーター・ウインドブレーカーも天候によって必要)
 - ② ゴルフシューズ(ソフトスパイクに限る)は、必ず用意すること。ただし、練習場においては運動靴でも可。
 - ③ グローブは、必ず各自で用意すること。
 ※ゴルフクラブ・キャディーバッグは大学で用意するが、自分の物を持参してもよい。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習(5日間)に参加終了し、2単位が認められる。成績評価の方法は、出席点70%、技術の上達度および小テスト30%(ルール、マナー等)

そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部(第2研究館9階保健体育部資料室)に連絡すること。なお、参加費は返却されないことがある。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
生涯スポーツ演習 (シーズン後期・基礎/応用) スキー・スノーボード	すず き じゆん べい 鈴木 淳平 他	経営B選	2

講義のねらい

現在わが国において、スキーやスノーボードに代表されるスノースポーツは、国民に広く普及し「生涯スポーツ」として定着している。これらを楽しむ為に、実習および講義によって基礎技術や練習方法、ならびにゲレンデにおけるマナーなどについて理解を深めていきたい。実習はそれぞれの技術レベルに応じて班分けして実施する。コースの内容は以下の通りである。

- スキー・スノーボード基礎コース：雪面に慣れることから始まり、基礎的な滑走技術の習得を目指す。
- スキー・スノーボード応用コース：基礎コースを更に発展させ、安全で楽しくゲレンデを滑る技術の習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

1. オリエンテーション 1回目 4月10日(木) 17:40~18:00 9-173 教場
2回目 4月16日(水) 17:40~18:00 9-173 教場
※ 本オリエンテーションにて、種目決定と受講許可書発行を行います。
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
2. 事前授業 12月22日(月) 13:00~16:00 2研-102 教場「スノースポーツの基礎知識」
3. 実習内容および現地講義
 - 1日目【2月16日(月)】
午後、現地ホテルロビー集合
午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの基礎技術解説および安全・マナー」
 - 2日目【2月17日(火)】
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの応用技術解説」
 - 3日目【2月18日(水)】
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツと環境」
 - 4日目【2月19日(木)】
午前・午後：班別実習および全体講義「本実習の反省とまとめ」
 - 5日目【2月20日(金)】
午前・午後：班別実習 午後、現地解散の予定

履修上の留意点

- 本講座は、生涯スポーツ演習 シーズン後期・基礎/応用ですが、スキーまたはスノーボードのどちらかの種目とします。また、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可書を受けなければなりません。受講要項および本講義内容をよく確認して下さい。
- 1) 実習日程：平成16年2月16日(月)~2月20日(金)の4泊5日(現地集合解散)
 - 2) 場 所：実習 安比高原スキー場
宿泊・現地講義 安比グラウンド 電話(0195)73-5019
 - 3) 定員：スキー 20名
スノーボード 5名(但し、初心者に限る)
 - 4) 受講料：50,000円 ※なお左記金額には、交通費は含まれない。
受講者は、経理部窓口で費用を納入すること(16:30以降は夜間総合事務室で受付けます)。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意してください。
納入期間：平成15年5月26日(月)~6月7日(土)
 - 5) 用具：用具は現地レンタル可能(有料)。
 - 6) 特記事項：卒業年次生の追再試、1~3年生の追試験と重なっているため特に注意すること。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習(5日間)に参加終了し、2単位が認められる。成績評価の方法は、事前授業参加状況、各班において実施する実技テストと実習参加態度、並びに技術や理解度も含めて総合的に成績評価がなされる。

そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部(第2研究館9階保健体育部資料室)に連絡すること。なお、参加費は返却されないことがある。

保健体育

Ⅱ 専 門 教 育 科 目

経営学科フレックス B・第2部経営学科

授業時間表の区分「A」の科目を履修する場合は、
フレックス A の頁を参照してください。(→P.261)

經	濟	政	策	〈飯	田	泰	之〉	564		
財		政	学	〈速	水		昇〉	564		
金		融	論	〈寺	尾	好	正〉	565		
国	際	經	論	〈永	田	智	則〉	566		
日	本	經	論	〈休			講〉				
証	券	市	論	〈佐	藤		昇〉	567		
計	量	經	学	〈呉		逸	良〉	568		
イ	ノ	ベ	シ	ョ	ン		講〉				
日	本	經	史	〈北	島	万	次〉	569		
經	營	科	学	概	論	〈西	村	和	夫〉	570	
情	報	処	理	応	用	Ⅱ	〈宇	谷	明	秀〉	571
情	報	処	理	応	用	Ⅲ	〈宇	谷	明	秀〉	571
情	報	報	理	科	学	〈西	村	和	夫〉	572	
情	報	報	理	科	学	〈小	沢	利	久〉	573	
經	營	情	報	論	論	〈高	井	徹	雄〉	574	
シ	ス	テ	ム	論	論	〈青	木	武	典〉	575	
統	計	營	統	論	論	〈山	内	慎	二〉	576	
統	計	營	統	計	法	〈長		国	強〉	577	
民				法	法	〈織	田	晃	子〉	578	
商				法	法	〈島	原	宏	明	579	
勞		働		法	法	〈藤	本		茂〉	580	
税				法	法	〈休		講〉			
演		習		I	〈阿	部	一	人〉	581	
演		習		I	〈大	野	滿	奈〉	581	
演		習		I	〈加	藤	武	信〉	582	
演		習		I	〈北	島	万	次〉	583	
演		習		I	〈鈴	木	幸	毅〉	584	
演		習		I	〈長		国	強〉	584	
演		習		I	〈前	田	和	利〉	585	
外	書	講	読	(英書)	〈中	川	淳	平〉	585	
外	書	講	読	(英書)	〈速	水		昇〉	586	
外	書	講	読	(英書)	〈町	井		靖〉	586	
ビ	シ	ネ	ス	英	語	〈代	田		純〉	587	
特	殊	講	義	(前期)	Ⅱ	〈岩	淵	昭	子〉	587	
演		習		Ⅱ	〈大	島	久	幸	588	
演		習		Ⅱ	〈鹿	嶋	秀	晃	588	
演		習		Ⅱ	〈兼	村	榮	哲	589	
演		習		Ⅱ	〈猿	山	義	広	589	
演		習		Ⅱ	〈中	村	公	一	590	
演		習		Ⅱ	〈橋	場	利	幸	590	

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 学	か しま ひで あき 鹿 嶋 秀 晃	経営B1必	4

講義のねらい

「経営学とはどのような学問なのか」をわかりやすく解説し、一年間の講義を通じて、各受講者が「経営学を学ぶことのおもしろさ」を発見できることを目指します。経営学の最新のトピックスや、TVや新聞で見る経済経営のニュースを幅広く取り上げ、学問としての経営学と現実の企業経営との接点をさぐります。経営学のおもしろさを少しでも実感してもらえよう授業を進めていきます。経営学の基礎的な専門用語・概念・理論を一通り理解した上で、2年次以降の専門科目を主体的に選択し、特定の専門領域を深めるための足がかりにってもらいたいと願っています。

講義の内容・ 授業スケジュール

講義のサブテーマは以下の通り。

- ・経営学とは
- ・社会科学とは
- ・企業とは
- ・企業形態論
- ・経営組織論
- ・経営管理論
- ・経営戦略論
- ・経営学史
- ・マーケティング論
- ・生産管理論
- ・経営労務論
- ・日本的経営論
- ・国際経営論など

講義スケジュールについては、ホームページで公開します。

履修上の留意点

出席点なし。私語や携帯電話など授業進行や他受講生の邪魔をする者は即刻退室させます。ひどい場合は単位認定をしません。

成績評価の方法

出席点なし（授業中に提出してもらった質問票等は成績評価に一切考慮しません）。「レポートと筆記試験」の2つの合計点によって成績を評価します。

教科書

特に指定しません。板書とプリントを中心とした講義形式を取ります。

参考書等

日経産業新聞編『2003年版市場占有率』日本経済新聞社、2002年10月発行（レポート作成時の自習用テキストです。必ず購入のこと。4月講義開始時にもう1冊追加します）。その他の参考文献は講義の中で適宜紹介します。

その他

初回講義には必ず出席のこと。資料&課題集（1,000円）を販売します。代金持参のこと。ホームページでも、授業に関する情報を提供します。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kashima/index.html>

科目名	担当者名	配当学科	単位
簿記学	かたぎり のぶ お 片桐 伸 夫	経営B1必	4

講義のねらい

簿記は、とくに企業の経済活動を貨幣金額で記録するための方法です。簿記とは「帳簿記入」の略語であり、文字通り「書いて覚える」科目です。したがって、授業を休まず、毎回の課題をていねいに記帳し、確実に学習することが大切です。学習の成果は、次第に「企業の経営成績と財政状態が分かる」ようになることです。

講義の内容・授業スケジュール

- ①「簿記学とは?」、貸借対照表と損益計算書の構造
 - ②仕訳と転記 ③決算まで
 - ④現金預金・商品 ⑤補助元帳・有形固定資産
 - ⑥引出金・試算表 ⑦売上原価
 - ⑧貸倒引当金・減価償却・有価証券など
 - ⑨手形 ⑩費用・収益の見越・繰延 精算表(以上、日商3級レベルまで)
 - ⑪2年次の会計学(株式会社会計)の準備として、日商2級レベルの内容も若干学習します(3級は個人商店の簿記です)。
- ※詳しいスケジュールは、開講時に配付します。

履修上の留意点

ともかく記帳をおっくうがらないことです。簿記は「書いて覚える」科目であることに、とくに留意ください。

成績評価の方法

成績評価は平常点(宿題、小テスト)で行います。※質問は授業以外にも研究室2307号室で随時受け付けますので、遠慮なくおいで下さい。

教科書

『新検定簿記ワークブック3級 商業簿記』(中央経済社)

参考書等

必要に応じて紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
簿記学	おだ みき お 小田 幹 雄	経営B1必	4

講義のねらい

簿記を初めて学ぶ学生のために設けられた基礎知識を理解してもらうクラスです。簿記は日常の経済活動の状態を数値的に把握し、記録するための大切な手段であるので、本講座では「簿記とはどのようなものか」ということを認識してもらうために、プリントや練習問題により、簿記学習の基礎である資産・負債・資本の概念、収益・費用の意味について理解してもらいたい。また、勘定科目の意味を理解し、簿記一連の流れである仕訳・転記・試算表・決算修正・決算等についての基本的問題について正確に理解してもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 講義の内容は次のようになります。
- I 複式簿記の原理：複式簿記の計算構造・簿記一巡の手順
 - II 期中取引の処理：現金預金、商品売買、売掛金・買掛金、受取手形・支払手形
 - III 決算に必要な処理：決算修正仕訳・残高試算表の作成など
 - IV 帳簿処理の合理化：伝票制度、(コンピューター簿記)

履修上の留意点

簿記の学習は「自分自身がペンと電卓をもって練習問題を数多く解くこと意外にはない」との私の教育方針から、練習問題を解かせるし、テストや宿題を出すこともある。テスト用紙は必ず提出すること。出欠席のチェックは毎回行う。

成績評価の方法

講義時のテストおよび、宿題の点数を合計し、更に、定期試験の点を加算し、再び平均点を出して評価する。そのため、講義中のテストや宿題の未提出者は当然平均点が下がることになるから注意をすること。

教科書

羽瀧信宏監修『簿記テキスト—商業簿記—初級編』(共栄出版)2,000円程度
中村義彦編著『基本簿記演習』(プレスウェーブ)1,524円

参考書等

鶴飼哲夫・中村義彦著『簿記イントロダクション』(森山書店)2,625円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
簿 記 学	とこ い むつ こ 床 井 睦 子	経営B1必	4

講義のねらい

簿記学において主にその対象とされるのは企業の複式簿記です。経済の具体的担い手である企業は、人・モノ・カネそしてサービス（情報）からなります。そうした企業を資金という統一概念で捉え、その源泉と運用の二側面に着目し、勘定という特殊な様式でこれを記録・計算・表示するシステムが複式簿記と呼ばれ、かのゲーテが複式簿記は人間の精神が発明したもっともすばらしいものの一つであると賞賛したものでもあります。本講義では、この複式簿記原理の理解を目的に、(1) 仕訳、(2) 転記、(3) 決算の基本部分を学習します。そして、貸借対照表・損益計算書に代表される財務諸表と関連させながら、企業の計数管理についても考えていきます。

講義の内容・
授業スケジュール

前期：

- I. 「簿記学」の学習内容とガイダンス（年間計画、各種資格検定試験について）
- II. 企業会計と複式簿記システム－貸借対照表・損益計算書の意義、作成目的及び複式簿記との関連性
- III. 複式簿記システムの基礎（総論、簿記の目的と財務諸表）
 - 1 複式簿記の原理とその記帳法（取引の二面認識、取引と勘定、仕訳と転記、仕訳帳と総勘定元帳）
 - 2 決算手続（決算予備手続、決算本手続）
 - 3 簿記の一巡（ビデオを併用し、今までの学習のまとめ）

後期：

- IV. 財務諸表作成の基礎（貸借対照表・損益計算書のディスクロージャー制度）
 - 1 期中取引の処理（貸借対照表・損益計算書に関わる勘定各論）
 - 2 決算と財務諸表（決算整理、帳簿締め切り、財務諸表の作成）
 - 3 コンピューター会計（帳簿記入とコンピューターでの会計処理方法の相違）
- V. 財務諸表の分析と読み方－簡単な財務諸表分析と企業評価

履修上の留意点

“継続は力なり” 簿記学はその典型かも知れません。毎回の出席を期待しています。

成績評価の方法

前期と後期の2回の試験に平常点（出席点）を加味し、総合評価で行います。

教 科 書

床井睦子著『アカウンティングの基礎』（白桃書房）3,300円

参 考 書 等

必要に応じて紹介していきます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
簿記学	おおの まんな 大野 満奈	経営B1必	4

講義のねらい

簿記は会計学の基本であり、複式簿記の計算構造は、会計学のどの分野を学ぶにしても前提的に理解されることが必要である。この意味において、簿記の基本原則を理解し、経営学部に学ぶ者が最低必要とされる簿記知識を修得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期

1. 簿記・会計の意義と目的
2. 企業の財政状態—貸借対照表
3. 企業の経営成績—損益計算書
4. 取引と仕訳
5. 勘定記入と元帳の締め切り
6. 帳簿・伝票・証ひょう
7. 試算表の作成 (1)
8. 精算表の作成 (1)
9. 現金・預金
10. 小口現金
11. 商品売上の処理と仕入帳・売上帳
12. 総合復習
13. 総合復習

後期

1. 商品有高帳
2. 売掛金・買掛金と人名勘定
3. 有形固定資産の取得と売却
4. 資本金と引出金
5. 試算表の作成 (2)
6. 売上原価の計算と決算仕訳
7. 貸し倒れの見積りと減価償却
8. 精算表の作成 (2)
9. 有価証券
10. 手形取引
11. 費用・収益の見越しと繰り延べ
12. 精算表の作成 (3)
13. 総合復習

履修上の留意点

簿記は自分で練習問題を解き、照合することによって初めて修得できるものであるから、原則として毎回出席して要点を理解し、自宅では毎回の復習に心掛けること。また、疑問点は、積極的に質問することによって早期に解決しておくこと。

成績評価の方法

試験の点数・出席回数・提出物の三点をもって総合的に評価する。

教科書

『要点整理 日商簿記検定練習問題集』3級 (一橋出版)

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済学概説	はとり しげる 羽鳥 茂	経営B1・2・3・4選	4

講義のねらい

本講義では、経済学の基礎知識の修得をめざします。前期ではミクロ経済学、後期ではマクロ経済学を主として扱います。現実の経済問題の理解にどのように経済学が応用されているかの観点から講義するつもりです。

講義の内容・授業スケジュール

1. 経済学の課題、2. 需要理論と消費者行動、3. 供給理論と企業行動、4. 市場機構、5. 市場の失敗、6. 国民所得決定理論、7. 財政政策、8. 金融政策、9. 景気循環理論、10. 経済成長論

履修上の留意点

授業中は他の受講生に迷惑が及ばないように、私語を慎み、携帯電話の電源を切るなど全員が授業に集中できるように心がけてください。

成績評価の方法

原則として学年末の定期試験で評価しますが、授業への出席も重視します。レポート提出を課すこともありますので、総合的な評価になることもあります。

教科書

幸村千佳良『経済学事始』(多賀出版) 2,700円

参考書等

必要に応じて紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
会 計 学	近 藤 禎 夫 <small>こん どう さだ お</small>	経営B1・2・3・4選	4

講義のねらい

普通、企業会計というときそれは財務会計を指す。財務会計は、商法、証券取引法、および法人税法などの法律制度に拘束されるので制度会計ともいう。また、企業とりわけ独占大企業は、企業活動の詳細を会計数値によって利害関係者(経営者はいうまでもなく、株主、投資家、税務当局等々)に報告・開示が義務づけられており、公表会計ないし外部報告会計とも称したりする。

会計学および会計実務も、21世紀の企業を取り巻く国際的な政治情勢・経済情勢の劇的な変化にともない、日本の証券・金融市場や経済界全般が国際会計基準に調和せざるを得なくなってきた。まさに幕末の黒船出現のように、わが国に金融ビッグバンとともに会計ビッグバンをもたらした。例えば、企業グループ全体の業績を重視した連結財務諸表およびキャッシュフロー計算書の導入、年金制度の変革と退職給付会計、金融派生商品会計(デリヴァティブ)、税効果会計の導入等々と枚挙にいとまがない。

前期においては、初心者を対象にした財務会計の基本的な仕組みや会計制度の概要を講義する。それをふまえて、後期には最先端の日本の現代会計制度およびとくに注目すべき上記の個別問題に取り組むように計画している。

講義の内容・授業スケジュール

[会計の基本構造]

1. 会計の対象と方法
2. 会計の歴史
3. 企業の計算構造と複式簿記
4. 貸借対照表と損益計算書、利益処分計算書

[企業会計制度]

5. 日本の企業会計制度の特質
 6. 商法、法令による企業会計制度
 7. 証券取引法による企業会計制度
 8. 財務情報の開示と監査制度
- [会計の国際化と会計制度の変革]
9. 連結財務諸表の計算書
 10. キャッシュフロー計算書
 11. 退職給付会計
 12. 金融商品・金融派生商品会計
 13. 国際会計基準・米国会計制度

履修上の留意点

1年次生は簿記学をしっかり履修しつつ受講すること。また2年次生も簿記学の知識は必ず必須要件であり、さらに商法などの履修をすることが望ましい。

成績評価の方法

夏季休暇前の中間試験(またはレポート)ならびに学年末試験(とくに重視)により評価する。必修科目なので真剣に受講して頂きたい。

教科書

遠藤孝・近藤禎夫著『会計学』(改訂版)(森山書店)2000年3,500円
*教科書は、原価計算論の講義でも使用するので、受講者は重複しないよう注意。

参考書等

中央経済社編『会計法規集』最新版(2003年7月頃発売)
その他の参考書および参考文献は、随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 数 学	飯 田 哲 夫 <small>いいだてつお</small>	経営B1・2・3・4選	4
		14以降入学生 経営A1・2・3・4選	

講義のねらい

企業経営上の諸問題を扱う際、問題を定量的に分析したり、合理的な意思決定を行うために数理的な方法論を用いることがしばしばある。また、近年の情報化の発展に伴い、多種大量のデータを収集し、企業経営に活用することが容易になっており、そのための情報利用技術もまた発展してきている。

合理的な意思決定を支援する方法論や情報利用技術については、経営科学や経営情報学といった専門科目で学ぶことになるが、それらを理解する上で、ある程度の数学的素養があることが望ましい。

この講義では、経営科学や経営情報学、そして、その他の経営学関連の専門科目に関係する数学的知識のみを対象とし、数学をあまり得意としない人でも理解できるように、応用例を交えて、数学がどのように用いられるのかを具体的に紹介しながら基礎的なことから講義を進めていく

講義の内容・授業スケジュール

講義は高校で習った数学の復習を含めて基本的な内容から始め、微分および線形代数を扱う。具体的には以下の内容を予定している。

1. 1次関数、2次関数
2. 分数関数、指数関数
3. 数列、極限
4. 微分法とその応用
5. 多変数関数、多変数関数の微分とその応用
6. ベクトル、行列、逆行列
7. 連立1次方程式、連立1次不等式
8. 確率の基礎

ただし、応用例などを紹介するにあたり、関連性の強いいくつかの内容をまとめて説明することもあるため、必ずしも上記の順番で講義を行うものではない。

履修上の留意点

講義では理解を助けるために例を用いて説明を行うけれども、数学を学ぶ上では、抽象的な概念に慣れることが必要であり、かつ、講義の積み重ねを経ないと理解できないことも多いため、毎回出席すること。

成績評価の方法

前期・後期それぞれに数回小テストを行う。必要に応じてレポートの提出を求めることもある。それらの成績を年度末の筆記試験に加味して評価する。

教科書

特に指定しない。プリントを適宜配布する。

参考書等

講義中に適宜紹介する。

その他

〔関連科目〕 経営科学概論、経営科学、経営情報論、情報理論、経営統計、統計原論

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報処理基礎(前期)	宇谷明秀	経営B1・2・3・4選	2

講義のねらい

コンピュータは、情報収集および情報の処理・分析のために必要不可欠な道具である。また、企業経営において、欠くことのできない道具でもある。本講義では、コンピュータの使い方から始めて、書類作成、データ処理等の基礎について学んでいく。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) コンピュータの基本的な使い方
電源の入れ方から始め、タイピングの練習を行う。また、基本的なコンピュータ用語についても解説する。
- 2) ワードプロセッサによる文書作成
日本語ワードプロセッサを用いた文書の作成方法について学ぶ。
- 3) 表計算ソフトによるデータ処理と視覚化
表計算ソフトの使い方について学ぶ(様々なデータを用い、そのデータにどのような意味が隠されているのかを探る)。

履修上の留意点

授業は演習を中心に行う。欠席は極力避けること。

成績評価の方法

演習課題に対するレポートで成績をつける。

教科書

授業時に指示する。

その他

〔クラス定員〕 60名
〔関連科目〕 経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論
※この科目は4月初旬に教務部で受講票を受け取らなければ履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報処理基礎(前期)	加藤武信	経営B1・2・3・4選	2

講義のねらい

情報化社会の電子文房具であるパソコンは、個人レベル、組織レベルおよび社会レベルで益々必要性を増している。ここではパソコンの原理とその活用法の基礎部分を総合的に学習し、それを自在に使って、インターネットを用いた情報検索やワープロによる文書の作成、表計算によるデータ加工の技法などを修得する。パソコンの実習環境は、Windowsを用いる。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) コンピュータの仕組みと Windows の基本操作
アクセサリとペイントの活用、タイピング、ファイルシステムの操作を含む
- (2) ワープロソフト Word による文書作成
日本語入力、手紙、納品書、履歴書などの作成、図形描画の活用
- (3) 表計算ソフト Excel による作表・作図(基本レベル)
売上集計、成績処理と各種グラフ、納品書、履歴書、精算表の作成
基本関数、論理関数、データベースの活用
- (4) インターネットと電子メールの活用
Web ページの検索、ダウンロード、メールの送受信など

履修上の留意点

パソコン実習が全体の80%を占めるので、欠席せず、熱意をもって受講することを望む。習熟するためには、時間外のパソコン実習が必須である。また、テキストや配布教材を熟読しなければならない。

成績評価の方法

出席、レポートおよびテストにより総合評価する。

教科書

加藤武信他『コンピュータ活用』(サンウェイ出版) 2,300円

その他

授業の方法: パソコン実習 〔クラス定員〕 60名
〔関連科目〕 経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論
※この科目は4月初旬に教務部で受講票を受け取らなければ履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報処理基礎(前期)	はし ば とし ゆき 橋 場 利 幸	経営B1・2・3・4選	2

講義のねらい

この講義は以下のような目的を持っている。

- 1) 情報化社会で活躍してゆくための基礎的なコンピュタリテラシーを身につけること
- 2) 技術を身につけるだけでなく情報化社会に対する自己判断ができるようにすること
- 3) 社会人としてのモラルをもてるようにすること

講義の内容・
授業スケジュール

以下のような予定であるが、内容は受講生の希望や技術力によって変更する可能性もある。

- 1) コンピュータやインターネットの基本的な仕組みについての講義・演習
- 2) Windows上で稼動するワードプロセッサ Wordに関する演習
- 3) 表計算ソフト Excelの基本的な部分に関する演習
- 4) WWWシステムについての講義と利用に関する演習

授業では上記の内容に関する課題を随時出してゆき、皆さんに課題をこなしていった大きく。課題は印刷物で提出してもら場合と、コンピュータファイルで提出してもら場合の両方ある。

履修上の留意点

この授業では「社会人としてのモラルをもてるようにすること」も目標に掲げている。授業では実際の業務についたときと同様の「厳しさ」を受講生の皆さんに求めたい。具体的には以下の通りである。

- 1) 遅刻や欠席がないように注意していただきたい
あなたの取引相手が無断で商談の時間に遅れたら、あなたは相手を信用して取引を進めることができるだろうか。授業では、講義開始後には教室への入室を遠慮していただく場合がある。
- 2) 課題の提出時間は厳密に守ってほしい
あなたの取引している相手の商品が、期日までに納品されなかったらどうなるだろうか。授業の課題は、講師に対する一種の「納品物件」だと思っていただきたい。
- 3) 社会人として恥ずかしくない言葉遣いをしてほしい
ここでいう「言葉遣い」は、話す場合だけではなく、書く場合のことも指している。社会にいれば言葉遣い一つで信用を失うこともありうることを忘れないでいただきたい。
これらはいずれも社会人としては当然のことであるので、この姿勢を学生時代から是非身につけておいていただきたい。ただし上記の1)と2)に関しては、正当な理由(電車の遅れ、急病、冠婚葬祭など)がある場合は例外である。当日か後日に証明書類を提出していただければ、期限外でも課題を受理する。また何か質問などがあれば、電子メール(hashiba@komazawa-u.ac.jp)で遠慮なくご連絡いただきたい。

成績評価の方法

課題の提出状況と内容、および出席状況から評価させていただく。

教科書

太田忠一編/植松康祐・草薙信照著『文科系のためのコンピュタリテラシ [第2版]』(サイエンス社) 2,150円

参考書等

必要に応じて随時紹介する。

その他

講義、実習ともすべて情報教育センター(4号館)でコンピュータを使いながら行う。
〔クラス定員〕 60名
〔関連科目〕 経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論
※この科目は4月初旬に教務部で受講票を受け取らなければ履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情報処理応用 I (後期)	宇 谷 明 秀 <small>う たに あき ひで</small>	経営B1・2・3・4選	2

講義のねらい

本講義では、情報処理基礎に続き、データ処理の基礎およびプレゼンテーションソフトの使い方について学ぶ。また、ソフトウェア開発とはどのようなものか、プログラミングの基礎についても学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1) Excel と Power Point
- 2) プログラミング体験
C++Builder を使って、簡単なプログラムを作成する。

履修上の留意点

情報処理基礎を履修しておく和良好的。また、授業は演習中心になるので、欠席は極力避けること。

成績評価の方法

出席(20点) + 授業中の課題(40点) + 試験(40点)

教 科 書

使用しない。講義内容をまとめた資料を配布する。

参 考 書 等

必要に応じて随時紹介する。

そ の 他

[クラス定員] 60名
 [関連科目] 経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論
 ※この科目を履修するためには、「情報処理基礎」の4月初回授業時に担当教員の受講許可を得たうえで履修登録してください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情報処理応用 I (後期)	がとう たけ のぶ 加藤 武 信	経営B1・2・3・4選	2

講義のねらい

「情報処理基礎」の授業で確立したパソコンに関する知識・技術をさらに発展させ、実社会で応用できる活用能力に高める。すなわち Excel による応用処理と PowerPoint を用いたプレゼンテーション、さらに関係データベース Access を活用した「仕事の仕組み」の具体化を試みる。パソコンの実習環境は、Windows を用いる。

講義の内容・
授業スケジュール

- (1) 表計算ソフト Excel による応用処理
データベース応用、ピボットテーブルの活用、各種計算モデルの活用、管理資料の作成
- (2) プレゼンテーションソフト PowerPoint によるデータの視覚化
表題、箇条書き、組織図、表、グラフ、挿絵入りスライドなどの作成
- (3) データベースソフト Access による成績処理業務の設計と処理
テーブルの設計、フォームによるデータ入力、テーブルの結合、クエリによる各種集計、SQL の基礎

履修上の留意点

パソコン実習が全体の 80% を占めるので、欠席せず、熱意をもって受講することを望む。習熟するためには、時間外のパソコン実習が必須である。また、テキストや配布教材を熟読しなければならない。

成績評価の方法

出席、レポートおよびテストにより総合評価する。

教 科 書

加藤武信他『コンピュータ活用』（サンウェイ出版）2,300 円

参 考 書 等

加藤武信他『プログラムとシステム演習』（サンウェイ出版）1,800 円

そ の 他

授業の方法：パソコン実習

〔クラス定員〕60 名

〔関連科目〕経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論

※この科目を履修するためには、「情報処理基礎」の 4 月初回授業時に担当教員の受講許可を得たうえで履修登録してください。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
情報処理応用 I (後期)	橋 場 利 幸 <small>はし ば とし ゆき</small>	経営B1・2・3・4選	2

講義のねらい

この講義は以下のような目的を持っている。

- 1) 効果的に情報を表現するために必要なコンピュータ技術を身につけること
- 2) 技術を身につけるだけでなく情報化社会に対する自己判断ができるようにすること
- 3) 社会人としてのモラルをもてるようにすること

講義の内容・授業スケジュール

以下のような予定であるが、内容は受講生の希望や技術力によって変更する可能性もある。

- 1) 表計算ソフト Excel のさまざまな応用的な部分に関する演習
- 2) さまざまなソフトの連携利用に関する演習
- 3) Web ページ作成などを通じた情報の自己発信に関する演習
- 4) ネットワークの原理、情報倫理、情報化社会の問題点などに関する講義

授業では上記の内容に関する課題を随時出してゆき、皆さんに課題をこなしていただく。課題は印刷物で提出してもらう場合と、コンピュータファイルで提出してもらう場合の両方ある。

履修上の留意点

この授業では「社会人としてのモラルをもてるようにすること」も目標に掲げている。授業では実際の業務についたときと同様の「厳しさ」を受講生の皆さんに求めたい。具体的には以下の通りである。

- 1) 遅刻や欠席がないように注意していただきたい
あなたの取引相手が無断で商談の時間に遅れたら、あなたは相手を信用して取引を進めていくことができるだろうか。授業では、講義開始後には教室への入室を遠慮していただく場合がある。
- 2) 課題の提出時間は厳密に守ってほしい
あなたの取引している相手の商品が、期日までに納品されなかったらどうなるだろうか。授業の課題は、講師に対する一種の「納品物件」だと思っていただきたい。
- 3) 社会人として恥ずかしくない言葉遣いをしてほしい
ここでいう「言葉遣い」は、話す場合だけでなく、書く場合のことも指している。社会にいれば言葉遣い一つで信用を失うこともありうることを忘れて頂きたい。これらはいずれも社会人としては当然のことであるので、この姿勢を学生時代から是非身につけておいていただきたい。ただし上記の1)と2)に関しては、正当な理由（電車の遅れ、急病、冠婚葬祭など）がある場合は例外である。当日か後日に証明書類を提出していただければ、期限外でも課題を受理する。また何か質問などがあれば、電子メール(hashiba@komazawa-u.ac.jp)で遠慮なくご連絡いただきたい。

成績評価の方法

課題の提出状況と内容、および出席状況から評価させていただく。

教 科 書

太田忠一編／植松康祐・草薙信照著『文科系のためのコンピュータリテラシ [第2版]』(サイエンス社) 2,150 円

参 考 書 等

必要に応じて随時紹介する。

そ の 他

講義、実習ともすべて情報教育センター（4号館）でコンピュータを使いながら行う。
〔クラス定員〕60名

〔関連科目〕経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論

※この科目を履修するためには、「情報処理基礎」の4月初回授業時に担当教員の受講許可を得たうえで履修登録してください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営学史	なか がわ じゆん べい 中 川 淳 平	経営B 2・3・4選 14以降入学生/経営A 2・3・4選	4

講義のねらい

この講義では、100年あまりにわたる経営学の歴史上、重要なものと位置づけられる学説の展開を、企業経営の背景にある社会経済システムの動きと関連させながら検討する。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 経営理論のジャンゲル的状况
2. 科学的管理法と人間関係論
3. 所有と経営の分離
4. 近代組織論の展開
5. 社会経済構造の変動と経営学説の変容
6. 経済学の企業理論
7. 企業と社会（ドイツ経営学の発展）

履修上の留意点

講義中の私語は慎んで下さい。

成績評価の方法

試験による。また必要に応じてレポートの提出を求めることがある。

教科書

適宜プリントを配布する。

参考書等

配布するプリントに適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
アメリカ経営学	みやぎ 徹	経営B2・3・4選 14以降入学生/経営A2・3・4選	4

講義のねらい

世界の経営学をリードしているのは、いうまでもなく、アメリカ経営学とドイツ経営学である。そして、日本の経営学の研究・教育は、第2次大戦前はドイツ経営学から、大戦後はアメリカ経営学から圧倒的な支配的影響を受けて発展してきた。ところが、特に1960年代以降になると、ドイツ経営学にもアメリカ経営学の影響が顕著に見られるようになった。

学生諸君は、必修科目である「経営学」の授業を通じて、無意識のうちに、アメリカとドイツの経営学にかんする基礎知識をある程度身につけていることを前提とした上で、経営学徒のメッカ、アメリカ経営学をその最先端の理論的・経験的研究の基本的成果を踏まえて全般的に講義するが、主として、下記の授業計画の7つの要目について検討する。その際、日本の企業との関連についても検討を加える。

講義の内容・授業スケジュール

マイクと板書。教科書は指定しない。

この授業は1週1回90分で年間30週の時間数（ただし、期末試験日を入れて）から成る。最初の授業時間は、この科目を選択するか否かを判断するために下見に来ている学生諸君に、アメリカ経営学の1年間の授業の概要を説明する。原則として、下記の授業計画の要目をそれぞれカッコ内の授業回数（合計29回）で完結する予定である。なお、この授業回数は一応の目安であり、授業時間が祝祭日に当る場合は授業の進展状況によって若干変更することがある。

《2003年度『アメリカ経営学』授業計画》

- I 1年間の授業の概要 (1)
- II 経営学の対象と方法 (2)
- III 意思決定と権力（パワー）(8)
- IV 戦略（特に提携、グループ、ファミリー）(4)
- V コンティンジェンシー理論 (4)
- VI 取引コスト理論 (6)
- VII プロパティ・ライツ理論 (2)
- VIII プリンシパル-エージェント理論 (2)

成績評価の方法

期末筆記試験。なお、学生諸君の理解度と教育効果を確かめるために、期末試験以外に、小試験をおこない、その結果を評価の対象に加味することがある。

《期末試験の出題形式》

複数の問題から1題選択して論述する。詳細は試験前の授業で説明する。

参考書等

- 1 宮城徹『企業の政治理論序説』（税務経理協会）1997
- 2 宮城徹「企業制度とプロパティ・ライツ理論」『商学研究科紀要』（早大、第20号）1985
- 3 宮城徹「情報と企業経営の理論的諸問題」日本経営学会編『情報化の進展と企業経営』（千倉書房）1987
- 4 宮城徹「経営者論」鈴木英寿編『経営学総論』（第2版）（成文堂）1998
- 5 宮城徹「経営学の歴史」藤芳誠一編『新版・新時代の経営学』（学文社）1993
- 6 宮城徹「組織の経済理論の基礎構造」日本経営学会編『現代経営学の課題』（千倉書房）1997
- 7 宮城徹（単独訳書）『情報時代の企業管理の教科書—組織の経済理論の応用—』（税務経理協会）2000（A. Picot u. a., Die grenzenlose Unternehmung, Gabler, 1998）
- 8 宮城徹（共訳書）『新制度派経済学による組織入門』（白桃書房）1999（A. Picot u. a., Organisation. Eine ökonomische Perspektive, Schaffer-Poeschel, 1997）

ここでは紙幅の関係で上記の授業内容に直接関連のある私の著書・論文・訳書だけを参考文献の一部として掲げておいたが、その他の文献については適宜紹介してゆく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ経営学	たか はし しげ お 高橋成夫	経営B 2・3・4選 14以降入学生/経営A 2・3・4選	4

講義のねらい

ドイツ経営学の性格や内容を、この学問の歴史の中で明らかにするとともに、現代のドイツの企業経営制度の特徴を解明することにある。

講義の内容・授業スケジュール

- I. ドイツ経営学の生成
- II. ドイツ経営学の展開
 - (1) 科学的私経済学と技術論的私経済学
 - (2) 私経済学的企業経済学と規範的・技術的経営経済学
 - (3) 理論科学的経営経済学と応用科学的経営経済学
- III. ドイツ経営学の動向
 - (1) 意思決定志向的経営経済学
 - (2) システム志向的経営経済学
 - (3) 労働志向的経営経済学
- IV. ドイツの企業経営制度

履修上の留意点

積極的に出席することが望ましい。

成績評価の方法

定期試験や出席状況等を総合して評価する。

教科書

特定の教科書は使用しない。

参考書等

北野利信編『経営学説入門』(有斐閣新書)
北村健之助『経営経済学』(学文社)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経営管理論	鈴木幸毅	経営B 2・3・4選 14以降入学生/経営A 2・3・4選	4

講義のねらい

経営管理の理論と現実について、経済社会の動向、資本主義企業の現在の姿を視野に入れつつ、説明する。

講義の内容・
授業スケジュール

下記の1、2、3を前期にとりあげ、それとの関連において後期には4を中心に講義する。

- 1 古典的理論
 - (1) テイラーの科学的管理論
 - (2) 管理過程論（職能論）
 - (3) 管理構造論（組織論）
- 2 新古典的理論
 - (1) ホーソン実験と人間関係論的管理論
 - (2) 行動科学的管理論
 - (3) 管理開発論
- 3 近代理論
 - (1) バーナード革命
 - (2) 組織論的管理論
 - (3) 意思決定論的管理論
- 4 現代理論
 - (1) 環境適応の管理論
 - (2) 戦略的管理論
 - (3) 環境問題と企業責任論

履修上の留意点

自主的学習を期待するので、特に出欠をとることはしないが、中間試験に代わるレポート提出を求め、その成績を期末テスト結果に加味して評価する。

教 科 書

鈴木幸毅著『企業と管理の理論』（税務経理協会）2001年4月（前期）
後期は、別の教科書を使う。

参 考 書 等

鈴木幸毅著『バーナード組織理論の基礎』（税務経理協会）1998年
鈴木幸毅著『環境ビジネスの展開』（税務経理協会）2001年5月

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 組 織 論	日 野 健 太	経営B 2・3・4選 14以降入学生/経営A 2・3・4選	4

講義のねらい

組織論のフレームワークによって、企業をはじめとする組織を分析できるようになることを目的とする。そのため、この講義では、組織論で扱われる基本概念を学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

経営組織論の内容は、大きく分けて、組織の環境適応を扱うマクロ組織論と、組織における集団、個人を扱うミクロ組織論に大別される。ここでは、ミクロ組織論、マクロ組織論の順序で講義を進める。学生諸君が具体的なイメージを持てるように、何回かケースを取り上げる。また、学年末の数回は、組織論の分野の新しい理論やトピックについて扱い、全体的な理解が深まるように配慮する。

講義の対象は以下の通り（番号と講義の回数は対応しない。また必要に応じて順序を入れ替えることがある）。

- (1) 組織論における組織観と人間観
- (2) モチベーション
- (3) グループダイナミクス
- (4) リーダーシップ
- (5) 組織におけるパワーとコンフリクト
- (6) 組織の環境適応
- (7) 情報処理の理論
- (8) 知識創造理論
- (9) イノベーションと組織変革
- (10) まとめ

履修上の留意点

特に、前提となる特別の知識は必要としないが、自分の所属する組織や見聞する組織を思い浮かべながら学習すると理解が深まるであろう。また、授業中質問することがあるが、そんなに難しいことを訊くつもりはないので、大きな声で答えてほしい。

成績評価の方法

学期末2回の定期テストのウエイト80% 小テスト等のウエイト20%
講義の内容に対してフィードバックを得るために出席をとることがあるが、基本的に成績評価には加味しない。

教 科 書

金井壽宏『経営組織』（日経文庫）

参 考 書 等

高橋・山口・磯山・文『経営組織論の基礎』（中央経済社）
桑田・田尾『組織論』（有斐閣）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マ ー ケ テ ィ ン グ 論	かねむら せい てつ 兼 村 栄 哲	経営B 2・3・4選	4
		14以降入学生/経営A 2・3・4選	

講義のねらい

社会的な分業体制が成立している今日の経済においては、生産と消費の間にさまざまな隔たりが発生しており、そのために、円滑な交換が阻害されていることが少なくない。こうした隔たりは、一般に、「経済的懸隔」ないし「経済的隔離」と呼称されている。

マーケティング論は、この経済的懸隔を架橋し、円滑な交換を実現するメカニズムを研究する学問であり、マクロ・マーケティング論とミクロ・マーケティング論の2つに大別される。前者は、社会経済的な視点から、経済的懸隔を架橋するメカニズムを把握しようとするものであり、「流通論」とほぼ同義である。後者は、個別企業のマネジメントの視点から、所定企業の商品についての経済的懸隔を架橋するメカニズムのあり方を検討するものであり、当該企業の商品を消費者に効率的かつ効果的に到達させるにはどうすればよいかを考察する。なお、「マーケティング論」といえば、通常、このミクロ・マーケティング論を指している。

マクロ・マーケティング論とミクロ・マーケティング論は密接に関連しており、一方をより深く理解するためには、他方を理解しておくことが必要不可欠である。そこで、本講義では、主として、前半にマクロ・マーケティング論を、後半にミクロ・マーケティング論を扱っていく。

講義の内容・授業スケジュール

〔オリエンテーション〕

- 1) オリエンテーション
- 2) マーケティングの2義性
 - ・経済的懸隔の意義と内容
 - ・マーケティングの2義性

〔マクロ・マーケティング論〕

- 1) 流通機能
 - ・流通機能の意義と領域
 - ・流通フロー
- 2) 流通機構
 - ・流通機関の意義と内容
 - ・卸売業者の意義と分類
 - ・小売業者の意義と分類
 - ・流通の客体
 - ・流通機構を取り巻く環境
 - ・流通経路
- 3) (ミクロ・) マーケティングの台頭
 - ・商業者の存立根拠
 - ・流通における商業者の地位の後退
 - ・伝統的流通経路と垂直的マーケティング・システム

〔ミクロ・マーケティング論〕

- 1) 企業におけるマーケティングの役割
 - ・経営戦略
 - ・マーケティングの役割
 - ・マーケティング・コンセプト
 - ・マーケティング概念の拡張傾向
- 2) マーケティング管理
 - ・マーケティング管理過程
 - ・環境分析
 - ・市場細分化
 - ・マーケティング・ミックス
- 3) 市場概念
 - ・市場の2義性
 - ・消費財市場と産業財市場の比較
 - ・市場構造
- 4) 製品戦略の領域
 - ・製品の意義
 - ・製品ミックス
 - ・新製品の意義
 - ・新製品開発プロセス
 - ・製品ライフ・サイクル
 - ・製品廃棄と計画的陳腐化
 - ・ブランドの意義と役割
 - ・ブランドの分類
- 5) 価格戦略の領域
 - ・価格の設定方法
 - ・新製品導入時の価格設定方法
 - ・価格の管理方法
- 6) チャネル戦略の領域
 - ・チャネル・タイプ
 - ・チャネルの構築方法
 - ・チャネルの管理方法
- 7) プロモーション戦略の領域
 - ・広告活動
 - ・人的販売活動
 - ・セールス・プロモーション活動
 - ・パブリシティ活動
- 8) マーケティング・リサーチ

履修上の留意点

- 1) 出席すること。
- 2) 携帯電話や私語など、講義の妨げになるような行為は絶対にしないこと。
- 3) 講義中にプリントを配布することがあるが、このプリントは当該講義時間内にしか配布しないので注意すること。

成績評価の方法

テスト-90点、出席状況など-10点

教科書

兼村栄哲編著『マーケティングの基礎知識』（白桃書房）2003年発行予定。

参考書等

兼村栄哲他4名著『現代流通論』（八千代出版）1999年
宮澤永光監修『基本流通用語辞典』（白桃書房）1999年
宮澤永光・亀井昭宏監修『マーケティング辞典』（同文館）1998年
その他の参考書などについては、適宜紹介する。

その他

マーケティング論も、他の学問からまったく独立しているわけではない。実際に、さまざまな学問における概念や手法を援用ないし応用している。そこで、事前に履修しておいたり、並行して履修するのが望ましい科目を示しておく。

〔マーケティング論全般〕

商業経営論

〔マクロ・マーケティング論〕

企業形態論-とくに、「2）流通機構 小売業者の意義と分類」において。

〔ミクロ・マーケティング論〕

経営戦略論-とくに、「1）企業におけるマーケティングの役割 経営戦略」において。

経済学概説・近代経済学-とくに、「3）市場概念、市場の2義性」、「同 市場構造」、
「5）価格戦略の領域、価格の設定方法」において。

統計学・統計原論・経営統計-とくに、「8）マーケティング・リサーチ」において。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営財務論	たか だ みつ あき 高 田 光 明	経営B 2・3・4選 14以降入学生/経営A 2・3・4選	4

講義のねらい

〔財務の意味〕

経営財務は、企業という組織体の財務を研究する学問分野である。企業は、社会が必要とする財貨やサービスを生産し販売するという活動を営む報酬として、利益を獲得しようとする組織体である。このような活動では、機械、建物、原材料などの財貨が必要となるし、労働力も不可欠である。企業は、その活動を営むに際し、これらの財貨を取得しなければならないし、働き手も雇用しなければならないわけであり、そのために元手となる資本を必要とする。

この元手としての資本を集めることを、資本の調達という。そして、現金の状態では通常は調達する資本で、企業は、上記の財貨や労働力などを取得し、これらの生産要素により、新たな財貨やサービスを生産して販売するという営業活動を遂行し、その結果として資本が自己増殖することを目指す。このことが資本の運用であり、企業の営業活動を通じた資本の自己増殖分が利益である。企業の財務とは、現在では、企業による以上のような資本の調達と運用をいっている。

〔資本調達の位置〕

企業が資本を調達するのは、調達資本をできるだけ効率的に運用して自己増殖させ、利益を生み出すためである。その意味では、資本の運用あつての調達であるといつてよい。しかしながら、企業は、用途に合った種類の資本を、必要とする額だけ必要ときに調達できなければ、資本の運用を意図したように行い難くなる。資本運用の効率性は、企業が、資本の運用に合わせた調達をいかに行えるかに制約される。資本の運用がうまくいくかどうかの出発点は、資本をどのように調達するかにあるといえる。

資本の調達問題は、経営財務において、依然として重要な位置を占めていることに変わりがない。資本の運用あつての調達であるからといって、そのことは、資本の調達面の意義が小さくなることをけっして意味してはいないのである。この授業では、以上のような問題意識のもとで、資本の調達を中心に、必要に応じて資本の運用面と関連させながら講義するつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

基礎知識を体系的に理解し、この学問の基本的考え方を身に付けられるようにするために、まず基礎的・総論的事項から講義していく。

1. 経営財務の領域
2. 資本と資産
3. 資本の分類
4. 資本の運用形態
5. 資金調達の基本原則
6. 流動・固定分類法の重要性
7. 資金概念
8. 企業利益の概念
9. キャッシュ・フロー
10. リスクとリターン
11. 資本のコスト
12. 内部資金
13. 株式資本と他人資本との相違
14. レバレッジ
15. 資金調達の手順

履修上の留意点

経営財務論を理解する上で必要となる最小限の会計的知識も授業では説明する。しかし、簿記学と会計学を前もって履修してあることが望ましい。

成績評価の方法

原則として、期末筆記試験により評価し、出席点を加味する。

参考書等

中原章吉編著『経営財務と管理会計』（中央経済社）
染谷恭次郎著『資金計画の手引き』（日経文庫）

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際経営論	茂垣広志 <small>もがきひろし</small>	経営B 2・3・4選 14以降入学生/経営A 2・3・4選	4

講義のねらい

国際経営とは、国境を越えて事業を展開している企業（多国籍企業）の経営戦略およびマネジメントの課題に取り組んでいる経営学の一領域である。本講義のねらいとしては、経営戦略論、管理論、組織論をベースとして、比較経営や異文化マネジメントの視点を加味して、多国籍企業の戦略行動とマネジメントの特徴を理解することにある。つまり、国内的企業ではあまり問題とならないような、企業の国際化、多国籍化にかかわる諸問題を企業経営の視点から多面的に捉え、検討することを通じて国際経営に関する基本的理解を深めることを講義の目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

日本企業を念頭において授業を進めるが、欧米系多国籍企業との比較、ケースを用いて理解が深められるような講義の内容を予定している。授業のスケジュールに関しては、下記のような構成となっている。

1. 国際経営論入門、2. 経営戦略の基礎と国際経営戦略、3. 企業の国際化と国際経営環境、4. 企業の多国籍化と国際化の発展段階、5. 国際競争戦略のパターン、6. 国際戦略提携、7. 国際経営組織、8. 国際経営のモデル、9. 日本企業の国際経営（日米欧多国籍企業比較）、10. 海外子会社のマネジメント、11. 異文化マネジメント、12. 海外派遣（出向）者の育成・選抜・処遇、13. 日本企業の国際経営上の課題と展望

履修上の留意点

教科書を用いて講義を進めるため、授業に教科書を携帯のこと。

成績評価の方法

成績は、期末試験の結果によるが、その際、出席状況を加味する。

教科書

茂垣広志『グローバル戦略経営』（学文社）2,800円

参考書等

必要に応じて指示する。

その他

プロジェクターを用いて講義形式で授業を進行する。また、必要に応じて資料を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営戦略論	なかむらこういち 中村公一	経営B2・3・4選 14以降入学生/経営A2・3・4選	4

講義のねらい

経営戦略論は、現実の企業経営と密接に関連している実践的要素の強い科目である。受講生が企業に就職した時に、その企業が属する業界がどのように動いており、それに対応して企業が採っている戦略を理解することは、自分達の仕事の意義を考える上で有効なことである。さらに、就職活動の時にも、希望する企業の動向を把握することは重要な選択要因の一つとなるだろう。

本講義では、さまざまな企業の置かれている環境とそれに対する経営戦略を理解し、実践的な場面でも応用できる知識と考え方を提供することを目標に進めていく。

そこで、新聞やビジネス誌などをリソースとして、実際の企業の経営戦略をケースとして取り上げる。そして、なぜこの企業はこの戦略を採るのか、その戦略によってどのような効果が期待されるのか、ということに関して、古典から最先端の理論を使って解釈することを焦点に講義を進める。また、「こんな事例まで戦略的に分析できるのか!」という驚きも講義を通して提供していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義のテーマは企業の成長戦略と競争戦略の分析にある。これは経営戦略論の中心的概念でもあり、企業が存続し発展していくには成長が必要であり、そのためには他企業との競争が避けられないからである。講義内容は一回の講義で一つのトピックの理解に努める。

1、経営戦略の基本課題；(1) 経営戦略とは何か、(2) 戦略の概念、(3) 経営戦略論の展開(学說的系譜)、(4) 外部環境分析・内部資源分析、(5) 戦略の策定と実行、(6) 現代企業の経営戦略、(7) 組織変革との関係

2、企業の成長戦略；(1) 企業の成長とは何か、(2) 事業領域の決定、(3) 多角化戦略、(4) 内部成長戦略(研究開発・製品開発戦略、社内ベンチャー)、(5) 外部成長戦略(M&A・アライアンス)、(6) グローバル戦略、(7) 地域企業の戦略(企業集積)

3、企業の競争戦略；(1) 企業の競争とは何か、(2) 競争上の優位性、(3) 価値連鎖(バリューチェーン)、(4) コア・コンピタンス、(5) コーポレート・ブランド、(6) ビジネスモデル、(7) イノベーション、(8) 標準化競争(デファクトスタンダード)

4、その他；(1) ステークホルダー戦略(各種利害関係者との関係・企業の社会的活動)、(2) 起業家精神、(3) eビジネスなど

以上は、講義で行う主要テーマであり、この順番通りに行うわけではない。また、1回の講義の中で複数のテーマを扱う場合もある。

これらの用語を見ただけでは授業内容は難しく感じると思うだろうが、豊富な企業の実例を出しながら講義は行われるので理解しやすいだろう。

履修上の留意点

経営戦略論は実際の企業活動と密接に関連しているために、日頃から新聞や雑誌などで関連する記事にはできる限り目を通すことが望まれる。そして、日常生活でも戦略論で学習したさまざまな視点から物事を見ていけるように心がけよう。

注意点としては、講義に対する妨害行為(私語、携帯電話など)には厳しく対処する。一人(数人)の愚かな行為により、他のまじめな学生に迷惑をかけ、講義自体の雰囲気が悪くなるために、教場を友人との話す場として考えている者は出席しないこと。なお、妨害行為をした者には、退場や不可の宣告もありうるので注意すること。

ホームページで参考文献などの紹介を行っている。

<http://www.komazawa-u.ac.jp/~nakamura/>

成績評価の方法

年度末の定期試験を中心に、授業中に実施する小レポート・アンケートを加点することによって判定する。

教科書

特に指定しない。基本図書や参考文献等などは授業中にその都度指摘する。

授業中にレジュメを配布してそれに基づいて講義を進めていく。1回の講義で1つの重要テーマに関する内容を学習する。

参考書等

経営戦略論の全般的な内容を理解するには、大滝精一他『経営戦略』(有斐閣)1,900円、が役に立つだろう。

科目名	担当者名	配当学科	単位
企業形態論	かがみ ようこ 各務洋子	経営B 2・3・4選 14以降入学生/経営A 2・3・4選	4

講義のねらい

企業形態論は、経営学において早くから成立した学問領域の一つである。企業形態を単に企業規模の区分として捉えるのではなく、企業制度の歴史的発展の過程、進化の段階として動態的に捉える。資本主義経済の支配的な企業形態である株式会社を中心に据え、歴史的発展の過程、株式会社制度の基本、所有と経営との関係、現代株式会社の特質、株式会社支配論等の理論的特質を学び、現代社会における企業行動の理解を深める。企業に関する時事ニュースも同時に取り上げ、現代経営の諸現象を考察するための基本的知識の修得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

取り上げるテーマは以下の通りである。

1. 企業論と企業形態論：企業概念（企業理論への道程）
 - ・企業法律形態（個人企業、組合企業、会社企業）・企業形態の本質的意味・企業の資本調達メカニズム
2. 単独出資者の企業：経済形態としての個人企業
 - ・法律形態としての個人企業・個人企業の実態
3. 少数出資者の企業：少数集団企業の特質（人的集団企業と混合的集団企業）
 - ・合名会社と合資会社の制度と本質・有限会社の制度と本質
4. 出資者多数の企業：株式会社
 - ・株式会社制度の特質・株式会社制度の歴史的変遷・株式会社の実態
 - ・株式会社とガバナンス（コーポレート・ガバナンスの意味、ガバナンス論争の背景、ガバナンス制度導入の実態—執行役員制度、持株会社制度等）
5. 株式公開会社と資本市場：株式公開の意味、企業成長と市場評価
6. 株式会社のトップ・マネジメントの制度と実態：日本のトップ・マネジメント組織
 - ・株主総会・取締役会・監査役会・執行役員と取締役会改革・諸外国のトップ・マネジメント制度とその実態
7. 中小企業の企業形態：中小企業の特質
 - ・中小企業の類型化・下請け企業・ベンチャー企業、地域における中小企業集積・中小企業の組織化・組合制度の現状と課題
8. 企業結合の諸形態：市場経済における企業結合の必要性
 - ・企業の境界と取引費用・企業結合形態の多様性・企業結合形態の国際比較・M&Aと戦略的提携
9. 企業の国際化と多国籍企業：企業の国際化の背景と推移
 - ・多国籍企業の戦略と組織・国際化と経営課題
10. 公企業と公的サービスの供給方法の多様化：公企業の本質
 - ・公企業の存在意義と固有の属性・公企業の経営原則・公企業の経営形態・公的サービスの供給方法の多様化
11. 公企業の民営化：民営化の概念
 - ・世界的潮流としての民営化とその背景、目的
 - ・日本の公企業民営化

成績評価の方法

年2回の定期試験と、講義の終わりに小レポート（複数回）を実施する。小レポートの合計点（30%）、前期試験（30%）、後期試験（40%）によって総合評価する。

教科書

増地昭男・佐々木弘編著『最新・現代企業論』（八千代出版）2001年
その他、参考文献は適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
公益企業論	そのだてつお男 園田哲男	経営B2・3・4選 14以降入学生/経営A2・3・4選	4

講義のねらい

公益企業論の主要内容は、企業規制に関連する諸問題であり、とくに一般的企業規制と区別された意味における公益企業規制である。つまり、公益企業は、料金およびサービスに関し、規制をうけている問題であり、また、公益企業概念が、本来、制度的色彩の濃いものである。本講では、今日、企業の社会的責任の問題が論じられ、国民福祉という観点から、企業のあり方が問われ、政策事項として企業規制が問題とされている中で、公益企業の規制とは何か、また、公益企業の特質とは一体どのようなものかについて理解を深めることにある。

講義の内容・授業スケジュール

講義のすすめ方としては、前期は、公益企業概念の発達と、その問題点および公益企業概念の再検討を行なう。後期は、公益企業における持株会社の形成（前期と後期）および評価について考察し、その上で公益企業の特質について理解させる。

履修上の留意点

学問は、単に知識だけを増殖するのではなく、適切な判断と意思決定を行なうための基礎となるものと考えている。本当に学ぶ意思のある学生だけが履修してくれることを望む。

成績評価の方法

成績評価は、單元ごとに小テストやレポートをし、総合評価とするが、大学卒業レベルの知識と問題解決能力を養う努力をしない者は厳しい評価を行なうつもりである。

教科書

授業中に指示する。また参考文献などを挙げ、できるだけ広範な考察を行なうつもりである。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営史	まえだかずとし 前田和利	経営B2・3・4選 14以降入学生/経営A2・3・4選	4

講義のねらい

経営史を学ぶことによって企業経営の変化のダイナミズムを理解することが可能となる。本講義では、経営発達史における各段階の典型国をとりあげて講義するが、その際できるだけ産業・企業の歴史や国際比較の視点をふまえて論じていく。その結果、日本の企業経営の特質を鮮明に浮かび上がらせることができる。

講義の内容・授業スケジュール

- I. 経営史研究の課題と方法
- II. 企業経営発達史
 1. 企業経営の生成
商人資本の経営、マニファクチュア経営
 2. 企業経営の確立
産業革命、工場制度、企業経営の諸様相－企業経営者のタイプと理念、企業・経営諸機能
 3. 企業経営の発展
市場と技術、大量生産システム、大企業の形成と戦略・組織、巨大企業の成立と管理機構
- III. 日本の企業経営史－ケースを中心として－
以上のうち、前期において企業経営の確立の一部まで終える。日本のケースについては進行具合によって変更がありえる。

履修上の留意点

教科書は使用しないので、下記の参考書を参照し、必ずノートを整理しておくこと。年に数回簡単な問題等を提示して回答してもらう予定である。適宜資料を授業開始時に配布する。

成績評価の方法

学年末試験による評価を原則とするが、多少提出した回答を加味する。

教科書

使用しない。

参考書等

榎本悟『アメリカ経営史学の研究』（同文館）
大河内暁男『経営史講義』（第2版）（東京大学出版会）
湯沢威ほか『エレメンタル 経営史』（英創社）
宮本又郎ほか『日本経営史』（有斐閣）
その他随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本経営史	おおしま ひさゆき 大島久幸	経営B 2・3・4選 14以降入学生/経営A 2・3・4選	4

講義のねらい

本講義では、日本の経済発展との関連で、財閥を取り上げる。三井、三菱、住友などの財閥が、近代日本において、経済発展を担う中心的存在であったという事実に着目して、それら財閥が、どのようなプロセスで誕生し、日本の経済発展とともにどのように成長していったのかという点を考察し、そこから日本経済の発展の特徴や日本企業の歴史的な起源を考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義では以下の内容を取り上げる。

1. 政商の誕生
2. 政商の資金源
3. 政商からの脱皮
4. 家政改革と家憲
5. コンツェルンと持株会社
6. 専門経営者の登場
7. 商社ブームと破綻
8. 鈴木商店の挫折
9. 三大財閥の覇権
10. 恐慌とドル買い
11. 財閥の転向
12. 戦時体制と財閥
13. 財閥解体
14. 企業集団と財閥

成績評価の方法

前期レポートと定期試験で総合的に評価する。

教科書

武田晴人『財閥の時代』（新曜社）1996年

参考書等

講義の中で適宜指定する。また必要に応じて教材を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
商業史	やまだ まさる 山田勝	経営B 2・3・4選 14以降入学生/経営A 2・3・4選	4

講義のねらい

商業経営の歴史的発展の過程を、文化との関係に留意しながら講義する。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容の主なテーマは次のとおりである。

- | | |
|-----------------|---------------|
| (1) 商業史の視点 | (6) 継続性 |
| (2) 歴史研究とパラダイム論 | (7) 流通量 |
| (3) 利潤 | (8) 大衆消費社会の特質 |
| (4) 商品 | (9) 価格革命 |
| (5) 市場 | (10) 情報社会と商業 |

履修上の留意点

講義を聴くことのみが学習の方法ではないが、講義は各自の学習の導きとしては有益であると思う。出席はとらないが、聴講に努めて欲しい。質問は歓迎する。教場での私語は他人の迷惑となるので厳禁とする。必要があれば教場から出て話すこと。

成績評価の方法

成績評価は定期試験による。

教科書

山田勝著『現代商業の歴史と展開』（創成社）2,850円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
保 險 経 営 論	いしな ぎか くに あさ 石名坂 邦 昭	経営B 2・3・4選 14以降入学生/経営A 2・3・4選	4

講義のねらい

本講義においては、保険学のアプローチとして近年一般化しつつあるリスク・マネジメントの基本的事柄につき理解した後に、保険理論の基本的知識を正確にし、わが国の保険事業並びに一般企業がかかえているリスクに関する諸問題にどのように対処したらよいかの応用能力が持てるようになることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

保険学の研究は、保険法学的アプローチ、保険経済的アプローチ、保険経営学的アプローチとそれぞれの時代を背景に論じられてきた。今日、保険学研究については保険経営学的研究をより発展させた、「危機管理論」(リスク・マネジメント)研究が主流となっている。本講義においては、最初にリスク・マネジメントの基本的体系について論じ、リスク・マネジメントの理論、歴史的発展について見た後に、リスク・マネジメントの中心となる保険の機能、保険本質、保険技術について詳しく見ていきたい。

前期はリスク・マネジメントを中心とした講義を行い、後期に保険論を中心とした講義を行う。講義は、理解しやすいように工夫をこらしていく。教科書は使用するが、それは本講義を理解するための基本的共通知識として使用し、講義は教科書に書かれている事柄が理解されていることを前提として進めていく。

履修上の留意点

保険およびリスク・マネジメントを理解するためには使用される専門用語を理解されていないければならず、学ぶことも広範囲にわたるため、講義を受ける前に必ず教科書を読み講義後の復習も忘れないようにしてほしい。学生諸君の積極的な授業への参加を望む。

成績評価の方法

講義への出席状況および授業時の質疑応答と定期試験の結果を総合して成績評価を行う。

教 科 書

石名坂著『リスク・マネジメントの理論』(白桃書房) 3,500円

参 考 書 等

石名坂著『ファミリーリスク・マネジメントと保険』(白桃書房)
石名坂著『リスク・マネジメントの基礎』(白桃書房)

科目名	担当者名	配当学科	単位
銀行経営論	はつ どり よし ひさ 服 部 昌 久	経営B 2・3・4選	4
		14以降入学生/経営A 2・3・4選	

講義のねらい

金融制度は一国の歴史的発展の産物であり、その国の繁栄を築くための社会的インフラである。社会が今日のように大きな変革期にあるときには、長期的な展望に立って変化を先取りして新たな制度を構築しなければならない。経営環境が大きく変化した中で、銀行は新たな道を求めて模索しているが、本講義においては、戦後のわが国の金融システムの変遷を振り返るとともに、欧米主要銀行の動きにも注目しながら、利用者のニーズに応える銀行のあるべき姿を探りつつ、時事問題も含め、銀行経営にかかわる諸問題を、わかりやすく解説する。

講義の内容・授業スケジュール

講義はおおよそ次のような内容を予定している。

- ① わが国の金融制度の沿革と特徴
- ② 銀行の機能
- ③ 銀行の業務
- ④ 銀行経営と不良債権問題
- ⑤ 銀行経営とリスク管理
- ⑥ 信用秩序の維持と諸規制
- ⑦ これからの銀行経営のあり方

履修上の留意点

講義は基本的な事柄を取り上げ、わかりやすく解説するよう心がけるが、それでも不明な点があれば、質問を歓迎する。

成績評価の方法

学年末の定期試験(50%)、読書感想文(20%)、授業への出席(30%)を総合して評価する。読書感想文の課題図書は開講時に指示する。

教科書

服部昌久『日本型金融システムの転換』(財団法人為替貿易研究会) 2001年 2,700円

参考書等

- ・ロバート・ライタン、ジョナサン・ロウチ 小西龍治訳『21世紀の金融業』(東洋経済新報社) 1998年 2,000円
- ・高瀬恭介『新版 金融変革と銀行経営』(日本評論社) 1999年 3,800円
- ・高木仁、高月昭年『入門 日本の金融機関』(東海経済新報社) 2000年 2,900円
- ・鹿野嘉昭『日本の金融制度』(東洋経済新報社) 2001年 3,200円
- ・藪下史郎、武士俣友生『中小企業金融入門』(東洋経済新報社) 2002年 2,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
上級簿記	おだみきお雄	経営B2・3・4選 14以降入学生/経営A2・3・4選	4

講義のねらい

商業簿記の基礎学習を終えた学生を対象とする講座で、やや高度な内容を加えて、簿記の知識を一層深めてもらうクラスで、簿記の知識の応用を目的に講義と共に計算練習を行う。簿記の学習は受講生の積極的な取り組み姿勢が必要なので、欠席の無いようにして欲しい。

講義の内容・授業スケジュール

まずは、日商簿記の3級のおさらいから始める事にする。例年、簿記の原理を良く理解しないで上級簿記を受講する学生が多く見られる傾向があるからである。講義の内容は大まかに次のようになる。

- I 諸取引の仕訳：現金預金・有価証券・商品。特殊な商品売買・手形の保証債務など
- II 株式会社会計：資本・利益処分と損失の処理・社債・株式会社の税金など
- III 本支店の会計：本支店間の取引・合併財務諸表・内部利益の控除など
- IV 特殊な仕訳帳：多桁式仕訳帳・特殊仕訳帳・伝票会計など

履修上の留意点

簿記の学習は「自分自身がペンと電卓をもって練習問題を数多く解くこと以外にはない」との私の教育方針から、練習問題を多く解かせるし、テストや宿題を出すこともある。テスト用紙は必ず提出すること。出欠席のチェックは毎回行う。

成績評価の方法

講義時のテストの点数および、宿題の点数を合計し、定期試験の点を加算し、再び平均点を出して評価する。そのため、講義中のテストや宿題の未提出者は当然平均点が下がることになるから注意をすること。

教科書

羽瀨信宏監修『簿記テキスト－商業簿記－中級編』（共栄出版）2,000円程度
中村義彦編著『展開簿記演習』（プレスウェーブ）1,800円程度

参考書等

鶴飼哲夫・中村義彦著『簿記イントロダクション』（森山書店）2,625円

科目名	担当者名	配当学科	単位
財務会計論	わた なべ えいちろう 渡 邊 恵一郎	経営B 2・3・4選 14以降入学生/経営A 2・3・4選	4

講義のねらい

財務会計論は会計学の一分野であり、企業の経営成績と財政状態を明らかにするという基本的職能を取り扱っている。財務会計の目的は、企業経営に責任を負う経営者に、投資者、債権者その他企業と利害関係を持つ外部の人々に対して、適切な企業財務情報を提供させることにある。この主たる手段が、損益計算書、貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書などの財務諸表である。

講義では、財務諸表を作成するための会計処理（測定）と表示方法（伝達）を中心的課題とし、またこれに関するわが国の商法、税法などの会計法規も取り上げ、さらに国際会計基準との関連にも触れる。

講義の内容・授業スケジュール

講義の内容はおおむね下記の教科書によることとし、この授業スケジュールは次のとおりである。

- ① 4～5月 財務会計の機能と制度、利益計算の仕組み、会計理論と会計原則
- ② 6～7月 利益計算と資産評価の基本原則、現金預金と有価証券、売上高と売上債権、棚卸資産と売上原価
- ③ 9～10月 固定資産と減価償却、繰延資産、負債、資本
- ④ 11～12月 財務諸表の作成と公開、連結財務諸表、外資建取引等の換算

履修上の留意点

毎時間の出席率と宿題提出（年1回）を重視する。

成績評価の方法

成績評価は、出席率、宿題提出及び定期試験点数の総合による。

教科書

桜井久勝著『財務会計講義』（中央経済社）

参考書等

日本公認会計士協会編『監査小六法』（中央経済社）

その他

- (1) 授業の方式は、講義による。
- (2) 簿記学・会計学の単位を修得していること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
管理会計論	さる やま よし ひろ 猿 山 義 広	経営B 2・3・4選 14以降入学生/経営A 2・3・4選	4

講義のねらい

この講義では、すでに「簿記学」の単位を修得していることを前提として、企業における管理会計の基本思想を学びます。

講義の内容・授業スケジュール

1. 管理会計の意義と体系
2. 短期利益計画のためのC-V-P分析と経済性計算
3. 意思決定のための原価概念と利益概念
4. 原価管理会計
5. 予算統制
6. 投資意思決定

履修上の留意点

「管理会計論」は計算科目なので電卓を持参すること。

成績評価の方法

期末試験、夏季休業中のレポート、および平常点を考慮して、総合的に評価する。ただし、中心になるのは期末試験の結果である。

教科書

中原章吉編著『管理会計論』（税務経理協会）
なお、適宜、プリントを配布する。

参考書等

櫻井通晴著『管理会計〔第二版〕』（同文館）

科目名	担当者名	配当学科	単位
会計監査論	阿部 一人 <small>あべ かずひと</small>	経営B 2・3・4選	4
		14以降入学生/経営A 2・3・4選	

講義のねらい

“監査論を無味乾燥であるとエスケープしないでくれたまえ”
もともと監査論は、その言葉自体がもつ語感からして、堅苦しく・手続的で暗いイメージを与えがちである。

監査論は他人の不実行為を暴くこと自体を目的とするものではないので、仮にその結果、内容のどこにも非のうちどころがなく全く適切で妥当なことが明らかになったとしても、それはむしろ当然の事柄であって、その人が負っている責任を免れることにもなるのである。

監査は、優れて社会的・人間的な用具として生みだされたものであるが、しかしそれを悪用したり骨抜きにしたりする者も現実存在することは、過去の事例からも明らかなことであるけれども、そのような者が多ければなおのこと監査に対する社会的な要望も多岐に存在している。まさに、監査がどれだけ社会一般に受け入れられているかということこそ、文明社会を映し出す尺度であると言えまいか！

監査論は財務諸表監査として特徴づけられている。

これは、企業をめぐる多数の利害関係者を保護するため、企業の発表する財務諸表が企業の財政状態や経営成績を適正に表示しているかどうかについて、職業的監査人が公正な立場から批判的意見を表明する社会制度であり、他のあらゆる監査の標準をなすものである。本講義では、財務諸表監査を中心として、さらに監査役監査ならびに内部監査をはじめ最近の経営監査、監査の国際化などの関連領域をも含めて論及する。

講義の内容・授業スケジュール

- | | |
|---------------------------|--------------------|
| 1. 会計監査の意義と目的 (総論) (1) | 10. 監査人 |
| ①監査の必要 ②監査の意義 | 11. 監査証拠 |
| ③監査の対象 | 12. 監査計画 |
| 2. 会計監査の意義と目的 (2) | 13. 内部統制 |
| ①監査の目的 ②監査思想の変遷 | 14. 試査 |
| ③監査の効用 | 15. 監査技術と監査手続 |
| 3. 監査の機能 | 16. 監査調書 |
| 4. 会計上の誤謬と不正 | 17. 監査報告書 |
| 5. 監査の種類 | 18. 連結財務諸表の監査 |
| 6. 会計監査と財務諸表監査 | 19. 中間財務諸表の監査 |
| 7. 我国の監査制度 | 20. システム監査 |
| ①証券取引法監査 ②商法監査 | 21. 国際監査基準 |
| ③その他の監査制度 | 22. 現代監査論の動向 |
| 8. 監査基準 (1) | ①監査概念の拡大化 |
| ①必要性 ②生成と展開 | ②監査保証に程度の差を認める監査概念 |
| 9. 監査基準 (2) | |
| ①意義 ②体系 ③一般基準 ④実施基準 ⑤報告基準 | |

履修上の留意点

「簿記学」「会計学」の科目を履修済みであることが好ましい。

成績評価の方法

評価の方法は、前期と後期の定期試験、レポート(夏季)および出席状況を考慮して、総合的に判定する。なお、最初の講義時に詳細な講義内容、試験の方法および評価の方法等について説明するので、受講希望者は必ず出席すること。

教科書

大矢知司『監査論概説』(白桃書房) 3,300円

参考書等

- 田島四郎『最新監査論』(税務経理協会) 2,900円
高田正淳『最新監査論』(中央経済社) 2,800円
鳥羽至英『監査基準の基礎』(白桃書房) 3,900円
三澤 一『会計監査の理論』(中央経済社) 2,800円
山梶忠恕・桧田信男『監査基準精鋭精説』(税務経理協会) 3,500円
脇田良一『財務諸表監査の構造と制度』(中央経済社) 3,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
原価計算論	近藤 禎夫 <small>こん どう さだ お</small>	経営B 2・3・4選	4
		14以降入学生/経営A 2・3・4選	

講義のねらい

《科目の位置づけ》

原価計算論は、たんに製造原価の算定方法を取扱うというのではなく、日常の国民生活と直接に結びついた重要な役割を果たすものであるから、その対象領域はきわめて広いといえる。たとえば価格形成問題、原価管理、予算統制、利益計画および公表会計などに関連する。このような会計と経営の両分野を包摂した科学である。

《科目の概要》

原価計算は会計領域の全般にかかわり機能している。とりわけ経営管理活動と有機的に関連づけられ測定・情報伝達・利用がなされている。企業の経営管理活動とは通常大きく二つに分けて認識される。一つは社会的存在としての企業が、それをとりまく利害関係者（株主、債権者、投資家、徴税当局、労働組合、および広くは国民大衆）に対し社会的責任を遂行する分野である。いま一つは、企業活動について意思決定と業績評価を行ない、企業を活性化させ利益の獲得機会を拡大させるための活動分野である。

原価計算の役割は、前者においては公表財務諸表作成のための原価情報の提供にある。また後者についてはきわめて幅が広く、経営管理の全領域にわたって原価情報が提供される。いずれにせよ、企業経営の要となる会計情報が提供される。

本講義では、“授業の内容”等でもふれるように、「企業会計原則」を補完する「原価計算基準」の示す範囲に力点をおいて取り組むことになる。したがって、まず原価計算の基本概念および基本的計算構造をしっかりと身につけるよう講義することになる。講義のはじめに際しては、商業簿記から工業会計への橋渡しを平易に展開したい。

前期においては、原価計算が制度会計の枠組みのなかで重要な役割を担っている売上原価の算定、たな卸資産（原材料、製品、仕掛品、貯蔵品など）の評価といった技術的側面を取扱う。具体的には、製造原価計算の算定プロセスを理解しやすいように説明していきたい。順序としては原価の費目別計算、部門別計算、製品別計算の算定手続きを展開することになる。この場合、当初は実際原価計算制度を前提として述べるが、後期には管理手段としての原価計算にもふれるので標準原価計算にも及ぶ。なお、さらに一歩立ち入って、原価計算の管理会計分野での適用問題にもふれる。

原価計算論は製造工業を中心とした計算体系ではあるが、サービス業（電力、ガス、鉄道などの公益事業の運賃・料金問題）など適用範囲は多様にわたる。現実の事例などを紹介しながら講義をすすめていく予定である。

講義の内容・授業スケジュール

原価計算論を学習するにあたっては、制度会計の側面と管理会計の側面との両者に関連を有するので、会計法規集を常に携帯していただきたい。

とりわけ講義は「原価計算基準」（旧大蔵省・企業会計審議会中間報告、昭和37年）を中心に行なう予定である（テキストを補うプリント類は随時配布する）。さきの《講義のねらい》で述べた方針とともに、モットーは、「高度な内容をやさしく」である。

2003年度においては、下掲のテキストにより以下に示す内容を講義する。

1. 原価計算の現代的役割とその考え方
2. 原価計算の概要
3. 原価の費目別計算
4. 原価の部門別計算
5. 個別原価計算の方法
6. 総合原価計算の方法
7. 標準原価計算
8. 経営計画と原価計算
9. 原価計算の歴史

成績評価の方法

基本的には平常の出席状況と学年末試験で評価する。

教科書

遠藤・近藤他著『会计学』改訂版（森山書店）2000年 3,500円
<注意>必修の会计学と共用

参考書等

数田礼二・近藤禎夫著『原価公開』（新日本出版社）1976年（絶版、図書館での閲覧を乞う）
中央経済社編『会計法規集』最新版（2003年7月頃新版発売）

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営分析論	かた ぎり のぶ お 片 桐 伸 夫	経営B 2・3・4選 14以降入学生/経営A 2・3・4選	4

講義のねらい

経営分析とは、文字どおり「企業の経営を分析すること」であり、かなり多方面にわたる内容をもっています。

皆さんが将来を託そうとする会社は、

- 1 財政的に安定しているだろうか（安定性分析）、
 - 2 「儲け」はどうだろうか（収益性分析）、
 - 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか（生産性分析）、
 - 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか（成長性分析）、また、
 - 5 社会に対してどのように貢献しているだろうか（社会性分析）、
- といった内容です。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、企業の毎期の経営活動を報告する「貸借対照表」や「損益計算書」などの「財務諸表」の読み方をまず説明し、安定性・収益性分析を学習します。

後期は生産性・成長性・社会性分析や、さらに、損益分岐点・利益増減その他の分析を取りあげます。

「各自が企業の経営を分析できるようになる」ため、授業で必要最小限の理論を学び、ただちに、新聞などの最新のトピックによって企業の現実にふれます。

履修上の留意点

この授業の目的は、「財務諸表分析」を中心に、各人が就職を希望する、あるいは興味を持っている会社の「分析」をしていただくことにあります。つたなくても、ささやかでも、その成果は皆さんの貴重な「財産」です。

成績評価の方法

成績評価はレポートと授業中のテストで行います。学年末試験は行いませんのでご注意ください。

- * レポート・テーマ：前期「各自が関心を持っている企業の収益性・安定性分析」
：後期「各自が関心を持っている企業の成長性その他の分析（続）」

☆提出日（授業はじめに配布するシラバスに明記）以外は受け付けませんのでご注意ください。

- * テスト範囲：財務諸表数値を用いた経営比率の算出問題。

☆質問は授業以外にも研究室2307号室で随時受け付けますので、遠慮なくおいでください。

教科書

開講時、指示します。

参考書等

随時、紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 原 論	あか 明 石 ひろ 博 博 ゆき 行	経営B 2・3・4選 14以降入学生経営A 2・3・4選	4

講義のねらい

資本制の経済社会（資本制社会）を対象とする経済社会学の基礎理論について、入門的な講義をします。講義では、近代から現代にかけて生まれ発展し変化してきた、そして現在わたしたちがそのなかで日々暮らしている資本制社会をめぐり、どのような経済的な仕組みと運動法則がそこにあるのか、個々の国や社会における思想・法律・政策などは資本制の経済によってどのように規定されるのか、資本制の国々や社会の思想・法律・政策などの相対的な独自性は経済にどのような影響を与えるのか、といった問題に取り組みます。この取り組みをつうじて、わたしたちの社会生活を支えている経済の仕組みや、わたしたちの社会行動を支配し規制している法則の基礎について、科学的かつ系統的な理解を得られるよう援助することが、本講義の目的であり課題です。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、序論的な解説を行う序章ののち、7つの章からなる本論の第1章から4章までに重点をおいて進めます。

序章では、経済社会と経済社会学に関する基礎的な解説をします。予備的知識の修得をめざし、人類社会の特徴である経済を土台とする社会構成の把握、人類史におけるさまざまな経済社会の興亡と区分、経済社会学の研究史の概要など、資本制の経済社会を理解するうえでの基礎となることから説明するのです。

第1章では、市場と個人について説明します。本章では、市場はどのような生産の様式を基礎として発生し発展するのか、市場で売買される商品とはどのようなものなのか、商品が発生し発展するとともに貨幣が発生し発展するのはなぜなのか、貨幣はどのような機能をもつものなのかを説明します。また、市場で貨幣を仲立ちとする商品の売買がなされることを基礎として、自立した所有者としての私的個人という人間類型と市民社会が形成され発展してくることについても説明します。

第2章では、資本としての貨幣の運動について説明します。本章では、資本および資本家とは何か、資本としての貨幣の運動が可能となるための条件は何かを探求し、労働力の商品化が市場の一般化と近代的な資本発生条件であることを明らかにします。

第3章では、労働と資本について説明します。資本制社会は、資本としての貨幣を投ずる階級に属する人々が、労働をしなければならぬ階級の人々の労働力を商品として市場で買い、生産の過程でその労働力を使用し、最初に投げられた資本価値を越える剰余価値を獲得することによって成立します。階級社会としての資本制社会の法則や制度はこの仕組みを基礎として生まれ発展し変化することを、本章で明らかにします。

第4章では、資本の再生産と蓄積について説明します。資本の再生産とともに階級関係の再生産および階層の分化・再編がなされること、資本の蓄積により資本制の経済社会が発展し変化してゆくことを、この部分で論じます。

資本の流通の問題を扱う第5章、資本と利潤の問題を扱う第6章、資本の諸姿態の問題を扱う第7章については、十分な説明はできません。しかし、第4章までの関連部分と最後の部分で、これらの諸章で論ずべきことについても簡単に言及する予定です。

履修上の留意点

講義に出席して、ノートをとる必要があります。

成績評価の方法

講義のさいに適時提出してもらったレポートと年度末の定期試験の結果を総合的に判断し、評価をします。

教科書

教科書は使用しません。しかし、適時プリントを配布し、講義を理解できるよう援助します。参考書等は講義のさいに紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
近代経済学	たき 田 公 一 滝 田 公 一	経営B2・3・4選 14以降入学生/経営A2・3・4選	4

講義のねらい

産業組織論の入門的講義を行います。産業組織論は、企業や産業についての経済学的に分析する学問です。本講では、経営学や会計学を学ぶ際に役立つであろうと思われる補完的知識を与えることを目的としています。

講義の内容・
授業スケジュール

講義内容は以下のとおりです。

- (1) 産業組織論とは？
- (2) 厚生経済学入門
- (3) 企業の理論
- (4) 支配的企業と市場支配力
- (5) 価格差別
- (6) 製品の品質と市場支配力
- (7) ゲーム理論Ⅰ
- (8) 古典的寡占理論
- (9) ゲーム理論Ⅱ
- (10) 寡占の動的理論
- (11) 製品差別化
- (12) 企業の戦略的行動
- (13) 参入障壁
- (14) 研究・開発投資
- (15) 略奪的価格付け
- (16) 垂直統合と垂直制約
- (17) 水平合併
- (18) 企業規制の諸問題

履修上の留意点

初級のミクロ経済学の知識があると、便利ですが、授業で必要な場合は、逐一説明しますので、必ずしも必要ではありません。なお、関連科目としては、統計原論、計量経済学、経営数学などが上げられます。

成績評価の方法

成績評価は、学年度末試験によります。

教科書

教科書は、特に指定しません。

参考書等

初級のミクロ経済学の知識については、倉澤資成、『入門価格理論』（日本評論社）伊藤元重、『ミクロ経済学』（日本評論社）1992年などを参照されるとよいでしょう。

産業組織論の参考書として、次のものを挙げておきます。

新庄浩二編、『産業組織論』（有斐閣ブックス）1995年

長岡貞男・平尾由紀子、『産業組織の経済学』（日本評論社）1998年

ロジャー・クラーク、『現代産業組織論』（多賀出版）1989年

Carlton, D. and J. Perloff, (1994) *Modern Industrial Organization, Second Edition* Harper Collins,

Scherer, F. and D. Ross, (1990) *Industrial Market Structure and Economic Performance Third Edition*, Houghton-Mifflin.

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済政策	飯田 泰之	経営B 2・3・4選 14以降入学生/経営A 2・3・4選	4

講義のねらい

経済に関する諸問題についてその政策的な対応のあり方を論じる。複雑な現状を理解し、対応策を探るためにも問題を整理し、論理的に把握することが必要である。経済問題に関してその導きの糸となるものが経済理論に他ならない。本講では基本的なミクロ経済学・マクロ経済学の知識を援用し「経済学的に妥当な政策」を論じることを中心的な課題とする。講義全体に必要な基本ツールの学習後、①理論的な枠組みを解説し、②それを用いて政策的課題を論じ、③現実の事例・データで確認するというプロセスを繰り返すことで講義を進めていく。

講義の内容・授業スケジュール

前期は経済学の基本思考、図表・データの読み方使い方といった基本ツールを講義した上でミクロ・産業レベルの経済政策課題を中心に学習する。具体的には「貿易」「課題」「公共投資」「環境問題」「産業政策・産業規制」「不況の長期化」などを取り扱う。後期はマクロレベルの経済政策課題の学習と現在の日本経済に対する様々な政策提案の検討を行う。具体的には「財政政策の根拠」「金融政策の手法」「失業問題」「不良債権処理」「需要創出型構造改革」「インフレーションターゲット」などが中心になるだろう。

履修上の留意点

出席は問わないかわりに講義中の私語等には厳しく対応する。

成績評価の方法

2回のレポート提出と後期試験。再試験は行わない。

教科書

指定しない。

参考書等

ミクロ経済学・マクロ経済学に関する基本的なテキストを持っていると便利である。その他の参考文献に関しては講義の中で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
財政学	速水 昇	経営B 2・3・4選 14以降入学生/経営A 2・3・4選	4

講義のねらい

私たちの日常生活は、そのほとんどの側面で直接・間接的に政府の経済活動の恩恵を受けている。たとえば、出掛けに傘を持っていくべきか否かは、適確な天気予報によって判断できるし、病気や怪我をしたときにかかる医療費は医療保険のおかげで実際に支払った額の数割程度ですむ。また、道路・港湾などの社会資本整備は公共部門が供給しているなど、政府はさまざまな役割を担っている。さらに金融不安、国債の累積残高、高齢化・少子化社会、規制緩和など政府が解決しなければならない問題が非常に多くある。その反面、わが国の政府は、平成12年度末で国債の発行残高が約364兆円、地方公共団体の赤字が約187兆円、これに約28兆円の旧国鉄の債務や「隠れ借金」といわれる林野事業等の特別会計の借金などを加えると、財政赤字は実に約647兆円になる。この数字は12年度わが国のGDP見込みの129.6%に相当する。EU（ヨーロッパ連合）の基準だと健全な国家の財政赤字はGDPの60%とされているから、わが国の財政はいかに不健全な状態であるかが理解できる。最近の景気低迷、これからの高齢化・少子化社会に向けて、納税者としての立場、あるいは日本国民としての立場から財政の問題を考えていくことが大切であるという認識に立って授業を行う。

成績評価の方法

試験、授業中の小テスト

教科書

速水昇著 要説『財政学』（学文社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
金融論	寺尾好正 <small>てら お よし まさ</small>	経営B2・3・4選 <small>14以降入学生/経営A2・3・4選</small>	4

講義のねらい

- 現実の経済問題の理解と、わが国が直面している課題に対する経済政策の対応のあり方を考える力を養うことを目的とする。そのためには、経済の金融的側面の理解が不可欠であるが、一般に必ずしも理解が進んでいない。こうした実情を踏まえ、フィナンシャルな事象や monetary theory を中心とする。また、金融・経済の現実を踏まえた、実践的な議論・理論に重点を置く。
- フィナンシャルな事象を検討する場合、特に市場メカニズムの理解・評価が重要である。従って、講義では市場メカニズムの視点が様々なテーマに共通する「縦糸」となる。
- 上記の問題意識の下で、カレントな 이슈や、金融市場の実際の動向等を随時紹介することにより、臨場感あふれる講義を指向する予定。
 - －上記検討において、実践的な意味を持つと考えられる範囲で、経済理論のフレーム・ワークを活用する。(経済の現実と距離感が比較的小さいとの視点から、ケインズ理論が中心となろう)。

講義の内容・授業スケジュール

わが国経済が直面している経済問題を扱う観点から、不良債権問題を始めとする金融システムの問題と、マクロ金融政策の両者をカバーする予定。

成績評価の方法

提出レポートの内容と講義議論への参加度を総合して評価する予定。

教科書

- ・堀内昭義 著『金融システムの未来』(岩波新書)
- ・翁 邦雄 著『金利の知識』(日経文庫)

参考書等

- ・KEYNES, J. M. *The General Theory of Employment, Interest and Money*

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際経済論	なが た とも のり 永 田 智 則	経営B 2・3・4選 14以降入学生/経営A 2・3・4選	4

講義のねらい

現在の国際経済は、各国経済の急速なグローバル化の進展にともなって、ダイナミックに変動しています。その中で、各国経済は緊密な相互依存関係を構築することによって国際社会から大きな利益を得ています。同時に、相互依存関係の緊密化は、ややもすれば国際間に相互対立を生み出し、さまざまな国際経済現象を引き起こします。どの国の経済も国際経済の動向と無縁であることはできませんし、逆にどの国の出来事も国際経済に影響を及ぼします。

本講義の目的は、現実には生じている国際経済現象の解明に役立つような基礎的理論を簡潔に提示することにあります。「なぜ貿易が行われるのか」から説き起こし、最近の東アジアの経済発展に大きな役割を演じている「直接投資」まで題材にして講義する予定です。

授業で展開される分析道具を習得すれば、現実の国際経済現象を自ら解明するのに役立つはずです。

講義の内容・授業スケジュール

本年度の講義内容は以下の6つのテーマを予定します。

1. 国際分業論
2. 貿易政策
3. 経済成長と貿易
4. 国際マクロ経済学
5. 外国為替と国際収支
6. 資本の国際移動

履修上の留意点

授業中は他の受講生に迷惑が及ばないように、私語を謹み、携帯電話の電源を切るなど全員が授業に集中できるように心がけて下さい。授業内容で不明な点や疑問点があれば遠慮なく質問して下さい。

成績評価の方法

成績評価は、原則として学年末の定期試験で評価しますが、授業への出席も重視します。途中、検討課題を出すことも考えていますので、総合的な評価になることもあります。

教科書

開講時に指示します。

参考書等

随時必要に応じて紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
証 券 市 場 論	さ とう のぼる 佐 藤 昇	経営B 2・3・4選	4
		14以降入学生/経営A 2・3・4選	

講義のねらい

従来、わが国の金融システムは銀行等を仲介者とする間接金融を中心として発展してきた。しかしながら、近年、銀行等の不良債権の大量発生によりこの方式がやや機能不全の様相を呈するとともに、有価証券を発行して投資家から資金を調達する手段である直接金融システムへの比重移行の必要性が提言されている。講義では有価証券市場の機能や市場構成など基礎的な解説とともに将来への展望についても検討し、経済動向に関する報道等を正しく理解し、みずから判断する能力を培うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

最初に証券市場で取り扱う対象である有価証券を定義し、その機能等を解説する。そのうえで伝統的有価証券である債券や株式の種類や機能、発行・流通市場について考察するが、わが国の財政事情と国債市場の動向あるいは株式市場動向と経済全般との関わり、など経済社会における重要な課題についても触れておきたい。

また、資金運用手段としての証券市場の役割も重要であるので、債券利回りの意味と計算の方式、株式の投資尺度やその利用方法、あるいは企業の債務返済能力を示す格付け制度の概要と活用方法など、いわば実務的側面についても解説する。

なお、近年における金融・証券市場のグローバル化にともなって、資金の動きが速くなり、移動の範囲も急速に拡大しているため、市場改革のテンポも極めて速くなっている。今後も、内外共に市場の激変が予想されるため、証券市場に関連して重要な事態が発生した際には、その都度背景や影響などを解説する。

履修上の留意点

証券や金融市場に関するニュースに関心を持って欲しい。その上で、疑問点や不明な用語等があれば積極的に質問してもらいたい。授業に際しては出来るかぎり質問の時間を設ける予定である。

成績評価の方法

原則として学年末の定期試験によって評価する。

教 科 書

佐藤昇ほか著「入門 現代の証券市場（第2版）」（東洋経済新報社）2,800円（予定）
（前年までの教科書を全面改定し現在印刷中、発行は5月の予定）

参 考 書 等

授業中に指定する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
計量経済学	呉 逸 良	経営B 2・3・4選	4
		14以降入学生/経営A 2・3・4選	

講義のねらい

現実の経済データを用いた例題を実際に解くことを通じて、計量経済学を学ぶ。パソコンを利用して演習を行うことにより、抽象的になりがちな計量経済学を分かりやすく理解し、実際のデータ分析の能力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

前期

Excelを利用して例題を解きながら、以下の内容を講義する。

1. 統計学の基礎知識 (I)
2. 統計学の基礎知識 (II)
3. 単純回帰モデル
4. 重回帰モデル
5. 回帰モデルの仮説検定

後期

TSPを利用して前期の例題を再計算することを通じて、TSPの扱いをマスターする。その上で、以下の内容を講義し、TSPを用いて演習を行う。

6. TSPの基礎
7. ダミー変数
8. 系列相関
9. 連立方程式

履修上の留意点

経済理論をある程度勉強していることと、統計原理と経営数学を履修すること。

成績評価の方法

日頃の宿題、レポートと学期末試験の結果により総合的に判断する。試験での持ち込みは自由。

教科書

白砂堤津耶『例題で学ぶ 初歩からの計量経済学』（日本評論社）1999、2,800円（税別）

参考書等

山本拓『計量経済学』（新世社）
 蓑谷千風彦『計量経済学』、東洋経済新報社
 G.S. マダラ著・和合肇訳『計量経済分析の方法』（シーエーピー出版）
 唯是康彦『Excelで学ぶ計量経済学入門』（東洋経済新報社）
 縄田和満『Excelによる回帰分析入門』（朝倉書店）
 蓑谷千風彦等『パソコンによる数量分析・ExcelとTSP入門』（多賀出版）
 縄田和満『TSP1による計量経済分析入門』（朝倉書店）
 和合肇、伴金美『TSPによる経済データの分析』（東京大学出版会）

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本経済史	また 北 島 万 次 じま まん じ	経営B 2・3・4選 14以降入学生/経営A 2・3・4選	4

講義のねらい

第Ⅰ部 日本における無階級社会（原始社会）から階級社会（奴隷制社会・封建制社会・資本制社会）にいたるまでの経済史発展の移り変わりについて、そのあらましを述べる。

第Ⅱ部 幕藩体制社会の経済のしくみとその発展

1. 幕藩体制社会の経済構造とその特質について述べる。
2. その前提として、幕藩体制社会（封建社会の経済）のもとで、近代へ向けての経済発展がどのように展開したかについて述べる。その事例としてつぎのことについてふれる。
 - ① 江戸時代後期、畿内における棉作経営の展開とその実態
 - ② 開港直前における信州諏訪製糸業の展開
 - ③ 江戸時代後期、上州における地主制とその経営

第Ⅲ部 幕末維新期の経済変動

1. 明治維新と外圧についてのあらまし
2. 幕末貿易の展開とその実態
3. 日本における資本の形成
 - ① 秩禄処分過程
 - ② 銀行資本の創出
4. 資本の投資
5. 地租改正の実態とからくり

成績評価の方法

出席点とテスト。(注) 出席の著しく悪い受講者には単位を認定しない場合がある。

教科書

教材はその都度配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営科学概論	にしむらかずお夫 西村和夫	経営B2・3・4選 14以降入学生/経営A2・3・4選	4

講義のねらい

生産活動には、本来の物作りの技術のほかに、高効率、高品質、低コスト、短納期を達成するための効率的な生産システムの設計・改善および維持管理の技術が必要である。わが国の産業界は、いち早くQC（品質管理）、IE（経営工学）・OR（オペレーションズリサーチ）をはじめとする経営管理技術を導入することによって生産、品質、コスト面で飛躍的發展を成し上げた。

この講義ではQC、IE、ORを中心に、経営管理技術の基本的な理論と方法を概説する。また、今後本学部において経営科学系の科目を受講する上での基礎を学んでいく。

講義の内容・授業スケジュール

全体を大きく1、2、3の部分に分けて講義を行う。1ではこの講義で扱う学問領域（一般に経営工学と呼ばれている）を概観する。2では経営工学が対象とする経営管理の諸分野を取りあげる。3では経営管理のなかで用いられている技術的な各種手法について解説していく。ただし、2と3は相互に関連するものであり、必要に応じて順番を入れ替え、両者が有機的に結びつくよう講義を進めていく。

1. 経営工学の概略と歴史
2. 経営工学が対象とする諸分野
 - 経営計画：経営計画の策定、経営情報のシステム化
 - 販売管理：マーケティング活動、販売計画
 - 生産管理：生産方式、設備配置計画、日程計画
 - 品質管理：統計的品質管理、総合的品質管理
3. 経営管理技術の各種手法
 - インダストリアルエンジニアリング：メソッドエンジニアリング、作業測定
 - バリューエンジニアリング：価値のとらえ方、発想法
 - 経済性工学：資金の時間的価値、設備投資案の経済計算
 - データ解析：需要予測、推定と検定、回帰分析
 - オペレーションズリサーチ：線形計画法、PERT/CPM、待ち行列理論、在庫管理モデル、シミュレーション、システムの信頼性解析
 - システム解析：システムの概念、情報処理システム

履修上の留意点

履修に際して予備的な知識は必要としない。理解を深めるために適宜演習を行う。教科書はあくまで参考として用いるものなので、毎回出席してきちんとノートをとること。また、手法についての理解を深めるために適宜演習を行う。

成績評価の方法

演習課題と試験（前期末、後期末）により総合評価。

教科書

秋庭雅夫他著『経営工学概論』（朝倉書店）3,600円

その他

講義内容のページ：<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kazov/Nis/lecture/info.html>

科目名	担当者名	配当学科	単 位
情報処理応用Ⅱ(前期)	宇谷明秀	経営B2・3・4選	2

講義のねらい

本講義では、プログラミングについて学ぶ。演習で簡単なデータ処理ソフトを作成する。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) プログラミング講義
C言語について、そのすべてを説明する。
- 2) プログラミング演習
C++Builderを使って、幾つかの簡単なデータ処理ソフトを作成する。

履修上の留意点

情報処理応用Ⅰを履修しておくことと良い。授業は演習中心になるので、欠席は極力避けること。

成績評価の方法

出席(20点) + 中間試験(40点) + 期末試験(40点)。

教科書

使用しない。講義内容をまとめた資料を配布する。

参考書等

授業の中で随時紹介する。

その他

〔クラス定員〕 60名
〔関連科目〕 経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論
※この科目は4月初旬に教務部で受講票を受け取らなければ履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
情報処理応用Ⅲ(後期)	宇谷明秀	経営B2・3・4選	2

講義のねらい

多くの企業では、多量の情報を収集し、収集した情報を分析して経営戦略を立案している。本講義では、幾つかのデータ分析手法を紹介し、C++Builderを使って、実際にデータ分析ソフトを開発する。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) データ分析手法の講義
経営戦略を立案する際に用いる幾つかのデータ分析手法を紹介する。
- 2) ソフト開発
C++Builderを使って、実際にデータ分析ソフトを開発する。

履修上の留意点

情報処理応用Ⅰ及びⅡを履修しておくことと良い。授業は演習中心になるので、欠席は極力避けること。

成績評価の方法

出席(20点) + 中間試験(40点) + 期末試験(40点)。

教科書

使用しない。講義内容をまとめた資料を配布する。

参考書等

授業の中で随時紹介する。

その他

〔クラス定員〕 60名
〔関連科目〕 経営科学概論、経営数学、経営科学、経営情報論
※この科目を履修するためには、「情報処理応用Ⅱ」の4月初回授業時に担当教員の受講許可を得たうえで履修登録してください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報理論	にしむら かつお夫 西村和夫	経営B 2・3・4選 14以降入学生/経営A 2・3・4選	4

講義のねらい

近年では日常的に使われる言葉となっている“情報”の本質を探ります。主に、情報の量(情報量)を定義したシャノン(C. E. Shannon)流の情報理論について講義します。

この授業を受講すれば、ある通報や記号のもっている情報量を、具体的な数値として(シャノンという単位で)計算できるようになります。これによって、たとえばDNAの情報を記録するために十分なフロッピーディスクの枚数が、たどところに計算できるようになります。

また、情報量の期待値(平均値)であるエントロピーという概念も理解できます。これは、経営情報論、符号理論、通信理論、暗号理論などで利用される重要な概念です。

その後で、エントロピーによって冗長度を導入します。言語の文字や音が冗長であることが、会話を成立させるために重要であることを理解します。

途中で、古代から現代にわたる暗号の話をしていきます。現代の暗号技術の基礎についての理解は、現代社会で生きていくために必要なことです。

講義の内容・授業スケジュール

4月	3回	授業内容概説、情報とは、情報量への要求
5月	3回	対数の原理と性質、計算練習
6月	4回	情報量の定義、練習、情報量の利用、2進法
7月	3回	暗号系と用語、古典的な暗号、“踊る人形”の解説
9月	2回	現代的な暗号、暗号技術を使ってできること
10月	2回	符号化(JISコード、万国共通文字符号)、対数・情報量の中間試験
10月	2回	確率過程およびマルコフ過程
11月	2回	遷移確率と同時確率
11月	1回	エントロピーの定義
12月	2回	冗長度、言語のエントロピー
12月	1回	価格以外の情報がない場合の市場占有率予測
12月	1回	検査術(CD)、情報の圧縮と乱数、デジタルとアナログ

履修上の留意点

4年次で履修するのは困難です。2～3年次のうちに履修しておくように強く奨めます。また、毎回出席して計算練習に参加していないと、試験問題を解くことは無理でしょう。

内容の性質上、確率と対数に関する多少の数学的知識が必要になりますが、これらについて全く知らなくても理解できるように配慮しています(上表5月参照)。

成績評価の方法

10月の中間試験(30%)と定期試験(70%)との合計点によります。

教科書

クイズと計算練習を適宜とりいれます。また、プロジェクトとプリントを使います。適当な教科書はありません。

参考書等

そのつど紹介します。

その他

〔関連科目〕→ 経営情報論 この科目は、再試験を実施しません。

講義内容のページ：<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kazov/Nis/lecture/info.html>

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営科学	小沢利久	経営B2・3・4選 14以降入学生/経営A2・3・4選	4

講義のねらい

経営科学とは、経営活動において生じる様々な意思決定を科学的に支援するための方法論を考える学問である。また、モデルを用いて対象を定量的に分析する点に特徴がある。本講義では、経営科学的な問題のとらえ方と問題解決のための代表的な手法について学んでいく。

講義の内容・授業スケジュール

前半は、最適化のための手法を扱う。生産計画問題とは、使用可能な資源の量が限られている場合に利益を最大化する方法を求める問題であるが、このような最適化問題を扱う手法として線形計画法とネットワーク計画法を取りあげる。ゲームの理論では、競争下における最適な戦略について考えていく。後半は、不確実性を伴う状況下での意思決定と不規則に変動する現象を分析するための手法を扱う。不確実性の下で情報を多面的に分析するための考え方を示すのが意思決定の理論である。オプションの価格付け理論では、不規則に変動する株価をモデルに取り込んだ分析法を示す。待ち行列理論では、不規則に発生するサービス要求を処理するためのコンピュータシステムなどを解析する。以下は今年度の講義予定である。

1. 線形計画法：定式化、シンプレックス法、感度分析
2. ネットワーク計画法：最短経路問題、最小木問題、最大流問題
3. ゲームの理論：ナッシュ均衡、有限ゼロ和2人ゲーム
4. 意思決定の理論：意思決定の基準、情報の価値、階層的意思決定法
5. オプションの価格付け理論：コールオプション、1期間モデル、裁定定理
6. 待ち行列理論：ケンドールの記号、リトルの式、M/M/Sモデル

履修上の留意点

理解を深めるために適宜演習を行う。

成績評価の方法

試験（前期末と後期末の2回）を主とし、それに演習課題と出席状況を加味して評価する。

教科書

プリントを配付する。

参考書等

田畑吉雄『経営科学入門』（牧野書店）
森雅夫他『オペレーションズリサーチⅠ、Ⅱ』（朝倉書店）

その他

経営数学と経営科学概論を先または同時に履修しておくことが望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営情報論	高井 徹 <small>たか い てつ お</small> 雄	経営B 2・3・4選 14以降入学生経営A 2・3・4選	4

講義のねらい

経営スタッフの役割は、意思決定を支援すること、すなわち、意思決定者が適切な意思決定を行えるよう、決定の指針となる情報を提供することに外ならない。本講義では、将来、企業や官庁における経営スタッフを目指す諸君のために、経営情報に関するシステムの観点と、情報利用技術の基礎について解説する。

講義の内容・授業スケジュール

I. 経営情報とシステムの観点（前期）

(1) 科学とシステムの観点（4月～5月：4週）

情報学のバックグラウンドにある考え方や知識について整理する。科学の方法とシステムの的なもの見方、それに基づく問題へのアプローチとはどのようなものかについて理解を深める。

(2) 情報学の基礎と周辺領域（5月～6月：5週）

情報処理技術に関わる基礎的な勉強をする。主としてコンピュータベースのシステムによる情報の取り扱いに関し、知っておくべき基礎的事項について整理する。

(3) 情報環境の発展と経営における利用（6月～7月：5週）

経営の場における意思決定と情報利用技術の関わりについて学ぶ。まず、企業における情報利用の形態の歴史の変遷を概観する。次いで、今日から近未来において、インターネット環境下の戦略的な情報の利用はどうあるべきか。すなわち、ITを用いた意思決定と管理のあり方、また電子商取引の現在と今後の発展について考察する。

II. 情報の利用技術（後期）

(1) 多変量データ解析（9月～10月：7週）

調査収集された生のデータは、そのままでは情報としての価値はない。データを加工・分析し、それが表す意味を解釈することで初めて意思決定のための情報が得られる。ここでは、定量的データを分析するための、重回帰分析、主成分分析、判別分析法を、またアンケート調査などで得られる定性的データを分析するための数量化I、II、III類法について、その原理と適用方法を学ぶ。

(2) シミュレーション（11月～12月：4週）

複雑な対象の動的な特徴を分析するための有力な方法としてシミュレーション技法がある。まず、社会経済系に関するシステム・ダイナミックス、工学的システムに関する有限要素法などの数値シミュレーション、待ち行列現象の解析に威力を発揮する離散系シミュレーションなど、代表的な手法についてその特徴を概観する。次いで、乱数を用いるモンテカルロ法の基礎的方法に触れた後、離散系シミュレーションの原理とモデル構築の方法について学ぶ。

(3) DSSとES（12月～1月：3週）

人工知能の原理と、その経営の場での応用として期待されるDSS（意思決定支援システム）、ES（専門家システム）の概要について学ぶ。

履修上の留意点

「情報処理基礎」と「経営数学」を履修済みまたは同時に履修していることを前提として授業を行う。また、「統計原論」か「経営統計論」のいずれかを履修済みまたは同時に履修することが望ましい。

成績評価の方法

前期、後期末に実施する筆記試験に基づき評価する。その他、出席状況も評価に反映させる。

教科書

教科書は指定せず、授業の各テーマに沿って適宜プリントを配布する。

参考書等

本講義のテーマに関わりの深い参考書として、高原康彦・高津信三編、高井徹雄他著『経営情報システム』（日刊工業新聞社）3,200円を推奨しておく。

その他

この科目は再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
シ ス テ ム 論	あ お 青 木 た け の り 典	経営B2・3・4選 14以降入学生/経営A2・3・4選	4

講義のねらい

経営学、経営科学、システム科学、コンピュータ・サイエンスやこれらの関連領域で用いられるシステムに関連する主要な概念やモデルについて修得する。また、いくつかのモデルについて簡単な例題をとおしてシステムに対する理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

0. オリエンテーション（本講義の概要説明）
1. 情報とシステム
 2. 意思決定とシステム
 3. 企業とシステム
 4. ネットワーク社会とシステム
（前期は1、2、後期は3、4を講義する。）

履修上の留意点

特定の領域について事前の知識は要求しないが、いくつかの数学的モデルについては、高校の数学I程度の学力が必要である。また、授業では直接コンピュータを使用することはないが、エクセルなどの表計算ソフトが使えることが望ましい。

成績評価の方法

学年末試験の成績を60%、学期中に出题するレポート（4回程度）を40%程度の割合で総合的に評価する。（通常の授業時に出席はとらない。）

教科書

特定の教科書は使用しない。必要に応じて資料を配付する。

参考書等

齊藤雄志ほか『インターネット時代の情報管理概論』（共立出版）
 高原康彦・中野文平編『経営システム』（日刊工業新聞社）
 高原康彦・高津信三編『経営情報システム』（日刊工業新聞社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
統計原論	やまの うち しん じ 山内慎二	経営B2・3・4選	4
		14以降入学生/経営A2・3・4選	

講義のねらい

大雑把に言えば、統計学は「確率と分布」の性質を用いたデータ処理を通して、「母集団」及び「標本」という2つの親子関係の言葉を繋げて、知識や技術を議論する学問である。本講義では、最初に簡潔に確率論の基礎を紹介し、次にデータ処理によって母集団と標本との関係を捉え、最後に統計的推測として推定と検定等を丁寧に説明する。本講義では、実用性を重視し、統計的方法や概念を豊富な例題や数値例によって説明し、数式の使用も必要最小限に止めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容は以下の通りです。

序説	生活のなかの統計学、量的データと質的データ	1回
基礎的概念	階乗と総和、順列と組合せ	2回
記述統計	度数分布表、平均と分散、相関係数	3回
確率論の基礎	集合、標本空間、確率、2項分布、正規分布	6回
前期復習と中間試験（7月中旬）		2回
標本分布	χ^2 分布、t分布、F分布	2回
統計的推定	点推定（不偏推定、モーメント法、最尤法）	4回
仮説検定	片側と両側検定、有意水準、棄却域、適合度検定	4回
回帰と相関	線形回帰モデル、相関係数の標本分布	2回
後期復習と定期試験（翌年1月中旬）		2回

履修上の留意点

年間数回程度の練習問題を適時に配布します。これを本講義内容の基礎的部分をもとに、独自に解ければ、中間試験と定期試験はまず大丈夫でしょう。

成績評価の方法

講義への出席状況及び中間試験と定期試験の結果により総合的に判断します。

教科書

佐和隆光著『初等統計解析 改訂版』（新曜社）1997 1,500円（税別）

参考書等

数値表としての参考書：

森口繁一編『新編 日科技連数値表』（日科技連出版社）1996 510円（税別）

P. G. ホエール著、浅井晃・村上正康共訳『初等統計学』（培風館）1996 1,700円

その他

授業の方法－講義（OHPを使用する場合があります。）

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営統計	ながこ きょう 長 国 強	経営B 2・3・4選 14以降入学生/経営A 2・3・4選	4

講義のねらい

統計と企業経営の関わりについてを展開する経営統計とは、分析目的に対応して主に経営情報としてのデータを収集・処理・分析し、複雑な現象を理解すると共に、データを生成した集団や構造についてを予測し、いろいろな意志決定をサポートすることである。経営的意志決定において最も重要なことは、将来の経営状況をどう見るかであり、その予測に対して経営統計は十分な役割を果たされるはずである。

この講義では、企業経営における統計データの具体例を数多く取り入れることによって、経営統計の手法をわかりやすく説明していく。また、数学苦手の学生を配慮し、講義の内容説明は微・積分などの計算をいっさい用いず、数式の使用も必要最小限に止める。

講義の内容・授業スケジュール

予定している講義内容は以下の通りである。

経営統計について：経営統計の役割、基礎概念

統計特性値：平均、分散、正規分布

市場調査と統計整理：調査の諸段階、標本設計、データ整理

経営時系列：季節指数、時系列予測

経営指数：物価指数、数量指数

統計推測：標本分布、区間推定、仮説検定

統計的意志決定理論：意思決定基準、期待効用理論

履修上の留意点

年間5回程度の演習問題を適時に配布し、それを独自かつ理解的に解ければ、中間試験や定期試験に心配する必要はない。

成績評価の方法

講義への出席状況と中間・定期試験の結果により総合的に判断する。

教科書

特に使用しないが、プリントは適時に配布する。

その他

統計学、あるいは統計原論を先にまたは同時に履修することが望ましい。
この科目は、再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
民 法	お 織 だ て る こ 織 田 晃 子	経営B 2・3・4選	4

講義のねらい

このクラスは民法及び民法1が講義の対象とされている。そこで、民法総則を中心に行うが、具体的には取引行為、特に契約を通して必要があれば物権にもふれながら、下記の講義内容を進める。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 権利の主体
 - (1) 自然人
 - ① 権利能力
 - ② 意思能力、行為能力
 - ③ 不在者、失踪宣言
 - (2) 法人
 - ① 法人の意義・本質
 - ② 法人格否認の法理
 - ③ 権利能力なき社団・財団
 - ④ 法人設立とその能力
 - ⑤ 法人の不法行為責任
- 2 権利の客体
 - (1) 物の概念
 - (2) 不動産と動産
 - (3) 主物と従物
 - (4) 元物と果実
- 3 権利の変動
 - (1) 法律行為
 - (2) 意思表示
 - (3) 代理
 - (4) 無効及び取消
 - (5) 条件及び期限、期間
 - (6) 時効

履修上の留意点

六法は必ず持参すること。

成績評価の方法

期末試験の成績による。再試験を実施する。

教 科 書

河野弘矩著改訂版『民法総則講義』（八千代出版）3,100円＋税

参 考 書 等

コンパクト六法（岩波）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 法	しまほらひろあき 島原宏明	経営B2・3・4選	4

講義のねらい

実質的な商法の領域の中から主に会社法を対象として講義を進めて行く。商法は民法と共に私法と言われる領域を構成しており、民法の特別法という地位に立つ。したがって本来は商法を学習する以前に民法の基礎知識があることが望ましいが、実情を考慮して、個々の論点の中で民法あるいは法学の領域にまで遡って説明することで補って行くつもりである。

会社法という領域は、商法典の中の第二編会社を中心として、有限会社法、商法特例法等によって構成されている。また、商法上の会社には、商法典に規定されている合名会社、合資会社および株式会社と、有限会社法に規定されている有限会社の四つがある。本講ではこの中から、現代資本主義社会において最も典型的な企業形態であり、かつ最も複雑な法規則を受けている株式会社の制度を中心として解説していく。

講義の内容・授業スケジュール

具体的には、①商法上の四つの会社の特徴、②株式会社の設立、③株式と株券、④株式会社の機関、⑤新株発行、⑥株式会社の計算、⑦社債、の順に講義を進めて行く。また、企業活動との係わりの薄い学生諸君にいくらかでも現実感を持ってもらうために適宜、コピーした判例を配布し、解説して行くつもりである。

成績評価の方法

期末試験による。

教科書

使用しない。

参考書等

宮島 司『会社法概説（第三版）』（弘文堂）3,900円
なお、小型の物でよいが必ず最新版の六法全書を携行すること。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
労働法	ふじもと しげる 藤 本 茂	経営B 2・3・4選 14以降入学生/経営A 2・3・4選	4

講義のねらい

今日、労働関係は、雇用調整・リストラ、成果主義人事管理の導入に見られるように大きく変貌を遂げようとしています。終身雇用や年功型賃金体系といった従来の日本的雇用慣行に見直しがなされています。現在は、変動期にあるといえましょう。労働法は、労働関係において生じる紛争を法的に解決する方法を検討する法領域です。この変動に無関係ではられません。

この変動期において、労働者に降りかかるさまざまな事象は、雇用関係法領域において、顕著です。労働基準法改正、裁量労働、有期雇用契約の期間の拡大、解雇制限や男女雇用平等、などです。

本講義ではこの雇用関係法領域を中心に授業を進めます。労働組合を中心に扱う労使関係法領域も重要ですが、あまり多くの時間を割くことができません。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、下記事項について、基本的なことを学ぶことを中心にして、現代的課題に言及しようと思います。

詳細は第1回目の授業のときにプリントを配布して述べます。ここでは、一応の項目を掲げるに止めます。

- (1) 労働法の基礎的考え方
- (2) 日本型雇用システムの変化と労働法
- (3) 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合
- (4) 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴
- (5) 雇用における男女平等
- (6) 組合が自由に活動できる環境の整備－不当労働行為
- (7) 労働条件の決定－労働契約、就業規則、労働協約
- (8) 雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間
- (9) 人事異動－配転、出向、転籍
- (10) 雇用の出口－解雇、定年、退職
- (11) 賃金、賞与、退職金
- (12) 労働時間、時間外・休日労働
- (13) 休憩、休日、休暇
- (14) 労働災害など

履修上の留意点

出席しましょう。また、積極的に質問をしてください。ただし、私語はNo、携帯電話はOff、内職はNo、そして無断で席を立つことはNo。いわゆる授業のマナーは守ってください。

成績評価の方法

成績は、平常点を加味することはありますが、学年末試験がメインです。追・再試験は実施します。

教科書

ベーシック労働法（浜村彰ほか著・有斐閣）か労働法（浅倉むつ子ほか著・有斐閣）のうち1冊は用意してください。ほかにも、関心に応じた選択ができるようにいくつか紹介します。受講者は必ず、1冊は用意してください。

参考書等

第1回目の授業で、プリントをして紹介します。六法に関しては、最新のもの（法律改正があるので特に注意）そして労基法施行規則の載っているものを用意してください。

その他

皆さんが各々の事項について法的にはどのように考えていくのか、イメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を揚げながら、授業を進めます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	あべかずひと 阿部一人	経営B3選	4

講義のねらい

本演習では、財務会計を中心に、企業会計の基礎研究をおこなう。

講義の内容・
授業スケジュール

この財務会計の基礎知識を習得するために、簿記の学習を初歩程度からはじめて日本商工会議所簿記検定試験の合格を目標に（すでに3級に合格している者は2級にむけて）これから簿記会計を学習・研究しようとする人達を対象に学習する。後期では、報告形式により報告者のレジュメ（報告要旨）にそって、演習を進める。

成績評価の方法

成績評価は、出席状況、報告発表、レポート等により総合的に判定する。

教科書

飯野利夫著 「財務会計論」同文館

参考書等

授業中において適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	おおのまんな 大野満奈	経営B3選	4

講義のねらい

本年度の演習は、会計学の基礎知識、なかでも「簿記」を中心に学習を進めるものとする。「簿記学」の履修によって得た知識を土台として、基礎的な記帳の技術と計算能力を身につけることがその目的である。

他方、それに関連する会計学上の諸概念を理論的に追求する作業も行っていきたい。さしあたりは、企業会計原則を中心とする制度会計の理解が得られるよう、指導する予定である。それは「演習Ⅱ」で提出を義務づけられるゼミ論文執筆のための足掛かりをつかんでもらうためである。

履修上の留意点

簿記学習の動機づけとして、日商簿記検定2級程度の受験も義務づける。したがって、同検定3級取得者、または「簿記学」の単位を修得しその内容をよく理解している者、のいずれかを前提とする。

この演習を通じて参加各人の個性や発想を生かし、意見交換等を通じて相互の交流を深めること、そして大学での自己の専攻と呼べる領域を築きあげること、以上を期待したい。

成績評価の方法

出席率と提出物等を総合して評価する。

教科書

授業中に指示する。

参考書等

授業中に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	加藤 武信	経営B3選	4

講義のねらい

現代企業における情報システムの役割に関して、理論的・技術的な検討を行う。理論面では、競争戦略論・戦略情報システム論・管理会計論などに依拠しながら情報システムベースの企業経営について、文献を踏まえて考察する。また情報技術の修得訓練では、データベース設計・システム設計について、演習Ⅱも含めて2年間を通して計画的に勉強を進める。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテーマの基礎部分は全員が勉強し、その応用部分については受講者の要望を入れて幾つかを選択する。

- ①競争戦略・戦略情報システム
今後の情報システムの構築は、経営戦略と深い係わりをもつ。その分野の論文や専門書を5点ほど精読し、その要点整理を分担して行い、ワープロ文書にまとめる。
- ②キャッシュフロー経営・会計の理解
キャッシュフロー経営・会計の概要を検討し、パソコンを用いた計算事例を検討し、データ処理を行う。
- ③販売管理や顧客管理のシステム化に関する文献の考察とシステム設計の検討
ExcelやAccessによる設計事例をベースにした検討を行う。
- ④WordとExcelなどによる基本操作およびプログラミングの検討
通産省の情報処理技術者試験取得の目標をもつ諸君に対しては、プログラミング言語の勉強もやれるように工夫する。
勉強の順序としては、パソコンの実習で年間を通して④を進めながら、①～③を随所に入れていく方法をとる。

履修上の留意点

上掲の①～④のテーマは、さらに4年次で積み上げを行うための基礎であるので、手堅い勉強をしてもらいたい。演習は、諸君の専門を作るための講座である。そのためには、時間と資金の投入を惜しまず、努力を継続することが不可欠である。
熱意のある学生の受講を望む。

成績評価の方法

日常の出席状況、レポートおよび口頭発表などを総合的に評価する。

教科書

加藤武信他「コンピュータ活用」(サンウェイ出版) ¥2,300
加藤武信他「プログラムとシステムの演習」(サンウェイ出版) ¥1,800
その他は授業の中で示す。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 I	きた じま まん し 北 島 万 次	経営B3選	4

講義のねらい

近代日本の起点は明治維新の政治および経済改革にあった。その場合、①産業革命をへて欧米で起こった世界資本主義体制がアジアに進出するいわゆる外圧、それが幕末の日本を資本主義体制に巻き込んだ問題、②その外圧をうける以前に、幕藩体制下の日本では資本主義経済への芽生えがどの程度進んでいたかという問題、この2点を考える必要がある。このことを念頭に置いて、この演習では明治維新にいたるまでの日本の経済発展を理解するように進めていく。その場合、経済史的な視点はもちろん、それと密接に関連する政治史・対外関係史についても目を配り、明治維新にいたるまでの総過程を捉えるようにしたい。

講義の内容・
授業スケジュール

日本経済史についてのテキストを輪読し、リポーターの報告にもとづき討論をする。

- *戦国・織豊期の社会と経済
 - 1、東アジア世界の変動
 - 2、村落と都市の変貌
 - 3、戦国大名の経済政策
 - 4、織田政権の経済政策
 - 5、豊臣政権の経済政策
- *幕藩体制成立期の社会と経済
 - 1、江戸幕府の経済基盤
 - 2、対外関係の変動と鎖国
 - 3、藩体制と城下町
 - 4、近世村落の形成と農業生産
- *展開期幕藩制の社会と経済
 - 1、農村の変貌
 - 2、都市と商業の発展
 - 3、領主的対応—享保改革—
- *動揺期幕藩制の社会と経済
 - 1、幕藩制農村の変質
 - 2、幕藩制市場構造の変化
 - 3、幕藩制経済の再編—田沼期・寛政改革—
- *解体期幕藩制の社会と経済
 - 1、国内市場の形成
 - 2、天保改革
 - 3、開国と幕藩体制の解体

成績評価の方法

レポートおよび平常点。

教 科 書

逆井孝仁・北島万次・野田嶺志・富沢清人著『日本経済史』（有斐閣新書）¥950＋消費税

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	鈴木幸毅	経営B 3選	4

講義のねらい

我々の生きる現代は、企業社会といわれ、また組織社会とも言われている。この社会において企業は、経済的権力を握り社会的及び政治的権力を行使しているが、国際化の真価を問われ、著しく進んだ情報化・技術革新によって革命的影響を受け、そして成熟化社会における価値観の多様化によって社会との関係枠組みの変革を求められている。こうした状況は、経営管理(論)の理論的及び実践的研究に対して影響を及ぼす。

以上の認識のもとに、今年度は、「企業責任と環境問題」について検討する。
(テーマ) 「企業責任と環境問題」

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 企業概念と理論について学習し、それを基礎に「企業責任」を考える。
- (2) 企業の環境問題とは何かについて現実的に捉え、それを理論的に整理し、「企業責任」と「社会的貢献」を明らかにする。

成績評価の方法

個人又は共同論文作成を中心に成績を評価する。

参考書等

鈴木幸毅著『環境問題と企業責任(増補版)』中央経済社(平成6年)
同『環境経営学の確立に向けて』税務経理協会(平成11年)

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	長国強	経営B 3選	4

講義のねらい

現代は情報化社会といわれ、新聞・インターネットを開いてもそこに大量の経済・経営データが見られる。ところで、経済・経営などのデータをそのまま見れば、単なる数字の山に過ぎず、大切なことはそこから正しい見通しを得ることであろう。

実際のデータから経済・経営など社会的な動きをどのように読み取るのかといった能力を養成できるようにすることを目的として、本演習はコンピュータを使つてのデータ解析の基本技術を学習する。

講義の内容・授業スケジュール

パソコン上の代表的なワープロソフト-WORDと表計算ソフト-EXCELをマスターできるよう、実際の文章や統計データを取り入れながら徹底的に実習していく。

履修上の留意点

選抜方法
自己紹介文(A4、1枚)と面接

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	まえ だ かず とし 前 田 和 利	経営B3選	4

講義のねらい

明治期から現在に至るまでの間、それぞれの段階でどのような産業企業がどのような企業家達によって作りだされたのか、そして成功した企業がなぜ存続・成長(ないしは停滞・挫折)したのか。本演習では「企業(経営)は人なり」という視点から検討していく。

講義の内容・授業スケジュール

演習I前期では日本経営史のうえでイノベティブな行動をとった代表的企業経営者の足跡を検証する。後期においては、たとえば「花王とライオン」、「松下とソニー」といったようなケースを用いて、企業の創業者精神とその継承についての企業間比較の研究を行ない、リビング・カンパニー(長寿企業)の性格的特徴を見出していく。なお、並行して個人・グループによる研究のプレゼンテーションを行ない、演習IIにおいて論文(ワープロ、12,000字以上)を作成する。

履修上の留意点

演習を優先できる人の参加を希望する。

成績評価の方法

平常点(出席と授業態度)とレポート提出(2回)による。演習IIは論文評価による。

教科書

演習I前期——佐々木聡編『日本の企業家群像』丸善、1,800円。
その他については後日紹介する。

参考書等

適宜紹介する。

その他

担当者による要旨報告と問題提起、質疑応答という形式で進めるが、事前の要旨・資料の配布が求められる。
なお、前期においてはビデオを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
外書講読(英書)	なか がわ じゅん べい 中 川 淳 平	経営B3・4選	4

講義のねらい

ビジネス英語・経済英語になじめるよう、毎回興味あるトピックを選択し、その英文の講読を通じてビジネス・経済の実態認識を深められるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

事前に配布する英文資料について、毎回報告者を決め、要約ないし翻訳を報告してもらう。

履修上の留意点

毎回必ず予習をしてから出席すること。

成績評価の方法

報告、出席状況、学習態度、試験(ないしはレポート)の結果等を総合して評価する。

教科書

プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
外書講読（英書）	はやみのぼる 速水昇	経営B3・4選	4

講義のねらい

「外書講読」は1字1句言葉を確認しながら自分の力で訳すため、スピードは遅いが内容を把握する点では最適といえる。そして、経済・経営のテクニカル・タームを把握し、この大学を卒業するころには英字新聞の経済・経営の記事が読めるようにして欲しいというのが私の希望であり、講義のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

最初は辞書がなくても訳せるような易しい文献を選んで「外書講読」に慣れ親しんでもらう。そして、徐々に専門的な知識が身に付くような文献を講読し、専門的な知識を深めることにする。1年間で4つのテーマ、たとえば貿易摩擦(Trade Friction)、財政赤字(Deficit Finance)などについての講読を予定しているが、「外書講読」は休むと身に付かないので出席に自信のある学生を希望する。

教科書

授業時にプリントを配布

科目名	担当者名	配当学科	単位
ビジネス英語	まちいやすし 町井靖	経営B3・4選	4

講義のねらい

「商品の輸出入に関する英文の手紙」を学習する。テキスト『ビジネス英語』に従って、取引先の発見からカタログの送付、オファ、見積り、交渉、注文、船積み、クレームなど、貿易取引の各段階で良く使用される表現を学ぶ。実際の輸出入業務では英文の手紙を書く必要があるため、英作文演習には力を入れたい。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは貿易取引の各段階で良く使用される表現を英文解釈で学び、それらの重要表現を使用して英作文をするようになっている。英作文は授業中に1題やり、数題が宿題となるが英文解釈、[研究]、[注]を良く読返して英作文を考え、それらの表現をしっかりと修得していただきたい。

貿易の専門用語の理解も必要なので、テキストの付録「貿易用語集」により、定型取引条件、為替相場、複合運送、信用状、手形買取り、海上保険などを講義する。

履修上の留意点

全員授業に参加していただくので予習（英文解釈）、復習（英作文）が必要である。英作文は間違いを恐れず挑戦していただきたい。個人的に添削指導する。

成績評価の方法

前期、後期の試験成績と出席による。

教科書

町井靖著『ビジネス英語』（創成社）1,600円（本体価格）

参考書等

教室で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
特殊講義 (前期)	代田純	経営B3・4選	2

講義のねらい

野村証券株式会社の提供による本講座は、「資本市場の役割と証券投資」をテーマとし、野村証券および野村総合研究所の現役スタッフによって前期13回で講義される。講義では、証券市場に密接に関連する経済情報の捉え方からスタートし、株式や、債券、投資信託などの基礎を解説した後、資産運用とライフプランニング、資本市場と投資家心理などの実践的課題に接近し、最後にはベンチャービジネスにも言及する。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 ガイダンス
- 2 経済情報の捉え方
- 3 経済成長と金融資本市場について
- 4 証券投資のリスク・リターンについて
- 5 株式市場の役割と投資の基礎知識について
- 6 債券市場の役割と投資の基礎知識について
- 7 投資信託の役割とその仕組みについて
- 8 ポートフォリオ・マネジメントについて
- 9 市場のグローバル化と証券投資について
- 10 資産運用とライフプランニング
- 11 資本市場における投資家心理について
- 12 個人投資家と証券ビジネスについて
- 13 ベンチャービジネスとIPOについて

履修上の留意点

遅刻、途中退室は認めない。講師の都合でテーマが変わることもある。

成績評価の方法

定期試験による。再試験はない。但し、レポート提出者には加点する。

教科書

毎回、講義資料が配布される。指定参考書として、代田純『日本の株式市場と外国人投資家』（東洋経済新報社）2002年を使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 II	岩淵昭子	経営B4選	4

講義のねらい

考える簿記会計をモットーに、これまで学習した簿記学の理解をさらに深め、簿記学の中級・上級レベルの知識を学習しながら、簿記会計に関する総合的な力を育成し、興味を深めたい。

講義の内容・授業スケジュール

- この演習は、次の3点を中心に展開する。
1. 簿記会計に関連する新聞記事について、毎回、数人の人に発表していただき、新聞記事を読む習慣を身に付けるとともに、プレゼンテーション能力を育成する。また、会計の新しい動きを学ぶ。
 2. コンピュータによる会計処理について学習し、実務に対する理解を深める。
 3. 簿記検定税理士試験などの資格取得を側面から支援するため、簿記学の中級・上級レベルの内容について講義するが、関連した問題を解きながら、思考力や判断力を育成する。

履修上の留意点

日商2級レベルの学習経験があり、簿記・会計学に興味がある学生の履修を希望する。

成績評価の方法

出席や課題に基づくレポートの提出などにより、総合的に評価する。

参考書等

『会計法規集第18版』（中央経済社編）、この他は授業中に適宜紹介する。

その他

講義に必要な資料等は、必要に応じてコピーで配布する。授業は、講義形式・発表形式・演習形式を混ぜ合わせ、複合的に行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	おおしまひさゆき 大 島 久 幸	経営B 4選	4

講義のねらい

演習Ⅱでは具体的な企業の事例研究を通じて、日本の企業の歴史を学びます。歴史を学んでも今すぐ役立つ知識は得られないかもしれませんが。しかし絶えず変動する今日をじっくり見据える判断力を養うには歴史はとても良い素材を提供してくれます。対象を相対化できることによる客観性が歴史の妙味だからです。事例研究では個人の実名で入った生き生きとした歴史を学びます。そこから未来を生きる助けになる材料を皆さん自身で探してください。

講義の内容・授業スケジュール

前期の初めに文献輪読を通じて、論文の作成方法等を学んだ後、具体的なテーマを設定して、有価証券報告書、社史、関連文献、雑誌記事等、資料を収集し、秋までに全員の共同作業で論文を作成する。

成績評価の方法

平常点ならびにゼミ活動への貢献度によって総合的に評価します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	かしまひであき 鹿 嶋 秀 晃	経営B 4選	4

講義のねらい

本演習ではテーマを「現代企業における生産・技術・労働」とし、このテーマに沿ってゼミ生各人が自分の関心のあるテーマを設定し、それについて研究し各人がゼミ論文を作成することを最大の目的としている。またゼミ論文の経過・成果についてプレゼンテーション（発表・報告）を行ってもらい、その中で議論・討論を行う形で授業をすすめていく。この研究発表・報告・討論を通じて、各人が論理的に思考し、自分の意見を的確に表現する練習をする。

講義の内容・授業スケジュール

4年次では、先述のように各人がゼミ論文のテーマを設定し、論文作成のための研究を進めていく。授業自体は各人による研究発表・討論で行われる。このようにゼミは発表・討論を中心に行われるため、ゼミ内に全員が積極的に発言できる雰囲気を作りたい。そのため、授業以外の活動（コンパ、合宿、工場見学など）に参加することが原則である。その他、一層の勉強、および親睦を深めるためサブゼミの開講も予定している。

履修上の留意点

以上のような内容なので、中途半端な気持ちで志願する学生には遠慮してもらいたい。毎回少なくとも1回は発言することが義務付けられるので、消極的な姿勢でゼミに参加する者にとっては苦痛でしかないであろう。本ゼミでは何よりもやる気のある学生を歓迎する。

成績評価の方法

特に出席を重視。規定の欠席回数に達したものは即除籍にする。その他、ゼミでの報告内容や参加態度も成績評価に入る。

そ の 他

本ゼミの受講対象は2002年度に演習Ⅰ（藤原助教教授担当）を履修した者。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	かねむらえいてつ 兼村栄哲	経営B4選	4

講義のねらい

受講生の1人1人が、マーケティングにかかわる諸現象を体感し、自分なりに論理的に説明できるようになることを主な目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

各字の問題意識にしたがって、卒論を作成してもらう。卒論は、ワープロ原稿で、A4版用紙1頁あたり1,200字（40字×30行）で25枚以上とする。

履修上の留意点

- 以上の3点をとくに要望する。
- ①積極的に参加すること（通常の演習のみならず、合宿その他の課外活動にも積極的に参加すること。また、単に出席するのではなく、自発的に自分なりの疑問や意見を示すこと。）
 - ②お互いの親睦を深めること
 - ③授業開始後、諸般の事情で履修を取りやめる場合にも、必ず事前にその旨を申し出ること

成績評価の方法

授業態度、卒論の内容等を総合的に評価する。

参考書等

適宜、紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	さるやまよしひろ 猿山義広	経営B4選	4

講義のねらい

マーケティング管理会計の基礎概念と基本的手法を習得すること。

講義の内容・授業スケジュール

- ①マーケティング管理会計
- ②ブランド価値会計
- ③IR（投資家向け広報活動）

履修上の留意点

事前に配布された論文および資料には、かならず一度は目を通しておくこと。

成績評価の方法

平常点（出席および報告の出来）によって評価する。

教科書

その都度、配布する。

参考書等

その都度、指定する。

その他

できるだけ議論に参加すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	なか 村 こう いち 中 村 公 一	経営B 4選	4

講義のねらい

本演習は現代企業の経営戦略を多面的に把握し、①文献講読やケーススタディなどを通して、企業の置かれている環境とそれに対する戦略を的確に理解する分析力と洞察力、②実際にビジネスプランの策定を通して、事業戦略を構築する企画力と構想力を養っていくことを目的とする。そして、数多くの課題をこなす中で各人の能力（スキル）アップを図る。

講義の内容・授業スケジュール

文献講読による経営戦略論に関する基本知識の習得とともに、ケーススタディやビジネスプラン策定などにより実践的場面でも活用できる能力の向上を図る。従って、文献の理解力とレポート作成能力、そして思考力やプレゼンテーション能力も強化していく内容で演習を進めていく。そのために、毎週の演習以外に、年数回の研究会と勉強合宿を計画している。

履修上の留意点

毎週レポートを宿題として課すために、相当の勉強時間の確保が必要である。

成績評価の方法

出席と授業への積極性、レポート内容、年度末に提出するゼミ論文によって評価する。特別の用事のない無断欠席等は厳しくチェックする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	はし ば とし ゆき 橋 場 利 幸	経営B 4選	4

講義のねらい

前年度に続いて、情報化社会に生きてゆくための「知恵」（単なる「知識」ではなく）を得るために、コンピュータプログラミングを通して、情報ネットワークに対する理解と、それに伴って生じるさまざまな技術的・倫理的問題に対する洞察力を得られるよう努力してゆきたい。また引き続き、情報の効果的な伝達・表現方法（「プレゼンテーション」）についても、全メンバーでより良い方法を模索してゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

今年度は本格的なプログラミング言語である Java などを中心に、さらに技術的に高度な内容を取り上げたい。また情報化社会の倫理的な問題についても積極的に考察してゆきたいと思っている。具体的には、メンバー各自の研究内容を Web ページとして作成して行ってほしい。

履修上の留意点

特に前年度と変わったところはないが、発表担当の際には十分努力していただきたい。

成績評価の方法

発表内容と作成された Web ページの内容で評価する。

教 科 書

その都度紹介する。

参 考 書 等

その都度紹介する。

そ の 他

今年度から新たに参加を希望する場合は、前もって相談にきてほしい。ゼミ教室（4-302）に直接来ていただくか、メール（hashiba@komazawa-u.ac.jp）まで連絡されたい。

Ⅲ 他学部履修科目

履修科目
他学部

Ⅲ. 他学部履修科目

商学総論	〈大吹勝男〉	595
社会思想史	〈休講〉	
社会政策	〈休講〉	
価格理論	〈荒木勝啓〉	596
国民所得論	〈休講〉	
銀行業論	〈休講〉	
中小企業論	〈吉田敬一〉	597
人口論	〈森岡仁〉	598
中国经济論	〈小杉修二〉	599
アメリカ経済論	〈瀬戸岡紘〉	599
ヨーロッパ経済論	〈休講〉	
貿易論	〈古沢紘造〉	600
法思想史	〈河見誠〉	601
日本法制史	〈休講〉	
西洋法制史	〈北野かほる〉	602
経済法	〈岡田外司博〉	603
国際関係論	〈南山淳〉	603
地方自治法	〈富井幸雄〉	604
国際紛争解決法	〈王志安〉	605
倒産処理法	〈雨宮眞也〉	605
中国禅宗史	〈須山長治〉	606
日本禅宗史	〈角田泰隆〉	606
インド仏教史	〈池田道浩〉	607
日本仏教史	〈袴谷憲昭〉	607
書道	〈野村宙弘〉	608
仏教と文化	〈奥野光賢〉	608

他履修科目
学部

科目名	担当者名	配当学科	単位
商学総論	おお ぶき かつ お 大 吹 勝 男	経営A・経営B	4

講義のねらい

近年、経済学部にもヤンキーだか、モンキーだかわからない、以前の駒大生にはみかけなかった入学者が出現している（風体ではなく、受講態度）が、本学もまた大学であるかぎり、真理を探究する学問の場でなければならない。したがって、まず講義の妨害となる集団的私語をするような入学者諸君の受講は遠慮願いたい。

さて、講義の内容であるが、本講義も、現代の風潮にしたがい、企業はいかにすればより多くの利潤・利益を取得・実現することができるか、その方法を探ることを課題とする。すなわち、いかにしてサラリーマンおよび労働者を搾取（この言葉がわかるかな）するか、経営者の立場からその方法を考えるということである。これは、裏を返せば、経営者になることのないほとんどの諸君からみれば、いかに自分が搾取されているかを学ぶことになる。さらに現代風にいえば、なにゆえにこれほどまでに多くの若くて将来のあるサラリーマンが過労死や過労自殺に追込まれるのか等々を考えるてだてにもなる。以上のような問題を意識しつつ授業では流通論を講義するものであり、その内容からして流通経済論といいかえてもよいとおもう。諸君は、流通理論の習得に努めるとともに単なる知識ではなく、将来社会にでも使い捨てのサラリーマンになることのないように、それらを学ぶ過程において、論理的に思考する能力を身につけてもらいたい。そして、単なる入学者ではなく、大学の学生となって卒業してもらいたい。そのためには、一年間を通して授業に出席することが必要である。また、本講義は、諸君が履修するであろうマーケティングおよび商業政策・流通政策のための基礎理論を提供するであろう。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容は、下記の項目にしたがってすすめるが、本年度は現代企業の経営戦略において重要性を増している物流問題を考えるうえで、その基礎となる理論に重点をおいて講義する。

- (1) 商品論（価値論）・電子マネー
- (2) 生産過程論
- (3) 流通過程論（資本の流通過程・流通時間・流通費用）
- (4) 商業資本論（電子商取引、e コマース）
- (5) 商業労働論・ホワイトカラー労働論（サラリーマン論）

成績評価の方法

評価は、期末試験によるが、講義の予習をかねてレポートを課すこともありうる。また、各講義項目が終る毎に、小テストを実施し、諸君の理解度を確かめ、一層の理解を深める手段とする。再試験は実施する。

教科書

1. 大吹勝男著『流通費用の基礎理論』（梓出版社、4月刊行予定）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
価 格 理 論	あら き よし ひろ 荒 木 勝 啓	経営A・経営B	4

講義のねらい

授業のあらまし：価格理論の目的は、経済の中でミクロ主体が互いに競争と最適化を行うことにより、市場および経済一般がどのような方向に向かうかを研究することでもある。もし競争が理想的に行われ、情報や資源移動の完全性が保証されるならば、市場はパレート最適と呼ばれるある種の理想状態に達し、価格は自然に社会的厚生を最大化する水準に定められる。しかし例えば市場参加者が2という少数者で行われるならば、たとえ同様の競争自体が行われても、結果はクールノ・ナッシュ均衡とよばれるような、完全競争とは異なった市場均衡に到達するであろう。またその競争のありようによっては同じ2という参加者の競争から、シュタッケルベルク均衡と呼ばれるさらに異なった均衡状態が作り出されることになる。その点はもはやパレート最適からはほど遠い点である。

このように、価格理論は、一般に「物価水準」と呼ばれているような現実のデータとしての価格というよりも、経済の市場の枠組みやミクロ主体の行動様式に関する様々な想定から導出される *as if* パフォーマンスとしての価格決定を調べる科目である。従ってその分析のためにはどこまでも「最適化」手法がつかまとう。しかも経済学の場合最適化はほとんどの場合「制約付き最適化」である。

制約のないところに経済は成立しない。近代経済学を生み出した限界革命の旗手であるカール・メンガーは次のように述べる。村にわき出る泉があり、その水をだれでもが飲めるならば、その水をめぐる「経済」現象は生じないのである。しかし、旅人が増えて村人が水を自由に飲めなくなったときから泉の水に経済現象が生じ始める。

以上のように価格理論では内容の理解がほぼ制約付き最適化手法の理解如何にかかっているといってもよい。従って講義のかなりの部分がそのために準備と練習にあてられると思っていただきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 価格理論で学ぶこと
- (2) 多変数関数と曲面
- (3) 微分、偏微分、全微分
- (4) 対数関数の微分と成長理論
- (5) 生産関数、コブ・ダグラス生産関数
- (6) ベクトルの直交と勾配ベクトル
- (7) 制約付き最適化問題のグラフィカルな理解
- (8) ラグランジュ乗数法
- (9) 加重限界効用均等の法則
- (10) 練習問題
- (11) 代替効果と所得効果の計算
- (12) 需要曲線と需要の価格弾力性
- (13) パレート最適、ボックスダイアグラム
- (14) MR 曲線
- (15) 独占均衡
- (16) 消費者余剰と生産者余剰、独占均衡の死重的損失
- (17) 消費曲線と供給曲線
- (18) 生産関数から短期費用関数の導出
- (19) 生産関数から長期費用関数の導出
- (20) クールノ・ナッシュ均衡
- (21) クールノ・ナッシュ均衡解の練習問題
- (22) 等利潤曲線
- (23) シュタッケルベルク均衡解
- (24) シュタッケルベルク均衡解の練習問題
- (25) ゼロサムゲームの解法

成績評価の方法

試験はノート・教科書・参考書持ち込み可。再試験実施。

教 科 書

浅野・荒木・浅田『エコノミックス』（成蹊堂）

科目名	担当者名	配当学科	単位
中小企業論	よし だ けい いち 吉 田 敬 一	経営A・経営B	4

講義のねらい

中小企業は日本の企業総数の99%を占めており、そこで働く従業員は被雇用者全体の80%近くにも及んでいます。さらに製造業についてみると、付加価値額の50%以上は中小企業が生み出しています。そして、これらの中小企業の優れた部品加工・組み立て能力を抜きにして、日本の大企業は高品質で低価格の製品を国内・国際市場に供給することができなかった、というのが真実です。ところが、今日、経済構造転換の下での新3K現象（空洞化・価格破壊・規制緩和）により、戦後経済発展を下支えしてきた中小企業は深刻な存立危機に直面しています。

そこで本講義では、戦後日本の経済発展において、自動車工業を事例として中小企業が果たしてきた重要な役割を明らかにすること、これまでの中小企業政策の特徴を学ぶこと、最後に下請問題・金融問題を取り上げ、中小企業のおかれている立場・条件の劣悪性を明らかにし、経済大国にとどまらず、生活大国を21世紀に建設するための重要課題としての日本の中小企業問題の解決の方向と展望を考えることを主要課題とします。

講義の内容・授業スケジュール

講義は以下の項目を柱として行ないます。

- I 中小企業問題研究へのアプローチ
- II 戦後日本の経済発展と中小企業—自動車工業の生産分業システムを事例として—
- III 戦後日本の中小企業政策の歩み
- IV 中小企業振興の主要問題

履修上の留意点

中小企業問題は、国民経済全体が抱える諸問題の集約として発現してしているので(例えば、貸し流り問題、商工ローン問題、生産の海外移転による下請企業の苦悩など)、日々の経済動向に対する鋭い感受性が求められます。そこで受講生は、新聞やテレビの経済報道に関心を持つことが望ましい。

成績評価の方法

学年末試験とレポートで評価します。また再試験も実施します。

教科書

本講義では教科書は使用しません。

参考書等

吉田・永山・森本編著『産業構造転換と中小企業』（ミネルヴァ書房）
 吉田敬一『転機に立つ中小企業』（新評論）
 中小企業庁編『中小企業白書』（大蔵省印刷局）
 巽・佐藤編『新中小企業論を学ぶ』（有斐閣）
 渡辺・小川・黒瀬・向山『21世紀中小企業論』（有斐閣）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
人 口 論	もり おか じん 森 岡 仁	経営A・経営B	4

講義のねらい

人口に関わる学問分野は数多く存在するが、とくに経済学との関係から接近しようとするところにこの授業の特徴がある。経済と人口との関係はどちらかが一方的に他に働きかけるというものではなく、互いに作用しあう相互依存の関係にある。1970年代に成立しその後大きな発展を遂げた経済人口学は、この点に注目する人口学の一分野であるが、本講義も経済人口学の立場に立って、経済と人口の相互依存の関係を理論的、実証的に追求するものである。そこにおいては、日本を含む世界全体の人口について、過去から現在、そして可能な限り将来に及ぶ人口現象にまで論及してみたい。ことに、先進工業諸国に現在共通してみられる少子化と年齢構造の高齢化の問題は、わが国においても経済との関係から早急に解決を迫られている関心事であり、将来益々その重要度を高めていく。

一方発展途上諸国に生じている人口増加の問題は、貧困からの脱却のため、あるいは資源・環境の観点からも緊急に解決しなければならない困難な課題を提起している。このようにみても、今や人口問題は地球規模で考え、そして解決していかなければならないことが理解されよう。しかしながら、人口を取り巻く関連分野が広範囲に及ぶことから、はたしてどこまでが人口の問題であり、どこまでが他の分野の問題であるのかを的確に見極めることが重要になってくる。真の人口問題が不明確だとすれば、それに対応する政策も不適切なものにならざるをえない。的確な事実判断の下に適切な政策を施すには、しっかりとした理論的知識を備えていなければならない。ここでは、経済人口学の成立と発展の過程を辿ることによって、人口理論の基礎的知識を養い、政策論にも言及してみたい。

この授業では人口という眼鏡を通じて経済をじっくりと眺めることによって、一人でも多くの学生諸君が人口に関心を抱くようになってほしいと考えている。なぜなら近年の先進諸国においては子供を公共財的に扱う傾向があり、人口問題が国民一人一人の問題になっているからである。

講義の内容・授業スケジュール

- I. 経済人口学の生成と発展
- II. 日本の人口と経済発展
- III. 人口高齢化の経済的諸問題
- IV. 人口政策

履修上の留意点

履修に当たっての条件というものはとくに無いが、近年大きな関心事になっている人口の“高齢化”や“少子化”に関する知識を、どのような手段をつうじてでも良いから得ておくことが望ましい。

成績評価の方法

学年末の定期試験、出席状況
再試験を実施する。

教 科 書

大淵 寛・森岡 仁『経済人口学』（新評論）1981年

参 考 書 等

大淵寛『少子化時代の日本経済』（日本放送出版協会）1997年
阿藤誠『現代人口学』（日本評論社）2000年

そ の 他

授業の方法：講義

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国経済論	こすぎ しゅうじ 小杉修二	経営B 14以降入学生/経営A	4

講義のねらい

前期は中華人民共和国の経済を歴史的に学ぶ。その開発目標に着目して、中ソ同盟下の大国志向としての「ソ連モデル」(1949-57)、独自の超大国志向として米ソと対立した「毛沢東モデル」(1958-78)について学ぶ。

ソ連モデル期に中国は途上国の特徴＝機械の生産能力の欠如を克服し、国民生活を改善した。

毛沢東モデル期に兵器の一定の自給と核ミサイルの保有に至った。この時期、国民生活は改善されず、臨戦体勢づくりのため経済効率は低下し行きづまった。

後期はこの状況を打開した「鄧小平モデル」(1978-)を学ぶ。独自の超大国志向は維持しながらも平和共存政策への転換の下、開放政策による外資の呼びこみ、沿海部重点開発、軽工業優先開発、「独立した工業体系」づくりからの脱却、生産請負等の農業改革、市場経済への移行によって高度成長を達成、また、国民生活を改善し、「世界の生産現場」になった。後期には中国のかかげていた社会主義、「中国脅威論」等の問題をも考えてみたい。

履修上の留意点

言うまでもないが、私語、飲食、携帯電話は禁止（授業に集中できない人は出席不可）。

成績評価の方法

前期レポート、後期試験。

教科書

前期 小杉修二『増補 現代中国の国家目的と経済建設』（龍溪書舎）4000円

参考書等

平田幹郎『中国データブック 2000-2001』（古今書院）3800円

その他

授業方法 講義+ビデオ映像の活用

科目名	担当者名	配当学科	単位
アメリカ経済論	せと おか ひろし 瀬戸岡 紘	経営A・経営B	4

講義のねらい

現代のアメリカ経済事情を幅ひろくわかりやすく解説します。特別な経済学の予備知識がなくても理解できる授業です。アメリカ経済を自力で理解していく力をつけることが目標です。

講義の内容・授業スケジュール

以下の項目をさしあたり準備しています。受講者の要望の強いものから講義していきます。
 ◇大統領の今年の経済政策、◇建国の理念と現実、◇アメリカの農業、◇アメリカの工業、◇ベンチャービジネス、◇雇用と労働者、◇商業とサービス、◇金融、◇教育と経済、◇科学技術、◇先端産業、◇経済と環境問題、◇アメリカ社会とヴォランティア、◇女性・マイノリティー、◇ドルの地位とIMF、◇アメリカの貿易、◇軍の世界的ネットワークと経済的意義、◇海外援助、◇多国籍企業とアメリカ経済、◇アメリカとEC、◇アメリカと日本、◇アメリカとアジア・太平洋、◇アメリカとカナダ・メキシコ、◇アメリカの経済学、など

履修上の留意点

1回の講義でひとつのテーマをとりあげます。あたらしい情報やトピックスを、解説つきで、つねに受講者に紹介します。アメリカの諸大学の授業にみられる長所を可能なかぎりとり入れた授業です。受講者の側からの評価や採点、改善提案なども実施します。

成績評価の方法

随時、受講者には小論を書いてもらい、それで成績評価をします。平常点重視のためまえから、一発勝負の年度末試験は、受講者の強い要望がないかぎり実施しません。それゆえ再試験も実施しません。

教科書

最新の情報をもとに講義をすすめます。だから特定の教科書は使用しません。講義では、随時よい文献などを紹介していきます。日々のニュースと諸君の周囲にあるさまざまなアメリカものの本の全体がこの講義の教科書ですが、どうしてもといわれれば、グリーンバーグ著『資本主義とアメリカの政治理念』（瀬戸岡訳、青木書店、1994年）をおすすめします。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
貿 易 論	ふる さわ こう そう 古 沢 紘 造	経営A・経営B	4

講義のねらい

オゾン層破壊、熱帯林破壊、温暖化、酸性雨、放射能汚染など地球を取り巻く環境はますます深刻になっています。一方、私たち生命体は水・大気・土壌の汚染により生存を脅かされるどころまできています。本講義では、こうした危機的状況を踏まえ、生命系の経済学の立場に立って、貿易問題、さらには国際分業のあり方について深く考えてみたいと思います。その中で、経済学、生態学、倫理学からなる総合的視角の重要性を認識しつつ、私たちの生活のありようを問うことにも力を注ぎたい。

生命系の経済学とは、人格をもった人間としてのニーズ、環境、資源、地球のすべての生命との共存、などを基準とした主体的な指標の確立と、それを実現し保証する政策と運動を具体的に提出する経済学です。詳しくはポール・エキンズ編著『生命系の経済学』（御茶の水書房）を読まれるとよいでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

I. 生産・消費と貿易

1. 農産物と貿易
2. 水産物と貿易
3. 林産物と貿易
4. 鉱物資源と貿易
5. 工業製品と貿易

II. 政治・経済・社会と貿易

1. 開発援助と貿易
2. 環境と貿易
3. WTOと貿易
4. グローバリゼーションと貿易
5. 持続可能な発展と貿易

社会・経済状況の変化に対応して、アップ・ツー・デートな貿易問題も積極的に取り上げるようにしたい。

成績評価の方法

テスト、提出物（講義ごとのまとめ、前期、後期の終り、授業で書いてもらう講義全体のまとめ）などを総合して評価を行う。テストやまとめを書くとき、論点を明確にし、自分の考えをしっかりと出すように努力してもらいたい。思考の跡がうかがえないものは、評価の対象とはならないでしょう。

再試験を実施しない。

教科書

特にこれといった教科書は使いません。専門用語などむずかしいことは、そのつど説明しますので、授業に出てもらえれば内容は充分理解できると思います。

参考書等

講義の中で興味をもち、もっと知りたいことがありましたら、遠慮なく相談にきてください。参考になる本など教えます（研究室：第2研究館、4階34号室）。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法思想史	かわみ まこと 河見 誠	経営A・経営B	4

講義のねらい

21世紀を迎え、あらゆる場面で20世紀的枠組みが問い直されようとしている。法や権利の在り方に関しても同様である。近代的国家という枠組み自体が疑問に付されたり、個人の生き方を近代的な法や権利という枠組みで捉えることへの倫理的批判が提起されることもしばしば見受けられる。このような時代状況の中で、法や権利の在り方を真摯に模索していくためには、「法とは何か」「権利はなぜ尊重されなければならないのか」といった、根元的な問いと格闘しなければならないだろう。しかしそういった格闘は、何も2002年現在の私たちが初めて取り組むわけではない。過去、何千年にもわたる「法思想」の歴史があるのである。過去の「法思想」に耳を傾けることを通して、21世紀にふさわしい法や権利の在り方を、ともに模索していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

私たちが現在よって立っている法体系、とりわけその根本にある憲法の中に見られる基本的な人権や民主的統治機構は、基本的には近代の自然権思想や社会契約論に源泉を持つと考えられる。従って、本講義では、近代法思想を重要な軸にしたいと考えている。そのことを念頭に置きつつも、講義の進め方としては、オーソドックスに古代ギリシャの法思想からスタートして、時系列的に法思想を追っていくこととする。

近代以前：古代ギリシャの法思想(ソフィスト、ソクラテス、プラトン、アリストテレス)、
中世ローマ・キリスト教の法思想(キケロ、アウグスティヌス、トマス・アクィナス)
近代：自然権・社会契約論(ホッブス、ロック、ルソー)、ドイツ観念論(カント、ヘーゲル)
近代から現代へ：社会主義法思想(マルクス)、新カント派法哲学(ケルゼン、ラートブルフ)、新しい自然法論(コーイング、カウフマン、フィニス)、現代の法思想状況について

履修上の留意点

レジュメと参考資料を配布し、それらに基づいて授業を進めていく。参考資料については授業中に配布するが、レジュメについてはKOMSY上の河見のURLから、各自、印刷して持ってくること(<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kawami/>)。

成績評価の方法

定期試験(後期終了後1回)を主たる評価基準とする。その他、長期休暇中にレポートを課すかもしれない。

教科書

特に指定しないが、参考書に挙げた2冊は教科書に準じたものとして、しばしば引用する。

参考書等

田中成明他『法思想史(第2版)』(有斐閣Sシリーズ、1997年)1700円。
三島淑臣『法思想史(新版)』(青林書院、1993年)5000円
その他、随時紹介する。また、参考資料を随時配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋法制史	きたの 北野かほる	経営A・経営B	4

講義のねらい

イギリスの法制度の歴史を、社会の法的構造と国家統治機構のかかわりを軸に解説する。特に注目される法的現象を挙げながら、各時代毎の法制度の全般の特徴と、基本的社会・政治構造との関連について考察する。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1部 総論
 - 第1章 法制史学概説
 - 第1節 法制史学の方法と対象
 - 第2節 法制史学の目的と効用
 - 第3節 イングランド法制史学の対象と方法
 - 第2章 イギリス歴史学の基本的知識
 - 第1節 時間的範囲
 - 第2節 空間的範囲
- 第2部 イングランド法制史
 - 第1章 古代
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 法構造
 - 第2章 中世 (1066 - 1350)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造 封建制
 - 第3節 統治構造 封建制の解体
 - 第4節 法構造
 - 第3章 近世 (1350 - 1650)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 統治構造
 - 第4節 法構造

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験 (後期試験期間・年1回)

教科書

特に指定しない。

参考書等

年度当初に指示する。

その他

一冊で間に合うような参考書はないため、試験準備に最も有効なものは講義の際に筆記した各自のノートである。今年度から講義内容を少し変更するため、過去の講義ノートはあまり役に立たない。敢えて出席はとらないが、出席してノートをとらないと事実上試験準備ができなくなるので十分注意すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済法	岡田 外司博 <small>おかだ としひろ</small>	経営A・経営B	4

講義のねらい

独占禁止法は、企業の経済活動に関する世界共通のルールとしてみずみず重要になりつつあるのみならず、実は私達の生活にも深く関わっている。ところが、独占禁止法の条文を見ると、一般になじみのうすい抽象的な用語が並んでいて難解であり、その理解は決して容易ではない。そこで、本講義では、最初効回は理論的問題にも触れるが、その後は独禁法の規制の内容とその実際の解釈運用について、具体的事例を多くふまえてできるだけわかりやすく解説することを目標にしたいと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

講義は2回に1枚プリントを配布し、そのプリントに書かれた設問にこちらの方で答えて行くという方法をとる。

履修上の留意点

プリントを受け取らずに講義を聴いても意味がないので、出席は取らないが、講義に出席して少くともプリントを受け取ることを勧める。

成績評価の方法

試験（後期1回のみ）によって判定する。

教科書

丹宗暁信・厚谷襄児編『新現代経済法入門』（法律文化社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際関係論	南山 淳 <small>みなみやま あつし</small>	経営A・経営B	4

講義のねらい

近代ヨーロッパに成立した国際社会は、戦争による秩序の崩壊と新たな秩序の創造というサイクルを描きながら、地球全体を覆うまでにその規模を拡大してきている。他方冷戦構造の崩壊、グローバリゼーションの拡大、アメリカ同時多発テロ事件に象徴されるように、近年の国際関係は激しく変動し、複雑化の一途をたどっている。

本講義の目的は、伝統的な国家間関係とトランスナショナルな関係が相互に影響を与え合う現代国際関係の全体像を構造的に理解することにある。構造的な理解とは、近代から現代にいたる国際関係のダイナミズムのなかで、持続する領域と変容する領域を画定していく作業に他ならない。そのためには、歴史と理論を別々に考えるのではなく、共通の視角を設定して理解することが不可欠である。国際構造の変動とともに学問としての国際関係論のあり方も大きく変化しており、できるだけ最新の研究動向とカレントな問題を関連させながら、講義を進めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、主権国家、国際的アナキー、権力政治、安全保障、相互依存など、国際関係論の基本概念の理解と主要理論の解説に重点をおき、後期は、国際組織、地域紛争、グローバル経済、地球環境問題など、現代国際関係の諸問題を取りあげる予定である。

履修上の留意点

政治経済、国際関係史、時事問題に関する基本的な知識を整理したうえで受講すること。

成績評価の方法

出席状況、レポート、学期末試験等により評価する。

教科書

進藤榮一著『現代国際関係学』（有斐閣）
松岡完著『20世紀の国際政治』（同文館）

参考書等

文献リストを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地方自治法	とみ い ゆき お 富 井 幸 雄	経営A・経営B	4

講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをきしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎週レジメを配布し、それに沿って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

成績評価の方法

前期試験（40%）と学年末試験（60%）で総合的に評価する。

教科書

原田尚彦『地方自治の法としくみ』（学陽書房） 2,000円

参考書等

『地方自治判例百選（第2版）』（別冊ジュリスト）。
なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』（良書普及会）は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』（岩波書店）、同他『概説日本の地方自治』（東京大学出版会）は必読。

その他

講義では頻繁に法律の条文に言及するので、六法（『地方自治小六法』（学陽書房）があるがポケット六法でよい。）は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法の大規模な改正がなされたので、必ず平成13年度版を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際紛争解決法	おう し あん 王 志 安	経営A・経営B	4

講義のねらい	国際法における紛争処理の様々な手段について、それぞれの形態、機能、限界及び適用可能性を把握し、国際紛争解決の法的仕組みを理解する。
講義の内容・授業スケジュール	国際紛争の処理を具体的な法制度、手続きの側面から取り上げ、一回の講義で一つの課題を絞り、それぞれ制度の展開、機能及び事例検証の形で解明する。前期では、国際紛争の基本構造、紛争解決手段の基本的枠組みを講義した上で、外交的手段による紛争解決、国連における紛争解決及び世界貿易機構（WTO）の紛争処理制度を取り上げる。具体的には、国際義務違反の責任形態、紛争の平和的解決の意義、交渉、仲介、国際調査及び調停といった制度の展開及び適用、国連における紛争処理の制度的展開及び現状、そしてWTOの紛争処理制度の発展、手続き及び制度の意義を講義する。後期では、仲裁裁判及び国際司法裁判を取り上げる。具体的には、国際裁判の史的展開、仲裁裁判制度の確立及びその手続き、国際商業仲裁の現状、国際司法裁判所の組織、管轄権、適用法規則、手続規則などを講義する。
履修上の留意点	参考資料を適宜に配布し、教科書の内容を補足しながら講義を進めていく。聴講ノートをしつかりと取ってもらいたい。
成績評価の方法	年末の筆記試験によって評価する。ただし、前期小テストと出席状況も成績を評価する際に考慮される。
教科書	大沼保昭編著『資料で読み解く国際法』第2版（下）、東信堂、2002、2000円
参考書等	市販されている国際条約集及び国際判例集。これらにつき開講時に詳しい情報を提供する。
その他	授業は主として講義方式で行うが、判例の分析につき学生のまとめ報告を求めることもある。板書のかわりに、powerpointを利用した講義を行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倒産処理法	あめ みや まさ や 雨 宮 眞 也	経営A・経営B	4

講義のねらい	主として、破産法についての基礎理論と現行法の解釈論を中心に講義する。関連して会社更生法、民事再生法についても講義し、わが国の倒産処理体制の総合的理解が得られるよう講義する。 法理論は社会現象をリードするとともに、社会現象はまた法理論をリードする。両者の相互関係をふまえて、学生諸君の法的思考力の向上に努めたい。
講義の内容・授業スケジュール	教科書の構成に従って、順次講義を進める。
履修上の留意点	破産法は、法律のつぼと云われるように、実体法、手続法、刑事法から構成され、民法、商法、労働法等々を、いかに修正するか学問でもある。破産法の学習を通して、学生諸君が実体法と手続法を総合して理解する力を養うことを期待する。
成績評価の方法	定期試験の成績により評価する。
教科書	倒産処理法の分野は、最近めまぐるしい改正が行われ、各種教科書の改定作業が進められているので、開講時に指定する。
参考書等	同様に開講時に指定する。
その他	授業は講義方式となるが、受講生の数によっては、ゼミ方式を取り入れることもある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国禅宗史	須山長治 <small>す やま ちやう し</small>	経営B	4

講義のねらい

『景德伝燈録』には1,700人余りの禅僧たちが登場する。その一人一人が語り出す世界は、今日の我々が見てもまことに感動的である。それは彼らが“己の現存”を言葉によって、いかに表現しようとしたかを、目の当たりにするからである。禅宗は自らを不立文字と標榜するが、実際には言語を断ち切らず、言語によって言語の届かない世界をあらわにしようとした精神運動なのである。この事実を、禅の語録を通して考察して行きたい。

講義の内容・授業スケジュール

昨年度に引き続き、本年度も『碧巖録』を解説しながら、達磨以降の禅僧たちの言行を調べていく。これにより、中国禅は時代とともにどういう問題意識を展開していったか、その軌跡をたどりながら、全体的に“中国禅”とはなにかを考えて行きたい。

履修上の留意点

出席を重視する。

成績評価の方法

試験は基本的な内容を問う。具体的には、論述。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

『碧巖録』（岩波文庫）、『雪竇頌古』（禅の語録シリーズ）

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本禅宗史	石井公成 <small>いし い こう せい</small>	経営B	4

講義のねらい

禅宗以外の禅の日本への伝来、禅宗の伝来に始まり、道元禅師・瑩山禅師を経て現代に至る日本の禅宗の歴史を検討する。

講義の内容・授業スケジュール

時代別に概観してゆくが、重要な問題については、時代別にこだわらずに検討する。

履修上の留意点

漢文・古文の訓練をかねる。最初はまったくできなくても良いが、わかりやすく指導してゆくと、漢文・古文の力を少しでもつけようとする姿勢が望まれる。

成績評価の方法

年度末の試験によって判定するが、質問したり発表を譚とするなど、授業に積極的に関わっていた者については、特に考慮する。

教科書

コピーを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
インド仏教史	いけだみちひろ 池田道浩	経営B	4

講義のねらい

インドにおいて既に釈尊の教説に対する異なった解釈が多数存在していた。各学派はこれこそが正しい教えであることを主張し論争を繰り返していたことが伝えられている。仏教における論争の歴史を学習することによって各学派の主張が明瞭となり、一見多様な仏教の思想が理解しやすくなると思われる。この講義はインド仏教の思想的展開の理解を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

インド仏教のおおまかな思想史について考察する。釈尊の教え、釈尊滅後の教団、大乘仏教の発生と展開等が主な項目である。特に中観派と瑜伽行派との論争については、実際にいくつかの文献を講読していきたい。

成績評価の方法

受講者多数の場合、学年末の試験によって厳しく評価する。

教科書

特定の教科書は使用しない。

参考書等

高崎直道『仏教入門』（東京大学出版会）
平川彰『インド仏教史』上下巻（春秋社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本仏教史	ほがみやのりあき 袴谷憲昭	経営B	4

講義のねらい

下記の教科書により、日本仏教史を講義する。

講義の内容・授業スケジュール

ほぼ教科書の順序に従って進行する予定であるが、切れ目切れ目でプリントを配布して、文献の読解を促すかわら、講義内容の確認を行う。因みに、今念頭にある講義プランは、必ずしも全て実行するというわけではないが、ほぼ以下のとおりである。

- 序 仏教伝来以前の思想
- 1 古代宗教の解釈 2 日本古来の宗教
- 第1章 中国朝鮮の文化と仏教の受容
- 1 大陸仏教の意味 2 仏教伝来と影響 3 聖徳太子と仏教 4 作善主義と仏教
- 第2章 仏教の確立と南都六宗の教義
- 1 仏教思想と学問 2 三論宗と成実宗 3 法相宗と俱舎宗 4 華嚴宗と律宗と
- 第3章 平安二宗の教義と仏教の展開
- 1 国家体制と仏教 2 天台宗教義概観 3 真言宗教義概観 4 浄土教と諸思想
- 第4章 中世社会の展開と仏教の変様
- 1 権門体制と仏教 2 法然と浄土思想 3 親鸞道元日蓮と 4 本迹思想と神道
- 第5章 近世と近代の体制的仏教思想
- 1 キリスト教伝来 2 寺檀制度の確立 3 排仏毀釈と仏教 4 近代科学と仏教
- 結 現代社会と仏教
- 1 現代思想と仏教 2 現代と批判仏教

履修上の留意点

単に講義を聞くだけではなく、配布されたプリントを中心とした文献の読解を自らに課さんとすることが望まれる。

成績評価の方法

学年末にレポートを課して評価したいと考えているが、状況しだいに変更もありうる。

教科書

末木文美士『日本仏教史——思想史としてのアプローチ——』（新潮文庫）560円

科目名	担当者名	配当学科	単位
書道	那須隆吉	経営B	4

講義のねらい

世界で唯一、古代から一貫して同じ文字を使用し、それを鑑賞に耐えうる芸術にまで高めた「書」の美しさを味わい、そのよってきたるところを理解し、更に応用力を身につけたい。

講義の内容・授業スケジュール

- ・漢字仮名の書の古典名跡により、書の基本的技法を習得する。
- ・書の基本的知識(書式、文房四宝、篆刻、拓本、表装、写経、書論等)について理解を深める。
- ・中国日本の書道史(文字の歴史)を概観する。

履修上の留意点

テキスト、用具は常に整備しておく。(墨汁は使用不可。硯、筆は常に洗っておく。)

成績評価の方法

出席点、平常点(遅刻等)、清書、レポート等による。

教科書

『書の世界』(中教出版)約1,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と文化	奥野光賢	経営B	4

講義のねらい

日常生活において何気なく使われている言葉の中から、仏教に関わるものを毎回取り上げて、その言葉の持つ本来の意味、語義の変遷等を考察することによって、「仏教と文化」の問題を考えてみたい。その際、教理史・仏教史に対する知識は必要不可欠になるので、講義は必然的に教理史・仏教史を再度確認しながら進めることになるであろう。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、上記に記したねらいにしたがって毎回ある「仏教語」を取り上げて講義形式で授業を進める。後期は、「仏教語」だけでなく日常行なわれている「仏教行事」等にも眼を向けて授業を進める予定である。

履修上の留意点

一方的な授業にならないよう、疑問点はどしどし質問して欲しい。

成績評価の方法

学年末試験によって評価する。年間出席数が総授業時間の3分の2に満たないものは、成績評価の対象としない。その他、レポートの提出を求める場合もある。

教科書

特に指定せず、プリントを配布する。

参考書等

授業において適宜指示する。

その他

授業は講義形式とする。